

埼玉県熊谷市在家遺跡調査会埋蔵文化財調査報告書

在 家 遺 跡

2015

埼玉県熊谷市在家遺跡調査会

埼玉県熊谷市在家遺跡調査会埋蔵文化財調査報告書

ざい け い せき
在 家 遺 跡

2015

埼玉県熊谷市在家遺跡調査会



調査区全景空中写真（合成、上が北西）

序

私たちの郷土熊谷は、丘陵、台地、沖積低地と地形が変化に富んでいる上、我が国及び関東を代表する2大河川である利根川・荒川が市内を流れ、大河がもたらす肥沃な大地と豊かな自然が広がっております。このような自然環境のもと、市内には、先人たちによって多くの文化財が営々と引き継がれてきました。これらの文化財は、郷土の発展やその過程を物語る証しであるとともに、私たち子孫の繁栄の指標ともなる先人の貴重な足跡であります。私たちは、こうした文化遺産を継承し、次世代に伝え、さらに豊かな熊谷市形成の礎としていかなければならないと考えております。

さて、熊谷市西部の玉井、別府地区に所在する在家遺跡は、古代の集落跡として知られています。今回の調査では、大型の掘立柱建物跡群や区画溝が確認され、硯や朱書された遺物等の検出により、政治的機能を有していたと考えられることから、古代の幡羅郡郡役所跡及びそれに関わる遺跡である幡羅・西別府官衙遺跡群に関連することが明らかとなりました。これらの遺跡は、現在の行政界を飛び越え、当時の周辺地域の歴史、ひいては我が国の地方政治の実態を解明する上で欠くことのできない遺跡といえます。

本書は、平成24、25年度に実施された在家遺跡の発掘調査の成果について報告するものであります。本書が在家遺跡の重要性を明らかにし、そして市民及び国民がその評価を理解する一助となり、さらには埋蔵文化財保護、学術研究の基礎資料として、また、埋蔵文化財の普及・啓発の資料として広く活用されることとなれば幸いです。

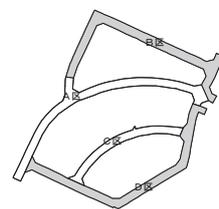
結びに、発掘調査から報告書刊行に至るまで、文化財保護法の趣旨を尊重され、御理解、御協力を賜りましたミサワホーム株式会社及び地元関係者をはじめ多くの皆様に厚くお礼申し上げます、発刊のあいさつといたします。

平成27年3月

熊谷市在家遺跡調査会
会 長 野 原 晃

例 言

- 1 本書は、埼玉県熊谷市別府五丁目 185 番地に所在する在家遺跡（埼玉県遺跡番号 59 - 081）の発掘調査報告書である。
- 2 調査は分譲地造成に伴う記録保存のための発掘調査であり、事業者ミサワホーム株式会社が費用負担をし、熊谷市在家遺跡調査会が実施したものである。
- 3 発掘調査の組織は、第 I 章 3 のとおりである。
- 4 発掘調査期間は、平成 25 年 3 月 15 日から平成 25 年 9 月 30 日である。
整理・報告書作成期間は平成 25 年 11 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日である。
- 5 発掘調査は熊谷市教育委員会 藏持俊輔、原野真祐が担当し、左図のとおり A・C 区を藏持が、B・D 区を原野が行った。本書の編集・執筆は藏持が行った。
第 VI 章 1 は清水康守、駒井 潔、小川政之、武藤博士、小勝幸夫、小林忠夫の六氏より玉稿を賜った。
第 VI 章 2 は株式会社中野技術より提出された報告書に藏持が加筆、修正を加えた。
- 6 発掘調査における写真撮影は A・C 区を藏持が、B・D 区を原野が行い、遺物の写真撮影は藏持が行った。
- 7 空中写真撮影及び全景合成写真作成は、株式会社東京航業研究所に委託した。
- 8 地中レーダー探査は、株式会社中野技術に委託した。
- 9 本書の作成にあたり、出土遺物の時期区分については、原則として『幡羅遺跡Ⅷ—総括報告書 I』（熊谷市教育委員会 2012）及び『西別府祭祀遺跡、西別府廃寺、西別府遺跡総括報告書 I』（熊谷市教育委員会 2013）に拠った。また出土遺物について、富田和夫氏、津野仁氏、栗田則久氏にご教示頂いた。
- 10 本書にかかる資料は、熊谷市教育委員会で保管している。
- 11 本発掘調査の成果について、先行して概報報告がなされているが、内容については本書を優先する。
- 12 発掘調査及び本書の作成にあたり、下記の方々及び機関等からご教示、ご協力を賜りました。記して謝意を表します。



(敬称略)

ミサワホーム株式会社 ㈱大林道路 熊谷市別府地区自治会連合 埼玉県教育局生涯学習文化財課
独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所 公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団
石岡市教育委員会 公益財団法人とちぎ未来づくり財団埋蔵文化財センター
浅野晴樹 新井 端 幾島 審 池田敏宏 伊藤 暁 井上尚明 大井教寛 小川政之 金子正之
河野一也 藏持大輔 栗田則久 小勝幸夫 小杉山大輔 小林忠夫 駒井 潔 清水康守 菅谷浩之
須田 勉 高橋 修 田中広明 知久裕昭 津野 仁 鳥羽正之 富田和夫 永井智教 中村一郎
根本 靖 蛭間健悟 昼間孝志 水口由紀子 宮瀧交二 宮原正樹 武藤博士 村田章人 山本 崇

凡 例

本書における挿図指示は、次のとおりである。

- 1 遺構挿図の縮尺は、次のとおりであるが、それ以外のものは個別に示した。

遺構の略記号は次のとおりである。

S B…掘立柱建物跡 S D…溝跡 S E…井戸跡 S I…竪穴建物跡 S J…土器廃棄遺構
S K…土坑 S N…畠 S X…性格不明遺構 S Y…土取り遺構 P…ピット
調査区全測図…1 / 200 遺構平面図・断面図…1 / 60、1 / 80

- 2 遺構挿図中のスクリーントーン等は次のとおりである。但し、現地表面よりの土層図の場合は、遺構が残存する土層までを地山表記と同じくしている。

地山：

- 3 遺構挿図中、断面に添えてある数値は標高を示している。

- 4 遺物挿図の縮尺は、原則として次のとおりであるが、それ以外のものは個別に示した。

土師器・須恵器・磁器・陶器…1 / 4 石製品…1 / 6

- 5 遺物実測図の表現方法は、以下のとおりである。なお、実測図の中心線は実線で示している。

土師器・瓦質土器・縄文土器：白抜 須恵器：黒塗 灰釉陶器：
陶器： 磁器：

遺物挿図中の断面箇所以外のスクリーントーンは施釉範囲を示す。

施釉範囲： 黒色処理： 漆塗： 油煙・墨：黒塗 朱：朱塗

- 6 土層図及び土層説明のうち、ローマ数字で表したものは、基本土層（地山）を示す。

- 7 遺物拓影図のうち、向かって左に外面、右に内面を示した。

- 8 遺物観察表の表現方法は、以下のとおりである。

法量の単位はcm、gである。() が付されるものは推定値、現存値を表す。胎土は、土器に含まれる鉱物等を以下の記号で、含有量の多い順に示した。

A…白色粒子 B…黒色粒子 C…赤色粒子 D…褐色粒子 E…赤褐色粒子 F…白色針状物質
G…長石 H…石英 I…白雲母 J…黒雲母 K…角閃石 L…片岩 M…砂粒 N…礫

- 9 写真図版の遺構・遺物の縮尺は、すべて任意である。遺物写真のうち、複数の遺物が撮影されている写真のキャプションは、左から右へ、上段から下段の順で記載した。

10 口絵の航空写真は、ミサワホーム株式会社にご提供いただいた画像である。また、写真図版のうち、キャプションに※が記してあるものは独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所に提供いただいた画像である。

11 写真図版のうち、遺構・遺物出土状況については、影について明るさの補正を適宜加えている。遺物について、キャプションで補正画像と記したものは、Adobe 社 Photoshop CS6 により補正前画像に対して、個々の画像全体に次の補正を加えたものである。

第 174 図①…明るさ -80、マスター彩度 +80、イエロー系彩度 -100 明度 -100、レッド系色相 -20 彩度 +75

第 174 図②…明るさ +120、マスター彩度 +90、イエロー系彩度 -100 明度 +30、レッド系色相 -20 彩度 +40

第 174 図③外面…明るさ -30、コントラスト +100、イエロー系彩度 -200 明度 +100、レッド系色相 -10 彩度 +80

第 174 図③内面…コントラスト +200、マスター彩度 +70、イエロー系彩度 -100 明度 -50、レッド系色相 -30 彩度 +40

第 174 図④外面 …明るさ -30、コントラスト +100、イエロー系彩度 -100、レッド系彩度 +40

第 174 図④内面…明るさ -30、コントラスト +100、イエロー系彩度 -100、レッド系彩度 +40

第 104 図⑤…明るさ -30、コントラスト +100、イエロー系彩度 -100、レッド系彩度 +40

第 174 図⑥…白黒 イエロー系 -200 レッド系 -200、コントラスト +300

第 174 図⑦…明るさ +50、コントラスト +300

第 174 図⑨…明るさ +80、コントラスト +200

第 174 図⑧…コントラスト +100、レベル補正 濃 133 中 0.86 薄 233

第 174 図⑫…明るさ +70、コントラスト +300

第 174 図⑭…明るさ +150、コントラスト +400、ブルー系明度 -100

第 174 図⑯…明るさ -80、コントラスト +100

第 174 図⑰…明るさ -20、コントラスト +300

第 174 図⑱…コントラスト +300

第 174 図㉒…明るさ +130、コントラスト +200

第 174 図㉔…明るさ +150、コントラスト +200、レベル補正 濃 150

12 土層及び土器の色調は、『新版標準土色帖第 14 版』（小山正忠・竹原秀雄編著、農林水産省農林水産技術会議事務局編集、財団法人日本色彩研究所色標監修、日本色研事業株式会社発行 1994）を参考にした。

目次

口 絵		IV 遺構と遺物	29
序		1 堅穴建物跡	29
例 言		2 掘立柱建物跡	56
凡 例		3 溝跡	88
目 次		4 井戸跡	112
I 発掘調査の概要	1	5 土器廃棄遺構	116
1 調査に至る経過	1	6 土取り遺構	130
2 発掘調査・報告書作成の経過	1	7 畝跡	137
3 発掘調査、整理・報告書刊行の組織	2	8 性格不明遺構	139
II 遺跡の立地と環境	3	9 土坑	146
1 地理的環境	3	10 ピット	155
2 歴史的環境	7	11 遺構外出土遺物	188
III 遺跡の概要	10	V 調査のまとめ	192
1 調査の方法	10	VI 附編	205
2 検出された遺構と遺物	10	1 在家遺跡と周辺の地形・地質	205
3 基本土層	27	2 在家遺跡における地中レーダー探査	218

挿図目次

第 1 図 埼玉県地形図・熊谷市位置図	4	第 16 図 全測詳細図 (11)	26
第 2 図 周辺遺跡分布図	5	第 17 図 基本土層配置図	27
第 3 図 調査地点位置図	6	第 18 図 基本土層図	28
第 4 図 全測図	13	第 19 図 第 1 号堅穴建物跡	30
第 5 図 全測詳細図配置図	15	第 20 図 第 1 号堅穴建物跡出土遺物	31
第 6 図 全測詳細図 (1)	16	第 21 図 第 2 号堅穴建物跡	33
第 7 図 全測詳細図 (2)	17	第 22 図 第 2 号堅穴建物跡出土遺物	33
第 8 図 全測詳細図 (3)	18	第 23 図 第 3 号堅穴建物跡、同出土遺物	34
第 9 図 全測詳細図 (4)	19	第 24 図 第 4 号堅穴建物跡	34
第 10 図 全測詳細図 (5)	20	第 25 図 第 4 号堅穴建物跡出土遺物	35
第 11 図 全測詳細図 (6)	21	第 26 図 第 5 号堅穴建物跡	36
第 12 図 全測詳細図 (7)	22	第 27 図 第 5 号堅穴建物跡出土遺物	36
第 13 図 全測詳細図 (8)	23	第 28 図 第 6 号堅穴建物跡	37
第 14 図 全測詳細図 (9)	24	第 29 図 第 6 号堅穴建物跡出土遺物	37
第 15 図 全測詳細図 (10)	25	第 30 図 第 7 号堅穴建物跡	38

第 31 回	第 7 号竖穴建物跡出土遺物……………	38	第 67 回	第 14 号掘立柱建物跡出土遺物……………	76
第 32 回	第 8 号竖穴建物跡……………	39	第 68 回	第 15 号掘立柱建物跡……………	77
第 33 回	第 8 号竖穴建物跡出土遺物……………	40	第 69 回	第 16 号掘立柱建物跡……………	78
第 34 回	第 9 号竖穴建物跡……………	41	第 70 回	第 16 号掘立柱建物跡出土遺物……………	78
第 35 回	第 10 号竖穴建物跡……………	42	第 71 回	第 17 号掘立柱建物跡……………	79
第 36 回	第 11 号竖穴建物跡……………	43	第 72 回	第 18 号掘立柱建物跡……………	79
第 37 回	第 11 号竖穴建物跡出土遺物 1 ……	44	第 73 回	第 19・20・21 号掘立柱建物跡……………	81
第 38 回	第 11 号竖穴建物跡出土遺物 2 ……	45	第 74 回	第 19 号掘立柱建物跡、同出土遺物…	82
第 39 回	第 12 号竖穴建物跡……………	47	第 75 回	第 20 号掘立柱建物跡、同出土遺物…	83
第 40 回	第 12 号竖穴建物跡出土遺物 1 ……	48	第 76 回	第 21 号掘立柱建物跡……………	84
第 41 回	第 12 号竖穴建物跡出土遺物 2 ……	49	第 77 回	第 22 号掘立柱建物跡、同出土遺物…	86
第 42 回	第 13・14 号竖穴建物跡……………	51	第 78 回	第 23 号掘立柱建物跡……………	87
第 43 回	第 13 号竖穴建物跡出土遺物……………	52	第 79 回	第 1・2 号溝跡、第 1 号溝跡出土遺物…	89
第 44 回	第 14 号竖穴建物跡出土遺物……………	54	第 80 回	第 3・4 号溝跡……………	90
第 45 回	第 13・14 号竖穴建物跡出土遺物…	54	第 81 回	第 5～7 号溝跡 1 ……	91
第 46 回	第 15 号竖穴建物跡……………	55	第 82 回	第 5～7 号溝跡 2 ……	92
第 47 回	第 15 号竖穴建物跡出土遺物……………	55	第 83 回	第 5 号溝跡出土遺物……………	93
第 48 回	第 1 号掘立柱建物跡、同出土遺物…	57	第 84 回	第 6 号溝跡出土遺物……………	93
第 49 回	第 2 号掘立柱建物跡、同出土遺物…	58	第 85 回	第 7 号溝跡出土遺物……………	94
第 50 回	第 3 号掘立柱建物跡……………	59	第 86 回	第 5～7 号溝跡出土遺物 1 ……	95
第 51 回	第 4 号掘立柱建物跡……………	60	第 87 回	第 5～7 号溝跡出土遺物 2 ……	96
第 52 回	第 5・6・7 号掘立柱建物跡……………	61	第 88 回	第 8～10 号溝跡、第 8 号溝跡……………	99
第 53 回	第 5 号掘立柱建物跡……………	62	第 89 回	第 9・10 号溝跡……………	100
第 54 回	第 6 号掘立柱建物跡……………	63	第 90 回	第 8～10 号溝跡出土遺物……………	101
第 55 回	第 7 号掘立柱建物跡……………	64	第 91 回	第 11 号溝跡……………	102
第 56 回	第 5・6・7 号掘立柱建物跡出土遺物…	65	第 92 回	第 11 号溝跡出土遺物……………	104
第 57 回	第 8 号掘立柱建物跡……………	68	第 93 回	第 12～16 号溝跡……………	106
第 58 回	第 8 号掘立柱建物跡出土遺物……………	69	第 94 回	第 17～21 号溝跡……………	108
第 59 回	第 9 号掘立柱建物跡……………	70	第 95 回	第 21 号溝跡出土遺物……………	109
第 60 回	第 9 号掘立柱建物跡出土遺物……………	70	第 96 回	第 22 号溝跡……………	110
第 61 回	第 10 号掘立柱建物跡……………	71	第 97 回	第 22 号溝跡出土遺物……………	110
第 62 回	第 11 号掘立柱建物跡……………	72	第 98 回	第 23 号溝跡……………	111
第 63 回	第 11 号掘立柱建物跡出土遺物……………	73	第 99 回	第 23 号溝跡出土遺物……………	111
第 64 回	第 12 号掘立柱建物跡、同出土遺物…	74	第 100 回	第 1～3 号井戸跡……………	112
第 65 回	第 13 号掘立柱建物跡、同出土遺物…	75	第 101 回	第 1 号井戸跡出土遺物……………	113
第 66 回	第 14 号掘立柱建物跡……………	76	第 102 回	第 3 号井戸跡出土遺物……………	113

第103図	第4号井戸跡……………	114	第139図	第1～10号土坑……………	147
第104図	第4号井戸跡出土遺物……………	115	第140図	第11～25・57号土坑……………	148
第105図	第1号土器廃棄遺構……………	116	第141図	第26～34号土坑……………	149
第106図	第1号土器廃棄遺構出土遺物1……………	117	第142図	第35～47号土坑……………	150
第107図	第1号土器廃棄遺構出土遺物2……………	118	第143図	第48～56号土坑……………	151
第108図	第1号土器廃棄遺構出土遺物3……………	119	第144図	土坑出土遺物1……………	153
第109図	第2号土器廃棄遺構……………	122	第145図	土坑出土遺物2……………	154
第110図	第2号土器廃棄遺構出土遺物……………	123	第146図	第1～53号ピット……………	156
第111図	第3号土器廃棄遺構……………	125	第147図	第54～99号ピット……………	157
第112図	第3号土器廃棄遺構出土遺物……………	125	第148図	第100～159号ピット……………	158
第113図	第4号土器廃棄遺構、同出土遺物……………	126	第149図	第160～223号ピット……………	159
第114図	第5号土器廃棄遺構、同出土遺物……………	127	第150図	第224～287号ピット……………	160
第115図	第6号土器廃棄遺構、同出土遺物……………	127	第151図	第288～353号ピット……………	161
第116図	第7号土器廃棄遺構……………	128	第152図	第354～405号ピット……………	162
第117図	第7号土器廃棄遺構出土遺物……………	129	第153図	第406～448号ピット……………	163
第118図	第1号土取り遺構……………	130	第154図	第449～506号ピット……………	164
第119図	第2号土取り遺構……………	131	第155図	第507～558号ピット……………	165
第120図	第2号土取り遺構出土遺物……………	132	第156図	第559～617号ピット……………	166
第121図	第3号土取り遺構……………	133	第157図	第618～670号ピット……………	167
第122図	第4号土取り遺構、同出土遺物……………	134	第158図	第671～731号ピット……………	168
第123図	第5号土取り遺構……………	135	第159図	第732～788号ピット……………	169
第124図	第6号土取り遺構……………	136	第160図	第789～850号ピット……………	170
第125図	第6号土取り遺構出土遺物……………	136	第161図	第851～915号ピット……………	171
第126図	第1号畠跡……………	138	第162図	第916～983号ピット……………	172
第127図	第2号畠跡、同出土遺物……………	138	第163図	第984～1039号ピット……………	173
第128図	第1号性格不明遺構……………	139	第164図	第1040～1097号ピット……………	174
第129図	第1号性格不明遺構出土遺物……………	139	第165図	第1098～1149号ピット……………	175
第130図	第2号性格不明遺構……………	140	第166図	第1150～1207号ピット……………	176
第131図	第2号性格不明遺構出土遺物……………	140	第167図	第1208～1254号ピット……………	177
第132図	第3・4号性格不明遺構……………	141	第168図	ピット出土遺物……………	187
第133図	第4号性格不明遺構出土遺物……………	142	第169図	遺構外出土遺物(1)……………	190
第134図	第5号性格不明遺構、同出土遺物……………	143	第170図	遺構外出土遺物(2)……………	191
第135図	第6号性格不明遺構……………	144	第171図	旧別府村小字図……………	192
第136図	第6号性格不明遺構出土遺物……………	144	第172図	在家遺跡とその周辺……………	193
第137図	第7号性格不明遺構……………	145	第173図	墨書・刻書と出土位置……………	194
第138図	第8号性格不明遺構……………	145	第174図	墨書・刻書一覧……………	196

第175図	遺構変遷図（8世紀前半）……………200	第186図	A-2地点の鉦物分析……………211
第176図	遺構変遷図（8世紀中～後半）……………201	第187図	A-3地点の砂礫層……………212
第177図	遺構変遷図（9世紀前半）……………202	第188図	新期荒川扇状地礫及び 現世荒川河川礫の採取地点……………212
第178図	遺構変遷図（9世紀後半）……………203	第189図	新期荒川扇状地の砂礫層（A） と現世荒川河床礫（B）……………213
第179図	遺跡の位置……………205	第190図	個数による礫種組成……………215
第180図	遺跡周辺の地質……………206	第191図	礫径（長径）区分による 個数分布……………216
第181図	位置図……………207	第192図	地中レーダー探査遺構想定図……………219
第182図	遺跡の地質模式断面図……………208	第193図	A～D区T S図及び断面図（抄）……………220
第183図	各調査地点の地質柱状図……………208		
第184図	B-1地点の鉦物分析……………209		
第185図	A-3地点の鉦物分析……………210		

挿表目次

第1表	第1号竪穴建物跡出土遺物観察表……………32	第23表	第14号掘立柱建物跡出土遺物観察表……………76
第2表	第2号竪穴建物跡出土遺物観察表……………33	第24表	第16号掘立柱建物跡出土遺物観察表……………78
第3表	第3号竪穴建物跡出土遺物観察表……………34	第25表	第19号掘立柱建物跡出土遺物観察表……………85
第4表	第4号竪穴建物跡出土遺物観察表……………35	第26表	第20号掘立柱建物跡出土遺物観察表……………85
第5表	第5号竪穴建物跡出土遺物観察表……………36	第27表	第22号掘立柱建物跡出土遺物観察表……………86
第6表	第6号竪穴建物跡出土遺物観察表……………37	第28表	第1号溝跡出土遺物観察表……………89
第7表	第7号竪穴建物跡出土遺物観察表……………38	第29表	第5号溝跡出土遺物観察表……………93
第8表	第8号竪穴建物跡出土遺物観察表……………41	第30表	第6号溝跡出土遺物観察表……………93
第9表	第11号竪穴建物跡出土遺物観察表……………46	第31表	第7号溝跡出土遺物観察表……………94
第10表	第12号竪穴建物跡出土遺物観察表……………50	第32表	第5・6・7号溝跡出土遺物観察表……………97
第11表	第13号竪穴建物跡出土遺物観察表……………53	第33表	第8・9・10号溝跡出土遺物観察表……………101
第12表	第14号竪穴建物跡出土遺物観察表……………54	第34表	第11号溝跡出土遺物観察表……………104
第13表	第13・14号竪穴建物跡出土遺物観察表……………54	第35表	第21号溝跡出土遺物観察表……………109
第14表	第15号竪穴建物跡出土遺物観察表……………55	第36表	第22号溝跡出土遺物観察表……………110
第15表	第1号掘立柱建物跡出土遺物観察表……………57	第37表	第23号溝跡出土遺物観察表……………111
第16表	第2号掘立柱建物跡出土遺物観察表……………58	第38表	第1号井戸跡出土遺物観察表……………113
第17表	第5・6・7号掘立柱建物跡出土遺物観察表……………66	第39表	第3号井戸跡出土遺物観察表……………113
第18表	第8号掘立柱建物跡出土遺物観察表……………69	第40表	第4号井戸跡出土遺物観察表……………115
第19表	第9号掘立柱建物跡出土遺物観察表……………70	第41表	第1号土器廃棄遺構出土遺物観察表……………120
第20表	第11号掘立柱建物跡出土遺物観察表……………73	第42表	第2号土器廃棄遺構出土遺物観察表……………124
第21表	第12号掘立柱建物跡出土遺物観察表……………74	第43表	第3号土器廃棄遺構出土遺物観察表……………126
第22表	第13号掘立柱建物跡出土遺物観察表……………75	第44表	第4号土器廃棄遺構出土遺物観察表……………127

第 45 表	第 5 号土器廃棄遺構出土遺物観察表…127	第 55 表	第 5 号性格不明遺構出土遺物観察表…143
第 46 表	第 6 号土器廃棄遺構出土遺物観察表…127	第 56 表	第 6 号性格不明遺構出土遺物観察表…144
第 47 表	第 7 号土器廃棄遺構出土遺物観察表…129	第 57 表	土坑計測表……………152
第 48 表	第 2 号土取り遺構出土遺物観察表…132	第 58 表	土坑出土遺物観察表……………155
第 49 表	第 4 号土取り遺構出土遺物観察表…134	第 59 表	ピット計測表……………178
第 50 表	第 6 号土取り遺構出土遺物観察表…136	第 60 表	ピット出土遺物観察表……………187
第 51 表	第 2 号畠跡出土遺物観察表……………138	第 61 表	遺構外出土遺物観察表……………188
第 52 表	第 1 号性格不明遺構出土遺物観察表…140	第 62 表	礫種組成……………214
第 53 表	第 2 号性格不明遺構出土遺物観察表…140	第 63 表	礫径（長径）区分による個数分布…216
第 54 表	第 4 号性格不明遺構出土遺物観察表…142		

図版目次

図版 1	航空写真
図版 2	前期調査遠景 後期調査遠景
図版 3	B -15 ～ F -20 G 付近空中写真 I -30 ～ L -23 G 付近空中写真 R -18 ～ T -15 G 付近空中写真
図版 4	Z -17 ～ 19・AA-13 ～ 19・AB-13 ～ 18 G 付近空中写真 S -16 ～ Y -8 G 付近空中写真 K -13 ～ Q -5 G 付近空中写真
図版 5	第 1 号竪穴建物跡 同カマド 同遺物出土状況 1 ～ 4 第 2 号竪穴建物跡 第 3 号竪穴建物跡
図版 6	第 4 号竪穴建物跡 同遺物出土状況 1 ～ 3 第 5 号竪穴建物跡 同遺物出土状況 第 6 号竪穴建物跡 同遺物出土状況
図版 7	第 7 号竪穴建物跡 第 8 号竪穴建物跡 同カマド 同遺物出土状況 1 ～ 3 第 9 号竪穴建物跡 第 10 号竪穴建物跡
図版 8	第 11 号竪穴建物跡 同カマド 同遺物出土状況 1 ・ 2 第 12 号竪穴建物跡 同遺物出土状況 同カマド 1 ・ 2
図版 9	第 13・14 号竪穴建物跡 同遺物出土状況 1 ～ 3 第 14 号竪穴建物跡遺物出土状況 1 ・ 2 第 15 号竪穴建物跡 同遺物出土状況
図版 10	第 1 号掘立柱建物跡 第 2 号掘立柱建物跡 第 5 ・ 6 ・ 7 号掘立柱建物跡 1 ～ 3 第 3 号掘立柱建物跡 第 8 号掘立柱建物跡 1 ・ 2
図版 11	第 11 号掘立柱建物跡 1 ・ 2 同 P2 遺物出土状況 同 P12 遺物出土状況 第 9 号掘立柱建物跡 第 12 号掘立柱建物跡 第 13 号掘立柱建物跡 第 14 号掘立柱建物跡
図版 12	第 16 号掘立柱建物跡検出状況 第 16 号掘立柱建物跡 第 17 号掘立柱建物跡 第 18 号掘立柱建物跡 第 19・20・21 号掘立柱建物跡検出状況
図版 13	第 19 号掘立柱建物跡 第 20 号掘立柱建物跡 第 21 号掘立柱建物跡 第 22 号掘立柱建物跡検出状況 第 22 号掘立柱建物跡 同 P2 遺物出土状況 第 1 号溝跡・第 1 号畠跡 第 2 号溝跡

- 図版 14 第 5・6・7号溝跡 I・J -28・29 G付近 同K・L -24・25 G付近
- 図版 15 第 3号溝跡 第 5・6・7号溝跡土層断面 同遺物出土状況 1～4
第 8・9・10号溝跡・第 1号土取り遺構
- 図版 16 第 8・9・10号溝跡遺物出土状況 1～3 第 11号溝跡・第 3号性格不明遺構
第 11号溝跡遺物出土状況 第 12号溝跡 第 13号溝跡 第 15号溝跡
- 図版 17 第 16号溝跡 第 17号溝跡・第 5号土取り遺構・第 54号土坑
第 18・19号溝跡・第 7号性格不明遺構 第 20・21号溝跡 第 21号溝跡 同遺物出土状況
第 22号溝跡 第 23号溝跡
- 図版 18 第 1号井戸跡 第 2号井戸跡 第 3号井戸跡 第 4号井戸跡
第 1号土器廃棄遺構上層遺物取上前 同上層遺物取上後 第 2号土器廃棄遺構 同遺物出土状況
- 図版 19 第 3号土器廃棄遺構 同遺物出土状況 第 4号土器廃棄遺構 第 5号土器廃棄遺構
第 6号土器廃棄遺構 同遺物出土状況 1・2 第 7号土器廃棄遺構
- 図版 20 第 7号土器廃棄遺構 同遺物出土状況 第 1号土取り遺構 第 2・4号土取り遺構
第 3号土取り遺構 第 5号土取り遺構 第 6号土取り遺構
- 図版 21 第 2号畠跡 第 1号性格不明遺構 第 2号性格不明遺構・第 15号掘立柱建物跡
第 4号性格不明遺構 第 5号性格不明遺構 同焼土・遺物検出状況 第 6号性格不明遺構 1・2
- 図版 22 第 7号性格不明遺構 第 8号性格不明遺構 第 1号土坑 第 3号土坑 第 3・4号土坑
第 4号土坑焼土ブロック 第 5号土坑 第 6号土坑
- 図版 23 第 7号土坑 第 9号土坑 第 12号土坑 第 13号土坑 第 13号土坑粘土 1・2
第 15号土坑 第 16号土坑
- 図版 24 第 17号土坑 第 18号土坑 第 19号土坑 第 20・21号土坑 第 22号土坑 第 23号土坑
第 24号土坑 同遺物出土状況
- 図版 25 第 26号土坑 第 27号土坑 第 28号土坑 第 29号土坑 同遺物出土状況 第 30号土坑
第 31号土坑 第 32号土坑
- 図版 26 第 33号土坑 第 34・36号土坑 第 35号土坑 第 37号土坑 第 38号土坑 第 39号土坑
第 40・41号土坑 第 42号土坑
- 図版 27 第 43号土坑 第 44号土坑 第 48号土坑 同検出状況 第 49号土坑 第 51号土坑
第 52号土坑 第 55号土坑
- 図版 28 第 20図 1 第 20図 2 第 20図 4 第 20図 6 第 20図 20・21 第 20図 23 第 20図 5・7～
11・16、12～15・17・18、19・22・24・25・27・26 第 20図 28～35、36・37・39・40、38・41～44、
45～47・50 第 20図 48 第 20図 3 第 22図 4 第 23図 1・3 第 22図 1～3、7・6・8、
9～11 第 22図 5 第 23図 2 第 25図 1 第 25図 5 第 25図 2～4、6～9
- 図版 29 第 27図 1・2 第 29図 5 第 29図 7 第 29図 8 第 29図 1～4、6・9・10、11～13 第 31図 1・2
第 33図 1 第 33図 2 第 33図 3 第 33図 11 第 33図 12 第 33図 14 第 33図 4～8、9・10・13・
15・16、17・18・20・21 第 33図 22・27、19・23・30・28、29・31 第 33図 24・25、26 第 37図 1 第 37図 2
- 図版 30 第 37図 3 第 37図 4 第 37図 6・8 第 37図 7 第 37図 5 第 37図 9 第 37図 10 第 37図 11
第 37図 12 第 37図 13 第 37図 14 第 37図 15 第 37図 16 第 37図 17 第 37図 18

第37图 19 第38图 32 第38图 33 第37图 20~22、23~25、26~29 第38图 30·35、34·31
图版 31 第38图 37、36·39·41、40·38 第40图 1、2·3 第40图 1 第40图 2 第40图 3 第40图 7
第40图 4 第40图 8 第40图 9 第40图 5·6·10·11、12~16、17~19 第40图 20·22、23·24
第41图 37·38、39 第40图 25·27·28·30~33、34~36· 第41图 40~42、43~47
图版 32 第40图 21 第40图 29 第40图 26 第41图 44 第43图 1 第43图 2~4 第43图 4 第43图 7
第43图 2 第43图 3 第43图 5 第43图 6 第43图 8 第43图 9 第43图 11 第43图 18
第43图 19 第43图 20 第43图 29 第43图 30 第43图 32
图版 33 第43图 10·12·13、14·15、16·17·21 第43图 23·24·26、27、25· 第45图 2· 第43图 28 第44图 1
第45图 1 第44图 1·3、5·4 第47图 1 第47图 2 第47图 3 第47图 4·6·7、8、10·9·5
第49图 1 第48图 1 第56图 1 第56图 3 第56图 6 第56图 8 第56图 9
图版 34 第56图 11 第56图 12 第56图 13 第56图 15 第56图 14 第56图 23 第56图 24
第56图 25 第56图 27 第56图 2·4·5·7·10·16、17~21、22、26·28·29、30·31·33
第58图 1·2·4·7、8·16~18、19~21 第58图 3 第58图 5 第58图 6
第58图 9 第58图 10 第58图 11 第58图 12 第58图 13 第58图 14
图版 35 第58图 15 第58图 22 第60图 4 第60图 6 第60图 1·2、3·5 第63图 1 第63图 2
第63图 3 第63图 4 第63图 6·5 第63图 7 第63图 8 第63图 9
图版 36 第64图 1·2· 第65图 1· 第67图 1、3·4、第70图 1·2· 第75图 1·2 第67图 3 第79图 1
第83图 1·2 第84图 1 第84图 2·3、4 第85图 1 第85图 2 第85图 3
第86图 1·2·11、3·4、5~7 第86图 1 第86图 2 第86图 3 第86图 4
图版 37 第86图 5 第86图 6 第86图 8 第86图 9 第86图 10 第86图 11 第86图 12 第86图 13
第86图 15 第86图 16 第86图 17 第86图 14 第86图 46 第86图 19 第86图 7·18、第87图 54
第86图 20~23·25、26~29、30~34 第86图 35~38·40、39·42~44·41·45、47~50
第87图 51~53·55、56~58
图版 38 第90图 5 第90图 3·4、2 第90图 1 第92图 1 第92图 2 第92图 3 第92图 4 第92图 6
第92图 5 第92图 7 第92图 8 第92图 9 第92图 11 第92图 12 第92图 21
第92图 20 第92图 13~16、17~19、10 第95图 3 第95图 1 第95图 4 第95图 5
图版 39 第95图 7 第95图 9 第95图 2·6·8 第97图 1~4、5~7 第99图 1~3·6、4·5、7·8
第101图 1 第101图 2 第102图 1·2 第101图 3·4 第104图 1 第104图 2 第104图 3
第104图 5 第104图 4~6、7·8、9·10 第104图 1·2、3
图版 40 第106图 1 第106图 2 第106图 3 第106图 4 第106图 5 第106图 7 第106图 8 第106图 9
第106图 10 第106图 11 第106图 12 第106图 13 第106图 14 第106图 15 第106图 16
第106图 17 第106图 18 第106图 19 第106图 20 第106图 21 第106图 22 第106图 23
第106图 24 第106图 25 第106图 26 第106图 27 第106图 29 第106图 28 第106图 30
第106图 31 第106图 32
图版 41 第106图 33 第106图 34 第106图 35 第106图 36 第106图 37 第106图 38 第106图 39
第106图 40 第106图 41 第106图 42 第107图 44 第107图 46 第107图 43·44·46·47、48~52、
53~57、58·60·61·59 第107图 45 第107图 43 第107图 47 第107图 48 第107图 49 第107图 50

第 107 图 51 第 107 图 52 第 107 图 53 第 107 图 54 第 107 图 55 第 107 图 56 第 107 图 57
图版 42 第 107 图 59 第 107 图 60 第 107 图 61 第 107 图 62·63 第 108 图 76 第 108 图 77 第 108 图 78
第 108 图 79 第 108 图 80 第 108 图 81 第 108 图 82 第 108 图 83 第 108 图 84 第 108 图 85
第 108 图 86 第 108 图 87 第 108 图 88 第 108 图 89 第 108 图 93 第 108 图 90 第 108 图 91
第 108 图 92 第 108 图 96 第 108 图 94 第 108 图 98·101、100 第 108 图 95 第 108 图 97
图版 43 第 107 图 65·66·64、67·68、73~75 第 108 图 99 第 110 图 1·2、4·3 第 110 图 1 第 110 图 2
第 110 图 3 第 110 图 4 第 110 图 5 第 110 图 6 第 110 图 7 第 110 图 8 第 110 图 9
第 110 图 10 第 110 图 11 第 110 图 12
图版 44 第 110 图 13 第 110 图 14 第 110 图 15 第 110 图 16 第 110 图 17 第 110 图 18 第 110 图 19
第 110 图 20 第 110 图 21 第 110 图 22 第 110 图 23~26、27·30、28·29 第 112 图 1·2、3 第 112 图 1
第 112 图 2 第 112 图 3 第 112 图 4 第 112 图 5 第 112 图 6 第 112 图 7 第 112 图 8 第 112 图 9
图版 45 第 112 图 10·11、12 第 113 图 1 第 113 图 4 第 113 图 1~3、5 第 114 图 1·2 第 114 图 3
第 117 图 1 第 115 图 2 第 115 图 1 第 117 图 2 第 117 图 4 第 117 图 9 第 117 图 3·5·6、8·11·10·7
图版 46 第 120 图 1 第 120 图 2 第 125 图 1·3·2·6·10、4·5、7~9 第 129 图 1 第 129 图 8 第 122 图 1
第 129 图 2~4、5~7 第 127 图 1 第 131 图 1~3 第 131 图 4 第 133 图 1
第 133 图 3、2·4 第 131 图 5
图版 47 第 134 图 1 第 134 图 2 第 135 图 1·2 第 135 图 3 第 144 图 10·6 第 145 图 17-1 第 145 图 25-5
第 145 图 28-1 第 145 图 30-2 第 145 图 38-1 第 145 图 38-5 第 145 图 38-2·38-3、38-4·38-5
第 144 图 1-1·1-2·2-1·3-1·3-2·3-3·3-4·3-5、3-6·3-7·3-8·3-9·6-1·7-1·7-2、7-3、8-1·5-1
第 144 图 10-1·10-2·10-3、10-4·10-5·10-7、10-8·10-9·10-10·10-11·第 145 图 14-1
第 145 图 25-1·25-2·25-4·28-2·29-1·30-1、25-3·25-6·29-2·25-7
第 168 图 151-1·199-1·291-1·272-1、292-1·299-1·367-1、389-1·435-1·1139-1·1007-1
图版 48 第 168 图 401-1·401-2 第 169 图 5·6、7~9 第 169 图 4 第 169 图 5 第 169 图 6
第 169 图 7 第 169 图 8 第 169 图 9 第 169 图 19 第 169 图 20 第 169 图 21 第 169 图 26
第 169 图 32 第 169 图 39 第 169 图 52 第 169 图 1·2 第 169 图 53 第 169 图 3·10~13、
14~18、22~25、27~29
图版 49 第 169 图 30·31·33·34、35~38、40·43~45、42·41·46 第 169 图 47~50、
51·54·第 170 图 60·第 169 图 56·55、57~59 第 170 图 61·62·64、63、65~68
第 170 图 69·72·70·71、72·83、84~86
第 20 图 49·第 22 图 12·第 38 图 42~44·第 170 图 74·75、76·第 144 图 3-8·3-9·10-8·10-9·
第 170 图 77·第 74 图 1·第 168 图 61-1
第 27 图 3·第 38 图 45·第 129 图 9·第 169 图 78~80
第 117 图 12 第 102 图 3·第 129 图 10、第 170 图 82·81
第 25 图 10·第 41 图 48·49、第 45 图 3、第 43 图 31·第 131 图 6·第 56 图 32
第 145 图 13-1·第 90 图 7·6、第 99 图 9·第 101 图 5·第 133 图 5·第 77 图 1
图版 50 第 174 图① 第 174 图③ 第 174 图② 第 174 图⑤ 第 174 图④ 第 104 图 5 第 174 图⑥
第 174 图⑦

图版 51 第 174 图⑧ 第 174 图⑨ 第 174 图⑫ 第 174 图⑩ 第 174 图⑬ 第 174 图⑪ 第 174 图⑭
第 174 图⑮ 第 174 图⑯

图版 52 第 174 图⑰ 第 174 图⑲ 第 174 图⑳ 第 174 图⑱ 第 174 图㉓ 第 174 图㉒ 第 174 图㉔
第 174 图㉕

图版 53 第 174 图㉖ 第 174 图㉗ 第 174 图㉘ 第 174 图㉙ 第 174 图㉚ 第 174 图㉛ 第 174 图㉜
第 174 图㉝ 第 174 图㉞ 第 38 图 34 第 144 图 3-4

I 発掘調査の概要

1 調査に至る経過

別府五丁目 185 番地は、熊谷市の市有地であったが、平成 23 年度に環境共生型のまちづくりに取り組む熊谷スマートタウンとして整備する方針決定がなされた。手法として、公募型プロポーザル方式が採用されることとなり、熊谷スマートタウン整備事業検討委員会（以下、検討委員会）が設立され、熊谷市教育委員会社会教育課文化財保護・市史編さん担当副参事が委員に含まれることとなった。

公募にあたり、熊谷市教育委員会では先行して平成 24 年 4 月 19 日から 5 月 22 日にかけて試掘調査を実施したところ、一部攪乱がみられたものの、奈良～平安時代の遺構・遺物が確認された。この結果をうけて、埋蔵文化財に影響のない工法の採用が望ましいと検討委員会へ発言することとなった。

平成 24 年 10 月 16 日にミサワホーム株式会社が事業者として選定され、保存策について熊谷市教育委員会と協議を重ねることとなった。工事計画のうち、道路箇所及び防火水槽箇所については、遺跡の破壊が不可避であり、計画変更も困難であったため、記録保存の措置が適当であるとの結論に至った。

平成 25 年 1 月 25 日にミサワホーム株式会社 代表取締役 竹中宣雄より熊谷スマートタウン造成のため、文化財保護法 93 条第 1 項に基づく埋蔵文化財発掘の届出の提出がなされた。これを受け、平成 25 年 2 月 12 日付け熊教社発第 1777 号にて発掘調査の措置が適当である旨副申し、埼玉県教育委員会教育長あてに埋蔵文化財発掘の届出を送付した。その後、ミサワホーム株式会社 代表取締役 竹中宣雄あてに埼玉県教育委員会教育長から、平成 25 年 2 月 25 日付け教生文第 5-1380 号にて周知の埋蔵文化財包蔵地における土木工事等について、事前の発掘調査の指示通知がなされた。

事業主と具体的な協議を重ねたところ、早急に建設を開始したい意向があったが、調査実施には 6 月定例議会での 6 月補正予算の承認が必要であり、待機期間が発生する状況であった。そこで、熊谷市教育委員会では、工事の進捗に配慮し早急に発掘調査を実施するため、平成 25 年 2 月 4 日付けで熊谷市在家遺跡調査会を設立して発掘調査実施の体制を整えた。なお、平成 25 年 2 月 15 日付けで埋蔵文化財に関する協定を熊谷市と事業主とで締結している。熊谷市在家遺跡調査会会長は、文化財保護法第 92 条第 1 項の規定に基づく発掘調査の届出を平成 25 年 2 月 12 日付け熊在遺発 2 号で提出し、熊谷市教育委員会は副申を添えて平成 25 年 2 月 12 日付け熊教社収第 1776 号にて埼玉県教育委員会教育長へ送付した。これに対し、平成 25 年 2 月 25 日付け教生文第 3-64 号で発掘調査について通知があった。発掘調査は熊谷市在家遺跡調査会により平成 25 年 3 月 15 日から平成 25 年 9 月 30 日まで実施した。

2 発掘調査・報告書作成の経過

(1) 発掘調査

発掘調査は、事業地 18,596.5 m²のうち道路箇所及び防火水槽箇所 3,933.50 m²を対象とした。調査区を二分割し、北西側 2,308.93 m²を前期調査、南東側 1,624.57 m²を後期調査として実施した。

前期調査は、平成 25 年 3 月 15 日から 6 月 16 日まで行った。調査の方法は、重機により表土除去を行った後、作業員による遺構確認作業を実施した。続いて遺構の発掘、土層断面図の作成、遺構平面図の作成、遺物の取り上げ、写真撮影などの作業を順次実施した。6 月上旬に全景をラジコンヘリにより空中

写真撮影を行い、作業を終了した。

後期調査は、平成 25 年 6 月 17 日から 9 月 30 日まで行った。調査の方法は、前期調査と同様である。9 月下旬に全景をラジコンヘリにより空中写真撮影を行い、器材等を撤収して全ての作業を終了した。

(2) 整理・報告書作成作業

整理作業は平成 25 年 11 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日にかけて実施した。

まず、遺物の洗浄・注記・接合・復元作業を行った。その後、遺物の分類を行い、実測作業を開始した。また、これらと平行して遺構の図面整理を行った。次に、遺構・遺物のトレース・拓本を採り図版を作成した。そして、遺物の写真撮影、遺構・遺物写真の図版組みを行い、12 月に原稿執筆・割付を実施した。翌年 1 月に報告書の印刷に入り、校正を経て 3 月 31 日に本報告書を刊行した。

3 発掘調査、整理・報告書刊行の組織

主 体 者 熊谷市在家遺跡調査会

発掘調査、整理・報告書作成事業（平成 24～26 年度）

会 長	野原 晃（平成 24～26 年度	熊谷市教育委員会教育長）
副会長	鯨井 勝（平成 24 年度	熊谷市教育委員会教育次長）
	米澤ひろみ（平成 25・26 年度	熊谷市教育委員会教育次長）
理 事	菅谷 浩之（平成 24～26 年度	熊谷市文化財保護審議会会長）
	小野美代子（平成 24～26 年度	熊谷市文化財保護審議委員）
監 事	正田 知久（平成 24・25 年度	熊谷市教育委員会教育総務課長）
	正田 知久（平成 26 年度	熊谷市教育委員会参事兼教育総務課長）
事務局長	岩上 精純（平成 24～26 年度	熊谷市教育委員会社会教育課長）
事務局次長	根岸 敏彦（平成 24・25 年度	熊谷市教育委員会社会教育課担当副参事）
	森田 安彦（平成 26 年度	熊谷市教育委員会社会教育課担当副参事）
事務局員	森田 安彦（平成 24・25 年度	熊谷市教育委員会社会教育課副課長兼文化財保護係長）
	吉野 健（平成 24・25 年度	熊谷市教育委員会社会教育課主幹）
	吉野 健（平成 26 年度	熊谷市教育委員会社会教育課副課長兼文化財保護係長）
	杉浦 朗子（平成 24～26 年度	熊谷市教育委員会社会教育課文化財保護係主査）
	松田 哲（平成 24～26 年度	熊谷市教育委員会社会教育課文化財保護係主査）
	小島 洋一（平成 26 年度	熊谷市教育委員会社会教育課文化財保護係主査）
	藏持 俊輔（平成 24～26 年度	熊谷市教育委員会社会教育課文化財保護係主任）
	腰塚 博隆（平成 25 年度	熊谷市教育委員会社会教育課文化財保護係主事）
	腰塚 博隆（平成 26 年度	熊谷市教育委員会社会教育課文化財保護係主任）
	山下 祐樹（平成 24・25 年度	熊谷市教育委員会社会教育課文化財保護係主事）
	山下 祐樹（平成 26 年度	熊谷市教育委員会社会教育課文化財保護係主任）
	原野 真祐（平成 24～26 年度	熊谷市教育委員会社会教育課文化財保護係発掘調査員）

II 遺跡の立地と環境

1 地理的環境

埼玉県は、関東地方の西部に位置する内陸の県である。熊谷市は、埼玉県の北部、東京都心から 50 ～ 70 km 圏に位置し、近年の妻沼町、大里町、江南町との合併により、南北に約 20 km、東西に約 14 km の面積 159.88 km² の規模を有する（第 2 図）。また、人口は、平成 22 年の国勢調査によると 203,180 人となり、埼玉県で 9 番目、県北で最大の人口を有する。

熊谷市は、南には荒川が、北には利根川がそれぞれ西から南東方向に流れ、両河川が最も近接する地域にある。地形的には、西側に櫛挽台地、荒川を挟んで南側には江南台地及び比企丘陵、北側及び東側には妻沼低地が広がり、妻沼低地と接して荒川を挟んで南には荒川低地が広がる。市域の大半は妻沼低地上にある（第 1 図）。

櫛挽台地は、荒川左岸に広がる広大な台地で、荒川によってつくられた荒川扇状地と呼ばれる古い扇状地が侵食されてできたものである。この台地は、寄居町末野付近を扇頂として、扇端部は、東は市西部の三ヶ尻付近まで、北東方向へは本報告の在家遺跡が所在する別府地区付近まで延びる崖線で妻沼低地に面し、南側は荒川に沿う崖線が境界である。標高は、扇頂で 100 m、北東端の崖線で 50 m となり、傾斜が緩い特徴をもっている。また、台地上面は一般に平坦であるが、いくつかの残丘状の小丘陵があり、市西部三ヶ尻にある観音山（標高 77 m）はその小丘陵である。そして、関東ローム層で構成される台地面は二つの段丘面に分けられる。一つは、北西側の高い面で武蔵野Ⅱ面に比定される櫛挽面（櫛引段丘）であり、櫛挽台地の主体をなすところである。もう一つは、市域がのる南東側の低い面で立川面に比定される寄居面（御稜威ヶ原段丘）であり、櫛挽面の南側を侵食した荒川の河岸段丘である。別府は、寄居面にあり、比高差 2 ～ 5 m をもって妻沼低地と接しているが、本遺跡の所在する地点の比高差はほぼない。なお、接線付近での標高は、寄居面が 31 ～ 47 m、妻沼低地が 32 ～ 45 m である。この接線である三ヶ尻や別府の台地裾部においては、扇央部で伏流水となっていた水が湧水となって現れ、かつては多数の湧泉が確認されていた。

江南台地は、荒川右岸に広がる台地で、荒川扇状地の南部が残ったところであり、武蔵野Ⅰ面に比定され、櫛挽台地より古い台地である。この台地は、荒川に沿って幅狭く河岸段丘上に続き、市域のうち荒川右岸は大部分がこの台地で占められる。標高は、上流の寄居町で 140 m を測り、下流方向にいくにしたがい低くなり、熊谷市平塚新田付近で 45 m となり、比高差 16 ～ 22 m をもって北に広がる妻沼低地と接している。また、箕輪付近では 40 m となり、比高差 21 ～ 22 m をもって東に広がる荒川低地と接している。

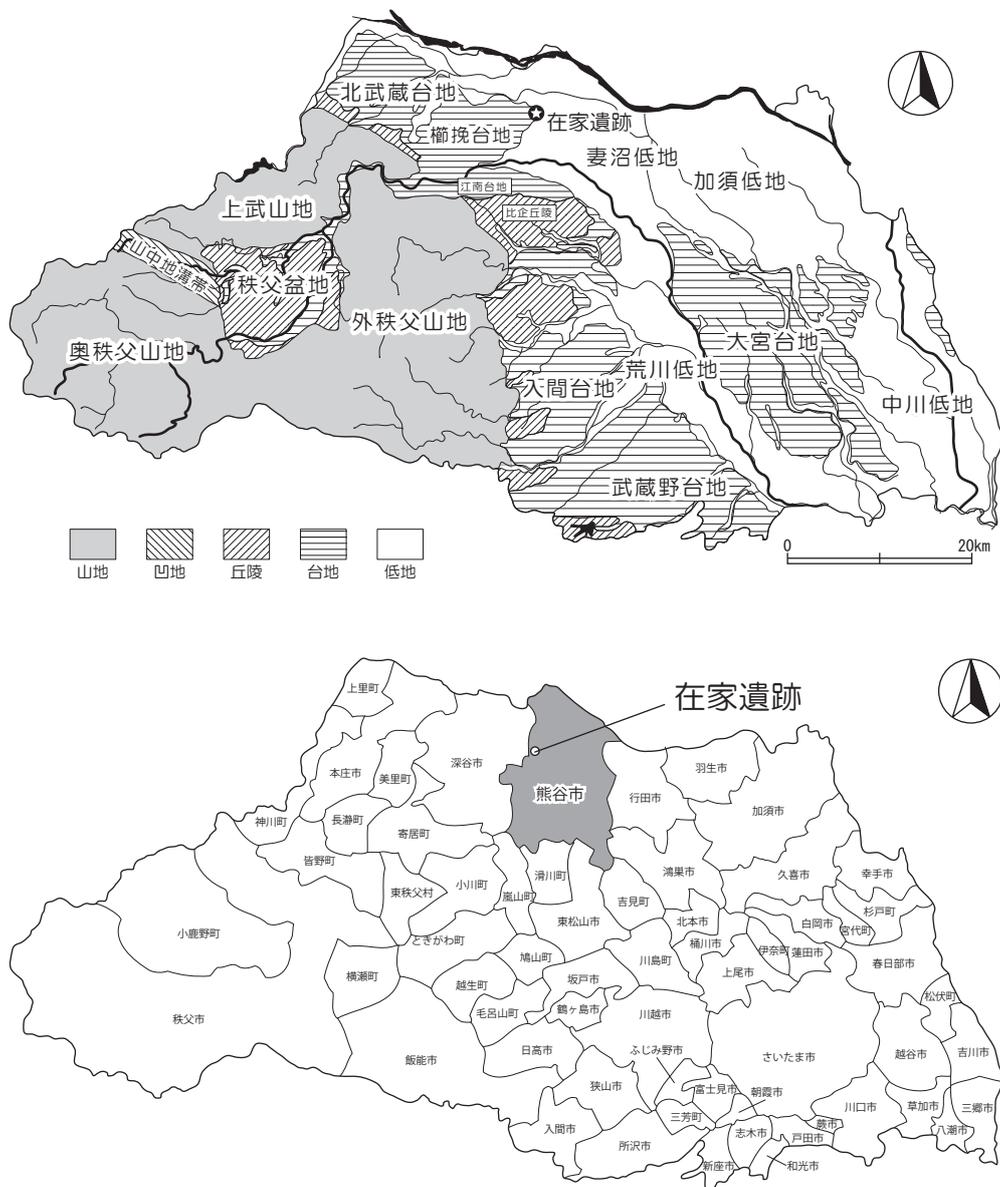
比企丘陵は、荒川と都幾川の間にある東西に長い丘陵で、和田川を挟んで江南台地の南にある。市域ではわずかに塩が該当し、その標高は 60 ～ 80 m である。丘陵内部は、市野川・滑川及びその支流により開折が進み、北西から南東あるいは南北方向の開折谷を形成しているが、熊谷市域方向の丘陵北側にある和田川の支谷の発達は非常に悪い。

妻沼低地は、利根川の自然堤防及び沖積低地であり、加須低地と共に利根川中流低地と呼ばれる。この低地は東西に長く、西は利根川と烏川の合流点付近、東は行田市利根大堰付近・加須低地と接する箇

所まで広がる。南は、櫛挽台地の崖線と荒川を挟んで接する荒川低地までである。標高は、熊谷市域内では、20～40 mを測る。地形は、自然堤防及び荒川新扇状地による微高地と後背湿地や古流路跡からなり、市西部の大麻生から玉井、上中条、曙町に至る地域は荒川新扇状地と呼ばれ、荒川の形成した新しい扇状地にあたり、扇頂の大麻生で標高40 m、扇端の上中条で25 mを測る。この荒川新扇状地の扇端にはかつて湧泉がみられた。

荒川低地は、県南東部の荒川に沿う広い低地で、東の大宮台地と西の武蔵野台地の間にあり、中川低地と共に東部低地と呼ばれる。上流は市南部旧大里町で、荒川を挟み妻沼低地と接し、下流は川口市南部の県境付近までである。標高は、上流の小八林付近で約20 mを測る。低地には、市域内では荒川のほか和田吉野川が流れ、自然堤防や後背湿地などの微高地が認められる。

在家遺跡は、櫛挽台地の北東端、標高33 m前後を測る台地縁部付近、及び櫛挽台地の東側に接す



第1図 埼玉県の地形図・熊谷市位置図



第2図 周辺遺跡分布図



第3図 調査地点位置図

る妻沼低地、標高 28.5 m 前後の低地に位置する。台地上の一带は、畑地が広がる区域と宅地等が多く所在する区域に分かれる。低地は、昭和 30 年代の耕地整理により土地の改変が行われているが、台地上については、江戸時代から現在に至るまであまり大差ない土地利用が認められる。

2 歴史的環境

本報告の遺跡群を中心に歴史的環境を概観する（第 3 図）。旧石器時代から縄文時代であるが、この時期の遺跡の発見例はきわめて少ない状況である。旧石器時代で知られているのは、近くでは平安時代の竪穴建物跡の覆土中から出土した櫛挽台地東端にある籠原裏遺跡の黒耀石製尖頭器の事例がある。

縄文時代では、櫛挽台地北端の深谷市東方城跡にて、草創期の可能性がある尖頭器が出土している。前期になると台地のみならず低地上にも出現しはじめ関山式土器が出土した寺東遺跡等の集落跡が確認されている。中期は、特に後半段階の加曾利 E 式期の遺跡が爆発的に出現するが、依然として櫛挽台地及び台地直下の低地上に集中している。後期になると遺跡数は減少傾向ではあるが、徐々に低地へと進出をはじめ、本遺跡周辺では、中期と同様に集中して所在し、深谷市内においても、台地縁辺部及び台地下の低地上で遺跡が確認されている。特に後半には、市東部の妻沼低地への進出が顕著にみられる。晩期になると、さらに遺跡数が減少し、市内においては非常に少ないが、低地の自然堤防上に後期後半から進出した遺跡が目立つようになる。市東部の妻沼低地に位置する諏訪木遺跡、中西遺跡等で安行式土器が検出されている程度である。深谷市では低地においていくつかの遺跡が確認されているが、上敷免遺跡では晩期終末の浮線文土器片が多数出土しており、また、市東部妻沼低地の前中西遺跡（地図未掲載）の包含層中及び他時期の遺構からも浮線文土器が出土している。これは、次の弥生時代が始まる以前に人々が低地に進出してきた証であり、次代へのつながりが看取できる。

弥生時代については、深谷市において妻沼低地の上敷免遺跡の包含層から県内初の前期遠賀川式土器の胴部上半破片が出土している。その後、中期に至ると多くの遺跡の存在が確認されるようになる。中期以降の集落は、櫛挽台地上及び台地下の自然堤防上に営まれている。市内では三ヶ尻遺跡に含まれる三ヶ尻上古遺跡、横間栗遺跡、飯塚遺跡、飯塚南遺跡、飯塚北遺跡、深谷市では上敷免遺跡等であり、飯塚遺跡を除きいずれも再葬墓が検出された遺跡である。横間栗遺跡は、前期末から中期中頃の再葬墓が 16 基発見され、この一括資料は 1999 年 3 月に埼玉県指定文化財となっている。この横間栗遺跡に近接する関下遺跡では中期中頃の竪穴建物跡が確認され、隣接する石田遺跡とともに集落域の広がりを感じさせる遺跡である。

一方、市内東部の低地上では、水稻耕作を基盤とした本格的な集落が営まれ、池上遺跡（地図未掲載）は環濠集落として知られている。また、小敷田遺跡（地図未掲載）では関東地方で最古段階の須和田式期の方形周溝墓が確認されている。中期後半には、市内では妻沼低地の北島遺跡（地図未掲載）や前中西遺跡で集落が確認されており、深谷市のやはり妻沼低地では、宮ヶ谷戸遺跡や上敷免遺跡で集落が確認されている。後期中頃から終末にかけては、少ないものの低地上各地に遺跡が見られる。市内弥藤吾新田遺跡、中条条里遺跡（地図未掲載）に含まれる東沢遺跡、行田市池守遺跡（地図未掲載）が存在する。東沢遺跡・池守遺跡では吉ヶ谷式土器が、弥藤吾新田遺跡では南関東系の弥生町式土器が出土している。

古墳時代になると、古墳は台地・自然堤防等の微高地に形成され、集落は台地のみならず低地の自然

堤防上にも活発に営まれるようになり、次第に遺跡数も増加傾向にある。前期の遺跡は特に低地における確認例が増え、本遺跡周辺では、市内は横間栗遺跡、根絡遺跡、中耕地遺跡、一本木前遺跡、深谷市は明戸東遺跡、東川端遺跡、宮ヶ谷戸遺跡、上敷免遺跡等がある。北部や東部まで広く見てみると、市内では池上遺跡、中条条里遺跡に含まれる東沢遺跡、北島遺跡、前中西遺跡、藤之宮遺跡（地図未掲載）、弥藤吾新田遺跡が知られるほか、行田市池守遺跡、小敷田遺跡などが知られる。集落では、北島遺跡においては弥生時代に続いて大規模な集落が営まれており、東沢遺跡とあわせて河川跡から鋤・鍬をはじめとした多量の木製農具を出土した遺跡として知られる。さらに、北島遺跡では東海地方にその系譜が求められるパレス壺や高坏が多く見られ、近接する小敷田遺跡においても畿内や東海地方などの外来系の土器が多数出土している。

墓域の存在としては、一本木前遺跡、上敷免遺跡、東川端遺跡等で方形周溝墓群が確認されている。これら方形周溝墓も古墳の出現とともにその影響を受け、江南台地では埼玉県指定史跡である塩古墳群 I 支群（地図未掲載）の前方後方墳や方墳などのように古墳が定着する過渡期の墳墓が出現する。中期の様相は、他の時期と比べて不明な点が多いが、集落が大規模に展開していくのは中期後半以降となるようである。市内の北島遺跡、中条遺跡（地図未掲載）、藤之宮遺跡、前中西遺跡等、深谷市の森下遺跡（地図未掲載）等で遺構・遺物が検出されている。森下遺跡では竪穴建物跡が 8 軒検出されており、大型建物跡を中心に配置されている。

一方、古墳に目を転じてみると、数こそ少ないが、妻沼低地の福川の自然堤防上に市指定史跡・横塚山古墳が存在する。これは、B 種横刷毛の埴輪をもつ前方後円墳（後円部は一部欠損）である。

後期になると遺跡数は爆発的な増加をみる。集落は台地ばかりでなく自然堤防上にもさらに積極的に進出を図っていったようであり、奈良・平安時代へと継続して展開する大規模なものも多く見受けられる。市内では櫛挽台地の三ヶ尻遺跡、新荒川扇状地の樋の上遺跡、妻沼低地の本郷前東遺跡、新屋敷東遺跡、一本木前遺跡、飯塚南遺跡等をはじめ数多くの遺跡が確認されている。樋の上遺跡では平安時代までの竪穴建物跡が 150 軒以上検出されている。一本木前遺跡では古墳時代後期を中心に奈良・平安時代の竪穴建物跡が 450 軒以上も検出されており、河川の氾濫にもかかわらず同じところに累々と集落が営まれている状況が確認されている。また、同じく後期の祭祀跡も発見されている。

古墳を見てみると群を形成して築造されているのがわかる。櫛挽台地の別府古墳群、在家古墳群、籠原裏古墳群、三ヶ尻古墳群、深谷市木の本古墳群、新荒川扇状地の広瀬古墳群、石原古墳群、肥塚古墳群（地図未掲載）、荒川右岸の段丘堆積層上の埼玉県指定史跡の深谷市鹿島古墳群（地図未掲載）、妻沼低地の中条古墳群（地図未掲載）、上之古墳群（地図未掲載）、上江袋古墳群等数多くが分布する。これらは概ね 6 世紀から 7 世紀ないしは 8 世紀初頭にかけて形成された古墳群である。市内において特筆すべき古墳を挙げると、籠原裏古墳群は川原石乱石積の胴張型横穴式石室を有する古墳群であるが、7 世紀後半～8 世紀初頭の築造と考えられる特異な八角形の墳形をもち、刀装具等特殊な遺物が出土した古墳の存在が知られており、終末期の古墳の様相、さらには幡羅郡家跡である幡羅遺跡との関係においても見逃すことのできない発見である。広瀬古墳群中の宮塚古墳は、上円下方墳という特異な墳形を今に残し熊谷市唯一の国指定史跡として知られている。肥塚古墳群では、川原石乱石積と角閃石安山岩切組積の 2 種類の胴張型横穴式石室をもつ古墳が確認されており、前者は荒川水系の石材、後者は利根川水

系の石材と判断され非常に興味深い様相を呈している。中条古墳群中の鎧塚古墳（地図未掲載）は全長43.8 mの帆立貝式前方後円墳で、須恵器高坏型器台等（県指定文化財）を伴う墓前祭祀跡2か所が確認されており、築造年代は、5世紀末～6世紀初頭に比定されている。

奈良・平安時代には、この地域も律令制の体制に組み込まれていき、市内には幡羅郡、男衾郡、大里郡、埼玉郡の4郡が存在していたとされる。本遺跡群周辺一帯はそのうち幡羅郡に属し、現在の市域の西部及び北部、深谷市東部の一帯が該当すると考えられている。

前述したとおり、古墳時代後期に自然堤防上の微高地に形成された集落の多くは、増減はするものの奈良・平安時代へと継続されていき、また規模の大きいものが多い。このころの中心的集落遺跡は妻沼低地の北島遺跡にみられる。300軒以上もの竪穴建物跡が検出されている大規模集落である。7世紀から9世紀までを中心に、12世紀さらには中世にまで及ぶ集落であり、大規模な掘立柱建物跡・道路状遺構・河川跡等様々な遺構と遺物が検出されている。また、9世紀前半には二重の溝で区画され、区画内に大型の掘立柱建物跡と少数の竪穴建物跡で構成される地区が登場している。この区画施設は、10世紀前半には位置を変え、11世紀前半には消滅する。つまり、北島遺跡は地域の中核となる典型的律令制集落と考えられる。近隣には、7世紀末から8世紀初頭頃の出拳木簡を出土した小敷田遺跡、整然と配された9世紀代の掘立柱建物跡群が検出された池上遺跡も存在する。また、諏訪木遺跡（地図未掲載）では、古墳時代後期から平安時代にかけての祭祀が行われた河川跡が検出され、玉類、被熱した銅鏡、さらには齋串・人形等の木製祭祀具を使った水辺の祭祀が行われていたことが確認されたほか、平安時代の溝に区画された集落跡や大型の掘立柱建物跡群、多数の灰釉陶器や緑釉陶器が検出されるなど官衙の様相が看取できる。

集落以外の遺跡では、櫛挽台地北東端に深谷市幡羅遺跡が所在する。この幡羅遺跡は東西約500 m、南北約500 mの範囲をもつ幡羅郡家跡であり、これまでに郡庁院を除く正倉院、館、厨家、曹司、道路などの施設が検出されている。そして、この幡羅遺跡に隣接して西別府官衙遺跡群（西別府遺跡・西別府廃寺・西別府祭祀遺跡）が存在し、郡家との関連で注目されている。西別府遺跡は幡羅遺跡と一体の遺跡と捉えることができ、西別府廃寺は郡司が創建に関わったとされる8世紀初頭創建の寺院、西別府祭祀遺跡は7世紀後半から11世紀まで石製模造品や土器を用いて湧泉で行われた水辺の祭祀跡である。また、この西別府祭祀遺跡北西の妻沼低地上の本郷前東遺跡・新屋敷東遺跡では、河川跡の縁辺部や集落内の祭祀跡で7世紀前半の土器と共伴する石製模造品が出土し、水利にかかわる再生を祈願した水の祭祀と理解されている。なお、幡羅遺跡及び西別府遺跡、西別府廃寺、西別府祭祀遺跡に挟まれる空間地は、最近郡家の郡庁院が存在するのではないかと注目されている。本遺跡は、これら遺跡群の存在期間内に含まれ、近接地点に存在が確認された。また、遺構・遺物ともに官衙的要素を持つことから、密接に関わる遺跡であると考えられる。台地下の低地には、同郡に属する別府条里遺跡や道ヶ谷戸条里遺跡が所在し条里制に関わる遺構の痕跡をとどめている。条里跡の存在については、同じく幡羅郡に属する市内東部の中条条里遺跡（地図未掲載）が所在する。

平安時代末から中世になると、武蔵七党やその他の在地武士団の館跡が散在するようになるが、実態については不明なものが多い。本報告遺跡群の近辺の櫛挽台地には別府城跡、別府氏館跡、西別府館跡等がある。別府城跡は別府氏の居館で、現在でも土塁と空堀が良く残っている。西別府館跡は、以前は

土塁を一部残す状態であったが、現在は石標が存在を示すのみである。また、新荒川扇状地にある三ヶ尻地区には黒沢館跡が所在し、また、樋の上遺跡、若松遺跡、社裏北遺跡、社裏遺跡、社裏南遺跡といった土坑墓が多数検出された遺跡などの中世遺跡や遺物が確認されている。特筆すべきは黒沢館跡で、発掘調査により出隅をもち全周する堀と土塁、虎口などが検出され、渡辺華山が記した文献である『訪舘録（ほうちょうろく、ほうへいろく）』にある「黒沢屋敷」と調査成果が一致するという大変貴重な例である。ところで、中世に関しては依然として資料がまだまだ不足している状態で、今後の資料の蓄積に期待される状況であるが、荒川右岸の江南地区では鎌倉時代初期から多数の板石塔婆が存在することから、信仰心の厚い有力な武士が存在したことが分かる重要な資料が残っていることで注目される。

最後に、近世については、本遺跡群に隣接して櫛挽台地先端に所在する西方遺跡で土坑墓群が検出されているほか、西別府廃寺内に検出された土坑群や堅穴遺構からは近世の陶磁器、瓦質土器、瓦、古銭などが出土している。本遺跡では、東別府氏の領地である「友成」の小字名が残る地点に挟まれており、別府氏に係る痕跡がみられた。なお、近世についても中世と同様に、市内において調査例がみられるものの、不明な点が多いといった実態である。

Ⅲ 遺跡の概要

1 調査の方法

発掘調査は、調査区を前期・後期にわけ、反転して実施した。まず、重機により遺構確認面まで重機により表土剥ぎを行った後、一辺5mのグリッドを設定した。グリッドは世界測地系（測地成果2011）を基準としている。グリッド設定にあたっては、南北方向を北から、A、B・・・とし、Z以降はAA、AB・・・とした。東西方向は、西から1、2・・・とした。したがって、西北端がA-1グリッドとなり、東南端はAC-31である。グリッド設定後は、人力による遺構確認のための精査を実施し、確認された各遺構は各々手掘りを行った。遺物は必要に応じて写真撮影・実測後、慎重に取り上げを行った。遺構についても必要に応じて写真撮影した後、実測を行った。そして最後に遺構全体の空中写真撮影を行い、後期調査も同様に実施した。

本報告で示すグリッドについて、幡羅遺跡・西別府官衙遺跡群の報告において、深谷市教育委員会にて設定された、100mグリッドによる「グリッド分割図」が示されている。本遺跡の設定グリッドにあてはめると、(在家) L-3ラインが(幡羅) XIII-Qラインにあたる。よって、幡羅遺跡グリッドでは、XIII-P、XIV-P、XIII-Q、XIV-Qグリッドに本報告地点が含まれる。

2 検出された遺構と遺物

今回の調査で検出された遺構と遺物は、遺構が堅穴建物跡15棟、掘立柱建物跡23棟、溝跡23条、土器廃棄遺構7基、土取り遺構6基、土坑57基、性格不明遺構8基、ピット1254基である。しかしながら、調査区の形状が特殊で幅が限定的であったことに加えて、調査区全域にわたり攪乱がみられ、特に北側半分は深い攪乱が多く、遺構の検出・判断に大きな妨げとなった。そのため、遺構についての判断は数少ない情報から導き出したものが少なくない。遺憾ながら、掘立柱建物を主体として、拾上げら

れなかった遺構があることが推測される。また、遺構図のうち、土層図については上層の攪乱が著しく、確認面からの土層とせざるを得ないものが多くなっている。全測図は割図としたため、第5図にその配置を示し第6～11図が対応する。

出土遺物は、奈良・平安時代に帰属するものが主体であり、土師器、須恵器、内黒土器、灰釉陶器等の土器、土製品として土錘、紡錘車、石製品として砥石、鉄製品として刀子、鉄釘、用途不明品と椀型滓を検出した。その他の時代のものとして、縄文土器、弥生土器、中世陶器、白磁、青磁、近世陶器等が出土している。

奈良・平安時代については、8世紀前半から9世紀代にはほぼ集約される。全体的傾向として、精緻なつくりで、使用の痕跡が薄いものが多いことが挙げられる。また、数は少ないながら、円面硯・高盤・朱墨の墨壺が検出されたほか、墨書土器・朱書土器・刻書土器による文字資料の検出、暗文施文の土師器（以下、暗文土器と呼称する）の比率が高い、転用硯がみられるなど、官衙の様相をもつ遺物が含まれている。

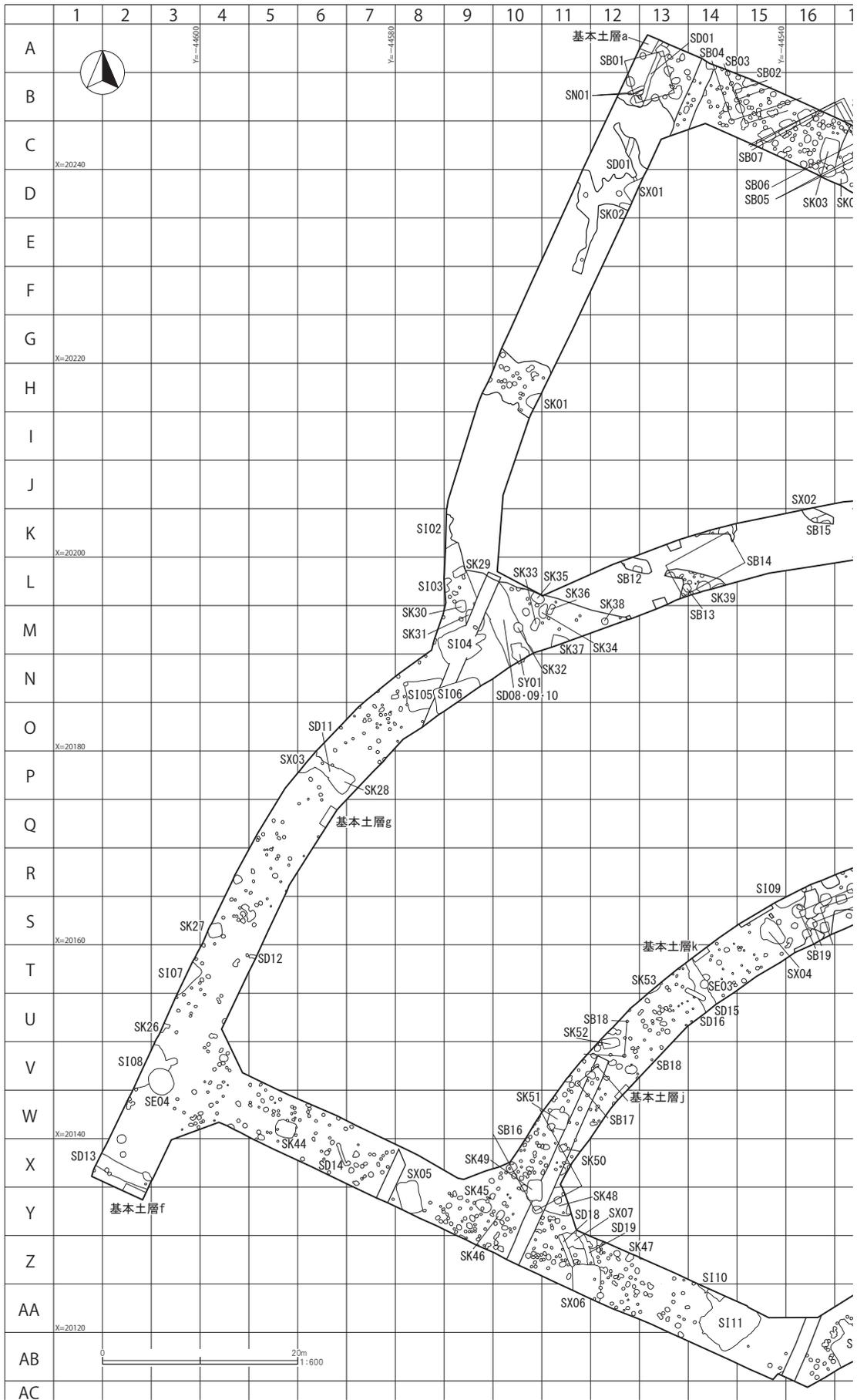
須恵器は、8世紀は南比企産が主体を占めるが、8世紀後半から末野産が一定数みられ、9世紀代は末野産が主体となる傾向がみられる。他地域からの流入品として、三毳産須恵器が8世紀中頃から9世紀後半までみられるが、数量は多くない。また、第108図99の箱型高台坏形状を呈する内黒土器は常総方面からの流入品とみられる。第63図9は小型短頸壺であるが内面に朱墨が確認され墨壺としての用途が考えられる。

土師器は在地産のものが大半である。坏類は北武蔵型に分類されるものが主体を占め、模倣坏は確認されなかった。暗文土器は一定量確認され、放射暗文のもの、底部に螺旋暗文・体部に放射暗文のもの、螺旋暗文のものがみられた。胎土をみるとマーブル状の呈するものが大半である。ただの練込の痕跡とみるよりは、一般的な土師器との差異とみられるか。深碗形状をとる暗文土器は、内面に数段の螺旋暗文をもつもので、精緻なつくりである。幡羅遺跡・西別府遺跡群でも出土例は少数であり、特徴的な遺物と思われる。その他僅かながら、いわゆる暗文系無文坏・皿や、北武蔵型坏に暗文施文されているものも出土している。

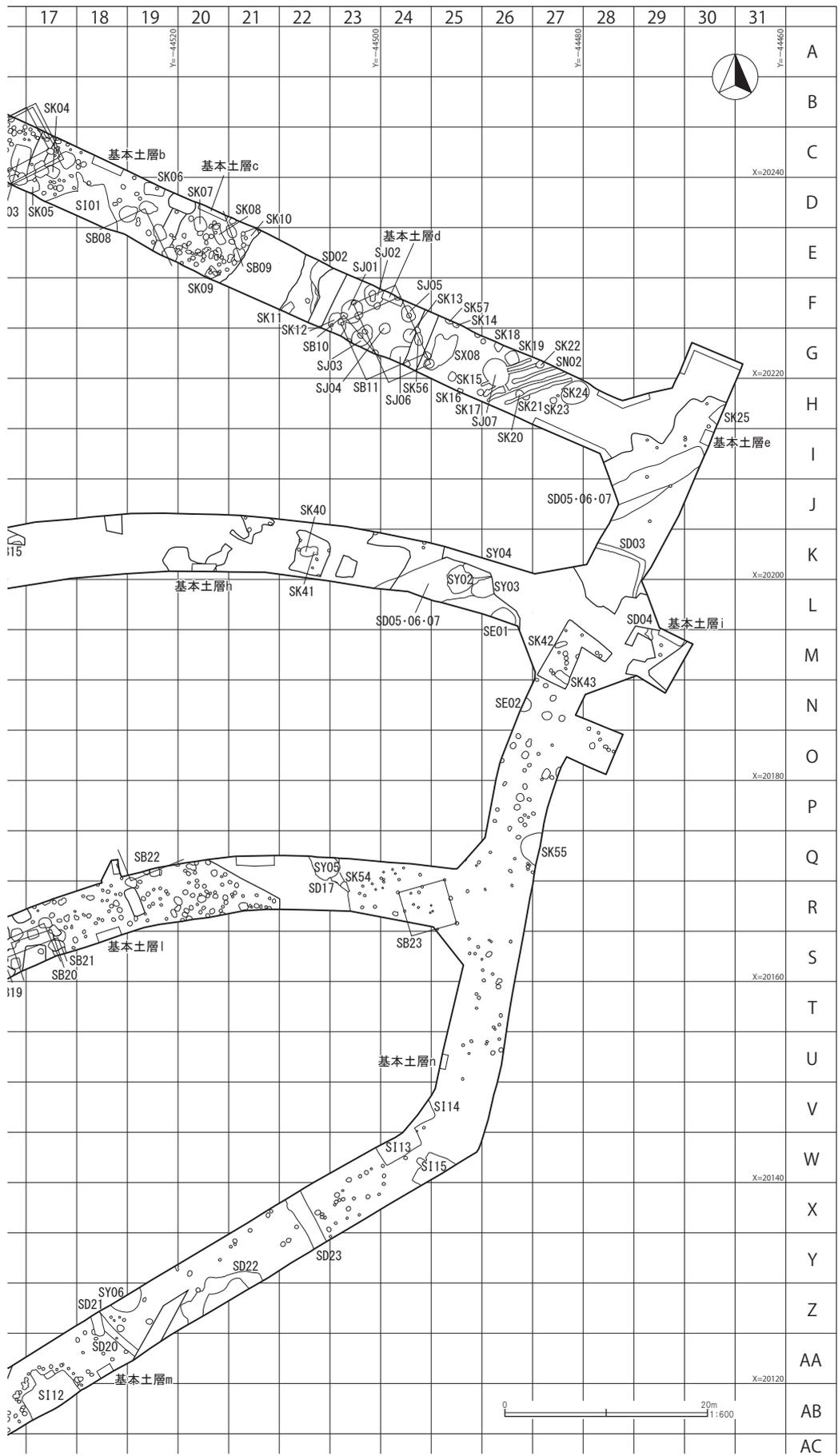
鉄製品は、刀子の断片が少量ながら検出され、官衙の様相を示す一助といえる。また、椀形を呈するスラグが散在しており、鍛冶炉などの直接的な遺構は未検出だが、小鍛冶の痕跡として考えたい。

その他の時代に帰属する遺物である、縄文土器片、石器、弥生土器片は遺構の検出がないことから流れ込みと判断される。少量ではあるが、青磁・白磁・瓦質土器などの中世遺物は、当該期の遺構の存在を示唆し、文献上からは東別府氏に関連する可能性が窺える。近世遺物については判断が付かないものが多い。

遺構について、竪穴建物跡は15棟検出した。調査区北側の溝による区画内に大形の竪穴建物跡1棟とその他14棟の傾向があり、大形の掘立柱建物との棲み分けがなされているか。転じてカマドをみると、北カマドのもの（S I 01・11・12・15）と東カマドのもの（S I 03・04・08・(05・06・13)）に分けられる。形状的には、主軸（カマド）方向に長い長方形のもの、主軸（カマド）方向が短いやや長方形のものに分けられる程度で、不明な点が多い。S I 01は大形の竪穴建物跡であるが、後述の区画内に配置されることから、特異性をみいだせるか。時期的にみると、8世紀前半、8世紀中～後半、9世



第4図 全測図



紀前半、9世紀後半のグループでまとまるようにみうけられる。

掘立柱建物跡は23棟検出した。軒数が多く、また内容も1間×1間のものが多いが、中世遺構も存在することから、遺構面の残存が少ない小形のピットも可能な限り検証し、拾い上げた結果である。規模から大別すると、大形のもの（S B 05・06・07・08・09・19・20・21・22）と中形のもの（S B 01・02・10・11・16）とそれ以外のものに分類され、概ね大形・中形のは奈良・平安時代に帰属し、それ以外のは時期不明である。S B 05・06・07及び19・20・21は建て替えがなされている。また、S B 5・8・19・20は足場柱穴とみられる小ピットが巡っている。S B 11は土器廃棄遺構群と重複する、原初の三面廂の形態とみられる。

溝跡は計23条を検出した。奈良・平安時代15条の他は時期不明である。特筆すべきは、S D 05・06・07が東西方向、S D 08・09・10が南北方向で直交する位置関係にあり、時代も奈良・平安時代で一致することから、一連となって構成する区画施設としての溝（以下、区画溝と呼称）とも考えられ、少なくとも3時期を見出すことができる。主軸方向は、N-65°-E、N-25°-Wを示し、区画内の大形掘立柱建物と軸が概ね一致する。その他、区画溝の可能性として、主軸方向がN-27°-WとなるS D 15が挙げられ、上記S D 08・09・10に主軸方向が近似し、S D 15の東側には、主軸が近似する大形のS B 19・20・21が所在する。

井戸跡は計4基を検出した。いずれも円形のプランであり、基本土層XV層である砂礫層まで掘削されているとみられる。S E 01は青磁や白磁などの中世遺物が検出され、龍泉窯産青磁から平安時代末から鎌倉時代初期に帰属すると考えられる。S E 02・03・04は時期不明である。現在では、いずれの井戸跡からも湧水はみられなかったが、荒川扇状地である本調査地点の下層に砂礫層は存在しており、当時は伏流水が流れていたことを示すものである。奈良・平安時代の井戸跡は特定できなかったが、S X 01にその可能性が残る。

土取り遺構は計6基検出された。S Y 06以外は溝跡に重複して確認されている。基本土層のうちXI層が横に掘り広げられた特徴があり、断面がフラスコ形状を呈している。ある程度の幅と深さのある掘方箇所を掘削することで省力化を図り、XI層の土壌を獲得することを目的として形成された土坑とみられ、埋没は人為的なものと観察された。なお、S Y 06もXI層までのフラスコ状の掘方である。いずれも奈良・平安時代である。採取された土壌の用途は不明である。なおXI層は混入物の無い粘質土であり、使用目的はこの土壌の特性に関係するか。

土器廃棄遺構は計7基検出された。F-23グリッドからH-26グリッドにかけて集中的に検出されている。底付建物となるS B 11に重複する形で検出されている。形状は円または楕円形のもので大半である。また、本遺構の底面には円形状の窪みが散見される。本遺構以前に存在した柱穴と考えられ、S B 11の他にも掘立柱建物跡が存在した可能性があるが明らかにしえなかった。本遺構の覆土は、粘土・焼土が混入しているものが多い。祭祀的行為に伴うものかは現段階では不明である。

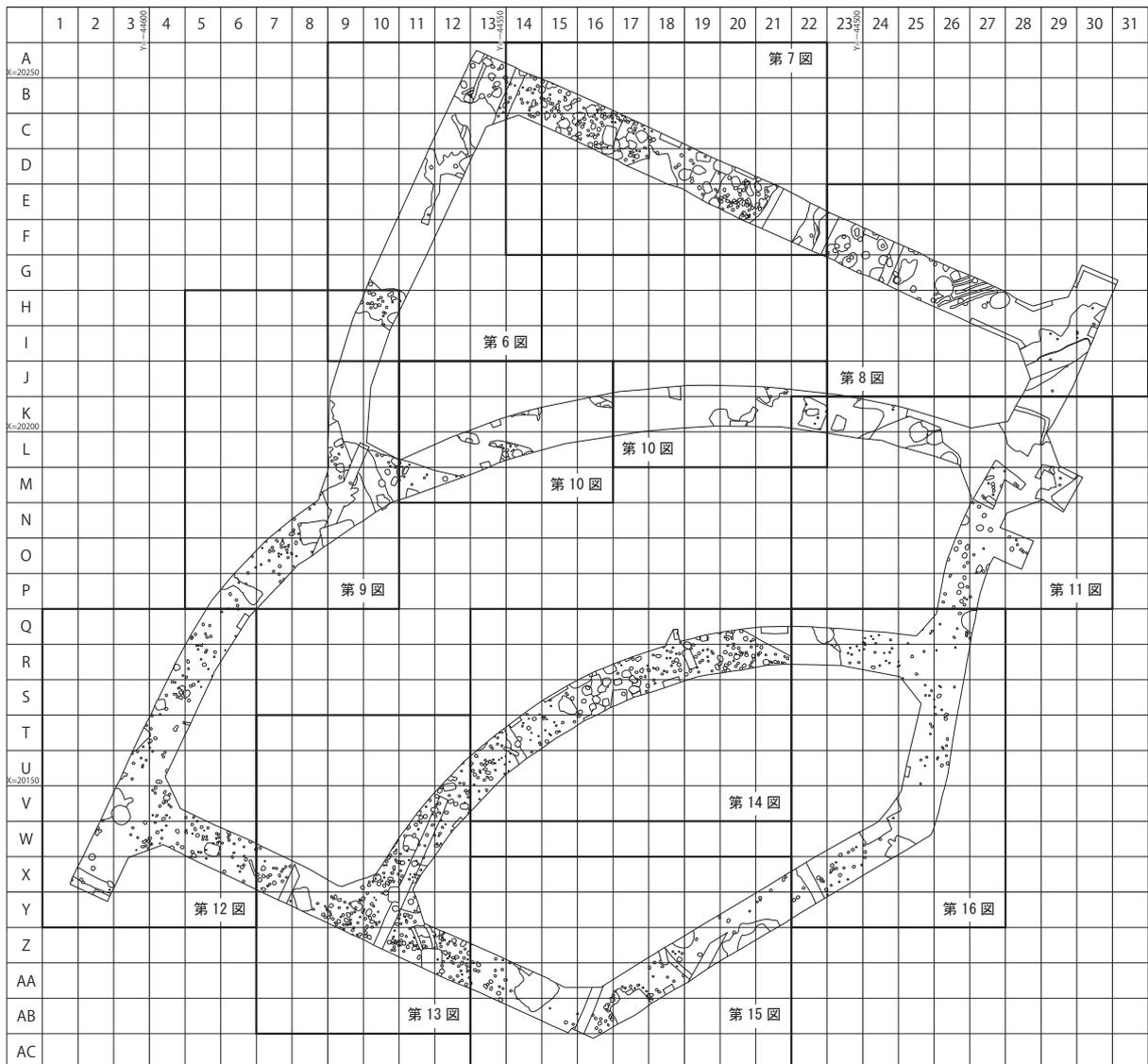
土坑は計57基確認され、調査区全域にわたって検出している。形状は円形から方形まで様々である。出土遺物が少なく、時期不明のもので大半を占めるが、覆土の違いにより、ある程度の時期差が想定される。また、明確にしえなかった掘立柱建物跡の柱穴が含まれている可能性がある。S K 30・33～36はL-9～M-12グリッドに集中して検出された。いずれも楕円形状を呈し、覆土・深度等が共通す

る特徴があり、同様の用途によるものと思われる。

畠跡は2地点確認し、いずれも調査区北側からの検出である。両地点とも主軸方向が近似するため、同時期の可能性がある。残念ながら時期不明ではあるが、奈良・平安時代までは遡らないとみられる。

性格不明遺構は計7基検出した。調査区西側に広く分布する。SX 04を除きいずれも奈良・平安時代に帰属する。SX 01は方形土坑の形状とみられるが、深度が深く、大形の井戸跡になる可能性がある。また、SD 01と連結する点から、特殊な用途も想定できるが確定までは至らない。SX 04は倒木跡の可能性はあるが、出土遺物は本調査では古い時期にあたる。そのほかは、いずれも堅穴状遺構と呼ぶべき様相である。

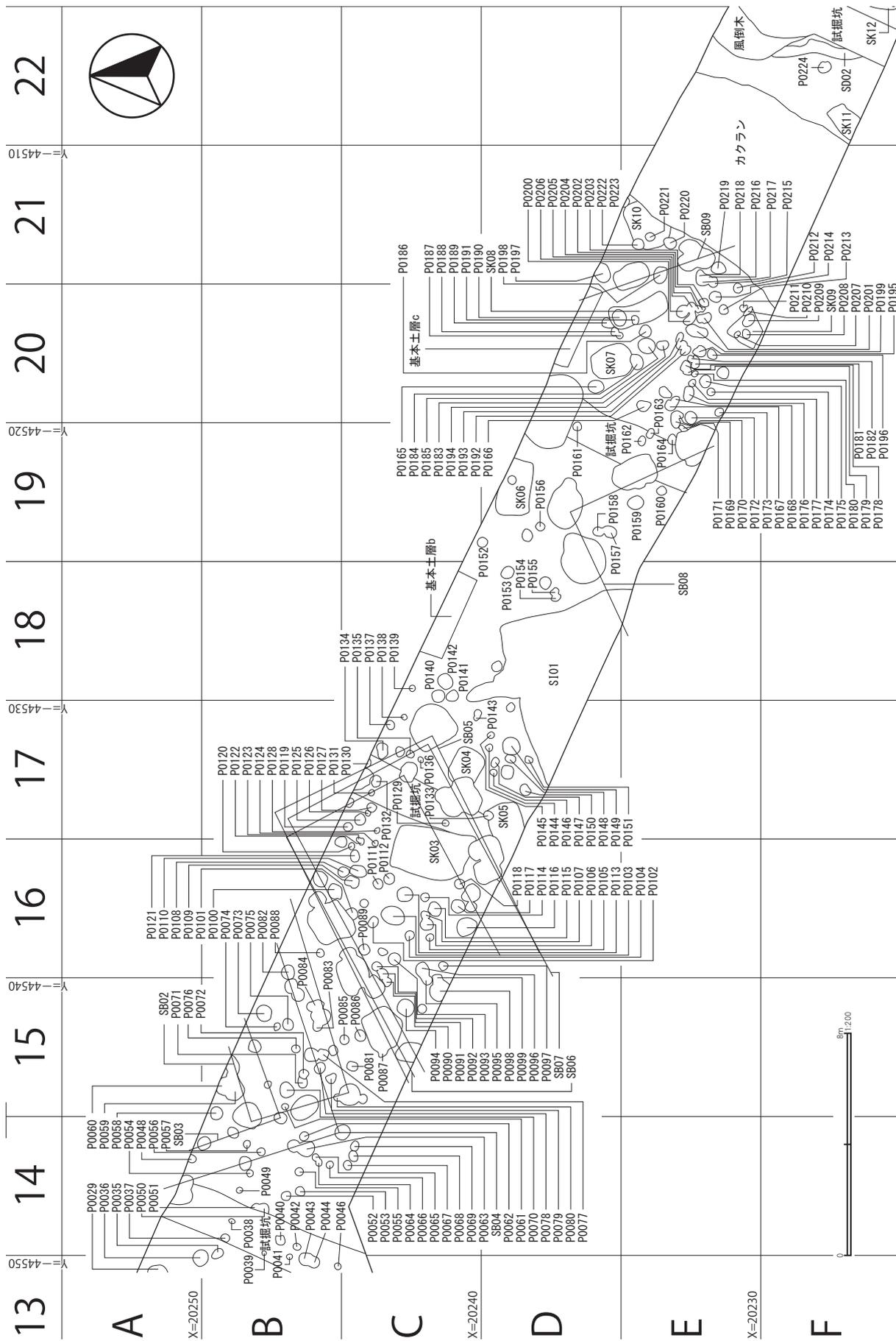
ピットは計1254基検出した。調査区全面に散在するが、地形の落ち込みに連動して東側は薄くなる傾向がある。後述するが、調査区外東側を北流する奈良堰用水路は旧河川の流路の可能性があり、流路(または水路)との間に一定の空閑地が形成されていたことを示していると思われる。



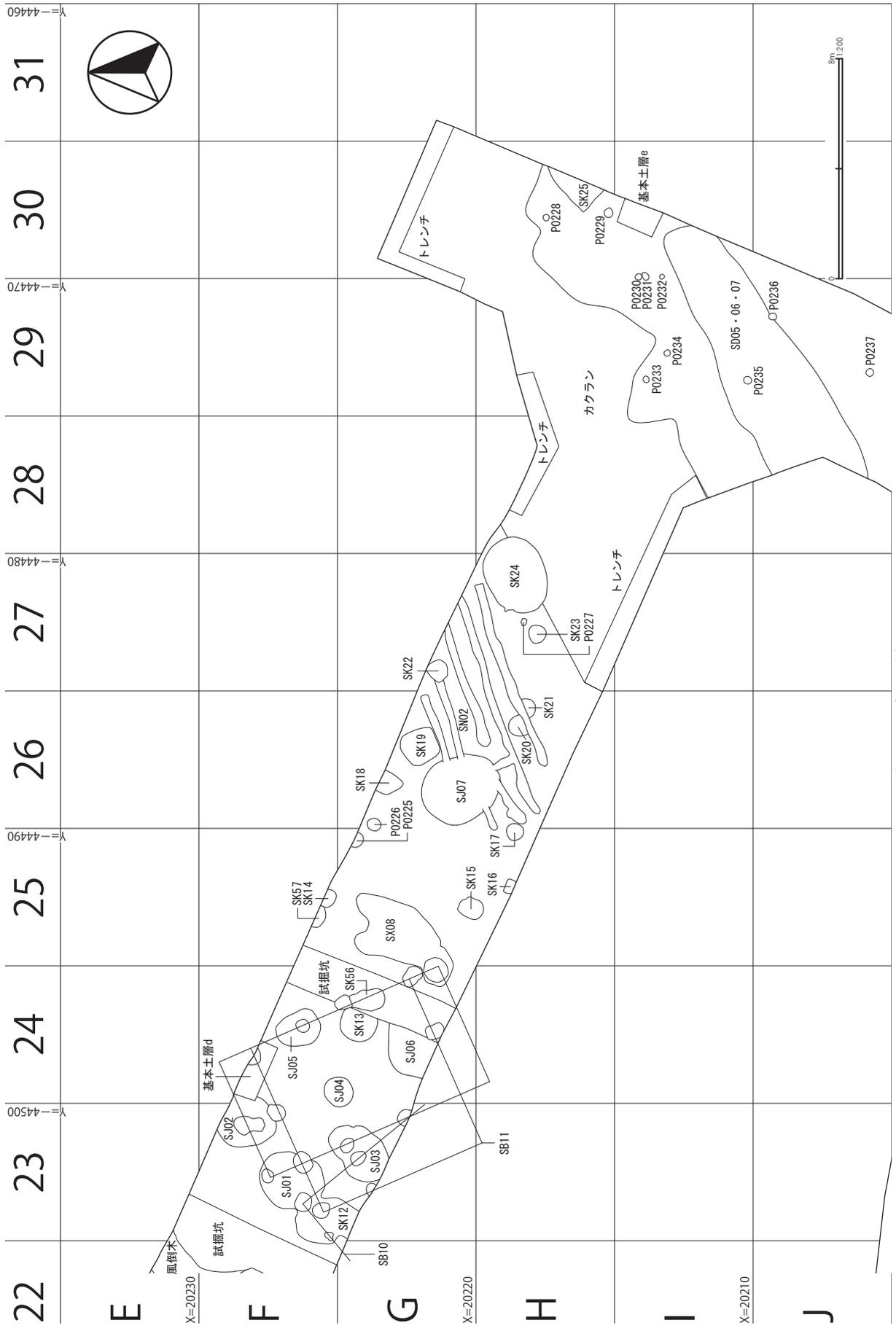
第5図 全測詳細図配置図



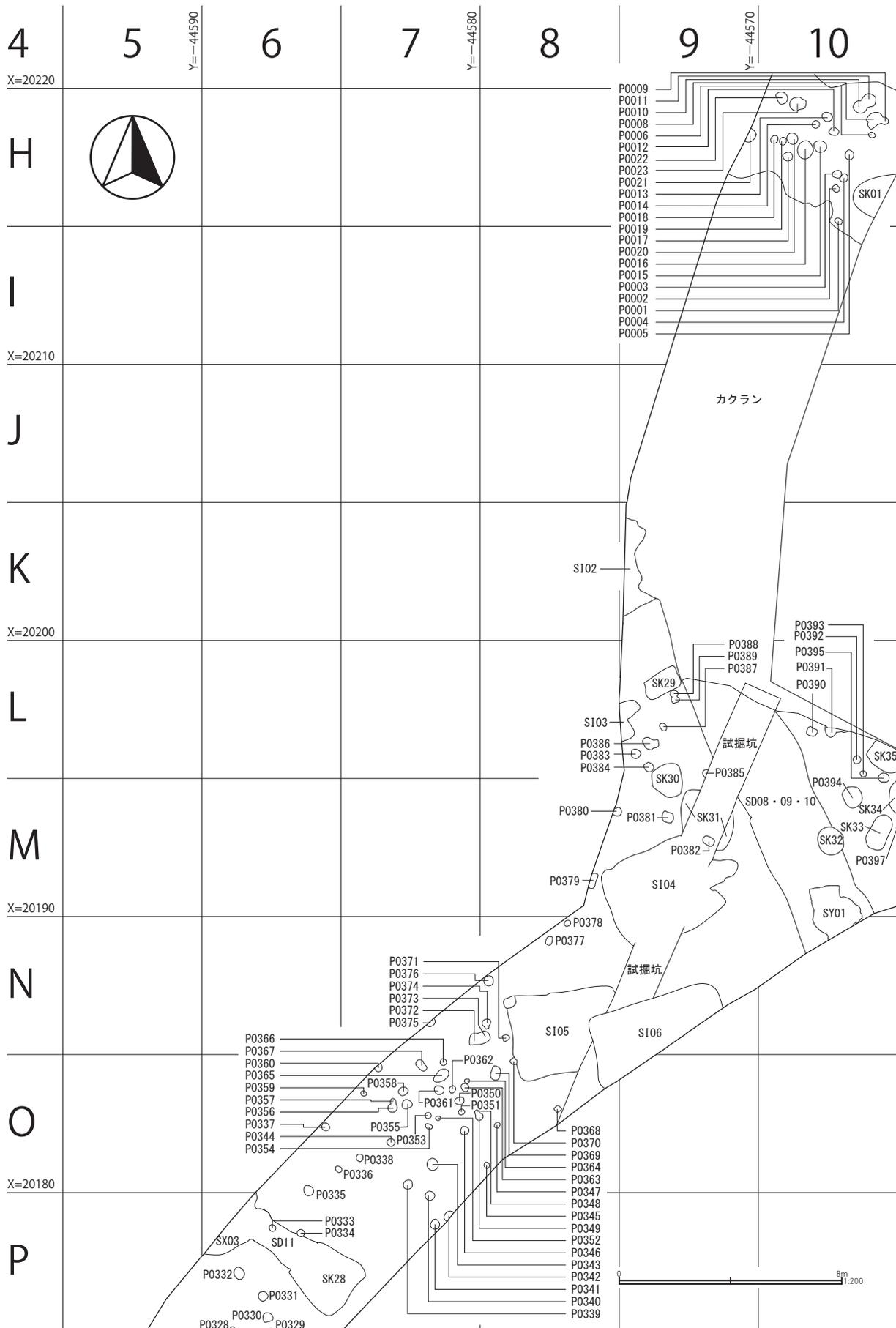
第6図 全測詳細図(1)



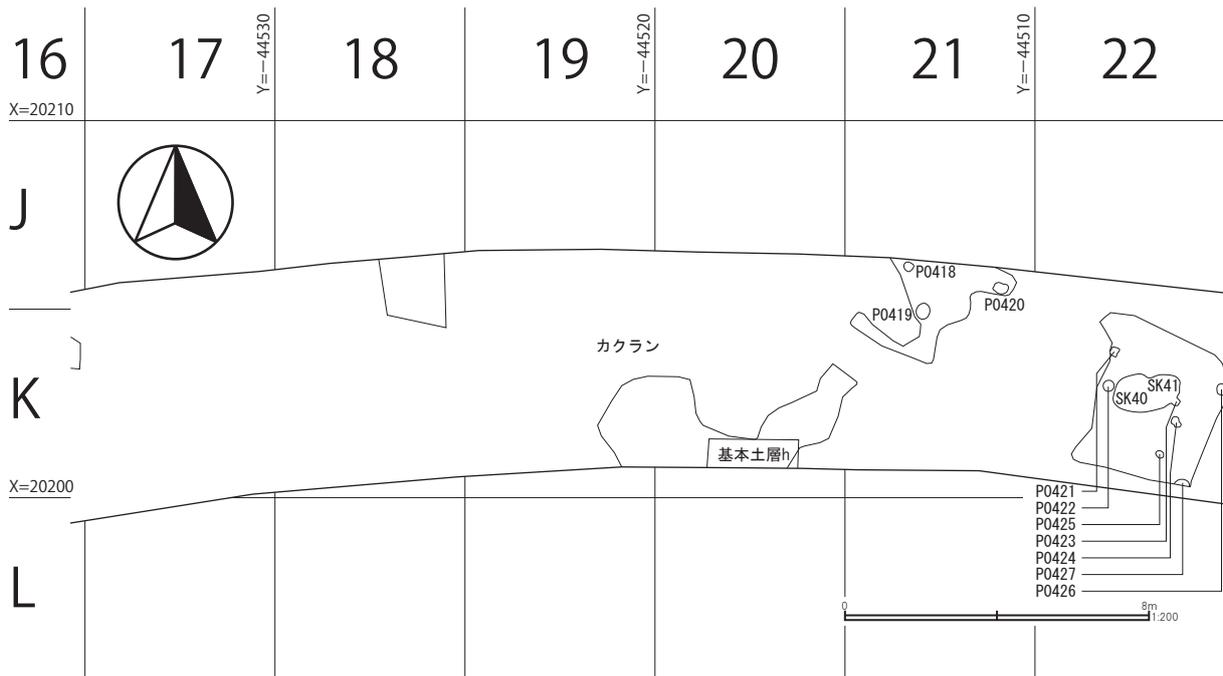
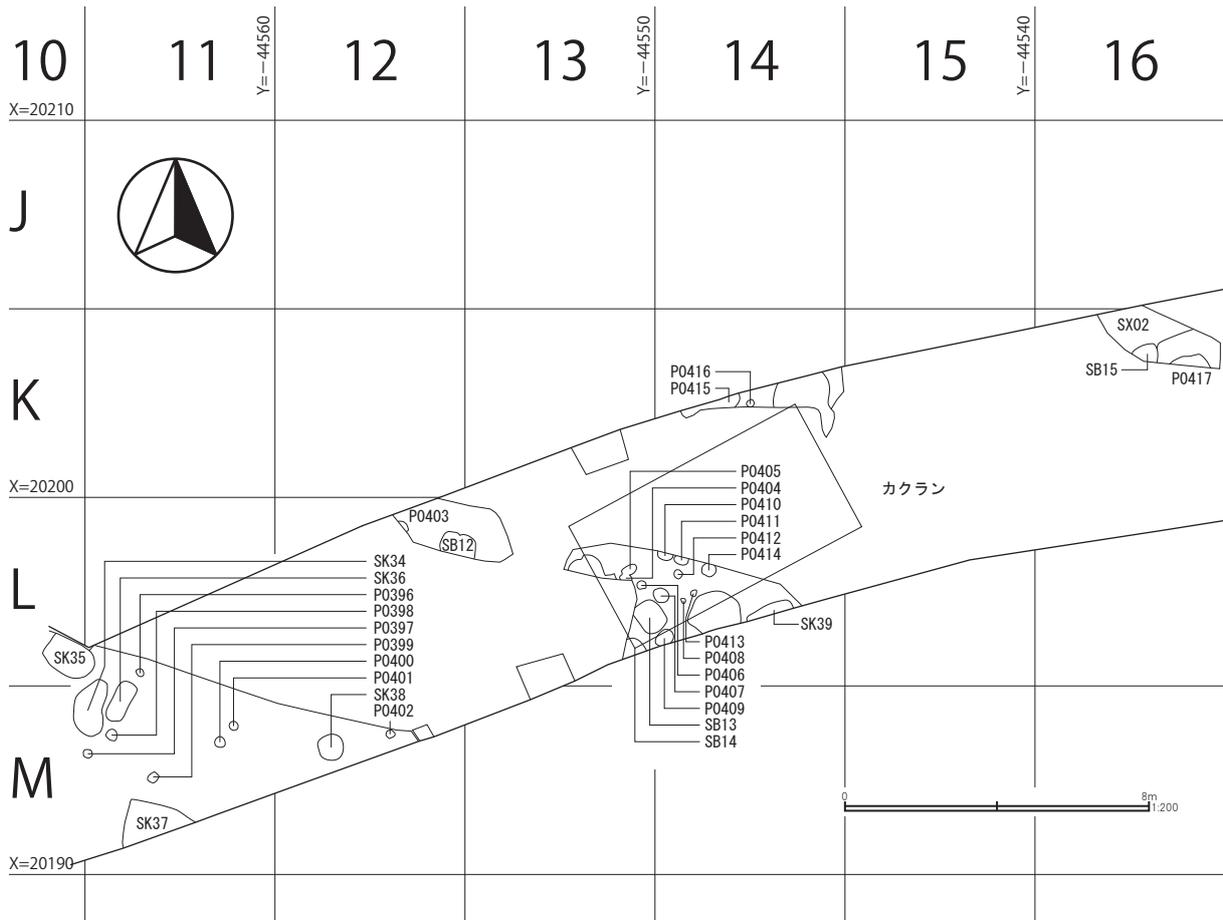
第7図 全測詳細図(2)



第8図 全測詳細図 (3)



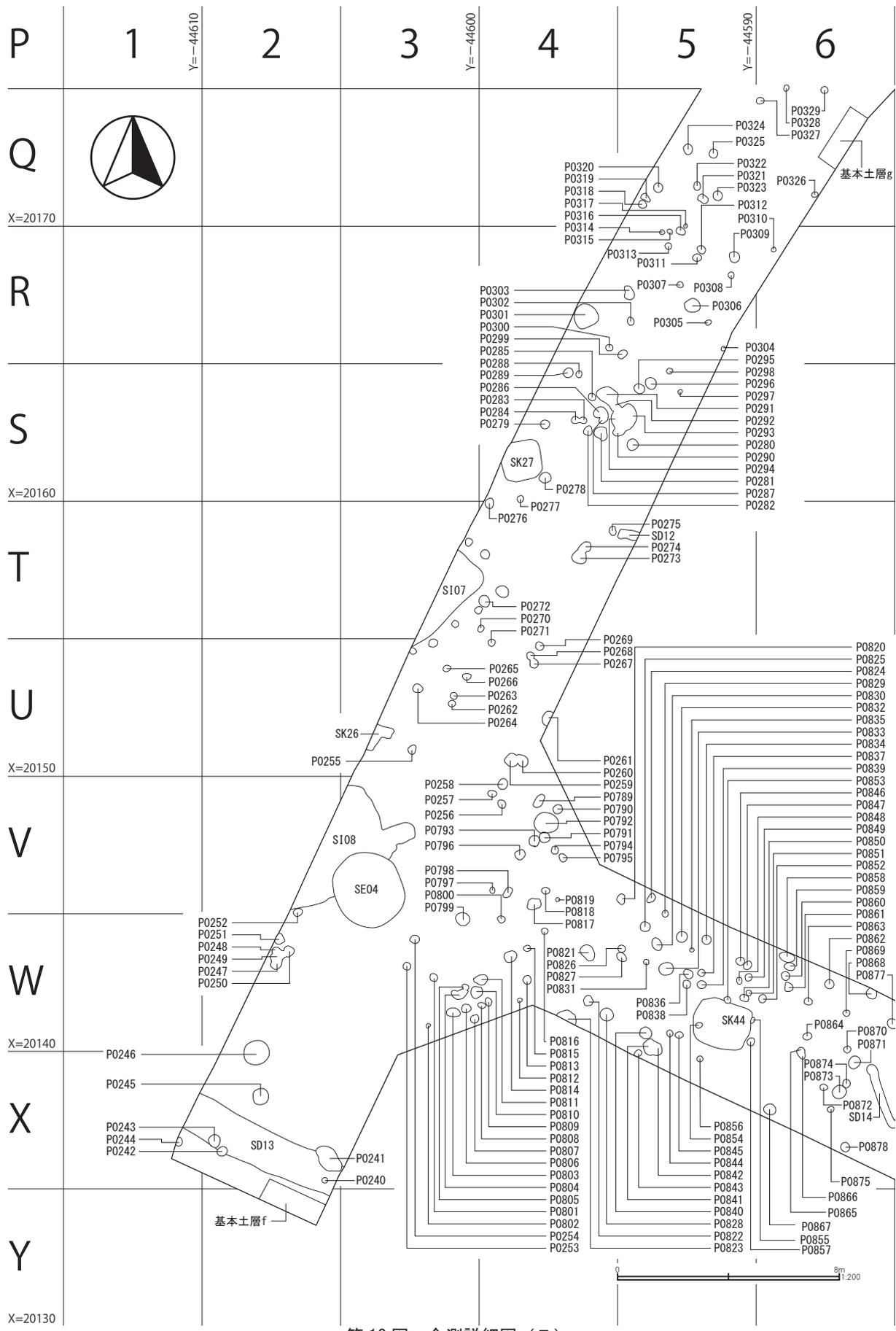
第9図 全測詳細図(4)



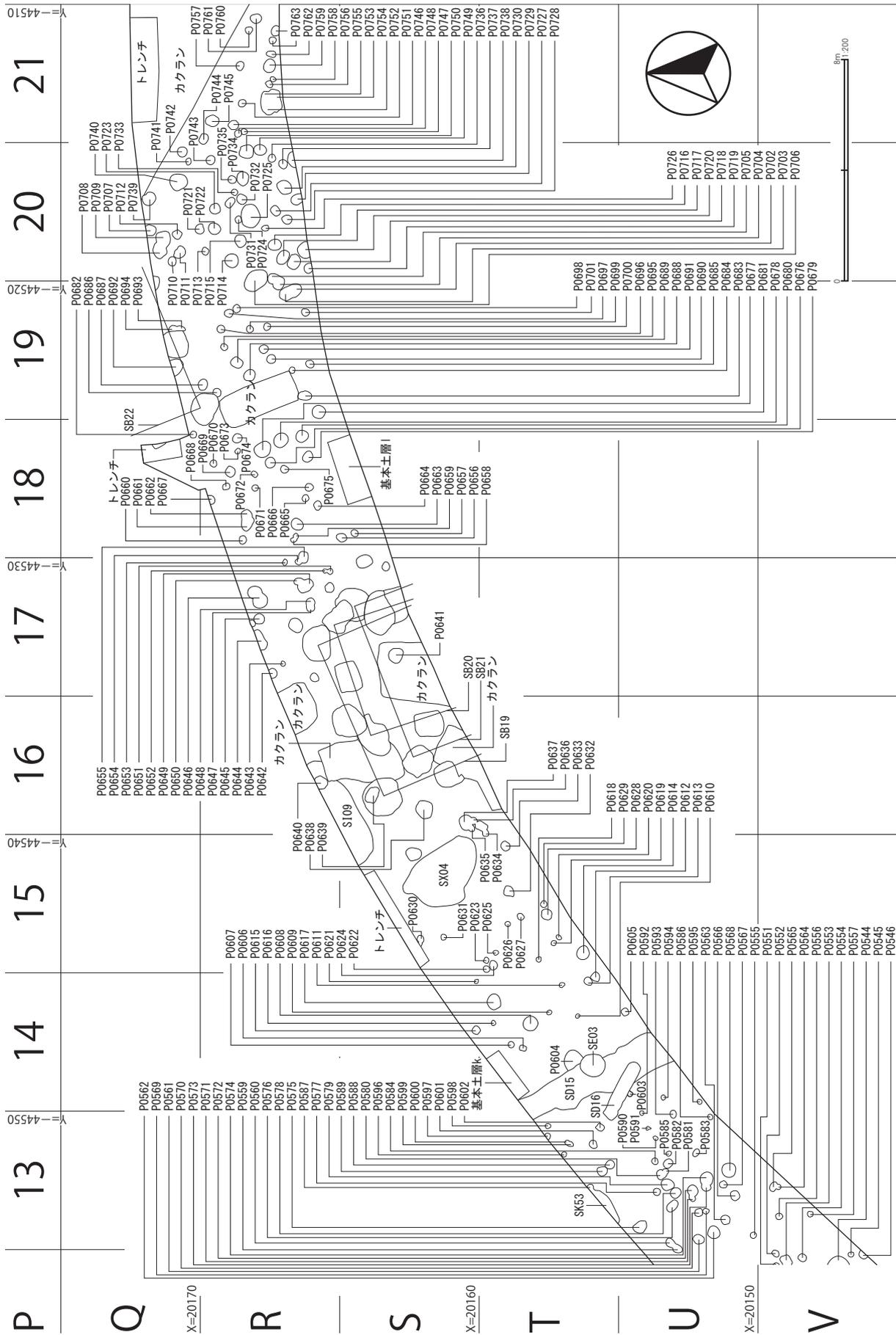
第 10 図 全測詳細図 (5)



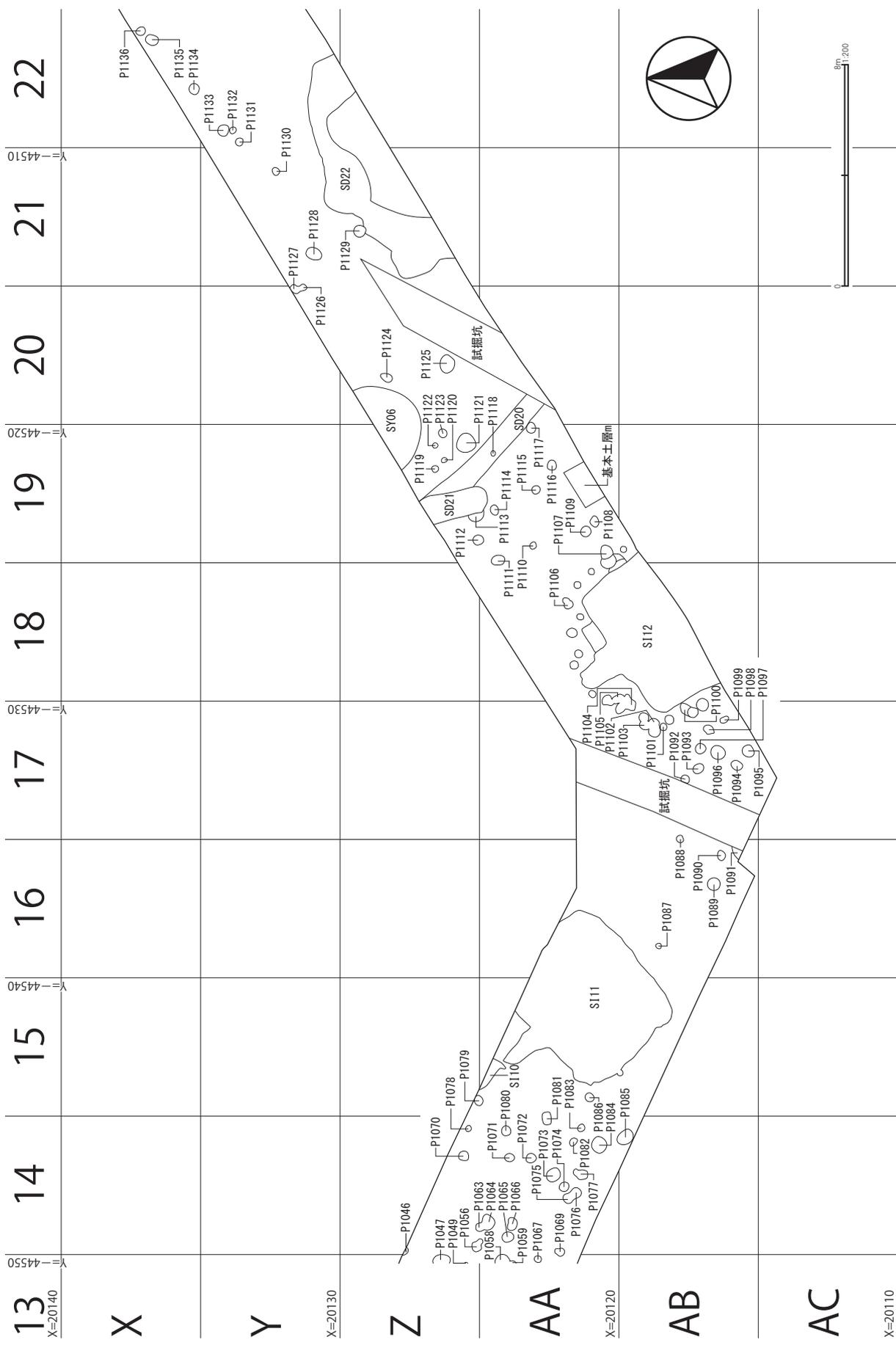
第11図 全測詳細図(6)



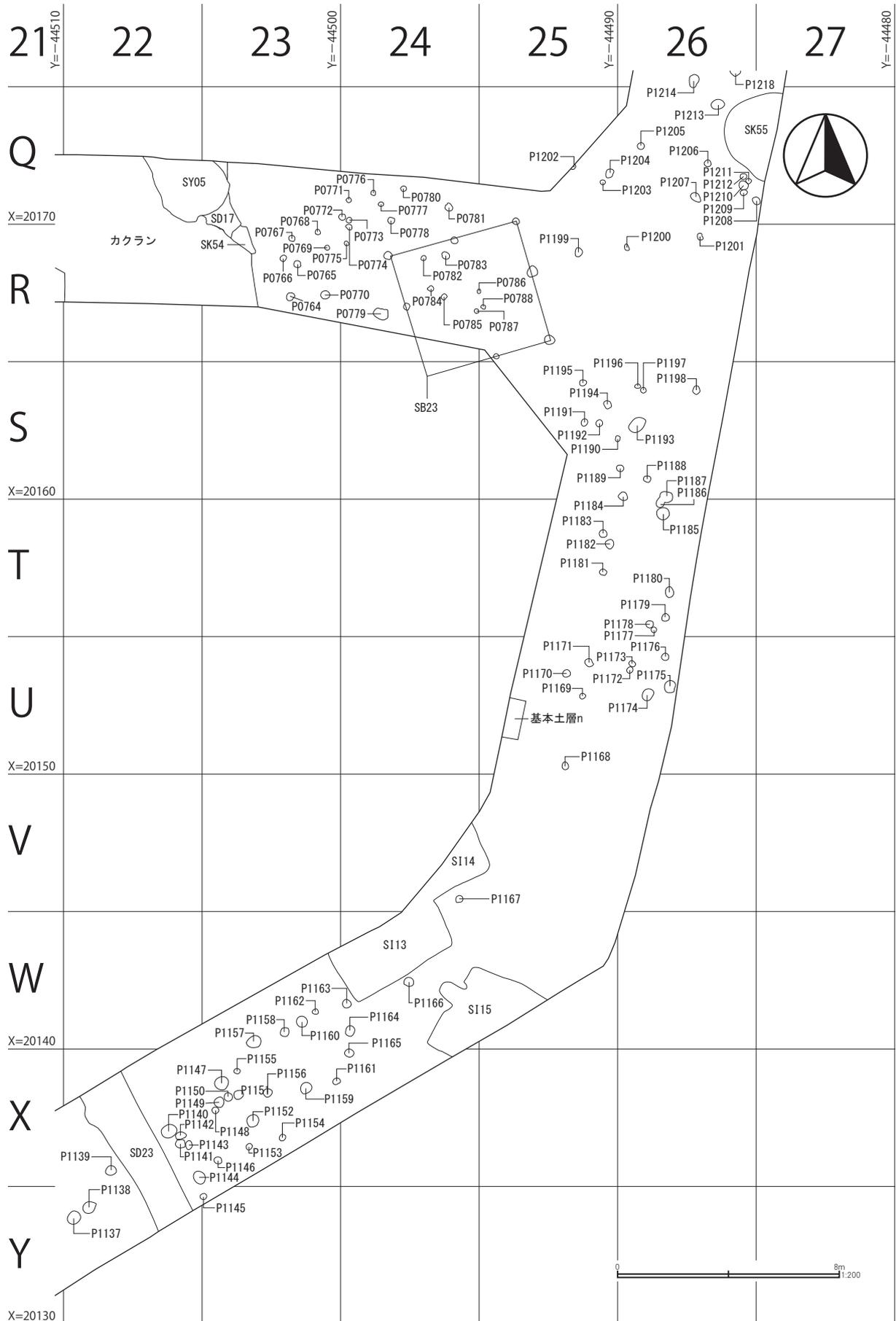
第12図 全測詳細図(7)



第 14 図 全測詳細図 (9)



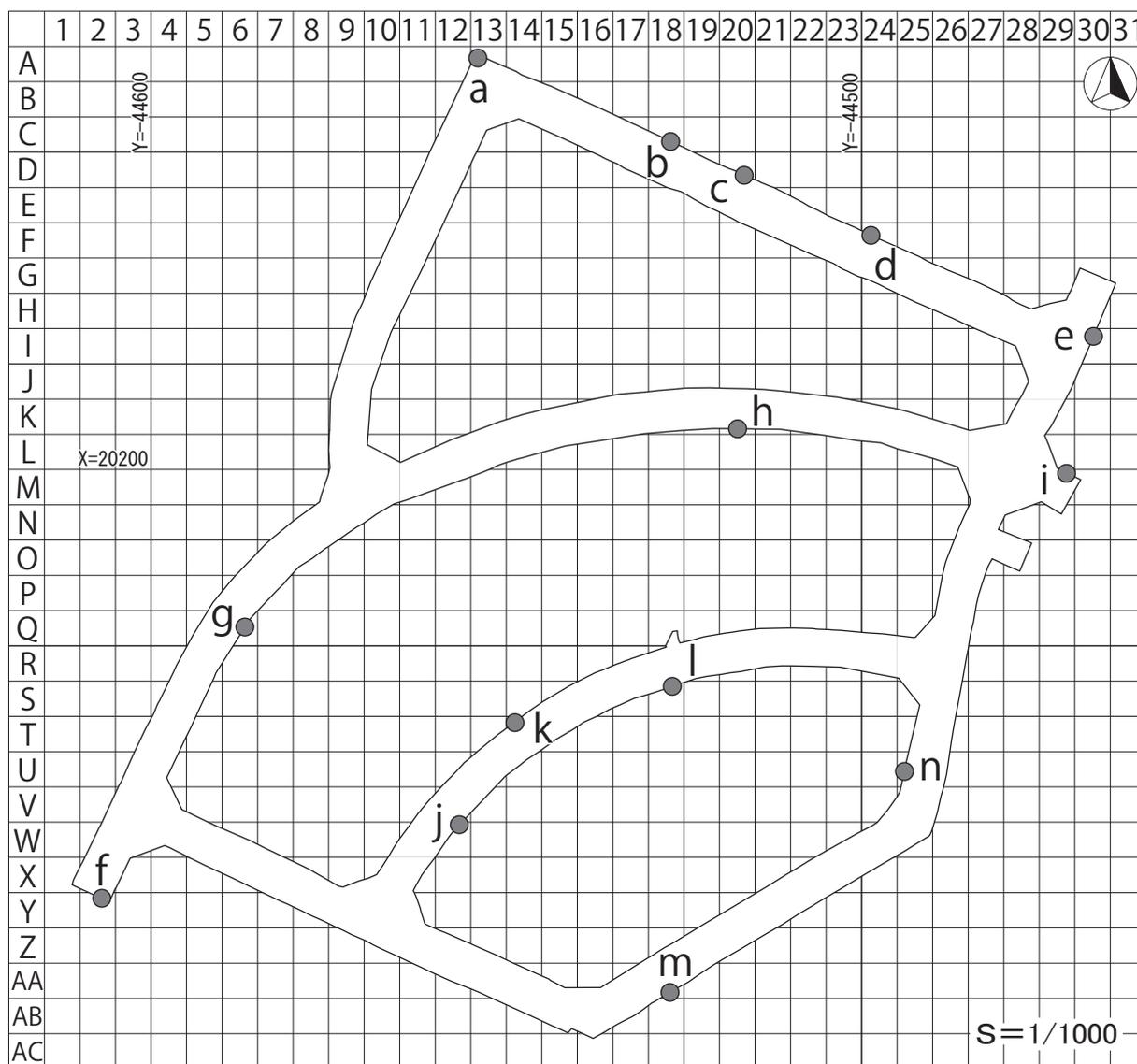
第 15 図 全測詳細図 (10)



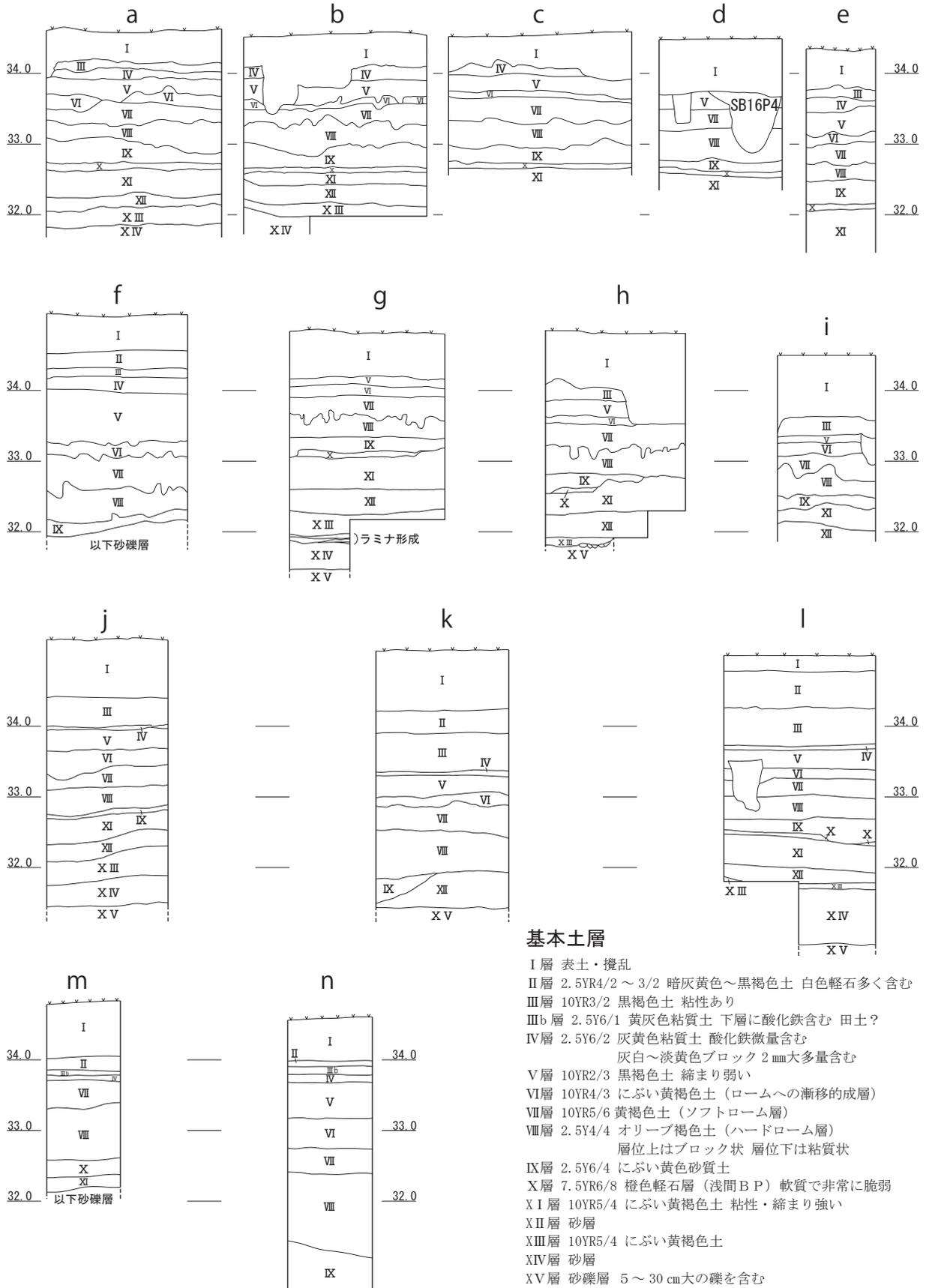
第16図 全測詳細図(11)

3 基本土層

本遺跡は、熊谷市西端の櫛引台地縁辺部に立地する。すぐ東側は妻沼低地であり、現況の地表面からは、台地・低地の境界は明らかでない。本遺跡の地質の詳細については、附編「遺跡の地形とその周辺の地形・地質」にてご寄稿いただいたので、参照されたい。本遺跡の基本土層はⅠ～ⅩⅤ層まで分類され以下のとおりである。地形を概観すると、現地表面は区画整理された土地であるためほぼ平坦であり、Ⅰ層は近年人為的にいじられた土壌と考えられる。ローム面で見ると北側が高く西側が低くなる傾向があり、比高差は約1m程度みられる。しかし、g地点のように地形が上がる箇所もあり、一様な傾斜ではない。これは埋没している荒川扇状地の堆積・浸食状況が緩やかに反映されていると推測する。また、f・m地点ではⅨ層直下に砂礫層が存在し、ⅩⅤ層とは層位から堆積時期が異なると考えられ、旧河川の流路の経緯を示すものとみられる。本調査の遺構確認はⅥ層（ロームへの漸移層）～Ⅶ層（ソフトローム）で行った。攪乱箇所が多くみられたため、都度注意しながら攪乱深度が浅いものはなるべく剥ぎ取っているため、確認面がやや深めになった箇所がある。



第17図 基本土層配置図



S=1/80 土層図の間隔は任意

第 18 図 基本土層図

IV 遺構と遺物

1 竪穴建物跡

第1号竪穴建物跡（第19図）

位置 C・D-17、C・D・E-18グリッドに位置する。

規模 検出範囲で長軸5.9m短軸4.9m遺構残存面からの壁高は0.81m。主軸方向はN-18°-W。

概要 平面形の全容は南側が調査区外につき不明だが、主軸方向が短軸となる長方形の可能性はある。覆土はレンズ状に堆積しており、自然埋没と考えられる。カマドは北壁中央から東寄りに位置する。奥行2m・幅は燃焼部で1m、軸部は検出されていない。燃焼部で落ち込み奥壁までゆるやかに傾斜していき、煙出部は有段であり、遺構外煙道両脇に小形のピットが1対確認された。壁溝は北壁西側で検出長2.55m。内部遺構として、貯蔵穴が北壁西側に位置し、残存長軸0.70m短軸0.60mを測る。また床下土坑が4基確認された。

遺物（第20図、第1表） 須恵器坏、埴、皿、蓋、甕、鉢、高盤と、土師器坏、甕、台付甕・土錘等が出土した。1・2・4は土師器で北武蔵型坏である。1は丸底を呈し、2・4は平底である。1は流れ込みとみられる。2は内・外面に油煙が付着しており、灯明皿か。3は土師器暗文坏で平底を呈し、内面に放射暗文が施される。5～19は須恵器坏であり、底部は回転糸切りが大半を占める。14・19は周辺ヘラケズリが施され、流れ込みとみられる。19は底部外面に平行線のヘラ記号がみられる。13は体部内外面に正位、外面に横位で朱書されている（第174図③）。20・21は須恵器埴。22・23は須恵器皿で、23は高台が付く。24～30須恵器蓋。31は南比企産の須恵器高盤の口縁～体部片であり、流れ込みとみられる。32は須恵器鉢の口縁部片で流れ込みである。33・36は須恵器甕で33は櫛描波状文の頸部片、36は体部下端にケズリのある底部片。34・35須恵器長頸瓶。37～43・46は土師器甕で、口縁部片は「コ」の字を呈する。44・45・47・48は土師器台付甕である。49は土錘。50は在地産の瓦質土器甕で、中世所産の流れ込みである。

重複 SB 08より新しい。

時期 9世紀後半（幡羅・下郷遺跡Ⅶ期、西別府官衙遺跡群6期）

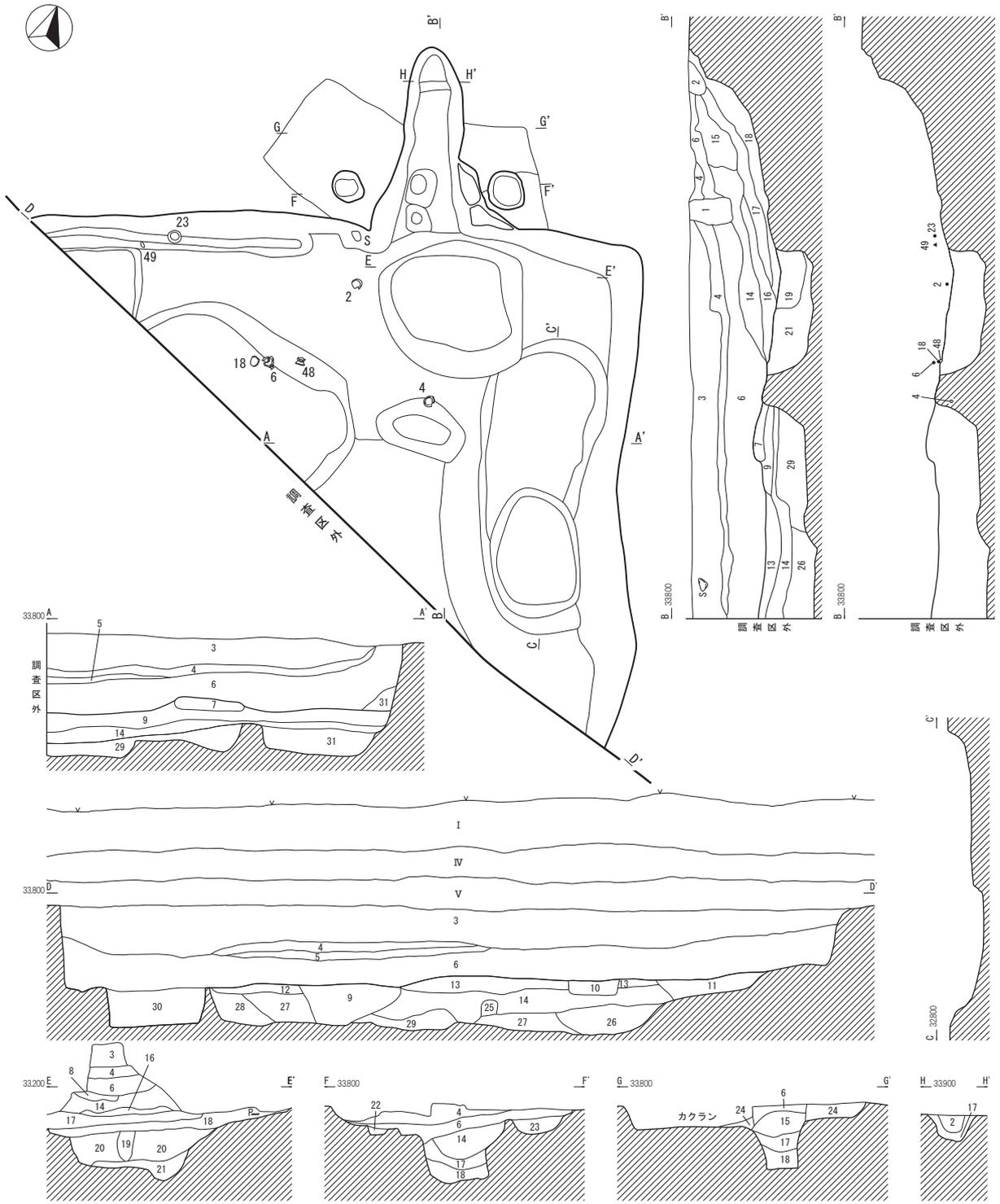
第2号竪穴建物跡（第21図）

位置 K-9グリッドに位置する。

規模 全容は不明である。遺構残存面からの壁高は0.54m。主軸方向はN-60°-E。

概要 大半が攪乱及び調査区外であり、南壁のみ確認された。覆土はレンズ状に堆積しており、自然埋没と考えられる。

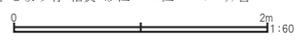
遺物（第22図、第2表） 灰釉陶器坏、須恵器坏、短頸壺、甕、土師器暗文坏、高盤、甕、台付甕・土錘等が出土した。1～3は須恵器坏であるが、1はやや深身で埴ともみれる。4は内面に放射暗文が施される土師器暗文坏で平底である。5は灰釉陶器高台坏で東濃産とみられ、釉薬はハケ塗りされている。6は末野産の須恵器短頸壺の胴上部片。7は須恵器甕。8は土師器高盤とした。体部外面にケズリのノッキングがみられる。9～11は土師器甕・台付甕で、口縁部片は「コ」の字を呈する。12は土錘である。

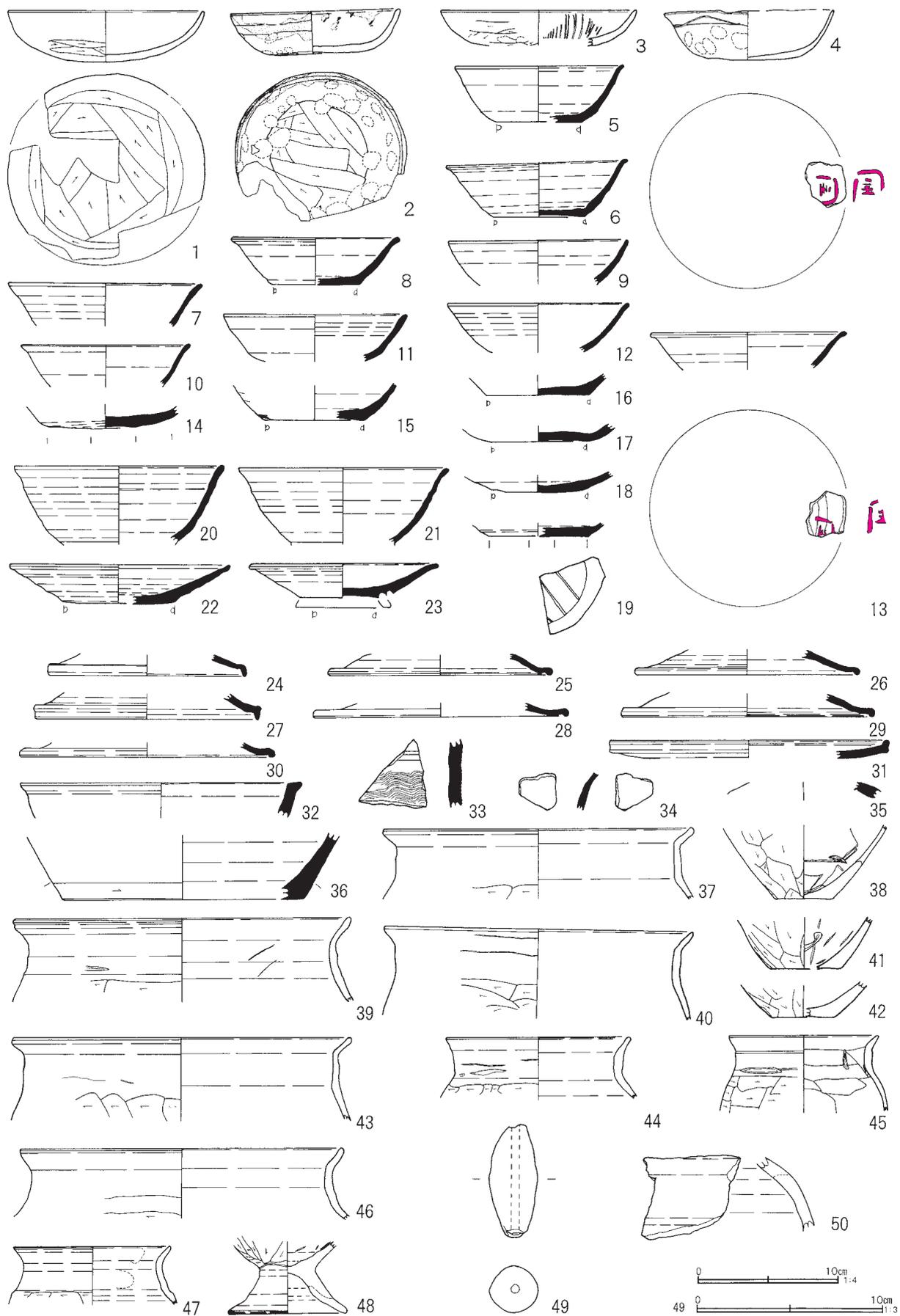


SI01 土層説明

1. 10YR6/1 褐灰色土 しまり有 粘質 砂粒・ロム粒・ロム7'ロツク含 焼土粒 炭化物少量含
2. 10YR3/2 黒褐色土 しまり有 粘質 砂粒・ロム粒含 焼土粒・7'ロツク多量含 炭化物含
3. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり有 砂粒・ロム粒・ロム7'ロツク含
4. 10YR3/2 黒褐色土 しまり有 砂粒・ロム粒・ロム7'ロツク含
5. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 砂粒・ロム粒・ロム7'ロツク含
6. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり有 砂粒・ロム粒・ロム7'ロツク多量含 焼土粒・7'ロツク・炭化物含
7. 10YR5/1 褐灰色土 しまり有 粘質 砂粒・ロム粒・ロム7'ロツク少量含
8. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり有 粘質 砂粒・ロム粒・ロム7'ロツク含
9. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 砂粒・ロム粒・ロム7'ロツク多量散在含 焼土粒・7'ロツク・炭化物少量含
10. 10YR5/4 にふい黄褐色土 しまり有 粘質 砂粒・ロム粒・ロム7'ロツク含 焼土粒・7'ロツク・炭化物少量含
11. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 砂粒・ロム粒・7'ロツク含
12. 10YR6/1 褐灰色土 しまり有 砂粒・ロム粒・ロム7'ロツク少量含
13. 10YR5/3 にふい黄褐色土 しまり有 粘質 砂粒・ロム粒・ロム7'ロツク多量含 焼土粒・7'ロツク・炭化物少量含
14. 10YR3/2 黒褐色土 しまり有 砂粒・7'ロツク多量含 ロム粒・7'ロツク含
15. 10YR6/4 にふい黄褐色土 しまり有 粘質 砂粒・ロム粒・ロム7'ロツク多量含 焼土粒・7'ロツク少量含 炭化物含
16. 10YR3/2 黒褐色土 しまり有 砂粒・ロム粒・ロム7'ロツク含
17. 10YR6/4 にふい黄褐色土 しまり有 粘質 砂粒・ロム粒・ロム7'ロツク多量含 焼土粒・7'ロツク含 炭化物含
18. 10YR6/4 にふい黄褐色土 しまり有 粘質 砂粒・ロム粒・ロム7'ロツク多量含 焼土粒・7'ロツク多量含 炭化物多量含
19. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり有 粘質 砂粒・ロム粒・ロム7'ロツク含
20. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 粘質 砂粒・ロム粒・ロム7'ロツク多量含
21. 10YR5/1 褐灰色土 しまり有 粘質 砂粒・ロム粒・ロム7'ロツク含
22. 10YR6/2 灰黄褐色土 しまり有 砂粒・ロム粒・7'ロツク含
23. 10YR6/3 にふい黄褐色土 しまり有 砂粒・ロム粒・7'ロツク含
24. 10YR5/3 にふい黄褐色土 しまり有 砂粒・ロム粒含
25. 10YR5/1 褐灰色土 しまり有 粘質 砂粒・ロム粒・ロム7'ロツク大含
26. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 砂粒・ロム粒・ロム7'ロツク大含
27. 10YR5/1 褐灰色土 しまり有 砂粒・ロム粒・ロム7'ロツク含
28. 10YR5/1 褐灰色土 しまり有 砂粒・ロム粒・ロム7'ロツク少量含
29. 10YR5/1 褐灰色土 しまり有 粘質 砂粒・ロム粒・ロム7'ロツク多量含
30. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 砂粒・ロム粒・ロム7'ロツク大含
31. 10YR5/3 にふい黄褐色土 しまり有 粘質 砂粒・ロム粒・ロム7'ロツク含

第19図 第1号竪穴建物跡





第 20 图 第 1 号竖穴建物跡出土遺物

第1表 第1号竪穴建物跡出土遺物観察表

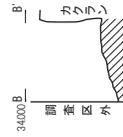
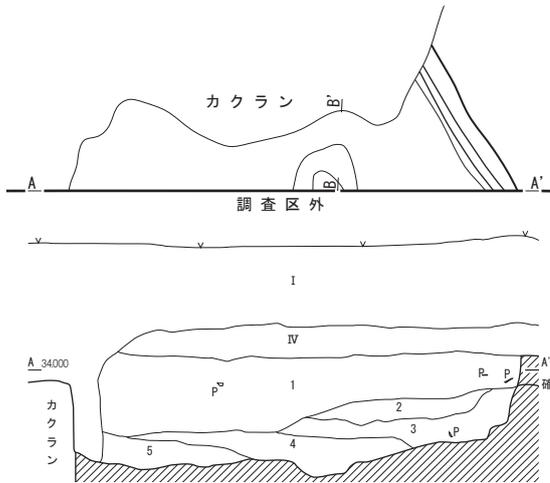
No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	土師器杯	14.0	3.7	-	ABIJN	にぶい・橙色 内・黄褐色	A	70%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ
2	土師器杯	12.0	3.0	-	ABIJN	橙色 にぶい赤褐色	A	60%	底部外面手持ちヘラケズリ 体部～底部外面指頭痕 内・外面油煙 灯明皿
3	土師器杯	(14.0)	(2.5)	-	ABIJN	明赤褐色	A	口縁～底部片	体部～底部外面手持ちヘラケズリ 口縁部～体部内面放射状暗文 胎土マーブル
4	土師器杯	12.1	3.5	-	ABGJN	にぶい黄褐色	B	80%	底部外面手持ちヘラケズリ 体部外面指頭痕
5	須恵器杯	(12.0)	(4.0)	(6.0)	ABN	灰色	B	10%	末野産 底部外面回転系切り
6	須恵器杯	13.0	3.9	6.4	ABN	灰黄色	B	60%	末野産 底部外面回転系切り
7	須恵器杯	(13.8)	(3.1)	-	ABIN	灰色	B	10%	末野産
8	須恵器杯	(11.7)	(3.4)	(6.0)	ABN	灰色	B	10%	末野産 底部外面回転系切り
9	須恵器杯	(12.7)	(3.2)	-	ABFN	灰白色	B	口縁～体部 10%	南比企産
10	須恵器杯	(12.0)	(3.0)	-	ABIN	灰色	B	口縁～体部片	末野産
11	須恵器杯	(13.0)	(3.4)	-	ABIN	灰色	B	口縁～体部片	末野産
12	須恵器杯	(12.8)	(3.5)	-	ABN	灰色	B	口縁～体部 25%	末野産
13	須恵器杯	(13.8)	(2.6)	-	ABN	黄灰色	A	口縁～体部片	口縁部内外面朱書あり
14	須恵器杯	-	(1.8)	6.4	ABFN	灰白色	A	底部 70%	南比企産 底部外面周辺回転ヘラケズリ 内面研磨 転用硯? 底部出尻状
15	須恵器杯	-	(2.7)	(7.0)	ABIN	オリーブ黒色	B	体～底部 10%	末野産 底部外面回転系切り
16	須恵器杯	-	(1.5)	(7.3)	ABIN	赤褐色	C	底部 25%	末野産 底部外面回転系切り
17	須恵器杯	-	(1.2)	(6.8)	ABFN	灰色	A	底部 70%	南比企産 底部外面回転系切り
18	須恵器杯	-	(1.4)	(6.9)	ABIJN	灰色	B	底部 80%	末野産 底部外面回転系切り
19	須恵器杯	-	(0.9)	(7.1)	ABFN	灰色	A	底部 25%	南比企産 底部外面周辺回転ヘラケズリ 底部外面ヘラ記号「三」
20	須恵器碗	(15.0)	(5.6)	-	ABIN	灰色	B	口縁～体部 40%	末野産
21	須恵器碗	(14.9)	(5.5)	-	ABN	灰色	B	口縁～体部 40%	末野産
22	須恵器皿	(15.6)	(2.8)	(8.0)	ABIN	灰色	B	25%	末野産 底部外面回転系切り
23	須恵器高台皿	13.3	(2.5)	-	ABIN	オリーブ黒色	B	90%	末野産 底部外面回転系切り 底部内面重ね焼き系切り痕
24	須恵器蓋	(14.0)	(1.5)	-	ABFN	灰色	A	口縁部片	南比企産
25	須恵器蓋	(15.8)	(1.5)	-	ABIN	にぶい黄色	B	口縁部片	末野産
26	須恵器蓋	(15.8)	(1.8)	-	ABHIN	黄灰色	B	口縁部 30%	
27	須恵器蓋	(15.8)	(1.8)	-	ABN	灰色	A	口縁部片	
28	須恵器蓋	(18.0)	(1.0)	-	ABHN	灰色	B	口縁部 10%	末野産
29	須恵器蓋	(18.0)	(1.6)	-	ABIN	明黄褐色	B	口縁部片	
30	須恵器蓋	(18.0)	(1.0)	-	ABN	灰色	B	口縁部片	末野産
31	須恵器高盤	(19.7)	(1.3)	-	ABFN	灰色	A	口縁部 10%	南比企産
32	須恵器播鉢	(20.0)	(2.5)	-	ABN	暗灰色	A	口縁部片	南比企産
33	須恵器甕	-	-	-	ABN	褐灰色	A	頸部片	外面櫛描波状文
34	須恵器長頸瓶	-	-	-	ABN	灰白色	A	頸部片	内面自然釉
35	須恵器長頸瓶	-	(1.2)	-	AB	黒褐色	A	頸～胴部片	末野産 外面自然釉
36	須恵器甕	-	(4.7)	(17.2)	ABFN	灰色	A	底部片	南比企産 胴部下端外面ヘラケズリ
37	土師器甕	(22.0)	(5.1)	-	ABIJN	明褐色	A	20%	胴部上端外面横位ヘラケズリ
38	土師器甕	-	(5.3)	(4.0)	ABIN	明赤褐色	A	底部 25%	胴部下端外面斜位ヘラケズリ
39	土師器甕	(24.0)	(6.1)	-	ABIJN	明赤褐色	A	口縁～頸部 20%	胴部上端外面横位ヘラケズリ
40	土師器甕	(22.0)	(6.4)	-	ABIJN	明黄褐色	A	口縁～頸部片	胴部上端外面横位ヘラケズリ
41	土師器甕	-	(3.8)	(5.0)	ABIN	明赤褐色	A	底部 20%	胴部下端外面斜位ヘラケズリ
42	土師器甕	-	(2.5)	(4.4)	ABIJN	明赤褐色	B	胴～底部 40%	胴部下端外面斜位ヘラケズリ
43	土師器甕	(24.0)	(6.0)	-	ABIJN	にぶい褐色	A	口縁～頸部 15%	胴部上端外面横位ヘラケズリ
44	土師器台付甕	(13.0)	(4.4)	-	ABIJN	褐色	A	口縁～頸部 20%	口縁部内面沈線 1 条 胴部上端外面横位ヘラケズリ
45	土師器台付甕	(10.6)	(5.4)	-	ABGJN	褐色	A	口縁～頸部 25%	胴部上端外面横位ヘラケズリ
46	土師器甕	(23.0)	(5.1)	-	ABIJN	明赤褐色	A	口縁～頸部 10%	胴部上端外面横位ヘラケズリ
47	土師器台付甕	(11.0)	(4.2)	-	ABIN	明赤褐色	A	口縁～頸部 20%	口縁部外面沈線 1 条 頸部外面沈線 1 条 口縁部から頸部内面指頭痕 胴部上 端外面横位ヘラケズリ
48	土師器台付甕	-	(5.1)	(脚径) 8.4	ABIN	明褐色	B	胴～脚部 80%	胴部下端外面横位・斜位ヘラケズリ
49	土錘	長：6.0	幅：2.6	孔：0.4	ABIN	にぶい橙色	A	90%	
50	瓦質土器甕	-	-	-	ABN	灰白色	B	胴部片	

時期 9世紀中～後半（幡羅・下郷遺跡Ⅶ期、西別府官衙遺跡群6期）

第3号竪穴建物跡（第23図）

位置 L-9グリッドに位置する。

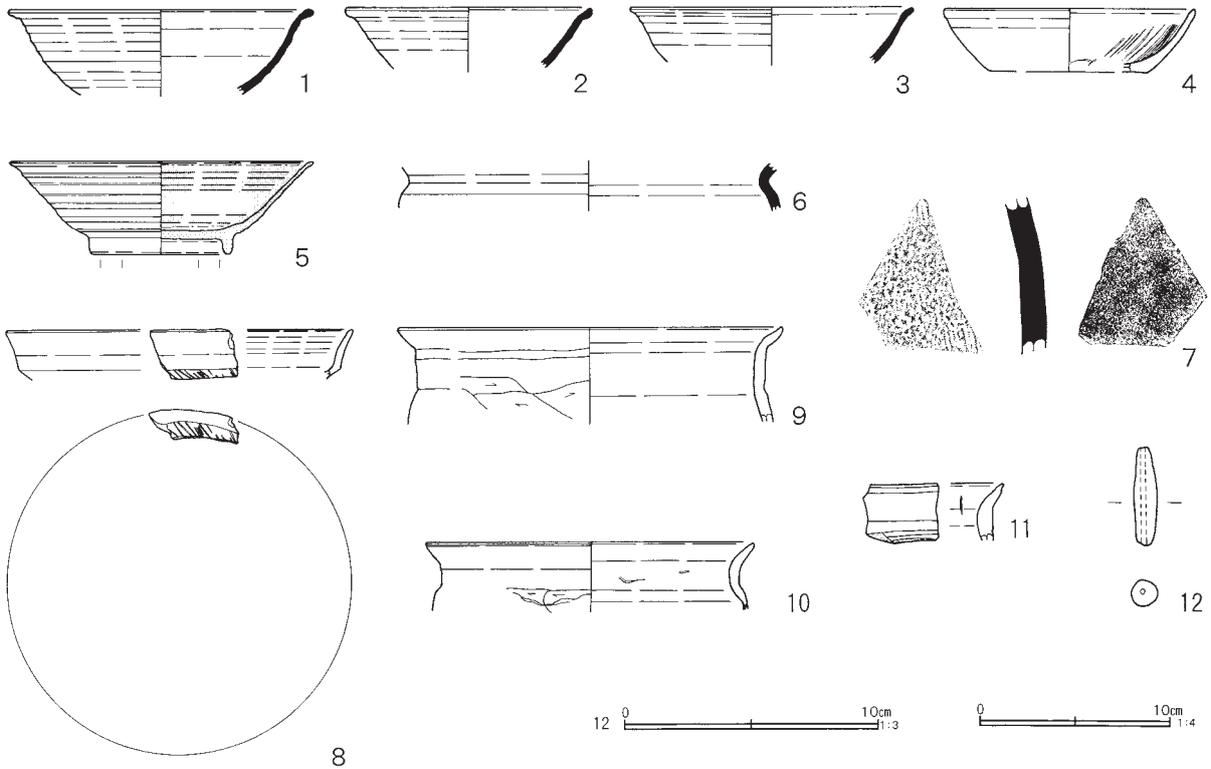
規模 全容は不明である。検出範囲で長軸1.2m短軸0.6m、遺構残存面からの壁高は0.51m。主軸方向はN-60°-E。



- S102 土層説明**
1. 10YR3/3 暗褐色土 ローム7°ロツ5 mm大少量含 焼土少量含
 2. 10YR3/3 暗褐色土 ローム7°ロツ73 cm大含
 3. 10YR3/3 暗褐色土 ローム7°ロツ5 mm大少量含
 4. 10YR3/2 黒褐色土 ローム7°ロツ5 mm～2 cm大含 焼土少量含
 5. 10YR3/2 黒褐色土 ローム7°ロツ2 cm大少量含

0 2m 1:60

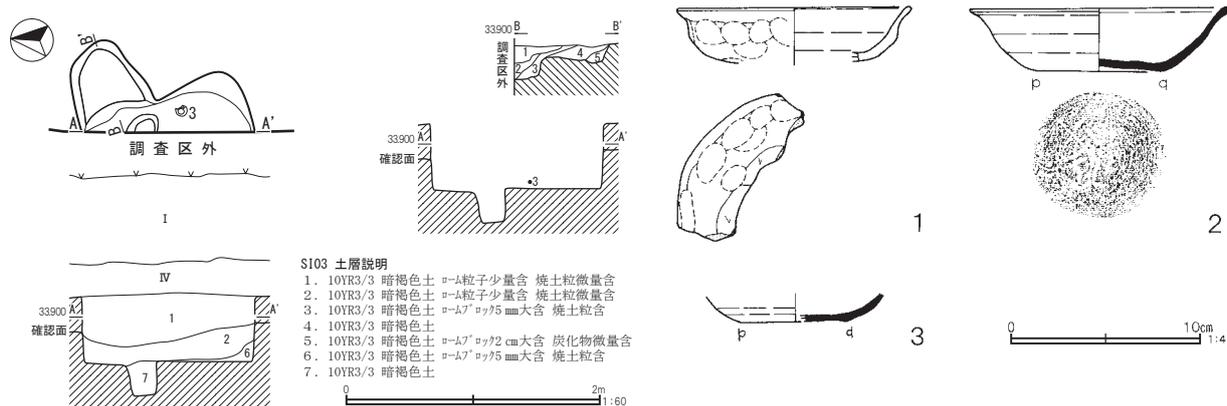
第 21 図 第 2号 竪穴建物跡



第 22 図 第 2号 竪穴建物跡出土遺物

第 2 表 第 2号 竪穴建物跡出土遺物観察表

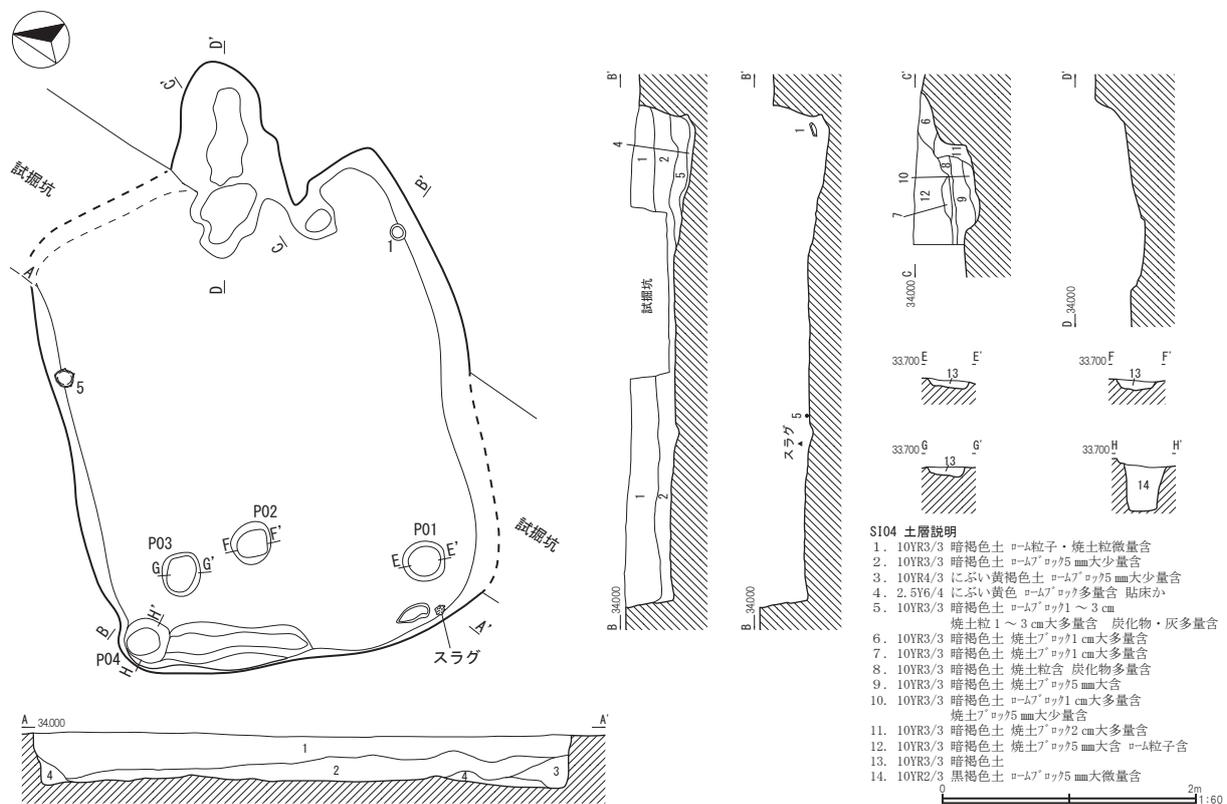
No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	須恵器杯	(15.6)	(4.5)	-	ABIN	灰オリーブ色	B	口縁～体部 40%	口縁部外反
2	須恵器杯	(12.8)	(3.2)	-	ABIN	黄灰色	A	口縁部 20%	口縁部外反
3	須恵器杯	(14.8)	(2.9)	-	ABIN	暗青灰色	A	口縁部 20%	口縁部外反
4	土師器杯	(13.0)	(3.3)	(8.0)	ABIJN	橙色	A	50%	体部内面放射状暗文 底部内面螺旋状暗文 底部外面手持ちヘラケズリ
5	灰釉陶器 高台杯	(15.8)	(4.9)	(高台径) (7.2)	ABN	灰白色	A	40%	東濃産 底部外面周辺回転ヘラケズリ 内外面灰釉 ハケ塗り
6	須恵器短頸壺	-	(2.5)	-	ABEN	灰色	A	頸～胴上部片	末野産
7	須恵器甕	-	-	-	ABN	灰色	A	胴部片	外面自然釉 平行タタキ 内面無文当て具痕
8	土師器高盤	(18.0)	(2.6)	-	ABIJN	にぶい赤褐色	A	口縁～底部片	底部外面線刻あり
9	土師器甕	(20.0)	(5.0)	-	ABIJN	橙色	A	口縁～胴上部 10%	コの字状口縁 胴部上端外面横位ヘラケズリ
10	土師器台付甕	(17.0)	(3.6)	-	ABIJN	灰褐色	A	口縁～胴部片	コの字状口縁 口縁部外面沈線 1 条 胴部上端外面横位ヘラケズリ
11	土師器甕	-	-	-	ABIJN	にぶい褐色	A	口縁～頸部分	コの字状口縁
12	土錘	長：3.9	幅：0.9	孔：0.2	ABIJN	黒色	A	100%	



第23図 第3号竪穴建物跡、同出土遺物

第3表 第3号竪穴建物跡出土遺物観察表

No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	土師器杯	(12.2)	(2.8)	-	ABIN	にぶい褐色	B	20%	底部外面手持ちヘラケズリ 体部指頭痕
2	須恵器杯	13.4	3.3	6.6	ABIN	にぶい黄色	A	80%	末野産 底部外面回転系切り 底部外面ヘラ記号「V」
3	須恵器杯	-	(1.4)	(5.6)	ABIN	にぶい黄褐色	C	底部 20%	底部外面回転系切り

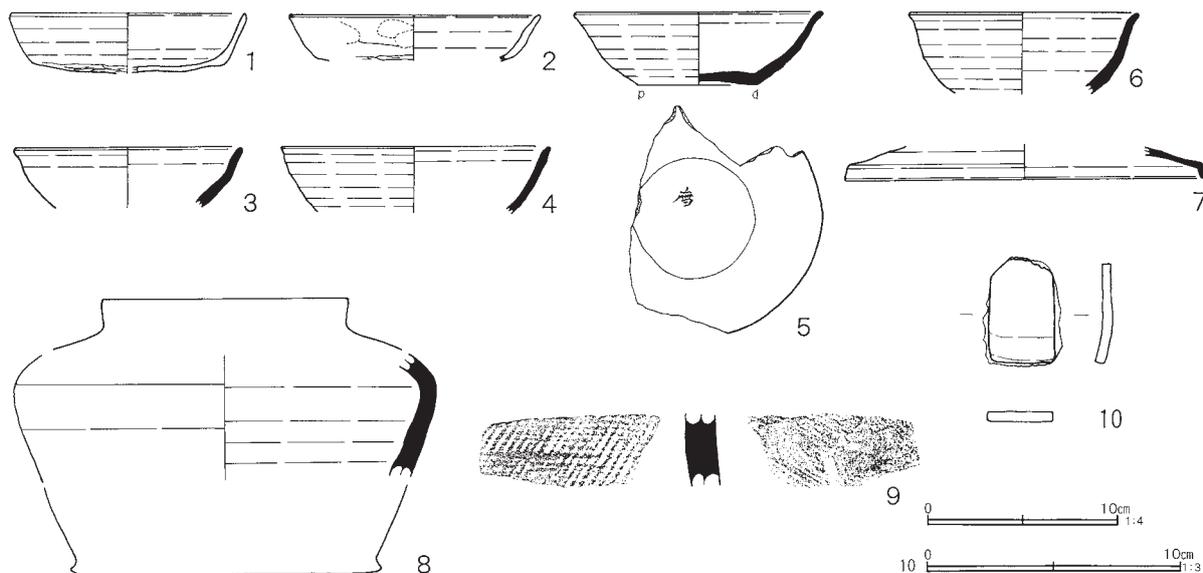


第24図 第4号竪穴建物跡

概要 南東隅及びカマドを検出。覆土はレンズ状に堆積しており、自然埋没と考えられる。カマドは東壁南寄りに設置されたと思われる。燃烧部と煙道が0.7 m確認され、煙道部は確認面から0.15 mの掘り込みである。内部にピットが1基確認された。

遺物 (第23図、第3表) 須恵器杯、土師器杯等が出土した。1は北武蔵型の土師器杯で口縁部がS字状の屈曲がみられる。2・3は須恵器杯である。2は底部外面に周辺ヘラケズリ調整がなされ、U字状のヘラ記号が施される。3は底部回転系切り。

時期 9世紀後半(幡羅・下郷遺跡Ⅶ期、西別府官衙遺跡群6期)



第 25 図 第 4 号竪穴建物跡出土遺物

第 4 表 第 4 号竪穴建物跡出土遺物観察表

No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	土師器坏	(12.2)	(3.1)	(10.0)	ABIJN	にぶい赤褐色	B	20%	底部外面手持ちヘラケズリ
2	土師器坏	(13.0)	(2.4)	-	ABIN	にぶい赤褐色	A	口縁部片	体部外面指頭痕 底部外面手持ちヘラケズリ
3	須恵器坏	(11.8)	(3.1)	-	ABI	青灰色	A	口縁～体部 20%	南比企産
4	須恵器坏	(14.0)	(3.5)	-	ABN	にぶい赤褐色	A	口縁部 10%	小石微量含む
5	須恵器坏	(13.0)	3.8	6.2	ABN	灰黄色	A	50%	末野産 底部外面糸切り離し 底部外面墨書「□(麻か)」
6	須恵器埴	(11.8)	(4.2)	-	ABIN	灰白色	A	口縁～体部 20%	末野産
7	須恵器蓋	(18.8)	(1.7)	-	ABN	褐灰色	A	口縁部 10%	
8	須恵器短頸壺	-	(6.4)	-	ABN	灰色	A	胴部片	外面自然袖
9	須恵器甕	-	-	-	ABN	黄灰色	A	胴部片	外面平行タタキ(重ね) 内面平行当て具痕
10	鉄鎌	長: 4.3	幅: 3.0	厚: 0.4					

第 4 号竪穴建物跡 (第 24 図)

位置 M・N-8、M・N-9 グリッドに位置する。

規模 長軸 3.6 m、短軸 3.2 m、確認面からの壁高は 0.35 m。主軸方向は N-66°-E。

概要 平面形は主軸が長軸となる長方形を呈し、カマドの袖は地山を残しており、肩が張る形状である。覆土はレンズ状に堆積しており、自然埋没と考えられる。カマドは東壁に設置され若干南寄りである。燃焼部と煙道が 1.34 m 確認され、確認面から煙道部は 0.25 m、燃焼部は 0.40 m の掘り込みである。内部施設として、西壁北側に壁溝が 1 m とピットが 4 基確認された。P04 は壁溝延長上の北西隅に位置し、S I 05P06 と共通する特徴である。

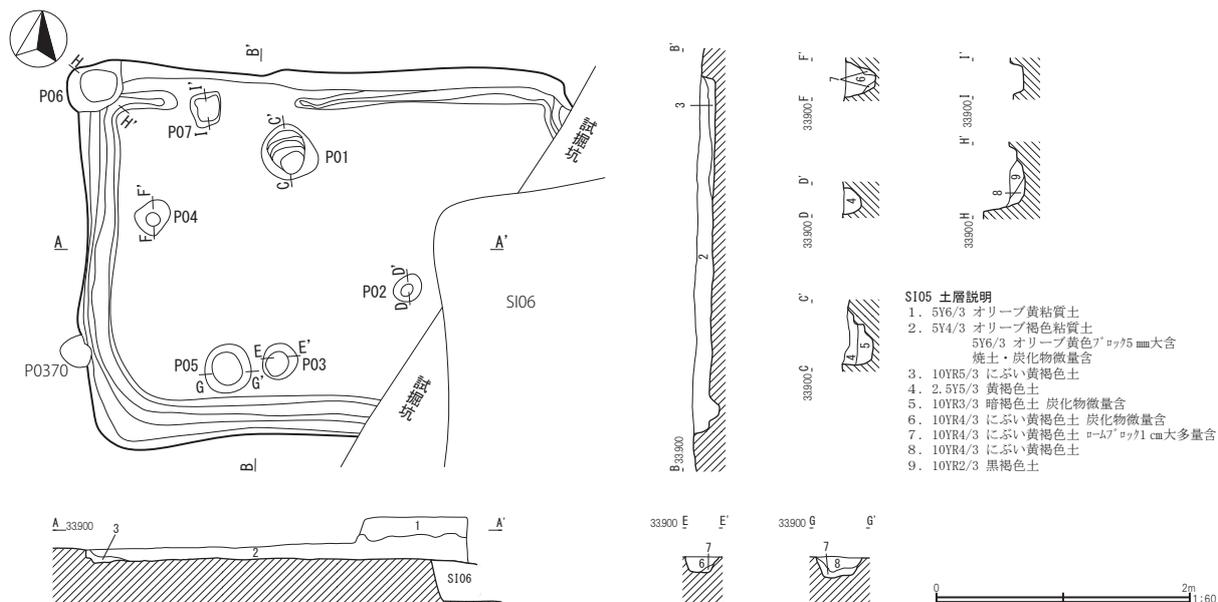
遺物 (第 25 図、第 4 表) 須恵器坏、埴、蓋、甕、短頸壺と、土師器坏、鉄鎌等が出土した。また図示しえなかったが、鉄滓を検出している。1・2 は北武蔵型の土師器坏で、平底～平底風を呈する。3～5 は須恵器坏、6 は埴である。5 は外面底部に墨書がみられ、均整で小形に記されている (第 174 図②)。7 は須恵器蓋。8 は須恵器短頸壺の胴上部片。9 は須恵器甕。10 は鉄製品で、幅と厚みから鎌と推測した。

時期 9 世紀中頃 (幡羅・下郷遺跡 VI・VII 期、西別府官衙遺跡群 5・6 期)

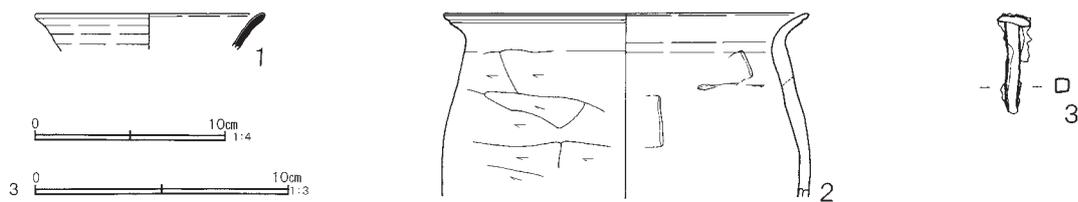
第 5 号竪穴建物跡 (第 26 図)

位置 N・O-8 グリッドに位置する。

規模 長軸 3.9 m、短軸 3.1 m、確認面からの壁高は 0.13 m。主軸方向は N-8°-W。



第 26 図 第 5 号竪穴建物跡



第 27 図 第 5 号竪穴建物跡出土遺物

第 5 表 第 5 号竪穴建物跡出土遺物観察表

No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	須恵器坏 (酸化炎焼成)	(12.0)	(1.9)	-	ABEIJN	黒褐色	A	口縁部片	
2	土師器甕	(19.0)	(9.6)	-	ABIJN	橙色	A	口縁～胴上部 30%	胴部上端外面横位ヘラケズリ
3	鉄釘	長：(3.9)	幅：0.3～1.3	厚：0.5					

概要 カマドは検出されなかったが、東壁に設置されたと推測でき、主軸は東西方向と考えられる。平面形は主軸が長軸となる長方形を呈する。覆土はレンズ状に堆積しており、自然埋没と考えられる。内部施設は、壁溝が北側西寄りを 0.9 m 欠いて圍繞する。その他ピットが 7 基確認された。P06 は壁溝延長上の北西隅に位置し、第 4 号竪穴建物跡 P04 と共通する特徴である。

遺物 (第 27 図、第 5 表) 須恵器坏、土師器甕、鉄釘等が出土した。1 は須恵器坏で口縁部が外反する形状である。2 は土師器甕で「コ」字が崩れた段階であり、ケズリの位置が高い。3 は鉄釘。

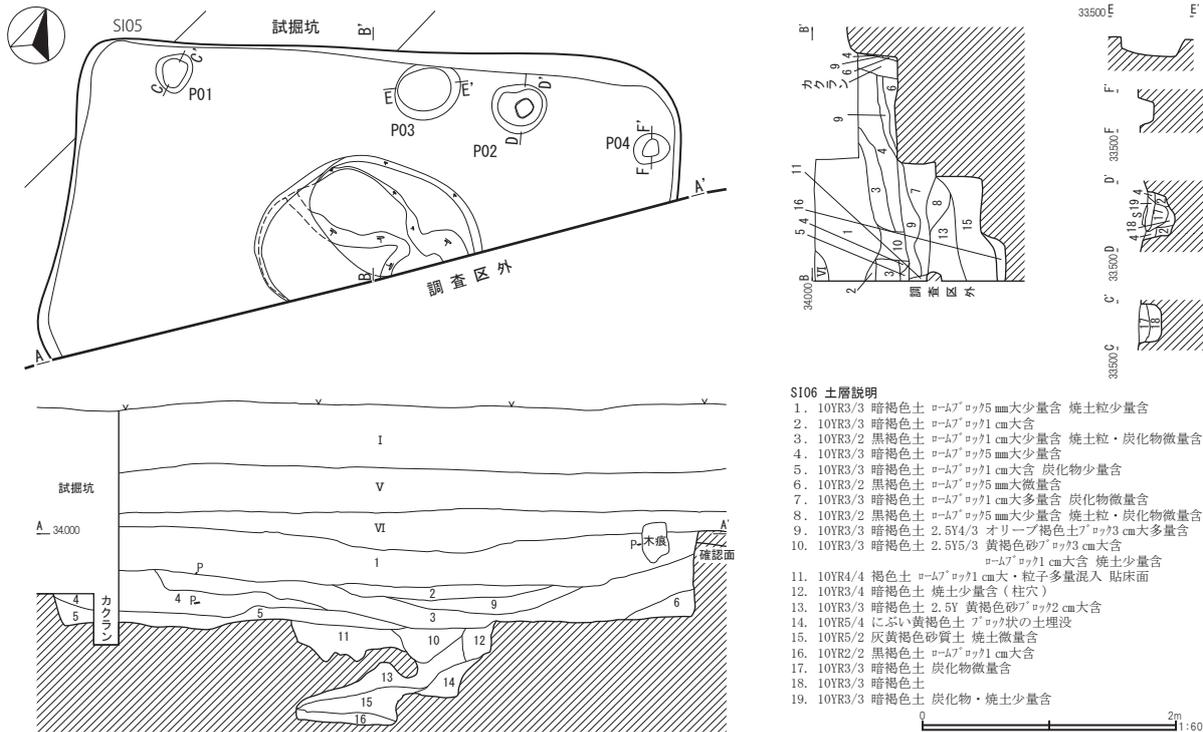
重複 S I 06 より新しい。

時期 9 世紀末～10 世紀初頭 (幡羅・下郷遺跡Ⅷ期、西別府官衙遺跡 7 期)

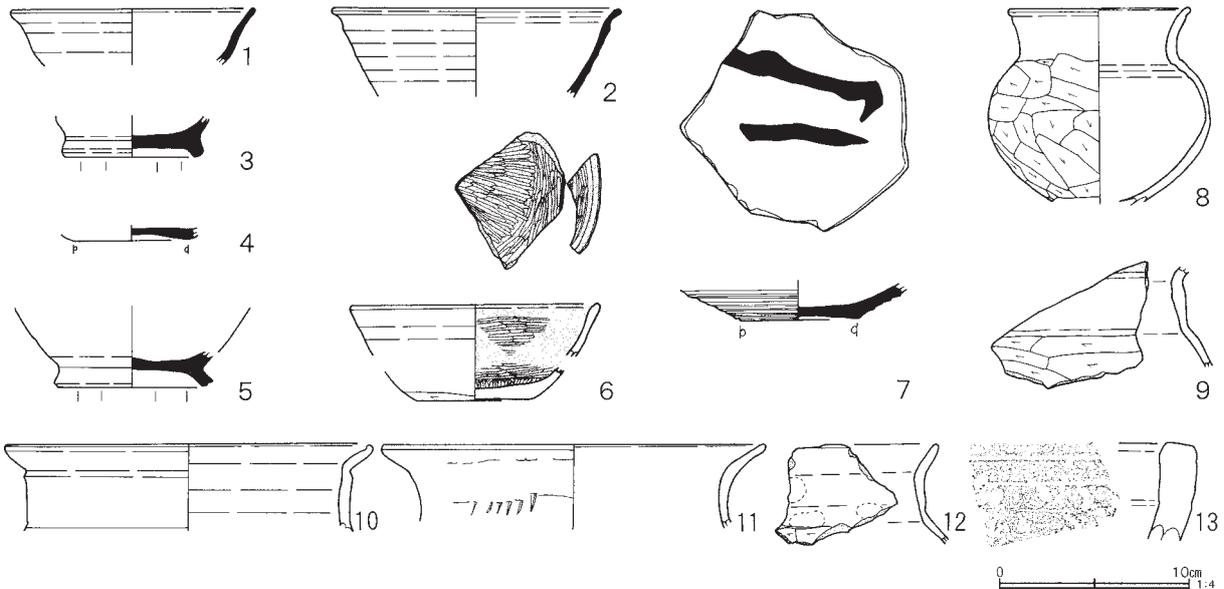
第 6 号竪穴建物跡 (第 28 図)

位置 N・O-8、N・O-9 グリッドに位置する。

規模 長軸 4.7 m、短軸 2.6 m、確認面からの壁高は 0.67 m。主軸方向 N-10°-W。



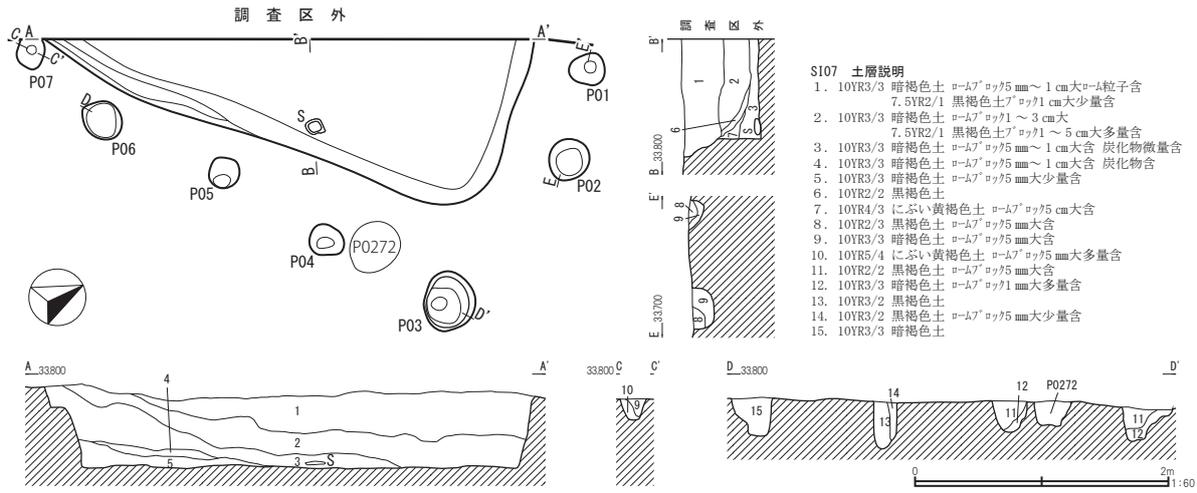
第28図 第6号竪穴建物跡



第29図 第6号竪穴建物跡出土遺物

第6表 第6号竪穴建物跡出土遺物観察表

No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	須恵器杯	(12.8)	(2.9)	-	ABIJN	にぶい黄色	C	口縁部 10%	口縁部外反
2	須恵器碗	(15.0)	(4.7)	-	ABIN	黄灰色	B	口縁～体部 20%	末野産
3	須恵器高台埴	-	(2.1)	(高台径) (7.0)	ABIN	明黄褐色	A	高台部 40%	底部外面周辺回転ヘラケズリ
4	須恵器杯	-	(0.6)	(6.0)	ABF	灰色	B	底部 60%	南比企産 底部外面回転糸切り
5	須恵器高台埴	-	(4.2)	(高台径) (7.5)	ABHIN	灰白色	B	高台部 70%	底部外面周辺回転ヘラケズリ
6	土師器杯	(13.0)	(5.0)	(6.0)	ABIJN	外・にぶい橙色 内・黒色	A	30%	体部下端～底部外面手持ちヘラケズリ 内面黒色処理ヘラミガキ
7	須恵器皿	-	(1.8)	6.2	ABHN	灰色	A	底部 100%	末野産 底部外面回転糸切り 底部内面墨書あり (筆慣らし痕)
8	土師器台付甕	9.2	(10.2)	-	ABIJN	外・暗赤灰色 内・明赤褐色	A	60%	胴部上端外面横位・斜位ヘラケズリ
9	土師器甕	-	-	-	ABIJN	にぶい赤褐色	A	頸～胴上部片	コの字状口縁 胴部上端外面横位ヘラケズリ
10	土師器甕	(19.0)	(4.5)	-	ABIJ	明赤褐色	A	口縁～胴上部片	コの字状口縁
11	土師器甕	(20.0)	(4.4)	-	ABIJN	明赤褐色	A	口縁～胴上部片	胴部上端外面横位ヘラケズリ
12	土師器甕	-	-	-	ABIJ	明赤褐色	A	口縁～胴上部片	胴部上端外面ヘラケズリ 頸部外面指頭痕
13	陶器火鉢	-	-	-	ABN	にぶい赤褐色	B	口縁部片	口縁部外面押印菊花文 内外面施釉



第 30 図 第 7 号 竪穴建物跡



第 31 図 第 7 号 竪穴建物跡出土遺物

第 7 表 第 7 号 竪穴建物跡出土遺物観察表

No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	須恵器埴	-	(1.7)	(10.0)	ABCF	灰色	A	底部 40%	南比企産 底部外面全面回転ヘラケズリ
2	須恵器甕	-	-	-	ABN	褐灰色	A	口縁部片	東金子産? 内面自然釉

概要 カマドは検出されなかったが、周辺の状況から東壁に設置されたと推察される。平面形は主軸が長軸となる長方形を呈すると思われる。覆土はレンズ状に堆積しており、自然埋没と考えられる。内部施設は、ピットが 4 基及び土坑 1 基が確認された。P02 は床面の高さで中央に扁平の丸石を検出している。土坑は、土取り遺構と同様に特定の粘質土層までの深度である。しかし、形状が不定形なうえオーバーハングが著しいことから、木根跡の可能性はある。なお写真図版は断割りを入れた状況である。

遺物 (第 29 図、第 6 表) 須恵器坏、埴、皿、土師器甕、台付甕、内黒土器坏、陶器片等が出土した。1・4 は須恵器坏。2 は須恵器埴。3・5 は須恵器高台埴の底部片。6 は内面が黒色処理された土師器坏。7 は須恵器皿で、内面に筆慣らしの跡とみられる墨書が残る (第 174 図⑩)。8 は土師器台付甕。9～12 は「コ」字を呈する土師器甕。13 は菊花文施文の近世陶器火鉢であり流れ込みである。

重複 S I 05 より古い。

時期 9 世紀後半 (幡羅・下郷遺跡 VII 期、西別府官衙遺跡群 6 期)

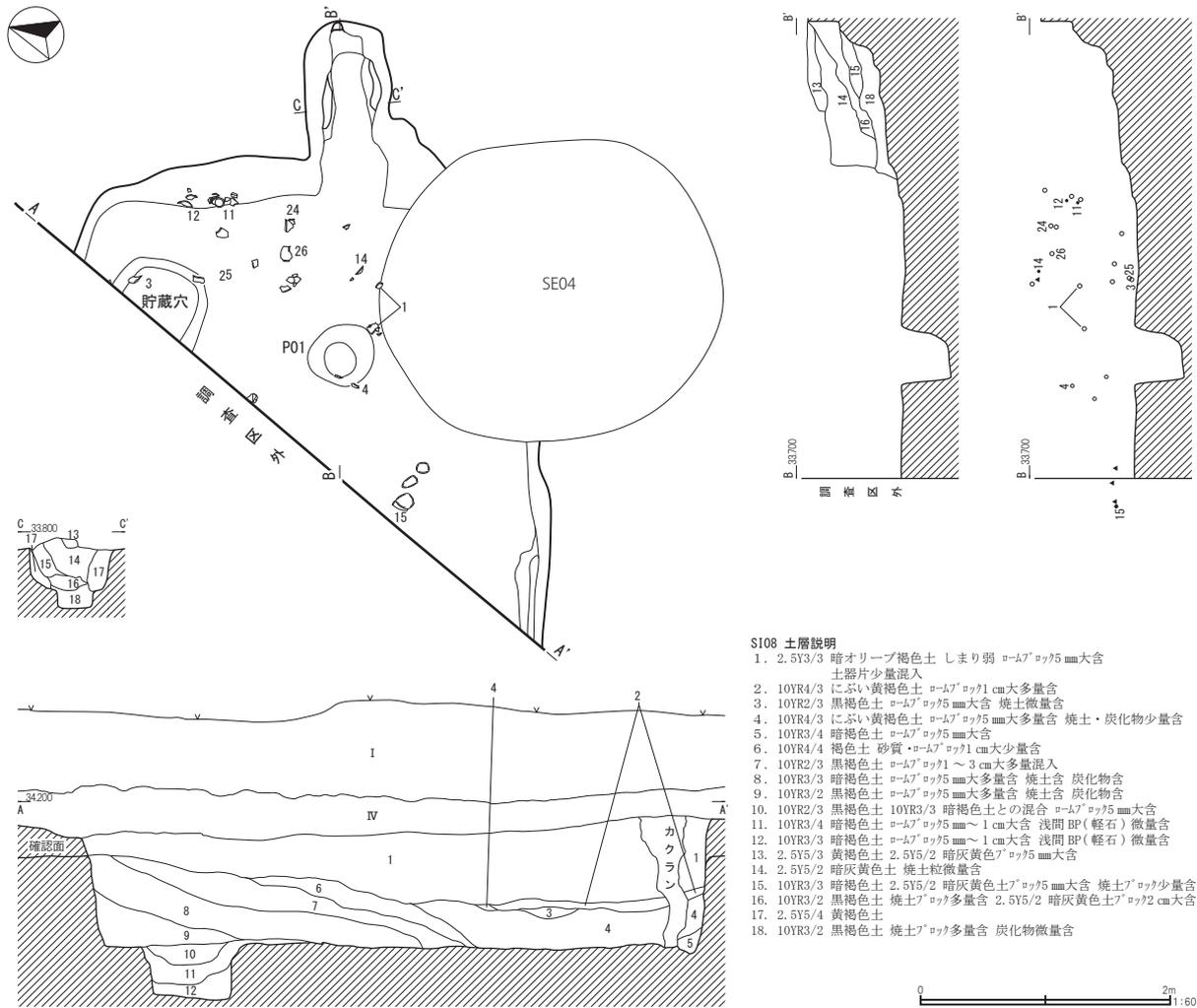
第 7 号 竪穴建物跡 (第 30 図)

位置 T・U-3、T-4 グリッドに位置する。

規模 検出範囲で長軸 3.7 m 短軸 1.5 m 確認面からの壁高は 0.66 m。主軸方向は N-46°-E。

概要 平面形の全容は大半が調査区外につき不明。覆土はレンズ状に堆積しており、自然埋没と考えられる。ピット 7 基が竪穴外に北・東壁面を囲む状況で確認され、柱穴と考えられる。

遺物 (第 31 図、第 7 表) 須恵器埴、甕等が出土した。図示し得たのは 2 点のみである。1 は底部全面回転ヘラケズリが施され 8 世紀前半に帰属する。2 は東金子産とみられる甕であり、口縁部のかえりについて下方への垂れが弱いことから、9 世紀中～後半の所産と考えられる。そのため、遺構の時期は奈



S108 土層説明

1. 2.5Y3/3 暗オリーブ褐色土 しまり弱 ローム⁷ロツク5 mm大含 土器片少量混入
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 ローム⁷ロツク1 cm大多量含
3. 10YR2/3 黒褐色土 ローム⁷ロツク5 mm大含 焼土微量含
4. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 ローム⁷ロツク5 mm大多量含 焼土・炭化物少量含
5. 10YR3/4 暗褐色土 ローム⁷ロツク5 mm大含
6. 10YR4/4 褐色土 砂質・ローム⁷ロツク1 cm大少量含
7. 10YR2/3 黒褐色土 ローム⁷ロツク1～3 cm大多量混入
8. 10YR3/3 暗褐色土 ローム⁷ロツク5 mm大多量含 焼土含 炭化物含
9. 10YR3/2 黒褐色土 ローム⁷ロツク5 mm大多量含 焼土含 炭化物含
10. 10YR2/3 黒褐色土 10YR3/3 暗褐色土との混合 ローム⁷ロツク5 mm大含
11. 10YR3/4 暗褐色土 ローム⁷ロツク5 mm～1 cm大含 浅間BP(軽石)微量含
12. 10YR3/3 暗褐色土 ローム⁷ロツク5 mm～1 cm大含 浅間BP(軽石)微量含
13. 2.5Y5/3 黄褐色土 2.5Y5/2 暗灰黄色⁷ロツク5 mm大含
14. 2.5Y5/2 暗灰黄色土 焼土粒微量含
15. 10YR3/3 暗褐色土 2.5Y5/2 暗灰黄色土⁷ロツク5 mm大含 焼土⁷ロツク少量含
16. 10YR3/2 黒褐色土 焼土⁷ロツク多量含 2.5Y5/2 暗灰黄色土⁷ロツク2 cm大含
17. 2.5Y5/4 黄褐色土
18. 10YR3/2 黒褐色土 焼土⁷ロツク多量含 炭化物微量含

第 32 図 第 8 号 竪穴 建物跡

良・平安時代とせざるを得ない。

時期 8世紀前半～9世紀後半（幡羅・下郷遺跡Ⅲ～Ⅶ期、西別府官衙遺跡群3～6期）

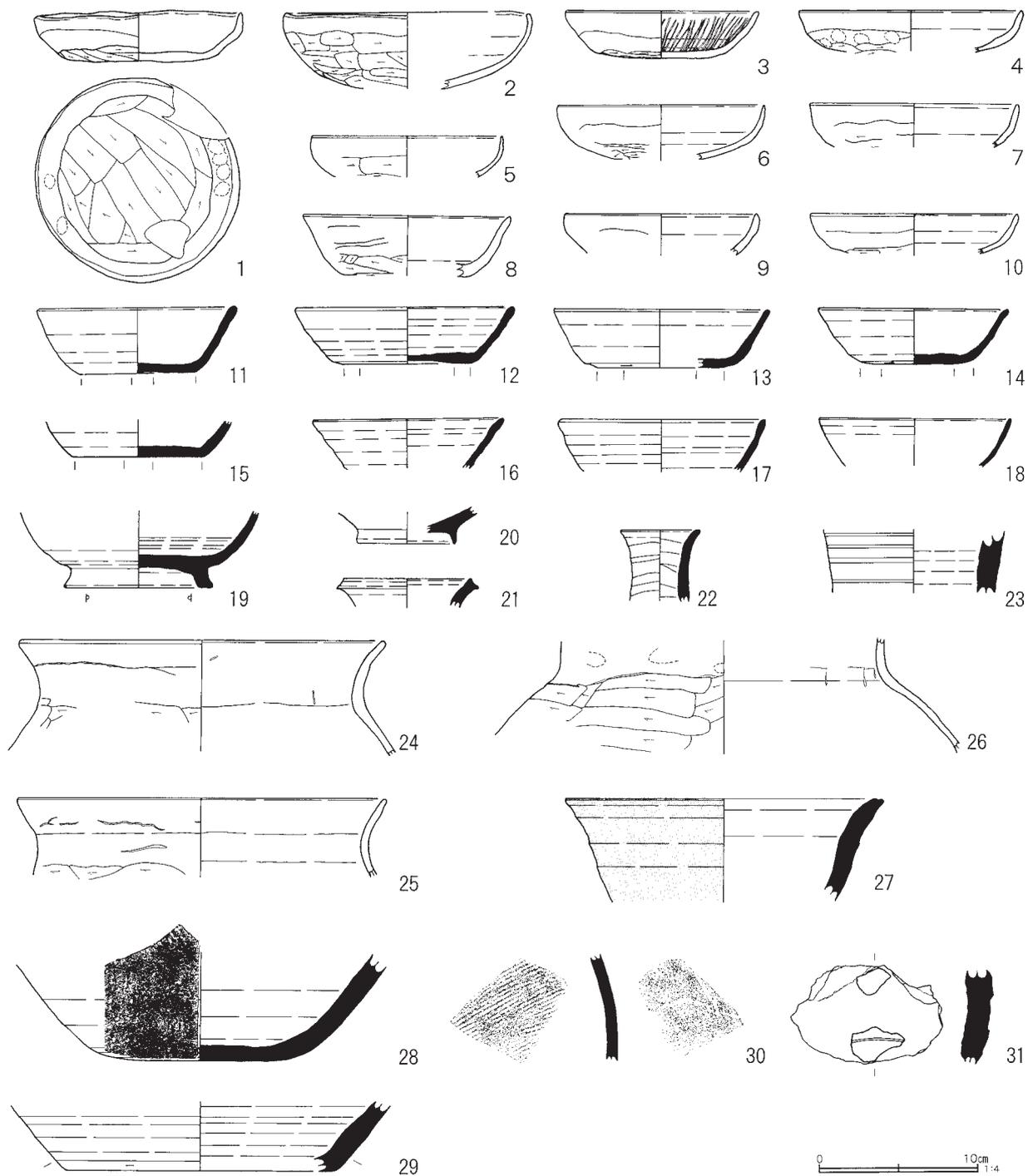
第 8 号 竪穴 建物跡（第 32 図）

位置 V-2・3グリッドに位置する。

規模 検出範囲で長軸 4.0 m短軸 3.7 m遺構残存面からの壁高は 0.73 m。主軸方向はN-75°-E。

概要 平面形は主軸が長軸となる長方形を呈する。覆土はレンズ状に堆積しており、自然埋没と考えられる。カマドは東壁のやや南寄りに設置されている。奥行 1.47 m・幅は燃焼部で 0.52 mを測り、奥壁で立ち上がる。内部施設は、壁溝が南側西寄りに 0.8 m検出した。その他貯蔵穴 1 基及びピット 1 基を確認した。貯蔵穴としたが、位置関係から柱穴の可能性もある。

遺物（第 33 図、第 8 表） 須恵器坏、高台坏、高台埴、壺、長頸瓶、横瓶、甕と、土師器坏、甕、壺等が出土した。1・2・4～10は北武蔵型の土師器坏。2は深身で丸底を呈し、体部外面の調整が口縁直下に及ぶ。8は体部は直線気味に開き、底部は平底とみられ、深身である。2・8は混入か。その他は、口縁部が内湾気味に開き底部は丸底風を呈するものとみられる。3は内面に放射暗文が施された土

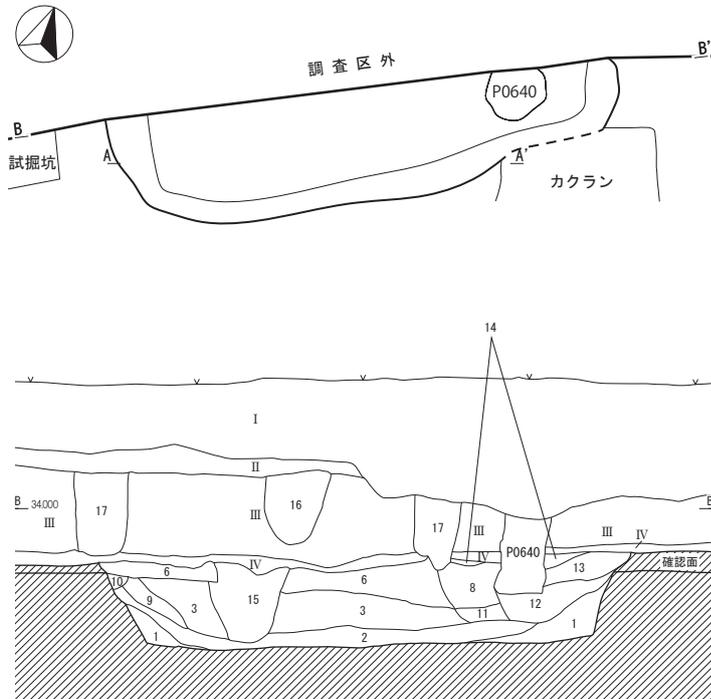


第33図 第8号竪穴建物跡出土遺物

師器坏だが、北武蔵型の器形である。11～18は須恵器坏で底部周辺へラケズリ調整を主体とし、8世紀後半の所産と括れる。北武蔵型の土師器坏1・2・4～10は、丸底を呈する2から平底化する8など、時期差が8世紀前半から9世紀前半までみられる。そのため、本遺構の時期は須恵器を根拠とすることとした。19は須恵器高台埴。20は須恵器高台坏。21・23は須恵器長頸瓶。22は須恵器壺で三毳産の可能性があり、いわゆる壺Gの形状を呈する。24・25は土師器甕で口縁部がゆるやかに外反する。26は球胴形態となる土師器壺の胴上部片。27は産地不明の須恵器長頸瓶の口縁部片で外面に自然釉がみられる。28～30は須恵器甕。31は須恵器横瓶の胴部片で流れ込みである。

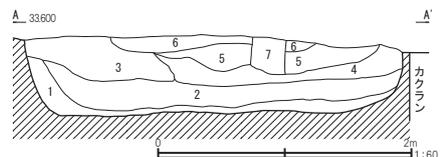
第8表 第8号竖穴建物跡出土遺物観察表

No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	土師器杯	12.9	3.1	9.1	ABIJ	橙色	B	90%	底部外面手持ちヘラケズリ 体部外面指頭痕
2	土師器杯	15.4	(4.8)	-	AB	にぶい褐色	B	50%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ
3	土師器杯	(12.0)	(3.0)	-	ABJN	橙色	A	40%	体部内面放射状暗文 胎土マーブル 底部外面手持ちヘラケズリ
4	土師器杯	(14.0)	(2.6)	-	ABI	褐色	B	20%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ 体部外面指頭痕
5	土師器杯	(12.0)	(2.6)	-	ABI	褐色	A	20%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ
6	土師器杯	(13.0)	(3.4)	-	ABIJ	明赤褐色	B	20%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ
7	土師器杯	(13.0)	(2.7)	-	ABIJ	明赤褐色	B	20%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ
8	土師器杯	(13.0)	(3.8)	(8.0)	ABIN	橙色	B	口縁～底部片	体部～底部外面手持ちヘラケズリ
9	土師器杯	(12.0)	(2.6)	-	ABIJ	明褐色	B	口縁部片	体部外面手持ちヘラケズリ
10	土師器杯	(13.0)	(2.5)	-	ABIJ	明赤褐色	B	20%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ
11	須恵器杯	12.3	4.1	7.3	ABN	灰色	A	60%	底部外面周辺回転ヘラケズリ
12	須恵器杯	13.6	3.6	8.0	AF	にぶい褐色	A	70%	南比企産 底部外面周辺回転ヘラケズリ 底部内面研磨 転用硯?
13	須恵器杯	(13.4)	(3.7)	(8.0)	ABFN	灰色	A	口縁～底部 20%	南比企産 底部外面回転ヘラケズリ
14	須恵器杯	11.9	3.5	7.2	ABIN	オリーブ黒色 灰白色	A	80%	末野産 底部外面周辺回転ヘラケズリ
15	須恵器杯	-	(2.3)	(8.0)	ABFJ	黄灰色	A	底部 40%	南比企産 底部外面周辺回転ヘラケズリ
16	須恵器杯	(11.8)	(3.2)	-	ABIJN	褐灰色	A	口縁部 10%	末野産
17	須恵器杯	(12.8)	(3.3)	-	ABFN	黄灰色	A	口縁部片	南比企産
18	須恵器杯	(12.0)	(3.0)	-	ABF	灰白色	A	口縁部 20%	南比企産
19	須恵器高台壺	-	(4.9)	(高台径) (9.0)	ABN	外・灰黄色 内・にぶい褐色	B	底～高台部 50%	末野産 底部外面回転系切り 底部内面研磨 転用硯?
20	須恵器高台壺	-	(2.4)	(高台径) (6.0)	ABI	浅黄色	B	高台部 20%	
21	須恵器長頸瓶	(8.0)	(1.8)	-	ABN	にぶい黄褐色	A	口縁部片	内外面自然釉
22	須恵器壺	(4.9)	(4.5)	-	AB	暗青灰色	A	口縁～頸部 50%	三義産か? 壺 G の形状
23	須恵器長頸瓶	-	(4.0)	-	ABN	灰色	A	頸部片	末野産
24	土師器甕	(22.8)	(7.0)	-	ABIN	明赤褐色	B	口縁～頸部 25%	胴部上端外面横位ヘラケズリ
25	土師器甕	(23.1)	(5.1)	-	ABIJ	明赤褐色	A	口縁～胴上部 25%	胴部上端外面横位ヘラケズリ
26	土師器壺	-	(7.3)	-	ABJ	明赤褐色	A	頸～胴部片	胴部上端外面横位ヘラケズリ 頸部外面指頭痕あり
27	須恵器長頸瓶	(19.8)	(6.5)	-	ABN	灰黄色	A	口縁～頸部 10%	外面自然釉
28	須恵器甕	-	(6.9)	(11.2)	ABN	灰色	A	底部 30%	外面平行タタキ 内面無文当て具痕
29	須恵器甕	-	(4.4)	(17.0)	ABN	褐灰色	B	胴下～底部片	胴部下端～底部外面ヘラケズリ
30	須恵器甕	-	-	-	ABN	黄灰色	B	胴部片	外面平行タタキ 内面無文当て具痕
31	須恵器横瓶	-	-	-	ABN	外・黄灰色 内・にぶい褐色	B	胴部片	末野産

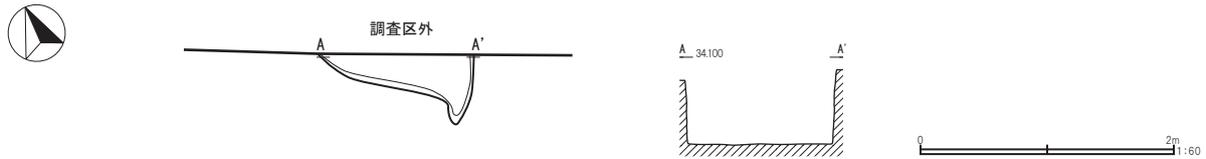


S109 土層説明

- 10YR2/3 黒褐色土 ローム7'ロツク5 cm大含
- 10YR2/3 黒褐色土 ローム7'ロツク1 cm大少量含 炭化物微量含
- 10YR3/3 暗褐色土 ローム7'ロツク5 mm～1 cm大微量含
10YR2/1 黒色土7'ロツク5 mm～1 cm大微量含
- 10YR3/3 暗褐色土 ローム7'ロツク5 mm～1 cm大含
- 10YR3/3 暗褐色土 ローム7'ロツク5 mm～10 cm大微量含
10YR2/1 黒色土7'ロツク5 ～10 cm大含
- 10YR3/3 暗褐色土 ローム7'ロツク5 mm大微量含
- 10YR3/3 暗褐色土 ローム7'ロツク5 mm大含
10YR2/1 黒色土7'ロツク5 mm大少量含
- 10YR3/3 暗褐色土 ローム7'ロツク5 mm～1 cm大含
10YR2/1 黒色土7'ロツク1 cm大少量含
- 10YR3/2 黒褐色土 ローム7'ロツク5 mm～1 cm大含
10YR2/1 黒色土7'ロツク5 mm～1 cm大微量含
- 10YR2/1 黒色土7'ロツク
- 10YR2/3 黒褐色土 ローム7'ロツク5 mm～1 cm大含
10YR2/2 黒褐色土7'ロツク3 cm大微量含
- 10YR4/2 灰黄褐色土 ローム7'ロツク5 mm～1 cm大含
10YR2/2 黒褐色土7'ロツク3 cm含
- 10YR3/3 暗褐色土 ローム7'ロツク5 mm大含 焼土粒微量含
- 10YR3/3 暗褐色土 ローム7'ロツク5 mm大含
- 10YR3/3 暗褐色土 ローム7'ロツク5 mm～5 cm大微量含
10YR2/3 黒褐色土7'ロツク1 ～5 cm大含
- 10YR3/3 暗褐色土 ローム7'ロツク5 mm～1 cm大含
10YR2/2 黒褐色土7'ロツク5 mm大少量含
- 10YR4/2 灰黄褐色土 2.5V7/2 灰黄色土7'ロツク5 cm大含 焼土炭化物少量含



第34図 第9号竖穴建物跡



第 35 図 第 10 号竪穴建物跡

重複 第 4 号井戸跡より古い。

時期 8 世紀中～後半（幡羅・下郷遺跡Ⅳ・Ⅴ期、西別府官衙遺跡群 4 期）

第 9 号竪穴建物跡（第 34 図）

位置 S - 15、R・S - 16 グリッドに位置する。

規模 長軸 4.0 m 短軸は検出範囲で 0.9 m 遺構残存面からの壁高は 0.71 m。主軸方向は N - 60° - E。

概要 平面形の全容は南壁を除き大半が調査区外につき不明。覆土はレンズ状に堆積しており、自然埋没と考えられる。主軸方向が近似する他の竪穴建物跡は第 2・3・4 号であるが、時期が 9 世紀で幅をもつため、本遺構の時期を下記の通りに推測する。

遺物 遺物は検出されなかった。

時期 9 世紀代か（幡羅・下郷遺跡Ⅵ・Ⅶ期、西別府官衙遺跡群 5・6 期）

第 10 号竪穴建物跡（第 35 図）

位置 AA - 14 グリッドに位置する。

規模 検出範囲で長軸 1.2 m 短軸 0.5 m 確認面からの壁高は 0.6 m。主軸方向は N - 39° - E。

概要 平面形の全容は大半が調査区外につき不明。覆土がレンズ状堆積であったことを現地で確認しており、自然埋没と考えられる。検出範囲が僅かであったが、調査時に調査区外が崩落し、遺構が調査区外に大きく広がることが確認されたため、竪穴建物跡として取り扱った。不明な点が多いが、周辺の状況から遺構の時期は奈良・平安時代とみるのが妥当か。

遺物 遺物は検出されなかった。

時期 8 世紀前半～9 世紀後半（幡羅・下郷遺跡Ⅲ～Ⅶ期、西別府官衙遺跡群 3～6 期）

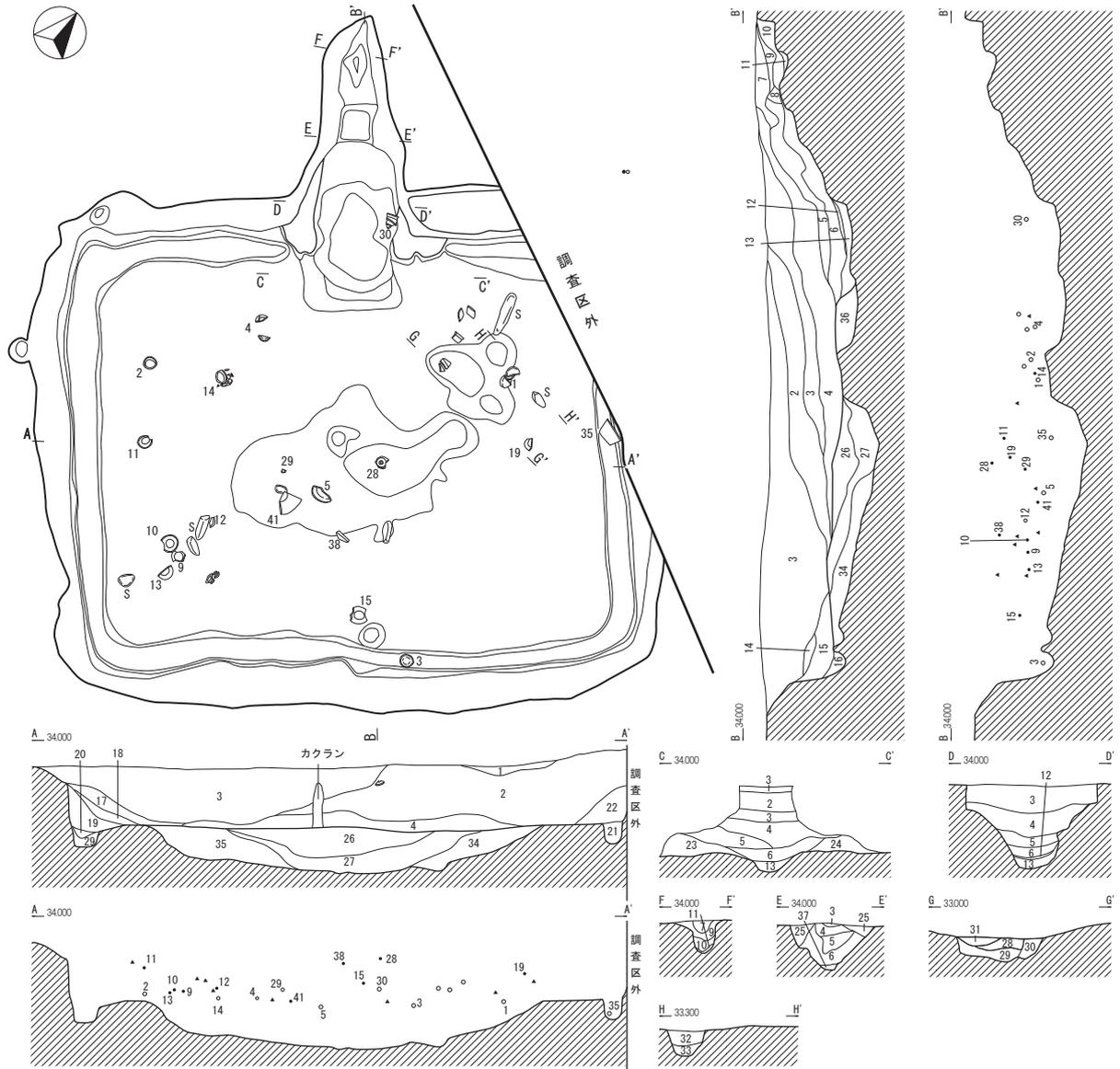
第 11 号竪穴建物跡（第 36 図）

位置 Z・AA - 14、Z・AA - 15 グリッドに位置する。

規模 長軸 5.1 m 短軸 4.5 m 確認面からの壁高は 0.6 m。主軸方向は N - 46° - W。

概要 平面形は主軸が短軸となる長方形を呈する。覆土はレンズ状に堆積しており、自然埋没と考えられる。カマドは北壁の中央に設置されている。奥行 2.1 m・幅は燃烧部で 0.71 m を測り、奥壁で立ち上がる。内部施設は、壁溝がカマド範囲を除き廻る。また南壁中央直下のピット 1 基は、出入り口施設の可能性もある。竪穴外にピット状の窪みがみられ柱穴の痕跡である可能性が考えられる。

遺物（第 37 図、第 38 図、第 9 表） 須恵器坏、埴、盤、蓋、甕と、土師器坏、暗文埴、甕、鉢、壺、土錘、鉄釘等が出土した。1～4・7 は土師器北武蔵型坏で丸底から丸底風のもの。1 のみ体部のケズ

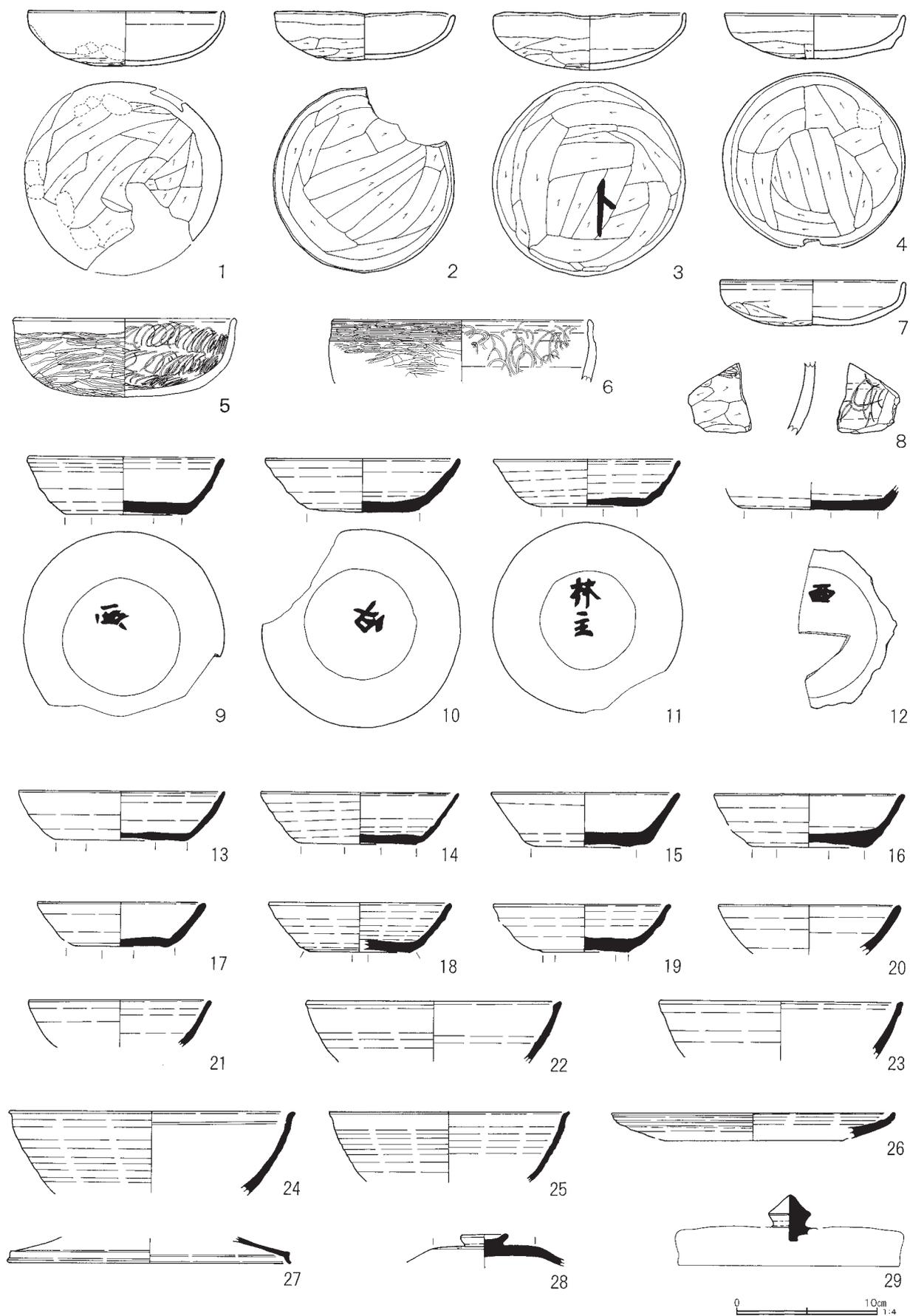


S111 土層説明

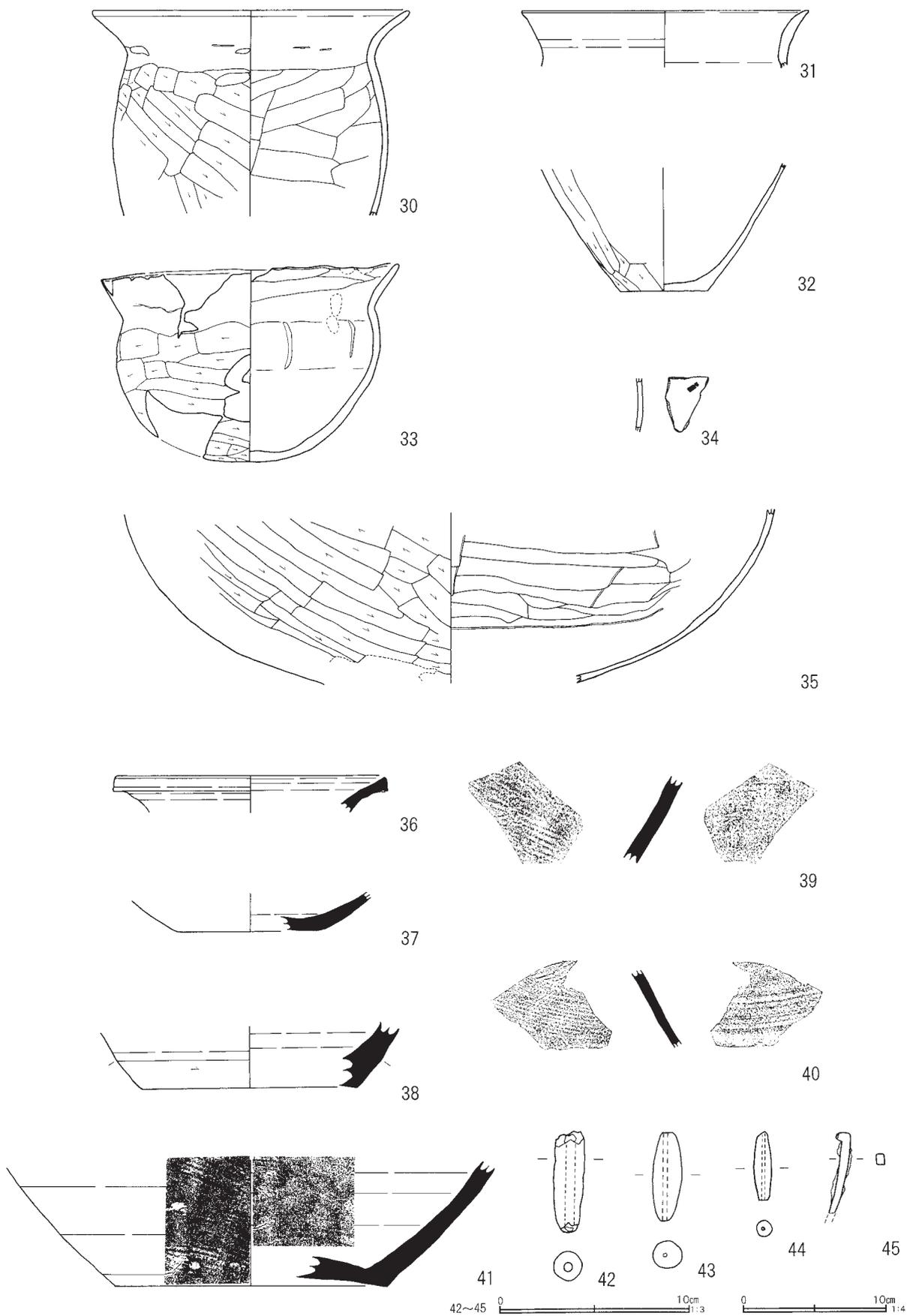
1. 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒 1～3mm大 黒色土ブロック1～5mm大 炭化物含
2. 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒 炭化物含 赤色粒含
3. 10YR3/4 暗褐色土 しまり強 粘性 ローム粒 炭化物含 赤色粒含
4. 10YR4/4 褐色土 しまり強 粘性 ローム粒 ロームブロック10～20mm大含 カマド流れ込み
5. 10YR5/4 にぶい黄褐色土 しまり強 ローム粒 ロームブロック1～5mm大 焼土ブロック大5～10mm大 炭化物多量含
6. 10YR1.7/1 黒色土 炭化物含 黒色土ブロック10～20mm大 炭化物多量含
7. 10YR6/3 にぶい黄褐色土 ローム粒 ロームブロック10～20mm大 焼土ブロック20～50mm大 炭化物多量含
8. 10YR6/4 にぶい黄褐色土 ローム粒 ロームブロック5～10mm大含 焼土ブロック10～20mm大含 天井崩落度 粘土
9. 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒 ロームブロック5～10mm大含 焼土ブロック10～20mm大含
10. 10YR5/3 にぶい黄褐色土 ローム粒 ロームブロック5～10mm大含 焼土ブロック10～20mm大含 炭化物
11. 10YR2/1 黒色土 ローム粒 ロームブロック10～20mm大含 炭化物多量含
12. 2.5YR5/6 明赤褐色土カマド床
13. 10YR1.7/1 黒色土 ロームブロック10～20mm大含
14. 10YR4/6 褐色土 ローム粒 ロームブロック1～5mm大含 黒色土ブロック1～5mm大含
15. 10YR4/6 褐色土 ローム粒 ロームブロック10～20mm大含 黒色土ブロック1～5mm大含
16. 10YR5/4 にぶい黄褐色土 粘性 ローム粒 ロームブロック20～50mm大含 黒色土ブロック1～5mm大含
17. 10YR3/4 暗褐色土 ローム粒 ロームブロック10～20mm大含
18. 10YR3/4 暗褐色土 ローム粒
19. 10YR5/6 黄褐色土 ローム粒 ロームブロック10～20mm大含 黒色土ブロック5～10mm大含
20. 10YR4/2 灰黄褐色土 ローム粒 ロームブロック1～5mm大含
21. 10YR5/4 にぶい黄褐色土 粘性 ローム粒 ロームブロック20～50mm大含
22. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 しまり弱 ローム粒 ロームブロック1～5mm大含 赤色粒多量含
23. 10YR4/4 褐色土 ローム粒 ロームブロック20～50mm大含 天井崩落 埋度
24. 10YR7/6 明黄褐色土 粘土塊
25. 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒 ロームブロック1～5mm大含 焼土ブロック5～10mm大 炭化物多量含
26. 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒 ロームブロック5～10mm大含 焼土ブロック1～5mm大含 炭化物
27. 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒 ロームブロック20～50mm大含
28. 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒 ロームブロック10～15mm大含
29. 10YR4/2 灰黄褐色土 ローム粒 ロームブロック10～20mm大含 焼土ブロック1～5mm大含 黒色土ブロック10～15mm大含
30. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 粘性 ローム粒 ロームブロック20～50mm大含
31. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 しまり弱 ローム粒 ロームブロック1～5mm大含
32. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 ローム粒 ロームブロック5～10mm大含 炭化物
33. 10YR2/1 黒色土 しまり弱 粘性 ローム粒 ロームブロック20～50mm大含
34. 10YR6/6 明黄褐色土 ローム粒 ロームブロック20～50mm大含 貼床
35. 10YR4/4 褐色土 ローム粒 ロームブロック20～50mm大含
36. 10YR3/4 暗褐色土 ローム粒 ロームブロック20～50mm大含 焼土ブロック10～15mm大含 炭化物
37. 10YR7/3 にぶい黄褐色土 粘土層

第36図 第11号竪穴建物跡

りの位置が低い。3は底部外面に太字で「ト」と墨書されている(第174図㉑)。5・6・8は深坑形態となる土師器暗文埴で胎土がマーブル状を呈し、内面に螺旋暗文が施されている。9～21は須恵器坏であるが、うち9・10・13・15・18は内面が研磨されており、転用硯とみられる。9・10・12は底部外面に「西」(第174図⑧・⑦・⑥)、11は同じく底部外面に「林主」と墨書されている(第174図⑭)。10・15は底部全面へラケズリされ、焼成色調等からも三叢産として違和感はない。なお、17は流れ込



第 37 图 第 11 号竖穴建物跡出土遺物 1



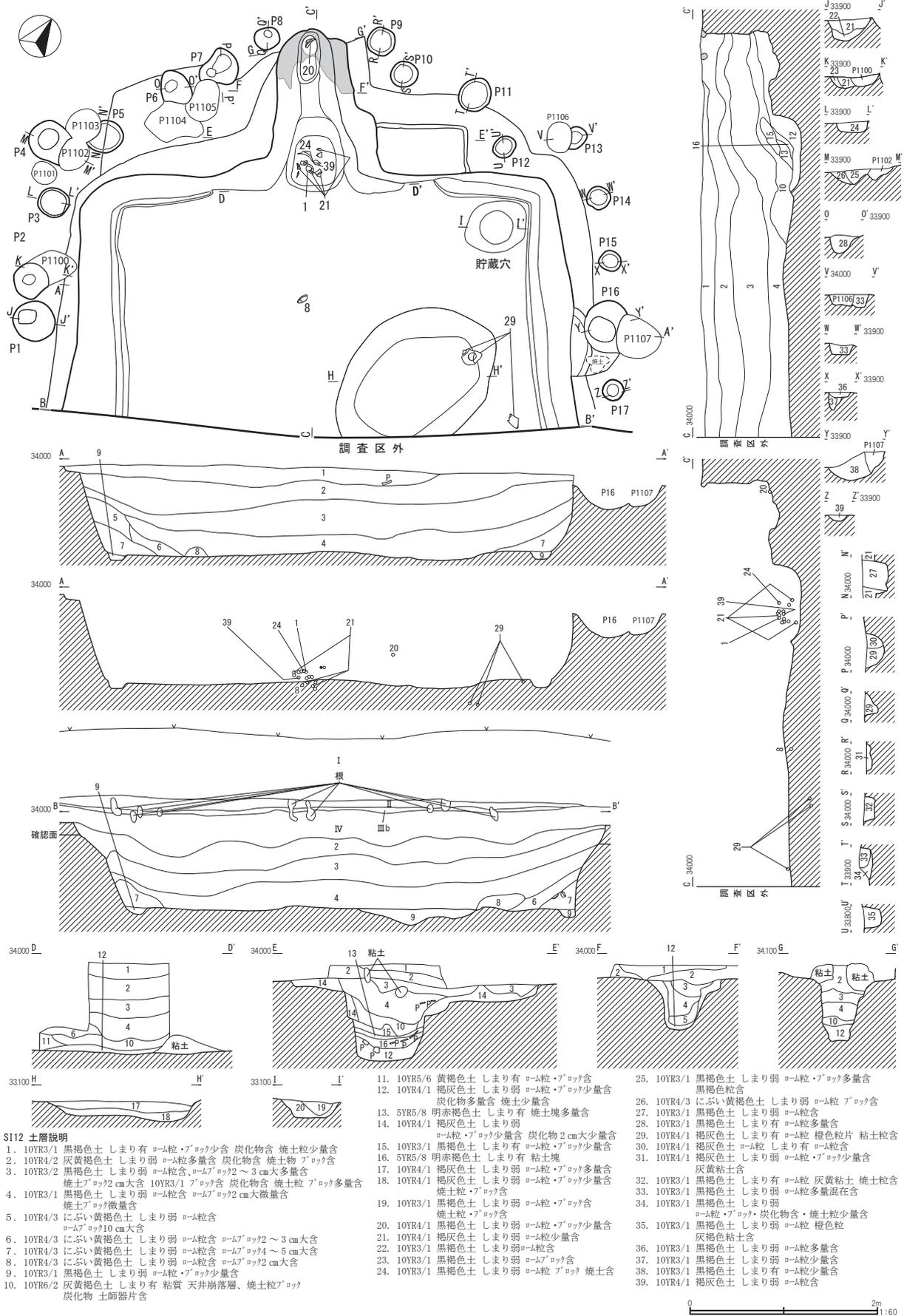
第 38 图 第 11 号竖穴建物跡出土遺物 2

第9表 第11号竪穴建物跡出土遺物観察表

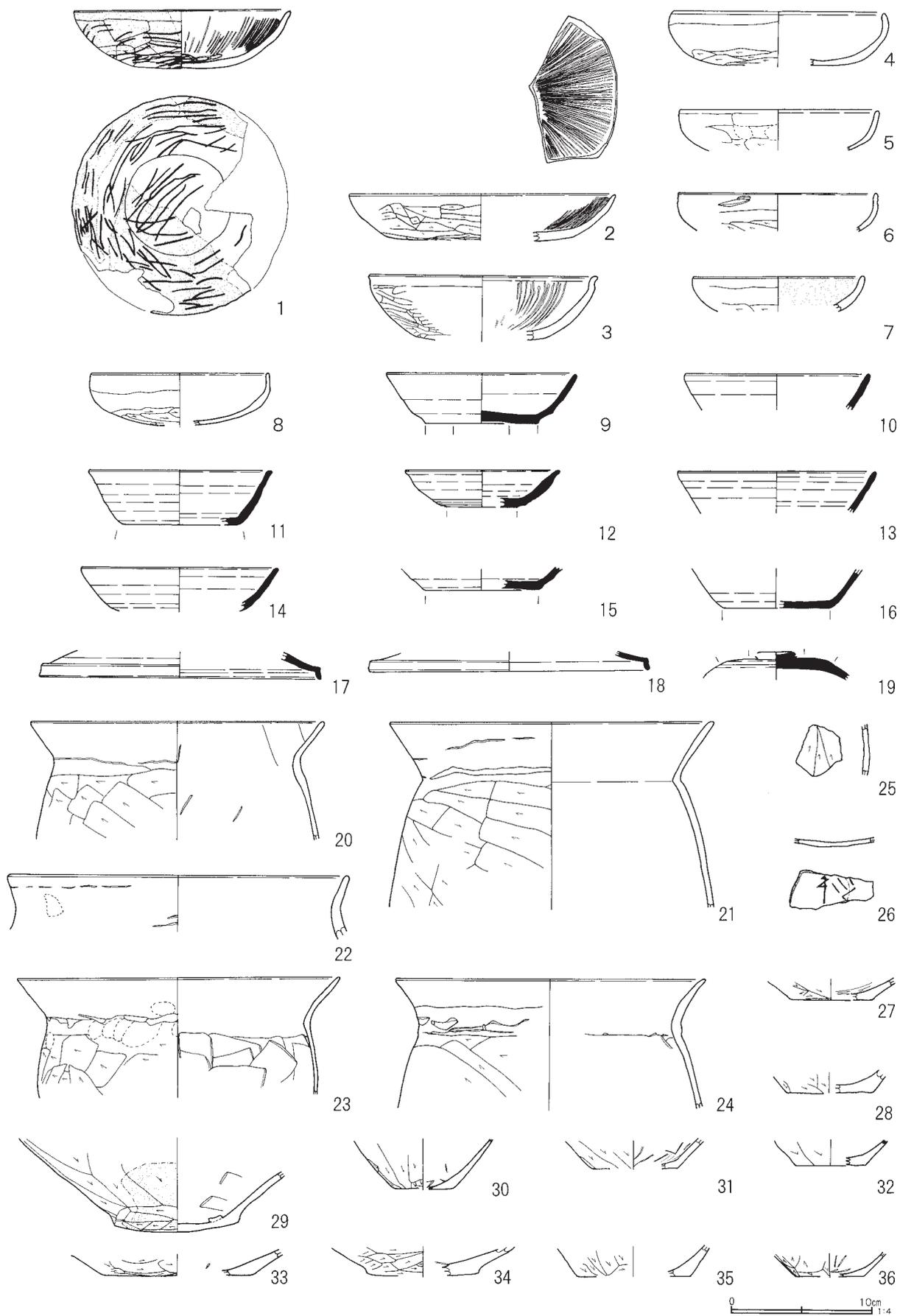
No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	土師器杯	13.8	3.9	-	ABIJN	にぶい赤褐色 外・褐灰色	A	80%	底部外面手持ちヘラケズリ 体部外面指頭痕
2	土師器杯	12.5	3.2	-	ABIJN	にぶい橙色	A	80%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ 内外面油煙 灯明皿
3	土師器杯	13.6	3.8	-	ABIJN	外・にぶい赤褐色 内・明赤褐色	A	100%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ 底部外面墨書「ト」
4	土師器杯	12.7	3.2	-	ABIJN	橙色	A	95%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ
5	土師器碗	(15.6)	(5.6)	-	ABIJN	橙色	A	70%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ 体部～底部内面螺旋状暗文 胎土マーブル 内外面ミガキ 口唇部内面沈線巡る
6	土師器碗	(18.2)	(4.5)	-	ABIJN	にぶい赤褐色	A	口縁～体部 20%	体部外面横位ヘラケズリ 体部内面螺旋状暗文 胎土マーブル 内外面ミガキ 口唇部内面沈線巡る
7	土師器杯	(13.0)	(3.2)	-	ABIJN	にぶい褐色 外・褐灰色	A	50%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ
8	土師器碗	-	-	-	ABIN	明赤褐色	A	体部片	体部外面ミガキ・ヘラケズリ 体部内面放射状暗文 胎土マーブル
9	須恵器杯	14.0	4.1	8.6	ABFN	灰白色	A	80%	南比企産 底部外面周辺回転ヘラケズリ 底部外面墨書「西」 底部内面研磨 転用硯
10	須恵器杯	13.8	3.7	7.9	ABN	灰色	A	80%	三ヶ産? 底部外面全面回転ヘラケズリ 底部外面墨書「□(西カ)」 底部内面研磨 転用硯
11	須恵器杯	13.2	3.3	6.8	ABFN	灰褐色、灰色	B	90%	南比企産 底部外面周辺回転ヘラケズリ 底部外面墨書「林主」
12	須恵器杯	-	(1.9)	(9.4)	ABFN	灰白色	A	底部 40%	南比企産 底部外面周辺回転ヘラケズリ 底部外面墨書「西」
13	須恵器杯	14.6	3.5	9.2	ABFN	オリーブ灰色 外・灰色	A	50%	南比企産 底部外面周辺回転ヘラケズリ 底部内面研磨 転用硯?
14	須恵器杯	14.0	3.7	8.1	ABFN	灰色	A	90%	南比企産 底部外面周辺回転ヘラケズリ
15	須恵器杯	13.3	3.8	7.5	ABN	灰白色	B	90%	三ヶ産 底部外面全面回転ヘラケズリ 内面研磨 転用硯? 底部ヘラ記号「×」
16	須恵器杯	(13.3)	(3.8)	8.0	ABEIJN	灰色	B	60%	末野産 底部外面周辺回転ヘラケズリ
17	須恵器杯	(11.8)	(3.1)	6.4	ABN	黄灰色	B	50%	末野産 底部外面周辺回転ヘラケズリ
18	須恵器杯	(12.8)	(3.5)	(7.0)	ABFKN	灰白色	A	30%	南比企産 底部外面周辺回転ヘラケズリ 内面研磨 転用硯?
19	須恵器杯	(12.4)	(3.4)	6.0	ABFN	灰白色	B	70%	南比企産 底部外面周辺回転ヘラケズリ
20	須恵器杯	(12.8)	(3.5)	-	ABFN	灰白色	B	口縁～体部 20%	南比企産
21	須恵器杯	(12.8)	(3.3)	-	ABFIJN	黄灰色	A	口縁～体部 20%	南比企産
22	須恵器碗	(18.0)	(4.4)	-	ABFN	褐灰色	A	口縁～体部 片	南比企産
23	須恵器碗	(17.0)	(4.1)	-	ABFIJN	外・黄灰色 内・灰白色	A	口縁部 10%	南比企産
24	須恵器碗	(20.0)	(5.9)	-	ABFIN	灰色	A	口縁～体部 25%	南比企産
25	須恵器碗	(17.0)	(5.0)	-	ABFIJN	灰色	A	口縁～体部 30%	南比企産
26	須恵器盤	(20.0)	(1.8)	-	ABIN	外・褐灰色、灰白色 内・灰黄色	A	口縁部 10%	内面・外面自然釉
27	須恵器蓋	(20.0)	(1.8)	-	ABFN	灰色	A	口縁部 10%	南比企産
28	須恵器蓋	-	(2.2)	(鈕径) 3.0	ABIJN	黄灰色	B	鈕～天井部 70%	末野産 釘頭状鈕 天井部外面回転ヘラケズリ 弓張型
29	須恵器 短頸壺蓋	-	(3.2)	(鈕径) 3.0	ABN	オリーブ黒色 灰白色	A	鈕部 100%	宝珠鈕 鈕部外面自然釉
30	土師器甕	(22.0)	(14.4)	-	ABIJN	橙色 にぶい橙色	A	口縁～胴上 部 20%	頸部～胴上部外面横位・斜位ヘラケズリ
31	土師器甕	(20.0)	(4.0)	-	ABIJN	外・にぶい橙色 内・橙色	A	口縁部片	くの字状口縁
32	土師器甕	-	(8.7)	6.0	ABIJN	外・黄灰色 内・明赤褐色	A	胴下～底部 50%	胴部下端外面斜位ヘラケズリ
33	土師器鉢	20.8	13.4	-	ABIJN	明赤褐色	A	80%	胴部上端～底部外面手持ちヘラケズリ
34	土師器甕	-	-	-	ABIJN	外・にぶい赤褐色 内・橙色	A	胴部片	内面墨痕あり
35	土師器壺	-	(12.0)	-	ABHIJN	外・橙色、オリーブ黒色 内・橙色	A	胴部片	胴部外面下端斜位ヘラケズリ 底部外面黒斑 球胴形態
36	須恵器甕	(18.8)	(2.5)	-	ABIJN	青灰色	A	口縁部片	末野産
37	須恵器甕	-	(2.7)	(10.0)	ABFN	灰色 内・灰白色	B	体～底部 20%	南比企産
38	須恵器甕	-	(4.4)	(15.0)	ABN	灰色	A	底部 10%	末野産 底部下端外面横位ヘラケズリ
39	須恵器甕	-	-	-	ABN	灰色	A	胴部片	外面平行タタキ 内面無文当て具痕
40	須恵器甕	-	-	-	ABN	外・青灰色 内・黄灰色	A	胴部片	外面平行タタキ 内面無文当て具痕
41	須恵器甕	-	(8.8)	(19.0)	ABIN	外・灰色 内・灰オリーブ色	A	胴～底部片	外面平行タタキ 内面無文当て具痕
42	土錘	長：(5.3)	幅：1.5	孔径：0.5	ABIJN	黄灰色	A	80%	
43	土錘	長：4.7	幅：1.5	孔径：0.2	ABIJN	にぶい褐色	A	100%	
44	土錘	長：3.6	幅：0.9	孔径：0.2	ABIJN	にぶい黄褐色	A	100%	
45	鉄釘	長：(4.3)	幅：0.5	厚：0.6					

みと判断される。22～25は須恵器碗。26は口縁部の屈曲が弱いことから、須恵器無台盤とみられる。27～29は須恵器蓋で、29は短頸壺の蓋である。30～32は土師器甕で、口縁部の外反は、30はやや強めだが、32はゆるやかである。30は胴が若干膨らむ。33は頸部が「く」の字を呈する鉢である。35は球胴形態となる土師器壺または丸甕の底部。36～41は須恵器甕。42～44は土錘。45は鉄釘である。

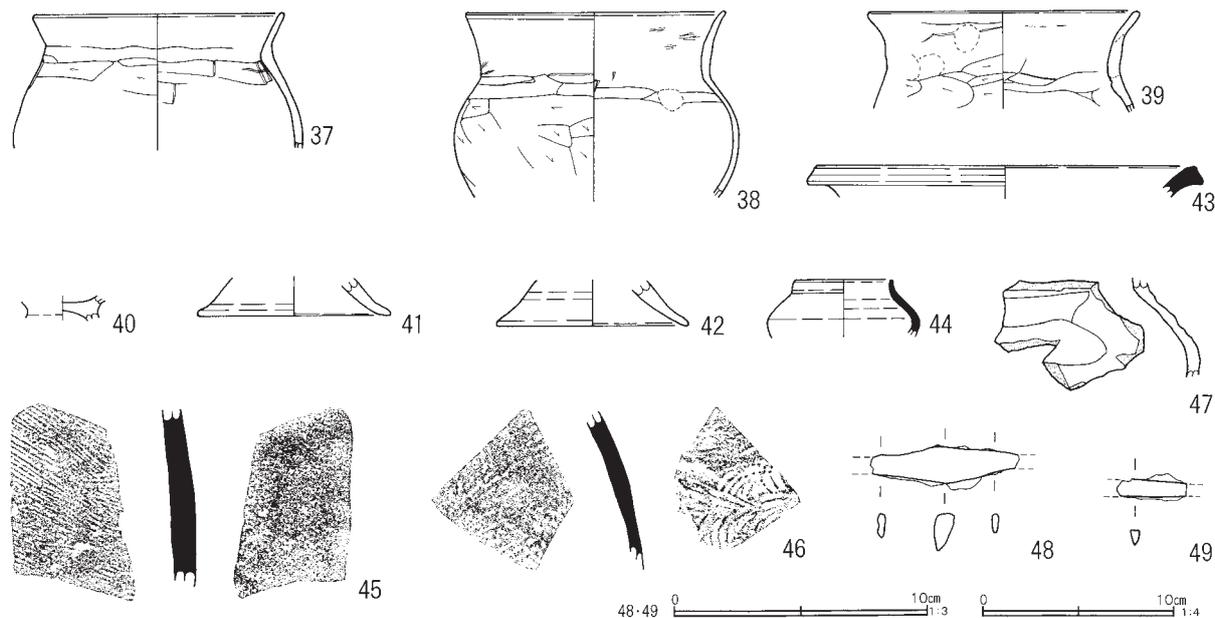
時期 8世紀前半（幡羅・下郷遺跡Ⅲ期、西別府官衙遺跡群3期）



第39図 第12号竪穴建物跡



第 40 图 第 12 号竖穴建物跡出土遺物 1



第41図 第12号竪穴建物跡出土遺物2

第12号竪穴建物跡（第39図）

位置 AA・AB - 16、AA・AB - 17、AA・AB - 18 グリッドに位置する。

規模 長軸5.5m短軸は検出範囲で2.8m遺構残存面からの壁高は0.99m。主軸方向はN-38°-W。

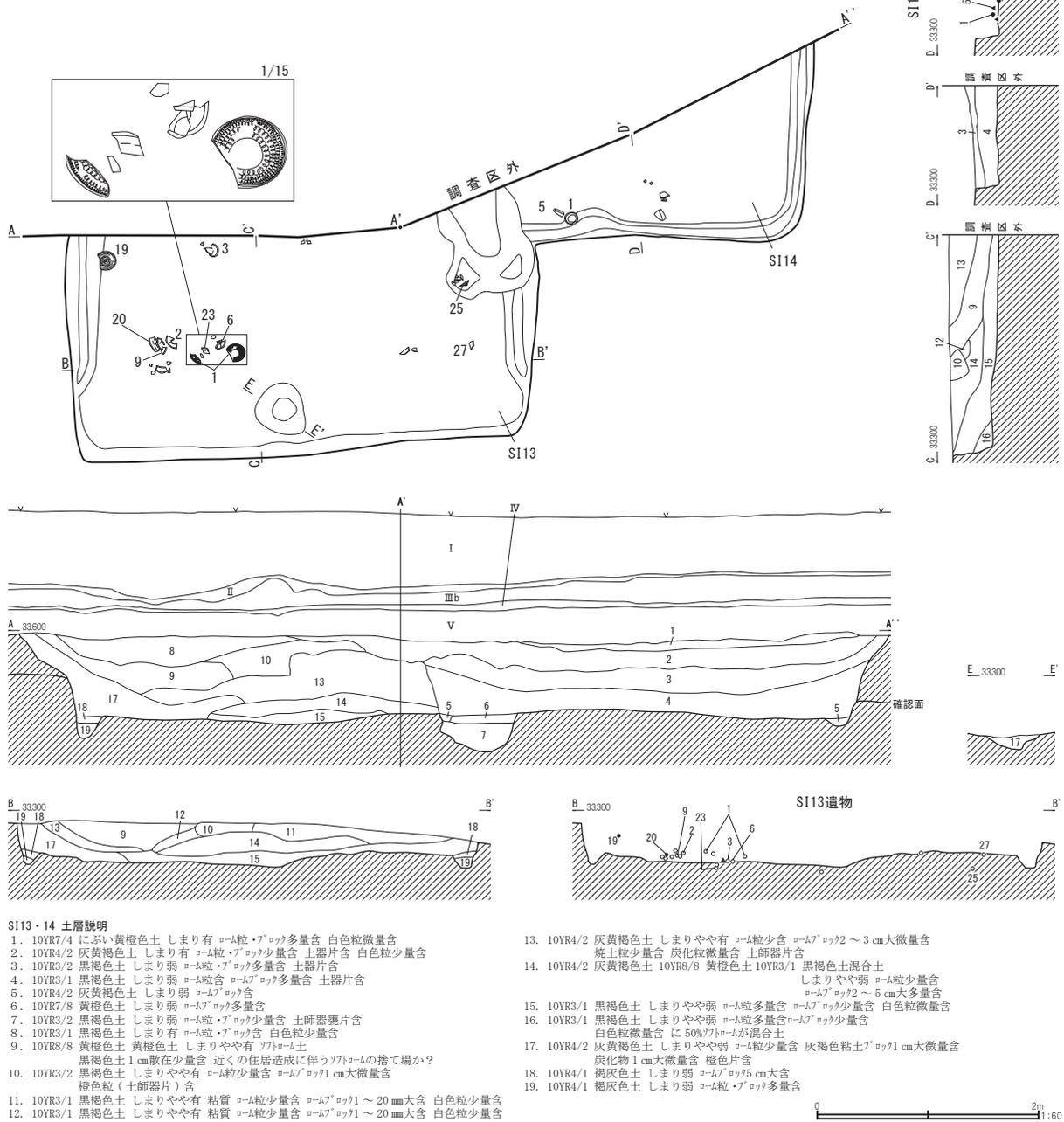
概要 平面形の全容は下半が調査区外につき不明。覆土がレンズ状堆積であり、自然埋没と考えられる。カマドは北壁の中央に設置され、煙道の天井部が遺存し、煙出孔が確認された。奥行1.7m・幅は燃焼部で0.58mを測り、奥壁で立ち上がる。内部施設は、壁溝がカマド範囲を除き廻る。カマド東脇の北壁に棚状施設が確認された。また北東隅に貯蔵穴1基を検出し、東側に深さ0.15mの窪みを確認している。竪穴外にやや不規則ながら竪穴を廻るピットを17基検出しており、柱穴と考えられる。

遺物（第40図、第41図、第10表） 須恵器坏、高台坏、蓋、甕、ミニチュア短頸壺と、土師器坏、埴、皿、甕、台付甕、壺、刀子等が出土した。1は内面に放射暗文が施される土師器坏で丸底風のもの。2は土師器皿状の形態で、密な放射暗文が内面に施され平底である。3は土師器で内面に放射暗文が施される深埴形状。4～8は北武蔵型坏で丸底から丸底風のもので、体部下位にケズリ調整されている。7は内面に油煙が付着する。9～16須恵器坏・埴の類で、12は三毳産とみられ、体部外面下位に段がついており、高台剥離後に研磨が施された可能性がある。なお、9は混入とみられる。17～19は蓋であり、17・18は流れ込みと判断される。20～28・30～36は土師器甕で、20～24は頸部が「く」の字を呈する形状。26は線刻がみられ、記号か（第174図⑤）。29は土師器壺の胴部下～底部片。37～42は土師器台付甕で、39は「コ」の字への移行段階であり、流れ込みとみられる。43・45・46は須恵器甕。44は小型の須恵器短頸壺である。三毳産とみられ、肩が張らない形状。47は器面が荒れた土師器甕の胴部片か。48・49は鉄製品の刀子で、刀身片とみられる。

時期 8世紀前半（幡羅・下郷遺跡Ⅲ期、西別府官衙遺跡群3期）

第10表 第12号竪穴建物跡出土遺物観察表

No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	土師器環	15.4	4.1	-	ABJN	灰赤色 赤褐色	A	60%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ 外面黒色処理 内面放射状暗文
2	土師器皿	(19.0)	(3.3)	-	ABJN	橙色 外・オリーブ灰色	A	20%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ 内面放射状暗文 胎土マーブル
3	土師器埴	(16.0)	(4.6)	-	ABJN	明赤褐色 外・にぶい黄褐色	A	20%	体部外面ミガキ 底部外面手持ちヘラケズリ 内面放射状暗文
4	土師器環	(15.0)	(3.8)	-	ABJN	にぶい褐色	A	30%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ
5	土師器環	(14.0)	(2.9)	-	ABJN	明赤褐色	A	20%	体部外面指頭痕
6	土師器環	(14.0)	(2.7)	-	ABJN	にぶい褐色	B	10%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ
7	土師器環	(12.0)	(2.5)	-	ABJN	にぶい橙色	A	10%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ 内面油煙 灯明皿
8	土師器環	(12.4)	(3.7)	-	ABJN	にぶい褐色	B	40%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ
9	須恵器環	(13.4)	(3.6)	(8.0)	ABFN	灰色	A	60%	南比企産 底部周辺回転ヘラケズリ
10	須恵器環	(13.0)	(2.6)	-	ABN	黄灰色	A	口縁部片	
11	須恵器環	(12.8)	(3.9)	(8.0)	ABFHN	黄灰色	B	20%	南比企産 底部外面回転ヘラケズリ
12	須恵器高台環	(10.8)	(2.7)	(6.0)	ABN	灰色	A	10%	三毘産 底部外面回転ヘラケズリ 高台のはがれ後 研磨されている
13	須恵器環	(14.0)	(3.0)	-	ABN	灰色	A	口縁部片	
14	須恵器環	(13.8)	(3.1)	-	ABFN	灰色	A	口縁部片	南比企産
15	須恵器環	-	(1.6)	(8.0)	ABFN	灰色	A	底部片	南比企産 底部外面周辺回転ヘラケズリ
16	須恵器環	(12.0)	(2.8)	(7.7)	ABFN	灰色	A	体～底部 20%	南比企産 底部外面周辺回転ヘラケズリ
17	須恵器蓋	(20.0)	(1.8)	-	ABFN	灰白色	A	口縁部 30%	南比企産
18	須恵器蓋	(19.8)	(1.3)	-	ABFN	灰色	A	口縁部 10%	南比企産
19	須恵器蓋	-	(2.0)	(鈕径) (2.4)	ABHJN	灰白色	B	鈕～天井部片	天井部回転ヘラケズリ ボタン状鈕 弓張型
20	土師器甕	(20.6)	(8.3)	-	ABJN	外・にぶい黄褐色 内・にぶい赤褐色	B	口縁～胴上部 30%	胴部上端外面横位・斜位ヘラケズリ
21	土師器甕	23.0	(13.2)	-	ABJN	褐灰色 にぶい褐色	A	口縁～胴部 70%	胴部上端外面横位・斜位ヘラケズリ
22	土師器壺	(24.0)	(4.5)	-	ABJN	にぶい赤褐色	A	口縁～頸部 25%	口縁外面指頭痕
23	土師器甕	(23.0)	(8.4)	-	ABJN	褐灰色、外・にぶい赤褐色 内・にぶい褐色	A	口縁～胴上部 25%	頸部外面指頭痕 胴部上端外面横位・斜位ヘラケズリ
24	土師器甕	(22.0)	(9.4)	-	ABJN	褐色	A	口縁～胴上部 30%	胴部上端外面横位・斜位ヘラケズリ
25	土師器甕	-	-	-	ABJN	褐色	A	胴部片	
26	土師器甕	-	-	-	ABHJN	外・オリーブ黒色、明黄褐色 内・褐色	A	胴部片	胴部外面に線刻「口(袖カ)」
27	土師器甕	-	(1.5)	(5.6)	ABJN	外・オリーブ黒色 内・にぶい赤褐色	B	胴下～底部片	胴部下端外面横位・斜位ヘラケズリ
28	土師器甕	-	(1.5)	(6.0)	ABJN	外・褐灰色 内・灰褐色	B	胴下～底部片	胴部下端外面斜位ヘラケズリ
29	土師器壺	-	(6.8)	8.8	ABIN	褐色 外・オリーブ黒色	A	胴下～底部 80%	胴部下端～底部外面斜位ヘラケズリ 胴下部～底部外面黒色
30	土師器甕	-	(3.6)	(4.0)	ABJN	外・褐灰色 内・にぶい赤褐色	A	胴下～底部片	胴部下端外面斜位ヘラケズリ
31	土師器甕	-	(2.2)	(6.0)	ABJN	外・褐灰色 内・灰褐色	B	胴下～底部片	胴部下端外面横位斜位ヘラケズリ
32	土師器甕	-	(1.8)	(5.0)	ABJN	外・褐色 内・にぶい赤褐色	A	胴下～底部片	胴部下端外面斜位ヘラケズリ
33	土師器甕	-	(1.5)	(10.0)	ABJN	外・にぶい褐色、黒色 内・灰黄褐色	B	胴下～底部片	胴部下端外面横位ヘラケズリ
34	土師器甕	-	(2.0)	(8.0)	ABJN	外・灰色、褐色 内・にぶい赤褐色	A	胴下～底部片	胴部下端外面横位・斜位ヘラケズリ
35	土師器甕	-	(2.2)	(8.0)	ABJN	外・灰黄褐色 内・黄灰色	B	胴下～底部片	胴部下端外面斜位ヘラケズリ
36	土師器甕	-	(1.6)	(5.0)	ABJN	外・にぶい褐色、灰褐色 内・にぶい赤褐色	A	胴下～底部片	胴部下端外面斜位ヘラケズリ
37	土師器台付甕	(13.0)	(7.2)	-	ABN	褐色	A	口縁～胴上部 20%	胴部上端外面横位ヘラケズリ
38	土師器台付甕	(13.4)	(9.7)	-	ABIN	にぶい褐色、外・褐色 内・褐灰色	A	口縁～胴上部 20%	頸部内面ヨコナデ 胴部上端外面横位・斜位ヘラケズリ
39	土師器台付甕	(14.0)	(5.3)	-	ABN	褐灰色 外・にぶい褐色	A	口縁～胴上部 20%	胴部上端外面横位ヘラケズリ 口辺部外面指頭痕
40	土師器台付甕	-	(1.4)	-	ABIN	外・褐灰色、にぶい黄褐色 内・にぶい褐色	B	脚部片	
41	土師器台付甕	-	(2.0)	(10.0)	ABJN	外・褐灰色 内・にぶい褐色	A	口縁部片	
42	土師器台付甕	-	(2.3)	(10.0)	ABJN	にぶい赤褐色 褐灰色	A	脚部片	
43	須恵器甕	(19.8)	(1.7)	-	ABN	黒色	A	口縁部片	末野産
44	須恵器 小型短頸壺	(5.0)	(3.0)	-	ABN	灰色	A	口縁～胴部片	三毘産
45	須恵器甕	-	-	-	ABJN	外・灰色 内・にぶい褐色	A	胴部片	末野産 外面平行タキ
46	須恵器甕	-	-	-	ABJN	黄灰色	A	胴部片	末野産 外面平行タキ 内面同心円状当て具痕
47	土師器甕	-	-	-	ABJN	外・にぶい褐色 内・灰黄褐色	B	頸～胴部片	内外面の器面荒れる
48	刀子	長：(5.8)	幅：0.6～1.5	厚：0.2～0.7					
49	刀子	長：(2.7)	幅：0.5～0.7	厚：0.1～0.3					



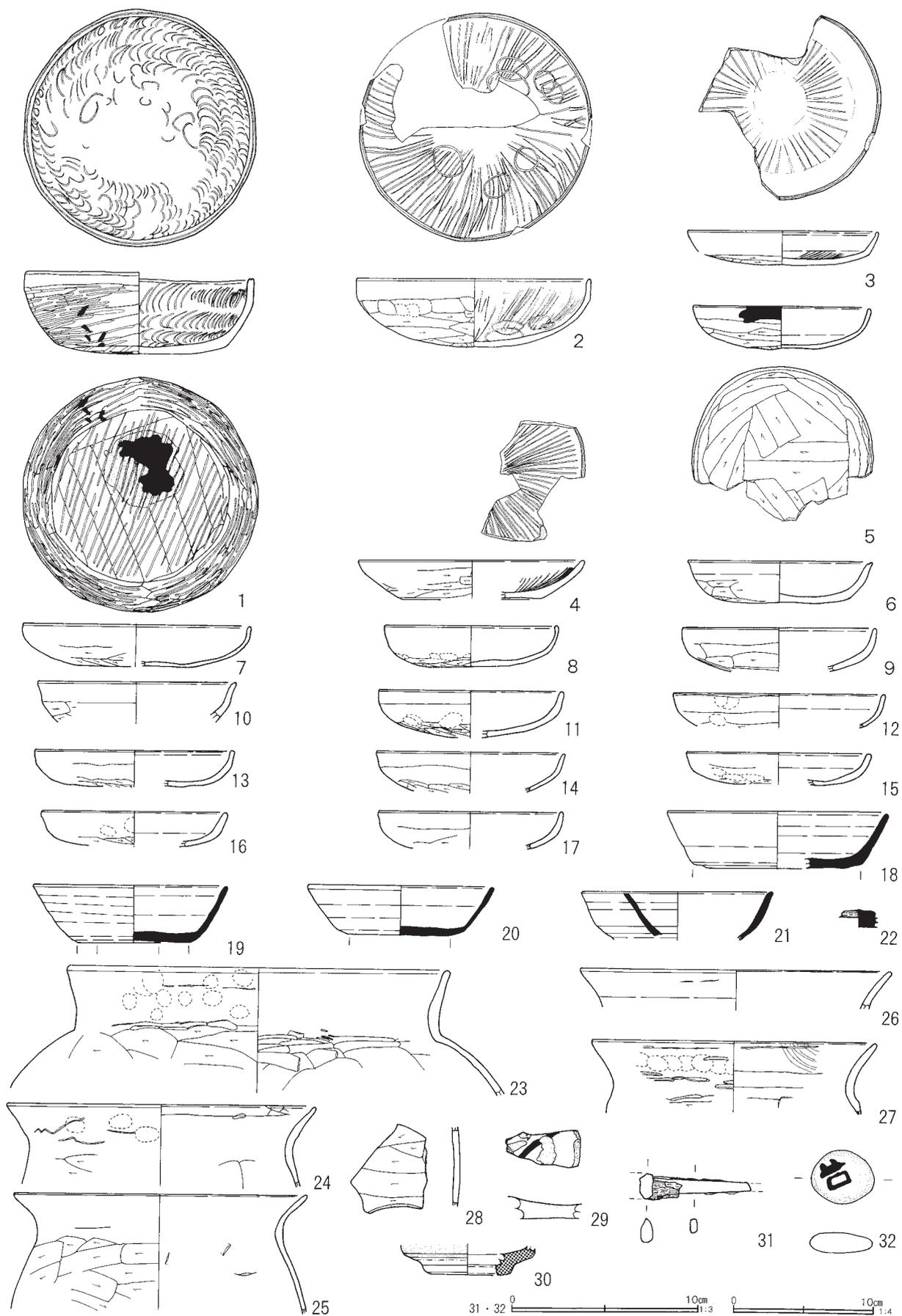
第 42 図 第 13・14 号竪穴建物跡

第 13 号竪穴建物跡 (第 42 図)

位置 W-23、V・W-24 グリッドに位置する。

規模 長軸 4.3 m 短軸は検出範囲で 2.1 m 遺構残存面からの壁高は 0.81 m。主軸方向は N-34°-W。

概要 平面形の全容は北側半ばが調査区外につき不明。覆土は下層がレンズ状堆積であり自然埋没と考えられるが、上層はやや乱れている。カマドは検出されなかったが、東壁にあたる第 14 号竪穴建物跡との重複箇所に掘り込みが確認されており、カマドを撤去した痕跡とも考えられる。内部施設は、西壁下に壁溝を 1.45 m 検出した。その他ピット 1 基検出している。



第43图 第13号竖穴建物跡出土遺物

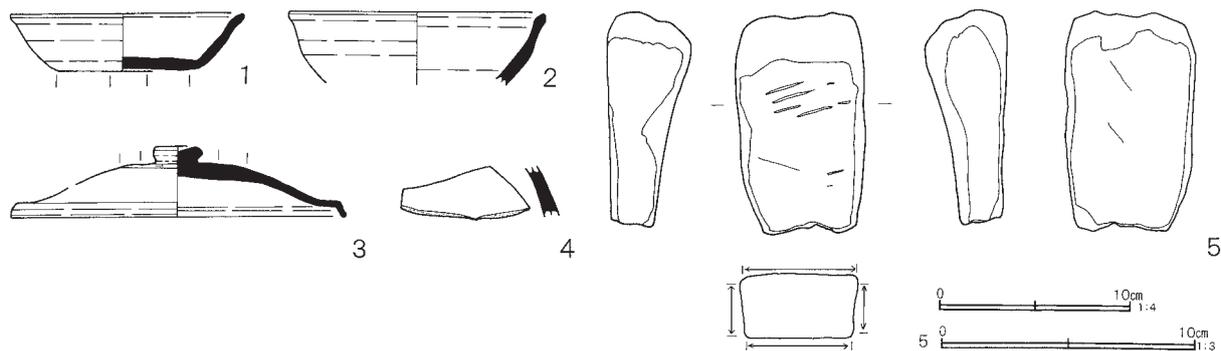
第 11 表 第 13 号竪穴建物跡出土遺物観察表

No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	土師器埴	16.2	5.8	12.2	ABIJN	外・明赤褐色 内・橙色	A	100%	外面ヘラケズリ・ミガキ 外面墨書? 内面ミガキ・螺旋状暗文
2	土師器坏	16.6	4.9	-	ABIJN	にぶい橙色	B	80%	体～底部外面手持ちヘラケズリ 体部外面指頭痕 内面放射状暗文・螺旋状暗文 北武蔵型坏に暗文施文
3	土師器坏	13.6	2.4	-	ABIJN	橙色 にぶい赤褐色	A	70%	底部外面手持ちヘラケズリ 内面放射状暗文 北武蔵型坏に暗文施文
4	土師器皿	(16.0)	(2.8)	(9.9)	ABIJN	にぶい赤褐色	A	30%	体～底部外面手持ちヘラケズリ 体部～底部内面放射状暗文
5	土師器坏	12.6	3.0	-	ABIJN	明黄褐色 外・オリーブ黒色	C	70%	底部外面手持ちヘラケズリ 外面油煙
6	土師器坏	(13.0)	(3.0)	(9.0)	ABIJN	にぶい赤褐色	A	50%	体～底部外面手持ちヘラケズリ 胎土マーブル 暗文系無文坏
7	土師器坏	(16.0)	(3.0)	-	ABIJN	にぶい赤褐色	A	20%	体～底部外面手持ちヘラケズリ
8	土師器坏	12.3	3.0	-	ABIJN	にぶい赤褐色	A	70%	体～底部外面手持ちヘラケズリ 体部外面指頭痕
9	土師器坏	(13.6)	(3.2)	-	ABIJN	にぶい橙色	A	20%	体～底部外面手持ちヘラケズリ 器壁厚い
10	土師器坏	(14.0)	(2.9)	-	ABHIJN	橙色	A		口縁～体部片 体部外面手持ちヘラケズリ 口唇部内面に沈線巡る 暗文系無文坏
11	土師器坏	(13.0)	(3.4)	-	ABIJN	橙色	A	30%	底部外面手持ちヘラケズリ 体部外面指頭痕
12	土師器坏	(15.0)	(2.4)	-	ABIJN	明赤褐色	A	10%	体部外面手持ちヘラケズリ 口辺部～体部外面指頭痕
13	土師器坏	(14.0)	(2.6)	-	ABIJN	橙色 外・にぶい赤褐色	A	10%	底部外面手持ちヘラケズリ
14	土師器坏	(13.4)	(2.8)	-	ABIJN	にぶい赤褐色	B	20%	体～底部外面手持ちヘラケズリ
15	土師器坏	(13.0)	(2.3)	-	ABIJN	橙色	A	10%	底部外面手持ちヘラケズリ 体部外面指頭痕
16	土師器坏	(13.0)	(2.5)	-	ABIN	明赤褐色	A	10%	体～底部外面手持ちヘラケズリ 口辺部外面指頭痕
17	土師器坏	(13.0)	(2.6)	-	ABIJN	橙色	A		体～底部外面手持ちヘラケズリ 口縁～体部片
18	須恵器高台坏	(15.7)	(4.1)	(12.0)	ABIJN	灰白色	B	20%	末野産 底部外面回転ヘラケズリ 内面研磨 転用硯?
19	須恵器坏	13.7	4.1	8.0	ABFN	オリーブ灰色 にぶい黄褐色	A	80%	南比企産 底部外面周辺回転ヘラケズリ 内面研磨 転用硯?
20	須恵器坏	(13.3)	(3.5)	(7.2)	ABEFN	灰色	A	40%	南比企産 底部外面全面回転ヘラケズリ
21	須恵器坏	(13.6)	(3.4)	-	ABIN	灰黄褐色	A		口縁～体部片 体部外面火ダスキ痕
22	須恵器蓋	-	(1.2)	(鈕径) 2.4	ABN	オリーブ灰色	A		鈕部片 扁平擬宝珠状鈕
23	土師器壺	(27.0)	(8.9)	-	ABIJN	橙色	A		口縁～胴上部 25% 胴部上端外面横位ヘラケズリ 頸部外面指頭痕
24	土師器甕	(22.0)	(5.8)	-	ABIJN	にぶい褐色	A		口縁～胴上部 20% 胴部上端外面横位ヘラケズリ 頸部外面指頭痕
25	土師器甕	(20.8)	(8.5)	-	ABIJN	外・橙・にぶい赤褐色 内・にぶい橙色	A		口縁～胴上部 20% 胴部上端外面横位・斜位ヘラケズリ
26	土師器甕	(22.0)	(2.9)	-	ABIJN	にぶい橙色	A		口縁～頸部 20% 胴部上端外面横位ヘラケズリ 口辺部外面指頭痕
27	土師器甕	(20.0)	(5.2)	-	ABIJN	橙色	A		口縁～胴上部 片 胴部上端外面横位ヘラケズリ 口辺部外面指頭痕
28	土師器甕	-	-	-	ABIJN	にぶい褐色	A		胴部片 外面ヘラケズリ
29	陶器片	-	-	-	ABN	黄灰色	A		底部片 内面鉄釉による施文 古瀬戸か?
30	白磁片	(9.4)	(2.1)	(高台径) (6.0)	ABN	外・明オリーブ灰・にぶい 黄褐色 内・灰白色	A		胴下～底部片 体部外面施釉 壺形の器形か?
31	刀子	長:(5.9)	幅:0.4～1.3	厚:0.4～0.7	-	-	-	-	中茎部 柄が僅かに残る
32	碑石経?	長:2.9	幅:3.3	厚:1.1	-	にぶい褐色	-	100%	墨書「口」一字一石経か?

遺物(第 43 図、第 11 表) 須恵器坏、高台坏、蓋と、土師器坏、埴、皿、甕、壺、刀子及び陶器片、白磁、礫石経等が出土した。1 は土師器暗文埴で内面に螺旋暗文が 4 段にわたって施される深埴形態である。外面は精緻な磨きが施され、体部外面にスガが付着する。器壁は厚く底部は平底風である。2・3 は北武蔵型の土師器坏で、内面に放射暗文を施すものである。2 は放射暗文に楕円形の暗文が加わる。丸底を呈し、流れ込みか。3 は平底風。4 は平底であり土師器暗文皿とした。5～17 は土師器で北武蔵型坏である。平底風のもので、体部下位がケズリ調整されている。6・10 は土師器で暗文系無文坏である。18～21 は須恵器坏である。18 は三毳産とみられ、体部下端の段差は高台が剥離した痕跡である。22 は須恵器蓋の擬宝珠形鈕。23 は土師器壺で球胴形態となるもの。24～27 は土師器甕で口縁部が「く」から緩やかに外反する。29 は近世陶器で、鉄釉の施文がみられる。30 は白磁である。体部の立ち上がりやや直線的であり、壺形状を呈する器形と推察される。31 は刀子の中茎部分である。柄が僅かに残存している。32 は一字一石経か(第 174 図㉓)。

重複 S I 14 より古い。

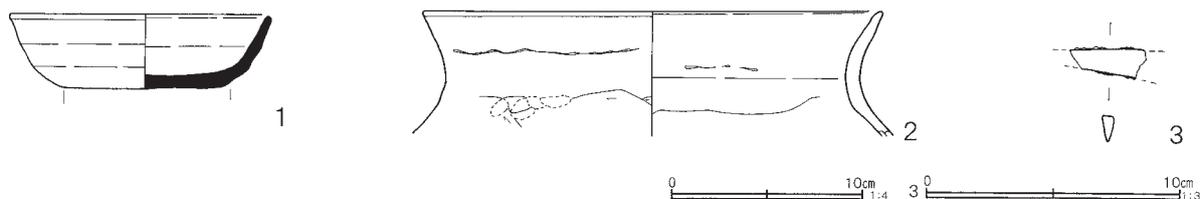
時期 8 世紀中頃(幡羅・下郷遺跡 IV 期、西別府官衙遺跡群 3・4 期)



第 44 図 第 14 号竪穴建物跡出土遺物

第 12 表 第 14 号竪穴建物跡出土遺物観察表

No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	須恵器坏	12.2	2.9	7.0	ABFN	灰白色	A	90%	南比企産 底部外面周辺回転ヘラケズリ
2	須恵器碗	(13.4)	(3.7)	-	ABHJN	灰黄色	B	口縁～体部 50%	南比企産 口縁部弱外反
3	須恵器蓋	(17.4)	(3.8)	(鈕径) 2.2	ABFHIN	灰色	A	70%	南比企産 釘頭状鈕 天井部周辺回転ヘラケズリ
4	須恵器長頸瓶	-	-	-	ABIN	外・オリーブ黒色 内・暗灰黄色	A	胴部片	外面自然釉
5	砥石	長：(8.5)	幅：4.6	厚：2.4	-	灰白色	-	80%	凝灰岩



第 45 図 第 13・14 号竪穴建物跡出土遺物

第 13 表 第 13・14 号竪穴建物跡出土遺物観察表

No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	須恵器坏	13.6	3.9	8.0	ABIN	灰白色	B	90%	末野産 底部外面全面回転ヘラケズリ
2	土師器壺	(24.0)	(6.5)	-	ABJN	橙色	A	口縁～頸部 25%	胴部上端外面横位・斜位ヘラケズリ・指頭痕
3	刀子	長：(3.0)	幅：0.8～ 1.1	厚：0.1～0.4					

第 14 号竪穴建物跡 (第 42 図)

位置 V-24・25 グリッドに位置する。

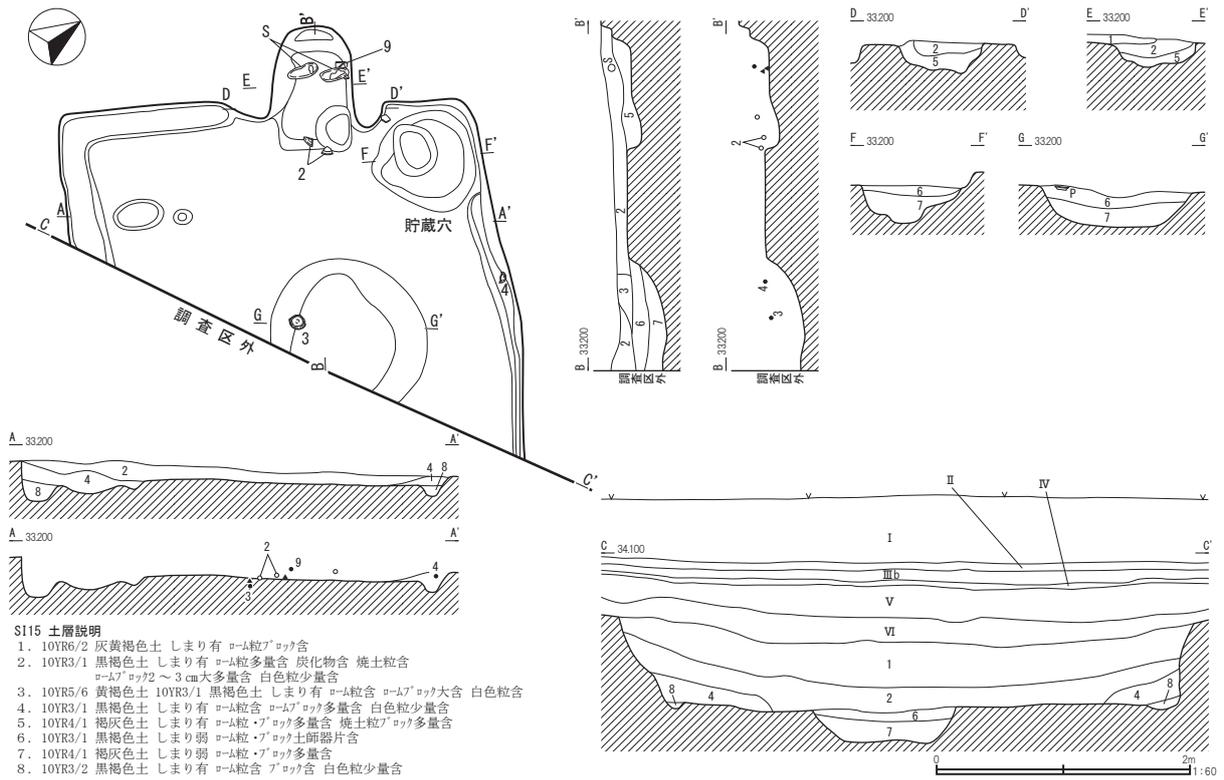
規模 長軸 3.4 m 短軸は検出範囲で 1.8 m 遺構残存面からの壁高は 0.78 m。主軸方向は N-29°-W。

概要 平面形の全容は大半が調査区外につき不明。覆土はレンズ状堆積であり自然埋没と考えられる。カマドは検出されなかった。内部施設は、壁溝を検出された壁下全体にみられた。その他ピット 1 基検出している。

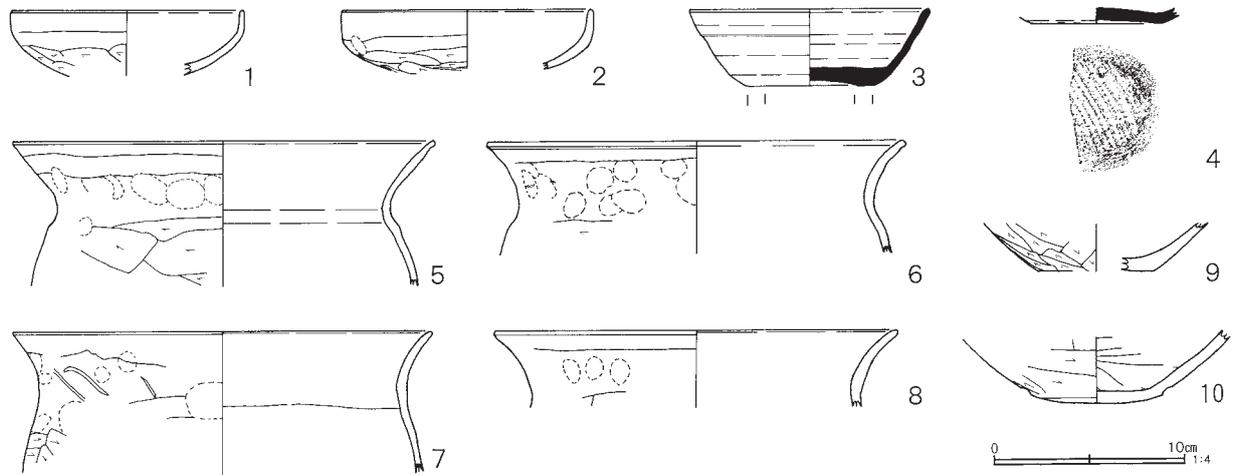
遺物 (第 44 図、第 12 表) 須恵器坏、碗、蓋、長頸瓶と、砥石等が出土した。1 は須恵器坏であり、底部外面周辺ヘラケズリ調整である。2 は須恵器碗である。3 は須恵器蓋で釘頭状の鈕を持つ。4 は須恵器長頸瓶の胴部片。5 は凝灰岩製の砥石で 4 面が使用されている。

重複 S I 13 より新しい。

時期 8 世紀後半 (幡羅・下郷遺跡 V 期、西別府官衙遺跡群 4 期)



第 46 図 第 15 号 縦穴 建物跡



第 47 図 第 15 号 縦穴 建物跡 出土 遺物

第 14 表 第 15 号 縦穴 建物跡 出土 遺物 観察表

No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	土師器 杯	(12.0)	(3.4)	-	ABIJN	外・にぶい赤褐色 内・黒褐色	A	15%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ
2	土師器 杯	(13.0)	(3.2)	-	ABIJN	橙色	A	30%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ 体部外面指頭痕
3	須恵器 杯	(12.4)	(4.0)	6.4	ABFN	灰白色	A	80%	南比企産 底部外面周辺回転ヘラケズリ
4	須恵器 杯	-	(0.8)	6.6	ABIJN	褐灰色	A	底部 70%	底部静止糸切り 底部周辺回転ヘラケズリ 底部外面火ダスキ痕
5	土師器 甕	(22.0)	(7.6)	-	ABIJN	外・にぶい褐色 内・にぶい赤褐色	A	口縁～胴上部 20%	胴部上端外面横位ヘラケズリ 頸部外面指頭痕
6	土師器 甕	(21.6)	(5.9)	-	ABIJN	外・赤褐・にぶい黄褐色 内・橙・にぶい橙色	A	口縁～胴上部 20%	口辺部外面指頭痕 胴部外面横位ヘラケズリ
7	土師器 甕	(22.0)	(7.8)	-	ABIJN	外・灰褐色 内・にぶい褐色	A	口縁～胴上部 25%	胴部上端外面横位ヘラケズリ 頸部外面指頭痕
8	土師器 甕	(21.0)	(4.0)	-	ABIJN	外・にぶい橙・にぶい赤褐色 内・橙色	A	口縁～頸部 10%	頸部外面指頭痕
9	土師器 甕	-	(2.5)	(6.0)	ABIJN	外・灰褐色 内・にぶい黄褐色	A	胴下～底部片	胴部下端外面斜位ヘラケズリ
10	土師器 甕	-	(3.5)	(6.0)	ABIJN	外・灰褐色 内・にぶい橙色	A	胴下～底部片	胴部下端外面斜位ヘラケズリ

第 13・14 号竪穴建物跡出土遺物（第 45 図、第 13 表）

重複箇所検出された遺物である。須恵器坏、土師器壺、刀子が出土した。1 は須恵器坏で全面回転ヘラケズリである。2 は土師器壺とみられる。3 は鉄製品で刀子の刀身片である。

第 15 号竪穴建物跡（第 46 図）

位置 W・X-24、W-25 グリッドに位置する。

規模 長軸 3.3 m 短軸は検出範囲で 2.9 m 遺構残存面からの壁高は 0.79 m。主軸方向は N-63°-E。

概要 平面形の全容は東南側が調査区外につき不明。覆土はレンズ状堆積であり自然埋没と考えられる。カマドは検出されなかったが、カマドは北壁のやや東寄りに設置されおり、袖部に地山を僅かに残している。奥行 0.69 m・幅は燃焼部で 0.45 m を測り、奥壁で立ち上がる。内部施設は、壁溝が北壁のカマド範囲及び東壁の貯蔵穴箇所を除き廻ると考えられる。また北東隅に貯蔵穴 1 基を検出し、竪穴中央南側に土坑を確認した。その他ピットを 2 基検出している。

遺物（第 47 図、第 14 表） 須恵器坏と、土師器坏、甕等が出土した。1・2 は北武蔵型の坏であり、体部ケズリ調整がやや高めで丸底風である。いずれも流れ込みとみられる。3・4 は須恵器坏であり、4 は底部静止糸切り離しである。5～10 は土師器甕で、口縁部が「く」の字から「コ」の字風を呈する。

時期 9 世紀前半（幡羅・下郷遺跡 VI 期、西別府官衙遺跡群 5 期）

2 掘立柱建物跡

掘立柱建物跡は計 23 棟を確認した。残念ながら調査区形状及び攪乱状況などが検出に不向きであったため、提示できた棟数や概要等の情報量は限定的である。しかし、検出されたピット数からは、時代差はあるものの相当な棟数が存在したと考えられる。このような中で、可能な限り抽出することを主眼に検討を行った。本項の数値表記について、重複状況や攪乱による確認面の高低等の問題があり、概要を記すこととした。柱間の表記については、東西方向は西から、南北方向は北から記載する。

第 1 号掘立柱建物跡（第 48 図）

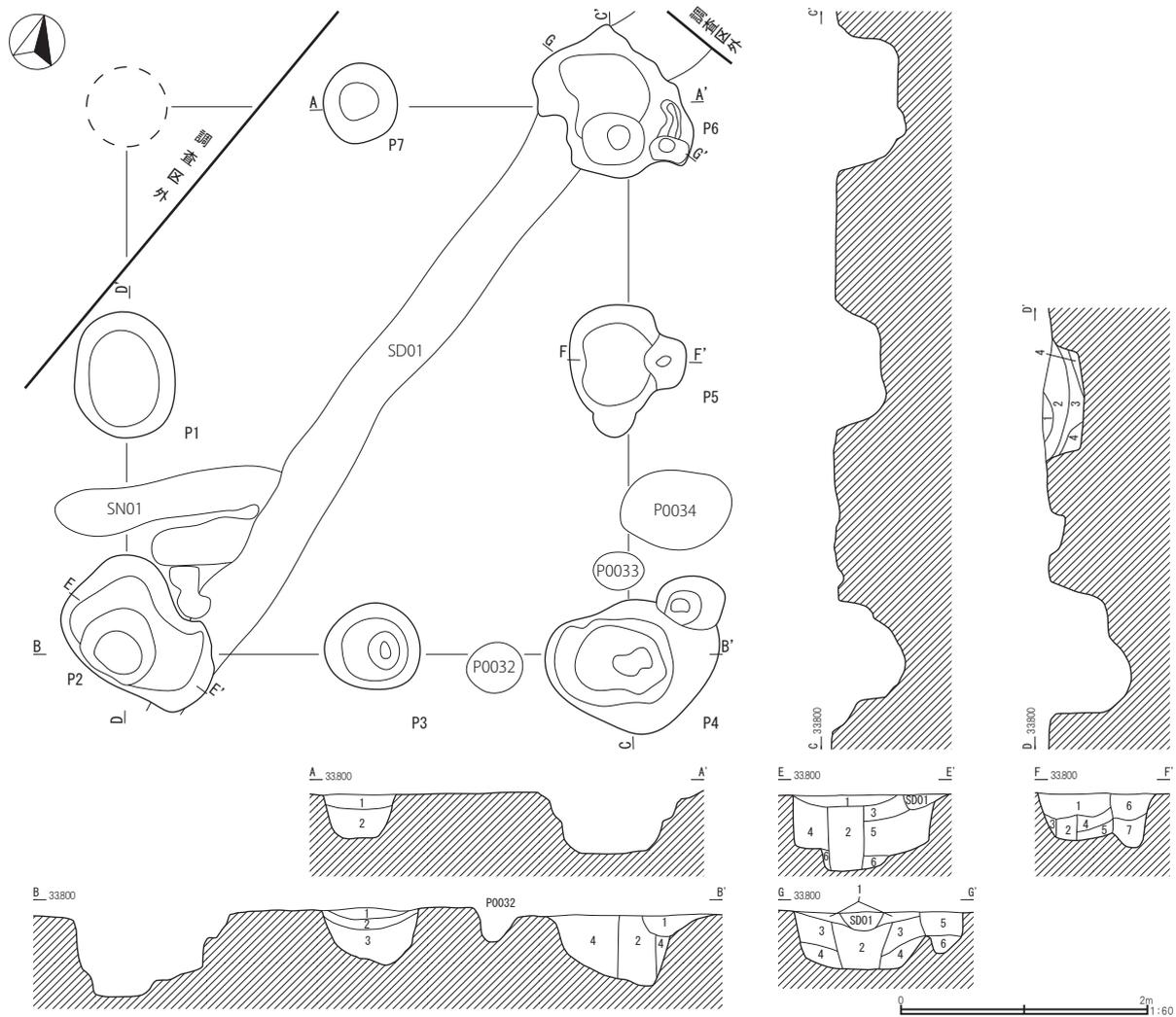
位置 A・B-12・13 グリッドに位置する。

概要 2 間×2 間と推定される側柱式掘立柱建物跡で、北西隅が調査区外である。梁・桁方向は不明であるが、東西 4.05 m、南北 4.45 m、推定面積は 18 m² を測る。柱間は東西方向北側が 2.15 m、南側が 2.1 m-1.95 m、南北方向西側が 2.2 m、東側が 2.1 m-2.35 m を測る。主軸方位は N-15°-W である。掘方は隅柱が乱れた楕円状で、間柱は円～楕円形である。掘方の深さは隅柱が確認面から 60～70 cm と深く、間柱は確認面から 30～50 cm とやや浅い。隅柱は土層断面から直径約 30 cm と推定され、間柱は隅柱より細くなると考えられる。

遺物（第 48 図、第 15 表） 灰釉陶器長頸瓶が出土した。1 は口縁部片で、内外面に灰釉が施されている。

重複 SD 01 より古い。

時期 9 世紀後半（幡羅・下郷遺跡 VII 期、西別府官衙遺跡群 6 期）



P7 土層説明 (A-A')

1. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり弱 粘性有 ロ-ム粒・ブ-ロツク少量含
2. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 粘性有 ロ-ム粒・ブ-ロツク大量含

P3, P4 土層説明 (B-B')

1. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり弱 粘性有 ロ-ム粒・ブ-ロツク少量含
2. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 粘性有 ロ-ム粒・ブ-ロツク大量含
3. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 ロ-ム粒・ブ-ロツク少量含
4. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 粘性有 ロ-ム粒・ブ-ロツク大量含

P1 土層説明 (D-D')

1. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり弱 粘性有 ロ-ム粒・ブ-ロツク少量含
2. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘性有 ロ-ム粒・ブ-ロツク少量含
3. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 粘性有 ロ-ム粒・ブ-ロツク大量含
4. 10YR6/6 明黄褐色土 しまり弱 粘性有 ロ-ム粒・ブ-ロツク多量含

P2 土層説明 (E-E')

1. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり弱 粘性有 ロ-ム粒・ブ-ロツク少量含
2. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 粘性有 ロ-ム粒・ブ-ロツク大量含
3. 10YR6/6 明黄褐色土 しまり弱 粘性有 ロ-ム粒・ブ-ロツク少量含
4. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 粘性有 ロ-ム粒・ブ-ロツク多量含
5. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘性有 ロ-ム粒・ブ-ロツク少量含
6. 10YR6/6 明黄褐色土 しまり弱 粘性有 ロ-ム粒・ブ-ロツク多量含

P5 土層説明 (F-F')

1. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり弱 粘性有 ロ-ム粒・ブ-ロツク少量含
2. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 粘性有 ロ-ム粒・ブ-ロツク大量含
3. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 粘性有 ロ-ム粒・ブ-ロツク多量含
4. 10YR6/6 明黄褐色土 しまり弱 粘性有 ロ-ム粒・ブ-ロツク少量含
5. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘性有 ロ-ム粒・ブ-ロツク少量含
6. 10YR6/2 灰黄褐色土 しまり弱 ロ-ム粒含
7. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり弱 ロ-ム粒含

P6 土層説明 (G-G')

1. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり弱 粘性有 ロ-ム粒・ブ-ロツク少量含
2. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 粘性有 ロ-ム粒・ブ-ロツク大量含
3. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘性有 ロ-ム粒・ブ-ロツク少量含
4. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 粘性有 ロ-ム粒・ブ-ロツク多量含
5. 10YR6/2 灰黄褐色土 しまり弱 ロ-ム粒含
6. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり弱 ロ-ム粒含

第 48 図 第 1 号掘立柱建物跡、同出土遺物

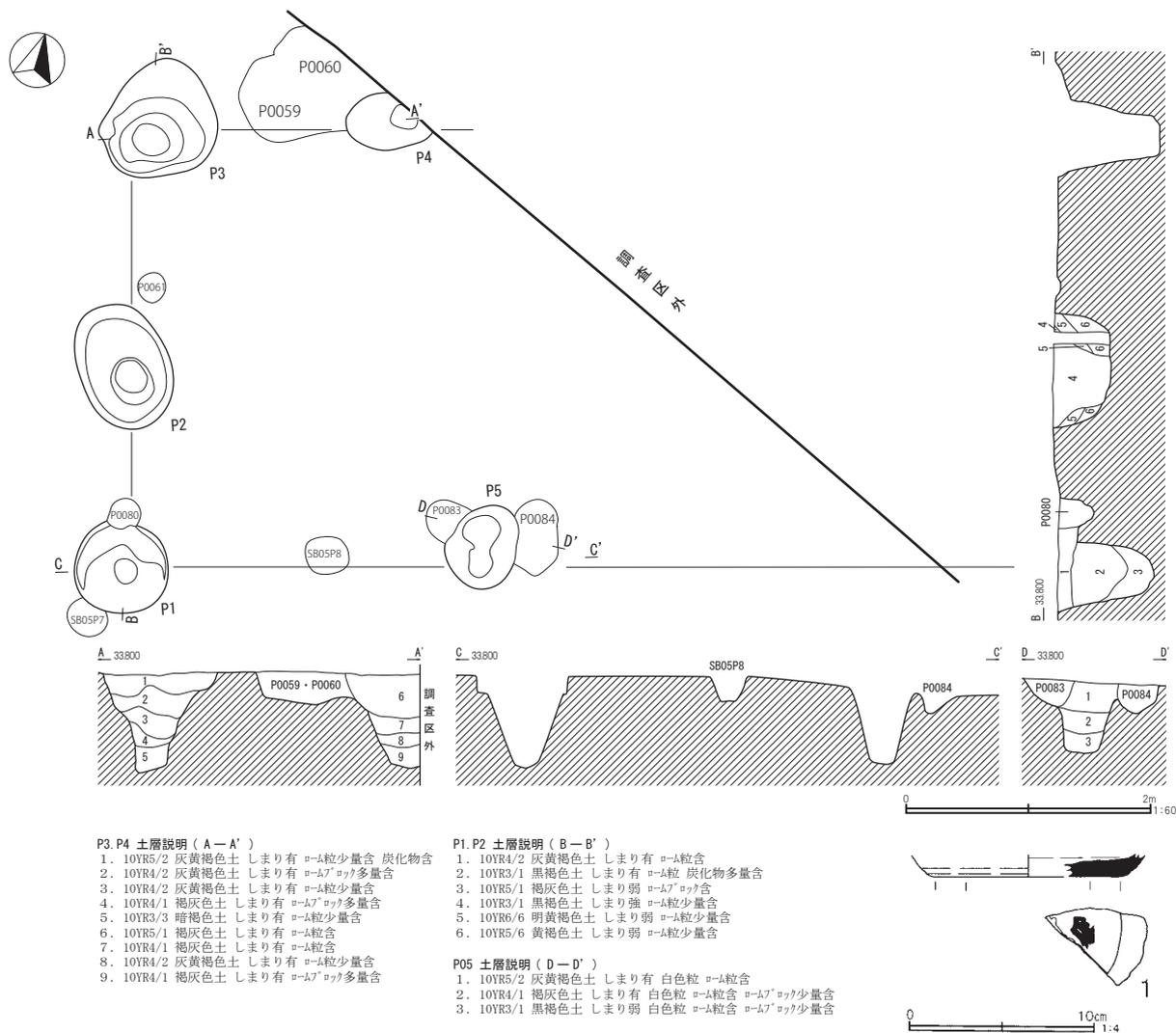
第 15 表 第 1 号掘立柱建物跡出土遺物観察表

No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	灰軸陶器長頸瓶	(8.0)	(0.9)	-	ABN	外・灰オリーブ色 内・黄褐色	A	口縁部片	口縁部内外面灰軸 猿投系か

第 2 号掘立柱建物跡 (第 49 図)

位置 B-14・15、C-15 グリッドに位置する。

概要 2 間×2 間以上と推定される東西棟の側柱式掘立柱建物跡で、東側が調査区外である。梁行 3.6 m、桁行 6.6 m 以上、推定面積は 23.8 m² 以上を測る。柱間は梁間が 2.05 m-1.55 m、桁間北側が 2.25 m、南側が 2.85 m-3.75 m 以上を測る。主軸方位は N-72°-E である。掘方はいずれも円~楕円



第 49 図 第 2 号掘立柱建物跡、同出土遺物

第 16 表 第 2 号掘立柱建物跡出土遺物観察表

No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	須恵器坏	-	(1.3)	(10.0)	ABFN	灰色	B	底部 10%	南比企産 底部外面墨書「西」

形であるが、桁間柱は若干小振りとなる。掘方の深さは確認面から 70～80 cm であるが、梁の間柱は確認面から 45 cm と浅い。柱の直径は掘り方から、約 20 cm 程度と推定される。

遺物 (第 49 図、第 16 表) 須恵器坏が出土した。1 は底部片で、外面に墨書「西」が確認された (第 174 図⑨)。

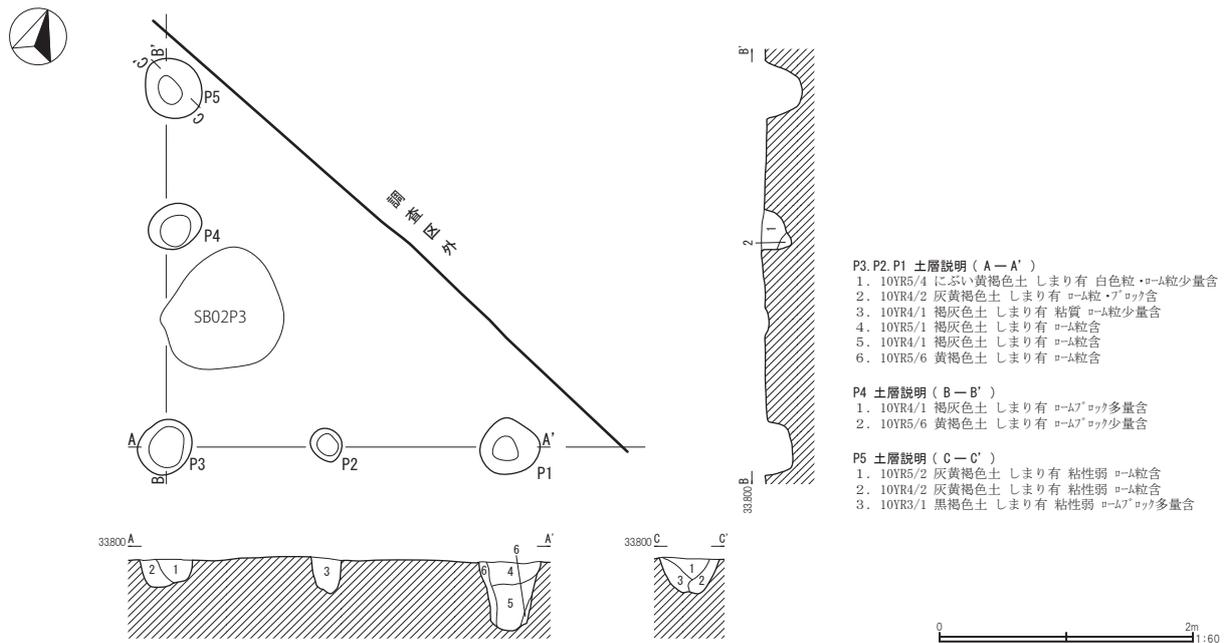
重複 P 0060、0059 より新しい、P 0080、0083、0084 より古い、S B 05 より新しい。

時期 8 世紀後半 (幡羅・下郷遺跡 V 期、西別府官衙遺跡群 4 期)

第 3 号掘立柱建物跡 (第 50 図)

位置 A-14、B-14・15 グリッドに位置する。

概要 2 間以上×2 間以上と推定される側柱式掘立柱建物跡で、北東側が調査区外である。柱間が短いことから、組み合わない可能性もある。梁・桁方向は不明であるが、検出範囲で東西 2.7 m、南北 2.8



第 50 図 第 3 号掘立柱建物跡

mを測り、推定面積は7.56㎡以上となる。柱間は東西方向が1.3m－1.4m、南北方向が1.1m－1.7mを測る。主軸方位はN－20°－Wである。掘方は円形を呈し、掘方の深さはP1のみ確認面から55cmと深く、そのほかは確認面から20～30cmとやや浅い。柱の直径はP1の土層断面から約20cmと推定され、間柱は隅柱より細くなると考えられる。

遺物 遺物は検出されなかった。

時期 時期不明

第 4 号掘立柱建物跡 (第 51 図)

位置 A－14、B－14・15・16、C－14 グリッドに位置する。

概要 2間以上×3間以上と推定される側柱式掘立柱建物跡で、北東側が調査区外である。梁・桁方向は不明であるが、東西5.5m、南北5.8mを測り、推定面積は31.9㎡以上となる。柱間は東西方向が2.9m－2.6m、南北方向が2.3m－1.8m－1.7mを測る。主軸方位はN－18°－Wである。掘方は円形を呈し、掘方の深さはP6が確認面から60cmと深く、P1～3は確認面から30～40cm、P4・5は20cm程度と浅い。柱径は不明である。

遺物 遺物は検出されなかった。

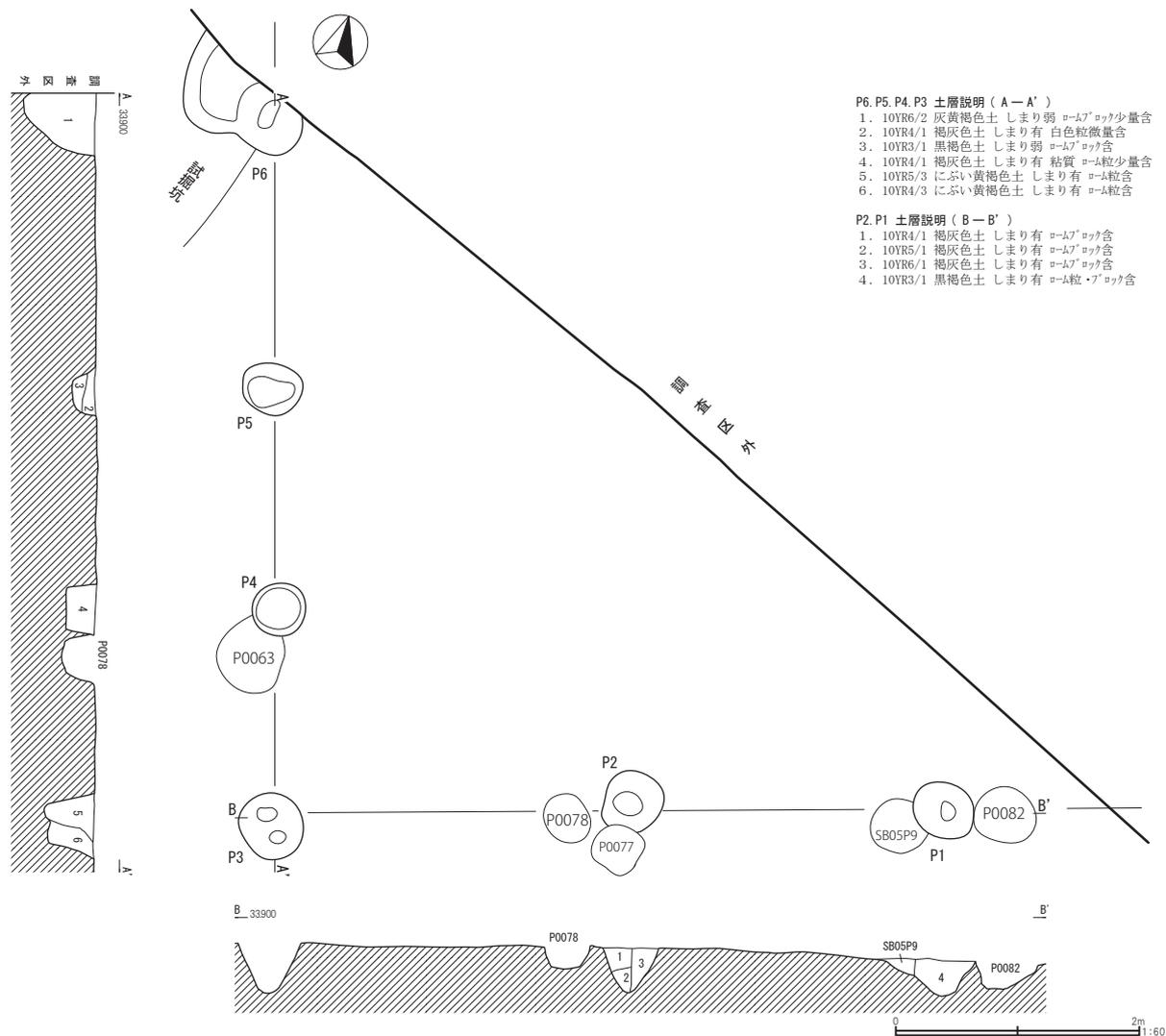
重複 P 0063、S B 05 より新しい。P 0077 より古い。

時期 8世紀後半以降 (幡羅・下郷遺跡V期以降、西別府官衙遺跡群4期以降)

第 5 号掘立柱建物跡 (第 52 図、第 53 図)

位置 B－15・16・17、C－15・16・17・18、D－15・16・17 グリッドに位置する。

概要 2間×4間以上と推定される東西棟の側柱式掘立柱建物跡で、北東側と南西側が調査区外である。地中レーダー探査の成果からは、2間×5間の可能性が提示されている。梁行は6.2m、桁行は推定で



第 51 図 第 4 号掘立柱建物跡

8.65 m 以上となり、推定面積は 53.63 m² 以上となる。梁間は 3.1 m - 3.1 m と推測される。梁間柱が不明であるが、SB 07 P 5 が該当する可能性がある。桁間は北側が 2.5 m - 1.85 m、南側が 2.0 m - 2.4 m を測る。主軸方位は N - 65° - E である。掘方は隅丸方形を呈するものとみられるが、重複等の影響で乱れている。長径は概ね 1.3 m であり、掘方の深さは確認面から概ね 1 m である。P 1・2・4 から柱痕が確認され、直径 25 cm 程度の柱と推定される。建物規模・掘方規模から大型の建物と推定される。P 7 ~ 17 は足場柱穴の可能性があるので、併せて図示した。外周側は本体軸から 1.7 ~ 2.1 m 程度離れ、内周側は本体軸から 1.2 ~ 1.5 m 程度と側柱に近い。柱筋の通りがやや悪く、掘方が小規模で深さが 20 ~ 30 cm となる特徴がある。側柱の直径は 30 ~ 40 cm と推定され、足場柱は 15 cm 前後か。

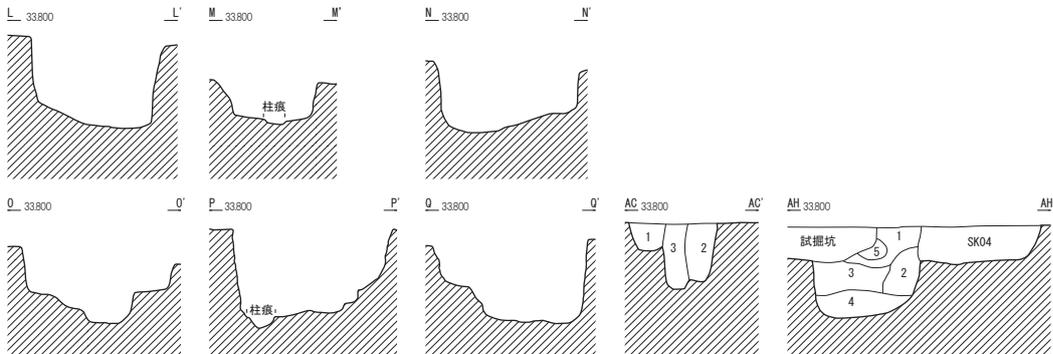
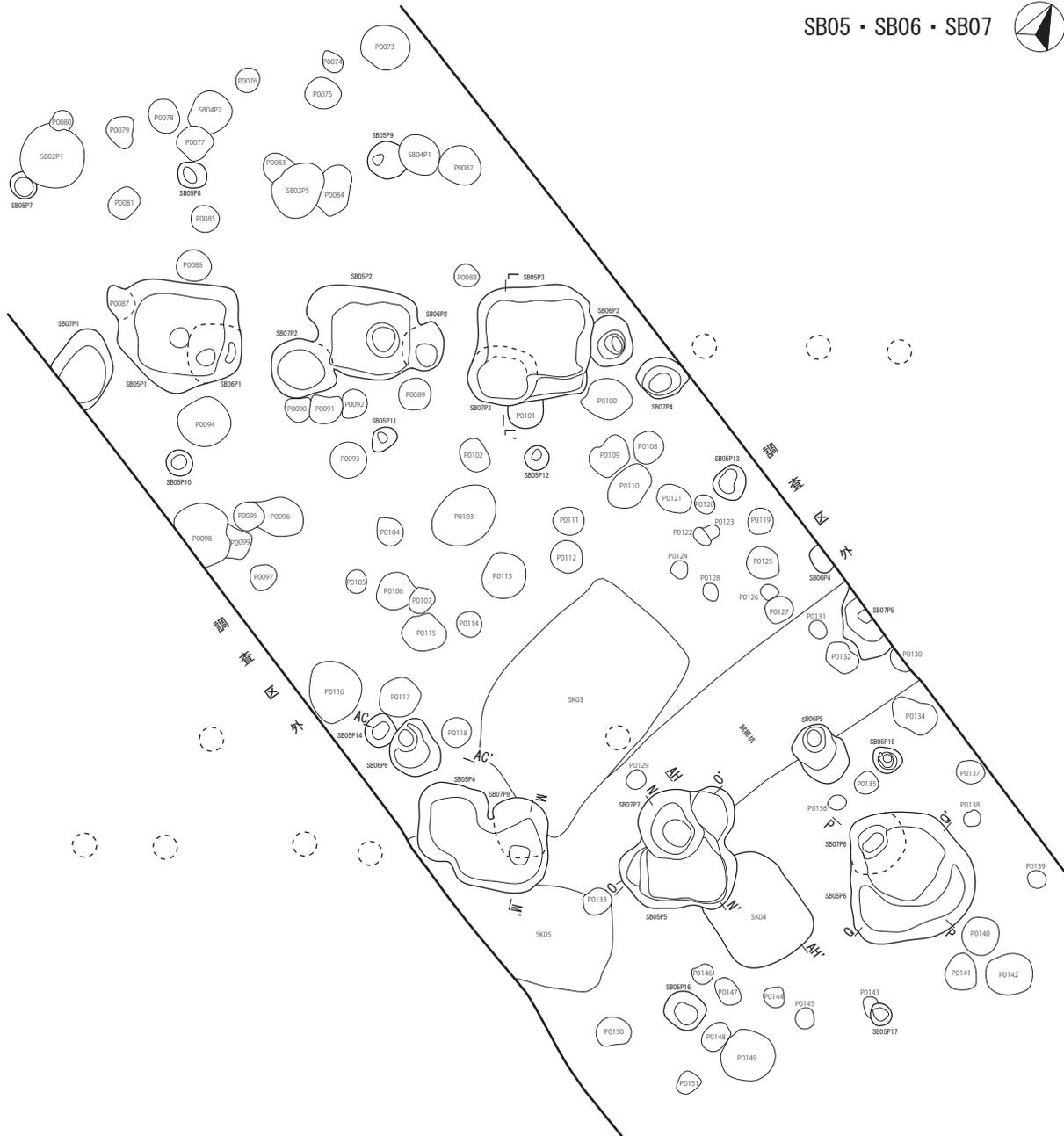
遺物 (第 56 図、第 17 表)

重複 SB 06、SB 07 より古い。

時期 8 世紀中～後半 (幡羅・下郷遺跡 IV 期、西別府官衙遺跡群 4 期)

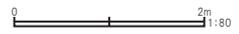
第 6 号掘立柱建物跡 (第 52 図、第 54 図)

位置 B - 15・16・17、C - 15・16・17・18、D - 15・16・17 グリッドに位置する。



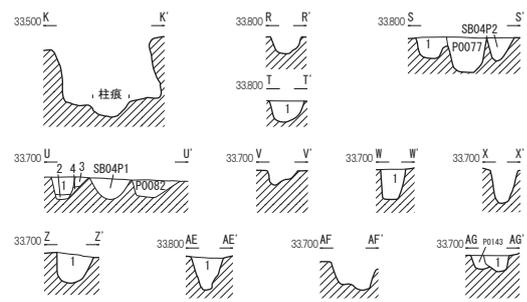
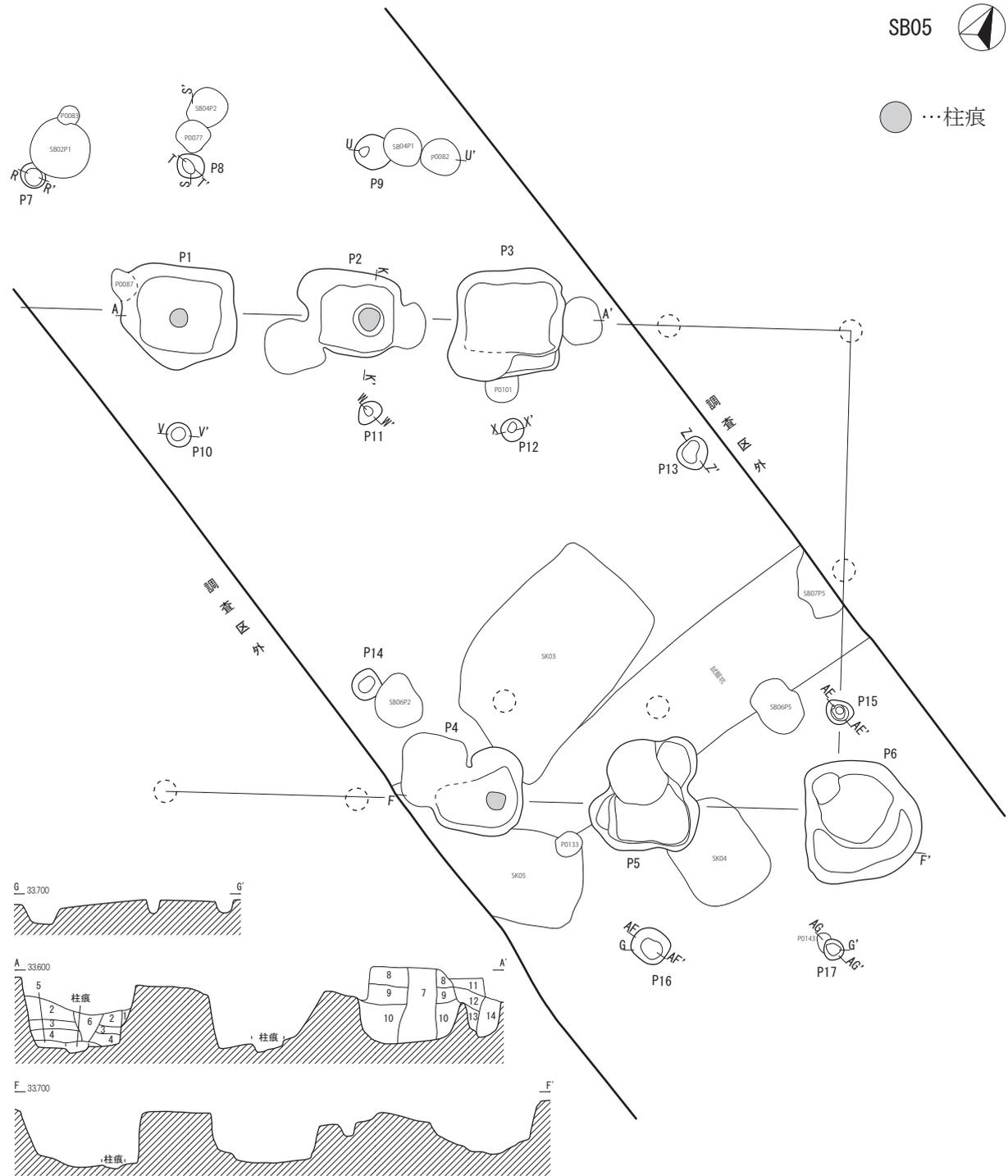
SB05P14, SB06P6 土層説明 (AC - AC')
 1. 10YR5/1 褐灰色土 しまり有 α -M⁺ 少々含
 2. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 α -M⁺ 少々多量含
 3. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 α -M 粒含

SB05P5 土層説明 (AH - AH')
 1. 10YR6/8 明黄褐色土 しまりやや強 α -M⁺ 少々含
 2. 10YR4/1 褐灰色土 しまりやや弱 α -M⁺ 少々含
 3. 10YR5/6 黄褐色土 しまりやや弱 α -M⁺ 少々含
 4. 10YR3/1 黒褐色土 10YR5/8 黄褐色土 しまりやや有り α -M⁺ 少々含
 5. 10YR4/1 褐灰色土 しまりやや弱 α -M⁺ 少々含



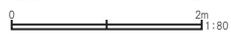
第 52 図 第 5・6・7号掘立柱建物跡

 ...柱痕



- P1, P3 土層説明 (A-A')**
1. 10YR5/1 黒褐色土 しまり弱 ロ-ム粒・フロック含
 2. 10YR5/6 黄褐色土 しまり有 ロ-ム7' ロック大含
 3. 10YR5/8 黄褐色土 しまり有 ロ-ム粒含
 4. 10YR5/6 黄褐色土 しまり弱 ロ-ム7' ロック含 黒褐色土含
 5. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 ロ-ム粒・フロック含
 6. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ロ-ム粒・フロック含
 7. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 ロ-ム粒・フロック少量含
 8. 10YR5/1 褐灰色土 しまり弱 ロ-ム粒・フロック含
 9. 10YR3/1 黒褐色土 しまり有 ロ-ム粒・フロック多量含
 10. 10YR4/4 褐色土 しまり有 ロ-ム粒・フロック多量含
 11. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 ロ-ム粒少量含
 12. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 ロ-ム7' ロック多量含
 13. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 ロ-ム7' ロック含
 14. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ロ-ム粒多量含
- P08 土層説明 (S-S', T-T')**
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 ロ-ム粒含

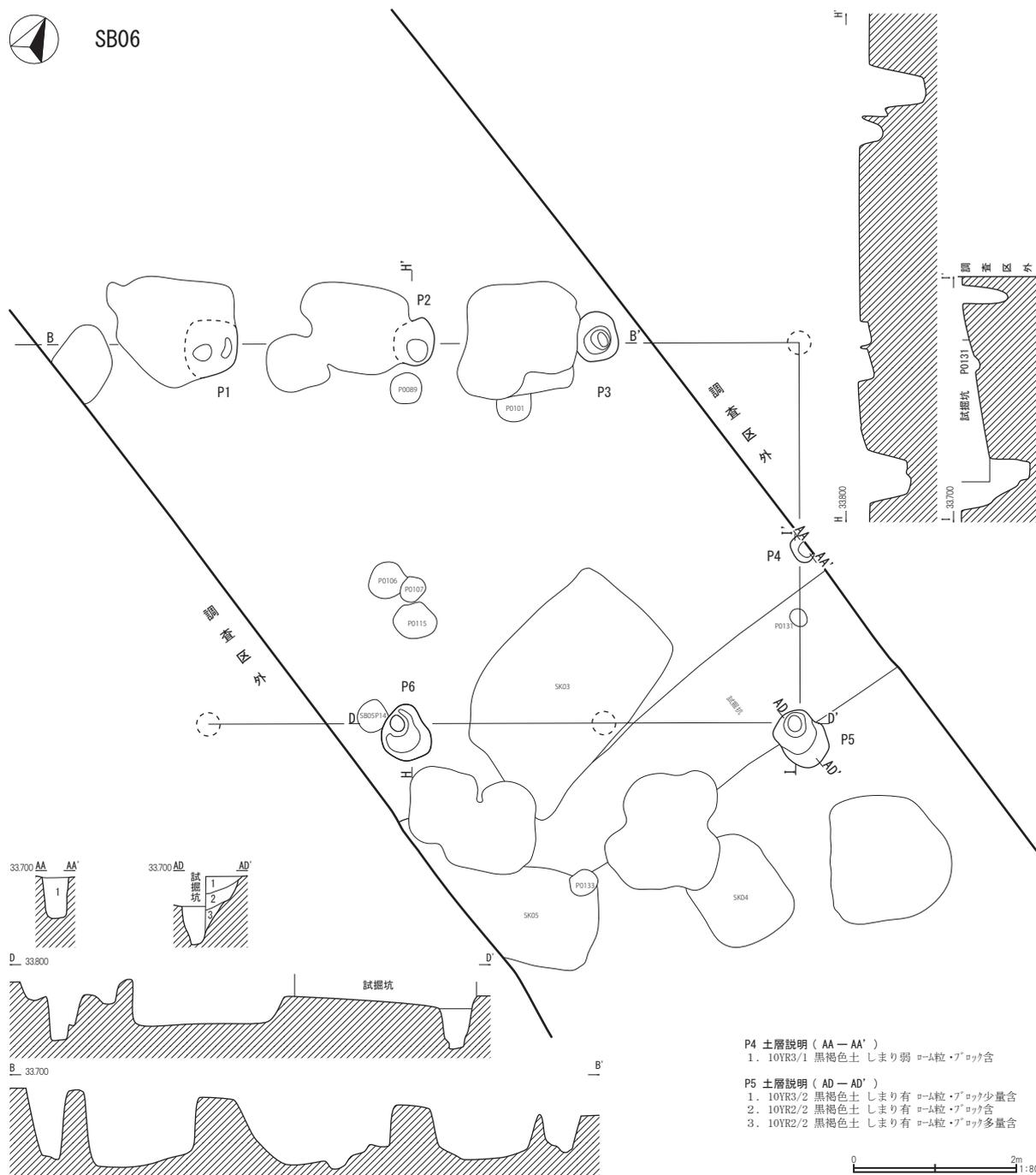
- P09 土層説明 (U-U')**
1. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり有 ロ-ム粒 橙色粒片含
 2. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 ロ-ム粒
 3. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり有 ロ-ム粒
 4. 10YR5/6 黄褐色土 しまり弱 ロ-ム7' ロック含
- P11 土層説明 (W-W')**
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 ロ-ム粒・フロック
- P13 土層説明 (Z-Z')**
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 ロ-ム粒少量含
- P15 土層説明 (AE-AE')**
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 ロ-ム粒少量含
- P17 土層説明 (AG-AG')**
1. 10YR5/1 褐灰色土 しまり有 粘質 ロ-ム粒少量含



第 53 図 第 5 号掘立柱建物跡



SB06



第54図 第6号掘立柱建物跡

概要 2間×3間以上と推定される東西棟の側柱式掘立柱建物跡で、北東側と南西側が調査区外である。梁行は4.7m、桁行は推定で7.25m以上となり、推定面積は34.07㎡以上となる。梁間は2.15m、桁間は北側が2.5m－2.35m、南側が推定で2.5m－2.5mを測る。主軸方位はN－63°－Eである。掘方は楕円～隅丸方形を呈する。長径は概ね60cmであり、掘方の深さは確認面から概ね90cmである。柱の直径は掘り方から約20cm程度と推定される。

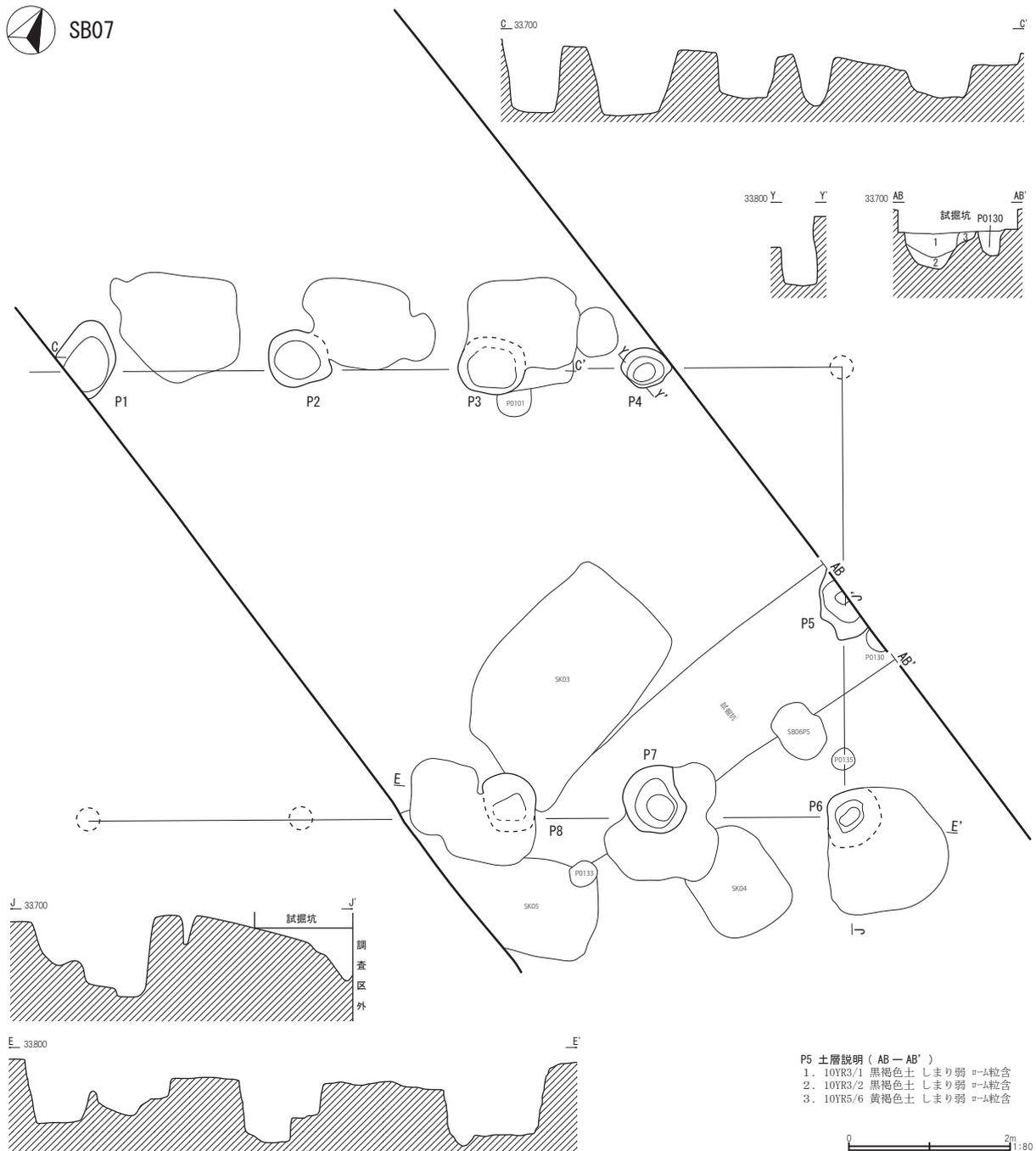
遺物 (第56図、第17表)

重複 SB05より新しい。SB07より古い。

時期 8世紀後半(幡羅・下郷遺跡V期、西別府官衙遺跡群4期)



SB07



第55図 第7号掘立柱建物跡

第7号掘立柱建物跡 (第52図、第55図)

位置 B-15・16・17、C-15・16・17・18、D-15・16・17 グリッドに位置する。

概要 2間×4間以上と推定される東西棟の側柱式掘立柱建物跡で、北東側と南西側が調査区外である。梁行は5.65m、桁行は推定で9.4m以上となり、推定面積は53.11㎡以上となる。梁間は2.75m、桁間は北側が2.6m-2.4m-1.85m、南側が1.9m-2.25mを測る。主軸方位はN-63°-Eである。掘方は楕円～隅丸方形を呈する。長径は概ね75cmであり、掘方の深さは確認面から概ね90cmである。柱の直径は掘り方から約20cm程度と推定される。

遺物 (第56図、第17表)

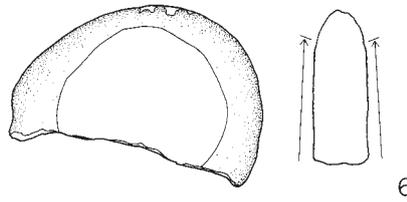
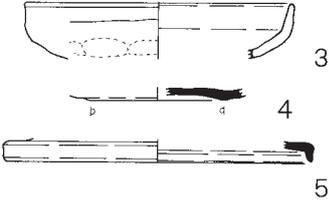
SB05P1・SB06P1



SB05P2



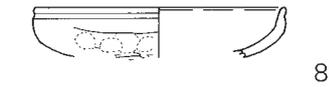
SB05P3・SB07P3



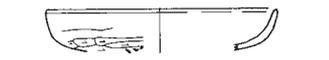
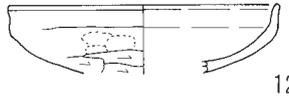
SB06P6



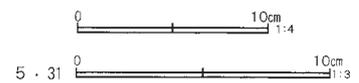
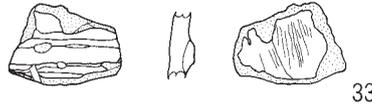
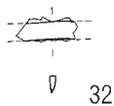
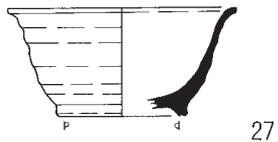
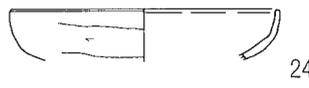
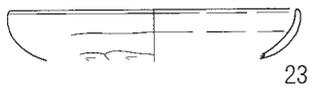
SB05P4・SB07P6



SB05P5・SB07P7



SB05P6・SB07P8



第56図 第5・6・7号掘立柱建物跡出土遺物

重複 SB 05、SB 06 より新しい。

時期 9世紀後半（幡羅・下郷遺跡Ⅶ期、西別府官衙遺跡群6期）

第5・6・7号掘立柱建物跡出土遺物（第56図、第17表） SB 05・06・07は重複関係にあり、出土遺物を分けて検出することが困難であった。そのため、柱穴ごとにまとめて掲載することとした。内容

第17表 第5・6・7号掘立柱建物跡出土遺物観察表

No.	出土地	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	SB05P1・SB06P1	須恵器高台埴	-	(1.8)	(高台径) (6.8)	ABIJN	灰色	A	体～脚部 30%	三毘産 底部外面回転糸切り
2	SB05P2	土師器杯	-	-	-	ABN	にぶい褐色	A	底部片	底部外面に墨書「得」 底部外面ヘラケズリ
3	SB05P3・SB07P3	土師器杯	(14.0)	(2.9)	-	ABIN	橙色	A	口縁～体部片	体部外面指頭痕
4	SB05P3・SB07P3	須恵器皿	-	(0.7)	(7.0)	ABFN	灰色	B	底部片	南比企産 底部外面回転糸切り離し
5	SB05P3・SB07P3	須恵器蓋	(16.0)	(1.1)	-	ABFN	灰黄褐色	A	口縁部片	南比企産
6	SB05P3・SB07P3	磨石	長：9.7	幅：(6.1)	厚：2.1	-	灰白色・褐灰色	-	60%	扁平形状 閃緑岩製 表裏にスス付着
7	SB06P6	須恵器片 (酸化炎焼成)	-	(1.4)	(7.6)	ABIJN	にぶい橙色	A	胴下～底部片	底部周辺回転ヘラケズリ
8	SB05P4・SB07P6	土師器杯	(13.0)	(2.6)	-	ABIJN	橙色	A	口縁～底部片	体部外面指頭痕 底部外面手持ちヘラケズリ
9	SB05P4・SB07P6	土師器杯	(13.0)	(2.7)	-	ABIJN	外・にぶい赤褐色 内・にぶい黄褐色	A	口縁～底部片	底部外面手持ちヘラケズリ
10	SB05P4・SB07P6	須恵器蓋	(16.0)	(1.3)	-	ABN	灰色	A	口縁部片	
11	SB05P5・SB07P7	土師器杯	(16.0)	(3.3)	-	ABIJN	橙色	A	30%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ 体部外面指頭痕
12	SB05P5・SB07P7	土師器杯	(14.0)	(3.5)	-	ABHIN	橙色	A	20%	体部外面指頭痕 底部外面手持ちヘラケズリ
13	SB05P5・SB07P7	土師器杯	(13.0)	(2.3)	-	ABIJN	にぶい橙色	A	口縁～底部片	底部外面手持ちヘラケズリ 外面器面荒れる
14	SB05P5・SB07P7	土師器杯	(12.9)	(2.0)	(11.1)	ABIJN	明赤褐色	A	口縁～底部片	底部外面手持ちヘラケズリ 内面放射状暗文 暗文施文後体部内面ヨコナデ
15	SB05P5・SB07P7	土師器杯	(12.0)	(2.2)	-	ABIN	橙色	A	口縁～底部片	体部～底部外面手持ちヘラケズリ 底部外面墨書
16	SB05P5・SB07P7	土師器杯	-	-	-	ABHJN	橙色	A	底部片	底部外面墨書「丈」 底部外面手持ちヘラケズリ
17	SB05P5・SB07P7	須恵器蓋	(16.0)	(1.5)	-	ABN	外・黄灰色 内・灰黄色	A	口縁部片	内面降灰
18	SB05P5・SB07P7	須恵器高台埴	-	(1.6)	(8.0)	ABIJN	灰黄色	C	体～底部片	底部外面回転糸切り
19	SB05P5・SB07P7	灰釉陶器 長頸瓶	-	(4.2)	-	ABN	灰白色	A	頸部片	内外面灰釉
20	SB05P5・SB07P7	灰釉陶器 長頸瓶	-	(4.5)	-	ABN	オリーブ黄色	A	頸部片	内外面灰釉
21	SB05P5・SB07P7	土師器台付甕	-	(5.2)	-	ABIJN	灰褐色・にぶい赤褐色	A	頸～胴上部片	胴部上端斜位ヘラケズリ
22	SB05P5・SB07P7	瓦質土器壺	-	(1.8)	(13.8)	ABIN	灰黄褐色	B	底部 20%	在地産 底部外面回転ヘラケズリ
23	SB05P6・SB07P8	土師器杯	(15.0)	(2.6)	-	ABIJN	明赤褐色	A	10%	底部外面手持ちヘラケズリ
24	SB05P6・SB07P8	土師器杯	(14.0)	(2.6)	-	ABIJN	にぶい橙色	B	口縁～底部片	体部～底部外面手持ちヘラケズリ
25	SB05P6・SB07P8	土師器杯	(12.0)	(2.7)	-	ABIJN	にぶい橙色	A	口縁～底部片	底部外面手持ちヘラケズリ
26	SB05P6・SB07P8	須恵器杯	(14.0)	(1.8)	-	ABFN	灰色	A	口縁部片	南比企産
27	SB05P6・SB07P8	須恵器高台埴	(11.8)	(5.7)	(高台径) (6.6)	ABN	灰色	B	30%	
28	SB05P6・SB07P8	須恵器甕	-	-	-	ABN	灰色	A	口縁部片	末野産
29	SB05P6・SB07P8	須恵器甕	-	-	-	ABN	黄灰色	A	頸部片	頸部櫛描き波状文
30	SB05P6・SB07P8	須恵器杯	-	(0.7)	(8.4)	ABFN	灰色	A	底部 20%	南比企産 底部外面周辺回転ヘラケズリ
31	SB05P6・SB07P8	須恵器長頸瓶	(9.0)	(1.1)	-	ABFN	黄灰色	A	口縁部片	南比企産
32	SB05P6・SB07P8	刀子	長：(2.3)	幅：0.7	厚：0.1～0.2					
33	SB05P6・SB07P8	円筒埴輪	-	-	-	ABEIJN	外・にぶい赤褐色 内・明赤褐色	B	胴部片	突帯が付く

としては、須恵器杯、高台埴、皿、高台埴、埴、蓋、甕、長頸瓶、土師器杯、台付甕、灰釉陶器長頸瓶、刀子、円筒埴輪、瓦質土器壺を検出している。時期をみると、22は13世紀後半の在地産瓦質土器壺、33は古墳時代後期の円筒埴輪で、いずれも流れ込みである。主体をなすのは奈良・平安時代所産のものであり、12の体部中ほど以下にヘラケズリ調整が入る北武蔵型杯等が古く8世紀中頃と推定される。続く資料として、14は緻密な放射暗文が施される平底の暗文杯であり、北武蔵型杯でヘラケズリ調整が底部周辺になるもの等が8世紀後半とみられる。新しい段階としては、須恵器高台埴や須恵器皿等が9世紀後半とみられる。

1はSB05P1・SB06P1より検出した須恵器高台埴の底部片で、三毘産とみられる。2はSB05P2はより検出した土師器杯底部片で底部外面に墨書がみられ、「得」が異体字で記されている(第174図⑳)。3～6はSB05P3・SB07P3より検出した。3は土師器で北武蔵型杯である。4は須恵器皿の底部片、5は須恵器蓋で、いずれも南比企産である。6は閃緑岩製の磨石で流れ込みである。7はSB06P6より検出した、酸化炎焼成された須恵器の底部片で、外面に周辺ヘラケズリが施される。8～10はSB05P4・SB07P6より検出した。8・9は土師器で北武蔵型杯である。10は須恵器蓋である。11～22はSB05P5・SB07P7より検出した。11～16は土師器杯である。11～13・15・16は北武蔵型杯。13は器高が低く皿状を呈する。15・16は底部外面に墨書がみられる。15は「土」や土偏または「寺」などの部片と考えられ(第174図㉘)、16は「丈」とみられる(第174図㉙)。14は暗文杯で、内面に放射暗文が施さ

れる。17は須恵器蓋、18は須恵器高台坏である。19・20は灰釉陶器長頸瓶の頸部片である。21は土師器台付甕。22は在地産の瓦質土器で壺の底部片か。13世紀ごろに帰属するもので流れ込みである。23～33はSB05P 6・SB07P 8より検出した。23～25は土師器で北武蔵型坏である。26は南比企産の須恵器坏で、口縁が外傾する。27は須恵器高台坏である。28・29は須恵器甕で、28は口縁部片、29は波状文が施される頸部片である。30は須恵器坏の底部片とみられ、外面に周辺ヘラケズリが施されている。31は須恵器長頸瓶の口縁部片。32は刀子で、刀身の破片。33は円筒埴輪で外面に突帯がみられる。流れ込みであるが、直近の在家古墳群または別府古墳群より流入したものと考えられる。

第8号掘立柱建物跡（第57図）

位置 D-18・19、E-19グリッドに位置する。

概要 2間以上×2間以上と推定される側柱式掘立柱建物跡で、南西側が調査区外である。梁・桁方向は不明であるが、検出範囲で東西2.0m、南北5.1mを測り、推定面積は10.2㎡以上となる。柱間は南北方向が2.7m-2.4mを測る。主軸方位はN-26°-Wである。P1～4の掘方は楕円形を呈し、長径は概ね1.6mを測る。掘方の深さは確認面から90～100cmと深い。P1～4から柱痕が確認され、直径25cm程度の柱と推定される。掘方規模から大型の建物と推定される。P5～10は足場柱穴の可能性があるので、併せて図示した。柱筋の通りがやや悪いものの、概ね同じ方向の本体軸から等間隔で離れている特徴がある。側柱の直径は30～40cmと推定され、足場柱は20cm前後か。

遺物（第58図、第18表） 須恵器坏、碗、高台坏、蓋、土師器坏、甕、台付甕、近世陶器片等を検出した。

1・2はP1より出土した。1は須恵器坏の底部片で外面に墨書がみられた。字体が草書風であり「林主」または崩し字で「林マロ」と読める（第174図③）。2は須恵器蓋である。いずれも南比企産である。3・4はP2より出土した。3は須恵器坏で、底部外面が回転糸切り無調整である。4は土師器甕の口縁部片で「コ」字状を呈するものである。5～8はP3より出土した。5・6は土師器坏で、北武蔵型である。7は須恵器坏の底部片で外面が周辺回転ヘラケズリ調整されている。8は須恵器蓋である。5～7は流れ込みか。9～22はP4より出土した。9は土師器坏である。北武蔵型で底部が平底風を呈する。10～12は須恵器坏である。10・12は底部外面が回転糸切り無調整である。12は底部外面に墨書が僅かにみられ、丸囲いされた「大」と思われる（第174図②）。11は底部外面が回転ヘラケズリ調整されている。流れ込みか。13～14は須恵器碗で、14は高台坏である。16は瀬戸・美濃系の陶器片で外面に灰釉が施されている。17・18は須恵器蓋である。19・20は胴部片とみられる陶器片である。16・19・20は流れ込みである。21・22は土師器台付甕である。

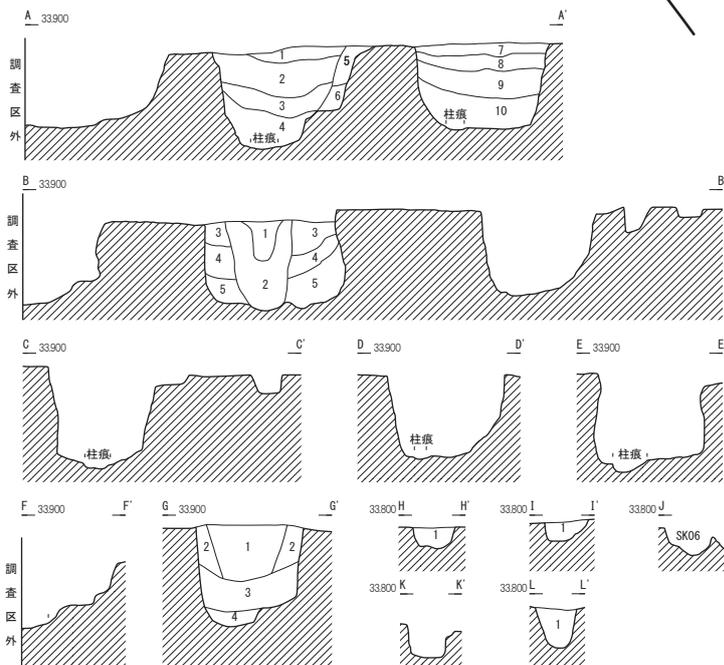
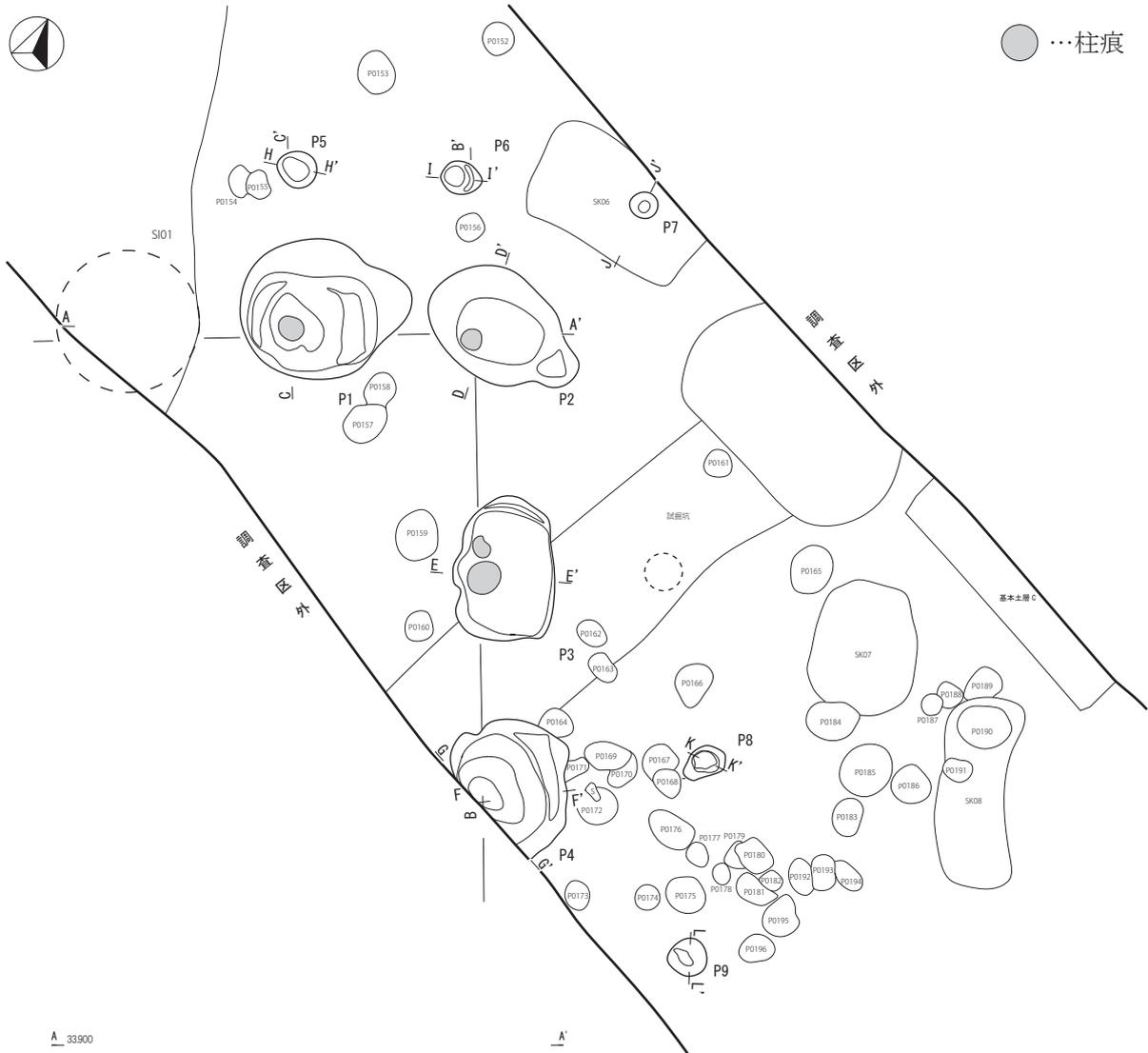
重複 P 0164、0171より古い。

時期 9世紀後半（幡羅・下郷遺跡Ⅶ期、西別府官衙遺跡群6期）

第9号掘立柱建物跡（第59図）

位置 D・E-20・21グリッドに位置する。

概要 P1・2のみであるが、P2は3基重複の柱穴である。P1は床面が3方向に膨らむことからP1に対応した柱穴と推定した。対応関係は図の①～③のとおりである。①は南北方向の柱間が2.55m



P1 P2 土層説明 (A-A')

1. 10YR6/2 灰黄褐色土 しまり有 α -M粒多量含
2. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり有 α -M⁷ロック多量含
3. 10YR5/1 褐灰色土 しまり有 α -M⁷ロック多量含
4. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 α -M⁷ロック多量含
5. 10YR5/1 褐灰色土 しまり有 α -M⁷ロック大が点在
6. 10YR3/4 暗褐色土 しまり有 α -M⁷ロック多量含
7. 10YR6/2 灰黄褐色土 しまり有 α -M粒多量含
8. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり有 α -M⁷ロック多量含
9. 10YR5/1 褐灰色土 しまり有 α -M⁷ロック多量含
10. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 α -M⁷ロック多量含

P3 土層説明 (B-B')

1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 α -M粒・ β ロック多量含
2. 10YR3/2 黒褐色土 しまり弱 α -M粒・ β ロック少量含
3. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 α -M粒少量含
4. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 α -M粒少量含
5. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 しまり有 α -M粒少量含

P4 土層説明 (G-G')

1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 α -M粒・ β ロック多量含 炭化物含
2. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 α -M粒・ β ロック少量含
3. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 α -M粒・ β ロック少量含
4. 10YR3/2 黒褐色土 しまり有 α -M粒・ β ロック少量含

P5 土層説明 (H-H')

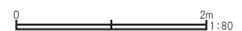
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 α -M粒少量含

P6 土層説明 (I-I')

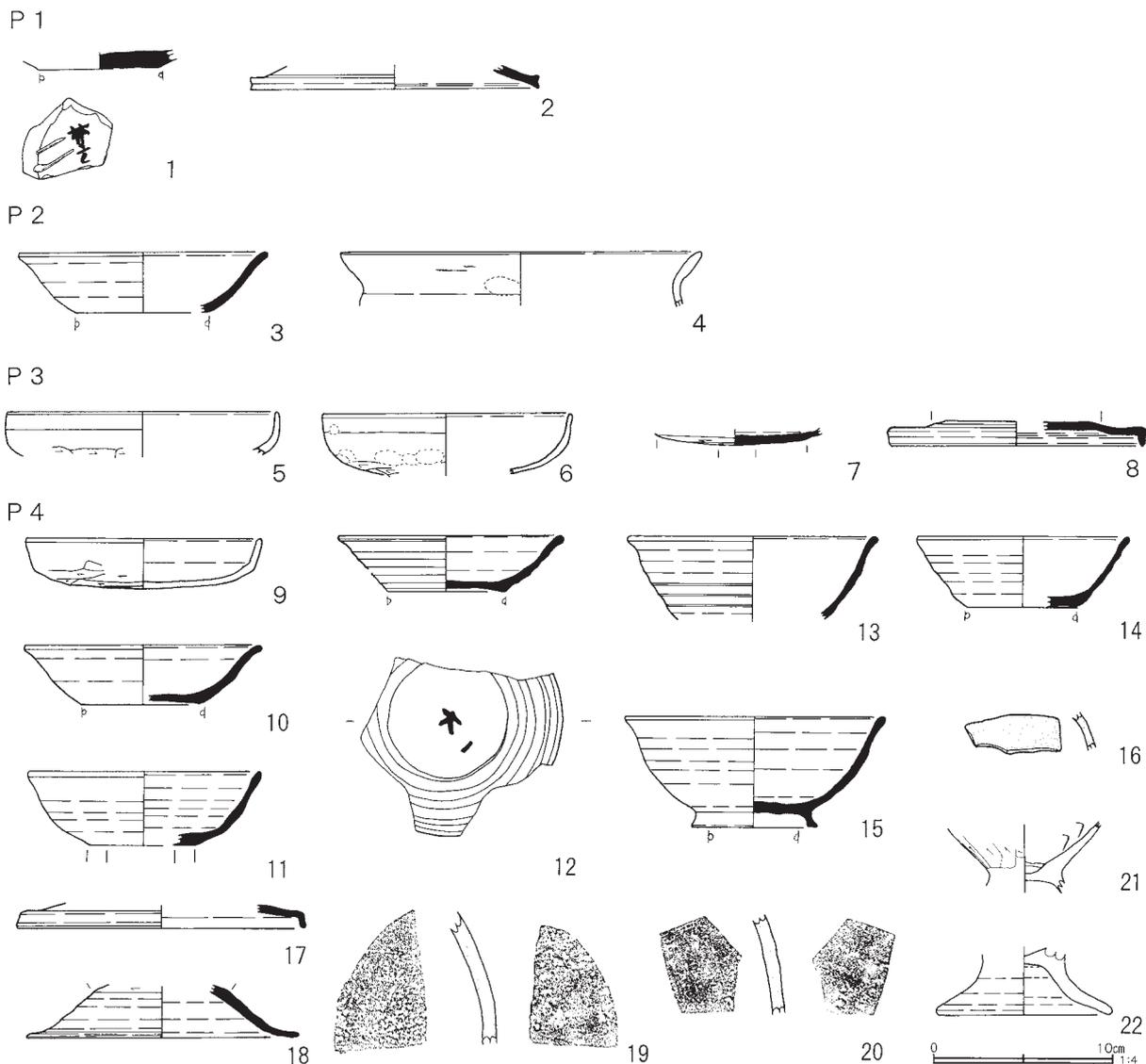
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 α -M粒少量含

P9 土層説明 (L-L')

1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 α -M粒・ β ロック含



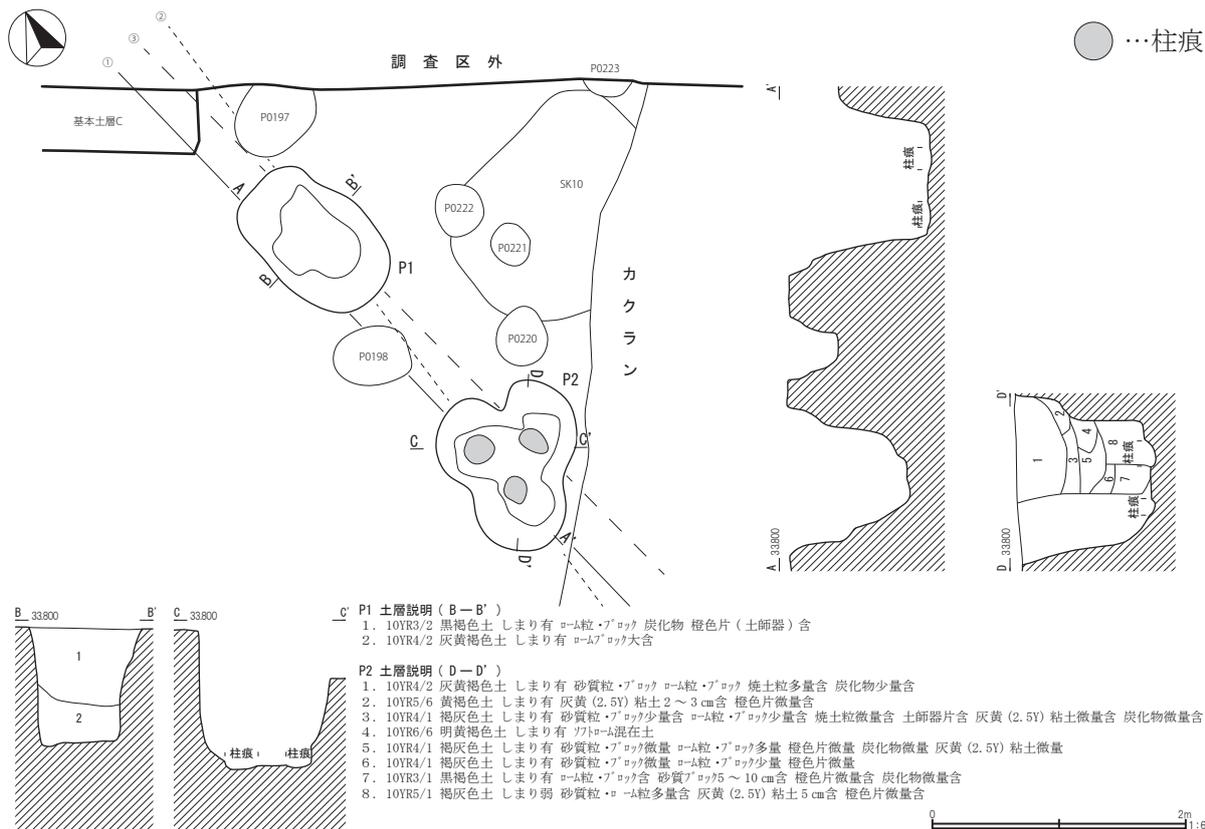
第 57 図 第 8 号掘立柱建物跡



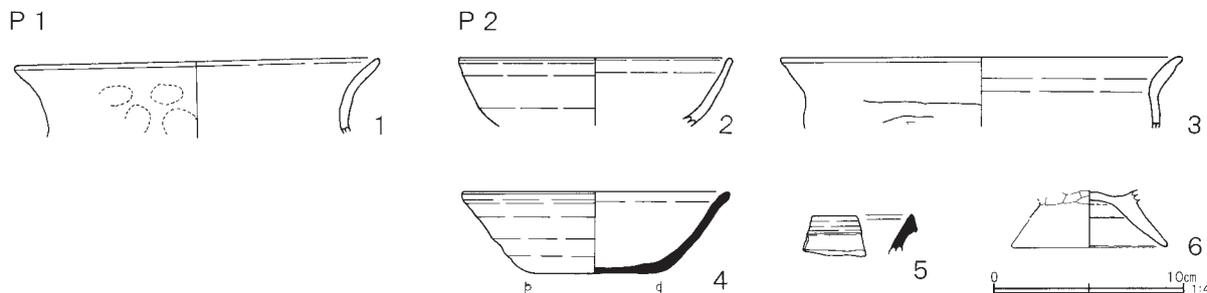
第 58 図 第 8 号掘立柱建物跡出土遺物

第 18 表 第 8 号掘立柱建物跡出土遺物観察表

No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	須恵器杯	-	(0.9)	(7.0)	ABFN	灰色	A	底部 10%	南比企産 底部外面墨書あり 底部外面回転糸切り
2	須恵器蓋	(16.0)	(1.3)	-	ABFN	黄灰色	A	口縁部片	南比企産
3	須恵器杯	(13.8)	(3.3)	(7.4)	ABHN	灰黄色	B	20%	底部外面回転糸切り
4	土師器甕	(20.0)	(3.0)	-	ABIJN	にぶい橙色	A	口縁~頸部片	頸部外面指頭痕 輪積痕
5	土師器杯	(15.0)	(2.4)	-	ABEJN	橙色	A	口縁~底部片	
6	土師器杯	(13.8)	(3.4)	-	ABIJN	橙色	A	25%	体部~底部外面手持ちヘラケズリ 体部外面指頭痕
7	須恵器杯	-	(0.9)	8.4	ABFJN	灰色	A	底部片	南比企産 内・外面火ダスキ痕 底部外面周辺回転ヘラケズリ
8	須恵器蓋	(14.0)	(1.3)	-	ABFN	にぶい黄橙色	A	天井~口縁部 10%	南比企産
9	土師器杯	(13.0)	(2.8)	-	ABIN	にぶい橙色 内・灰黄褐色	A	10%	体部~底部外面手持ちヘラケズリ
10	須恵器杯	(13.2)	(3.3)	(6.8)	ABN	灰黄色	B	40%	未野産
11	須恵器杯	(12.8)	(4.1)	(6.0)	ABN	灰色	A	10%	南比企産
12	須恵器杯	(12.4)	(3.1)	6.6	ABN	灰色	A	50%	未野産 底部外面墨書「大」 底部外面回転糸切り
13	須恵器碗	(13.8)	(4.6)	-	ABN	灰白色	B	30%	未野産
14	須恵器碗	(11.8)	(3.9)	(6.2)	ABIN	黄灰色	B	40%	未野産 底部外面回転糸切り
15	須恵器高台埴	(14.4)	(6.1)	(高台径) (7.0)	ABN	黄灰色	B	60%	未野産 底部外面回転糸切り
16	陶器片	-	-	-	ABN	灰黄褐色	A	胴部片	外面灰釉 瀬戸・美濃系
17	須恵器蓋	(15.8)	(1.3)	-	ABFN	黄灰色	A	口縁部片	南比企産
18	須恵器蓋	(15.0)	(3.0)	-	ABN	灰黄色	B	10%	未野産 山笠型
19	陶器片	-	-	-	ABIN	外・灰褐色 内・にぶい黄褐色	A	胴部片	
20	陶器片	-	-	-	ABIJN	外・灰褐色 内・にぶい黄褐色	A	胴部片	
21	土師器台付甕	-	(4.0)	-	ABIJN	にぶい赤褐色・橙色	A	胴下~脚部片	胴部下端横位・斜位ヘラケズリ
22	土師器台付甕	-	(脚高) (3.8)	(脚径) (9.4)	ABIN	灰色 にぶい赤褐色	A	脚部 60%	



第59図 第9号掘立柱建物跡

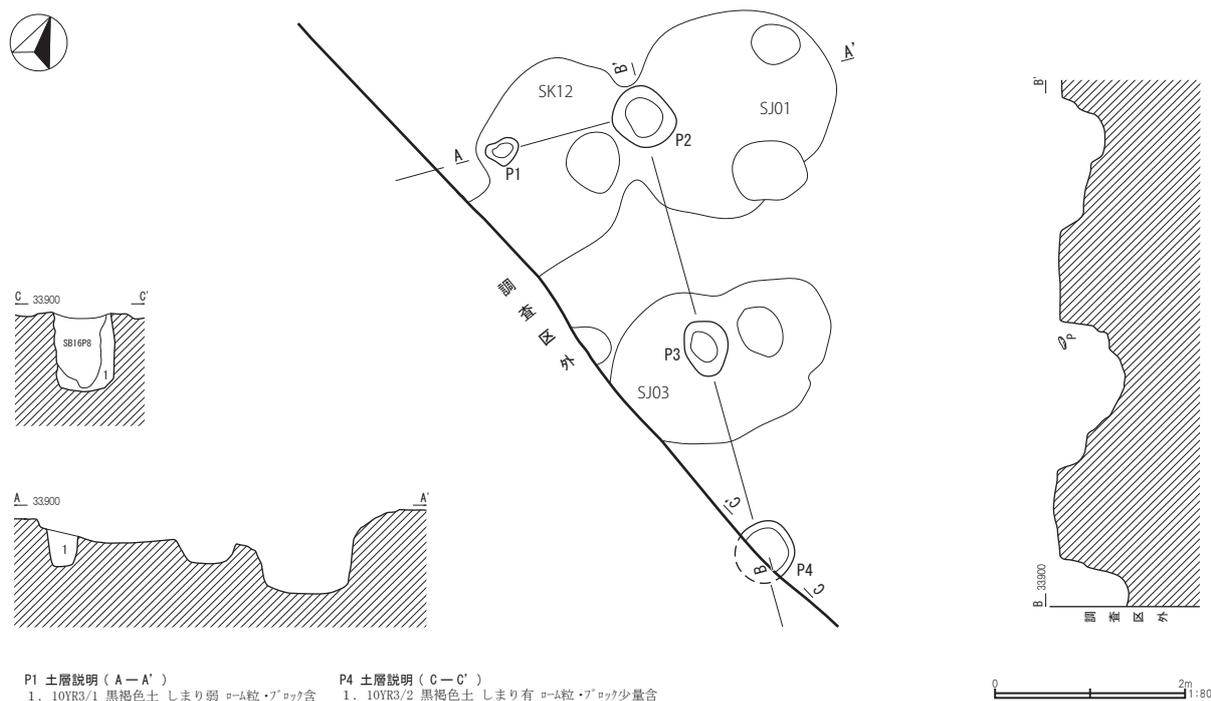


第60図 第9号掘立柱建物跡出土遺物

第19表 第9号掘立柱建物跡出土遺物観察表

No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	土師器甕	(19.0)	(4.0)	-	ABIJN	にぶい赤褐色	A	口縁～頸部片	頸部外面指頭痕
2	土師器杯	(14.0)	(3.1)	-	ABIJN	にぶい橙色 褐灰色	B	口縁～体部片	
3	土師器甕	(21.0)	(4.0)	-	ABIJN	にぶい橙色	A	口縁～胴上部片	胴部外面横位ヘラケズリ
4	須恵器杯	(13.8)	(4.3)	(6.0)	ABN	灰色	B	40%	末野産 底部回転糸切り
5	須恵器壺	-	-	-	ABN	灰色	A	口縁部片	
6	土師器台付甕	-	(3.0)	(脚径) (8.0)	ABHIN	褐灰色、橙色	A	脚部 70%	

を測り、主軸方位はN-20°-Wである。②は南北方向の柱間が2.6mを測り、主軸方位はN-14°-Wである。③は南北方向の柱間が2.6mを測り、主軸方位はN-22°-Wである。掘方の形状は円～楕円形を呈すると思われる。掘方の深さは確認面から90～110cmと深い。P2より柱痕が確認され、柱の直径は、①が約25cm、②・③が約18cmと推定される。SB09と一括りにしたが、3回の建替えがある1棟と考えられる。また、建物規模について、附編で示すレーダー探査による結果では、東西方



P1 土層説明 (A-A') 1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 0-A粒・7-ロツク含
 P4 土層説明 (C-C') 1. 10YR3/2 黒褐色土 しまり有 0-A粒・7-ロツク少量含

第 61 図 第 10 号掘立柱建物跡

向 10.9 m と推定された。ここでは 2 間×3 間の東西棟と想定しておきたい。

遺物 (第 60 図、第 19 表) 須恵器坏、甕、土師器坏、甕、台付甕等を検出した。

1 は P 1 より出土した。1 は土師器甕の口縁部片である。

2～6 は P 2 より出土した。2 は土師器坏で平底化した北武蔵型坏となるものか。3 は土師器甕の口縁部片で「コ」字状を呈するものである。4 は末野産の須恵器坏で底部外面が回転糸切り無調整である。5 は須恵器甕の口縁部片。6 は土師器台付甕の脚部片である。

重複 新旧関係は、①が古く、次いで②、新しいのが③である。

時期 ③の時期は 9 世紀後半 (幡羅・下郷遺跡 VII 期、西別府官衙遺跡群 6 期) で、①・②はそれ以前である。

第 10 号掘立柱建物跡 (第 61 図)

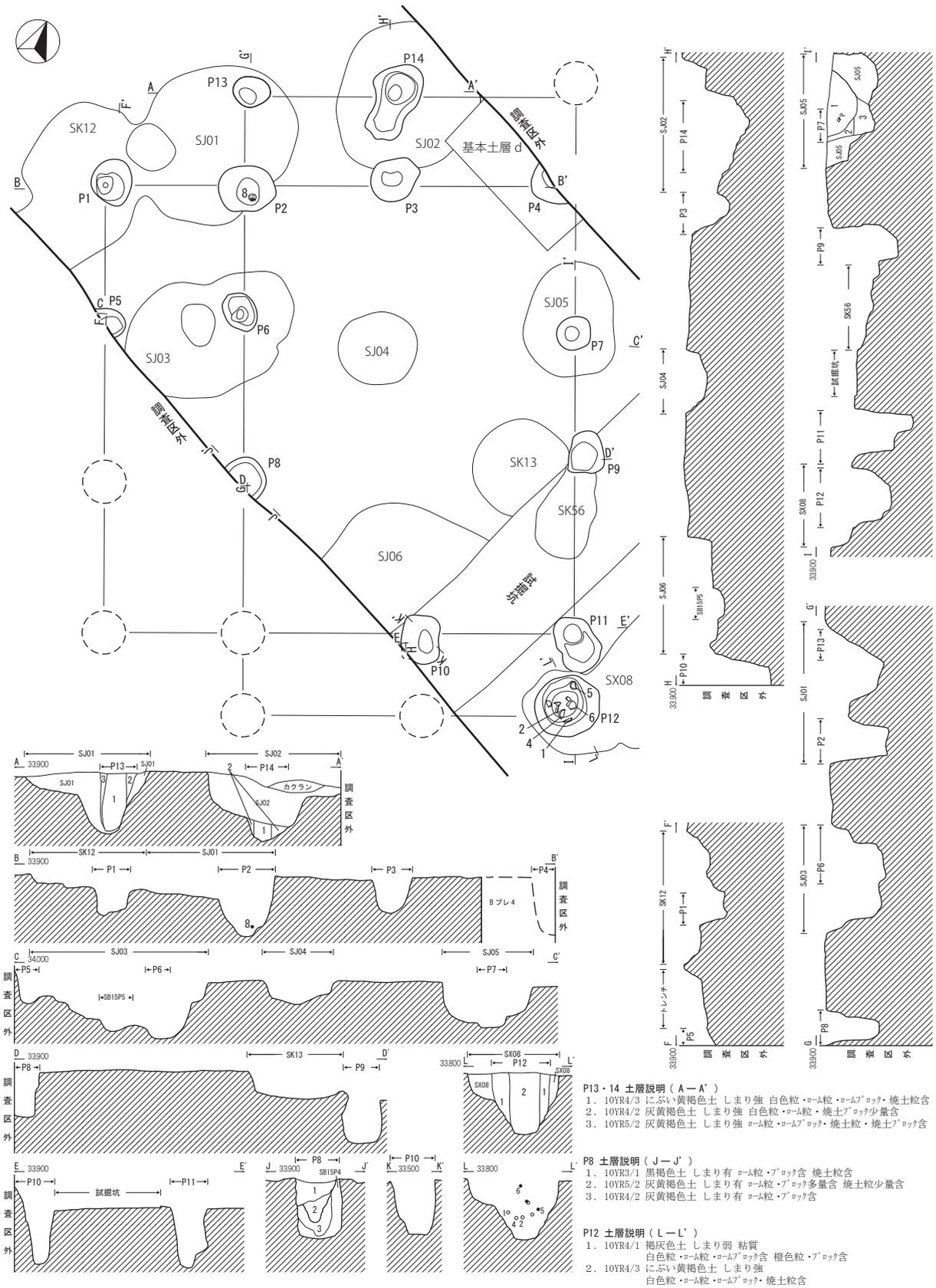
位置 F・G-22・23 グリッドに位置する。

概要 2 間以上×2 間以上と推定され、南西側の大半が調査区外である。梁・桁方向は不明であるが、検出範囲で東西 1.6 m、南北 4.65 m を測る。柱間は南北方向が 2.45 m - 2.2 m を測る。主軸方位は N - 39° - W である。掘方は円形を呈すると思われる。掘方の深さは確認面から 50 ~ 70 cm 程度である。P 1 のみ小振りであるが、配置状況から側柱間の足場柱穴である可能性をもつため本遺構に含めた。遺構として大半の情報が不明であるが、他遺構との切り合い状況と配列から一連の遺構と推定し提示した。時期は重複関係では、S J 01、S B 11 より本遺構が古いため、その前段階とした。

遺物 遺物は検出されなかった。

重複 S B 11、S J 01 より古い。

時期 8 世紀前半 (幡羅・下郷遺跡 III・IV 期、西別府官衙遺跡群 3 期)



P7 土層説明 (1-1')

1. 10YR4/4 褐色土 しまり強 白色粒・ α -A粒微量含 橙色粒・ β -ロック多量含 白色粘土含 遺物(土師須恵)含 炭化物少量含
2. 10YR4/4 褐色土 しまり強 白色粒・ α -A粒少量含 橙色粒・ β -ロック少量含 白色粘土少量含 遺物(土師須恵)含 炭化物少量含
3. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 粘質 白色粒・ α -A粒 β -ロック 橙色粒 β -ロック含

P13・14 土層説明 (A-A')

1. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 しまり強 白色粒・ α -A粒・ β -ロック γ 焼土粒含
2. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり強 白色粒・ α -A粒・焼土 β -ロック少量含
3. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり強 α -A粒・ β -A β -ロック γ 焼土粒・焼土 β -ロック含

P8 土層説明 (J-J')

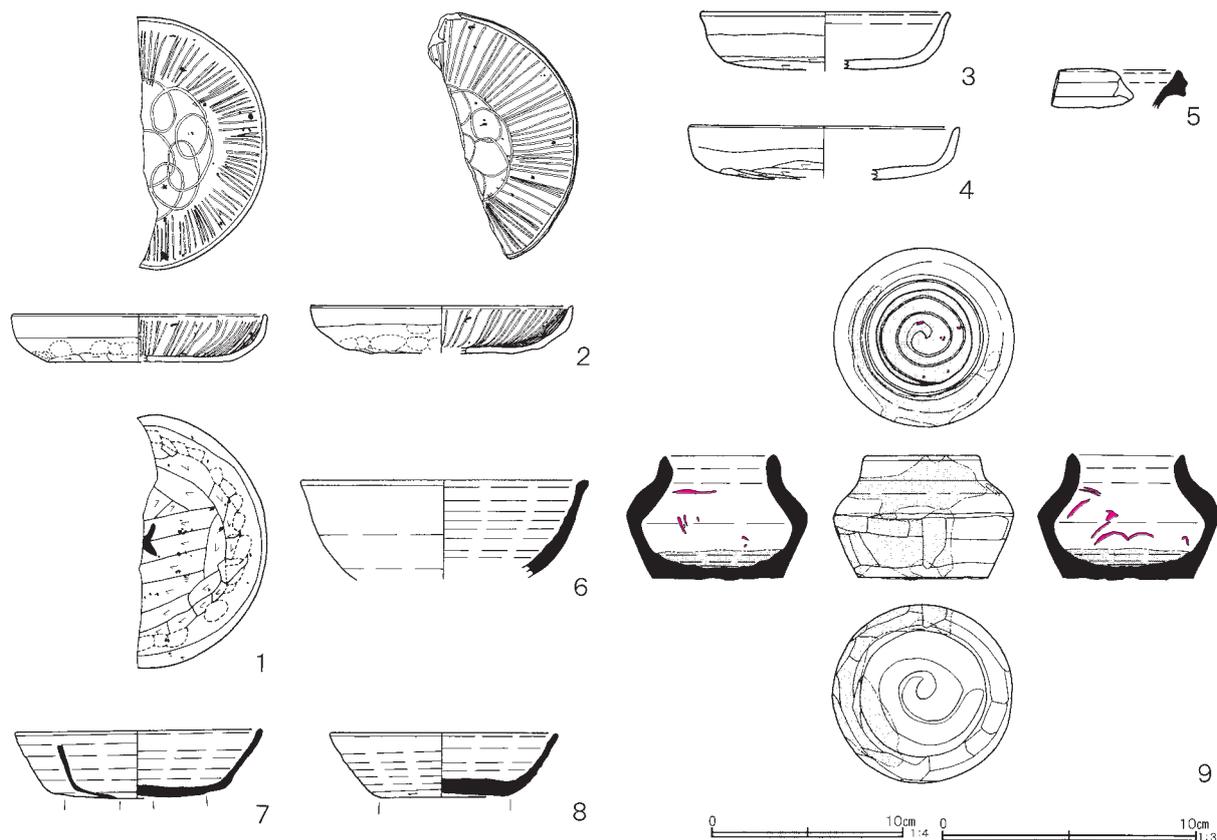
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり有 α -A粒・ β -ロック含 焼土粒含
2. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり有 α -A粒・ β -ロック多量含 焼土粒少量含
3. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 α -A粒・ β -ロック含

P12 土層説明 (L-L')

1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 粘質 白色粒・ α -A粒・ β -A β -ロック γ 橙色粒・ β -ロック含
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 しまり強 白色粒・ α -A粒・ β -A β -ロック γ 焼土粒含



第 62 図 第 11 号掘立柱建物跡



第 63 図 第 11 号掘立柱建物跡出土遺物

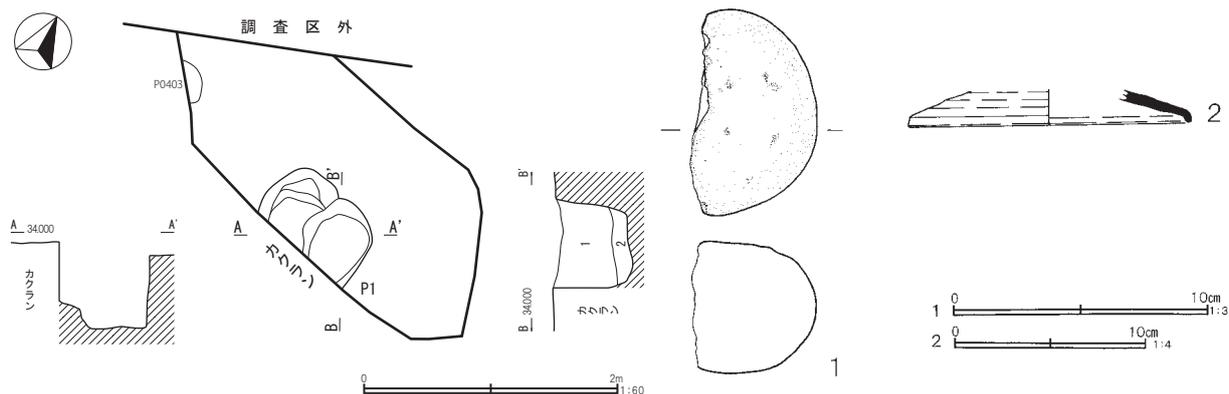
第 20 表 第 11 号掘立柱建物跡出土遺物観察表

No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	土師器杯	(13.2)	(2.5)	-	ABHN	明赤褐色	A	50%	底部外面手持ちヘラケズリ 底部外面墨書あり。 体部外面指頭痕 体部内面放射状暗文 底部内面螺旋状暗文
2	土師器杯	(13.6)	(2.5)	-	ABHIJN	明赤褐色	A	40%	底部外面手持ちヘラケズリ 口辺部指頭痕 体部内面放射状暗文 底部内面螺旋状暗文
3	土師器杯	(13.0)	(3.0)	-	ABIJN	橙色	A	50%	底部外面手持ちヘラケズリ
4	土師器杯	(14.0)	(2.8)	-	ABIJN	橙色	B	20%	底部外面手持ちヘラケズリ
5	須恵器塊	(15.0)	(5.2)	-	ABN	にぶい黄褐色	B	口縁～体部 10%	口唇部内面傾斜
6	須恵器甕	-	-	-	ABN	灰色	A	口縁部片	外面自然釉
7	須恵器甕	12.9	3.5	7.4	ABFN	灰色	A	70%	南比企産 底部外面周辺回転ヘラケズリ 内外面火ダスキ痕
8	須恵器杯	11.9	3.4	6.8	ABHIJN	黄灰色	B	80%	未野産 体部下端～底部外面全面回転ヘラケズリ
9	須恵器 小型短頸壺	4.3	4.8	5.0	ABN	灰白色	A	100%	胴部外面ヘラケズリ・黒色処理 口縁部～頸部外面・底部内面灰釉 内面に朱墨僅かに残存

第 11 号掘立柱建物跡 (第 62 図)

位置 F-23・24、G-23・24・25、H-23・24 グリッドに位置する。

概要 身舎 2 間×3 間の南北棟、東面を欠く原始的三面廂形態の側柱式掘立柱建物跡である。北東側の一部と南西側が調査区外である。身舎は梁行 6.15 m、桁行 4.55 m を測り、推定面積は 28.0 m²、廂を含めた推定面積は 50.1 m² である。身舎の梁間は 2.0 m - 2.55 m、桁間は西側が 1.8 m - 2.4 m、東側が 2.0 m - 1.75 m - 2.4 m を測る。廂は入側柱から北面が 1.2 m、西面は 1.9 m、南面は 1.1 m 離れる。主軸方位は N-25° - W である。掘方は円～楕円形を呈する。掘方の深さは確認面から 50 ~ 110 cm とバラつきがある。要因として推測されるのは、土器廃棄遺構群上に配置されているため、軟弱な覆土箇所は安定した地盤まで掘削されている可能性があることや、弘仁 9 年 (818) の地震の影響や補修にかかる状況が反映されている等が考えられる。この場合、建物配置が地盤の堅牢性より優先されているこ



P1 土層説明
 1. 10YR2/3 黒褐色土 r-A7'ロツ75 mm大少量含 炭化物少量含 灰含
 2. 10YR2/3 黒褐色土 r-A7'ロツ75 mm大少量含 炭化物微量含

第 64 図 第 12 号掘立柱建物跡、同出土遺物

第 21 表 第 12 号掘立柱建物跡出土遺物観察表

No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	磨石	長：8.0	幅：(4.7)	厚：5.0	-	灰色	-	50%	閃緑岩製
2	須恵器蓋	(14.8)	(1.8)	-	AB	灰色	A	口縁部片	外面自然釉

ととなり、計画性の高い配置とも考えられる。柱の直径は 25～40 cm と推定される。

遺物 (第 63 図、第 20 表) 土師器坏、須恵器坏、埴、甕等が出土した。1～4 は土師器坏で、1・2 は体部内面に放射暗文、底部内面に螺旋暗文が施されている。1 は底部外面に墨書がみられる。筆致から字体の下部と推測される (第 174 図㉔)。3・4 は北武蔵型坏で、底部が平底風となるものである。5～9 は須恵器である。5 は甕の口縁部片である。6 は埴で、口端の平坦面が内傾する。7・8 は坏で底部が肥厚する。9 は小型の短頸壺で、底部外面はヘラ切りである。内面に朱墨が僅かに残っており、朱墨の墨壺の用途が考えられる。

重複 S J 02 より古く、S J 01、03、05、06、S K 12、56 より新しい。

時期 8 世紀中～後半 (幡羅・下郷遺跡Ⅳ・Ⅴ期、西別府官衙遺跡群 4 期)

第 12 号掘立柱建物跡 (第 64 図)

位置 L-12・13 グリッドに位置する。

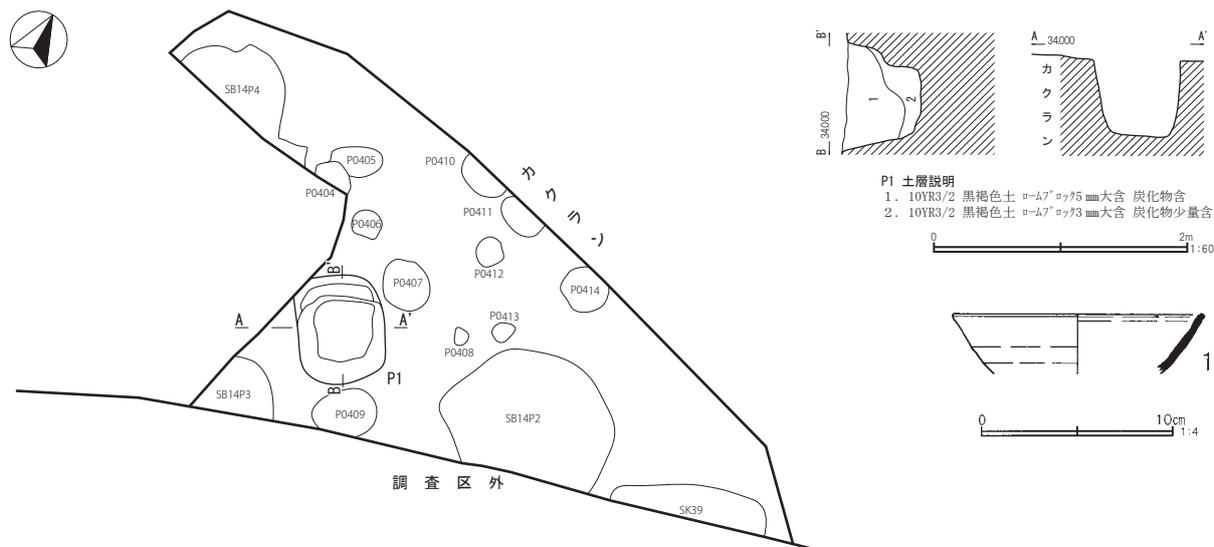
概要 S B 12～15 は著しい攪乱を受けた箇所に位置するが、位置関係が近接であり、本遺跡の古代の主軸方位 N-60～70°-E を基本として抽出作業を行った。その結果、本遺構は P 1 のみであるが、覆土の状況及び柱穴規模から掘立柱建物跡として取り扱うこととした。検出状況から 2 基重複の柱穴の可能性があり、掘方の形状は楕円形を呈すると思われる。掘方の深さは確認面から 45 cm から 55 cm と段をもつ。周辺は攪乱され対応する柱穴は見出させなかった。

遺物 (第 64 図、第 21 表) 磨石、須恵器蓋が出土した。1 は閃緑岩製の磨石である。2 はかえりを持たない須恵器蓋である。

時期 奈良・平安時代 (幡羅・下郷遺跡Ⅲ～Ⅶ期、西別府官衙遺跡群 3～6 期)

第 13 号掘立柱建物跡 (第 65 図)

位置 L-13・14 グリッドに位置する。



第 22 表 第 13 号掘立柱建物跡出土遺物観察表

No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	須恵器坏	(13.0)	(3.1)	-	ABFN	灰色	A	口縁～体部 10%	南比企産

概要 SB 12～15 は著しい攪乱を受けた箇所位置するが、位置関係が近接であり、本遺跡の古代の主軸方位 N-60°-E を基本として抽出作業を行った。その結果、本遺構は P 1 のみであるが、覆土の状況及び柱穴規模から掘立柱建物跡として取り扱うこととした。掘方の形状は楕円～隅丸長方形を呈する。掘方の深さは確認面から 60 cm で北側に中場状の段をもつ。周辺は攪乱され対応する柱穴は見出せなかったが、後述の SB 14 P 1 北側の窪みが対応する可能性がある。

遺物 (第 65 図、第 22 表) 須恵器坏を検出した。1 は坏の口縁部片である。

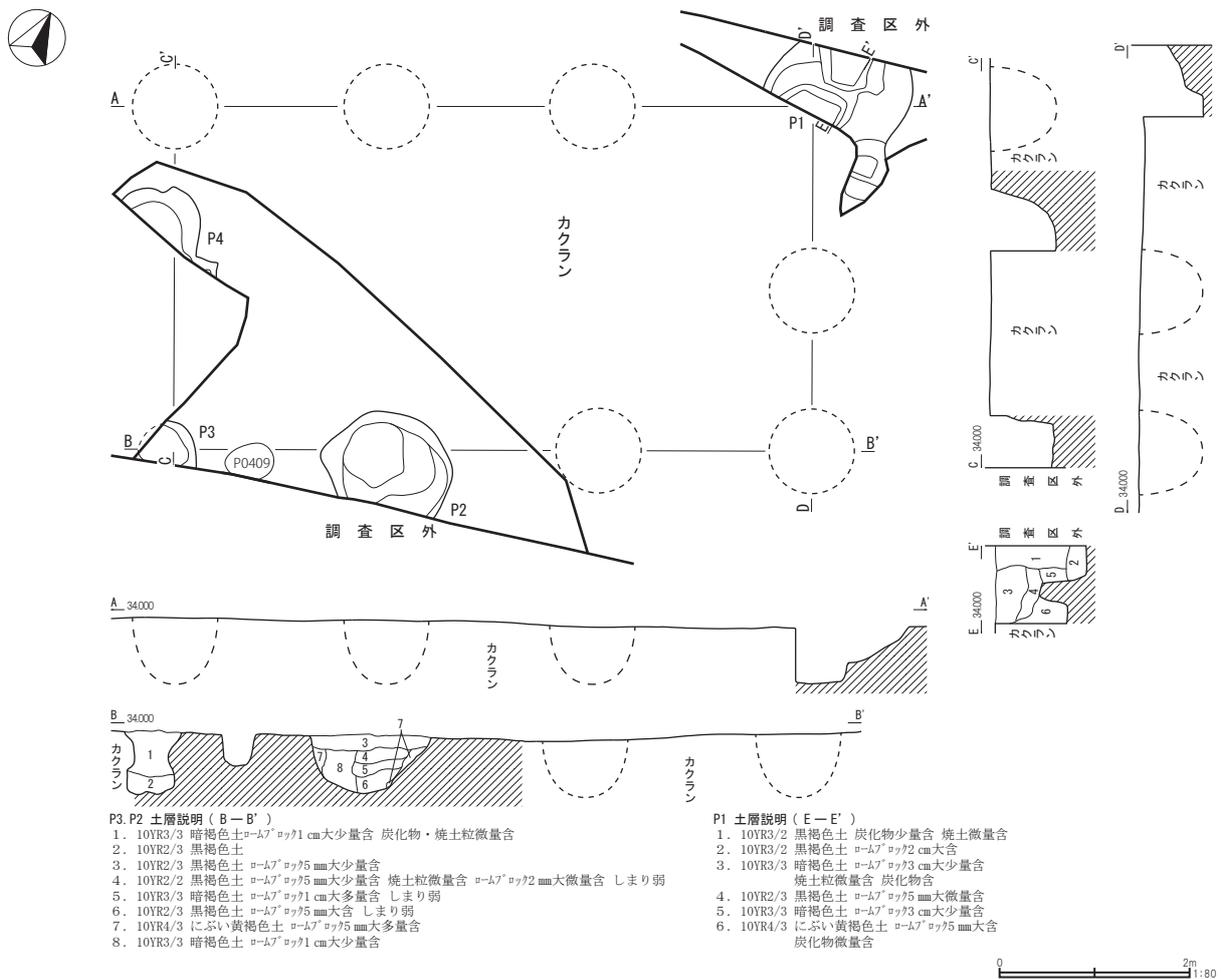
時期 8 世紀後半 (幡羅・下郷遺跡 V 期、西別府官衙遺跡群 4 期)

第 14 号掘立柱建物跡 (第 66 図)

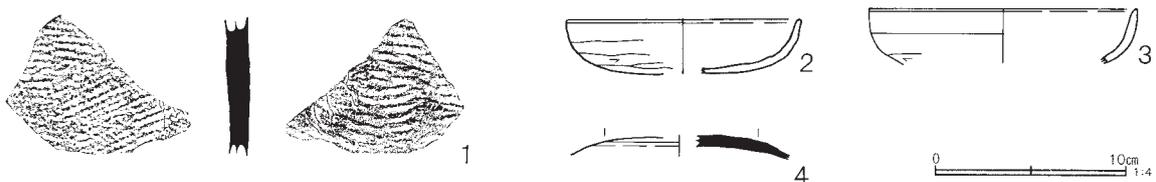
位置 K-14、L-13・14 グリッドに位置する。

概要 SB 12～15 は著しい攪乱を受けた箇所位置するが、位置関係が近接であり、本遺跡の古代の主軸方位 N-60°-E を基本として抽出作業を行った。その結果、本遺構は 2 間×3 間の東西棟の側柱式掘立柱建物跡と推定して提示した。遺構の大半が攪乱されている。梁行 3.6 m、桁行 6.7 m、面積 24.1 m² の規模で、主軸方位は N-60°-E と推定している。柱間は桁間 2.2 m を測る。掘方は円～楕円形を呈するとみられる。掘方の深さは確認面から概ね 60 cm である。P 1 の北側の窪みは、前述の SB 13 に対応する可能性がある。また、P 4 は配置が北に寄り過ぎており、検出範囲は建替え等の状況を反映している可能性が高い。柱の直径は 30 cm 前後と推定される。

遺物 (第 67 図、第 23 表) 須恵器甕、蓋、土師器坏が出土した。1 は須恵器甕の胴部片で、外面に平行タタキ、内面に同心円状の当て具痕がみられる。2・3 は北武蔵型の土師器坏である。いずれもケズリ調整が体下部以下に施され、丸底～平底風の形状となるものである。4 はかえりを持たない須恵器蓋



第 66 図 第 14 号掘立柱建物跡



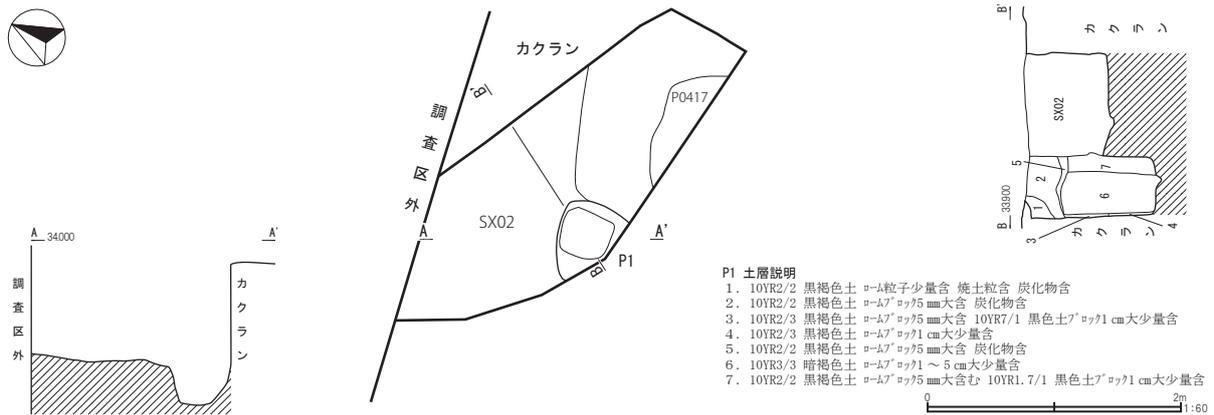
第 67 図 第 14 号掘立柱建物跡出土遺物

第 23 表 第 14 号掘立柱建物跡出土遺物観察表

No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	須恵器甕	-	-	-	ABUN	灰色	A	胴部片	外面平行タタキ 内面同心円状当て具痕
2	土師器杯	(12.0)	(2.8)	-	ABJ	橙色	A	20%	底部～体部外面手持ちヘラケズリ
3	土師器杯	(14.0)	(2.8)	-	ABJ	明赤褐色	A	10%	
4	須恵器蓋	-	(1.2)	-	ABFN	灰色	A	天井部 30%	南比企産 天井部回転ヘラケズリ

である。

時期 8 世紀中～後半（幡羅・下郷遺跡Ⅳ・Ⅴ期、西別府官衙遺跡群 4 期）



第 68 図 第 15 号掘立柱建物跡

第 15 号掘立柱建物跡（第 68 図）

位置 L-16 グリッドに位置する。

概要 SB 12～15 は著しい攪乱を受けた箇所位置するが、位置関係が近接であり、本遺跡の古代の主軸方位 N-60°-E を基本として抽出作業を行った。その結果、本遺構は P1 のみであるが、覆土の状況及び柱穴規模から掘立柱建物跡として取り扱うこととした。掘方の形状は隅丸方形を呈すると思われる。掘方の深さは確認面から 105 cm を測る。周辺は攪乱され対応する柱穴は見出せなかったが、柱の直径は 25 cm 前後と推定される。

遺物 遺物は検出されなかった。

重複 SX 02 より新しい。

時期 8 世紀中～9 世紀後半（幡羅・下郷遺跡 IV～VII 期、西別府官衙遺跡群 4～6 期）

第 16 号掘立柱建物跡（第 69 図）

位置 W-10、X・Y-10・11 グリッドに位置する。

概要 2 間×4 間以上と推定される南北棟の側柱式掘立柱建物跡で、西側が調査区外である。推定で梁行 5.4 m、桁行 6.8 m 以上、推定面積は 36.7 m² 以上を測る。柱間は梁間が 2.5 m、桁間北側が 2.55 m、南側が 2.45 m-2.55 m 以上を測る。主軸方位は N-29°-W である。掘方はいずれも円～楕円形であるが、柱筋の通りが悪い。掘方の深さは確認面から 40～50 cm であり概ね一定である。P5 断面図中の 21・22 層は近世～近代の別遺構である。なお 23 層まで含むかは不明である。柱の直径は 20 cm 前後と推定される。

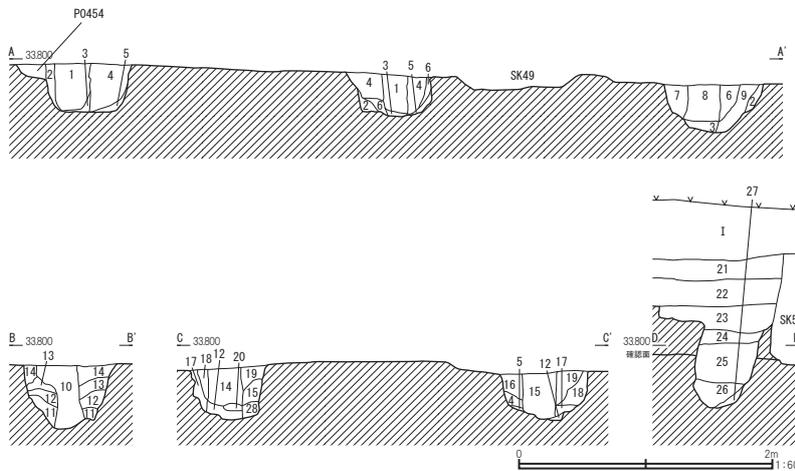
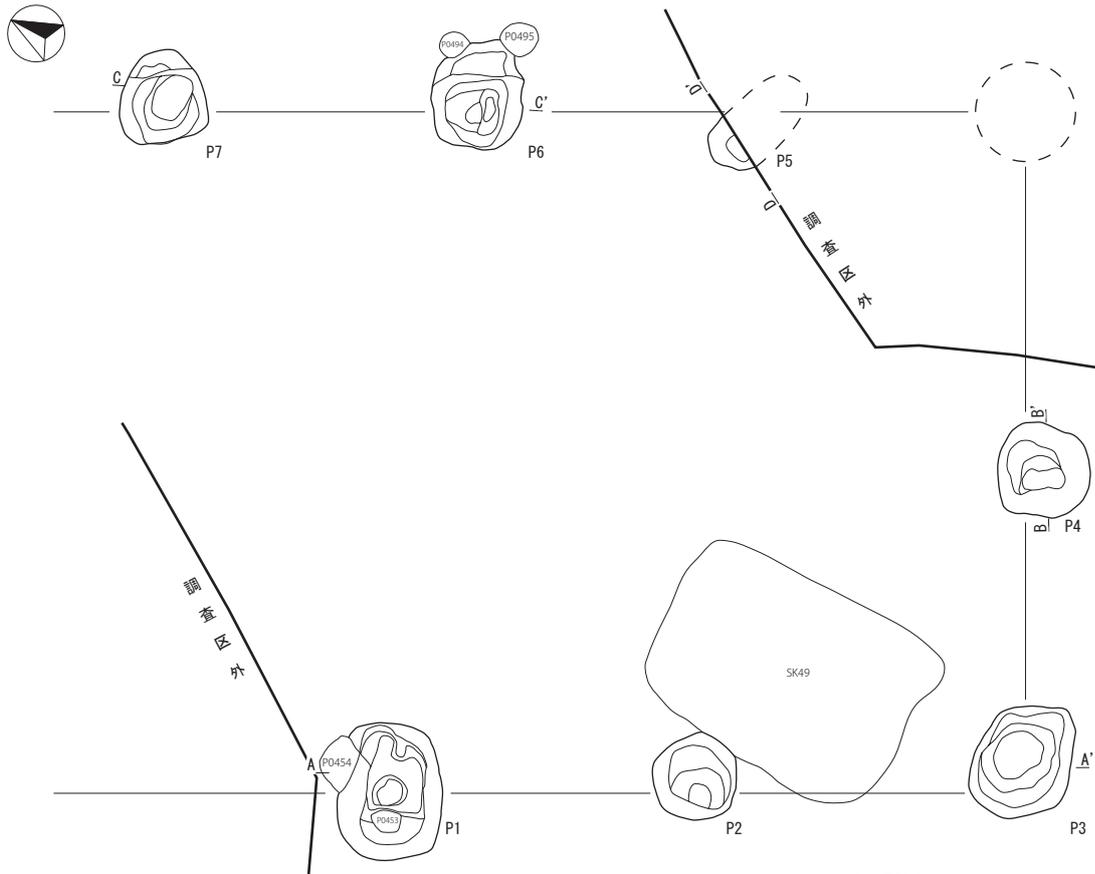
遺物（第 70 図、第 24 表） 須恵器塊、坏が出土した。1 は塊で直線的に外傾する口縁部片である。2 は坏の体部下半～底部片で、底部外面は回転ヘラケズリが施されている。

重複 SK 49、P 0454、0458、0494、0495 より古い。

時期 8 世紀中頃（幡羅・下郷遺跡 IV 期、西別府官衙遺跡群 3・4 期）

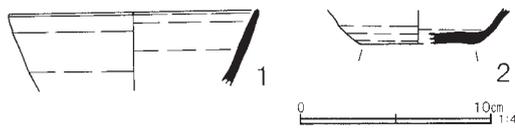
第 17 号掘立柱建物跡（第 71 図）

位置 V・W-11・12 グリッドに位置する。



- P1 ~ 7 土層説明**
1. 10YR2/2 黒褐色土 0-A7' ロック1 mm 大微量含
 2. 10YR2/2 黒褐色土 0-A7' ロック5 mm ~ 1 cm 少量含
 3. 10YR2/2 黒褐色土 0-A7' ロック5 mm ~ 1 cm 大多量含
 4. 10YR2/2 黒褐色土 0-A7' ロック1 mm 大微量含
 5. 10YR2/2 黒褐色土 0-A7' ロック5 mm ~ 1 cm 大多量含
 6. 10YR2/2 黒褐色土 0-A7' ロック5 mm ~ 1 cm 大含
 7. 10YR3/3 暗褐色土 0-A7' ロック1 mm ~ 5 mm 大多量含
 8. 10YR2/2 黒褐色土 0-A7' ロック1 cm 少量含
 9. 10YR2/2 黒褐色土 0-A7' ロック5 mm ~ 10 cm 大含
 10. 10YR2/3 黒褐色土 0-A7' ロック5 mm ~ 3 cm 大少量含
 11. 10YR3/2 黒褐色土 0-A7' ロック1 ~ 10 cm 大 混合層 (P' ロック多量)
 12. 10YR2/2 黒褐色土 0-A7' ロック5 cm ~ 1 cm 大少量含
 13. 10YR3/2 黒褐色土 0-A7' ロック1 ~ 5 cm 大多量含
 14. 10YR2/3 黒褐色土 0-A7' ロック5 mm ~ 1 cm 少量含
 15. 10YR2/3 黒褐色土 0-A7' ロック1 cm ~ 5 cm 含
 16. 10YR2/3 黒褐色土 0-A7' ロック1 cm ~ 5 cm 多量含
 17. 10YR2/2 黒褐色土 0-A7' ロック5 mm ~ 1 cm 大少量含
 18. 10YR2/2 黒褐色土 0-A7' ロック5 mm 大少量含
 19. 10YR2/2 黒褐色土 0-A7' ロック5 mm ~ 1 cm 大少量含
 20. 10YR3/1 黒褐色土 0-A7' ロック1 ~ 5 mm 大多量含
 21. 10YR4/2 灰黄褐色土
 22. 2.5Y5/2 暗灰黄色土
 23. 10YR2/2 黒褐色土 0-A7' ロック5 mm 大微量含 白色火山灰微量含
 24. 10YR2/2 黒褐色土 0-A7' ロック5 mm 大少量含 0-A7' ロック5 ~ 10 cm 大多量含
 25. 10YR2/2 黒褐色土 0-A7' ロック1 cm 大少量含
 26. 10YR2/2 黒褐色土
 27. 10YR3/1 黒褐色土 0-A7' ロック1 cm 大多量含
 28. 10YR2/3 黒褐色土 0-A7' ロック1 cm ~ 5 cm 多量含

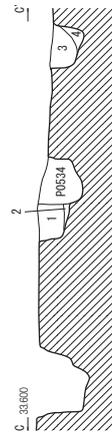
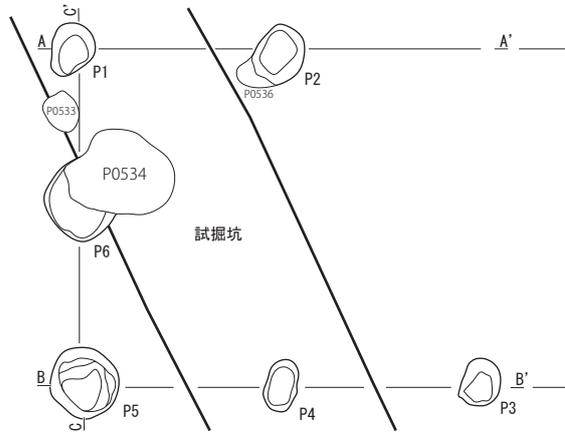
第 69 図 第 16 号掘立柱建物跡



第 70 図 第 16 号掘立柱建物跡出土遺物

第 24 表 第 16 号掘立柱建物跡出土遺物観察表

No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	須恵器椀	(13.0)	(4.0)	-	ABFN	黄灰色	B	口縁部片	南比企産
2	須恵器杯	-	(1.7)	(6.0)	ABFN	灰黄褐色	A	体~底部片	南比企産 底部外面回転ヘラケズリ



P2 土層説明 (A-A')

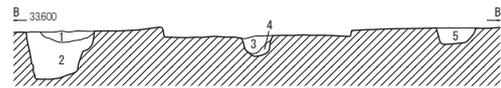
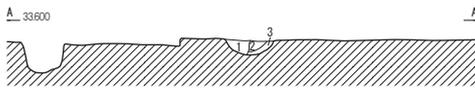
1. 10YR2/2 黒褐色土
2. 10YR2/3 黒褐色土 σ - Δ 7° ρ 75 mm 大少量含
3. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 σ - Δ 7° ρ 75 mm 大少量含

P5, P4, P3 土層説明 (B-B')

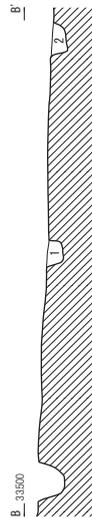
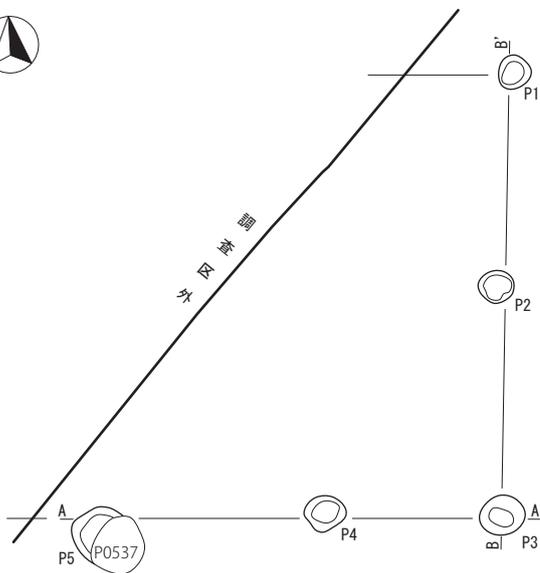
1. 10YR2/2 黒褐色土
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 σ - Δ 7° ρ 71 cm 大少量含
3. 10YR2/3 黒褐色土 σ - Δ 7° ρ 75 mm 大少量含
4. 10YR3/3 暗褐色土 σ - Δ 7° ρ 71 cm 大含
5. 10YR3/3 暗褐色土 白色火山灰少量含

P6, P1 土層説明 (C-C')

1. 10YR2/3 暗褐色土 σ - Δ 7° ρ 71 cm 大少量含
2. 10YR2/3 暗褐色土粘性あり σ - Δ 7° ρ 75 cm 大含
3. 10YR3/3 暗褐色土
4. 10YR4/3 にぶい黄褐色土



第 71 図 第 17 号掘立柱建物跡

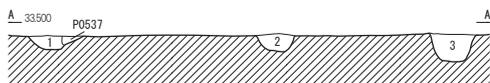


P5, P4, P3 土層説明 (A-A')

1. 10YR2/2 黒褐色土 σ - Δ 7° ρ 75 mm 大少量含
2. 10YR2/3 黒褐色土 σ - Δ 7° ρ 71 cm 大含
3. 10YR3/3 暗褐色土

P2, P1 土層説明 (B-B')

1. 10YR2/2 黒褐色土
2. 10YR2/3 黒褐色土 白色火山灰少量含



第 72 図 第 18 号掘立柱建物跡

概要 2間×3間以上と推定される南北棟の側柱式掘立柱建物跡で、東側が調査区外である。推定で梁行2.7 m以上、桁行3.2 m以上、推定面積は8.64 m²以上を測る。柱間は梁間が1.25 m－1.45 m、桁間北側が1.6 m、南側が1.6 m－1.6 mを測る。主軸方位はN－32°－Wである。掘方はいずれも円～楕円形である。掘方の深さはP 1のみ確認面から40 cmと深く、その他は15 cm前後で収まる。梁間が短いことが気になるが、柱筋の通りよく組み合うため、掘立柱建物跡として取り扱っている。

遺物 遺物は検出されなかった。

重複 P 0534、0536 より古い。

時期 時期不明

第18号掘立柱建物跡（第72図）

位置 U・V－12グリッドに位置する。

概要 2間以上×2間以上と推定される側柱式掘立柱建物跡で、北西側が調査区外である。梁・桁方向は不明であるが、検出範囲で東西3.2 m、南北3.05 mを測り、推定面積は9.76 m²以上となる。柱間は東西方向が1.8 m－1.4 m、南北方向が1.7 m－1.35 mを測る。主軸方位はN－3°－Eである。掘方は円形を呈している。掘方の深さは10～20 cmと浅い。

遺物 遺物は検出されなかった。

重複 P 0537 より古い。

時期 時期不明

第19号掘立柱建物跡（第73図、第74図）

位置 R－16・17、S－16・17・18、T－16グリッドに位置する。

概要 2間以上×2間以上と推定される側柱式掘立柱建物跡で、南側が調査区外である。状況から南北棟と推測する。梁行は5.9 m、桁行は検出範囲で3.6 mを測り、推定面積は21.24 m²以上となる。梁間は3.05 m－2.85 m、桁間は西側が2.5 m、東側が2.45 mを測る。主軸方位はN－24°－Wである。掘方は円～隅丸方形を呈し、長径は概ね1.2 mであり、P 5のみやや小振りで0.95 mを測る。掘方の深さは確認面から概ね80 cmであるが、P 4のみ95 cmと若干深い。P 1～5から柱痕が確認され、直径25 cm前後の柱と推定される。掘方規模から大型の建物と推定される。P 6～10は足場柱穴の可能性があるので、併せて図示した。柱筋の通りがやや悪いものの、概ね同じ方向の本体軸から2.1～2.3 m程度の等間隔で離れており、掘方が小規模となる特徴がある。側柱の直径は約30 cm、足場柱の直径は約20 cmと推定される。時期については、重複関係から、SB 20より新しい位置づけとなり、後続する時期とみられる。

遺物（第74図、第25表） 土錘が出土した。1は土錘で細長い形状である。

重複 P 0634、0636、0639、0649、0650 より古い。SB 20、21 より新しい。

時期 9世紀代（幡羅・下郷遺跡VI・VII期、西別府官衙遺跡群5・6期）



SB19・SB20・SB21



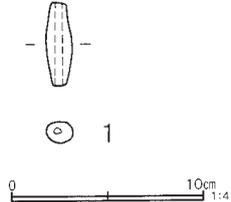
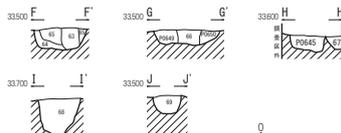
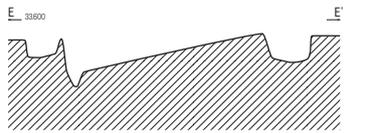
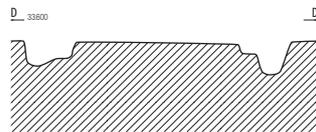
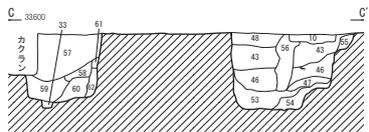
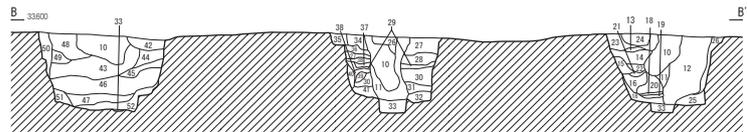
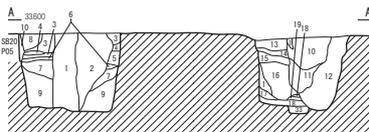
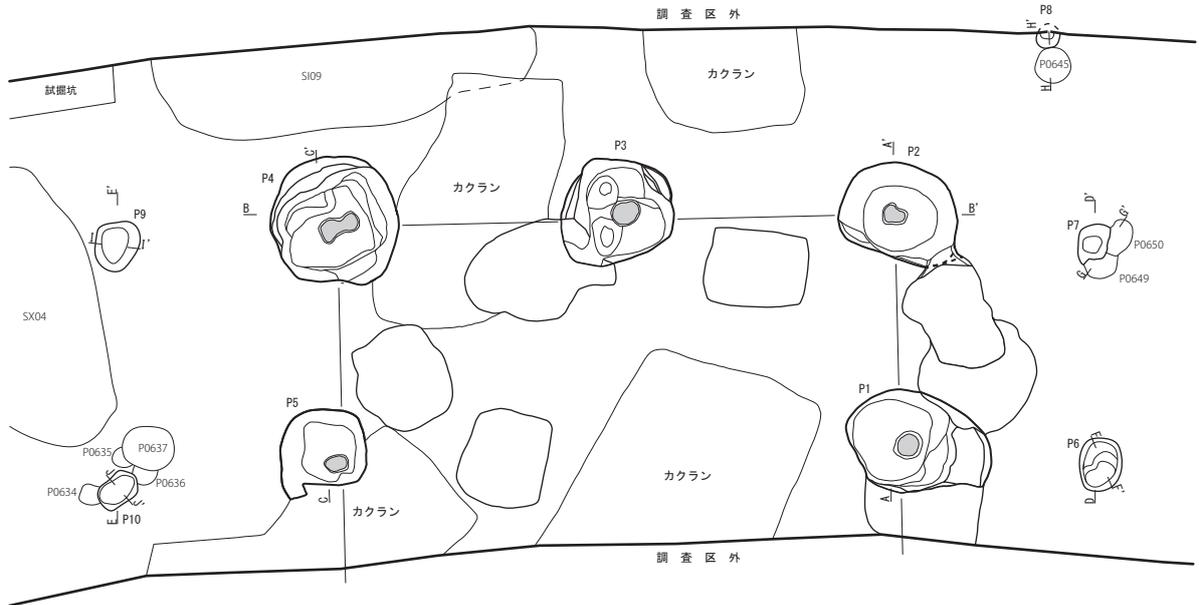
第73図 第19・20・21号掘立柱建物跡



SB19



…柱痕



SB19 - P01 ~ 10 土層説明

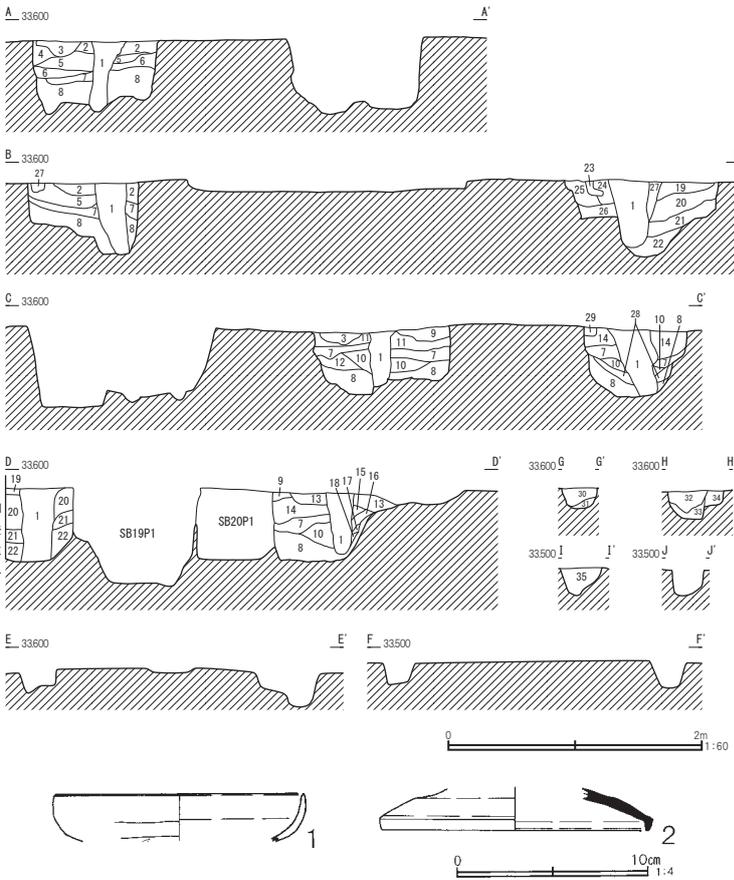
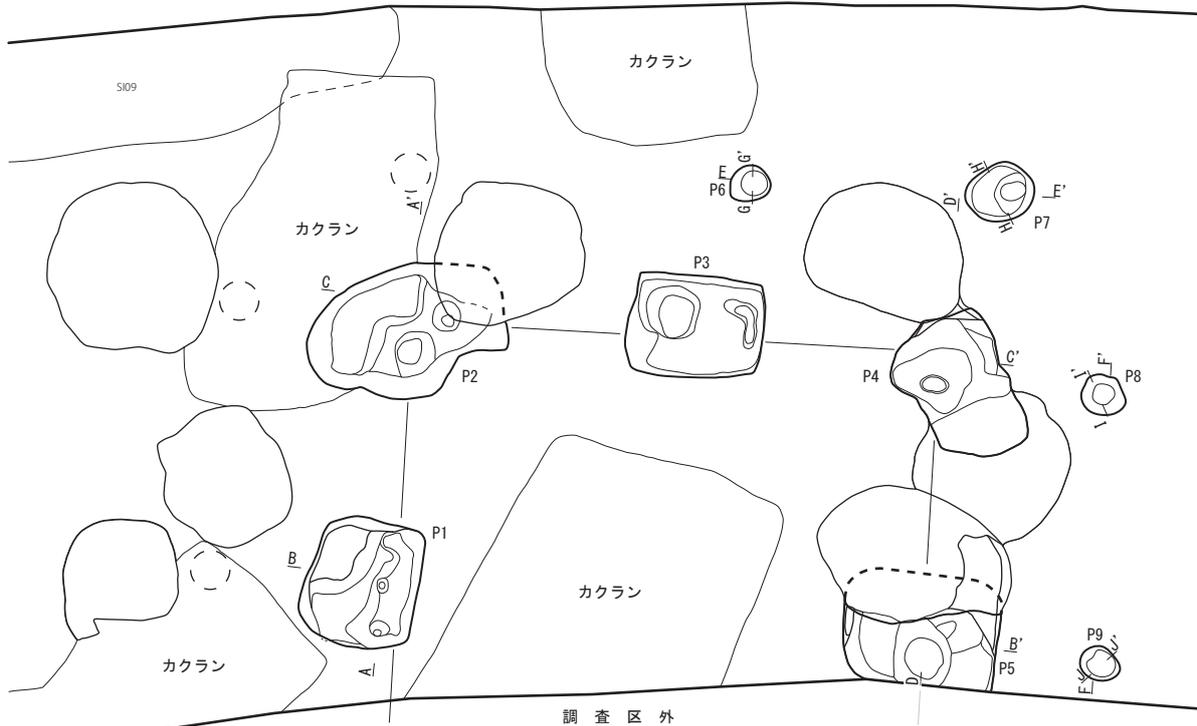
1. 10YR3/3 暗褐色土 0-47° 0.75mm 大多量含 焼土・炭化物微量含 しまり弱
2. 10YR3/3 暗褐色土 0-47° 0.75mm ~ 2cm 大多量含 3~5cm 大含 しまり弱
3. 10YR2/3 黒褐色土 0-47° 0.75mm ~ 1cm 大含
10YR2/1 黒色土 0.75mm ~ 5cm しまり弱少量含 しまり有
4. 10YR2/2 黒褐色土 0-47° 0.75mm 大少量含
5. 10YR3/2 黒褐色土 0-47° 0.75mm 大多量含
6. 10YR2/2 黒褐色土 0-47° 0.75mm 大少量含
7. 10YR3/3 黒褐色土 0-47° 0.75mm ~ 1cm 大多量含
8. 10YR3/3 暗褐色土 0-47° 0.75mm ~ 1cm 大含
9. 10YR3/3 暗褐色土 0-47° 0.75mm 大含
10. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 0-47° 0.75mm 大少量含
11. 10YR3/3 暗褐色土 0-47° 0.75mm 大含 10YR2/1 黒褐色土 0.75mm 大微量含 しまり弱
12. 10YR2/2 黒褐色土 0-47° 0.75mm ~ 3cm 大多量含
13. 10YR2/2 黒褐色土 0-47° 0.75mm ~ 2cm 大多量含 10YR2/3 黒褐色土 0.75mm 大少量含
14. 10YR3/3 暗褐色土 0-47° 0.75mm ~ 2cm 大多量含 10YR2/3 黒褐色土 0.75mm 大少量含
15. 10YR2/2 黒褐色土 0-47° 0.75mm ~ 2cm 大多量含 10YR2/3 黒褐色土 0.75mm 大少量含
16. 10YR3/3 暗褐色土 0-47° 0.75mm ~ 2cm 大多量含 10YR2/3 黒褐色土 0.75mm 大少量含
17. 10YR2/1 黒色土
18. 2.5Y5/4 黄褐色土 硬面 灰黄色土 炭化物混入
19. 10YR2/3 黒褐色土 0-47° 0.75mm 大多量含 しまり有
20. 10YR3/3 暗褐色土 0-47° 0.75mm ~ 3cm 大含
21. 10YR3/3 暗褐色土
22. 10YR2/3 黒褐色土 0-47° 0.75mm 少量含
23. 10YR2/3 黒褐色土 0-47° 0.75mm 大含
24. 10YR2/3 黒褐色土 0-47° 0.75mm ~ 1cm 大含
25. 10YR3/3 暗褐色土 0-47° 0.75mm ~ 3cm 大多量含 しまり弱
26. 10YR3/3 暗褐色土 0-47° 0.75mm ~ 1cm 大含
27. 10YR2/3 黒褐色土 0-47° 0.75mm ~ 2cm 大含 しまり有
28. 10YR2/3 黒褐色土 0-47° 0.75mm ~ 5cm 大多量含 しまり有
29. 10YR3/2 黒褐色土 0-47° 0.75mm 大多量含 しまり有
30. 10YR3/2 黒褐色土 0-47° 0.75mm ~ 3cm 多量含 10YR2/2 黒褐色土 0.75mm 少量含
31. 10YR3/2 黒褐色土 0-47° 0.75mm ~ 2cm 大多量含 10YR2/2 黒褐色土 少量含
32. 10YR3/2 黒褐色土 0-47° 0.75mm ~ 2cm 大多量含
33. 10YR2/3 黒褐色土 0-47° 0.75mm ~ 1cm 大含 しまり有 硬面
34. 10YR2/2 黒褐色土 0-47° 0.75mm ~ 1cm 大含
35. 10YR3/3 暗褐色土 0-47° 0.75mm 大微量含
36. 2.5Y5/4 黄褐色土 0-47° 0.75mm 10YR2/1 黒褐色土 0.75mm 大少量含 しまり有
37. 10YR3/2 黒褐色土 0-47° 0.75mm ~ 2cm 大多量含 しまり有
38. 10YR3/2 黒褐色土 0-47° 0.75mm ~ 2cm 大多量含 しまり有
39. 10YR2/2 黒褐色土 0-47° 0.75mm 大含
40. 10YR3/3 暗褐色土
41. 10YR2/2 黒褐色土 0-47° 0.75mm 大含
42. 10YR4/2 灰黄褐色土 0-47° 0.75mm 大含
43. 10YR3/3 暗褐色土 0-47° 0.75mm ~ 5cm 多量含
44. 10YR3/3 暗褐色土 0-47° 0.75mm ~ 5cm 多量含 (46層より多量含)
45. 10YR3/3 暗褐色土 0-47° 0.75mm 大含 しまり有
46. 10YR3/2 黒褐色土 0-47° 0.75mm ~ 10cm 大多量含 10YR2/2 黒褐色土 0.75mm 大含
47. 10YR2/2 黒褐色土 0-47° 0.75mm ~ 5cm 大含
48. 10YR3/3 暗褐色土 0-47° 0.75mm ~ 10cm 大多量含 10YR2/2 黒褐色土 0.75mm 大含
49. 10YR3/3 暗褐色土 0-47° 0.75mm ~ 10cm 大多量含 10YR2/2 黒褐色土 0.75mm 大含
50. 10YR3/3 暗褐色土 0-47° 0.75mm 大含
51. 2.5Y5/4 黄褐色土 0-47° 0.75mm 大含 10YR2/2 黒褐色土 0.75mm 大含
52. 10YR2/2 黒褐色土 0-47° 0.75mm 大多量含
53. 10YR2/2 黒褐色土 0-47° 0.75mm 大含 しまり有
54. 2.5Y5/4 黄褐色土 0-47° 0.75mm 多量含
55. 10YR2/2 黒褐色土 0-47° 0.75mm 大含
56. 10YR2/3 黒褐色土 0-47° 0.75mm ~ 3cm 大多量含
57. 10YR2/2 黒褐色土 0-47° 0.75mm ~ 2cm 大含
58. 10YR2/2 黒褐色土 0-47° 0.75mm ~ 2cm 大含
59. 10YR3/3 暗褐色土 0-47° 0.75mm 大少量含
60. 10YR3/3 暗褐色土 0-47° 0.75mm 大含 10YR2/2 黒褐色土 0.75mm 大含
61. 10YR3/3 暗褐色土 0-47° 0.75mm ~ 5cm 大含
62. 10YR2/2 黒褐色土 0-47° 0.75mm ~ 2cm 大含
63. 10YR2/2 黒褐色土 0-47° 0.75mm 大含
64. 10YR2/2 黒褐色土 0-47° 0.75mm ~ 3cm 大多量含
65. 10YR2/2 黒褐色土 0-47° 0.75mm 大少量含
66. 10YR2/1 黒色土 0-47° 0.75mm 大微量含
67. 10YR2/2 黒褐色土 0-47° 0.75mm 大含
68. 10YR4/2 灰黄褐色土 10YR4/5 にぶい黄褐色土 0.75mm ~ 5cm 大含
69. 10YR4/2 灰黄褐色土 2.5Y7/2 灰黄色土 0.75mm ~ 5cm 大多量含
10YR2/2 黒褐色土 0.75mm 大少量含

第 74 図 第 19 号掘立柱建物跡、同出土遺物



SB20

調査区外

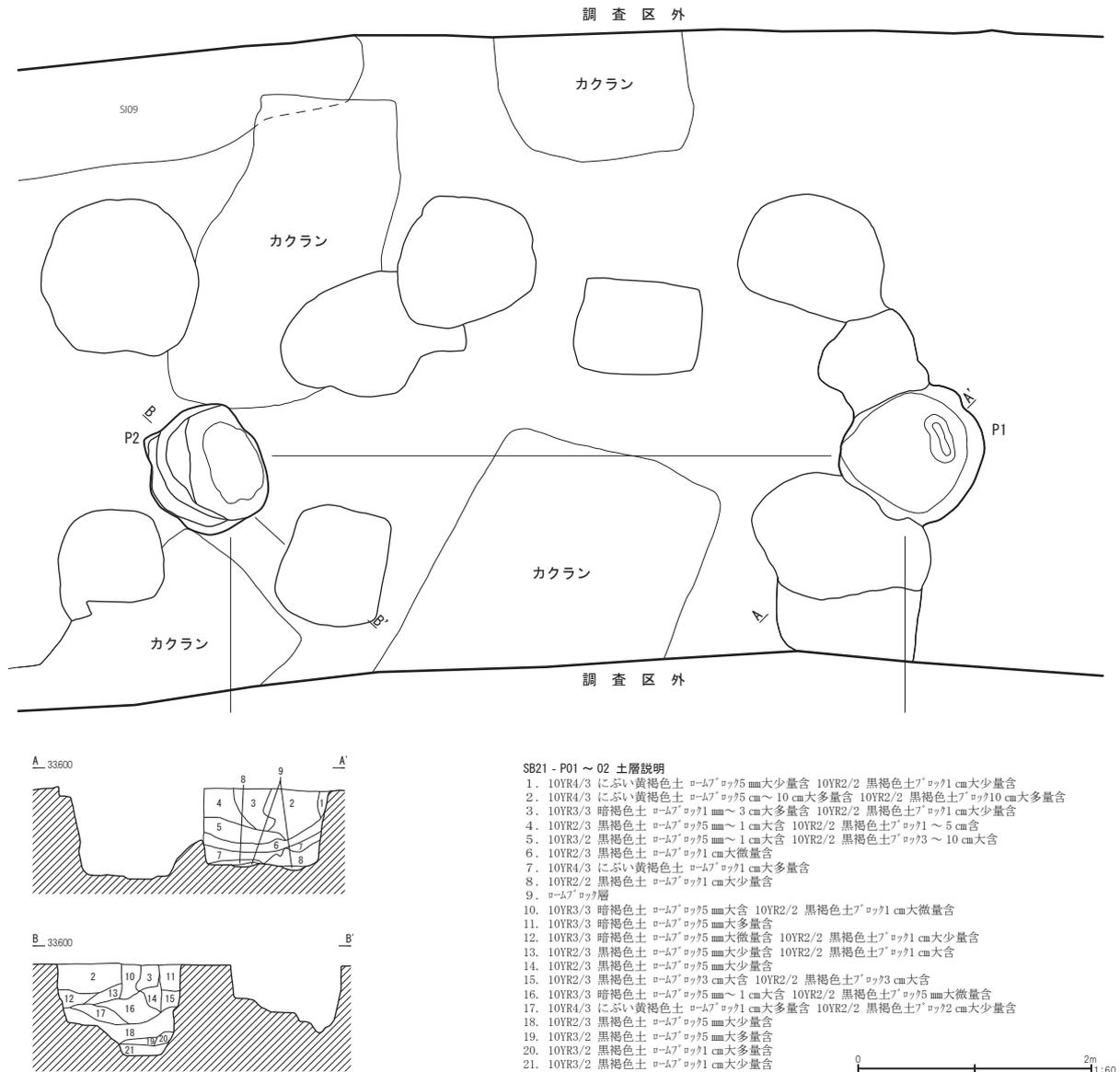


- SB20 - P01 ~ 09 土層説明
- 10YR4/2 灰黄褐色土 0-47^o 珪72 mm 大含 焼土含 炭化物微量含
 - 10YR3/3 暗褐色土 0-47^o 珪71 ~ 5 cm 大多量含
 - 10YR2/1 黒色土 0-47^o 珪75 cm 大含
 - 10YR3/3 暗褐色土 0-47^o 珪71 ~ 5 cm 大含
 - 10YR2/1 黒色土 0-47^o 珪75 mm ~ 1 cm 大少量含
 - 10YR3/3 暗褐色土 0-47^o 珪71 cm 大含
 - 10YR2/1 黒色土 0-47^o 珪71 ~ 5 cm 大含
 - 10YR3/3 暗褐色土 0-47^o 珪75 mm 大少量含
 - 10YR2/1 黒色土 0-47^o 珪71 cm 大少量含
 - 10YR3/3 暗褐色土 0-47^o 珪71 ~ 10 cm 大含
 - 10YR2/1 黒色土 0-47^o 珪75 mm ~ 1 cm 大少量含
 - 10YR3/3 暗褐色土 0-47^o 珪75 mm 大少量含
 - 10YR2/1 黒色土 0-47^o 珪75 mm 大少量含
 - 10YR3/3 暗褐色土 0-47^o 珪71 cm 大含
 - 10YR2/1 黒色土 0-47^o 珪71 cm 大微量含
 - 10YR3/3 暗褐色土 0-47^o 珪71 ~ 10 cm 大含
 - 10YR2/1 黒色土 0-47^o 珪75 mm ~ 1 cm 大少量含
 - 10YR3/3 暗褐色土 0-47^o 珪75 mm 大少量含
 - 10YR2/1 黒色土 0-47^o 珪75 mm 大少量含
 - 10YR3/3 暗褐色土 0-47^o 珪75 mm 大少量含
 - 10YR2/1 黒色土 0-47^o 珪71 cm 大含
 - 10YR2/1 黒色土 0-47^o 珪75 cm 大多量含
 - 10YR2/1 黒色土 0-47^o 珪75 cm 大多量含
 - 10YR2/1 黒色土 0-47^o 珪75 ~ 10 cm 大多量含
 - 10YR2/1 黒色土 0-47^o 珪710 cm 大多量含
 - 10YR2/3 黒褐色土 0-47^o 珪75 mm 大微量含
 - 10YR2/1 黒色土 0-47^o 珪75 mm 大少量含
 - 10YR2/3 黒褐色土 0-47^o 珪75 mm 大少量含
 - 10YR2/1 黒色土 0-47^o 珪75 mm 大少量含
 - 10YR2/1 黒色土 0-47^o 珪75 mm 大少量含
 - 10YR2/2 黒褐色土 (根痕)
 - 10YR3/3 暗褐色土 0-47^o 珪71 mm 大微量含
 - 10YR2/3 黒褐色土 0-47^o 珪71 mm 大微量含
 - 10YR3/3 暗褐色土 0-47^o 珪75 mm 大少量含
 - 10YR2/1 黒色土 0-47^o 珪75 mm 大少量含
 - 10YR2/3 黒褐色土 0-47^o 珪75 mm 大少量含
 - 10YR2/1 黒色土 0-47^o 珪75 mm 大少量含
 - 10YR2/1 黒色土 0-47^o 珪73 cm 大含
 - 10YR2/1 黒色土 0-47^o 珪75 mm ~ 1 cm 大含
 - 10YR2/2 黒褐色土 (根痕)
 - 10YR3/3 暗褐色土 0-47^o 珪71 mm 大微量含
 - 10YR2/3 黒褐色土 0-47^o 珪71 mm 大微量含
 - 10YR3/3 暗褐色土 0-47^o 珪75 mm 大少量含
 - 10YR2/1 黒色土 0-47^o 珪75 mm 大少量含
 - 10YR2/3 黒褐色土 0-47^o 珪75 mm 大少量含
 - 10YR2/1 黒色土 0-47^o 珪75 mm 大少量含
 - 10YR2/1 黒色土 0-47^o 珪71 ~ 10 cm 大多量含
 - 10YR2/1 黒色土 0-47^o 珪75 mm ~ 1 cm 大少量含
 - 10YR2/3 黒褐色土 焼土炭化物含 0-47^o 珪75 mm 大少量含
 - 10YR2/2 黒褐色土 珪75 mm ~ 5 cm 大含
 - 10YR2/3 黒褐色土 0-47^o 珪75 mm 大少量含
 - 10YR3/3 暗褐色土 0-47^o 珪71 ~ 3 cm 大含
 - 10YR3/3 暗褐色土 0-47^o 珪71 cm 大少量含
 - 10YR2/3 黒褐色土 0-47^o 珪75 mm ~ 1 cm 大少量含
 - 10YR2/1 黒色土 0-47^o 珪75 mm 大微量含

第 75 図 第 20 号掘立柱建物跡、同出土遺物



SB21



第 76 図 第 21 号掘立柱建物跡

第 20 号掘立柱建物跡 (第 73 図、第 75 図)

位置 R・S-16・17 グリッドに位置する。

概要 2間以上×2間以上と推定される側柱式掘立柱建物跡で、南側が調査区外である。状況から南北棟と推測する。梁行は4.2m、桁行は検出範囲で3.1mを測り、推定面積は13.02㎡以上となる。梁間は2.1m-2.1m、桁間は西側が2.2m、東側が2.4mを測る。主軸方位はN-17°-Wである。掘方は多少の乱れがみられるが隅丸長方形を呈し、隅柱の掘方が軸に対し内向きに斜行する配置である。掘方長径は良好な遺存状況のP1・3は1.05m、重複や乱れのあるP2・4・5は1.2~1.6を測る。掘方の深さは確認面から50~60cmと一定である。掘方規模から大型の建物と推定されるが、柱筋の通りが悪い。P6~9は足場柱穴の可能性があるので、併せて図示した。柱筋の通りがやや悪いものの、

第 25 表 第 19 号掘立柱建物跡出土遺物観察表

No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	土錘	長：3.2	幅：1.1	孔：0.3	ABN	にぶい褐色	A	100%	

第 26 表 第 20 号掘立柱建物跡出土遺物観察表

No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	土師器坏	(13.0)	(2.5)	-	ABUN	にぶい橙色	B	口縁～底部片	底部外面手持ちヘラケズリ
2	須恵器蓋	-	(1.2)	-	ABFN	灰色	A	天井部 30%	南比企産 天井部回転ヘラケズリ

概ね同じ方向の本体軸から 1.2 ～ 1.4 m 程度の等間隔で離れており、掘方が小規模となる特徴がある。柱穴底面に硬化面はみられなかったが、掘方規模から推測するならば、側柱の直径は約 25 cm、足場柱の直径は約 15 cm 程度と思われる。

遺物（第 75 図、第 26 表） 土師器坏、須恵器蓋が出土した。1 は北武蔵型の土師器坏で、体部下端にヘラケズリ調整が施され、底部は平底風となる形状のものである。2 は須恵器蓋で、かえりをもたない形態のものである。

重複 S B 19 より古い。S B 21 より新しい。

時期 8 世紀後半（幡羅・下郷遺跡 V 期、西別府官衙遺跡群 4 期）

第 21 号掘立柱建物跡（第 73 図、第 76 図）

位置 R - 17、S - 16・17 グリッドに位置する。

概要 規模不明な掘立柱建物跡か。検出されたのは大型の掘方をもつピット 2 基であるが、検出された他のピットとは組み合わないこと、覆土・規模・配置等から S B 20・21 と一連の関係性がみられること、主軸方向から他の古代の掘立柱建物跡と概ね一致すること等から、P 1・2 は同遺構として判断した。掘立柱建物以外の遺構の可能性もあるが、一連の建て替えの流れを考慮し、ここでは掘立柱建物跡として取り扱うこととした。遺構は南側に続くと推測されるが、大半が調査区外である。状況から南北棟の北端を検出したものと推測する。梁行は 5.8 m、桁行は検出範囲で 2.0 m を測り、推定面積は 11.6 m² 以上となる。主軸方位は N - 21° - W である。掘方は隅丸方～長方形を呈し、掘方が軸に対し外向きに斜行する配置である。掘方長径は P 1 が 1.1 m、P 2 が 1.15 m を測る。掘方の深さは確認面から P 1 が 65 cm、P 2 が 75 cm である。掘方規模から大型の建物と推定される。柱の直径は不明である。時期については、重複関係から、S B 20 より古い位置づけとなり、前段階の時期を想定しておきたい。

遺物 遺物は検出されなかった。

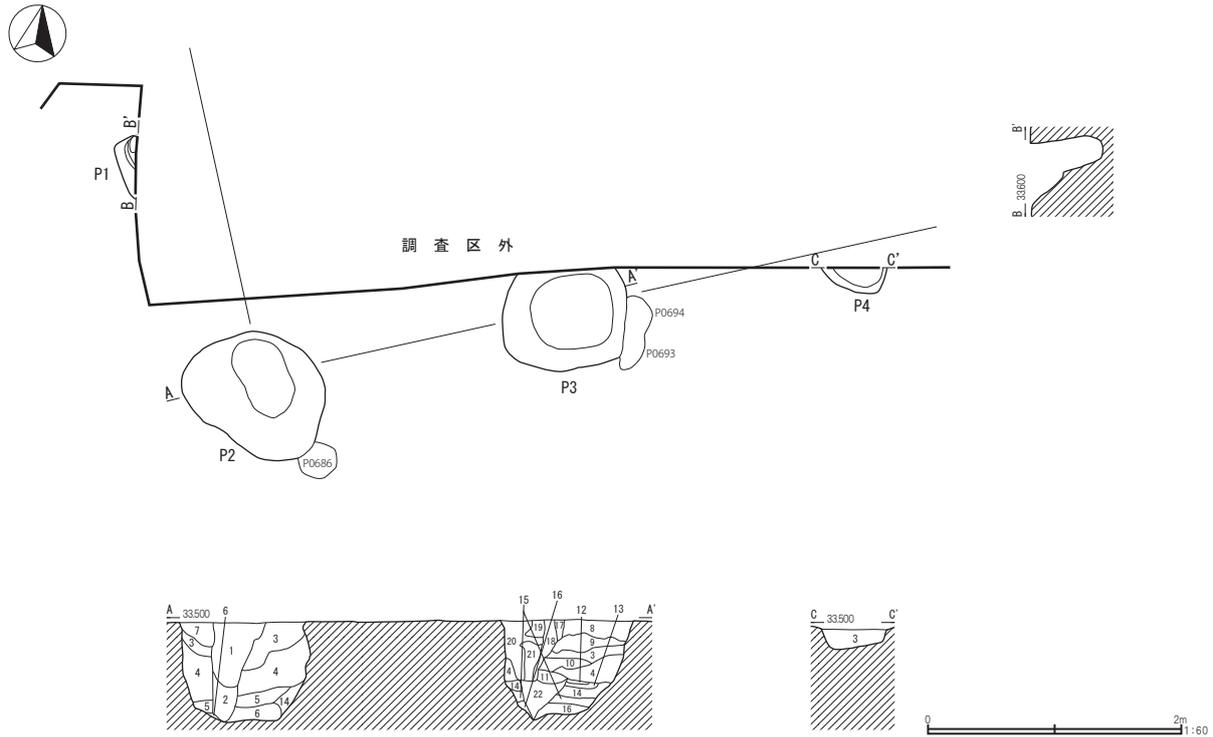
重複 S B 19、20 より古い。

時期 8 世紀中頃（幡羅・下郷遺跡 IV 期、西別府官衙遺跡群 3・4 期）

第 22 号掘立柱建物跡（第 77 図）

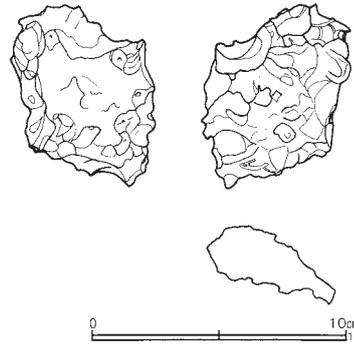
位置 Q - 18・19・20、R - 18・19 グリッドに位置する。

概要 2 間以上 × 1 間以上と推定される側柱式掘立柱建物跡で、北東側の大半が調査区外である。梁・桁方向は不明であるが、検出範囲で東西方向は 4.8 m、南北方向は 1.9 m を測り、推定面積は 9.12 m² 以上となる。柱間は東西方向が 2.5 m - 2.3 m を測る。主軸方位は N - 22° - W である。掘方は楕円



SB22 - P01 ~ 04 土層説明

1. 10YR2/3 黒褐色土 0-47° 0.71 ~ 5 cm 大含 しまり弱
2. 10YR2/3 黒褐色土 0-47° 0.71 ~ 3 cm 大少量含 しまり有
3. 10YR3/2 黒褐色土 0-47° 0.710 cm 大少量含 しまり有
4. 10YR2/2 黒褐色土 0-47° 0.75 mm ~ 5 cm 大少量含 10YR3/3 暗褐色土 混入
5. 10YR2/2 黒褐色土 0-47° 0.75 cm 大含 浅間BP 含 (7.5YR6/6 橙色軽石) 2 cm 大
6. 10YR2/2 黒褐色土 0-47° 0.71 cm 大少量含
7. 10YR2/3 黒褐色土 0-47° 0.75 cm 大含
8. 10YR2/3 黒褐色土 0-47° 0.710 cm 大含
9. 2.5Y5/3 黄褐色土 0-4層 しまり有
10. 10YR3/2 黒褐色土 0-47° 0.73 cm 大少量含 しまり有
11. 10YR3/2 黒褐色土 0-47° 0.73 cm 大含
12. 10YR2/2 黒褐色土 0-47° 0.71 cm 大含
13. 10YR2/2 黒褐色土
14. 10YR3/2 黒褐色土 0-47° 0.75 cm 大含
15. 10YR2/2 黒褐色土 0-47° 0.75 cm 大少量含
16. 10YR3/2 黒褐色土 0-47° 0.73 cm 大少量含
17. 10YR5/2 灰黄褐色土
18. 2.5Y5/3 黄褐色土 0-47° 0.7層
19. 2.5Y5/3 黄褐色土 0-47° 0.7層
20. 10YR3/2 黒褐色土 0-47° 0.75 mm ~ 2 cm 大含
21. 10YR3/2 黒褐色土 0-47° 0.75 cm 大少量含 浅間BP (7.5YR5/6 橙色軽石) 微量含 しまり弱 5 mm 大
22. 10YR2/2 黒褐色土 0-47° 0.75 mm ~ 1 cm 大少量含



第 77 図 第 22 号掘立柱建物跡、同出土遺物

第 27 表 第 22 号掘立柱建物跡出土遺物観察表

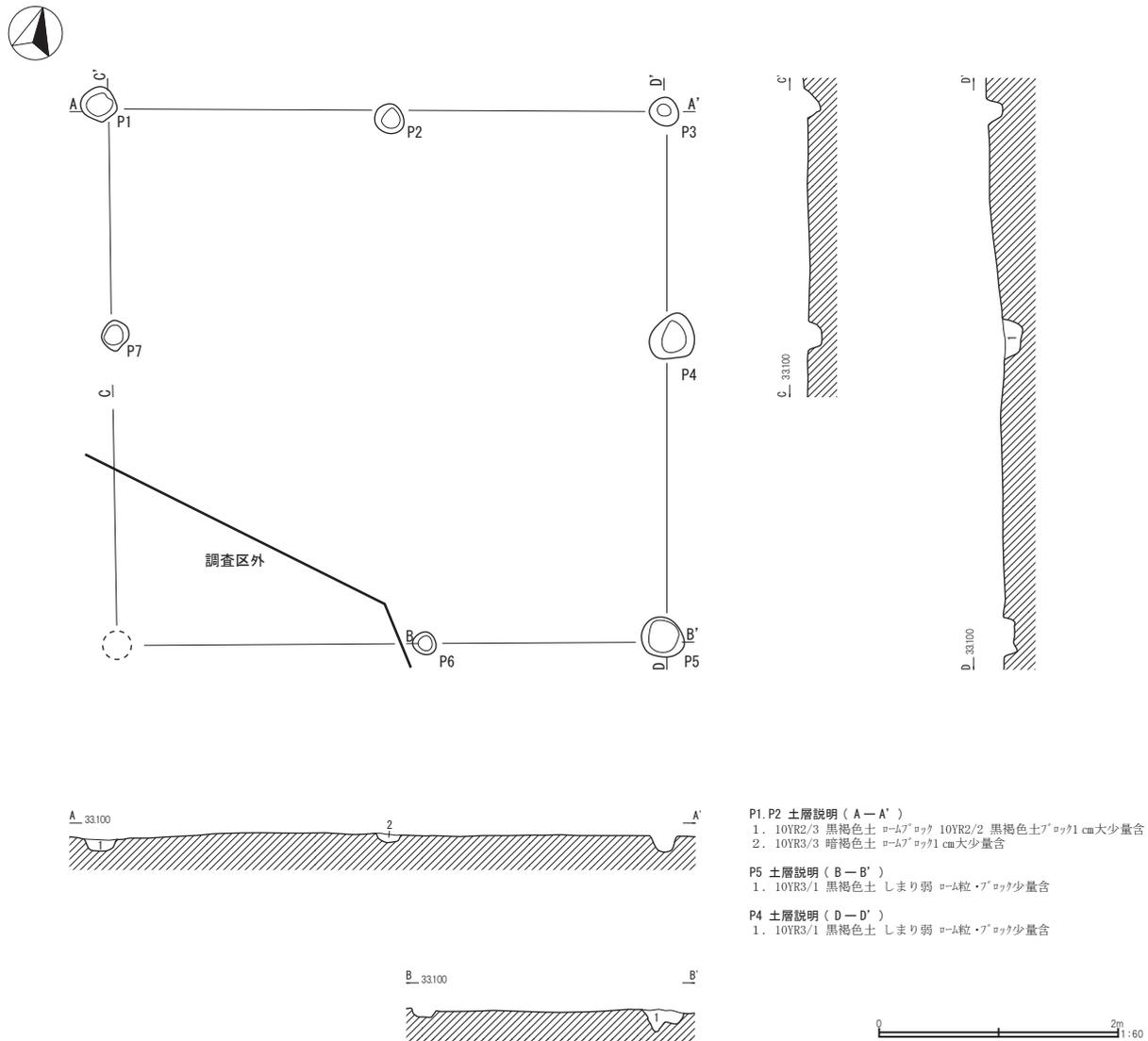
No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	鉄滓	長 : 7.2	幅 : 5.6	厚 : 2.1					上面に磁気反応

～隅丸長方形とみられるが、P 1・4 は判断がつかない。掘方長径は P 2・3 が 1.0 ~ 1.5 m を測る。掘方の深さは P 2・3 が確認面から 80 cm である。掘方規模から大型の建物と推定される。柱の直径は不明である。時期については不明な点が多いが、覆土や規模から 8 ~ 9 世紀の遺構といえる。主軸方位から推定すれば、近隣の遺構では S B 19、S B 21 が概ね一致することから、8 世紀中頃または 9 世紀代とみられるがここでは 8 世紀中 ~ 9 世紀後半としておく。

遺物 (第 77 図、第 27 表) 鉄滓とみられる鉄製品が出土した。1 は塊形滓の断片か。

重複 P 0686、0693、0694 より古い。

時期 8 世紀中 ~ 9 世紀後半 (幡羅・下郷遺跡 IV ~ VII 期、西別府官衙遺跡群 4 ~ 6 期)



第 78 図 第 23 号掘立柱建物跡

第 23 号掘立柱建物跡 (第 78 図)

位置 Q-25、R-24・25、S-24 グリッドに位置する。

概要 2間×2間と推定される側柱式掘立柱建物跡で、南西隅が調査区外である。梁・桁方向は不明であるが、東西 4.65 m、南北 4.5 m、推定面積は 20.92 m²を測る。柱間は東西方向北側が 2.35 m - 2.3 m、南側が 2.0 m、南北方向西側が 1.9 m、東側が 1.95 m - 2.55 mを測る。主軸方位はN-18° -Wである。掘方は円形で、掘方の深さは隅柱が確認面から 10 ~ 20 cmと浅い。

遺物 遺物は検出されなかった。

時期 時期不明

3 溝跡

第1号溝跡（第79図）

位置 A-13、B-12・13、C-12、D-12 グリッドに位置する。

規模 検出長 15 m、幅 23～67 cmを測る。確認面からの深さは 11～28 cm。断面は船底形状。主軸方向はN-19°-Eから、N-25°-Wに変化する。

概要 北東から南西へ流れ、北側は調査区外へ延び、流路中程は攪乱により不明瞭だが延長上に続きがみられないことから、屈曲して東南方向へ転じると推測した。東南方向延長上の調査区では続きはみられない。本遺構はSX 01に接続している可能性があり、SX 01の用途が井戸または水溜坑であるならば、導水または排水の用水路とも考えられる。覆土はレンズ状に堆積しており、自然埋没と考えられる。

遺物（第79図、第28表） 須恵器甕を検出した。胴部下端から底部外面回転ヘラケズリ調整が施される。

重複 SB 01、SN 02より古い。SX 01との切合不明。

時期 9世紀代（幡羅・下郷遺跡VI・VII期、西別府官衙遺跡群5・6期）

第2号溝跡（第79図）

位置 F-22 グリッドに位置する。

規模 検出長 323 cm、幅 37 cmを測る。確認面からの深さ 17 cm。断面は丸底形状。主軸方向はN-2°-E。

概要 調査区北より南走するが、北は風倒木、南は攪乱により切られ、全容は不明である。覆土は単層であり、埋没状況は不明である。

遺物 遺物は検出されなかった。

時期 時期不明

第3号溝跡（第80図）

位置 K-28・29、L-28・29 グリッドに位置する。

規模 検出長 860 cm、幅 65 cmを測る。確認面からの深さ 15～30 cm。断面は平底形状。主軸方向はN-110°-Eから、N-12°-Eに変化する。

概要 西から東へ流れ、K-29 グリッド内で屈曲して南方向へ転じる。西側は調査区外へ延び、南側は攪乱で切られる。覆土は一括埋没とみられる。SD 04が並行しており、同時期である可能性がある。

遺物 遺物は検出されなかった。

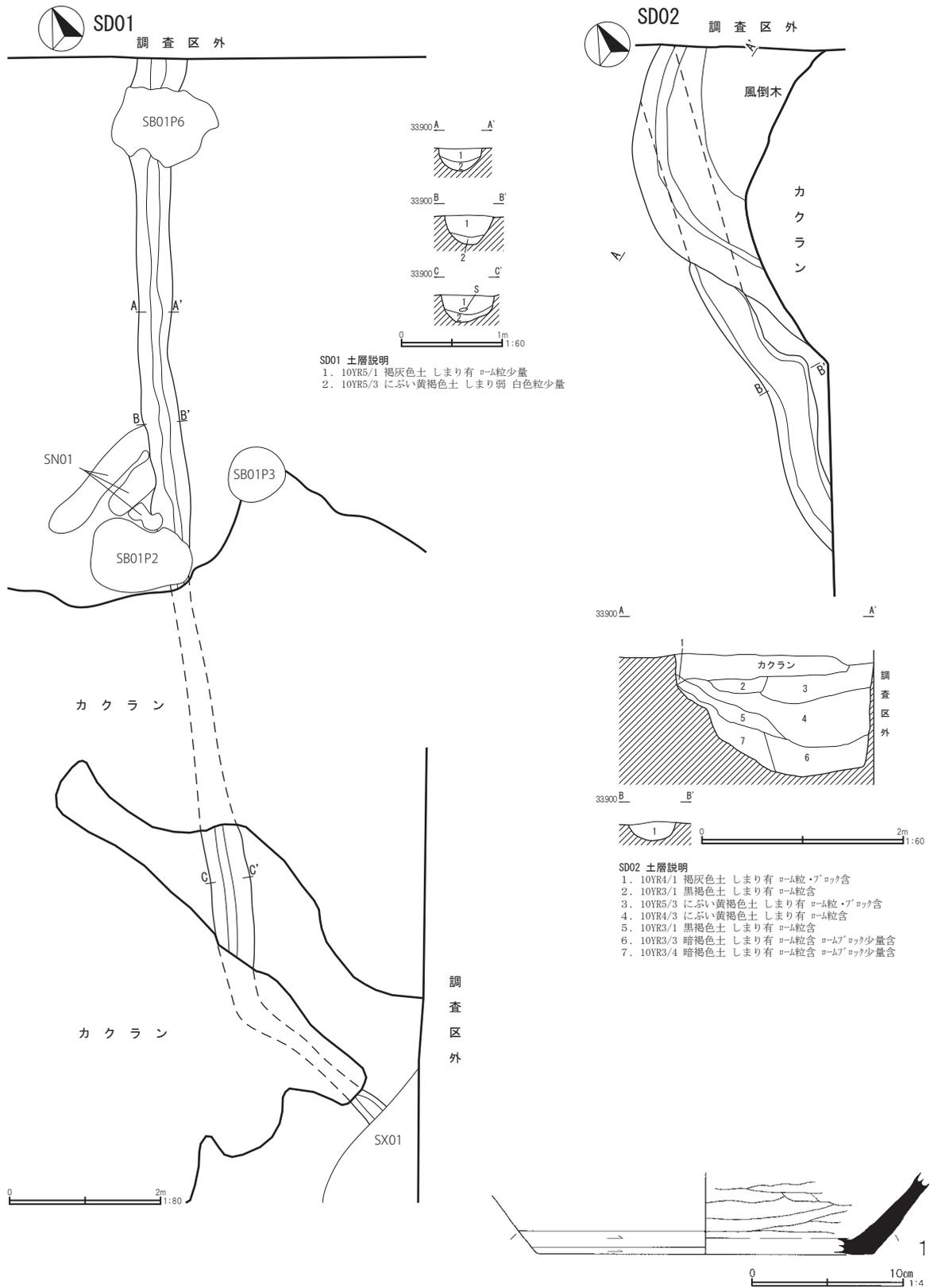
時期 時期不明

第4号溝跡（第80図）

位置 M-29 グリッドに位置する。

規模 検出長 110 cm、幅 37 cmを測る。確認面からの深さ 12 cm。断面は平底形状。主軸方向はN-12°-E。

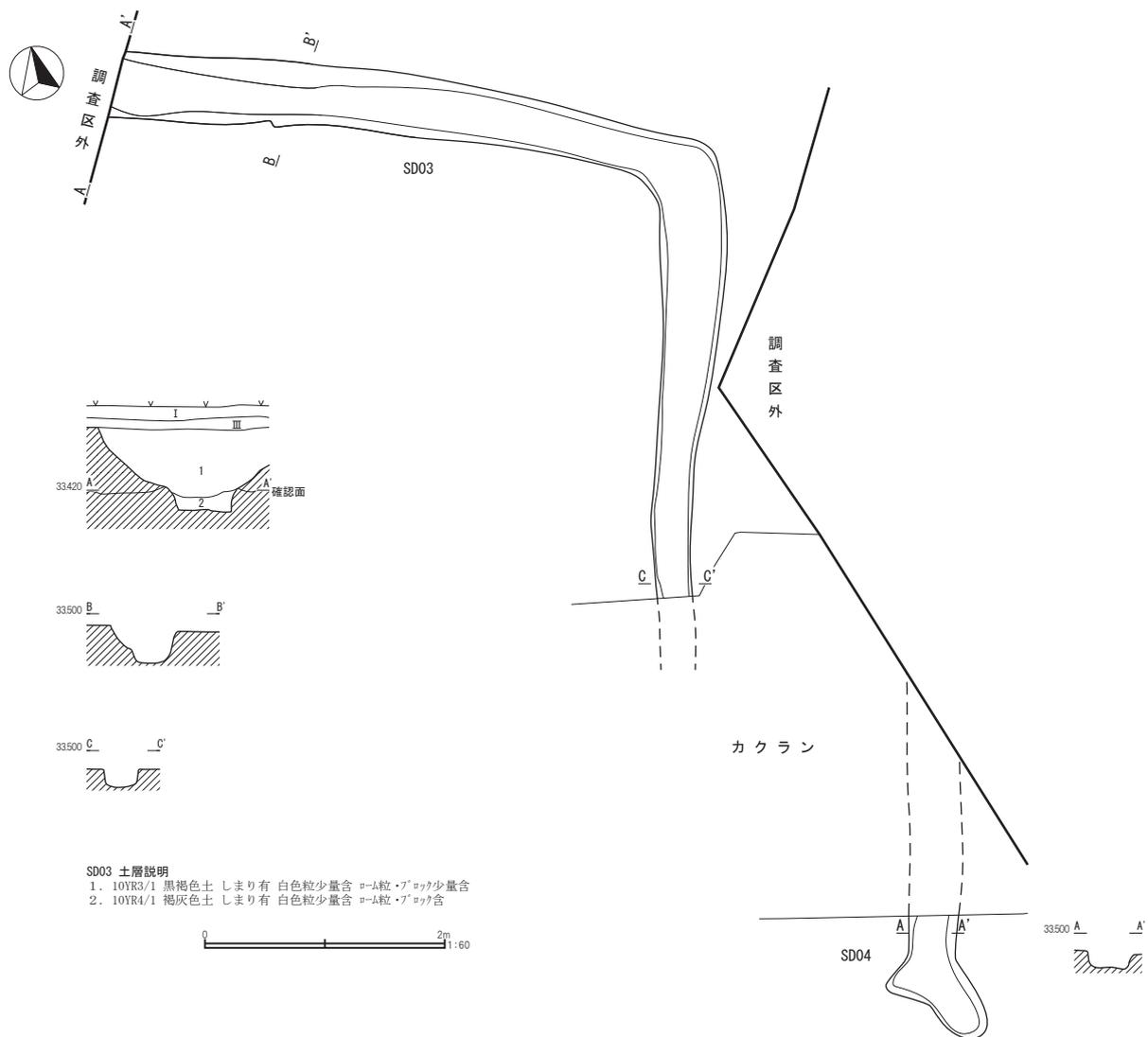
概要 北から南へ流れ、M-29 グリッド内で屈曲して南東方向へ転じるとみられる。北側は調査区外へ延びるが、南側は確認面より浅い掘り込みとなり途切れる。埋没状況は不明。SD 03が並行しており、



第 79 図 第 1・2号溝跡、第 1号溝跡出土遺物

第 28 表 第 1号溝跡出土遺物観察表

No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	須恵器甕 (酸化炎焼成)	-	(5.4)	(22.0)	ABN	外・にぶい黄褐色 内・オリブ灰色	B	胴～底部片	胴部下端～底部外面回転ヘラケブリ



第80図 第3・4号溝跡

同時代である可能性がある。

遺物 遺物は検出されなかった。

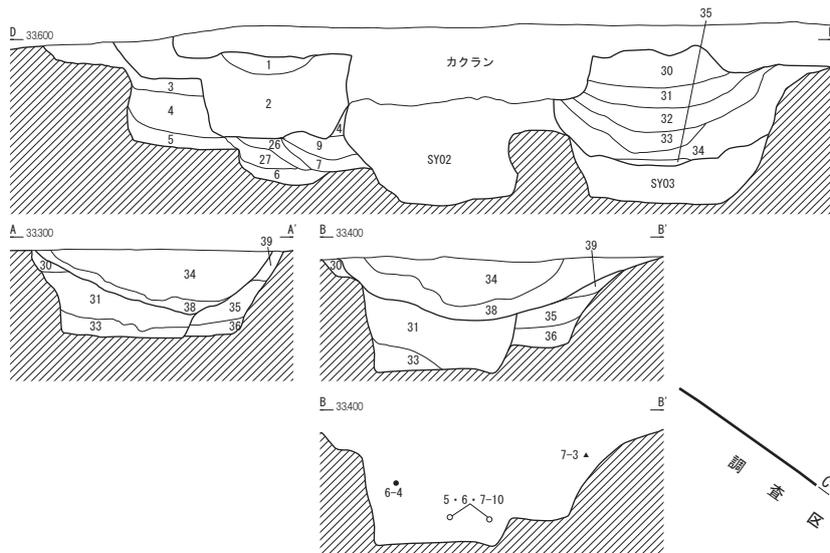
時期 時期不明

第5号溝跡（第81図、第82図）

位置 I - 28・29・30、J - 28・29、K - 24・25、L - 23・24・25 グリッドに位置する。

規模 検出した範囲で長さ 33.4 m、幅 2.4 m を測る。確認面からの深さは 1.1 m。主軸方向は $N - 65^\circ - E$ 。

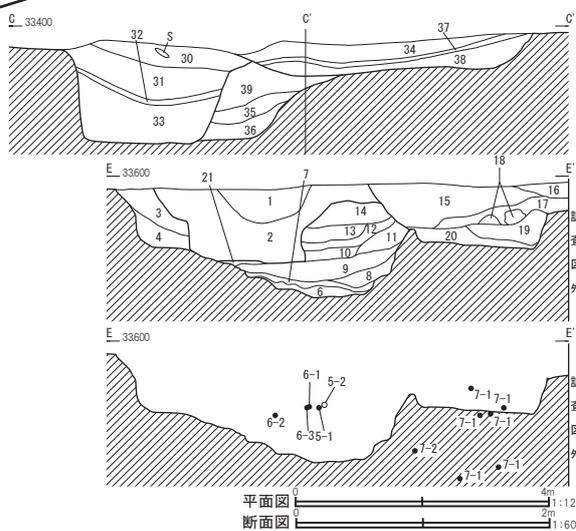
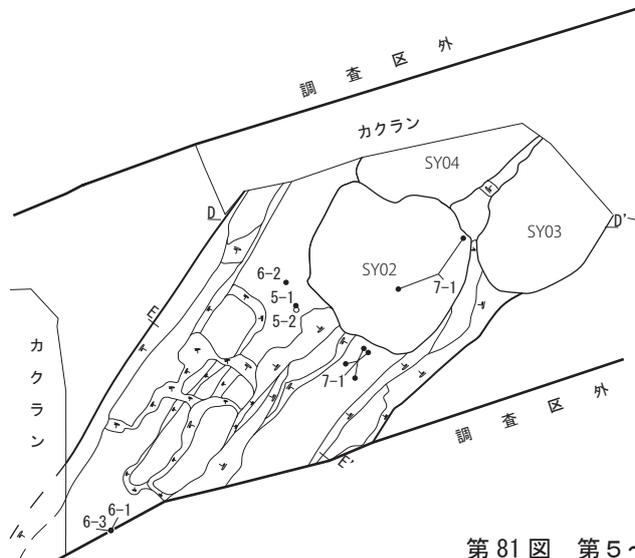
概要 調査区北東から南西方向へ流れ、I - 30 グリッドで立ち上がる。南壁上部は重複のため不明確であるが、平面形の掘り込みは直線的であり、溝幅のブレも少なく規格性がみられる。底面は方～長方形の平場が細かく形成され、僅かな高低差があり、画一的な底面ではないように見受けられる。断面は上方が開き、半ばから鉛直に落ち込み、部分的にさらに一段の落ち込む形状とみられる。覆土は概ねレンズ状堆積を呈しているが、ブロックを含んでいることから人為的な埋没の可能性を残す。重複はSD 06・07 及びSY 02・04 に切られる。時期について、SD 05～07 は第86・87図で示した遺物の時期



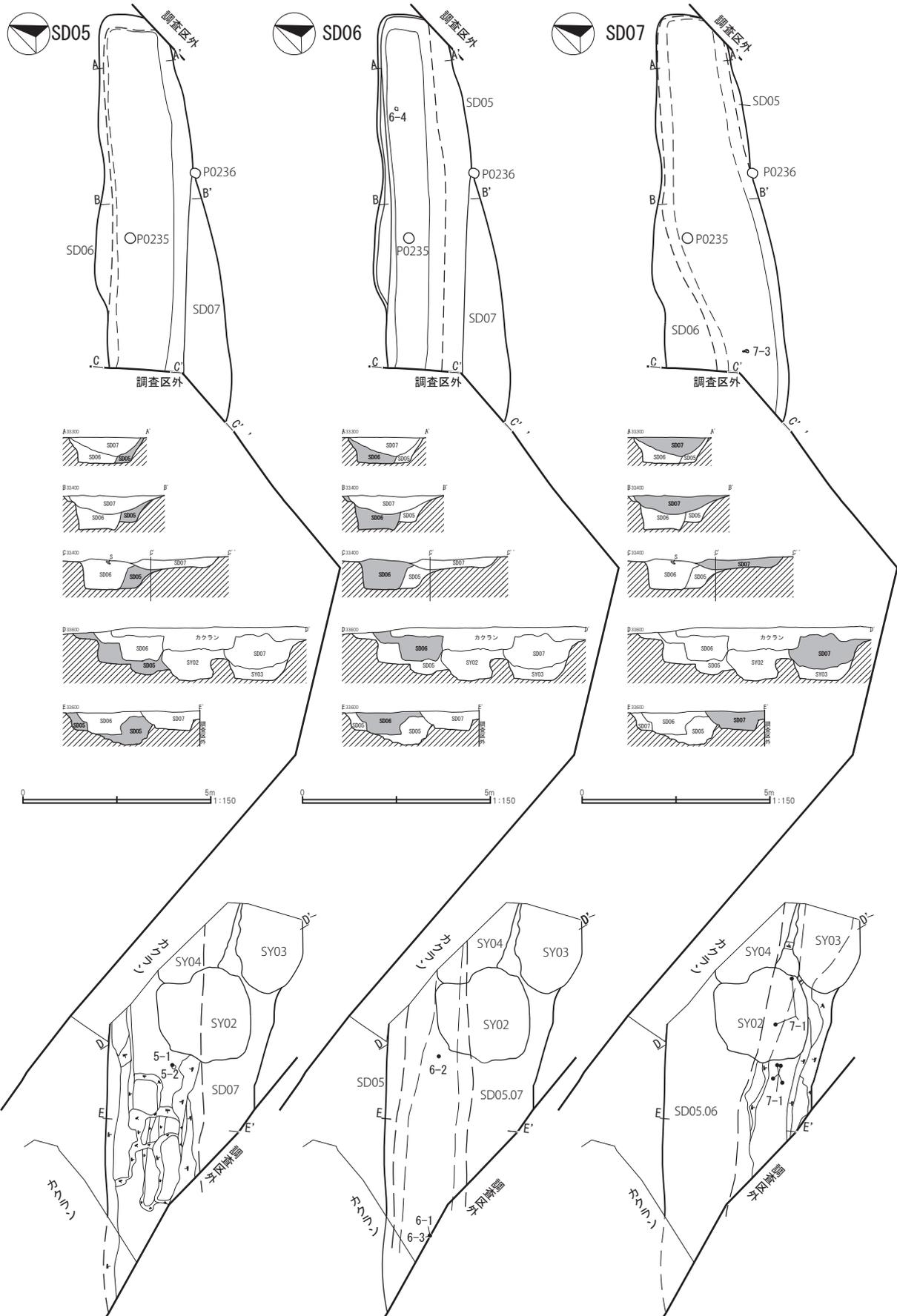
SD05・06・07

SD05・06・07 土層説明

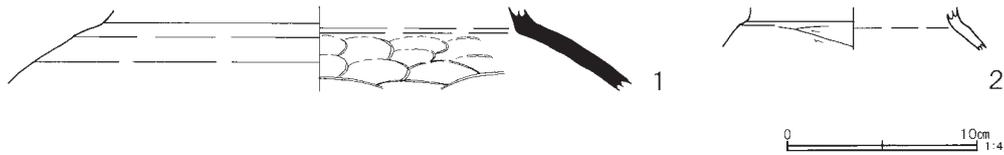
1. 10YR3/3 白色軽石火山灰微量含 暗褐色土 ϕ -M⁷ロツク5 mm 大多量含 1 cm 大層位下部に含
2. 10YR3/3 暗褐色土 ϕ -M⁷ロツク5 mm 大 1 cm 大少量含 焼土粒微量含
3. 10YR2/3 黒褐色土 ϕ -M⁷ロツク1 cm 大含 10YR2/1 黒色 ϕ ロツク3 cm 大少量含
4. 10YR3/3 暗褐色土 ϕ -M⁷ロツク5 mm \sim 1 cm 大微量含
5. 10YR3/3 暗褐色土 ϕ -M⁷ロツク5 cm 大多量含
6. 10YR3/3 暗褐色土 ϕ -M⁷ロツク3 cm 多量含
7. 10YR2/1 黒色土 炭化物含
8. 10YR2/2 黒褐色土 ϕ -M⁷ロツク2 cm 大微量含 白色軽石火山灰微量含
9. 10YR3/3 暗褐色土 ϕ -M⁷ロツク5 mm 大含 焼土・炭化物微量含 白色軽石火山灰微量含
10. 10YR3/3 暗褐色土 ϕ -M⁷ロツク(砂質)1 \sim 5 cm 大多量含 7.5YR6/8 橙色 粗砂粒 ϕ ロツク1 \sim 2 cm 大含 白色軽石火山灰微量含
11. 10YR2/3 黒褐色土 ϕ -M⁷ロツク5 mm 大少量含 1 cm 大微量含 焼土粒微量含 白色軽石火山灰微量含
12. 10YR3/3 暗褐色土 ϕ -M⁷ロツク5 mm 大少量含 焼土粒微量含 白色軽石火山灰微量含
13. 10YR2/3 暗褐色土 ϕ -M⁷ロツク5 mm \sim 1 cm 大多量含 白色軽石火山灰微量含
14. 10YR3/3 暗褐色土 ϕ -M⁷ロツク5 \sim 1 cm 大多量含 粘土(2.5Y6/2 灰黄色) ϕ ロツク5 \sim 3 cm 大少量含
15. 10YR3/3 暗褐色土 ϕ -M⁷ロツク5 mm 大多量含 焼土粒・炭化物微量含
16. 10YR3/3 暗褐色土 ϕ -M⁷ロツク3 cm 大含
17. 10YR3/3 暗褐色土 ϕ -M⁷ロツク5 mm 大含 炭化物少量含
18. ϕ -M⁷ロツク層
19. 10YR2/3 黒褐色土 ϕ -M⁷ロツク5 mm 大含
20. 10YR2/3 黒褐色土 ϕ -M⁷ロツク5 mm 大多量含 1 cm 大少量含 焼土粒微量含
21. 10YR3/3 暗褐色土 ϕ -M⁷ロツク5 mm \sim 1 cm 大多量含 焼土粒微量含
22. 10YR3/3 暗褐色土 ϕ -M⁷ロツク(砂質)10 cm 大多量含
23. 10YR3/3 暗褐色土 ϕ -M⁷ロツク5 mm 大含
24. 10YR3/3 暗褐色土 ϕ -M⁷ロツク5 mm 大少量含
25. 10YR3/3 暗褐色土 ϕ -M⁷ロツク5 mm 大少量含 焼土粒微量含
26. 10YR3/3 暗褐色土 ϕ -M⁷ロツク5 mm 大含 層位上部に 1 cm 大 ϕ ロツク含
27. 10YR3/3 暗褐色土 ϕ -M⁷ロツク5 mm 大多量含 5 cm 大 ϕ ロツク含
28. 10YR2/3 黒褐色土 ϕ -M⁷ロツク5 mm 大少量含 焼土粒微量含
29. 10YR2/3 黒褐色土 灰黄褐色(10YR6/4)土を層状に含
30. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 しまり有 ϕ -M⁷粒多量 ϕ -M⁷ロツク2 cm 微量 10YR6/2 灰黄褐色土 粘土少量含 白色粒少量含 雲母石器
31. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 しまり有 ほぼほぼ 33 層と同じ 弱干 10YR6/2 灰黄褐色土 粘土 33 層より多めに混在 雲母
32. 10YR5/4 にぶい黄褐色土 しまり有 粘質 ϕ -M⁷粒少量含 10YR6/2 粘土多量含混在 白色粒少量含 雲母
33. 10YR4/4 褐色土 しまり有 ϕ -M⁷粒多量 ϕ -M⁷ロツク2 \sim 3 cm 含 炭化物 1 \sim 2 cm 微量含 10YR6/2 灰黄褐色土 粘土 ϕ ロツク2 \sim 3 cm 少量含 10YR3/2 黒褐色土 ϕ ロツク少量含 白色粒(軽石)少量含 土師片少量含 雲母
34. 10YR5/4 にぶい黄褐色土 しまり有 ϕ -M⁷粒含 ϕ -M⁷ロツク2 cm 大微量含 白色粒少量含
35. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 ϕ -M⁷粒多量含 ϕ -M⁷ロツク2 \sim 3 cm (5 cm 1 点) 含 10YR6/2 灰黄褐色土 粘土 ϕ ロツク3 \sim 4 cm 微量含 白色粒含
36. 10YR3/3 暗褐色土 しまり有 ϕ -M⁷粒微量含 ϕ -M⁷ロツク3 \sim 5 cm 多量混在 炭化物微量含 白色粒含
37. 10YR5/4 にぶい黄褐色土 しまり有 粘質 ϕ -M⁷粒少量含 10YR6/2 粘土 多量含混在 白色粒少量含 雲母
38. 10YR5/4 にぶい黄褐色土 しまり有 ϕ -M⁷粒含 ϕ -M⁷ロツク2 cm 大微量含 白色粒少量含
39. 10YR5/4 にぶい黄褐色土 しまり有 ϕ -M⁷粒含 ϕ -M⁷ロツク2 cm 大微量含 白色粒少量含 10YR6/2 粘土 38 層より多量含



第 81 図 第 5～7号溝跡 1



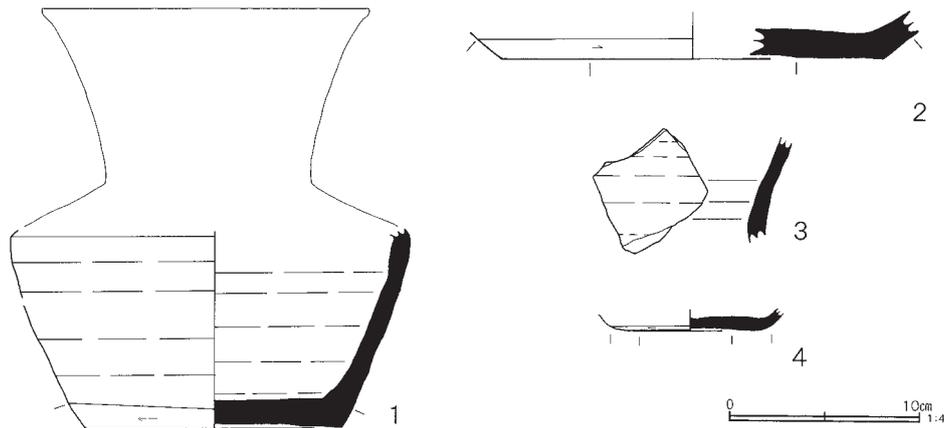
第 82 図 第 5 ~ 7 号溝跡 2



第 83 図 第 5 号溝跡出土遺物

第 29 表 第 5 号溝跡出土遺物観察表

No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	須恵器甕	-	(4.4)	-	ABFN	灰色	A	胴部片	南比企産 外面降灰 内面無文あて具痕
2	土師器台付甕	-	(2.2)	-	BDIN	赤褐色	A	頸部片	胴部上端外面横位へラケズリ



第 84 図 第 6 号溝跡出土遺物

第 30 表 第 6 号溝跡出土遺物観察表

No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	須恵器長頸瓶	-	(10.2)	13.4	ABFN	灰色	A	底部 100%	南比企産 胴部下端外面へラケズリ
2	須恵器甕	-	(2.5)	(20.0)	ABFM	灰色	A	底部片	南比企産 胴部下端外面へラケズリ
3	須恵器甕	-	-	-	ABN	暗紫灰色	A	頸部片	南比企産 内面降灰
4	須恵器杯	-	(1.1)	6.9	ABIJN	灰色	A	底部 70%	末野産 底部外面周辺回転へラケズリ

幅に集約されることを考慮し、本遺構が古い位置づけであるため 8 世紀前半をあてることとした。

遺物 (第 83 図、第 29 表) 須恵器甕、土師器台付甕等を検出した。1 は須恵器甕の肩部片で内面に無文の当て具痕が残る。2 は土師器台付甕肩部片である。遺物はこのほか、第 86・87 図も本遺構の遺物が含まれている。

重複 SD 06・07、SY 02・04、P 0235・0236 より古い。

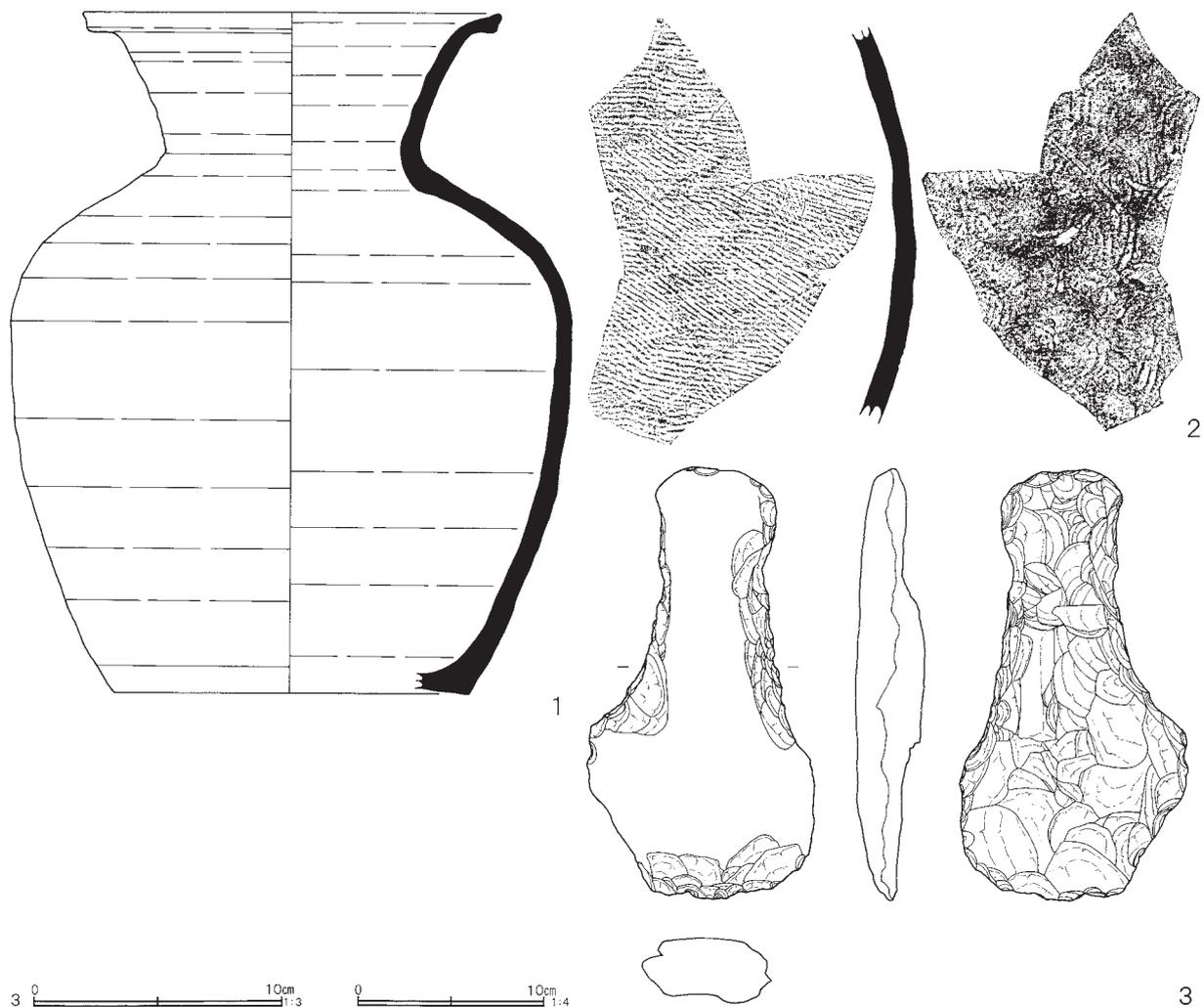
時期 8 世紀前半か (幡羅・下郷遺跡Ⅲ期、西別府官衙遺跡群 3 期)

第 6 号溝跡 (第 81 図、第 82 図)

位置 I - 28・29・30、J - 28・29、K - 24・25、L - 23・24・25 グリッドに位置する。

規模 検出した範囲で長さ 33.4 m、幅 2.3 m を測る。確認面からの深さは 0.73 m。主軸方向は N - 65° - E。

概要 重複が著しく断面でのみ確認された。調査区北東から南西方向へ流れ、I - 30 グリッドで立ち上がる。SD 05 をやや小振りにした形状と推測される。底面は平坦なようにみられる。断面は上方が開き、半ばから鉛直に落ち込む形状とみられる。該当する覆土は 2 層であり、状況から人為的な埋没とみられる。なお、明確でなかったため、1 層は本遺構の覆土としたが、別の溝跡の掘方の可能性がある。



第 85 図 第 7 号溝跡出土遺物

第 31 表 第 7 号溝跡出土遺物観察表

No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	須恵器甕	(22.4)	(36.7)	(19.0)	ABFJN	灰色	A	75%	外面平行タキ 内面無文当て具痕
2	須恵器甕	-	-	-	ABN	灰色	A	胴部片	外面平行タキ 内面同心円状当て具痕
3	打製石斧	長：17.3	幅：4.0～9.0	厚：2.5					綠色岩

重複はSD 05、SY 04を切り、SD 07に切られる。SY 02との関係は不明である。時期について、SD 05～07は第86・87図で示した遺物の時期幅に集約されることを考慮し、本遺構は中間の位置づけであり、第84図4外面周辺ヘラケズリの須恵器坏を検出していることから8世紀中～後半が妥当か。

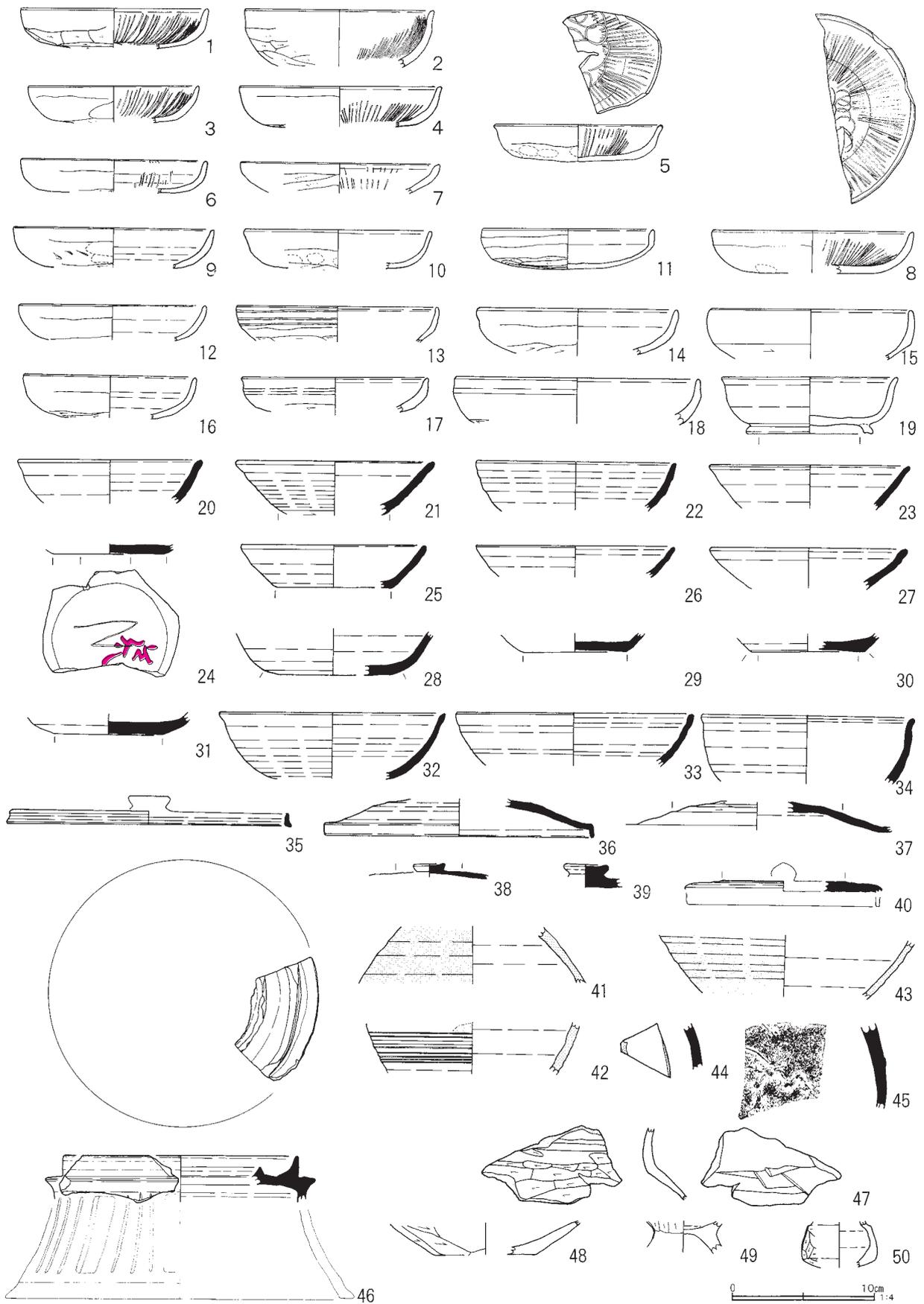
遺物（第84図、第30表）須恵器長頸瓶、甕、坏等を検出した。1は須恵器長頸瓶の体部片で、肩のある形状である。2は甕の底部片で体部下端外面にヘラケズリが施される。3は甕の頸部片。4は坏の底部片で外面周辺ヘラケズリがみられる。遺物はこのほか、第86・87図も本遺構の遺物が含まれている。

重複 SD 07、P 0235より古く、SD 05、SY 02・04より新しい。

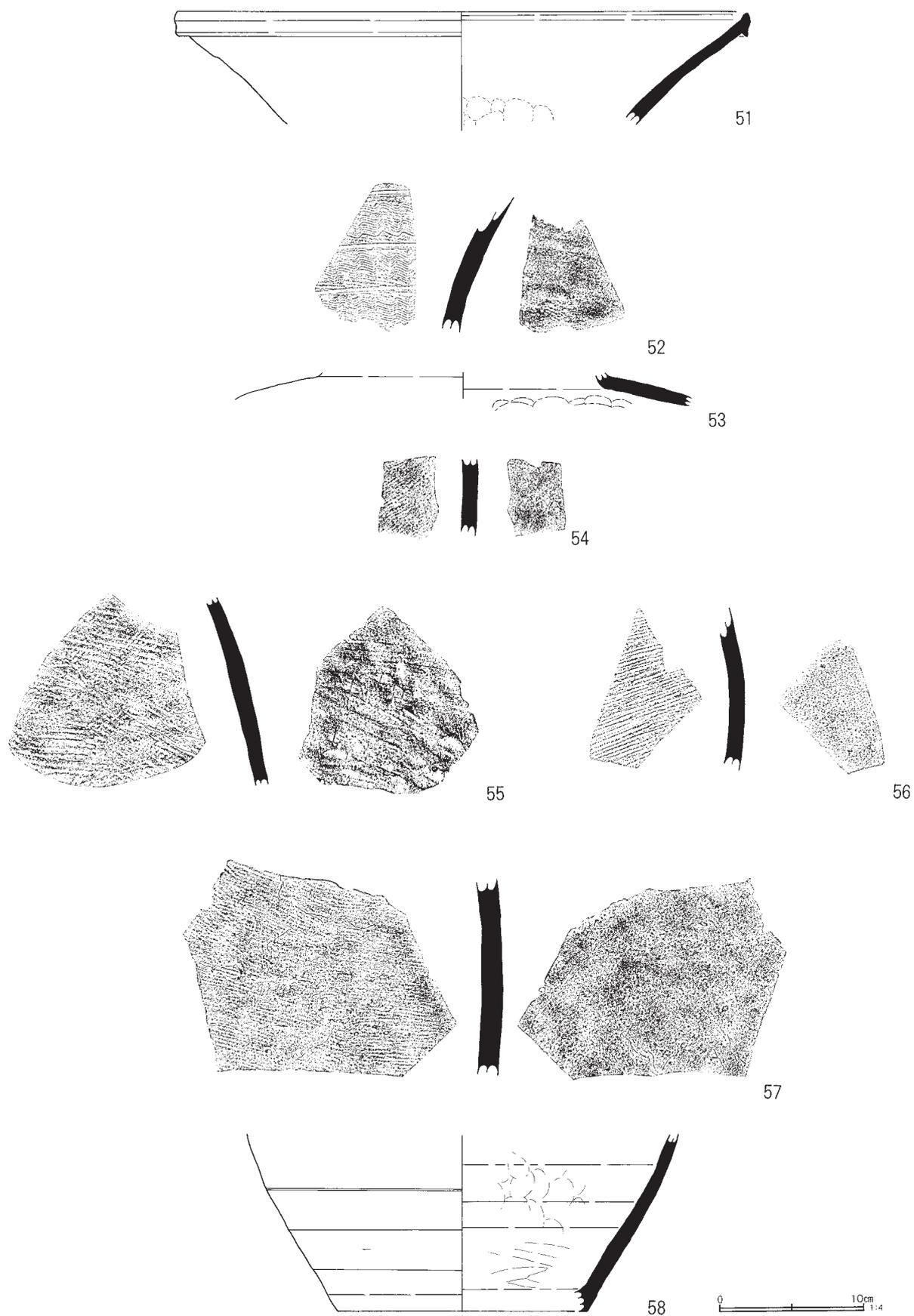
時期 8世紀中～後半か（幡羅・下郷遺跡Ⅳ・Ⅴ期、西別府官衙遺跡群4期）

第7号溝跡（第81図、第82図）

位置 I-28・29・30、J-28・29、K・L-25グリッドに位置する。



第 86 图 第 5 ~ 7 号沟迹出土遗物 1



第 87 图 第 5 ~ 7 号沟迹出土遗物 2

第32表 第5・6・7号溝跡出土遺物観察表

No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	土師器杯	(13.0)	(2.8)	-	ABIJN	橙色	A	20%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ 内面体部放射状暗文 内面底部螺旋状暗文
2	土師器杯	(12.0)	(3.0)	-	ABIN	明黄褐色	A	口縁～体部25%	体部内面放射状暗文 体部～底部外面手持ちヘラケズリ
3	土師器杯	(12.0)	(2.6)	-	ABIN	明赤褐色	A	20%	体部内面放射状暗文 底部内面螺旋状暗文 底部外面手持ちヘラケズリ
4	土師器杯	(14.0)	(2.8)	-	ABIJN	明赤褐色	A	20%	体部内面放射状暗文 体部～底部外面手持ちヘラケズリ
5	土師器杯	(12.0)	(2.1)	(8.0)	ABIJN	橙色	A	25%	底部外面手持ちヘラケズリ 体部内面放射状暗文 底部内面螺旋状暗文
6	土師器杯	(13.0)	(2.3)	-	ABIJN	橙色	A	口縁～底部片	底部外面手持ちヘラケズリ
7	土師器杯	(14.0)	(2.1)	-	ABIJN	外・にぶい黄褐色 内・橙色	A	口縁～底部片	体部外面手持ちヘラケズリ 内面放射状暗文 胎土マーブル 口唇部内面沈線巡る 暗文施文後体部内面ナデ
8	土師器杯	(14.0)	(2.8)	-	ABIJN	橙色	A	20%	体部外面指頭痕・爪あと? 底部外面手持ちヘラケズリ
9	土師器杯	(13.0)	(2.7)	-	ABIJN	外・明赤褐色 内・にぶい黄褐色	B	口縁～底部片	体部外面指頭痕 底部外面手持ちヘラケズリ
10	土師器杯	12.0	2.8	-	ABIJN	にぶい橙色	A	70%	体部外面指頭痕 体部～底部外面手持ちヘラケズリ
11	土師器杯	(14.0)	(3.0)	-	ABIJN	明赤褐色	A	50%	体部内面放射状暗文 底部内面螺旋状暗文 底部外面手持ちヘラケズリ
12	土師器杯	(13.0)	(2.5)	-	ABIJN	橙色	A	10%	底部外面手持ちヘラケズリ
13	土師器杯	(16.0)	(2.2)	-	ABIJN	明赤褐色	A	口縁～体部片	口辺部外面沈線3条 体部～底部外面手持ちヘラケズリ
14	土師器杯	(14.0)	(3.2)	-	ABIJN	にぶい橙色	A	25%	底部外面手持ちヘラケズリ
15	土師器杯	(14.0)	(2.0)	-	ABIJN	橙色	A	20%	底部外面手持ちヘラケズリ
16	土師器杯	(12.0)	(3.0)	-	ABIN	にぶい橙色	B	20%	底部外面手持ちヘラケズリ 内面油煙 灯明皿
17	土師器杯	(15.0)	(2.4)	-	ABIN	にぶい橙色 外・オリーブ黒色	B	口縁～底部片	体部～底部外面手持ちヘラケズリ
18	土師器杯	(17.0)	(3.3)	-	ABIJN	明赤褐色	A	口縁～底部片	底部外面手持ちヘラケズリ 底部器壁厚い 暗文系無文杯
19	高台杯 ロクロ土師器	(12.4)	(4.0)	(高台径) (8.8)	ABIJN	橙色	B	60%	底部外面周辺回転ヘラケズリ 底部外面中央静止ヘラケズリ
20	須恵器杯	(12.8)	(3.1)	-	ABFJN	黄灰色	A	口縁～体部20%	南比企産
21	須恵器杯	(13.8)	(3.8)	-	ABIJN	黄灰色	A	口縁～体部20%	南比企産
22	須恵器杯	(14.0)	(3.5)	-	ABFN	灰白色	A	口縁部片	南比企産 火ダスキ痕
23	須恵器杯	(14.0)	(3.1)	-	ABEFN	灰色	A	口縁部片	南比企産
24	須恵器杯	-	(0.7)	8.0	ABFIN	灰色	A	底部60	南比企産 底部外面周辺回転ヘラケズリ 底部外面朱墨「荒」底部内面研磨 転用祝?
25	須恵器杯	(12.8)	(3.0)	-	ABF	灰色	B	口縁部10%	南比企産
26	須恵器杯	(13.8)	(2.2)	-	ABFN	灰色	A	口縁部片	南比企産
27	須恵器杯	(13.6)	(2.9)	-	ABHJN	灰黄色	B	口縁～体部20%	末野産
28	須恵器杯	-	(3.2)	(8.0)	ABIJN	灰白色	A	10%	南比企産
29	須恵器杯	-	(1.3)	7.4	ABN	オリーブ灰色	A	底部60%	
30	須恵器杯	-	(1.3)	(8.0)	ABN	灰黄色	A	底部15%	南比企産 体部下端ヘラケズリ 底部外面周辺回転ヘラケズリ
31	須恵器碗	-	(1.6)	(7.6)	ABIJN	浅黄色	B	底部20%	底部回転ヘラケズリ
32	須恵器碗	(15.8)	(4.6)	-	ABFN	灰色	A	口縁～体部30%	南比企産
33	須恵器碗	(16.6)	(3.7)	-	ABFIN	黄灰色	A	口縁～体部20%	南比企産
34	須恵器碗	(15.0)	(4.8)	-	ABFJ	灰色	A	口縁部片	南比企産
35	須恵器蓋	(19.8)	(0.9)	-	ABN	灰白色	A	口縁部片	短頸壺蓋か?
36	須恵器蓋	(18.8)	(2.6)	-	ABN	暗青灰色	A	天井～口縁10%	末野産 笠型
37	須恵器蓋	-	(2.1)	-	ABN	灰色	B	天井～口縁部30%	末野産 弓張型 高台壺蓋か?
38	須恵器蓋	-	(1.1)	(鈕径)2.2	ABN	灰色	A	鈕～天井部30%	天井部周辺回転ヘラケズリ 釘頭状鈕
39	須恵器蓋	-	(1.7)	(鈕径)3.0	ABFN	灰色	A	鈕部80%	南比企産 釘頭状鈕
40	須恵器短頸壺蓋	(14.0)	(0.7)	-	AB	灰色	A	天井～口縁20%	三義産か? 外面降灰
41	灰釉陶器長頸瓶	-	-	-	ABIJN	灰白色	A	胴部片	外面灰釉ハケ塗り? 内面に降灰
42	灰釉陶器長頸瓶	-	(3.7)	-	ABIN	灰白色	A	肩部片	外面灰釉
43	灰釉陶器長頸瓶	-	(4.3)	-	ABN	灰黄色 オリーブ灰色	A	胴部片	外面灰釉
44	須恵器長頸瓶	-	-	-	ABN	灰色	A	胴部片	外面自然釉
45	須恵器長頸瓶	-	-	-	ABN	灰色	A	胴部片	外面降灰自然釉
46	須恵器内面硯	(12.0)	(2.5)	-	ABFN	灰色	A	20%	南比企産 脚部外面三条の沈線
47	土師器甕	-	-	-	ABIJN	橙色	A	頸部片	胴部上端横位ヘラケズリ
48	土師器甕	-	(2.3)	(7.0)	ABHJN	外・オリーブ黒色 内・にぶい赤褐色	B	胴下～底部20%	胴部下端外面横位ヘラケズリ
49	土師器台付甕	-	(2.3)	-	ABI	灰褐色	B	脚部20%	
50	土師器小型短頸壺	-	(3.2)	-	ABIJN	橙色	A	頸～底部片	胴部外面手持ちヘラケズリ 短頸壺か
51	須恵器甕	(38.0)	(7.9)	-	ABN	灰色	A	口縁～頸部片	南比企産 指頭痕 内面降灰
52	須恵器甕	-	-	-	ABN	灰色	A	頸部片	外面櫛描き波状文 内面降灰
53	須恵器甕	-	(2.3)	-	ABFIN	灰色	A	胴部片	南比企産 外面降灰
54	須恵器甕	-	-	-	ABFN	灰白色	A	胴部片	南比企産 外面平行タタキ
55	須恵器甕	-	-	-	ABIJN	灰色	A	胴部片	外面平行タタキ 内面無文当て具痕
56	須恵器甕	-	-	-	ABFN	灰色	A	胴部片	南比企産 外面平行タタキ 内面無文当て具痕 外面降灰
57	須恵器甕	-	-	-	ABN	灰色	A	胴部片	外面平行タタキ 内面無文当て具痕
58	須恵器甕	-	(12.3)	(17.4)	ABFN	灰色	A	胴部片	南比企産 内面指頭痕 胴下部横位ヘラケズリ

規模 検出した範囲で長さ 32.1 m、幅 1.95 mを測る。確認面からの深さは 0.27 ～ 0.96 m。主軸方向は概ね N - 65° - E。

概要 調査区北東から南西方向へ流れ、I - 30 グリッドで立ち上がる。平面形は L - 24・25 グリッド付近で南方向へ蛇行するものの、方向軸は S D 05・06 と同様に N - 65° - E を指向しているものと考えられる。底面は概ね平坦であるが、掘削深度に幅がある。断面は逆台形状を呈するが、部分的に壁面半ばから鉛直の掘削もみられる。覆土は概ねレンズ状堆積を呈しているが、ブロックを含んでいることから人為的な埋没の可能性を残す。重複は S D 05・06、S Y 02・03 を切っている。時期について、S D 05 ～ 07 は第 86・87 図で示した遺物の時期幅に集約されることを考慮し、第 85 図 1 の須恵器甕は 9 世紀後半とみられること、本遺構が新しい位置づけであることから 9 世紀後半をあてておく。

遺物(第 85 図、第 31 表) 須恵器甕、打製石斧等を検出した。1 は須恵器甕で、口端外面下部が垂れない。2 は甕の胴部片で外面に並行タタキ、内面に同心円の当て具痕が残る。3 は打製石斧で緑色岩製か。遺物はこのほか、第 86・87 図も本遺構の遺物が含まれている。

重複 P 0235・0236 より古い。S D 05・06、S Y 02・03 より新しい。

時期 9 世紀後半か(幡羅・下郷遺跡Ⅶ期、西別府官衙遺跡群 6 期)

第 5・6・7 号溝跡出土遺物(第 86 図、第 87 図、第 32 表)

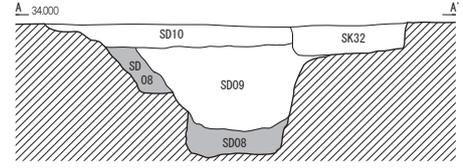
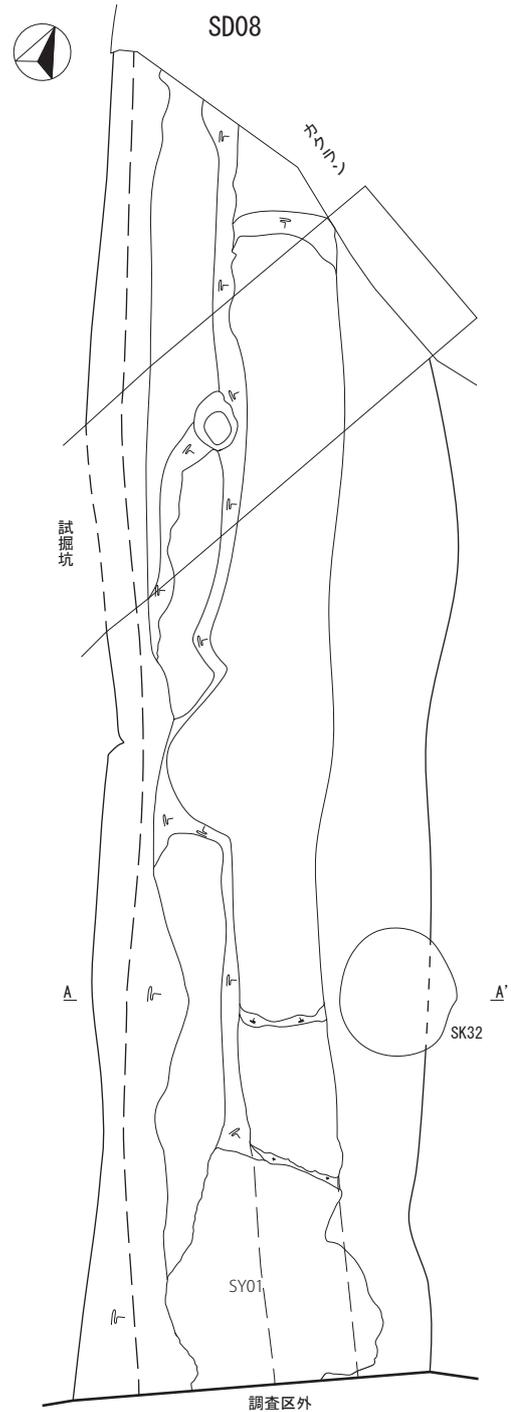
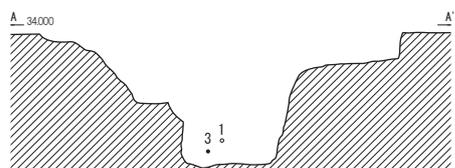
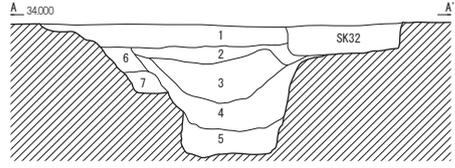
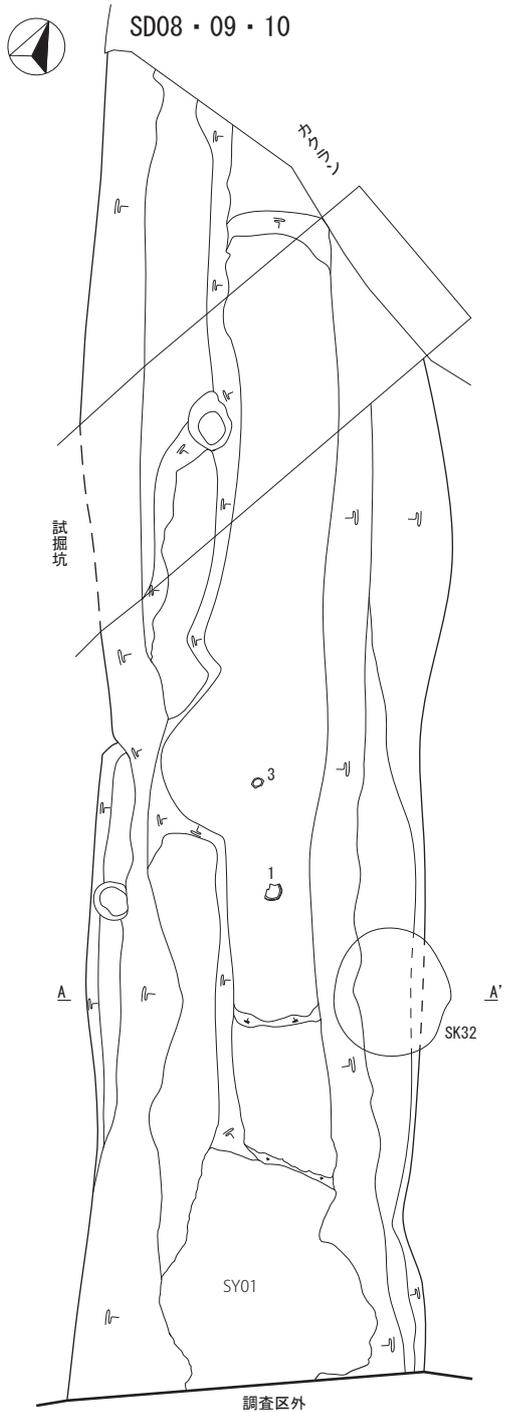
土師器坏、甕、台付甕、小型短頸壺、須恵器坏、埴、高台坏、蓋、甕、円面硯、長頸瓶、灰釉陶器長頸瓶等を検出した。1 ～ 8 は内面に放射暗文が施文される坏・埴であり、5・8 は内面底部に螺旋文が加えられる。2 は埴形態である。6・7 は暗文施文後に口縁内面にナデが巡る。9 ～ 18 は北武蔵型の土師器坏。底部は丸底風から平底風を呈し、ケズリの位置は総じて低い傾向にある。19 はロクロ土師器または酸化炎焼成の須恵器の高台坏である。類例が少なく、管見では幡羅遺跡 S K 559、古井戸・将監塚遺跡 155 号住居跡より出土例がある。20 ～ 30 は須恵器坏で、産地不明な 29 を除き、南比企産である。24 は底部外面に「N」のヘラ記号と、「荒」が朱書されている(第 174 図①)。調整は周辺ヘラケズリである。内面は研磨されており、転用硯とみられる。31 ～ 34 は須恵器埴である。32 ～ 34 は南比企産。31 は底部外面回転ヘラケズリである。35 ～ 40 は蓋で、35・40 は短頸壺蓋で、40 は三毳産か。36・37 は末野産。39 は南比企産。41 ～ 43 は灰釉陶器長頸瓶の体部片。44・45 は須恵器長頸瓶。46 は南比企産の円面硯。外面に三条の沈線が僅かに残る。47・48 は土師器甕。49 は土師器台付甕の底部片。50 は小型の土師器で短頸壺となる形状の胴部片か。外面はヘラケズリで調整される。51 ～ 58 は須恵器甕であり、産地不明な 52・55・57 を除き、南比企産である。

第 8 号溝跡(第 88 図)

位置 L - 9・10、M - 9・10、N - 10 グリッドに位置する。

規模 検出長 10.7 m、幅 1.53 cmを測る。確認面からの深さは 1.06 m。主軸方向は N - 25° - W。

概要 調査区西から南東へ流れるが、北側延長は攪乱で切れ、南側は調査区外である。平面形はほぼ直線の溝と考えられる。土層 8 層は本遺構に伴うか正確には不明であるが、本遺構と関連すると考えられる S D 05 ～ 07 のうち切り合い関係が一致する S D 05 の掘削深度及び規格性を考慮すると、本遺構

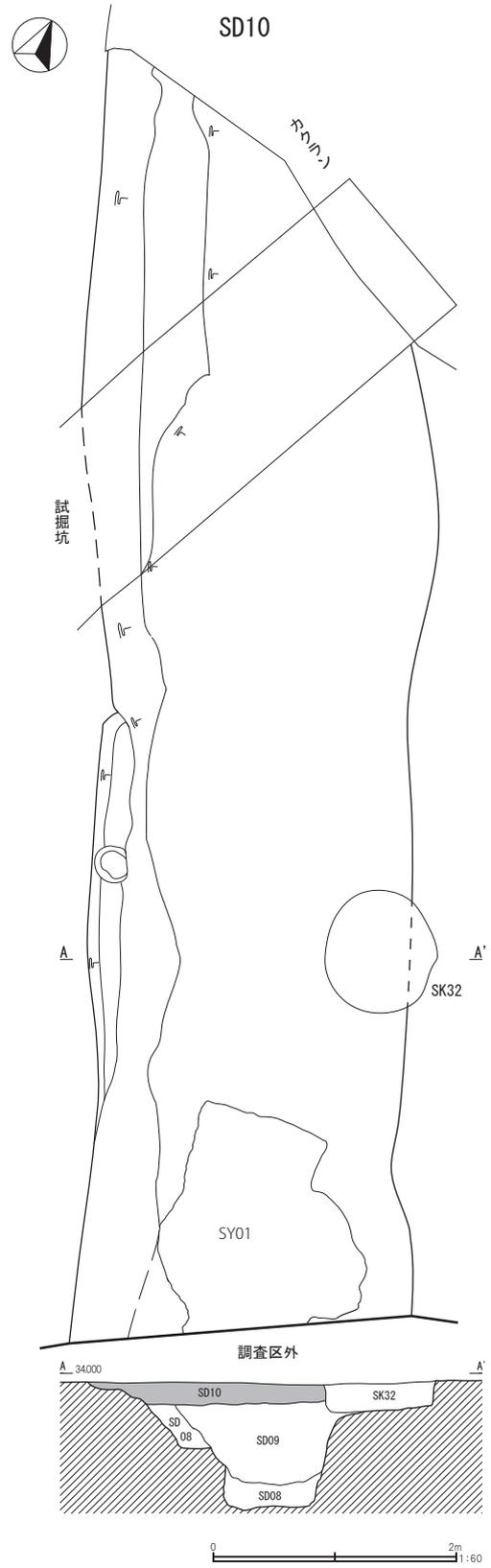
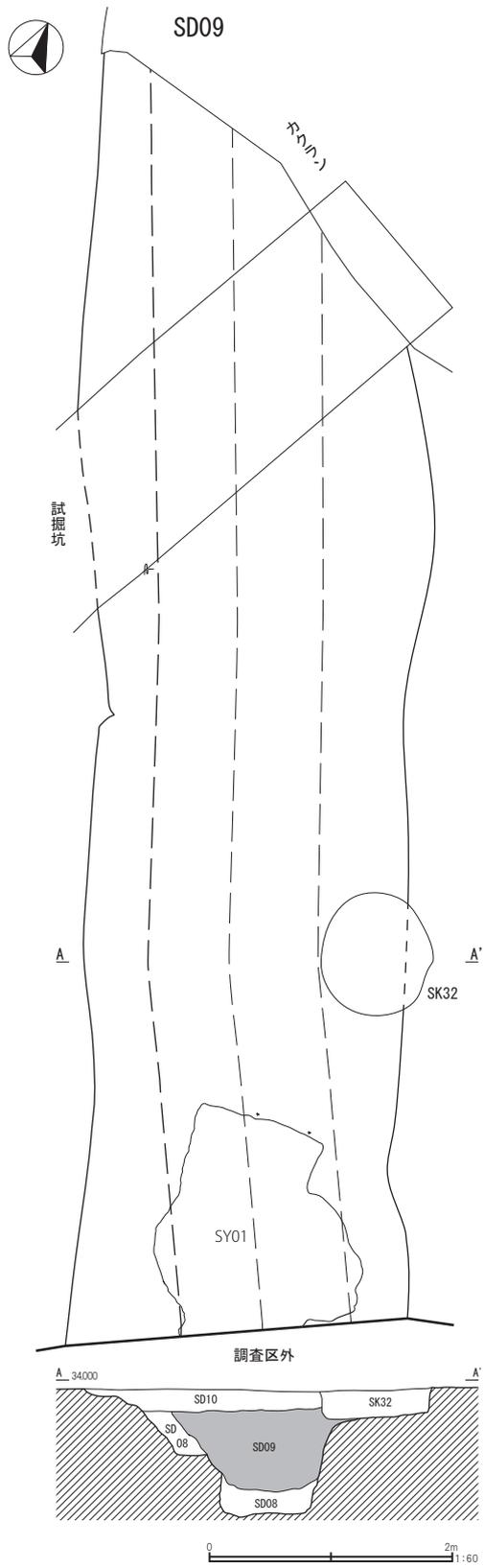


SD08・09・10 土層説明

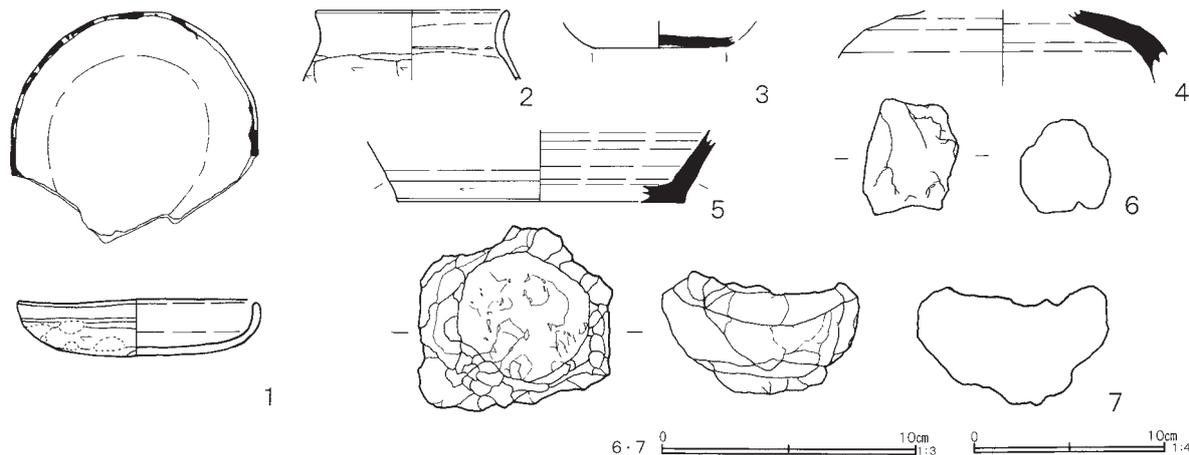
1. 10YR2/2 黒褐色土 ロ-Δ⁷ロγ75mm大少量含 焼土粒含
2. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-Δ⁷ロγ75mm大少量含 焼土粒子少量含
3. 10YR3/3 暗褐色土 10YR5/2 灰黄褐色 砂質⁷ロγ1cm~3cm大含
4. 10YR2/3 黒褐色土 10YR5/2 灰黄褐色 砂質⁷ロγ5mm大少量含
5. 10YR2/3 黒褐色土 2.5Y オリーブ褐色⁷ロγ3~5cm大少量含 しまり有 粘性有 ※地山
6. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-Δ⁷ロγ75mm大少量含
7. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-Δ⁷ロγ75mm大少量含



第 88 図 第 8 ~ 10 号溝跡、第 8 号溝跡



第 89 図 第 9・10号溝跡



第90図 第8～10号溝跡出土遺物

第33表 第8・9・10号溝跡出土遺物観察表

No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	土師器坏	12.5	3.0	-	ABIJN	黄褐色	A	80%	底部外面手持ちヘラケズリ 指頭痕
2	土師器台付甕	(10.0)	(3.7)	-	ABIJN	外・灰褐色 内・黒褐色	B	口縁～胴上部 25%	胴部上端外面横位ヘラケズリ
3	須恵器坏	-	(1.4)	7.0	ABN	灰色	B	底部 90%	末野産 底部外面回転ヘラケズリ
4	須恵器長頸瓶	-	(4.0)	-	ABIN	黄灰色	A	胴上部片	南比企産
5	須恵器甕	-	(3.8)	(15.0)	ABFN	灰色	A	底部片	南比企産
6	鉄滓	長：4.5	幅：3.6	厚：3.6					全体的に微弱な磁気反応
7	鉄滓	長：6.9	幅：7.5	厚：4.5					塊形滓 上面に弱めの磁気反応

に伴うと判断された。床面は幅が概ね一定ながら、僅かな高低差による平場が形成されている。東壁が重複で不明なため、西壁から断面形をみると、最上部を攪乱で欠くが上方は開き、中場が形成され、中場以下は鉛直に落ち込む形状とみられる。覆土は黒褐色土を主体としブロックを含んでいることから人為的な埋没の可能性がある。重複はSD 09・10及びSY 01に切られる。時期について、切り合い関係で本遺構が古い位置づけであることと、SD 05との関係を考慮して、8世紀前半をあてることとした。

遺物（第90図、第33表） SD 08・09・10出土遺物である。土師器坏、台付甕、須恵器坏、長頸瓶、甕、鉄滓等を検出した。1は北武蔵型の土師器坏で、口縁部に油煙が残存する燈明皿。2は台付甕の口縁部片。3は末野産の須恵器坏底部片で、外面に回転ヘラケズリが施されている。4は須恵器長頸瓶の肩部片。5は須恵器甕の底部片で体部下端にケズリが施されている。6・7は鉄滓。7は塊形滓である。

重複 SD 09・10、SY 01、SK 32より古い。

時期 8世紀前半か（幡羅・下郷遺跡Ⅲ期、西別府官衙遺跡群3期）

第9号溝跡（第88図、第89図）

位置 L-9・10、M-9・10、N-10グリッドに位置する。

規模 検出長10.7m、幅1.52mを測る。確認面からの深さは0.83m。主軸方向はN-25°-W。

概要 調査区西から南東へ流れるが、北側延長は攪乱で切れ、南側は調査区外である。平面形はほぼ直線の溝と考えられる。土層5・6層は本遺構に伴うか正確には不明であるが、本遺構と関連すると考えられるSD 05～07のうち切り合い関係が一致するSD 06の状況に合わせて本遺構の覆土とした。しかし、SD 06と同様に別の溝跡の掘方の可能性を残す。底面は平坦なようにみられる。上方を重複で欠くが、断面は上方が開く形状で、東壁には中場が形成されているとみられる。該当する覆土は3層

であり、状況から人為的な埋没とみられる。重複はSD 08 を切り、SD 10、SK 32 に切られる。時期について、本遺構は中間の位置づけであり、SD 06 との関係を考慮すると、8 世紀中～後半が妥当か。

遺物 (第 90 図、第 33 表)

重複 SD 08 より新しく、SD 10、SY 01、SK 32 より古い。

時期 8 世紀中～後半か (幡羅・下郷遺跡Ⅳ・Ⅴ期、西別府官衙遺跡群 4 期)

第 10 号溝跡 (第 88 図、第 89 図)

位置 L-9・10、M-9・10、N-10 グリッドに位置する。

規模 検出長 10.7 m、幅 1.96 m を測る。確認面からの深さは 0.18 m。主軸方向は N-25°-W。

概要 調査区西から南東へ流れるが、北側延長は攪乱で切れ、南側は調査区外である。平面形はほぼ直線の溝と考えられる。底面は平坦であり、掘削深度は浅い。東壁を重複で欠くが、断面は概ね逆台形状を呈する。覆土は単層で、人為的な埋没の可能性がある。重複はSD 08・09 を切り、SK 32 に切られる。時期について、本遺構は新しい位置づけであり、SD 07 との関係を考慮して、9 世紀後半をあてておく。

遺物 (第 90 図、第 33 表)

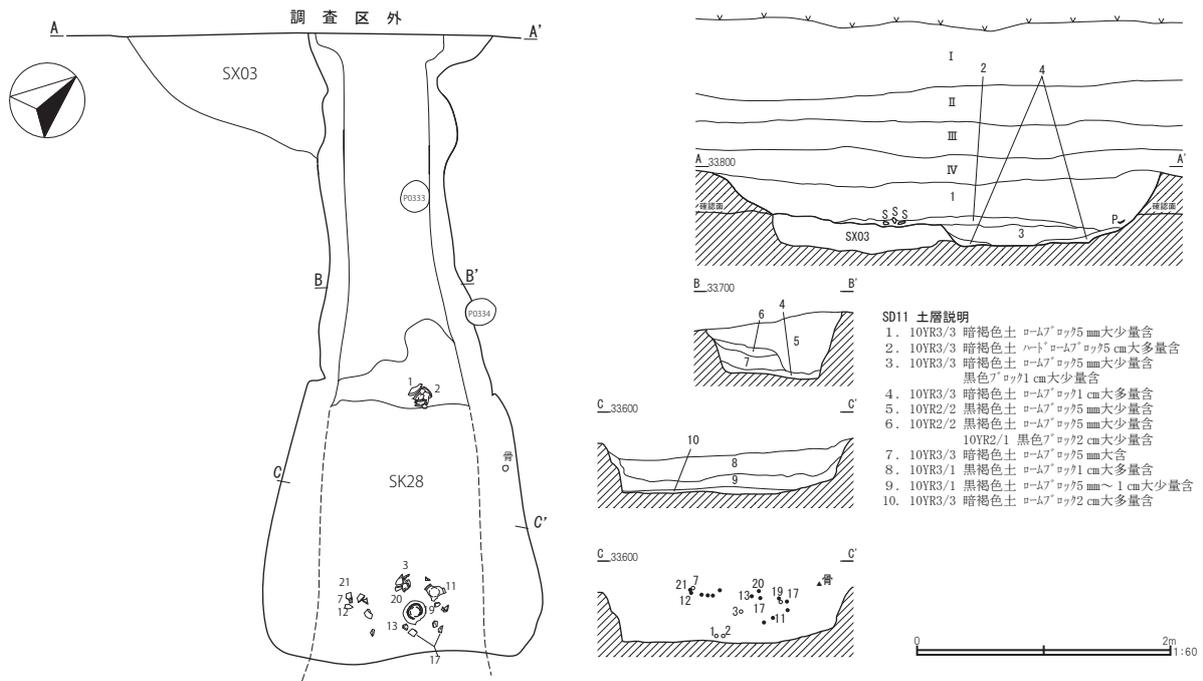
重複 SD 08・09、SY 01 より新しい。SK 32 より古い。

時期 9 世紀後半か。(幡羅・下郷遺跡Ⅶ期、西別府官衙遺跡群 6 期)

第 11 号溝跡 (第 91 図)

位置 P-6 グリッドに位置する。

規模 検出長 2.8 m、幅 1.33 m を測る。確認面からの深さは 0.5 m。断面は逆台形状と呈する。主軸



第 91 図 第 11 号溝跡

方向はN-54°-W。

概要 北西から南東へ流れる。第22号土坑の直上を通り、確認面より浅い掘り込みとなる。覆土は2～4層はレンズ状に堆積しているが、1層は人為的な埋戻しとみられ、埋没後の掘り返しも考えられる。

遺物 (第92図、第34表) 須恵器坏、高台埴、長頸瓶、土師器坏、甕等を検出した。また、図示し得なかったが、骨片も検出している。1～9は北武蔵型坏で8世紀前半～中が想定される。1は底部外面に墨書「仲口」が確認された(第174図⑮)。仲家または仲マロと釈読すべきか。11～19は須恵器坏。12は底部回転ヘラケズリ調整がなされ、三毳産とみられる。須恵器は8世紀中～後半とみられる。20は須恵器長頸瓶の底部片。21は須恵器高台埴の底部片である。なお、本遺構の遺物はSK28の遺物も混入した可能性がある。

重複 SK28・SX03より新しい。

時期 8世紀中～後半か(幡羅・下郷遺跡Ⅳ・Ⅴ期、西別府官衙遺跡群3・4期)

第12号溝跡(第93図)

位置 T-5グリッドに位置する。

規模 検出長0.67m、幅0.36mを測る。確認面からの深さは0.17m。断面は逆台形状と呈する。主軸方向はN-81°-W。

概要 北西から南東へ流れる。西側は途切れるが、東側は調査区外へ延びる。覆土は単層であり、埋没状況は不明である。

遺物 遺物は検出されなかった。

時期 時期不明

第13号溝跡(第93図)

位置 X-1～3、Y-2グリッドに位置する。

規模 検出長5.83m、幅1.49mを測る。確認面からの深さは17cm。底面は段を持ち最下層は緩やかな船底形状である。主軸方向はN-66°-W。

概要 北西から南東へ流れる。東・西側ともに調査区外へ延びる。覆土はレンズ状に堆積しており、自然埋没と考えられる。

遺物 遺物は検出されなかった。

重複 P240、P241、P242、P243より新しい。

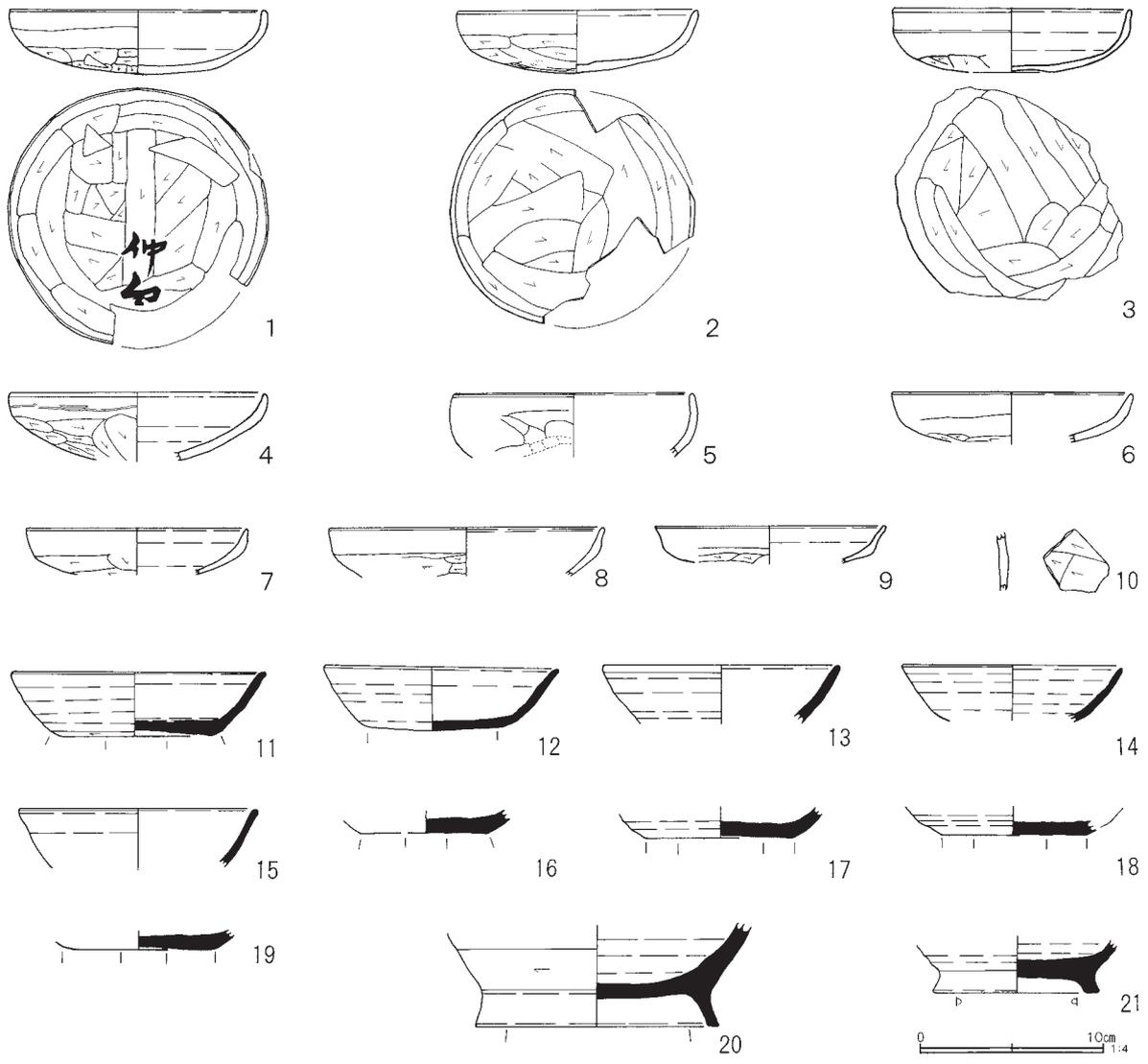
時期 時期不明

第14号溝跡(第93図)

位置 X-6・7グリッドに位置する。

規模 検出長2.45m、幅37cmを測る。確認面からの深さは12cm。断面は逆台形状を呈する。主軸方向はN-22°-W。

概要 北西から南東へ流れる。遺存状態が悪く全容は不明。覆土は単層であり、埋没状況は不明である。



第 92 図 第 11 号溝跡出土遺物

第 34 表 第 11 号溝跡出土遺物観察表

No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	土師器杯	13.9	3.5	-	ABIJN	明褐色	A	80%	底部外面手持ちヘラケズリ 底部外面墨書「仲口」?
2	土師器杯	13.0	3.4	-	ABIJN	にぶい黄褐色	B	80%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ
3	土師器杯	(13.0)	(3.5)	-	ABIJN	橙色	A	70%	底部外面手持ちヘラケズリ
4	土師器杯	(14.0)	(3.6)	-	ABIJN	褐色	A	25%	口辺部外面沈線 1 条 (部分的 2 条) 体部～底部外面手持ちヘラケズリ
5	土師器杯	(13.0)	(3.5)	-	ABJ	橙色	B	口縁～体部片	体部外面手持ちヘラケズリ 指頭痕 (?)
6	土師器杯	(13.0)	(2.7)	-	ABIJN	明褐色	B	口縁～体部 10%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ
7	土師器杯	(12.0)	(2.5)	-	ABIJN	褐色	A	口縁～体部 20%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ
8	土師器杯	(15.0)	(2.7)	-	ABIJN	暗褐色	A	口縁～体部 10%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ
9	土師器杯	(12.6)	(2.0)	-	ABIJN	暗褐色	A	口縁～体部片	底部外面手持ちヘラケズリ
10	土師器甕	-	-	-	ABIJN	外・灰黄褐色 内・にぶい赤褐色	A	胴部片	
11	須恵器杯	13.8	3.5	8.2	ABFN	灰色	A	80%	南比企産 内面研磨 転用硯 底部外面周辺ヘラケズリ
12	須恵器杯	12.8	3.5	7.2	ABIJN	灰白色	B	80%	三叢産 底部外面回転ヘラケズリ
13	須恵器杯	(12.9)	(3.2)	-	ABFM	灰白色	B	口縁～体部 10%	南比企産
14	須恵器杯	(12.0)	(3.0)	-	ABIN	オリーブ灰色	A	口縁部 10%	南比企産
15	須恵器杯	(13.0)	(3.2)	-	ABFIN	灰白色	B	口縁～体部片	南比企産
16	須恵器杯	-	(1.3)	(7.0)	ABFN	灰黄色	A	底部 20%	南比企産 底部外面周辺回転ヘラケズリ
17	須恵器杯	-	(1.7)	(8.0)	ABFM	灰白色	B	底部 20%	南比企産 底部外面周辺回転ヘラケズリ
18	須恵器杯	-	(1.5)	8.0	ABN	灰色	A	底部 100%	南比企産 底部外面周辺ヘラケズリ
19	須恵器杯	-	(1.0)	8.4	ABFM	灰白色	B	底部 90%	南比企産 底部外面周辺ヘラケズリ
20	須恵器長頸瓶	-	(5.7)	(高台径) 13.3	ABIJN	黄灰色	B	底部 100%	末野産 胴部下端ヘラケズリ 底部外面回転ヘラケズリ
21	須恵器高台埴	-	(2.9)	(高台径) 9.0	ABN	オリーブ褐色	A	体～高台部 90%	末野産 底部外面回転ヘラケズリ

遺物 遺物は検出されなかった。

重複 P 881 より古い。

時期 中世段階のものか。

第 15 号溝跡 (第 93 図)

位置 T-13・14、U-14 グリッドに位置する。

規模 検出長 5.34 m、幅 1.33 m を測る。確認面からの深さは 0.35 m。断面は逆台形状を呈し、底面は凹凸がみられた。主軸方向は N-27°-W。

概要 北西から南東へ流れ、調査区外となる。調査区壁面箇所への遺存状態が不良であったため、図示し得ないが、本溝北東側より地形が上がる。覆土はレンズ状堆積とも埋没後の掘り返しともとれる状況であった。本溝跡の北西方向延長線上に区画溝とし S D 08～09 がほぼ同軸で所在する。また北東側の近接地には、大形建物である S B 19～21 も N-17～24°-W と近い主軸で検出されている。軸の関係性や地形的な高まり等の条件から、本溝跡は S B 19～21 を含むエリアを区画する施設の可能性が残る。

遺物 遺物は検出されなかった。

重複 S E 03、S D 16 より古い。P 604 と切り合い不明。

時期 奈良・平安時代か。

第 16 号溝跡 (第 93 図)

位置 T-13・14、U-14 グリッドに位置する。

規模 検出長 2.25 m、幅 0.49 m を測る。確認面からの深さは 0.2 m。断面は逆台形状を呈する。主軸方向は N-64°-W。

概要 北西から南東へ流れ、遺存状態が悪く全容は不明。覆土は単層であり、埋没状況は不明である。

遺物 遺物は検出されなかった。

重複 S D 15、P 603 より新しい。

時期 時期不明

第 17 号溝跡 (第 94 図)

位置 Q・R-23 グリッドに位置する。

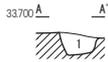
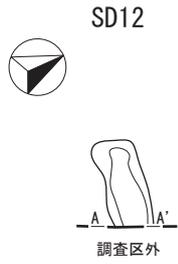
規模 検出長 0.93 m、幅 1.33 m を測る。確認面からの深さは 0.3 m。断面は船底形状を呈する。主軸方向は N-25°-W。

概要 北西から南東へ流れ、遺存状態が悪く全容は不明。覆土は黒褐色土を主体としていた。S K 54 及び S Y 05 に切られているうえ、攪乱により大半が不明である。主軸方向が S D 15 とほぼ同じであることと、本溝跡より東側は大形建物跡が検出されないことから、同溝と対となる区画溝の可能性が残る。

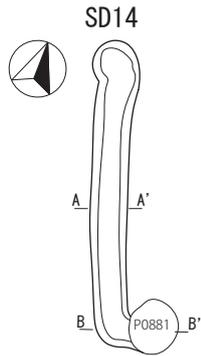
遺物 遺物は検出されなかった。

重複 S K 54、S Y 05 より古い。

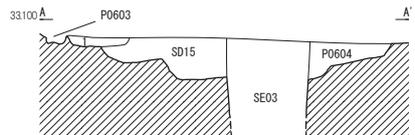
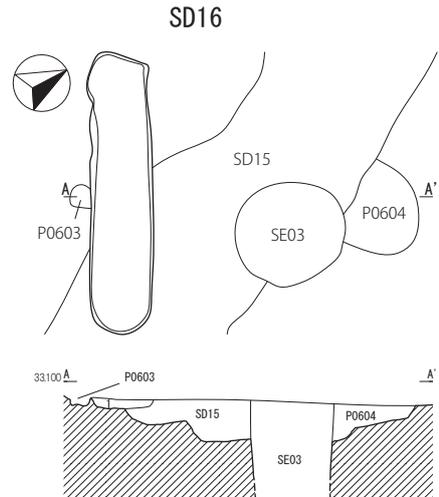
時期 奈良・平安時代か。



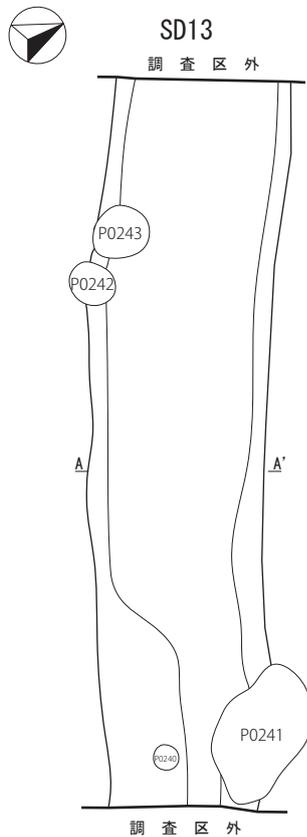
SD12 土層説明
 1. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-A粒子1mm大少量含



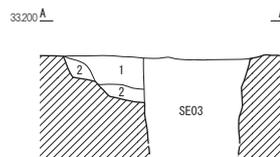
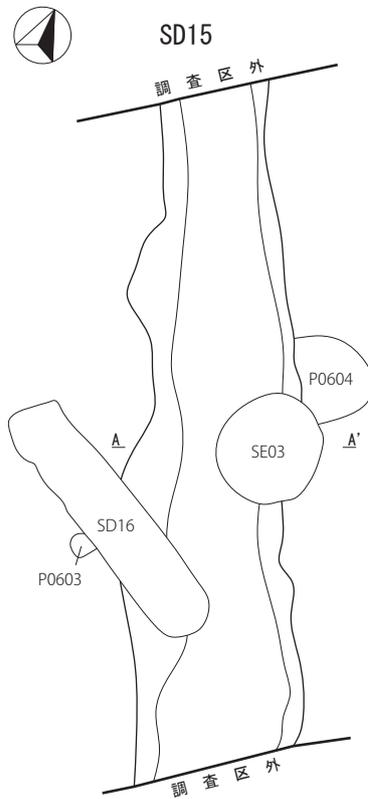
SD14 土層説明
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 ロ-A粒含



SD16 土層説明
 1. 10YR 灰黄褐色 10YR7/2 灰黄色 7'ロツ1 ~ 10 cm大少量含



SD13 土層説明
 1. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-A粒子1mm大少量含
 2. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 ロ-A7'ロツ2 cm大少量含



SD15 土層説明
 1. 10YR2/2 ロ-A7'ロツ1 cm大少量含
 2. 10YR2/2 ロ-A7'ロツ10 cm大少量含



第 93 図 第 12 ~ 16 号溝跡

第 18 号溝跡 (第 94 図)

位置 V・Z-11 グリッドに位置する。

規模 検出長 3.52 m、幅 0.49 m を測る。確認面からの深さは 0.11 m。断面はおおよそ逆台形状か。主軸方向は N-23°-W。

概要 北西から南東へ流れる。北側は S X 07 を切って途切れ、南側は S X 06 を切り調査区外まで延びる。覆土は単層であり、埋没状況は不明である。

遺物 遺物は検出されなかった。

重複 S X 06・07 より新しい。

時期 中世段階のものか。

第 19 号溝跡 (第 94 図)

位置 Y-11、Z-11・12 グリッドに位置する。

規模 検出長 3.84 m、幅 0.7 m を測る。確認面からの深さは 0.15 m。断面はおおよそ逆台形状か。主軸方向は N-21°-W。

概要 北西から南東へ流れる。北側は S X 07 を切って調査区外となり、南側は S X 06 に切られる。覆土は単層であり、埋没状況は不明である。

遺物 遺物は検出されなかった。

重複 S X 06 より古く、S X 07 より新しい。

時期 中世段階のものか。

第 20 号溝跡 (第 94 図)

位置 Z-18、A A-18・19 グリッドに位置する。

規模 検出長 5.42 m、幅 0.7～0.87 m を測る。確認面からの深さは 0.19 m。断面は箱形状を呈する。主軸方向は N-49°-W。

概要 北西から南東へ流れ、北側は第 21 号溝跡に切られ、南側は調査区外へと延びる。覆土は乱れていることから、人為的な埋没と考えられる。

遺物 遺物は検出されなかった。

重複 S D 21、P 1118 より古い。

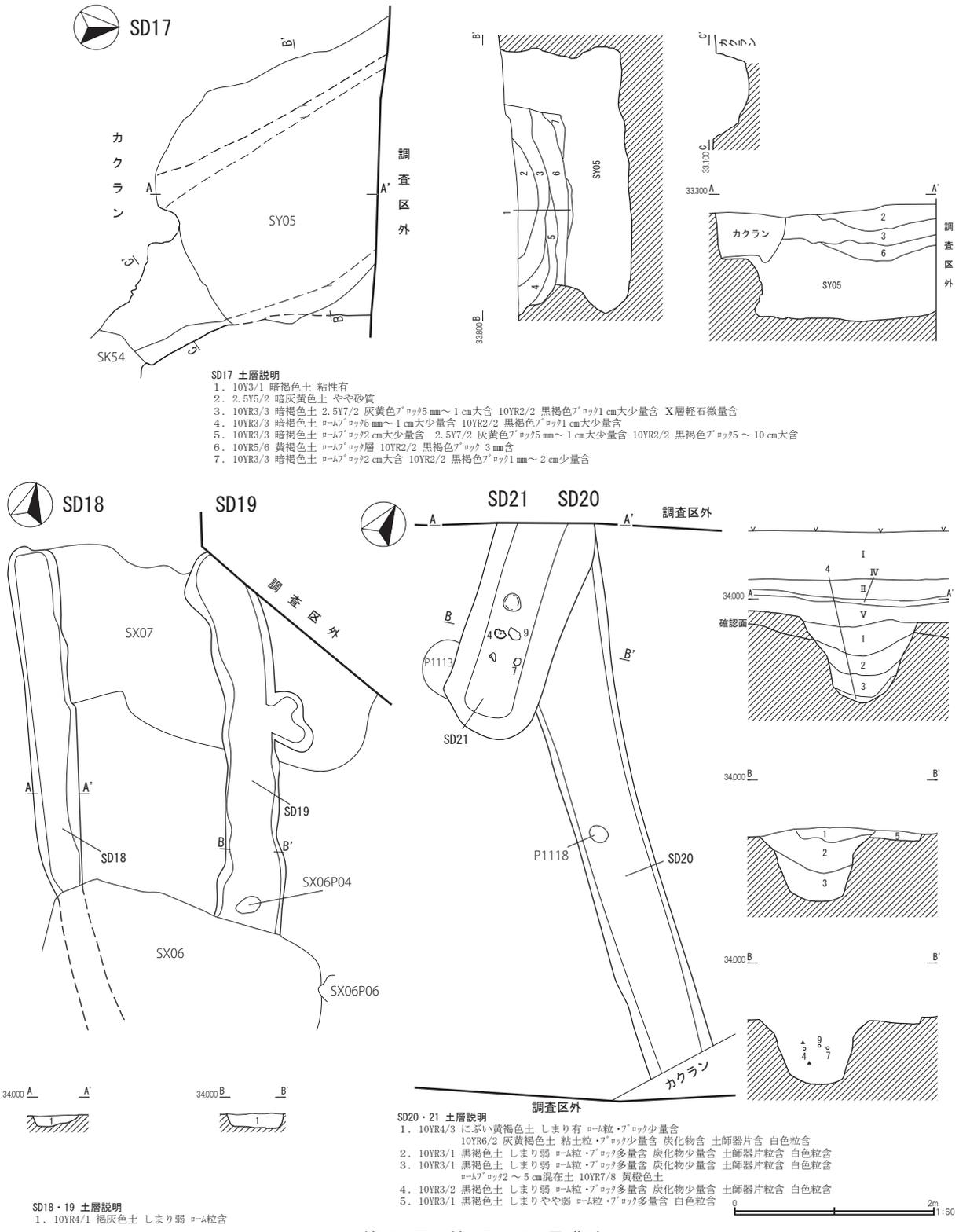
時期 8 世紀後半以前 (幡羅・下郷遺跡 V 期以前、西別府官衙遺跡群 4 期以前)

第 21 号溝跡 (第 94 図)

位置 Z・A A-18 グリッドに位置する。

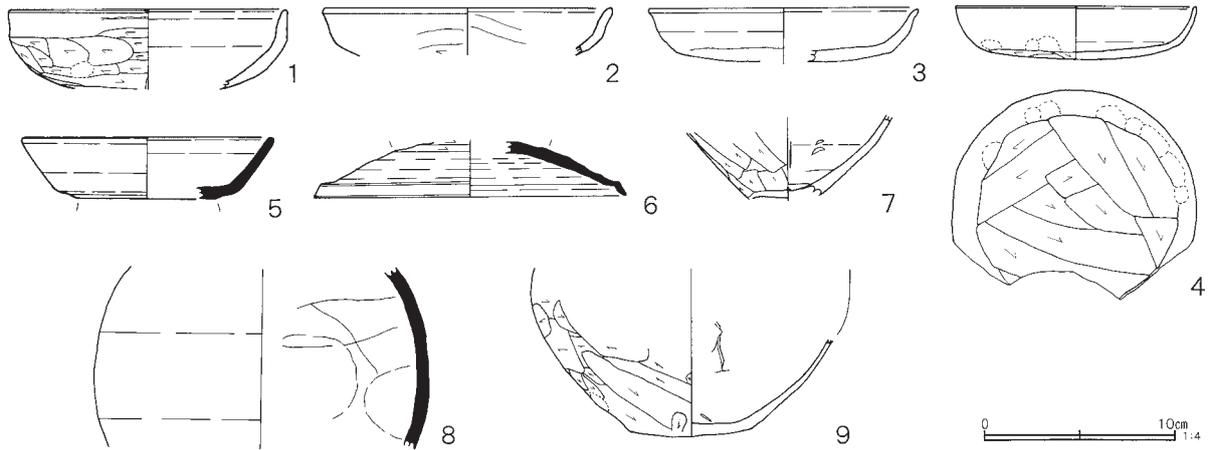
規模 検出長 2.23 m、幅 1.05 m を測る。確認面からの深さは 0.69 m。断面は船底形状を呈する。主軸方向は N-16°-W。

概要 北から南へ流れ、北側は第 20 号溝跡に切っており、南側は明確に立ち上がる。覆土はレンズ状に堆積しており、自然埋没と考えられる。



第 94 図 第 17～21号溝跡

遺物（第 95 図、第 35 表） 土師器坏、壺、皿、台付甕、須恵器坏、蓋、水瓶を検出した。1～4は土師器坏・皿である。1は厚手のつくりの暗文系無文坏。2・4は北武蔵型坏。3は厚手で皿状の器形であり、流れ込みと考えられる。5は須恵器坏で底部外面周辺ヘラケズリ調整。7は土師器台付甕の胴～底部片。8は須恵器水瓶の胴部片。9は球胴を呈する土師器壺。



第 95 図 第 21 号溝跡出土遺物

第 35 表 第 21 号溝跡出土遺物観察表

No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	土師器坏	(14.4)	(4.2)	-	ABJN	外・褐灰色 内・にぶい橙色	A	30%	体部外面指頭痕 体部～底部外面手持ちヘラケズリ 暗文系無文坏
2	土師器坏	(15.0)	(2.9)	-	ABIN	にぶい赤褐色	A	口縁～底部片	体部外面手持ちヘラケズリ
3	土師器皿	(14.0)	(2.8)	-	ABIN	にぶい橙色	A	10%	器壁厚い
4	土師器坏	12.6	2.8	-	ABJN	橙色	A	70%	底部外面手持ちヘラケズリ 口辺部外面指頭痕
5	須恵器坏	(13.0)	(3.2)	(7.2)	ABFN	灰色	A	20%	南比企産
6	須恵器蓋	(16.4)	(2.9)	-	ABFN	黄灰色	A	天井～口縁部 20%	南比企産 天井部回転ヘラケズリ 笠型
7	土師器台付甕	-	(4.4)	-	ABHIJN	外・黒褐色 内・橙色	A	胴下部片	胴部下端外面横位・斜位ヘラケズリ
8	須恵器水瓶	-	(9.6)	-	ABFN	灰色 外・灰白色	A	胴部片	南比企産
9	土師器壺	-	(8.9)	6.2	ABJN	外・にぶい赤褐色、黄灰色 内・明赤褐色	A	胴下～底部 80%	胴部中場外面横位ヘラケズリ 胴部下端外面斜位・横位ヘラケズリ

重複 SD 20 より新しい。P 1113 と切り合い不明。

時期 8 世紀後半（幡羅・下郷遺跡 V 期、西別府官衙遺跡群 4 期）

第 22 号溝跡（第 96 図）

位置 Y-20・21、Z-20・21 グリッドに位置する。

規模 検出長 8.58 m、幅 0.55～1.15 m を測り、部分的に土坑状に膨らむ箇所は最大幅は 2.23 m である。遺構残存面からの深さは 0.9 m。平面形は環状に巡る。

概要 連続した土坑ともみえるが、溝として取り扱った。風倒木跡の可能性も否定できない。形状は大いに乱れるが、概ね弧を描くように巡る。所々土坑状の掘り込みがあり、部分的に深くなっている。覆土は概ねレンズ状に堆積しており、自然埋没と考えてよいか。

遺物（第 97 図、第 36 表） 土師器坏、壺、須恵器碗を検出した。1～4 は北武蔵型の土師器坏である。5 は土師器壺の口縁部片。6・7 は須恵器碗であり、底部外面が糸切り離し後無調整である。遺物は概ね 8 世紀後半（幡羅・下郷遺跡 V 期、西別府官衙遺跡群 4 期）であるが、全て流れ込みと考えられる。

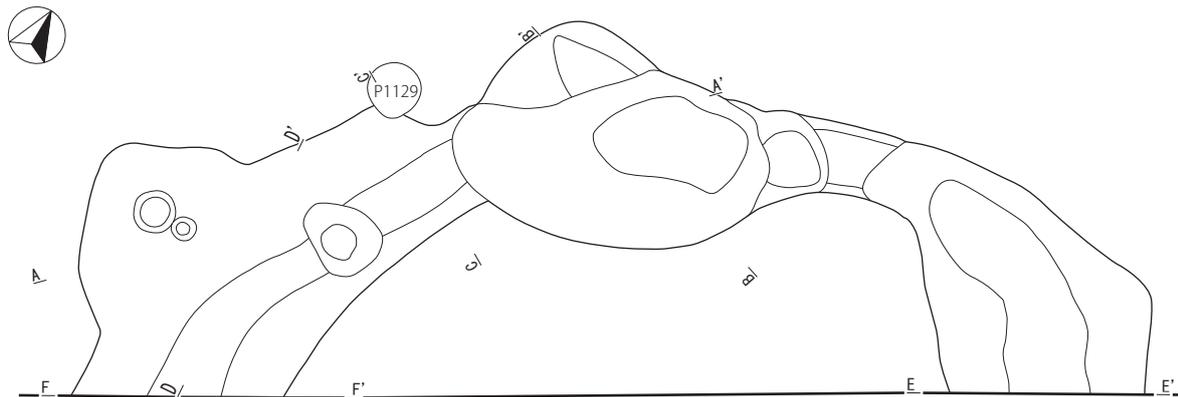
重複 P 1129 と重複する。

時期 時期不明

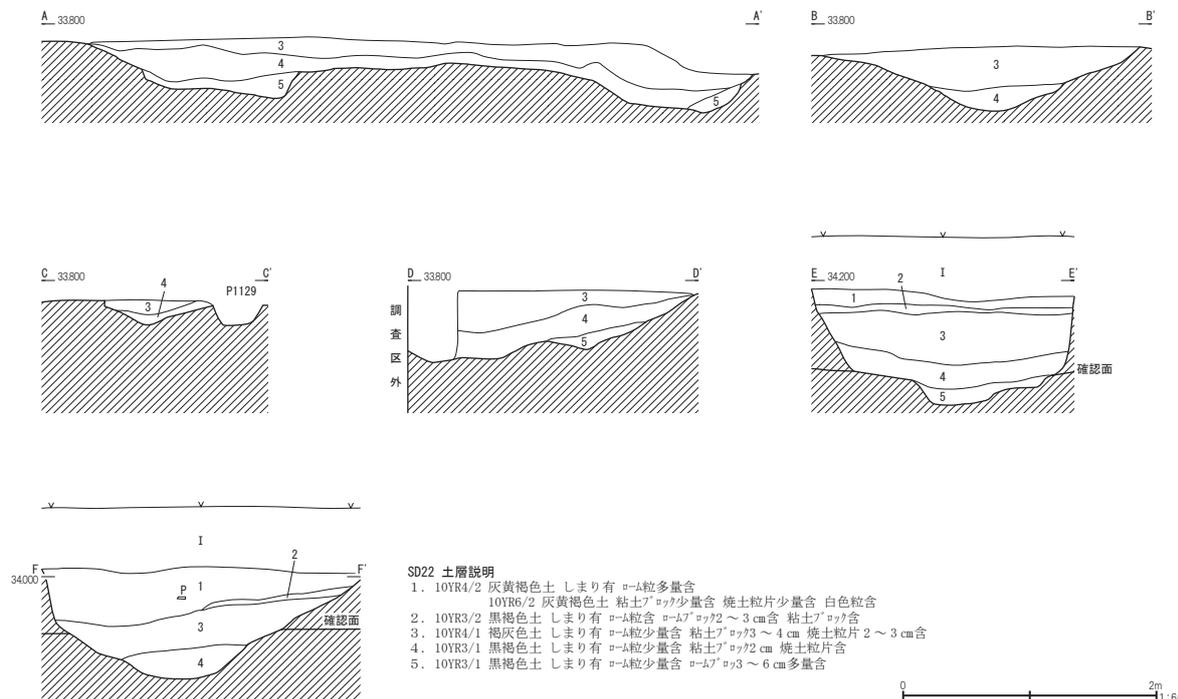
第 23 号溝跡（第 98 図）

位置 X・Y-22 グリッドに位置する。

規模 検出長 5.68 m、幅 1.73 m を測る。確認面からの深さは 0.59 m。断面は逆台形状を呈する。主



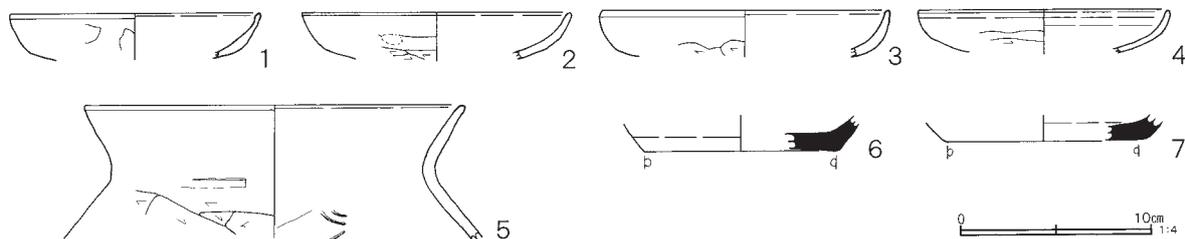
調査区外



SD22 土層説明

1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 ロ-A粒多量含
10YR6/2 灰黄褐色土 粘土7割72少量含 焼土粒片少量含 白色粒含
2. 10YR3/2 黒褐色土 しまり有 ロ-A粒含 ロ-A7割72 ~ 3 cm含 粘土7割72含
3. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 ロ-A粒少量含 粘土7割73 ~ 4 cm 焼土粒片 2 ~ 3 cm含
4. 10YR3/1 黒褐色土 しまり有 ロ-A粒少量含 粘土7割72 cm 焼土粒片含
5. 10YR3/1 黒褐色土 しまり有 ロ-A粒少量含 ロ-A7割73 ~ 6 cm多量含

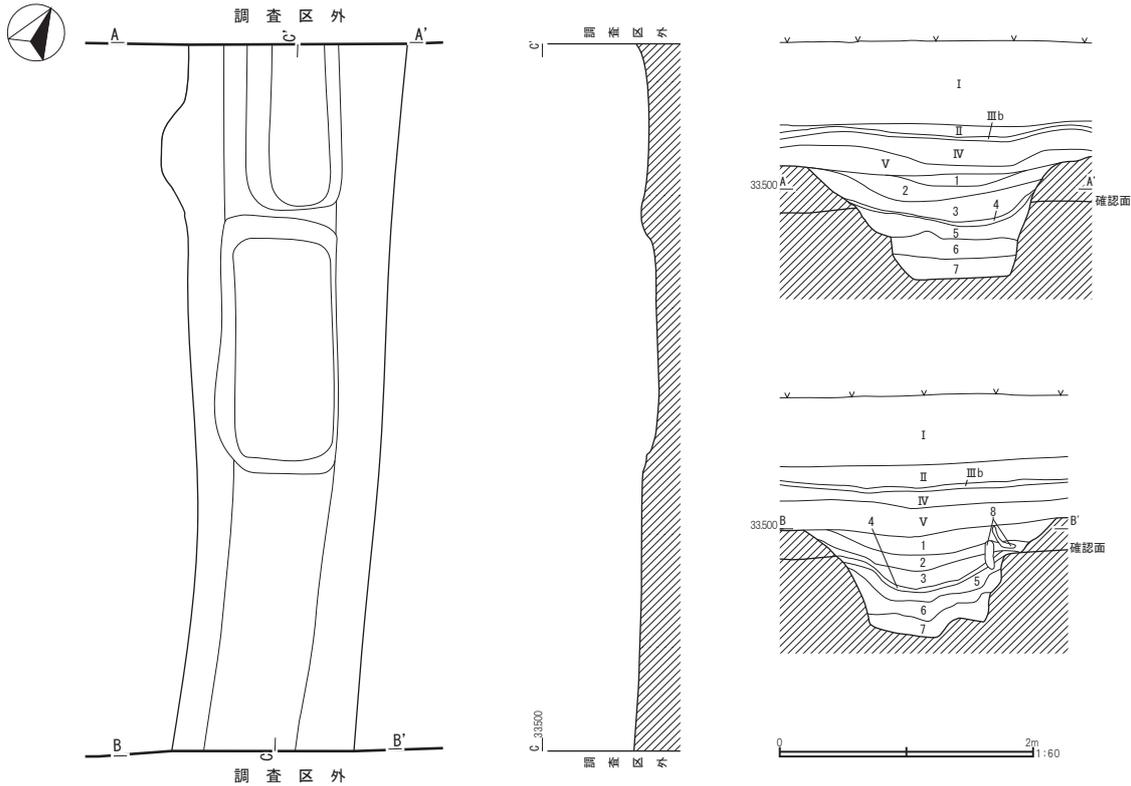
第96図 第22号溝跡



第97図 第22号溝跡出土遺物

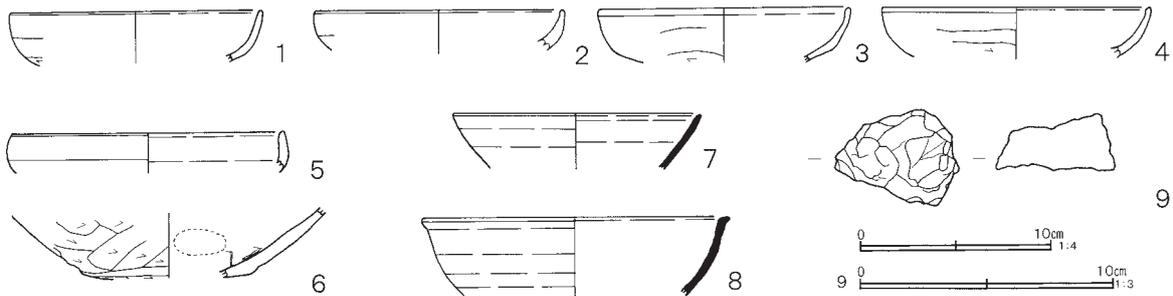
第36表 第22号溝跡出土遺物観察表

No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	土師器杯	(13.0)	(2.4)	-	ABIJN	にぶい褐色	A	口縁~体部片	
2	土師器杯	(14.0)	(2.4)	-	ABIN	外・にぶい褐色 内・明赤褐色	A	口縁~体部片	体部外面指頭痕 体部~底部外面手持ちヘラケズリ
3	土師器杯	(15.0)	(2.4)	-	ABIJN	にぶい橙色	A	口縁~体部片	底部外面手持ちヘラケズリ
4	土師器杯	(13.0)	(2.2)	-	ABIJN	灰褐色	A	口縁~体部片	体部~底部外面手持ちヘラケズリ
5	土師器壺	(20.0)	(7.3)	-	ABIJN	橙色	A	口縁~胴上部 20%	胴部上端外面横位・斜位ヘラケズリ
6	須恵器埴	-	(1.9)	(10.0)	ABIJN	灰白色	B	底部片	三倉産 底部回転糸切り
7	須恵器埴	-	(1.3)	(10.0)	ABIJN	灰白色	B	底部片	底部回転糸切り



- SD23 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 ロ-Δ粒・ブロック含 10YR6/2 灰黄褐色土 粘土粒含 土師器片含 白色粒少量含
 2. 10YR3/1 黒褐色土 しまり有 ロ-Δ粒 ブロック多量含 10YR6/2 灰黄褐色土 粘土粒含 土師器片含 白色粒少量含 炭化物含
 3. 10YR5/6 黄褐色土 しまり有 ロ-Δ粒 ブロック含 黒色ブロック少量含 白色粒含
 4. 10YR6/3 にぶい黄褐色土 しまり弱 砂質 黒褐色土混在少量
 5. 10YR3/1 黒褐色土 ロ-Δ粒 しまり弱 土師器片少量含
 6. 10YR3/1 黒褐色土 ロ-Δ7'ロ71 cm 黒褐色土7'ロ72混在土 しまり弱
 7. 10YR3/1 黒褐色土 ロ-Δ7'ロ72 ~ 4 cm 混在土 しまり弱
 8. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 ロ-Δ粒 根痕

第98図 第23号溝跡



第99図 第23号溝跡出土遺物

第37表 第23号溝跡出土遺物観察表

No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	土師器杯	(13.0)	(2.7)	-	ABIJN	橙色	A	口縁~体部片	底部外面手持ちヘラケズリ
2	土師器杯	(13.0)	(2.1)	-	ABIN	にぶい橙色	A	口縁~体部片	
3	土師器杯	(13.0)	(2.8)	-	ABIN	褐色 にぶい赤褐色	A	口縁~体部片	体部外面手持ちヘラケズリ
4	土師器杯	(14.0)	(2.6)	-	ABIJN	にぶい褐色 外・灰黄褐色	A	口縁~体部片	底部外面手持ちヘラケズリ
5	土師器杯	(14.0)	(1.7)	-	ABIN	橙色 外・にぶい褐色	A	口縁~体部片	
6	土師器甕	-	(3.7)	(9.0)	ABHJN	外・灰色 内・にぶい褐色	A	胴下~底部 30%	胴部下端横位・斜位ヘラケズリ 底部外面ヘラケズリ 内面胴部下 端指頭痕・ヘラナデ
7	須恵器杯	(13.0)	(2.9)	-	ABFN	黄灰色	A	口縁~体部片	南比企産
8	須恵器碗	(16.0)	(4.2)	-	ABEFN	灰色	A	口縁~体部片	南比企産
9	鉄滓	長: 3.7	幅: 4.8	厚: 2.3					全体的に弱めの磁気反応

軸方向はN-32°-W。

概要 北から南へ流れ、北・南ともに調査区外へ延びる。覆土はレンズ状に堆積しており、自然埋没と考えられる。北側底面に底面幅で箱状の掘り込みが2mの長さで確認され、規模不明ながら箱状の掘り込みが連続している。

遺物 (第99図、第37表) 土師器坏、甕、須恵器坏、埴、鉄滓を検出した。1～5は北武蔵型の土師器坏である。口縁部が内湾気味に開き、体部に腰がある。6は土師器甕の底部片。7は須恵器坏の口縁部片。8は口端が平滑になる無台埴。9は鉄滓である。

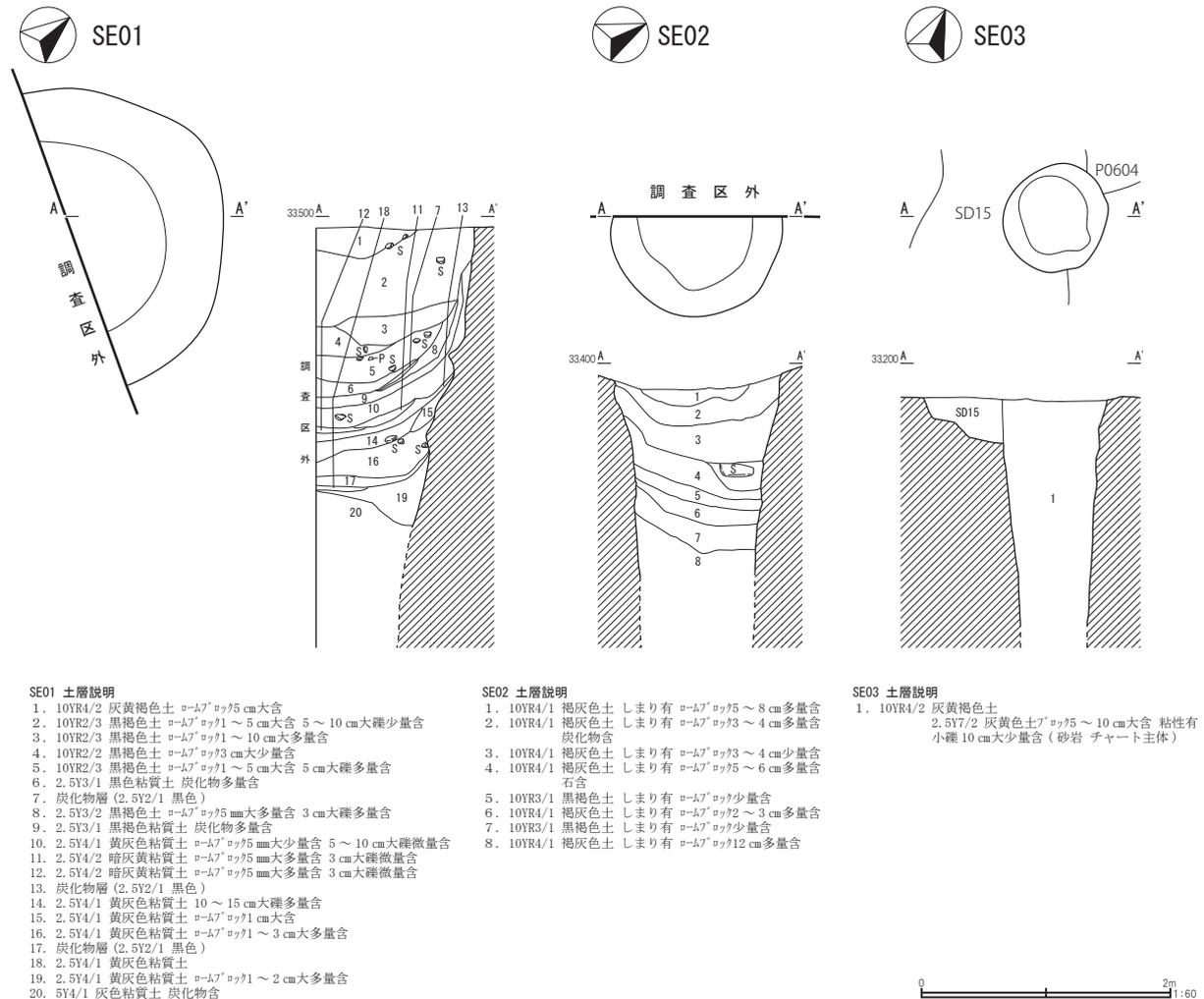
時期 8世紀中頃(幡羅・下郷遺跡IV期、西別府官衙遺跡群3・4期)

4 井戸跡

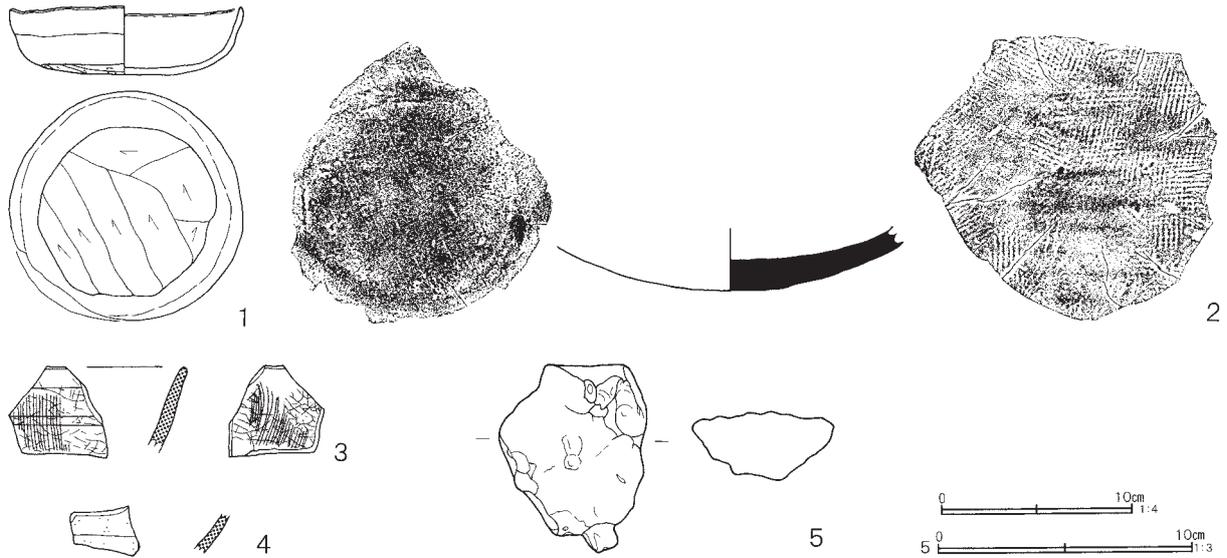
第1号井戸跡(第100図)

位置 L-26グリッドに位置する。

規模 検出長径2.5m、短径1.27mを測る。深さは2.58m以上であり、崩落の危険があったため、底面までは掘削しえなかった。



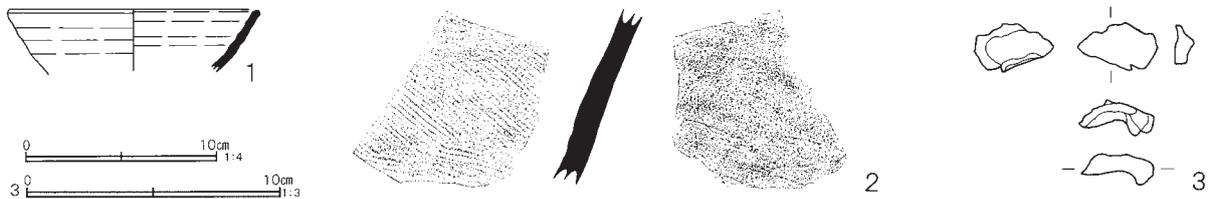
第100図 第1～3号井戸跡



第 101 図 第 1 号井戸跡出土遺物

第 38 表 第 1 号井戸跡出土遺物観察表

No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	土師器坏	12.1	3.6	-	ABUJ	橙色	B	90%	底部外面手持ちヘラケズリ
2	須恵器甕	-	(3.3)	-	ABFN	灰色	A	底部 100%	南比企産 外面平行タタキ 内面無文当て具痕 内面研磨 転用硯 周囲を人為的に打ち欠いている
3	青磁碗	-	-	-	ABN	灰オリーブ色	A	口縁～体部片	体部外面櫛描文 内面劃花文
4	白磁片	-	-	-	ABN	灰白色	A	胴部片	内外面施釉
5	鉄滓	長：7.3	幅：5.6	厚：2.6					塊形滓 全体的に微弱な磁気反応



第 102 図 第 3 号井戸跡出土遺物

第 39 表 第 3 号井戸跡出土遺物観察表

No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	須恵器坏	(13.0)	(3.3)	-	ABFN	オリーブ灰色	A	口縁～体部 20%	南比企産
2	須恵器甕	-	-	-	ABFN	灰色	A	胴部片	南比企産 外面平行タタキ 外面沈線 1 条
3	不明鉄製品	長：3.4	幅：1.9	厚：0.6～1.0					

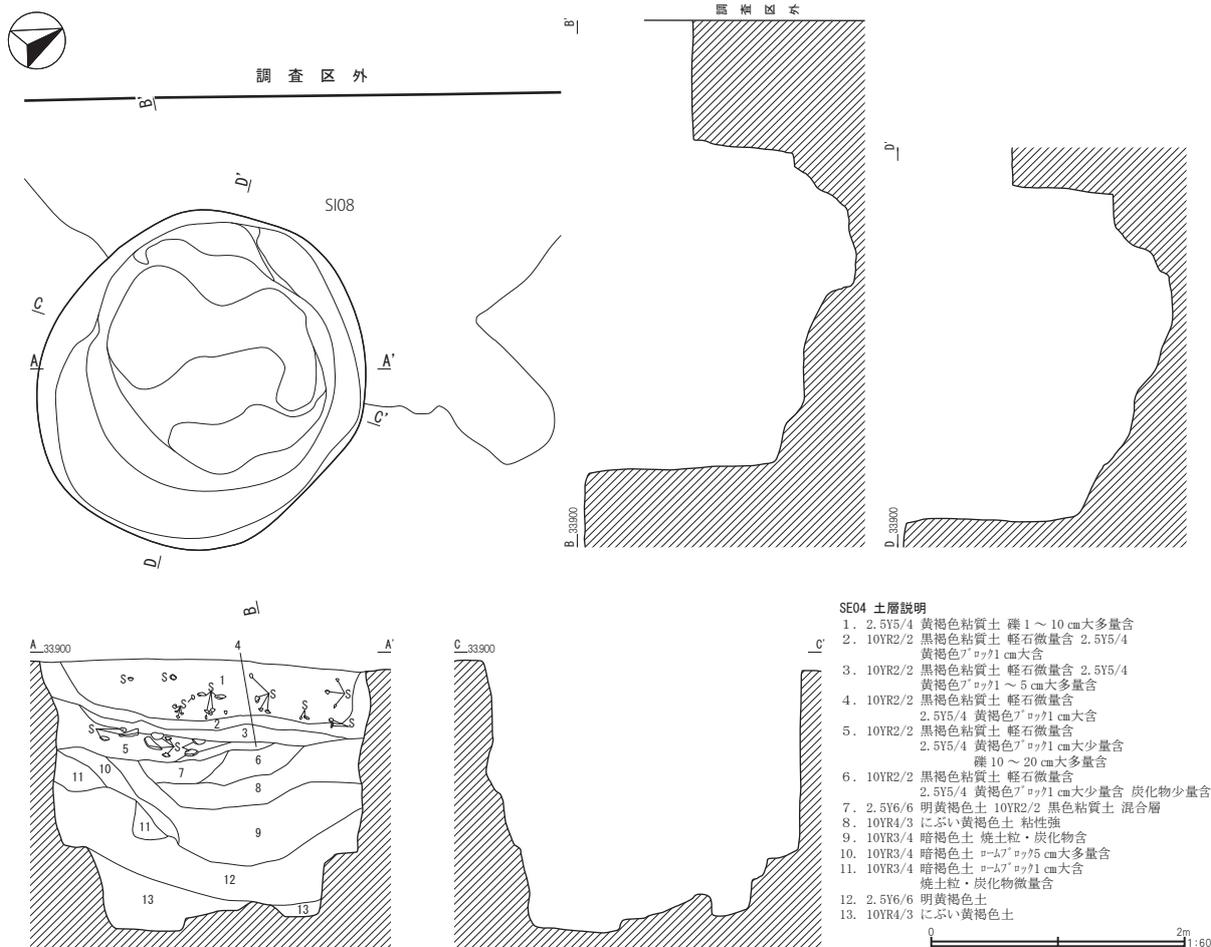
概要 平面形は円形とみられ、南半分が調査区外に続く。断面は逆台形状であり、確認面下 1 m でわずかに段があり、最下位は 0.78 m 程の半径に狭まる。覆土はレンズ状堆積を呈しており、自然埋没と考えられる。覆土中には拳大ほどの礫が散見された。

遺物 (第 101 図、第 38 表) 青磁片、白磁片、土師器坏、須恵器甕、鉄滓等を検出した。1 は平底化した北武蔵型の土師器坏。2 は末野産の須恵器甕の底部片であるが、周囲が打ち欠かれ、内面は研磨されており、転用硯とみられる。3 は龍泉窯産の青磁碗で、外面に櫛書文、内面に劃花文が施文されている。4 は白磁片。5 は塊形滓である。1・2・5 は流れ込みである。

時期 12 世紀後半以降

第 2 号井戸跡 (第 100 図)

位置 N-26 グリッドに位置する。



第 103 図 第 4 号井戸跡

規模 長径 1.39 m、検出短径 0.81 m を測る。深さは 1.8 m 以上であり、崩落の危険があったため、底面までは掘削しえなかった。

概要 平面形は楕円気味な円形とみられ、西半分が調査区外に続く。断面は逆台形状であり、最下位は 0.9 m 程の径に狭まる。覆土はレンズ状堆積を呈しており、自然埋没と考えられる。

遺物 遺物は検出されなかった。

時期 時期不明

第 3 号井戸跡 (第 100 図)

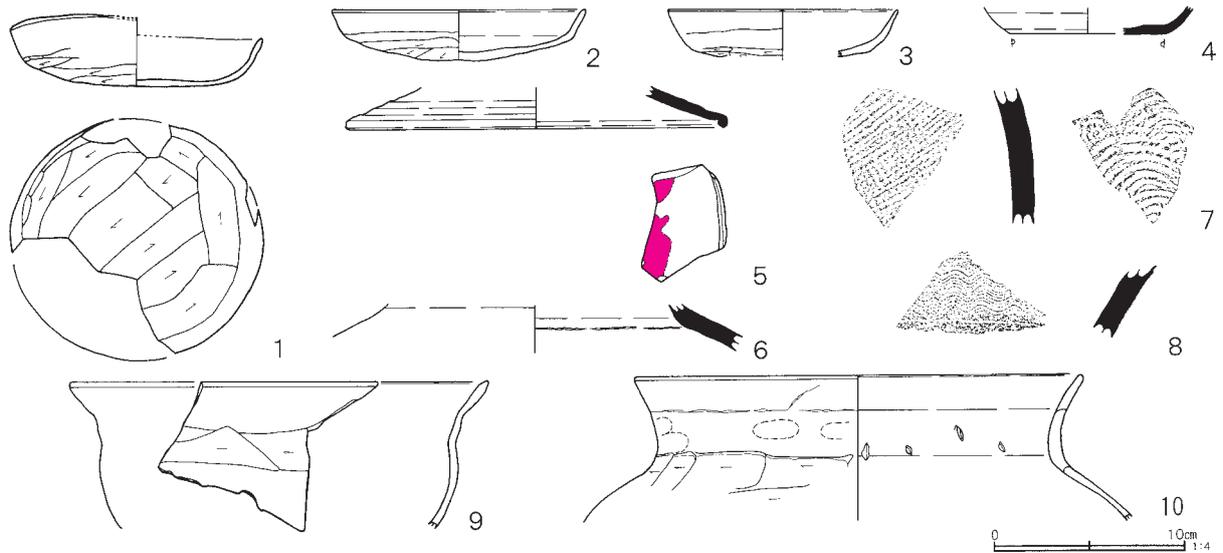
位置 T-14 グリッドに位置する。

規模 長径 0.88 m、短径 0.85 m を測る。深さは 2 m 以上であり、崩落の危険及び範囲狭小であったため、底面までは掘削しえなかった。

概要 平面形は円形である。断面はゆるやかな逆台形状であり、最下位は 0.55 m 程の半径に狭まる。覆土は単層であり、一括埋没と考えられる。SD 15 と重複しており、本遺構が切っている。

遺物 (第 102 図、第 39 表) 須恵器坏、甕、鉄製品を検出した。1 は南比企産の須恵器坏の口縁部片。2 は南比企産の須恵器甕の胴部片。3 は用途不明の鉄製品。いずれも流れ込みと考えられる。

重複 SD 15、P 603 より新しい。



第 104 図 第 4 号井戸跡出土遺物

第 40 表 第 4 号井戸跡出土遺物観察表

No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	土師器坏	13.2	3.9	-	ABIJN	にぶい褐色	B	70%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ
2	土師器坏	(13.3)	(2.6)	-	ABI	にぶい褐色	B	20%	底部外面手持ちヘラケズリ
3	土師器坏	(12.0)	(2.4)	-	ABI	明褐色	A	30%	底部外面手持ちヘラケズリ
4	須恵器坏 (酸化炎焼成)	-	(1.3)	(8.0)	ABHJN	明赤褐色	C	底部片	底部回転糸切り
5	須恵器蓋	(19.7)	(2.2)	-	ABFN	灰黄色	A	口縁部 10%	南比企産 体部内面朱墨 パレットか。
6	須恵器短頸壺	-	(2.5)	-	ABN	灰色	A	頸部片	外面降灰 自然釉
7	須恵器甕	-	-	-	ABN	紫灰色	A	胴部片	外面平行タタキ 内面同心円状当て具痕
8	須恵器甕	-	-	-	ABN	黄灰色	A	頸部片	頸部外面櫛描き波状文 12 条 (1 区画)
9	土師器鉢	(21.8)	(7.7)	-	ABIJN	橙色	B	口縁～胴部 20%	胴部上端外面横位ヘラケズリ 外面荒れる
10	土師器壺	(23.4)	(7.6)	-	ABIJN	明赤褐色	A	口縁～頸部 25%	頸部外面指頭痕 胴部上端外面横位ヘラケズリ

時期 時期不明

第 4 号井戸跡 (第 103 図)

位置 V-2・3、W-3 グリッドに位置する。

規模 長径 2.75 m、短径 2.41 m 深さは 2.15 m を測る。

概要 平面形は楕円形である。断面は筒形の形状を呈し、確認面下 1.45 m で段があり、径 1.95 m から最下位は径 1.65 m に狭まる。覆土はレンズ状堆積を呈しており、自然堆積と考えられる。S I 08 と重複しており、本遺構が切っている。

遺物 (第 104 図、第 40 表) 土師器坏、鉢、壺、須恵器坏、蓋、短頸壺、甕等を検出した。1～3 は北武蔵型の土師器坏で、明瞭な腰のある丸底風の底部である。4 は酸化炎焼成の須恵器坏。5 は須恵器蓋であるが、内面に朱墨がみられ、パレットとしての使用が考えられる。6 は須恵器短頸壺。7・8 は須恵器甕で、7 は内面に同心円の当て具痕がみられる胴部片、8 は外面に櫛書波状文施文の頸部片。9 は土師器鉢であり、外面が荒れている。10 は土師器壺。いずれも S I 08 からの流れ込みと考えられる。

重複 S I 08 より新しい。

時期 時期不明

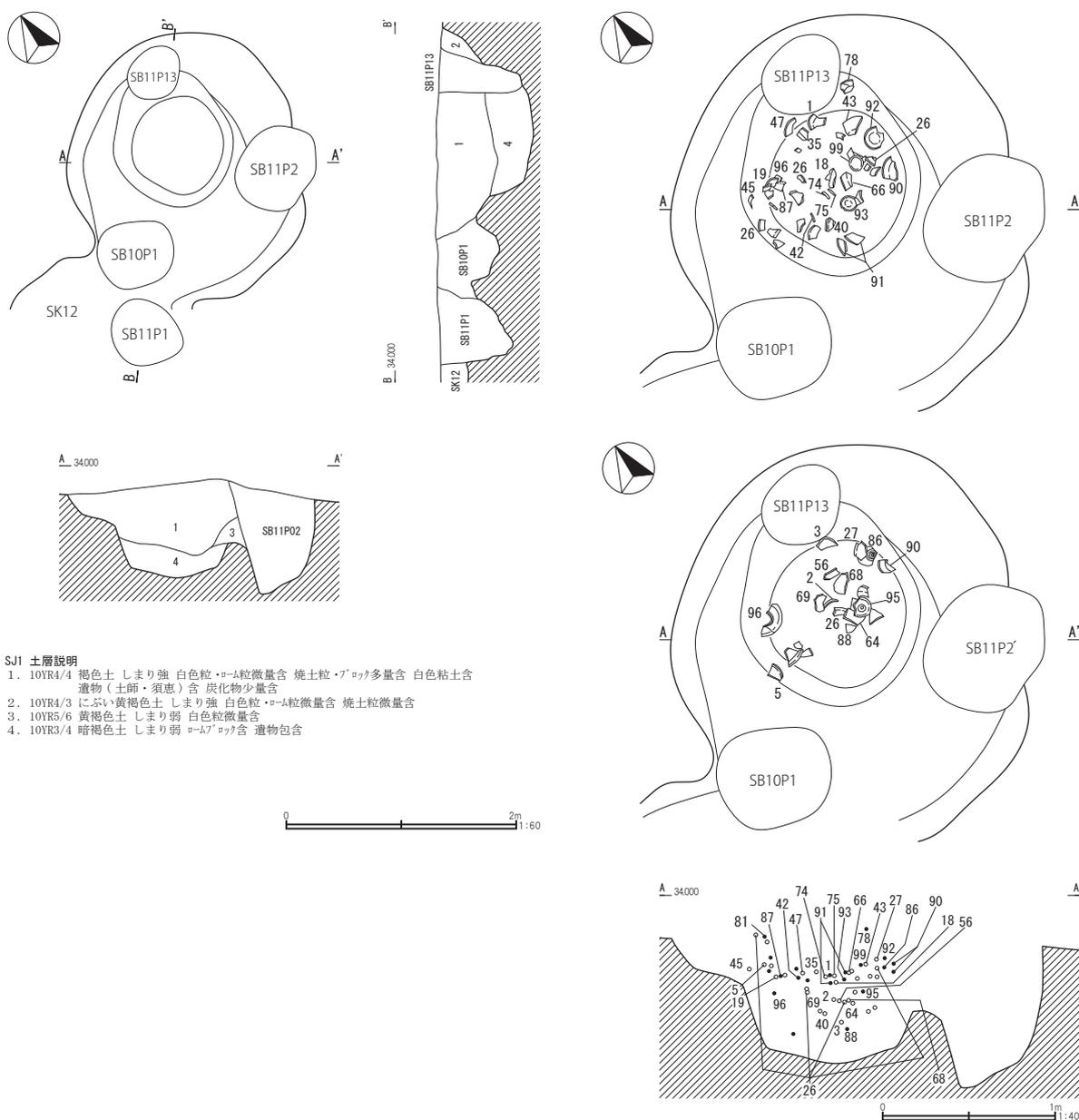
5 土器廃棄遺構

第1号土器廃棄遺構（第105図）

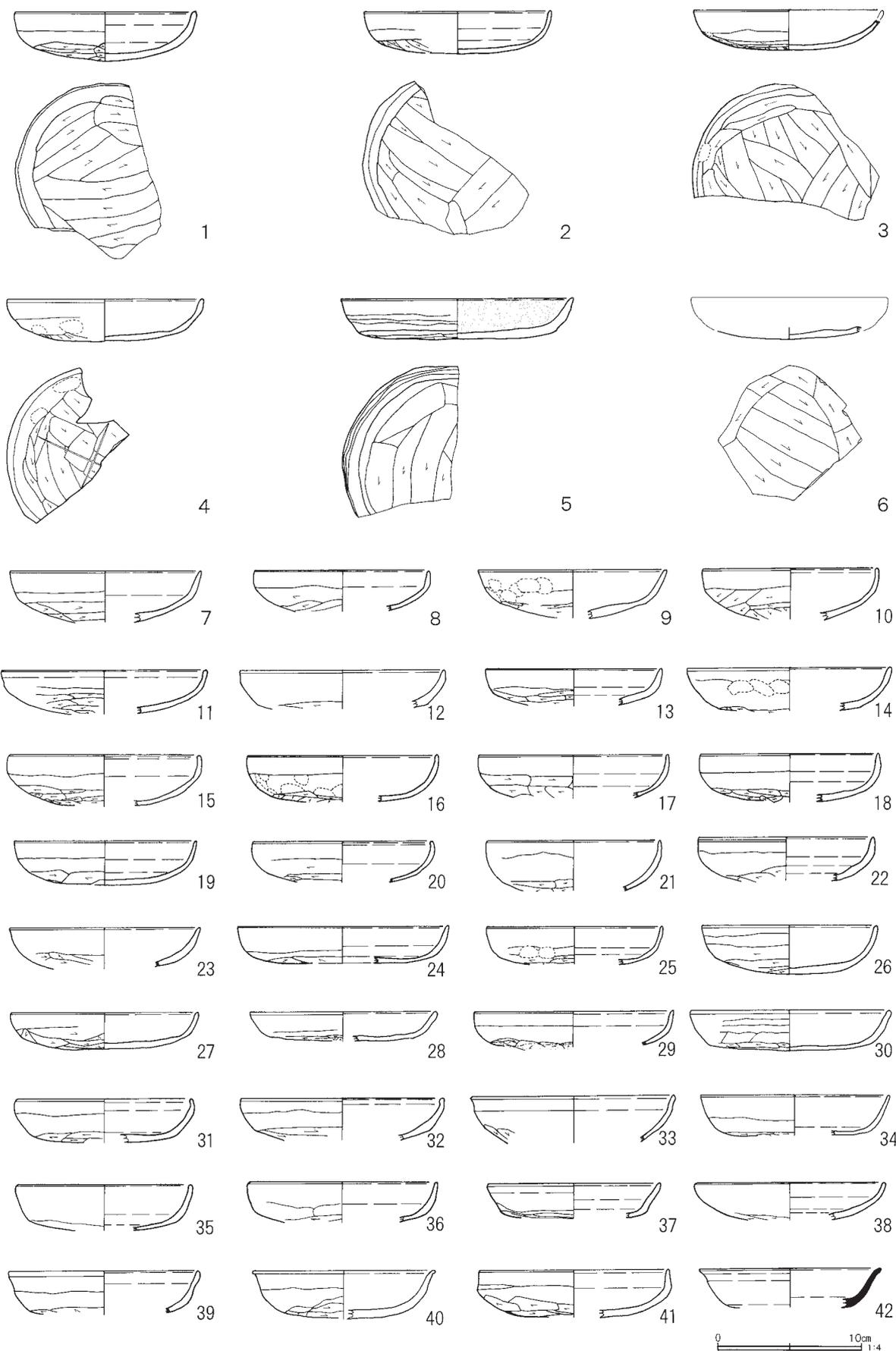
位置 F-23 グリッドに位置する。

規模 長軸 2.37 m 検出範囲で短軸 2.0 m 確認面からの深さは 0.51 m または 0.8 m。

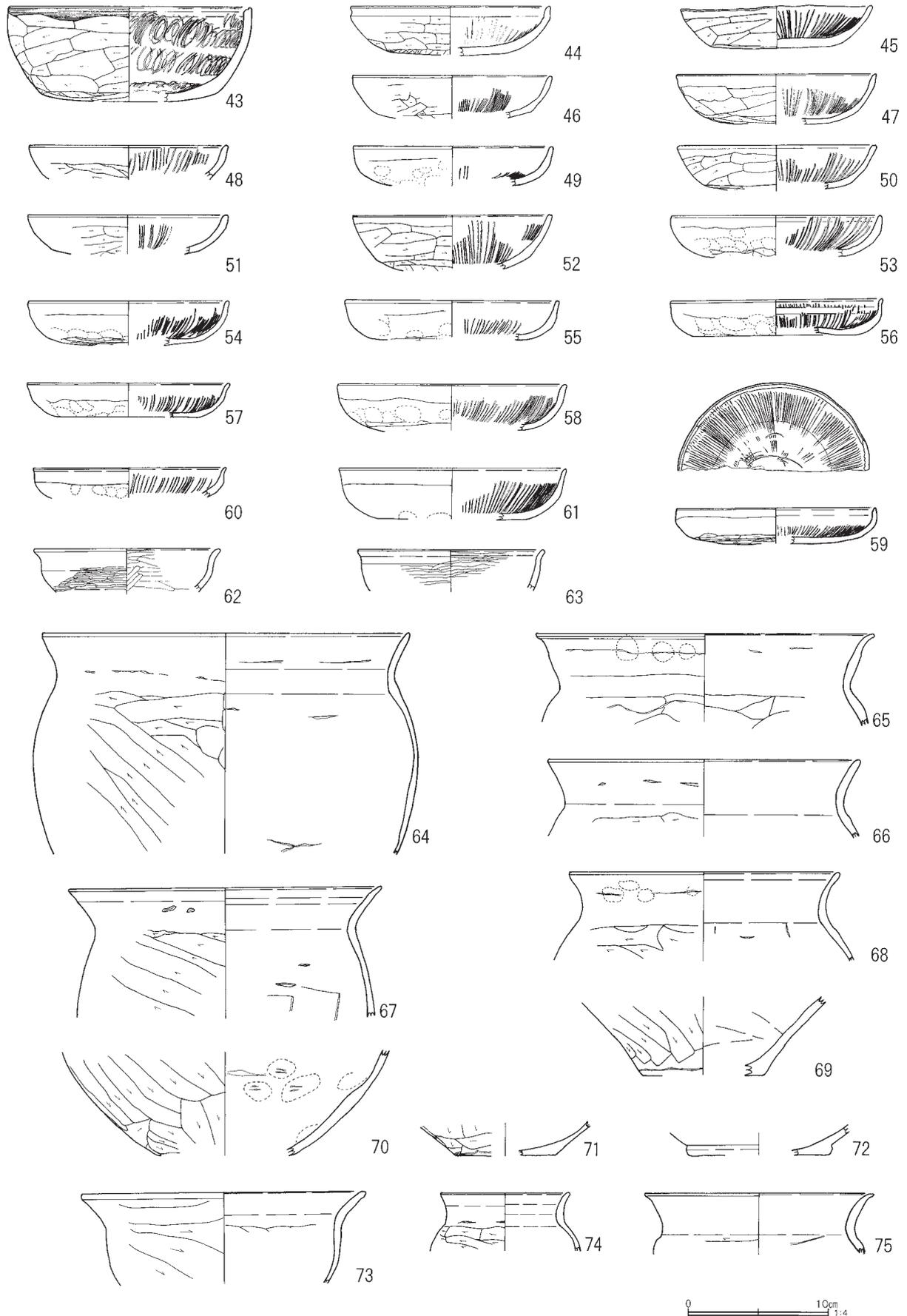
概要 平面形は楕円形である。出土遺物は土層 1 層にほぼ限定されることから、本来の底面は 4 層直上の可能性がある。底面には円形の窪みがみられるが、明確な情報を見出せないため、本遺構以前の柱穴である可能性のみ示唆する。覆土は焼土粒や白色粘土の混入が特徴的である。ブロックを多含んでいることから、人為的な埋没と考えられる。重複関係は SB 10 に切られ、SB 11 を切っている。SK 12 との重複・新旧関係は不明である。



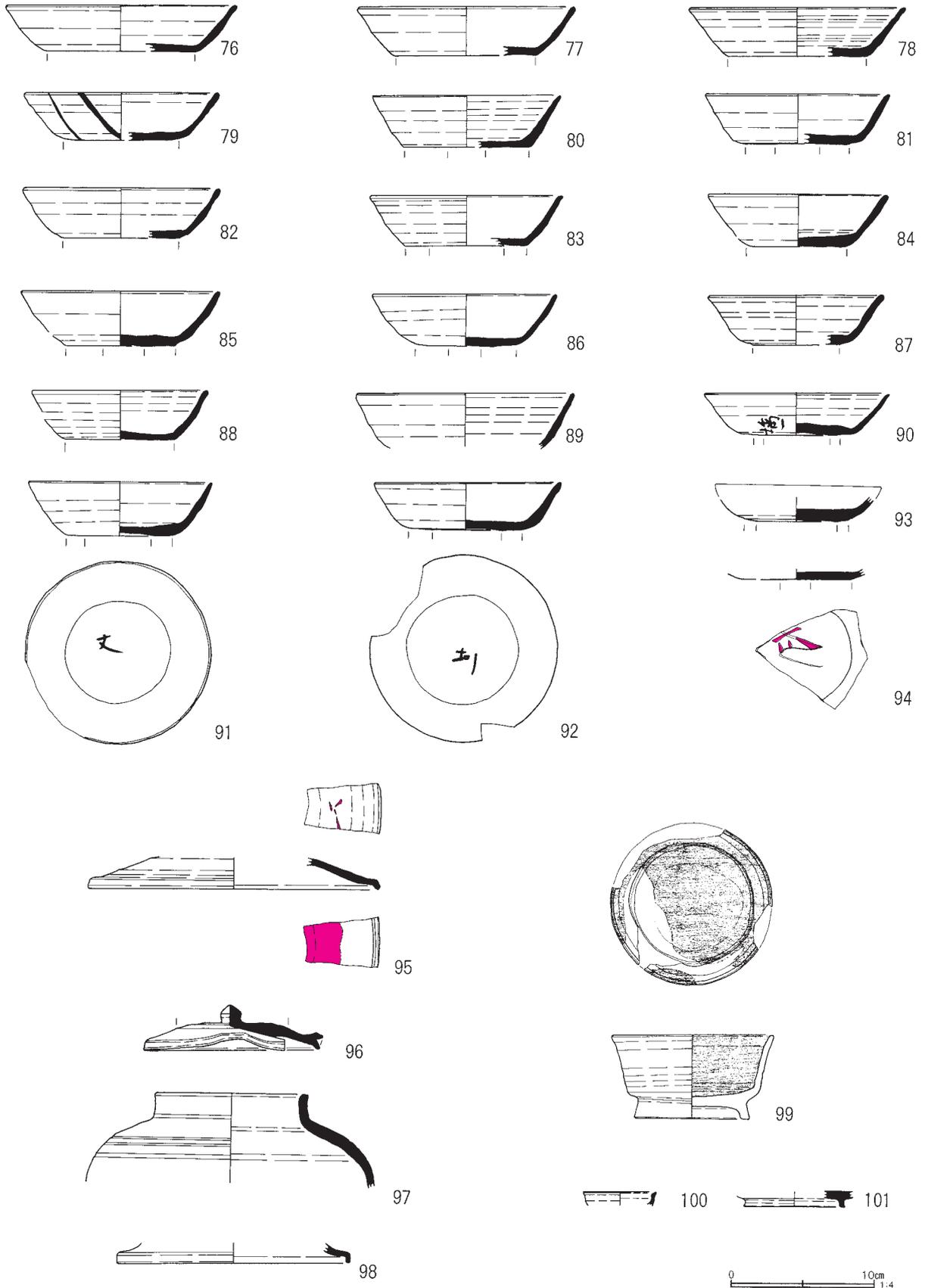
第105図 第1号土器廃棄遺構



第106図 第1号土器廃棄遺構出土遺物1



第107図 第1号土器廃棄遺構出土遺物2



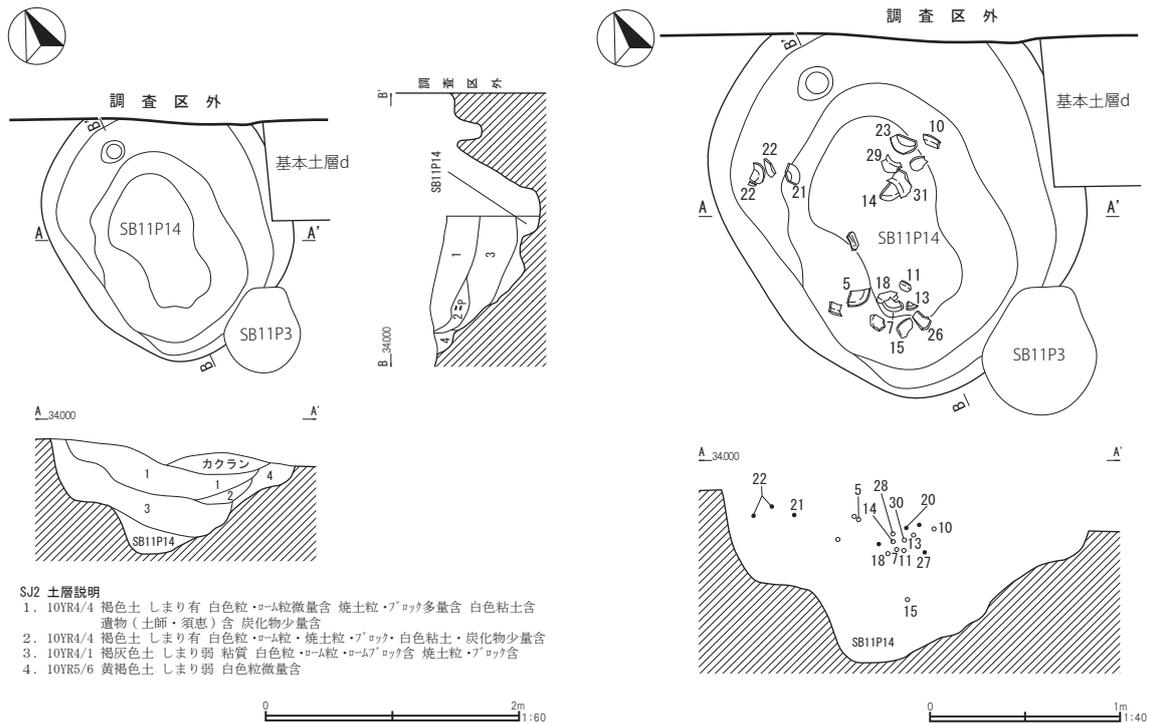
第108図 第1号土器廃棄遺構出土遺物3

第41表 第1号土器廃棄遺構出土遺物観察表

No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	土師器杯	(12.4)	(3.4)	-	ABIJN	にぶい橙色	A	50%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ 底部器壁厚い
2	土師器杯	(12.8)	(2.9)	-	ABIJN	にぶい橙色	A	60%	底部外面手持ちヘラケズリ
3	土師器杯	(13.0)	(2.8)	-	ABIJN	橙色	A	50%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ 体部外面指頭痕
4	土師器杯	(13.4)	(2.9)	-	ABIJN	にぶい橙色	B	30%	体部外面指頭痕 体部～底部外面手持ちヘラケズリ
5	土師器皿	(16.0)	(2.8)	-	ABIJN	にぶい橙色	A	30%	底部外面手持ちヘラケズリ 内面漆状塗膜
6	土師器杯	-	(0.8)	-	ABIJN	明褐色	A	底部 80%	底部外面手持ちヘラケズリ
7	土師器杯	(13.1)	(3.6)	-	ABIJN	外・黄灰・ にぶい黄褐色 内・にぶい橙色	A	30%	底部外面手持ちヘラケズリ
8	土師器杯	(12.0)	(2.9)	-	ABHIJN	橙色	A	20%	底部外面手持ちヘラケズリ
9	土師器杯	(13.0)	(3.3)	-	ABIJN	にぶい橙色	B	20%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ 口辺部～体部外面指頭痕
10	土師器杯	(12.0)	(3.6)	-	ABIJN	橙色	A	20%	底部外面手持ちヘラケズリ
11	土師器杯	(14.0)	(3.0)	-	ABIJN	明赤褐色	A	20%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ
12	土師器杯	(14.0)	(2.6)	-	ABIJN	橙色	A	10%	底部外面手持ちヘラケズリ
13	土師器杯	(12.0)	(2.5)	-	ABIJN	褐色	B	10%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ
14	土師器杯	(14.0)	(3.0)	-	ABIJN	褐色	A	20%	底部外面手持ちヘラケズリ 体部外面指頭痕
15	土師器杯	(13.0)	(3.5)	-	ABIN	明赤褐色	B	40%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ
16	土師器杯	(13.0)	(3.2)	-	ABIJN	褐色	A	30%	底部外面手持ちヘラケズリ
17	土師器杯	(13.0)	(3.0)	-	ABIJN	褐色	A	20%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ
18	土師器杯	(12.2)	(3.3)	-	ABIN	褐色	A	50%	底部外面手持ちヘラケズリ
19	土師器杯	(12.6)	(3.0)	-	ABIJN	褐色	A	30%	底部外面手持ちヘラケズリ
20	土師器杯	(12.4)	(2.8)	-	ABIJN	褐色	B	40%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ
21	土師器杯	(12.0)	(3.5)	-	ABIJN	明褐色	A	20%	底部外面手持ちヘラケズリ
22	土師器杯	(12.0)	(3.1)	-	ABHI	褐色	B	20%	底部外面手持ちヘラケズリ 口唇部外面沈線 1 条
23	土師器杯	(13.0)	(2.8)	-	ABHIJN	褐色	A	口縁～体部片	体部～底部外面手持ちヘラケズリ
24	土師器杯	(14.6)	(2.5)	-	ABIJN	にぶい褐色	B	30%	底部外面手持ちヘラケズリ
25	土師器杯	(12.0)	(2.6)	-	ABIJN	明赤褐色	A	10%	底部外面手持ちヘラケズリ 口縁部～体部外面指頭痕
26	土師器杯	12.0	3.4	-	ABIJN	にぶい橙色	A	50%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ
27	土師器杯	(12.8)	(2.5)	-	ABIJN	明赤褐色	A	30%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ
28	土師器杯	(12.8)	(2.0)	-	ABIJN	にぶい褐色	B	20%	底部外面手持ちヘラケズリ
29	土師器杯	(13.8)	(2.4)	-	ABIJN	明赤褐色	B	20%	底部外面手持ちヘラケズリ 底部黒斑
30	土師器杯	(13.6)	(2.8)	-	ABIN	褐色 外・灰色	B	30%	底部外面手持ちヘラケズリ
31	土師器杯	(12.0)	(3.0)	-	ABIJN	にぶい褐色	B	30%	底部外面手持ちヘラケズリ
32	土師器杯	(14.0)	(2.9)	-	ABIJN	褐色	A	20%	底部外面手持ちヘラケズリ
33	土師器杯	(14.0)	(3.3)	-	ABIJN	褐色	B	10%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ
34	土師器杯	(13.0)	(2.8)	-	ABIJN	明赤褐色	A	20%	底部外面手持ちヘラケズリ
35	土師器杯	(12.0)	(3.2)	-	ABIJN	褐色	B	40%	底部外面手持ちヘラケズリ
36	土師器杯	(13.0)	(2.8)	-	ABIN	褐色	A	口縁～底部 20%	底部外面手持ちヘラケズリ
37	土師器杯	(11.8)	(2.4)	-	ABIN	にぶい褐色	A	20%	底部外面手持ちヘラケズリ 体部～底部弱有段
38	土師器杯	(13.0)	(2.6)	-	ABIJN	褐色	A	20%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ
39	土師器杯	(13.0)	(2.9)	-	ABIJN	にぶい褐色	B	20%	底部外面手持ちヘラケズリ
40	土師器杯	(13.0)	(3.2)	-	ABIJN	褐色 外・にぶい黄褐色	B	50%	底部外面手持ちヘラケズリ
41	土師器杯	(13.0)	(3.3)	-	ABIN	にぶい赤褐色	A	30%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ 模倣杯
42	須恵器杯 (酸化炎焼成)	(12.4)	(2.7)	-	ABIJN	にぶい黄褐色	B	10%	口縁部外反
43	土師器碗	(17.0)	(6.7)	-	ABIJN	褐色	A	30%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ 内面螺旋状暗文 胎土マーブル
44	土師器杯	(14.0)	(3.5)	-	ABIJN	褐色 外・暗灰黄色	A	40%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ 内面放射状暗文 胎土マーブル
45	土師器杯	13.6	2.9	-	ABHIJN	褐色	A	80%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ 内面体部放射状暗文
46	土師器杯	(14.0)	(3.0)	-	ABIJN	外・にぶい褐色 内・にぶい黄褐色	A	口縁～底部片	体部～底部外面手持ちヘラケズリ 内面放射状暗文
47	土師器杯	(14.0)	(3.5)	-	ABN	褐色	A	50%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ 内面放射状暗文 口唇部内面沈線 1 条 胎土マーブル
48	土師器杯	(14.0)	(2.4)	-	ABN	褐色	A	口縁～体部片	内面放射状暗文 体部外面横位手持ちヘラケズリ 胎土マーブル
49	土師器杯	(14.0)	(2.8)	-	ABIJN	褐色	A	20%	底部外面手持ちヘラケズリ 体部外面指頭痕 内面放射状暗文
50	土師器杯	(14.0)	(3.2)	-	ABN	褐色	A	20%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ 内面放射状暗文
51	土師器杯	(14.0)	(2.8)	-	ABN	明赤褐色	A	口縁～底部片	体部～底部外面手持ちヘラケズリ 内面放射状暗文 胎土マーブル
52	土師器杯	(14.0)	(3.8)	-	ABIJN	明赤褐色	A	30%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ 内面放射状暗文 胎土マーブル 暗 文施文後体部内面ヨコナデ
53	土師器杯	(14.8)	(2.9)	-	ABIJN	褐色	A	20%	底部外面手持ちヘラケズリ 内面放射状暗文
54	土師器杯	(14.0)	(3.1)	-	ABIJN	褐色	A	20%	底部外面手持ちヘラケズリ 体部外面指頭痕 底部内面螺旋状暗文 体部～底部内面放射状暗文
55	土師器杯	(15.0)	(2.8)	-	ABIJN	にぶい褐色	A	10%	底部外面手持ちヘラケズリ 体部外面指頭痕 内面放射状暗文
56	土師器杯	(15.0)	(2.5)	(11.6)	ABIJN	褐色	A	20%	底部外面手持ちヘラケズリ 体部外面指頭痕 底部内面螺旋状暗文 体部内面放射状暗文 暗文施文後体部内面ヨコナデ
57	土師器杯	(14.2)	(2.4)	(10.0)	ABIN	褐色	A	20%	底部外面手持ちヘラケズリ 体部外面指頭痕 体部内面放射状暗文 底部内面螺旋状暗文
58	土師器杯	(16.0)	(3.3)	-	ABIJN	にぶい褐色	A	20%	底部外面手持ちヘラケズリ 体部外面指頭痕 内面放射状暗文
59	土師器杯	(14.0)	(2.5)	-	ABIJN	褐色	A	50%	底部外面手持ちヘラケズリ 内面体部放射状暗文 底部弧状暗文
60	土師器杯	(13.6)	(2.1)	-	ABN	明赤褐色	A	口縁～体部 20%	体部外面指頭痕 内面放射状暗文
61	土師器杯	(16.0)	(3.6)	-	ABIJN	明赤褐色	A	30%	底部外面手持ちヘラケズリ 体部外面指頭痕 内面放射状暗文
62	土師器杯	(13.0)	(3.1)	-	ABN	赤褐色	A	口縁部片	内面ヘラミガキ 暗文系無文坏
63	土師器杯	(16.0)	(2.4)	-	ABN	赤褐色	A	口縁部片	内外面ヘラミガキ 暗文系無文坏
64	土師器甕	(26.0)	(15.8)	-	ABIJN	明赤褐色	A	口縁～胴部 20%	胴部上端外面ヘラケズリ 胴部中場外面斜位ヘラケズリ
65	土師器甕	(24.0)	(6.5)	-	ABHIJN	にぶい褐色	B	口縁～胴部 20%	胴部上端外面横位ヘラケズリ 口縁部～頸部外面指頭痕
66	土師器甕	(22.0)	(5.5)	-	ABIJN	にぶい褐色	A	口縁～頸部 20%	胴部上端外面横位ヘラケズリ
67	土師器甕	(22.0)	(9.3)	-	ABIJN	にぶい赤褐色	A	口縁～胴部片	胴部上端外面横位・斜位ヘラケズリ
68	土師器甕	(19.0)	(6.3)	-	ABIJN	褐色	A	口縁～頸部 10%	胴部上端横位ヘラケズリ 口縁部～頸部外面指頭痕

No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
69	土師器甕	-	(5.6)	(8.4)	ABIJN	外・黒褐色 内・にぶい黄褐色	B	胴～底部 20%	胴部下端外面斜位ヘラケズリ
70	土師器壺	-	(7.5)	-	ABIJN	橙色	B	胴～底部片	胴部下端斜位ヘラケズリ 内面輪積痕・指頭痕
71	土師器甕	-	(2.4)	(7.0)	ABIJN	橙色	B	胴～底部 30%	胴部下端外面横位・斜位ヘラケズリ 底部外面手持ちヘラケズリ
72	土師器甕	-	(2.1)	(10.0)	ABIJN	外・にぶい赤褐色 内・橙色	B	底部 20%	底部外面手持ちヘラケズリ
73	土師器鉢	(20.0)	(6.5)	-	ABIJN	にぶい赤褐色	A	口縁～頸部 10%	胴部外面横位・斜位ヘラケズリ
74	土師器台付甕	(9.0)	(4.2)	-	ABIJN	橙色	B	口縁～胴上部片	胴部上端外面横位ヘラケズリ
75	土師器台付甕	(16.0)	(4.3)	-	ABHIJN	明赤褐色	A	口縁～頸部 10%	胴部上端外面横位ヘラケズリ
76	須恵器坏	(15.8)	(3.2)	(10.2)	ABFN	灰白色	B	30%	南比企産 底部外面全面回転ヘラケズリ
77	須恵器坏	(14.8)	(3.4)	(9.6)	ABFN	灰白色	B	20%	南比企産 底部外面回転ヘラケズリ
78	須恵器坏	(14.8)	(3.4)	(9.6)	ABFN	灰色	A	30%	南比企産 底部外面回転ヘラケズリ 内面研磨 転用硯
79	須恵器坏	(13.2)	(3.3)	(8.0)	ABFN	オリーブ灰色	A	40%	南比企産 底部外面全面回転ヘラケズリ 内外面火ダスキ痕
80	須恵器坏	(13.0)	(3.7)	(8.6)	ABFN	灰色	A	20%	南比企産 底部外面周辺回転ヘラケズリ
81	須恵器坏	(12.6)	(3.5)	(7.2)	ABIN	黄灰色	A	50%	底部外面周辺回転ヘラケズリ
82	須恵器坏	(13.4)	(3.5)	(8.0)	ABFN	灰色	B	30%	南比企産 底部外面回転ヘラケズリ
83	須恵器坏	(13.2)	(3.5)	(8.4)	ABFN	灰色	A	20%	底部外面周辺回転ヘラケズリ
84	須恵器坏	(12.4)	(3.6)	6.4	ABN	灰色	B	70%	末野産 底部外面全面回転ヘラケズリ
85	須恵器坏	(13.6)	(3.8)	7.6	ABFN	黄灰色	B	60%	南比企産 底部外面周辺回転ヘラケズリ
86	須恵器坏	12.7	3.7	7.0	ABFN	灰色	A	80%	南比企産 底部外面周辺回転ヘラケズリ
87	須恵器坏	(12.0)	(3.4)	(6.0)	ABFN	灰色	B	20%	南比企産 底部外面回転ヘラケズリ
88	須恵器坏	(12.2)	(3.4)	7.6	ABFN	灰色	B	70%	南比企産 底部外面全面回転ヘラケズリ
89	須恵器坏	(15.0)	(3.8)	-	ABFN	灰色	A	20%	南比企産
90	須恵器坏	12.8	3.0	7.0	ABFN	灰黄色、灰色	A	70%	南比企産 底部外面周辺回転ヘラケズリ 体部外面墨書「播口(羅カ)」
91	須恵器坏	12.6	3.8	7.4	ABFN	灰黄色	A	100%	南比企産 底部外面周辺回転ヘラケズリ 底部外面墨書「丈」 底部内面研磨 転用硯
92	須恵器坏	13.0	3.4	7.9	ABFN	灰黄色	A	80%	南比企産 底部外面周辺回転ヘラケズリ 底部外面墨書「口(埼カ)」
93	須恵器坏	-	(1.7)	7.2	ABFN	灰色	A	底部 100%	南比企産 底部外面周辺回転ヘラケズリ
94	須恵器坏	-	(0.8)	(7.6)	ABFIN	灰色	A	底部 40%	南比企産 底部外面周辺回転ヘラケズリ 底部外面朱墨「荒」ヘラ記号「N」
95	須恵器蓋	(20.0)	(2.2)	-	ABFN	灰黄色	A	天井～口縁部片	南比企産 体部外面朱墨 内面朱墨痕 (パレットカ)
96	須恵器蓋	12.2	3.2	(鈕径) 1.4	ABFN	灰色	A	90%	南比企産 擬宝珠鈕 天井部外面回転ヘラケズリ
97	須恵器短頸壺	(10.4)	(6.3)	-	ABFN	黄灰色	A	20%	南比企産
98	須恵器蓋 (酸化炎焼成)	(16.0)	(1.4)	-	ABIJN	にぶい赤褐色	C	口縁部片	坏蓋
99	須恵器高台坏 (酸化炎焼成)	11.0	5.9	(高台径) 7.8	ABHIJN	黒、浅黄褐色	A	80%	口縁部外面～内面 (部分的) 黒色処理 内面ミガキ 底部外面回転 糸切り後周辺ヘラケズリ 産地は常総方面カ
100	須恵器小型坏?	(5.0)	(1.0)	-	ABFN	灰色	A	口縁～体部片	南比企産 口縁部沈線
101	須恵器 小型高台坏	-	(1.1)	(高台径) (7.0)	ABFN	灰色	A	脚部片	南比企産

遺物(第106図、第107図、第108図、第41表) 土師器坏、埴、皿、甕、壺、鉢、台付甕・須恵器坏、高台坏、蓋、短頸壺、小型坏、小型高台坏等が出土した。また、図示していないが穿孔貝巢穴跡軟質泥岩を検出している。用途でみれば供膳具の比率が高い。1～4、6～40は土師器で北武蔵型の坏である。底部は概ね丸底風であり、24・30など平底風のものもみられる。5は皿とした。口径が大きく厚手のつくりで、内面に漆とみられる塗膜が残存する。41は土師器で坏身模倣坏、42は酸化炎焼成の須恵器坏で、いずれも流れ込みである。43～61は土師器暗文坏・埴で、精緻なつくりである。43は深埴形状を呈するもので、内面に4段の螺旋暗文が施される。44～61は内面放射暗文の坏であり、59のみ底面に弧状の暗文がみられた。形態としては、底部が平底への移行段階のものである。深身の形状となる44～52は外面のケズリが高い位置まで施される傾向にあり、浅身の53～61は外面のケズリは底部付近に限られる。56は内面放射暗文を施文した後、口縁にナデを廻らせた痕跡がみられた。62・63は内外面に精緻なミガキが施されている。暗文系無文坏とするべきか。64～68は土師器甕の口縁部で、ゆるやかな外反から「く」の字状を呈するもの。70～72は土師器壺・甕の底部片。73は土師器鉢、74・75は土師器台付甕である。76～94は須恵器坏である。84のみ末野産で他は南比企産で、底部外面は全面ヘラケズリか周辺ヘラケズリである。78は内面が研磨されており転用硯とみられる。90は体部外面横位に墨書されており、「播口」か(第174図⑩)。91は底部外面に細字で「丈」と墨書される(第174図⑪)。92は底部外面に墨書がみられ、痕跡からは「埼」の可能性がある(第174図⑫)。94は底部外面に「N」のヘラ書きに重複して朱書が残る。字形・筆跡から、「荒」と推測される(第174図⑬)。



第109図 第2号土器廃棄遺構

95は外面に朱書、内面に朱墨が残る(第174図④)。外面は字形を成しておらず筆慣らしの痕跡か。内面は朱墨が広がっており、パレット的な使用の痕跡と考えられる。96・97は須恵器短頸壺とその蓋である。蓋の鈕は擬宝珠状で、縁が一部屈曲している。98は須恵器蓋である。99は内面黒色処理の箱型高台杯で当地域では生産されていないものである。まとめて詳述するが、常総方面が産地と推測される酒杯である。100と101はいずれも須恵器の小型品で特殊な遺物といえる。

重複 SB11より古い。SB10より新しい。

時期 8世紀中頃(幡羅・下郷遺跡IV期、西別府官衙遺跡群3・4期)

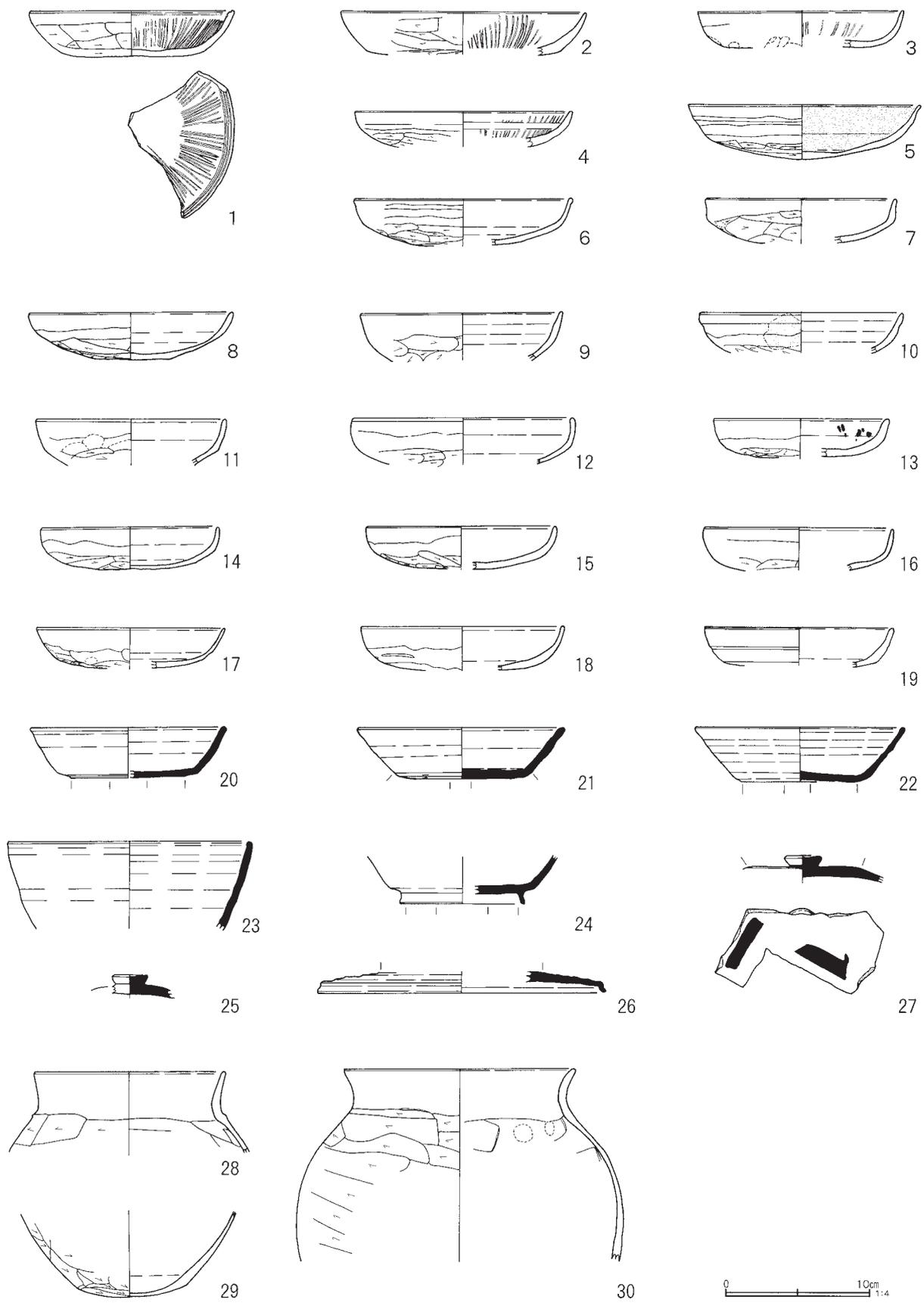
第2号土器廃棄遺構(第109図)

位置 F-23・24グリッドに位置する。

規模 検出範囲で長軸2.14m、短軸1.86m確認面からの深さは0.53mまたは0.78m。

概要 平面形は円形とみられるが、切り合いが多く不明な点が多い。出土遺物は土層1層にほぼ限定されることから、本来の底面は3層直上と推測される。覆土は焼土や白色粘土の混入が特徴的である。ブロックを多く含んでいることから、人為的な埋没と考えられる。重複関係はSB11を切っている。覆土は焼土粒や白色粘土の混入が特徴的である。ブロックを多く含んでいることから、人為的な埋没と考えられる。

遺物(第110図、第42表) 土師器杯、皿、台付甕、須恵器杯、埴、高台杯、蓋等が出土した。1～4は内面に放射暗文が施される土師器杯・皿で、底部が平底風のものである。2は口径が広く扁平な形状なため皿とした。4は内面放射暗文を施文した後、口縁にナデを廻らせた痕跡がみられた。5は土師器皿とした。厚手のつくりで内面に漆とみられる塗膜が残る。6～19は北武蔵型の土師器杯で、底



第110图 第2号土器廃棄遺構出土遺物

第 42 表 第 2 号土器廃棄遺構出土遺物観察表

No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	土師器坏	(14.0)	(3.1)	-	ABJN	明黄褐色 外・橙色	A	30%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ 内面放射状暗文 口唇部内面沈線巡る
2	土師器皿	(17.0)	(3.0)	-	ABJN	橙色	A	口縁～底部片	体部～底部外面手持ちヘラケズリ 内面放射状暗文 胎土マーブル施文鈕
3	土師器坏	(14.2)	(2.5)	-	ABJN	橙色	A	50%	底部手持ちヘラケズリ 体部外面指頭痕 内面放射状暗文
4	土師器坏	(15.0)	(2.5)	-	ABJN	明赤褐色	A	20%	体部外面手持ちヘラケズリ 内面放射状暗文 胎土マーブル 暗文施文後体部内面ヨコナデ
5	土師器皿	(15.9)	(3.8)	-	ABIN	橙色	A	40%	底部外面手持ちヘラケズリ 器壁厚い
6	土師器坏	(15.0)	(3.2)	-	ABIN	にぶい褐色	A	30%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ
7	土師器坏	(13.0)	(3.1)	-	ABJN	橙色	B	30%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ
8	土師器坏	(14.0)	(3.3)	-	ABJN	褐色	A	50%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ
9	土師器坏	(14.0)	(3.3)	-	ABJN	褐色	B	口縁～体部 30%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ
10	土師器坏	(14.0)	(2.8)	-	ABJN	褐色	A	10%	体部外面手持ちヘラケズリ 口縁部～体部外面黒斑
11	土師器坏	(13.0)	(3.2)	-	ABJN	にぶい黄褐色	B	10%	体部外面手持ちヘラケズリ 体部外面指頭痕
12	土師器坏	(15.0)	(3.2)	-	ABJN	褐色	B	20%	体部～底部手持ちヘラケズリ
13	土師器坏	(12.0)	(2.6)	-	ABIN	褐色	A	10%	底部外面手持ちヘラケズリ 内面墨(油煙) 器壁厚い
14	土師器坏	(12.2)	(2.9)	-	ABJN	にぶい赤褐色	A	40%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ
15	土師器坏	(13.0)	(3.0)	-	ABJN	にぶい褐色	A	30%	底部外面手持ちヘラケズリ
16	土師器坏	(13.0)	(3.0)	-	ABJN	灰褐色	A	20%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ
17	土師器坏	(12.9)	(2.8)	-	ABJN	にぶい橙色	B	30%	底部外面手持ちヘラケズリ
18	土師器坏	(14.0)	(3.0)	-	ABJ	褐色	A	40%	底部外面手持ちヘラケズリ
19	土師器坏	(13.0)	(2.7)	-	ABEJN	にぶい黄褐色	A	10%	体部外面沈線1条
20	須恵器坏	(13.4)	(3.5)	(7.9)	ABFN	灰色	A	50%	南比企産 底部外面周辺回転ヘラケズリ
21	須恵器坏	14.3	3.6	8.2	ABFN	灰色	A	100%	南比企産 底部外面周辺回転ヘラケズリ 体部下端ヘラケズリ
22	須恵器坏	14.4	3.8	8.1	ABFN	褐灰色	A	100%	南比企産 底部外面周辺回転ヘラケズリ
23	須恵器塊	(16.9)	(6.1)	-	ABFN	灰色	A	口縁～体部 10%	南比企産 口縁部端反 口唇部内面傾斜
24	須恵器高台坏	-	(3.3)	(高台径) (8.6)	ABFN	灰黄色	B	体～脚部 50%	南比企産 底部外面周辺回転ヘラケズリ
25	須恵器蓋 (酸化炎焼成)	-	(1.6)	(鈕径) 2.1	ABJN	褐色	C	鈕部 80%	釘頭状鈕
26	須恵器蓋	(19.8)	(1.5)	-	ABN	灰色	A	10%	天井部外面回転ヘラケズリ
27	須恵器蓋	-	(1.8)	(鈕径) 2.4	ABFN	灰色	A	鈕～天井部 30%	南比企産 釘頭状鈕 天井部内面墨書・筆ならしか? 天井部外面回転ヘラケズリ 外面口縁部自然釉 内面降灰及び自然釉
28	土師器台付甕	(13.0)	(5.7)	-	ABJN	にぶい赤褐色	B	口縁～胴部 20%	胴部上端外面横位ヘラケズリ
29	土師器甕	-	(5.9)	(7.0)	ABJN	褐色	B	胴～底部片	胴部下端斜位ヘラケズリ 底部外面手持ちヘラケズリ
30	土師器台付甕	(16.0)	(13.4)	-	ABJN	褐色	B	口縁～胴部 20%	胴部上端外面横位ヘラケズリ 胴中部外面斜位ヘラケズリ

部が丸底風～平底風のもの。7は坏蓋模倣坏としてもよいか。10は内面に油煙がみられ、器壁が厚い。20～22は須恵器坏で、底部回転周辺ヘラケズリのもの。21は体部下端にヘラケズリ調整。23は須恵器塊の口縁部片。24は須恵器高台坏。25～27は須恵器蓋。27は内面に筆慣らしとみられる太字の墨書が残る(第174図㉔)。28～30は土師器甕・台付甕であり、ゆるやかな外反から「く」の字状を呈するもの。

重複 SB 11より新しい。

時期 8世紀中～後半(幡羅・下郷遺跡Ⅳ・Ⅴ期、西別府官衙遺跡群4期)

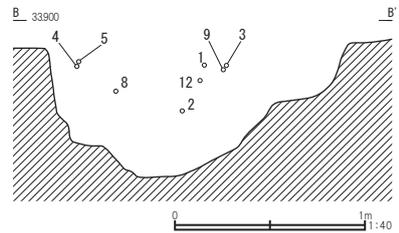
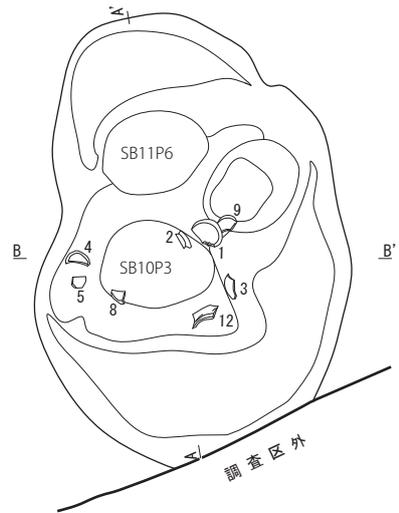
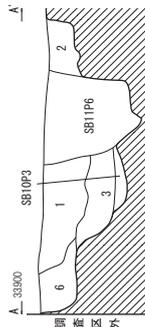
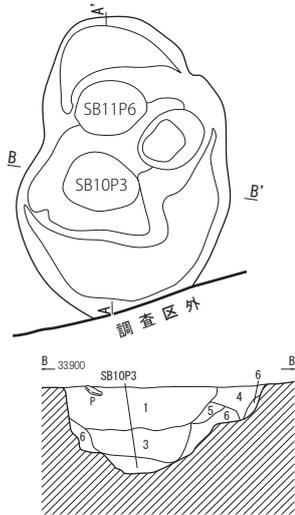
第3号土器廃棄遺構(第111図)

位置 F・G-23グリッドに位置する。

規模 検出範囲で長軸2.09m、短軸1.61m確認面からの深さは0.35mまたは0.57m。

概要 平面形は円形である。出土遺物は上層にほぼ限定されることから、本来の底面は3層上付近と推測される。底面には重複する柱穴のほか円形の窪みがみられるが、明確な情報を見出せないため、本遺構以前の柱穴の可能性を示唆する。覆土は焼土や白色粘土の混入が特徴的である。ブロックを多く含んでいることから、人為的な埋没と考えられる。重複関係はSB 10に切られ、SB 11を切っている。

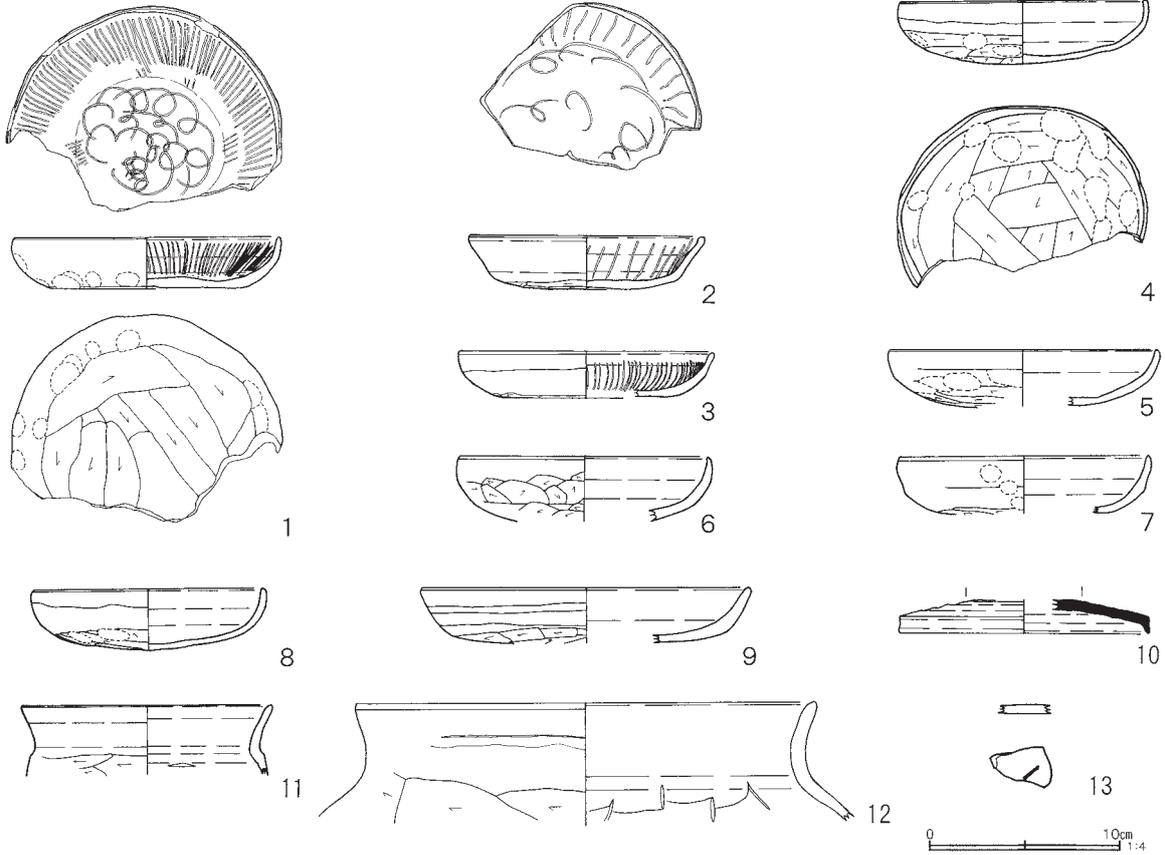
遺物(第112図、第43表) 土師器坏、皿、台付甕、壺、須恵器蓋等が出土した。1～3は内面放射状暗文が施される土師器坏で、1・2は内面底部に螺旋暗文が加わる。2は施文が粗い。この遺物のみ時



SJ3 土層説明

1. 10YR4/4 褐色土 しまり有 白色粒・ロム粒微量含 焼土粒・ブロック多量含 白色粘土含 遺物(土師・須恵)含 炭化物少量含
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 しまり有 白色粒 ロム粒微量含 橙色粒微量含
3. 10YR3/4 暗褐色土 しまり弱 ロムブロック含 遺物包含
4. 10YR4/4 褐色土 しまり有 白色粒・ロム粒・ロムブロック・焼土粒・焼土ブロック含
5. 10YR3/3 暗褐色土 しまり有 白色粒微量含 ロム粒・ロムブロック含 焼土粒少量含
6. 10YR5/6 黄褐色土 しまり弱 白色粒微量含

第111図 第3号土器廃棄遺構



第112図 第3号土器廃棄遺構出土遺物

第 43 表 第 3 号土器廃棄遺構出土遺物観察表

No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	土師器坏	14.0	2.7	10.3	ABJN	橙色	A	70%	底部外面手持ちヘラケズリ 口辺部外面指頭痕 体部内面放射状暗文 底部内面螺旋状暗文 胎土マーブル
2	土師器坏	(12.2)	(2.9)	-	ABJN	橙色	A	70%	底部外面手持ちヘラケズリ 体部内面放射状暗文 底部内面螺旋状暗文
3	土師器坏	(13.4)	(2.3)	(9.5)	ABJN	橙色	A	30%	底部外面手持ちヘラケズリ 内面放射状暗文
4	土師器坏	12.7	3.3	-	ABJN	橙色	A	60%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ 指頭痕
5	土師器坏	(14.0)	(3.0)	-	ABJN	橙色	A	20%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ 体部外面指頭痕
6	土師器坏	(13.0)	(3.4)	-	ABJN	にぶい黄橙色	B	30%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ
7	土師器坏	(13.0)	(3.0)	-	ABIN	褐色	A	10%	底部外面手持ちヘラケズリ 口辺部～体部外面指頭痕
8	土師器坏	(12.0)	(3.2)	-	ABHJN	橙色	A	30%	底部外面手持ちヘラケズリ 底部外面指頭痕
9	土師器皿	(17.2)	(2.9)	-	ABIN	にぶい 橙色	B	25%	底部外面手持ちヘラケズリ 器壁厚い
10	須恵器蓋	(13.0)	(1.7)	-	ABFN	灰色	A	20%	南比企産 天井部外面回転ヘラケズリ 笠型
11	土師器台付甕	(13.0)	(3.7)	-	ABJN	褐色	B	口縁～頸部 20%	胸部上端外面横位ヘラケズリ
12	土師器壺	(24.0)	(6.2)	-	ABJN	橙色	A	口縁～頸部 20%	胸部上端外面横位ヘラケズリ
13	土師器片	-	-	-	ABJN	にぶい褐色	A	底部片	内面墨痕

期が下るため、混入とみられる。4～8は北武蔵型の土師器坏で、底部が丸底風から平底風のものである。9は厚手で口径が広く扁平な形状であることから皿とした。10は須恵器蓋。11は土師器台付甕の口縁部片で「く」字状に開く。12は土師器壺の口縁部片である。13は土師器片で線状の墨書がみられた。

重複 S B 11 より古い。S B 10 より新しい。

時期 8世紀中～後半（幡羅・下郷遺跡Ⅳ・Ⅴ期、西別府官衙遺跡群4期）

第 4 号土器廃棄遺構（第 113 図）

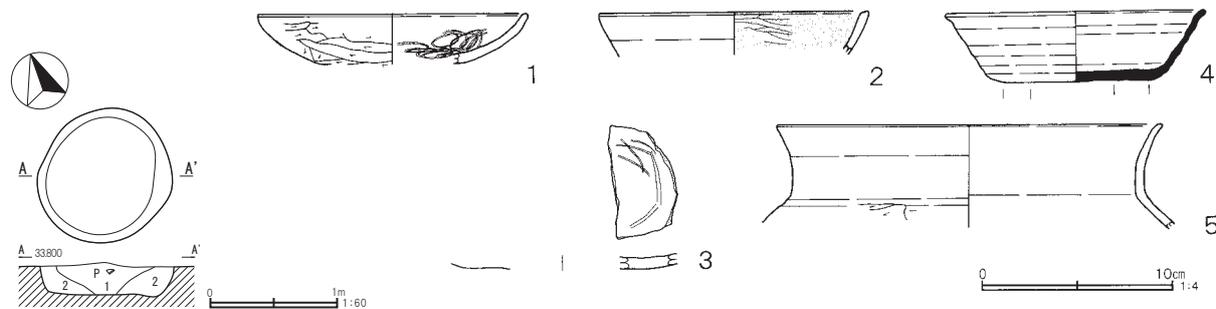
位置 F -23・24、G -23・24 グリッドに位置する。

規模 長軸 1.07 m、短軸 1.06 m 確認面からの深さは 0.23 m。

概要 土器廃棄遺構群のほぼ中央に位置する。平面形は円形である。掘り込みが浅く、規模が小さい点で、これ以外の土器廃棄遺構と異なっている。また、覆土中の焼土や白色粘土の混入は類似するが、特に白色粘土が多量に含まれていたことは特徴的であった。人為的な埋没と考えられる。

遺物（第 113 図、第 44 表） 土師器皿、坏、台付甕、須恵器坏等が出土した。1は土師器皿で内面底部～体部にかけて螺旋暗文が施されている。底部は丸底風を呈し、扁平な形状である。混入した遺物か。2は内黒処理がなされた土師器坏の口縁部片で、流れ込みとみられる。3は土師器坏の底部片で、内面に僅かに墨書があり、丸囲いに「大」か。4は須恵器坏。底部は周辺ヘラケズリが施されている。5は土師器台付甕の口縁部片で、「コ」字形状への移行段階のもの。

時期 8世紀末～9世紀前半（幡羅・下郷遺跡Ⅵ期、西別府官衙遺跡群4・5期）

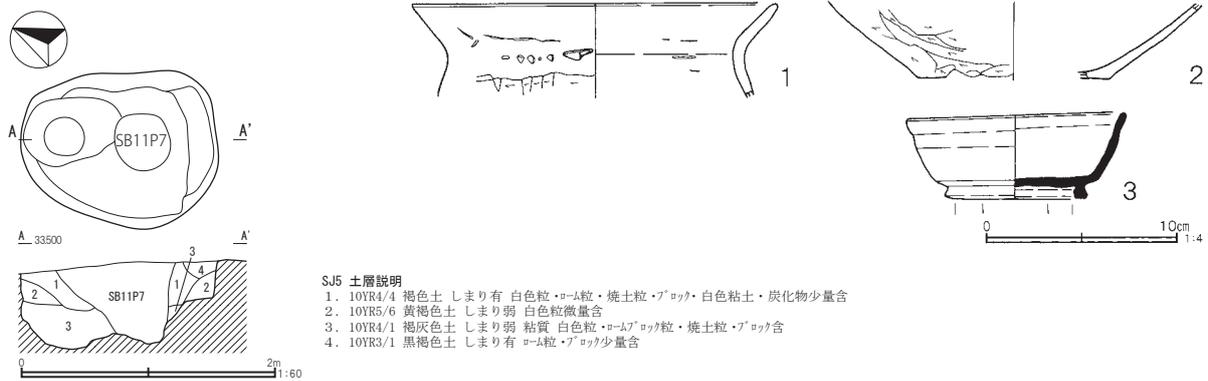


SJ4 土層説明
 1. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり有 白色粘土・橙黄色粘土・橙黄色粘土多量含
 2. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 白色粒・焼土粒微量含

第 113 図 第 4 号土器廃棄遺構、同出土遺物

第 44 表 第 4 号土器廃棄遺構出土遺物観察表

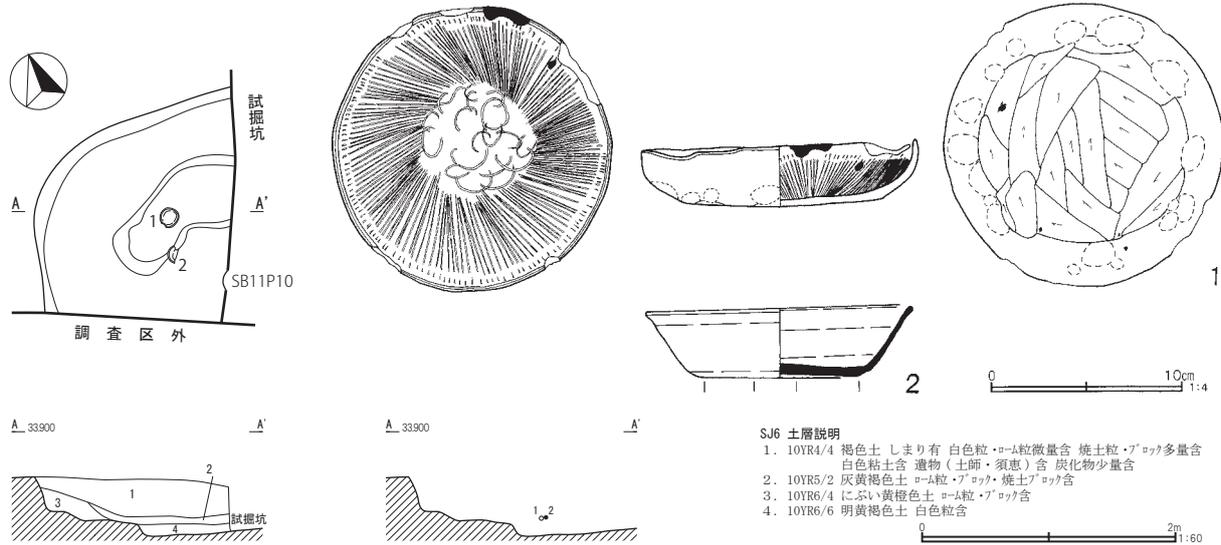
No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	土師器皿	(14.0)	(2.6)	-	ABIN	褐色	A	10%	口縁部～底部外面手持ちヘラケズリ 内面螺旋状暗文 外面ミガキ
2	土師器坏	(14.0)	(2.3)	-	AB	外・黄褐色 内・黒色	A	口縁部片	内面黒色処理 内外面ヘラミガキ
3	土師器坏	-	(0.8)	-	ABIJN	にぶい赤褐色	A	底部片	底部内面螺旋状暗文 墨書「大」?
4	須恵器坏	(13.6)	(3.6)	(8.0)	ABEN	外・青灰色 内・灰褐色	A	20%	底部外面周辺回転ヘラケズリ
5	土師器台付甕	(20.0)	(5.4)	-	ABIJN	にぶい赤褐色	B	口縁～頸部 10%	胴部上端外面横位ヘラケズリ



第 114 図 第 5 号土器廃棄遺構、同出土遺物

第 45 表 第 5 号土器廃棄遺構出土遺物観察表

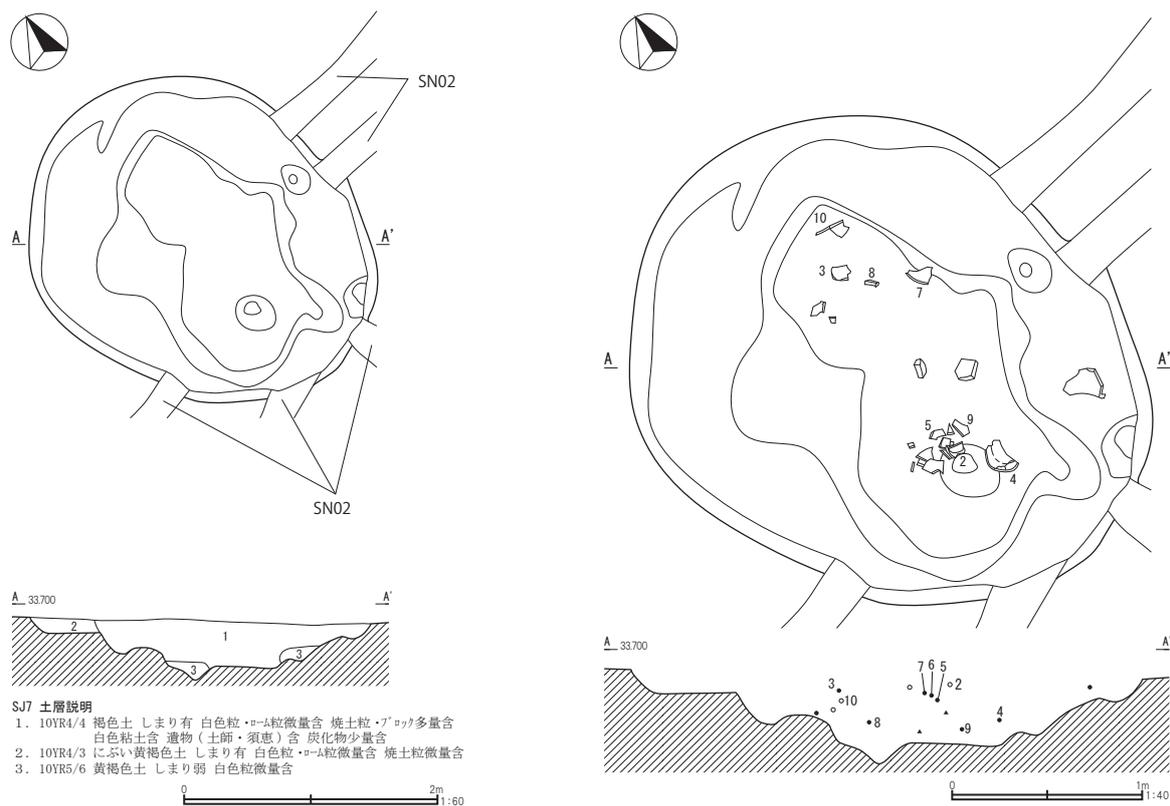
No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	土師器甕	(19.0)	(4.9)	-	ABIJN	にぶい赤褐色	A	口縁～頸部 20%	胴部上端外面横位ヘラケズリ
2	土師器壺	-	(4.0)	(10.0)	ABIJN	橙色	A	胴～底部片	胴部下端斜位・横位ヘラケズリ 底部外面手持ちヘラケズリ
3	須恵器高台坏	11.4	4.4	(高台径) 7.3	ABFN	灰白色	A	70%	南比企産 底部外面周辺回転ヘラケズリ



第 115 図 第 6 号土器廃棄遺構、同出土遺物

第 46 表 第 6 号土器廃棄遺構出土遺物観察表

No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	土師器坏	14.2	3.1	-	ABIJN	橙色	A	100%	口縁部～体部内面油煙付着 内面放射状暗文 内面螺旋状暗文 底部外面手持ちヘラケズリ 体部外面指頭痕 胎土マーブル 灯明皿
2	須恵器坏	13.8	3.6	8.1	ABFIJN	灰白色	A	90%	南比企産 底部外面周辺回転ヘラケズリ



第116図 第7号土器廃棄遺構

第5号土器廃棄遺構(第114図)

位置 F-24グリッドに位置する。

規模 長軸1.58m、短軸1.24m確認面からの深さは0.32mまたは0.64m。

概要 平面形は楕円形である。底面にはSB11の柱穴のほかに円形の窪みがみられるが、明確な情報を見出せないため、本遺構以前の柱穴である可能性を示唆する。覆土は焼土や白色粘土の混入が特徴的である。ブロックを多く含むことから、人為的な埋没と考えられる。重複関係はSB11に切られる。

遺物(第114図、第45表) 土師器甕、壺、須恵器高台坏等が出土した。1は土師器甕の口縁部片で「く」字状を呈する。2は土師器壺であり、球胴形状となるものである。3は南比企産の須恵器高台坏で底部外面に周辺ヘラケズリが施されている。

重複 SB11より古い。

時期 8世紀前半(幡羅・下郷遺跡Ⅲ期、西別府官衙遺跡群3期)

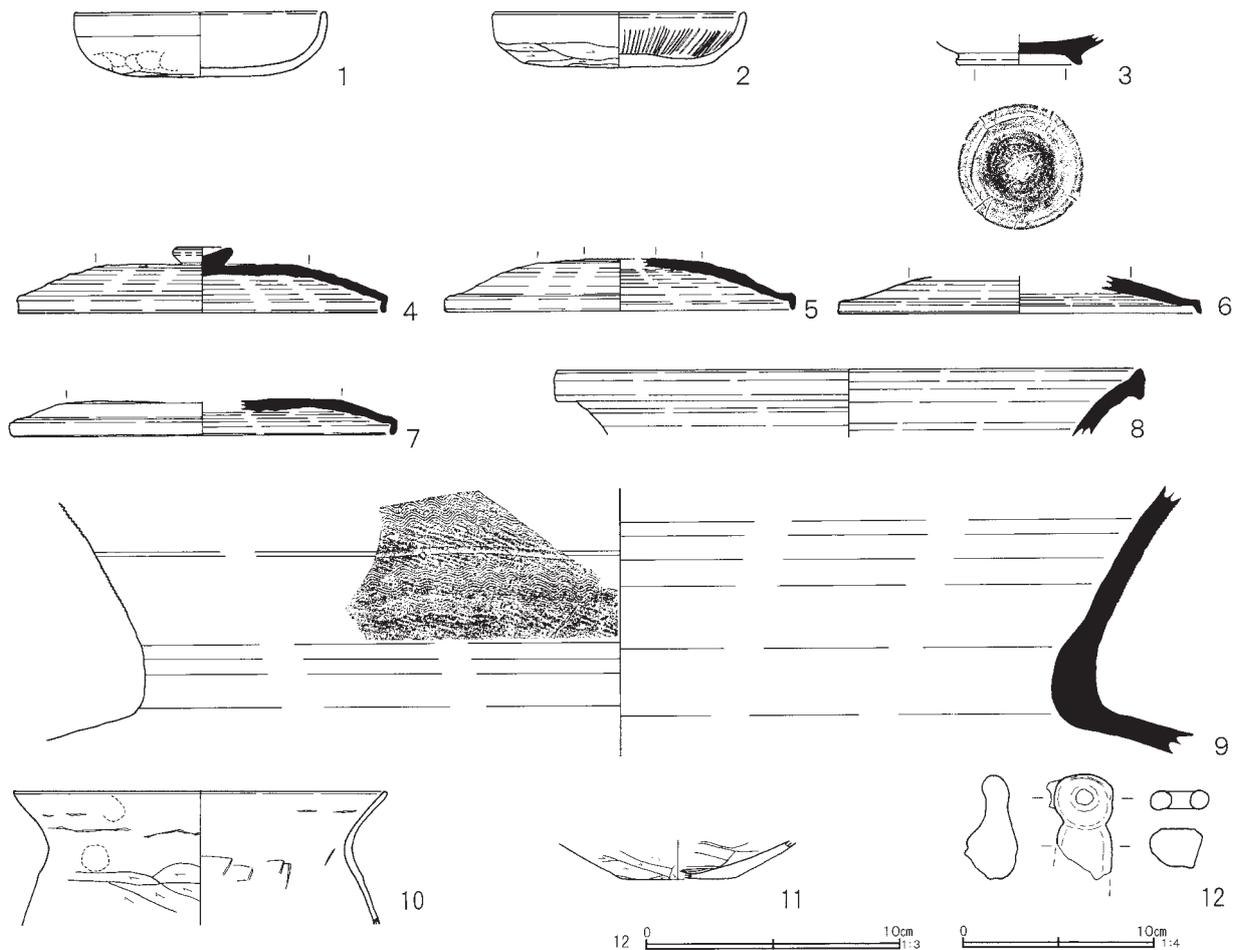
第6号土器廃棄遺構(第115図)

位置 G-24グリッドに位置する。

規模 検出範囲で長軸1.89m、短軸1.56m確認面からの深さは0.35m。

概要 東側が試掘坑・南側が調査区外となるため、全容は不明である。覆土は焼土や白色粘土の混入が特徴的である。ブロックを多く含んでいることから、人為的な埋没と考えられる。重複関係はSB11に切られている。

遺物(第115図、第46表) 土師器坏、須恵器坏等が出土した。1は土師器坏で内面に放射暗文と螺旋



第117図 第7号土器廃棄遺構出土遺物

第47表 第7号土器廃棄遺構出土遺物観察表

No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	土師器杯	(13.0)	(3.4)	-	ABJN	橙色	B	30%	体部外面指頭痕 底部外面手持ちヘラケズリ
2	土師器杯	(12.3)	(2.7)	-	ABHJN	橙色	A	20%	内面放射状暗文 体部～底部外面手持ちヘラケズリ
3	須恵器高台杯	-	(1.5)	(高台径) 6.4	ABFN	にぶい橙色	B	体～脚部 100%	南比企産 底部外面周辺ヘラケズリ 底部外面ヘラ記号「×」
4	須恵器蓋	(19.2)	(3.3)	(鈕径) 3.1	ABFN	灰色	A	60%	南比企産 天井部外面周辺回転ヘラケズリ 弓張型
5	須恵器蓋	(18.2)	(2.7)	-	ABFIJN	灰色	A	30%	南比企産 天井部外面周辺回転ヘラケズリ 笠型
6	須恵器蓋	(18.8)	(1.9)	-	ABFN	灰色	A	20%	南比企産 天井部外面周辺回転ヘラケズリ
7	須恵器蓋	(19.8)	(1.8)	-	ABFIN	灰色	A	30%	南比企産 天井部外面周辺回転ヘラケズリ 弓張型
8	須恵器甕	(30.6)	(3.5)	-	ABN	灰色	A		口縁部片 末野産
9	須恵器甕	-	(14.1)	-	ABN	外・灰白色、青灰色 内・灰色、明青灰色	A		頸～胴部片 南比企産 櫛描波状文2段18条1段外面に降灰
10	土師器甕	(19.5)	(7.0)	-	ABJN	にぶい赤褐色	B	口縁～頸部 30%	口縁部～頸部指頭痕 胴部上端外面斜位ヘラケズリ
11	土師器甕	-	(2.0)	(6.0)	ABJN	にぶい赤褐色	B		胴部下端外面横位・斜位ヘラケズリ 底部外面手持ちヘラケズリ
12	不明鉄製品	長：(4.0)	幅：1.5～ 2.2	厚：1.5					環頭状

暗文が施される。口縁に煤が付着しており、燈明皿としての用途が考えられる。2は南比企産の須恵器杯で、底部外面に周辺ヘラケズリが施されている。

重複 SB 11 より古い。

時期 8世紀中～後半（幡羅・下郷遺跡Ⅳ・Ⅴ期、西別府官衙遺跡群4期）

第7号土器廃棄遺構（第116図）

位置 G・H-26 グリッドに位置する。

規模 長軸 2.9 m 短軸 2.39 m 確認面からの深さは 0.35 m。

概要 平面形は楕円形である。覆土は焼土や白色粘土の混入が特徴的である。ブロックを多く含んでいることから、人為的な埋没と考えられる。重複関係は S N 02 に切られる。土層のうち 2 層は別の遺構の可能性も考えられるが、明らかにしえなかった。

遺物 (第 117 図、第 47 表) 土師器坏、甕、須恵器高台坏、蓋、甕、不明鉄製品等が出土した。1 は北武蔵型の土師器坏で、平底風のものである。2 は内面に放射暗文が施される土師器坏。3 は南比企産の須恵器高台坏で底部にヘラ記号「×」が刻まれている。4～7 は須恵器蓋。4 は坩蓋で釘頭状の鈕である。8 は末野産の須恵器甕口縁部片。9 は南比企産の須恵器大甕の口縁～頸部片。10・11 は土師器甕で、10 は口縁部片で「く」字状を呈する。12 は鉄製品で環頭状の部片である。

重複 S N 02 より古い。

時期 8 世紀中～後半 (幡羅・下郷遺跡Ⅳ・Ⅴ期、西別府官衙遺跡群 4 期)

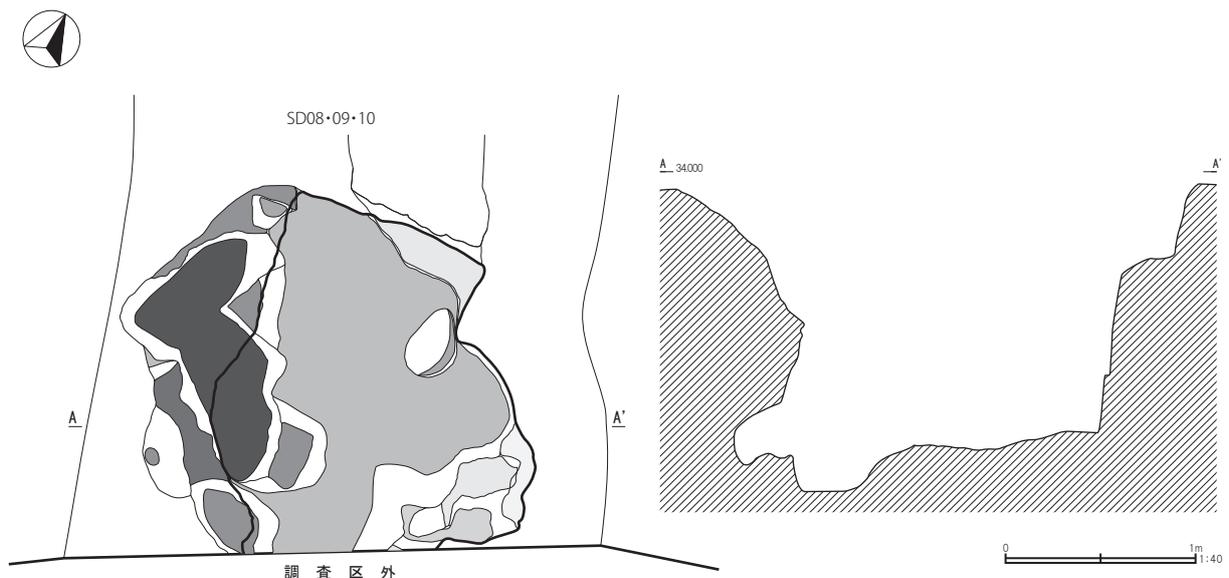
6 土取り遺構

第 1 号土取り遺構 (第 118 図)

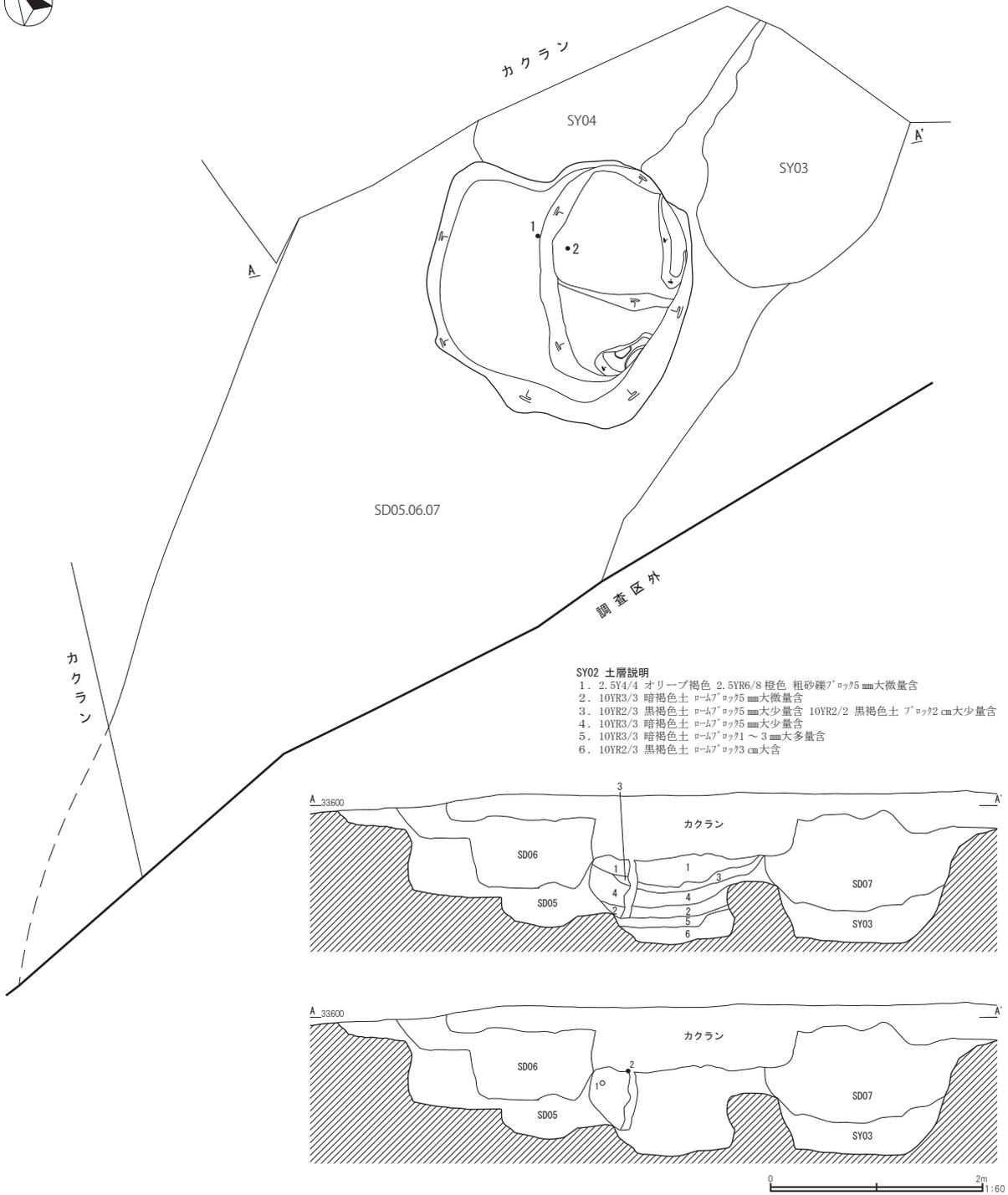
位置 M・N-10 グリッドに位置する。

規模 検出範囲で長径 2.08 m、短径 1.95 m、確認面からの深さは 1.6 m を測る。

概要 S D 08 直下に位置し、溝の掘削坑を利用し形成されたものと思われる。平面形は不整形な楕円形を呈し、南側が調査区外に続く。断面は底面付近の壁がオーバーハングするフラスコ形状を概ね呈している。底面は段上に平場が形成されており、高低を灰色の濃淡で図示した。壁面や天井面に鋤状工具による掘削の痕跡がみられた。オーバーハング箇所は基本土層 XI 層に限られ、意図的に同土壌を採取したと考えられる。覆土は大きいロームブロックが混入する黒褐色～暗褐色土であり一括埋没と考えられ



第 118 図 第 1 号土取り遺構



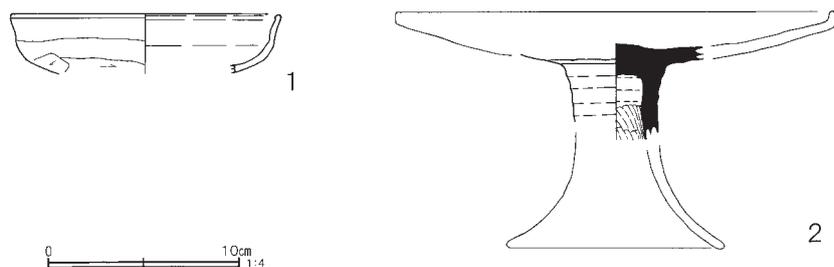
第119図 第2号土取り遺構

る。

遺物 図示しえなかったが、スラグを覆土中より検出している。

重複 SD 08 より新しい。SD 09・10 との切り合い不明。

時期 8世紀中～9世紀代（幡羅・下郷遺跡IV～VII期、西別府官衙遺跡群3～6期）



第 120 図 第 2 号土取り遺構出土遺物

第 48 表 第 2 号土取り遺構出土遺物観察表

No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	土師器坏	(14.0)	(3.1)		- ABIJN	にぶい・橙色	B	20%	底部外面手持ちヘラケズリ
2	須恵器高盤	-	(5.0)		- ABHIJN	灰白色	A	脚部 50%	南比企産

第 2 号土取り遺構（第 119 図）

位置 K-25・26、L-25・26 グリッドに位置する。

規模 検出範囲で長径 2.58 m、短径 2.45 m、遺構遺存面からの深さは 0.82 m を測る。

概要 SD 05～07 内に位置し、遺構の上部は攪乱を受けている。平面形は不整形な隅丸方形を呈する。断面は概ね逆台形だが、東壁は鉛直に掘削される。底面付近のオーバーハング箇所は基本土層 XI 層に限られ、意図的に同土壌を採取したと推測する。覆土はロームブロックが混入する黒褐色～暗褐色土であり一括埋没と考えられる。ただし、1～3 層は本遺構に伴う覆土か明確でないが、本遺構の覆土として取り扱った。本遺構の重複関係は SD 05 を切り、SD 07 に切られる。

遺物（第 120 図、第 48 表） 土師器坏と須恵器高盤が出土した。1 は北武蔵型の土師器坏で、底部は平底風を呈し、ケズリの位置が低い。2 は高盤の底～脚部片で、脚部に透かしの入らない南比企産である。

重複 SY 03、SD 05 より新しく、SD 07 より古い。

時期 8 世紀後半（幡羅・下郷遺跡 IV・V 期、西別府官衙遺跡群 4 期）

第 3 号土取り遺構（第 121 図）

位置 K・L-25 グリッドに位置する。

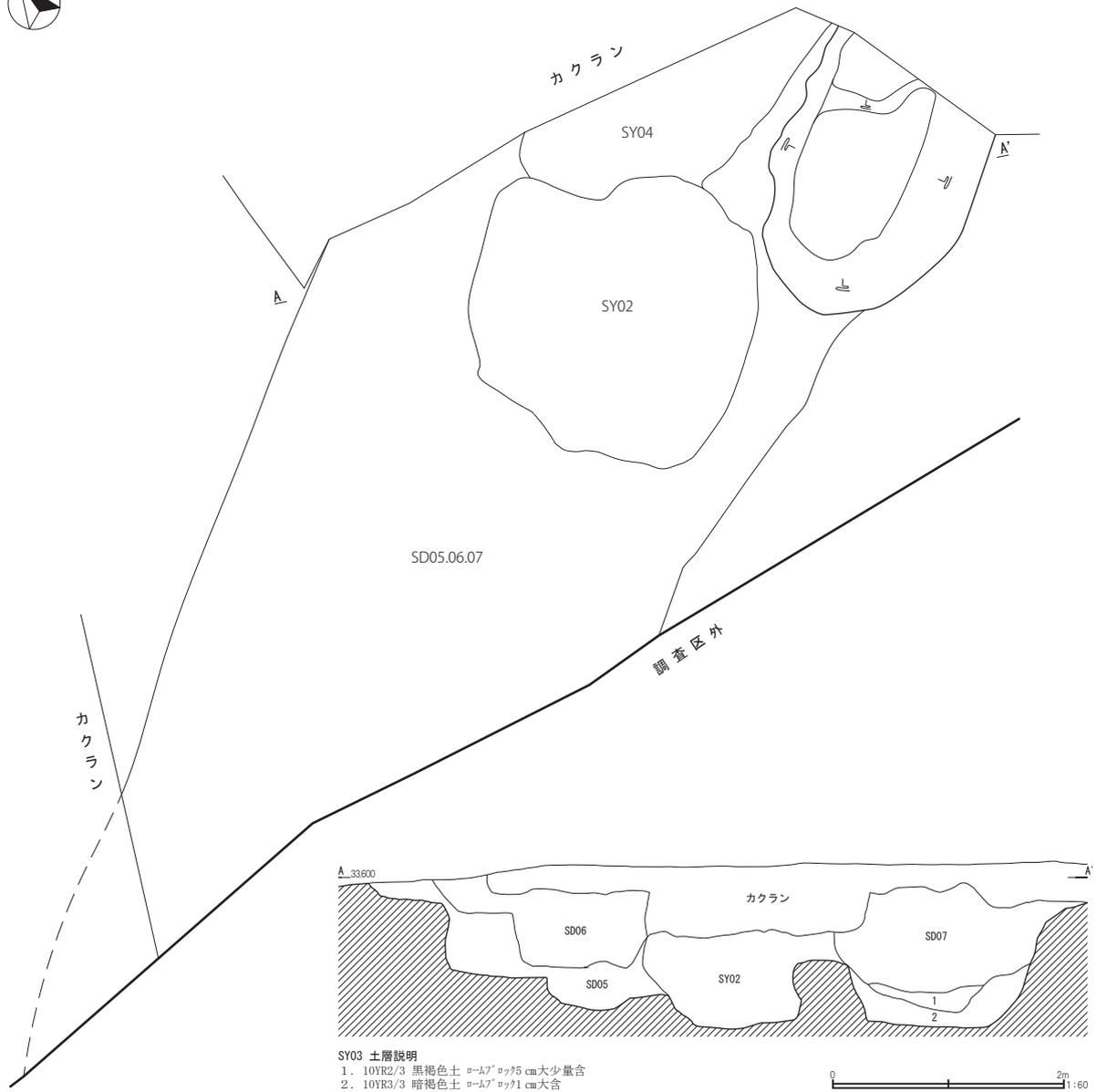
規模 検出範囲で長径 2.24 m、短径 1.75 m、遺構遺存面からの深さは 0.7 m を測る。

概要 SD 07 直下に位置し、遺構の上部は攪乱を受けている。北東側が攪乱で切られるが、遺存箇所から推定すると平面形は楕円形とみられる。断面は逆台形状を呈し、底面は平坦で、北東側で一段落ち込む。底面は基本土層 XI 層までの掘削であり、同土壌を採取するための土坑と判断した。覆土はロームブロックが混入する黒褐色～暗褐色土であり一括埋没と考えられる。本遺構の重複関係は SY 02・04 に切られている。

遺物 遺物は検出されなかった。

重複 SD 07、SY 02 より古い。

時期 8 世紀中頃か。（幡羅・下郷遺跡 IV 期、西別府官衙遺跡群 3・4 期）



第 121 図 第 3 号土取り遺構

第 4 号土取り遺構 (第 122 図)

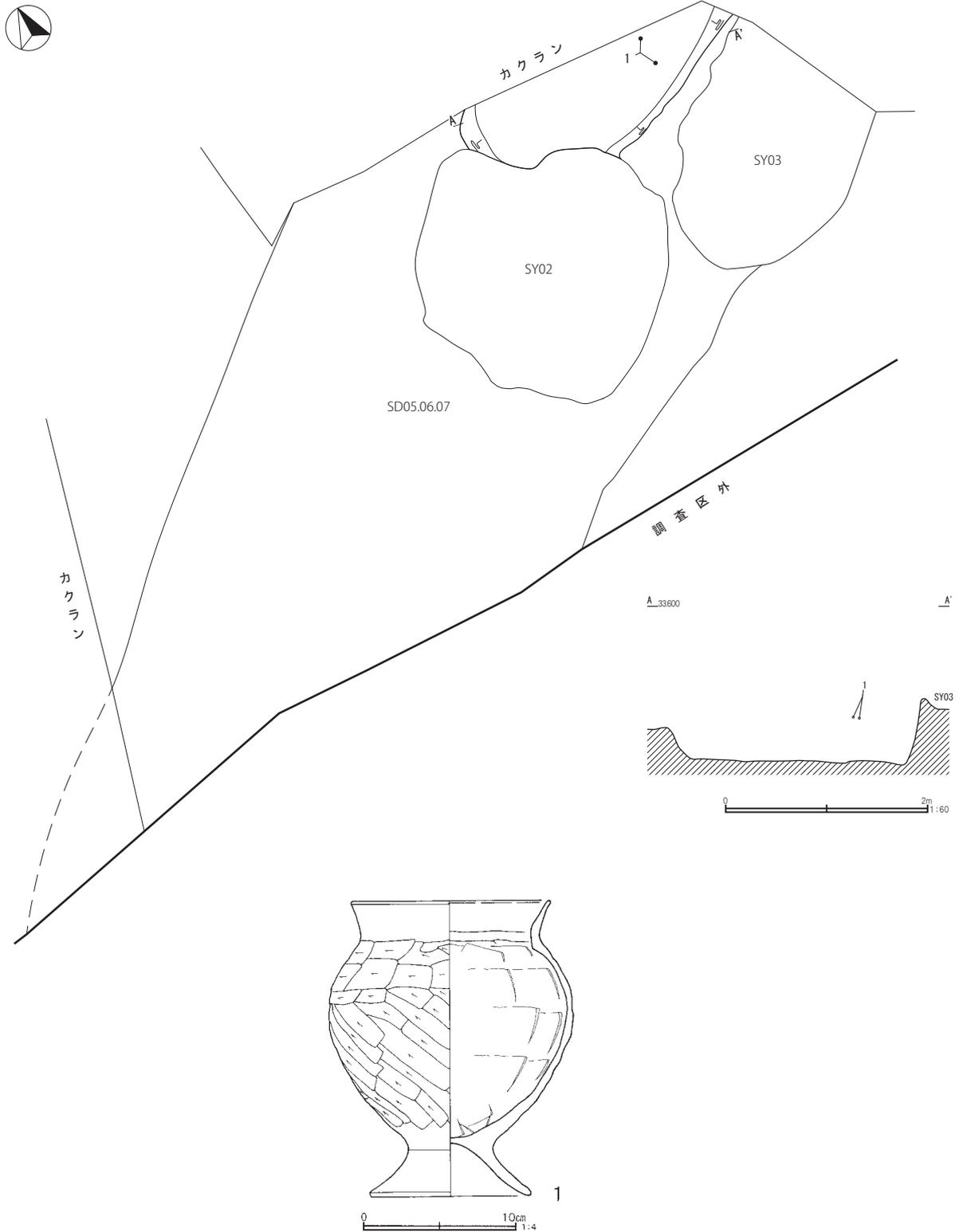
位置 K-25・26 グリッドに位置する。

規模 検出範囲で長径 1.97 m、短径 1.62 m、遺構遺存面からの深さは 0.67 m を測る。

概要 SD05～07 内に位置し、遺構の上部は重複と攪乱のため不明である。北東側が攪乱で切られるが、下場から推定すると平面形は楕円形とみられる。断面はほぼ鉛直に掘削され、底面は平坦である。底面は基本土層 XII 層を軽く掘削しているが、周辺の類似遺構と同様に XI 層を採取するための土坑と判断した。覆土は黒褐～暗褐色土が主体であった。本遺構の重複関係は SY02・03 に切られている。

遺物 (第 122 図、第 49 表) 土師器台付甕を検出した。口縁は外反し、ケズリの位置が高い。

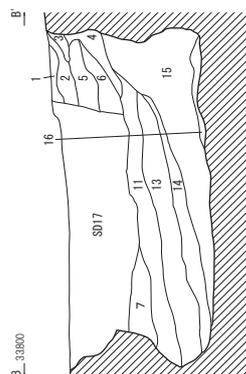
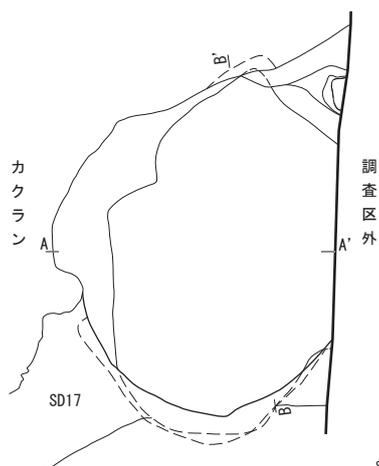
重複 SY02・03 より古い。



第 122 図 第 4 号土取り遺構、同出土遺物

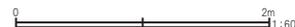
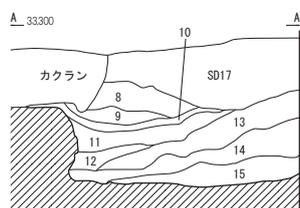
第 49 表 第 4 号土取り遺構出土遺物観察表

No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	土師器台付甕	(13.0)	(4.6)	-	ABUN	外・灰褐色 内・明赤褐色	A	70%	胴部上端外面横位+斜位ヘラケズリ



SY05 土層説明

1. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム⁷ロツ⁷1 cm大微量含 2.5Y7/2 灰黄色⁷ロツ⁷5 mm大少量含 10YR2/2 黒褐色⁷ロツ⁷1 cm大少量含
2. 10YR3/3 暗褐色土 2.5Y7/2 灰黄色⁷ロツ⁷5 mm~3 cm大含 10YR2/2 黒褐色⁷ロツ⁷1 cm大少量含
3. 10YR2/1 黒褐色土 ロ-ム⁷ロツ⁷5 mm大微量含
4. 10YR2/2 黒褐色土 2.5Y7/2 灰黄色⁷ロツ⁷5 mm~2 cm大少量含
5. 10YR3/3 暗褐色土 2.5Y7/2 灰黄色⁷ロツ⁷1~5 cm大少量含む 10YR2/2 黒褐色⁷ロツ⁷1 cm大少量含 X層軽石微量含
6. 10YR2/2 黒褐色土 ロ-ム⁷ロツ⁷5 mm~3 cm大含 2.5Y7/2 灰黄色⁷ロツ⁷5 mm~3 cm大含
7. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-ム⁷ロツ⁷5 mm大含む 10YR2/2 黒褐色⁷ロツ⁷5 mm大少量含
8. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-ム⁷ロツ⁷1~5 cm大少量含 10YR2/2 黒褐色⁷ロツ⁷2~5 cm大含 焼土粒微量含
9. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム⁷ロツ⁷2 cm大含 10YR2/2 黒褐色⁷ロツ⁷1 cm大微量含
10. 10Y3/1 暗褐色土 粘性有
11. 2.5Y7/2 灰黄色砂質土
12. 2.5Y7/2 灰黄色砂質土
13. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム⁷ロツ⁷1 cm大少量含 10YR2/2 黒褐色⁷ロツ⁷1~2 cm大少量含
14. 10YR2/2 暗褐色土 ロ-ム⁷ロツ⁷5 cm大少量含 焼土粒微量含
15. 2.5Y7/3 浅黄色土 ロ-ム⁷ロツ⁷5 mm大微量含 2.5Y7/2 灰黄色⁷ロツ⁷1 cm大少量含 X層軽石1 cm大少量含
16. 10YR2/3 黒褐色土



第 123 図 第 5 号土取り遺構

時期 8 世紀中～後半（幡羅・下郷遺跡Ⅳ・Ⅴ期、西別府官衙遺跡群 3・4 期）

第 5 号土取り遺構（第 123 図）

位置 Q-22・23 グリッドに位置する。

規模 オーバーハング箇所を最大径 3.1 m、確認面からの深さは 1.19 m を測る。

概要 遺構上部の大半が攪乱で破壊され、北側が調査区外であるが、下場から推定すると平面形は楕円形とみられる。断面はほぼ鉛直に掘削され底面付近でオーバーハングする。オーバーハング箇所は基本土層 XI 層に限られ、意図的に同土壌を採取したと推測する。覆土は北東方向からの流し込みとみられる一括埋没か。本遺構の重複関係は SD 17 に切られることは明確であるが、土層のうち 1～3 層及び 5・6 層は別の遺構の可能性はある。

遺物 遺物は検出されなかった。

重複 SD 17 より古い。

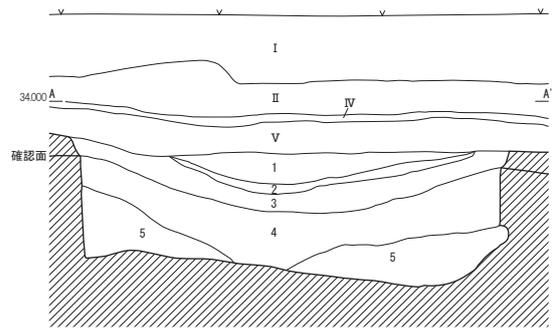
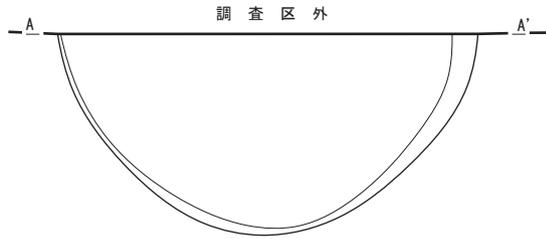
時期 奈良・平安時代か。

第 6 号土取り遺構（第 124 図）

位置 Z-18・19 グリッドに位置する。

規模 確認面からの検出範囲で長径 3.31 m、短径 1.6 m、深さは 0.95 m を測る。

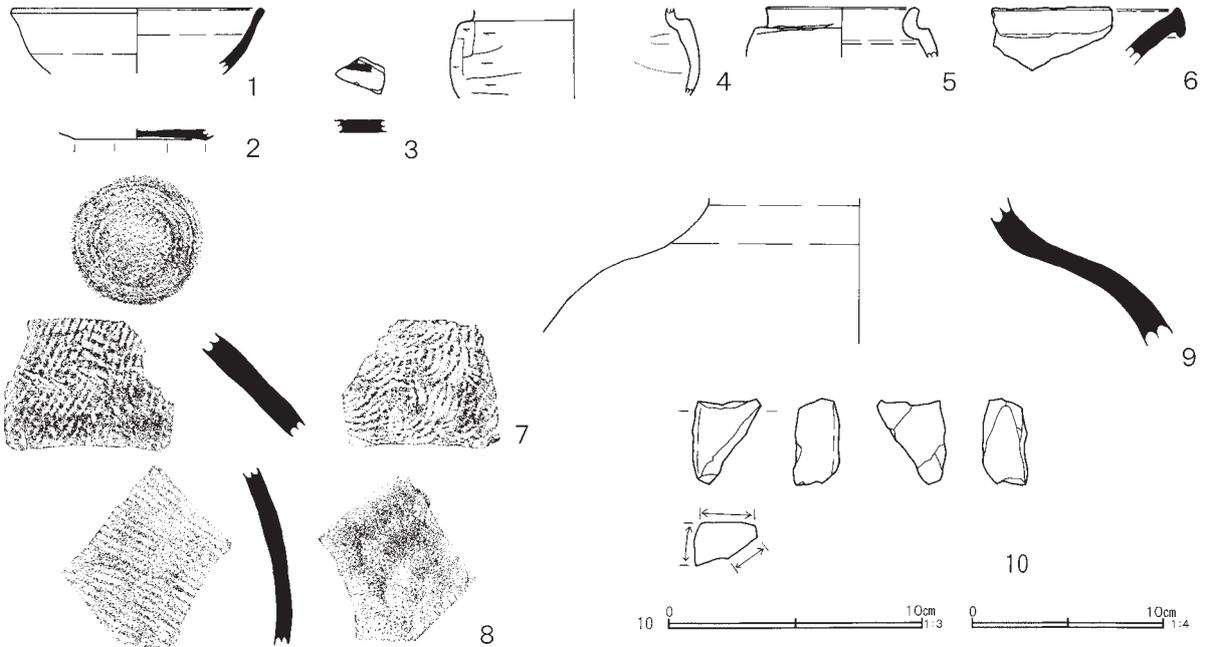
概要 北西側が調査区外であるが、平面形は円形とみられる。断面は上端が軽く開くが、ほぼ鉛直に掘



SY06 土層説明

1. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 しまり有
 2. 10YR6/2 灰黄褐色土 粘土層
 3. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 しまり有 ローム粒・アロック少量含
 4. 10YR6/2 灰黄褐色土 粘土粒・アロック少量含 炭化物含 土師器片含 白色粒含
 5. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ローム粒・アロック多量含 炭化物少量含 土師器片粒含 白色粒含
- ロームアロック2~5cm混在土 10YR7/8 黄橙色土

第124図 第6号土取り遺構



第125図 第6号土取り遺構出土遺物

第50表 第6号土取り遺構出土遺物観察表

No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	須恵器環	(13.0)	(3.4)	-	ABFN	灰色	A	口縁~体部片	南比企産
2	須恵器環	-	(0.6)	6.9	ABIJN	外・にぶい黄色 内・灰黄色	A	底部 100%	末野産 底部外面周辺回転ヘラケズリ ヘラ記号「×」か?
3	須恵器環	-	-	-	ABFN	灰白色	A	底部片	南比企産 底部外面墨書
4	土師器 小型短頸壺	-	(4.6)	-	ABIJN	橙色	A	頸~胴部片	胴部外面横位ヘラケズリ
5	土師器 小型短頸壺	-	(2.5)	-	ABHN	橙色	A	頸~胴部片	
6	須恵器甕	-	-	-	ABN	外・灰色 内・黄灰色	A	口縁部片	
7	須恵器甕	-	-	-	ABEN	外・黄灰色 内・灰色	A	胴部片	南比企産 外面平行タタキ 内面同心円状当て具痕
8	須恵器甕	-	-	-	ABIN	灰黄色	B	胴部片	三龜産 外面平行タタキ 内面無文当て具痕
9	須恵器甕	-	(7.7)	-	ABJN	灰色 外・灰色、褐灰色	A	胴部片	末野産 外面平行タタキ 内面同心円状当て具痕
10	砥石	長：(3.1)	幅：(2.4)	厚：(1.6)	-	灰白色、にぶい黄褐色	-	破片	凝灰岩製

削され底面付近で軽くオーバーハングする。オーバーハング箇所は基本土層XI層に限られ、意図的に同土壌を採取したと推測する。しかし、検出面より直接掘削されている点は、他の土取り遺構と様相が異なる。覆土はレンズ状堆積を呈しており、自然堆積と考えられる。

遺物（第125図、第50表） 須恵器坏、甕、土師器小型短頸壺、砥石等を検出した。また、図示していないが穿孔貝巢穴跡軟質泥岩を検出した。1は南比企産の須恵器坏。2は末野産の須恵器坏底部片で、外面周辺へラケズリ施され、僅かにへラ記号「×」がみられる。3は須恵器坏片で外面に意味不明ながら墨書がみられる。4・5は土師器小型短頸壺である。いずれも厚手のつくりである。6～9は須恵器甕であるが、8は三毳産とみられる。10は凝灰岩製の砥石である。

時期 8世紀後半～9世紀初頭（幡羅・下郷遺跡V・VI期、西別府官衙遺跡群4期）

7 畠跡

第1号畠跡（第126図）

位置 B-12・13

規模 検出長1.85m、幅1.2mを測る。溝単位の幅は0.35m確認面からの深さは0.15m。断面は鍋底形状。主軸方向はN-67°-E。

概要 西から東へ走る。確認面からの掘り込みは浅く、一定していない。第一号溝跡との切り合いは不明瞭であるが、観察から本遺構が切っている。全容は不明だが、現状で二条の溝と二か所窪みを検出した。

遺物 遺物は検出されていない。

重複 SD01より新しい。

時期 時期不明

第2号畠跡（第127図）

位置 G-25・26、H-25・26

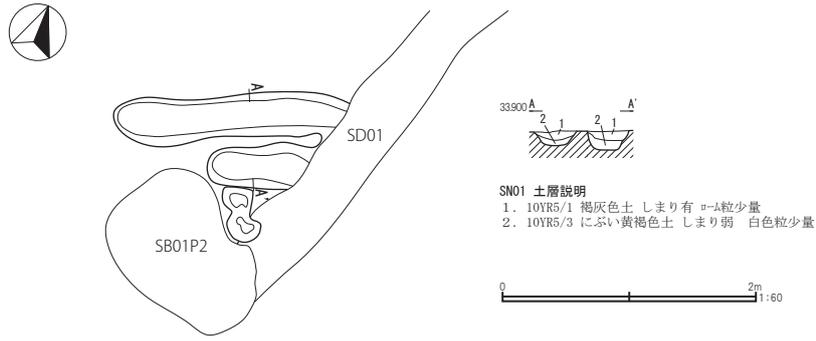
規模 検出長8.5m、幅3.36mを測る。溝単位の幅は0.35m確認面からの深さは0.25m。断面は鍋底形状。主軸方向はN-70°-E。

概要 西から東へ走り、掘り込みは一定ではなかった。全容は不明な部分が多いが、現状で五条の溝と直行する一条の溝を検出し、さらに東へ延びると思われる。他の遺構と重複するが、全て本遺構が切っている。

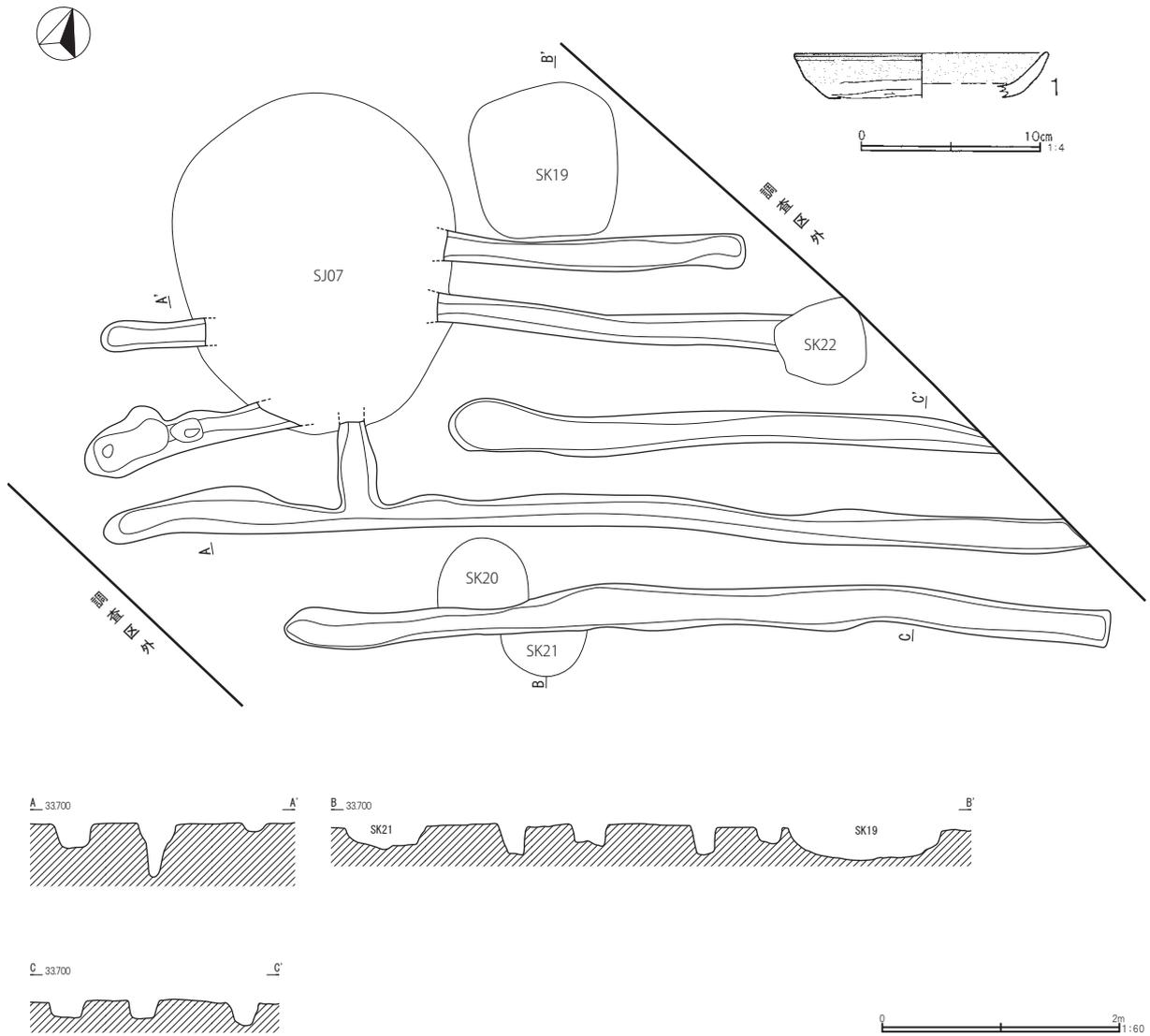
遺物（第127図、第51表） 土師器を1点のみ検出した。厚手で口縁が開き器高が低い皿形状を呈している。流れ込みと考えられる。

重複 SJ07、SK19・20・21・22より新しい。

時期 時期不明



第126図 第1号畠跡



第127図 第2号畠跡、同出土遺物

第51表 第2号畠跡出土遺物観察表

No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	土師器皿	(14.0)	(2.5)	-	ABIN	外・にぶい、橙色 内・褐灰色	B	10%	器壁厚手 全面に漆状塗膜 底部外面手持ちヘラケズリ

8 性格不明遺構

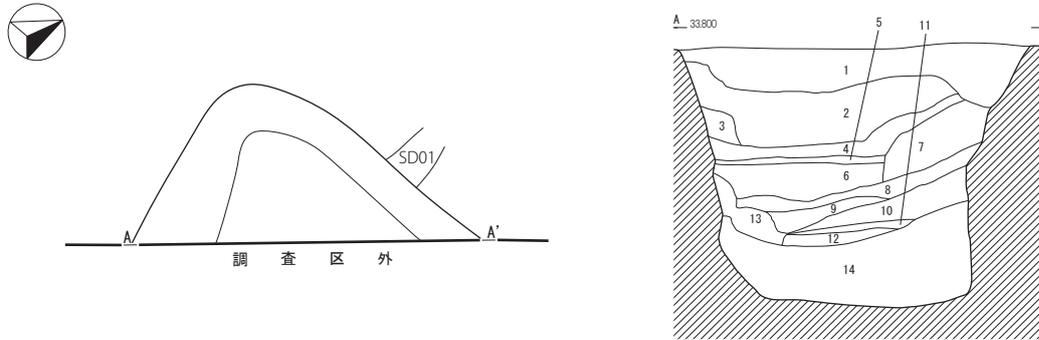
第1号性格不明遺構（第128図）

位置 D-12・13グリッドに位置する。

規模 検出範囲で長軸2.74m短軸1.22m確認面からの壁高は2.06m。主軸方向はN-25°~37°-W。

概要 平面形の全容は東側が調査区外につき不明だが、方形を呈するものと思われる。覆土は最下層が土圧により撓むものの平坦であったとみられ、人為的な埋没と考えられる。それより上層は概ね細かい単位でのレンズ状堆積であり、自然埋没と考えられる。本遺構はSD01と重なるが、切り合い関係が不明瞭であったことから連結している可能性がある。用途とは不明だが、想定するならば井戸や水場に係る遺構とみるのが妥当か。時期について、覆土は古代の他遺構と共通し、遺物は8世紀から9世紀と幅があることから、ここでは限定せずに8世紀から9世紀としておきたい。

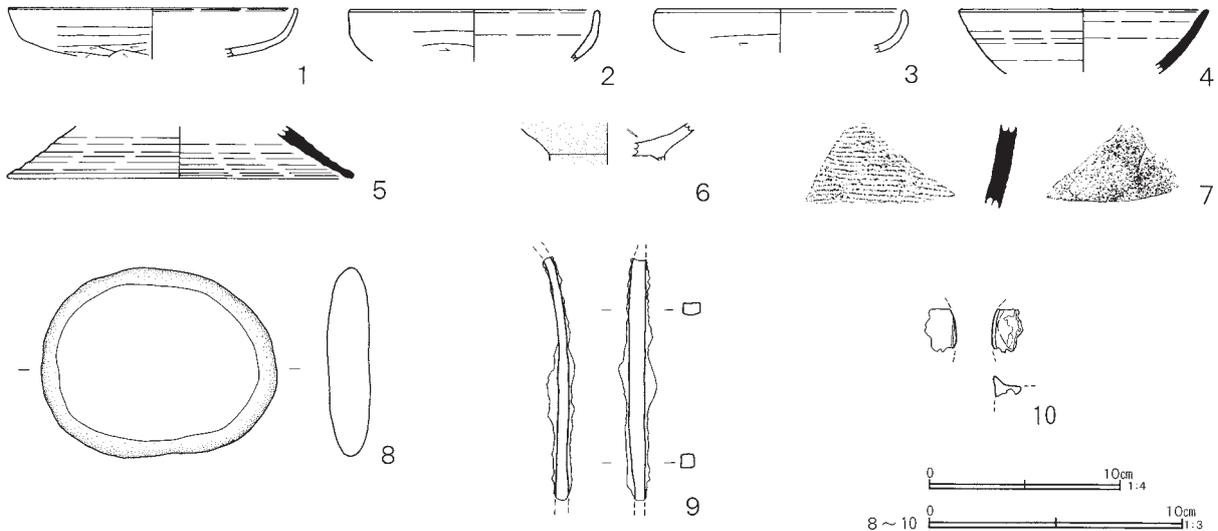
遺物（第129図、第52表） 須恵器杯、蓋、甕と、土師器杯、高台杯、磨石、鉄釘、板状鉄製品等が出



SK01 土層説明

- | | | |
|--|--|---|
| 1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 砂質 砂質粒 白色粒含
砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 | 6. 10YR7/6 明黄褐色土 しまり弱 砂質 砂質粒 白色粒含
砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 | 11. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 砂質 砂質粒 白色粒含
砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 |
| 2. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり有 砂質 砂質粒 白色粒含
砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 | 7. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 砂質 砂質粒 白色粒含
砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 | 12. 10YR7/6 明黄褐色土 しまり弱 砂質 砂質粒 白色粒含
砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 |
| 3. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 砂質 砂質粒 白色粒含
砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 | 8. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 砂質 砂質粒 白色粒含
砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 | 13. 10YR7/6 明黄褐色土 しまり弱
砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 |
| 4. 10YR6/4 にぶい黄褐色土 しまり弱 砂質 砂質粒 白色粒含
砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 | 9. 10YR7/6 明黄褐色土 しまり弱 砂質 砂質粒 白色粒含
砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 | 14. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 砂質 砂質粒 白色粒含
砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 |
| 5. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 砂質 砂質粒 白色粒含
砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 | 10. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 砂質 砂質粒 白色粒含
砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 砂質 | |

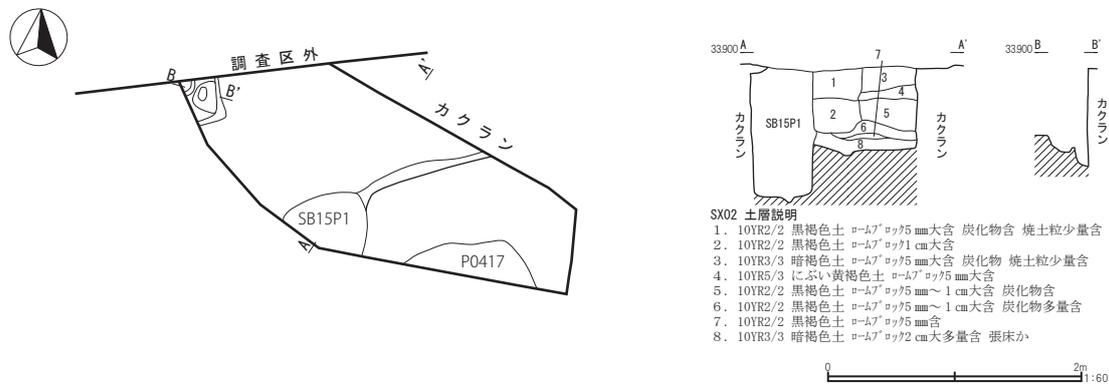
第128図 第1号性格不明遺構



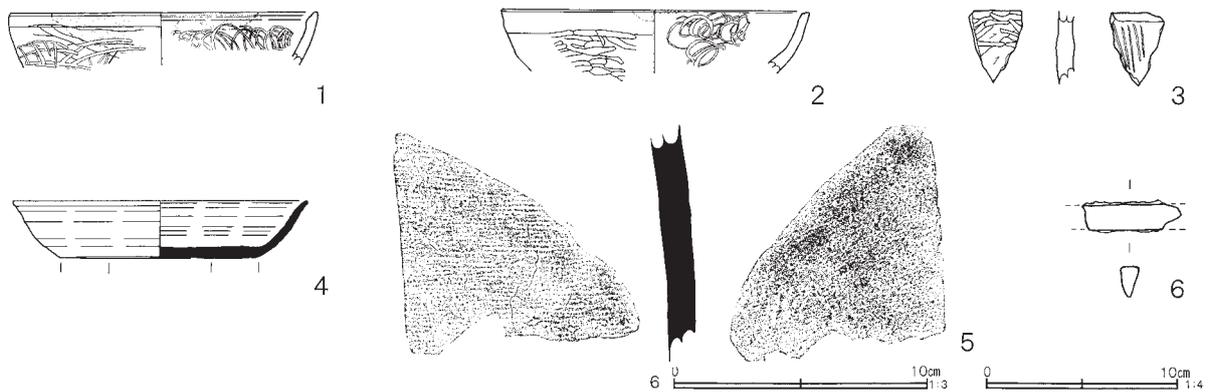
第129図 第1号性格不明遺構出土遺物

第 52 表 第 1 号性格不明遺構出土遺物観察表

No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	土師器坏	(15.0)	(2.5)	-	ABHJN	にぶい褐色 にぶい橙色	A	20%	底部外面手持ちヘラケズリ
2	土師器坏	(13.0)	(2.7)	-	ABIJN	にぶい赤褐色	A	口縁～体部片	底部外面手持ちヘラケズリ
3	土師器坏	(13.0)	(2.3)	-	ABHJN	明赤褐色	A	口縁～体部片	体部外面手持ちヘラケズリ
4	須恵器坏	(13.0)	(3.3)	-	ABFN	灰白色	A	口縁～体部 20%	南比企産
5	須恵器壺 (酸化炭焼成)	(18.0)	(2.8)	-	ABIJN	にぶい黄褐色 灰色	B	口縁部 10%	末野産
6	土師器高台坏	-	(2.2)	(高台径) (6.0)	ABJN	灰褐色 オリブ黒色	A	胴～脚部片	外面黒色処理
7	須恵器甕	-	-	-	ABN	黄灰色	A	胴部片	外面平行タタキ 内面無文当て具痕
8	磨石	長：9.2	幅：7.4	厚：1.6	-	灰白色	-	100%	閃緑岩 偏平 楕円形
9	鉄釘	長：(9.5)	幅：0.5～ 0.7	厚：0.3～0.5					
10	板状鉄製品	長：(1.7)	幅：(1.2)	厚：(0.2～ 0.8)					



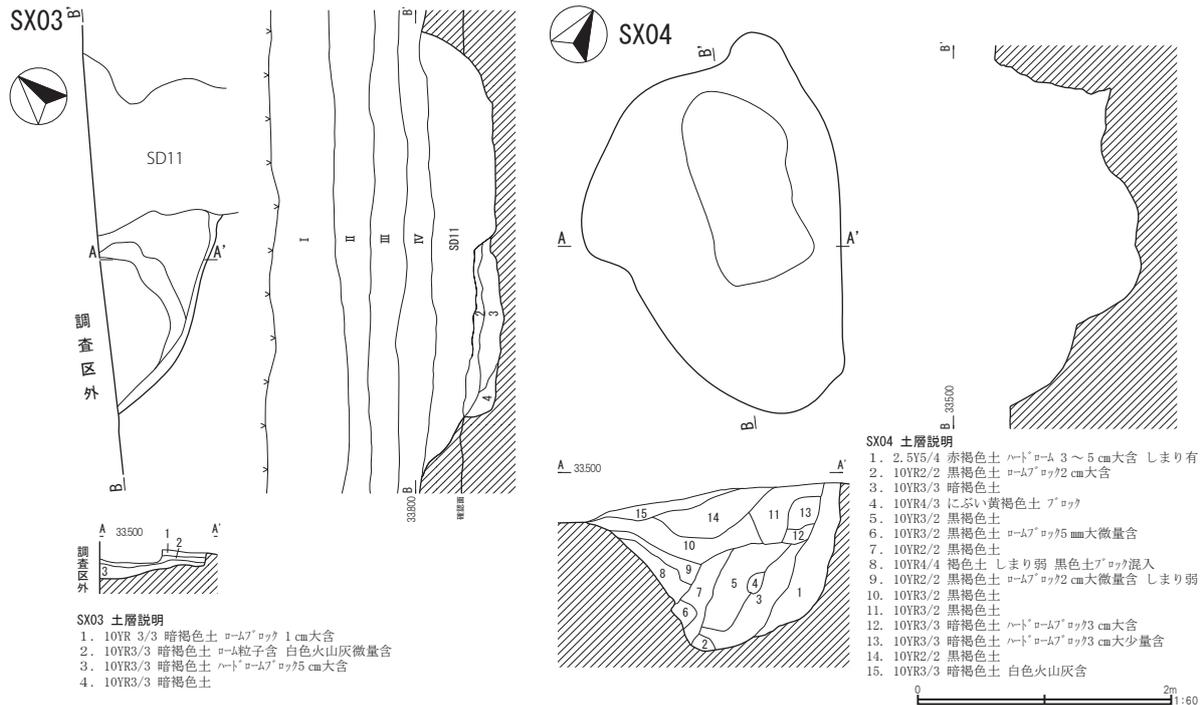
第 130 図 第 2 号性格不明遺構



第 131 図 第 2 号性格不明遺構出土遺物

第 53 表 第 2 号性格不明遺構出土遺物観察表

No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	土師器坏	(16.0)	(2.6)	-	ABIN	橙色、黒褐色	A	口縁部 20%	体部内面螺旋状暗文 体部外面手持ちヘラケズリ 口縁部内・外面油煙 口唇部に沈線巡る
2	土師器境	(16.0)	(3.3)	-	ABIJN	橙色	A	口縁～体部片	体部内面螺旋状暗文 体部外面手持ちヘラケズリ 口唇部に油煙 口唇部内面に沈線巡る 外面ミガキ
3	土師器坏	-	-	-	ABN	明赤褐色	A	底部片	底部内面放射状暗文
4	須恵器坏	(15.4)	(3.0)	(10.4)	ABEFN	灰色	A	70%	南比企産 内面研磨 転用硯? 底部外面周辺ヘラケズリ
5	須恵器甕	-	-	-	ABFN	灰色	A	胴部片	南比企産 外面平行タタキ 内面無文当て具痕
6	刀子	長：(3.8)	幅：1.0	厚：0.1～0.7					



第 132 図 第 3・4 号性格不明遺構

土した。1～3は土師器で北武蔵型坏。底部は丸底～平底風になるものか。4は須恵器坏。5は酸化炎焼成の須恵器高台坩蓋である。6は土師器高台坏で外面が黒色処理されている。7は須恵器甕の胴部片。8は楕円形の扁平な磨石で閃緑岩製である。9は鉄釘。10は鉄製品で板状の不明部片である。

重複 SD 01 と同時期か。

時期 8世紀前半～9世紀代（幡羅・下郷遺跡Ⅲ～Ⅶ期、西別府官衙遺跡群3～6期）

第2号性格不明遺構（第130図）

位置 J・K-16 グリッドに位置する。

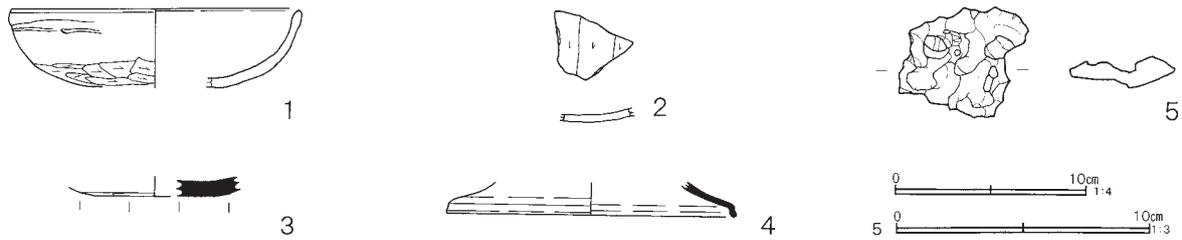
規模 検出範囲で長軸1.22 m短軸1.28 m確認面からの壁高は0.77 m。主軸方向はN-69°-E。

概要 平面形の全容は大半が調査区外につき不明だが、直線的な壁面の立ち上がりと内部にピットを確認しており、竪穴建物の可能性がある。覆土はレンズ状堆積であり、自然埋没と考えられる。本遺構はSB 15及びP 417に切られている。

遺物（第131図、第53表） 須恵器坏、甕と、土師器坏、坩、刀子等が出土した。図示していないが、穿孔貝巢穴跡軟質泥岩を検出している。1～3は土師器で暗文坏・坩である。1・2は内面に螺旋暗文が施される。3は内面に放射暗文。4は南比企産の須恵器坏で底部外面周辺ヘラケズリ調整だが、口径が15.4 cmと大きい。内面は研磨されており、転用硯の可能性もある。5は須恵器甕の胴部片。6は刀子である。

重複 SB 15、P 417より古い。

時期 8世紀前半（幡羅・下郷遺跡Ⅲ・Ⅳ期、西別府官衙遺跡群3期）



第 133 図 第 4 号性格不明遺構出土遺物

第 54 表 第 4 号性格不明遺構出土遺物観察表

No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	土師器坏	(15.0)	(4.1)	-	ABIJN	橙色	A	50%	体部～底部外面手持ちへラケズリ
2	土師器甕	-	-	-	ABIJN	外・にぶい赤褐色 内・明赤褐色	A	胴部片	
3	須恵器坏	-	(1.0)	(7.8)	ABFN	灰白色	B	底部片	南比企産 底部周辺回転へラケズリ
4	須恵器蓋	(15.0)	(1.7)	-	ABFN	灰色	A	口縁部片	南比企産
5	鉄滓	長: 4.3	幅: 3.5～ 4.5	厚: 0.4～1.0					全体的に弱めの磁気反応

第 3 号性格不明遺構 (第 132 図)

位置 P-6 グリッドに位置する。

規模 検出範囲で長軸 1.41 m 短軸 1.01 m 確認面からの壁高は 0.20 m。主軸方向は N-70°-E 向き。

概要 平面形の全容は大半が調査区外及び SD 11 に切られているため不明だが、堅穴状遺構と呼べる形状である。SD 11 の北西箇所ので壁が崩れており、本遺構の掘方の可能性がある。覆土はレンズ状堆積であり、自然埋没と考えられる。

遺物 遺物は検出されなかった。

重複 SD 11 より古い。

時期 8 世紀後半以前 (幡羅・下郷遺跡 V 期以前、西別府官衙遺跡群 4 期以前)

第 4 号性格不明遺構 (第 132 図)

位置 S-15 グリッドに位置する。

規模 検出範囲で長軸 3.05 m 短軸 2.05 m 確認面からの壁高は 1.35 m。主軸方向は N-46°-W 向き。

概要 平面形は不整形な楕円形状である。覆土はかなり入り乱れた断面を示すが、ブロック土の混入も少なく、人為的とも自然な埋没とも言い難い。倒木痕の可能性があるが、遺物が検出されているため図示した。

遺物 (第 133 図、第 54 表) 土師器坏、甕と、須恵器坏、蓋、鉄滓を検出した。1 は土師器の北武蔵型坏で、明瞭な腰があり、底部が丸底風のもの。2 は土師器甕胴部片である。3 は南比企産の須恵器底部片である。4 は須恵器蓋である。5 は鉄滓である。

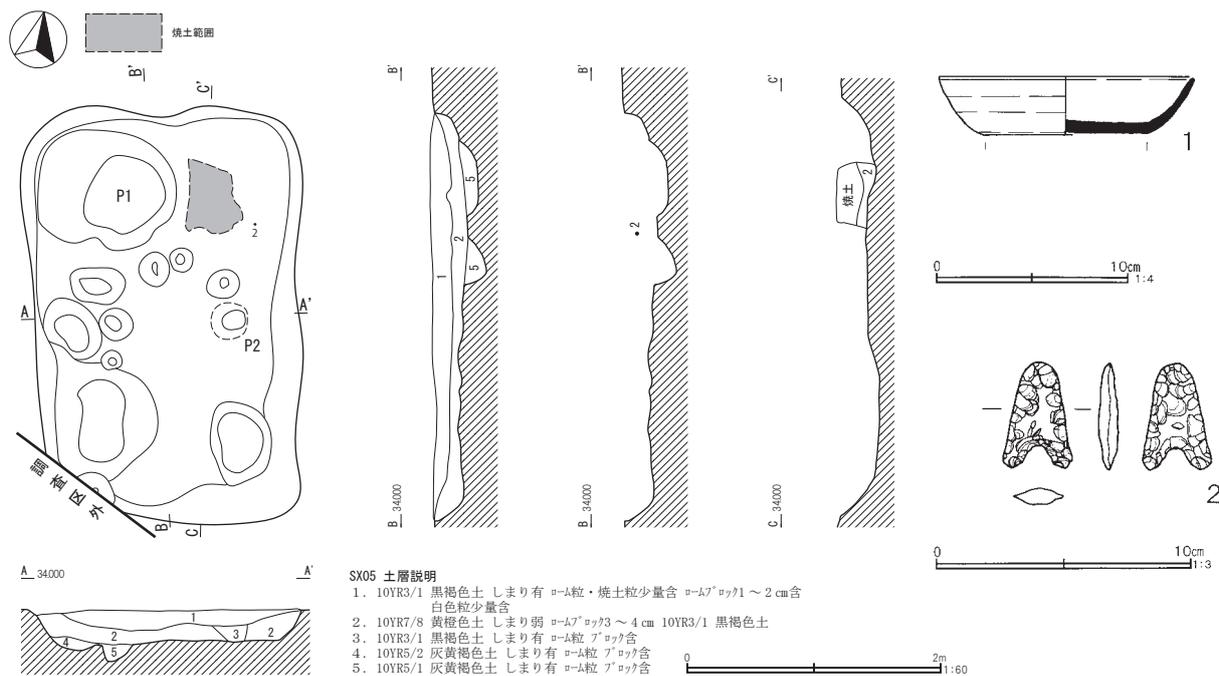
時期 8 世紀前半 (幡羅・下郷遺跡 III・IV 期、西別府官衙遺跡群 3 期)

第 5 号性格不明遺構 (第 134 図)

位置 X・Y-8 グリッドに位置する。

規模 長軸 3.67 m 短軸 2.18 m 確認面からの壁高は 0.22 m。主軸方向は N-14°-W 向き。

概要 平面形は隅丸長方形を呈する、堅穴状遺構である。覆土はレンズ状堆積であり、自然埋没と考



第 134 図 第 5 号性格不明遺構、同出土遺物

第 55 表 第 5 号性格不明遺構出土遺物観察表

No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	須恵器坏	(13.2)	(3.0)	(9.2)	ABFN	灰色	A	20%	南比企産 底部外面全面回転ヘラケズリ 内面研磨 転用硯？
2	石鏃	長：2.8	幅：0.5	厚：0.4	-	黄灰色	-	100%	チャート製

えられる。内部施設としてピット 2 基を検出した。その他ピット状の掘り込みは掘方と考えられる。遺構内北東箇所 1 層中に焼土がまとまって検出された。

遺物 (第 134 図、第 55 表) 須恵器坏、石鏃を検出した。1 は南比企産の須恵器坏で、内面が研磨されており転用硯とみられる。2 はチャート製の石鏃で流れ込みである。

時期 8 世紀中頃 (幡羅・下郷遺跡 IV 期、西別府官衙遺跡群 3・4 期)

第 6 号性格不明遺構 (第 135 図)

位置 Z・AA-11・12 グリッドに位置する。

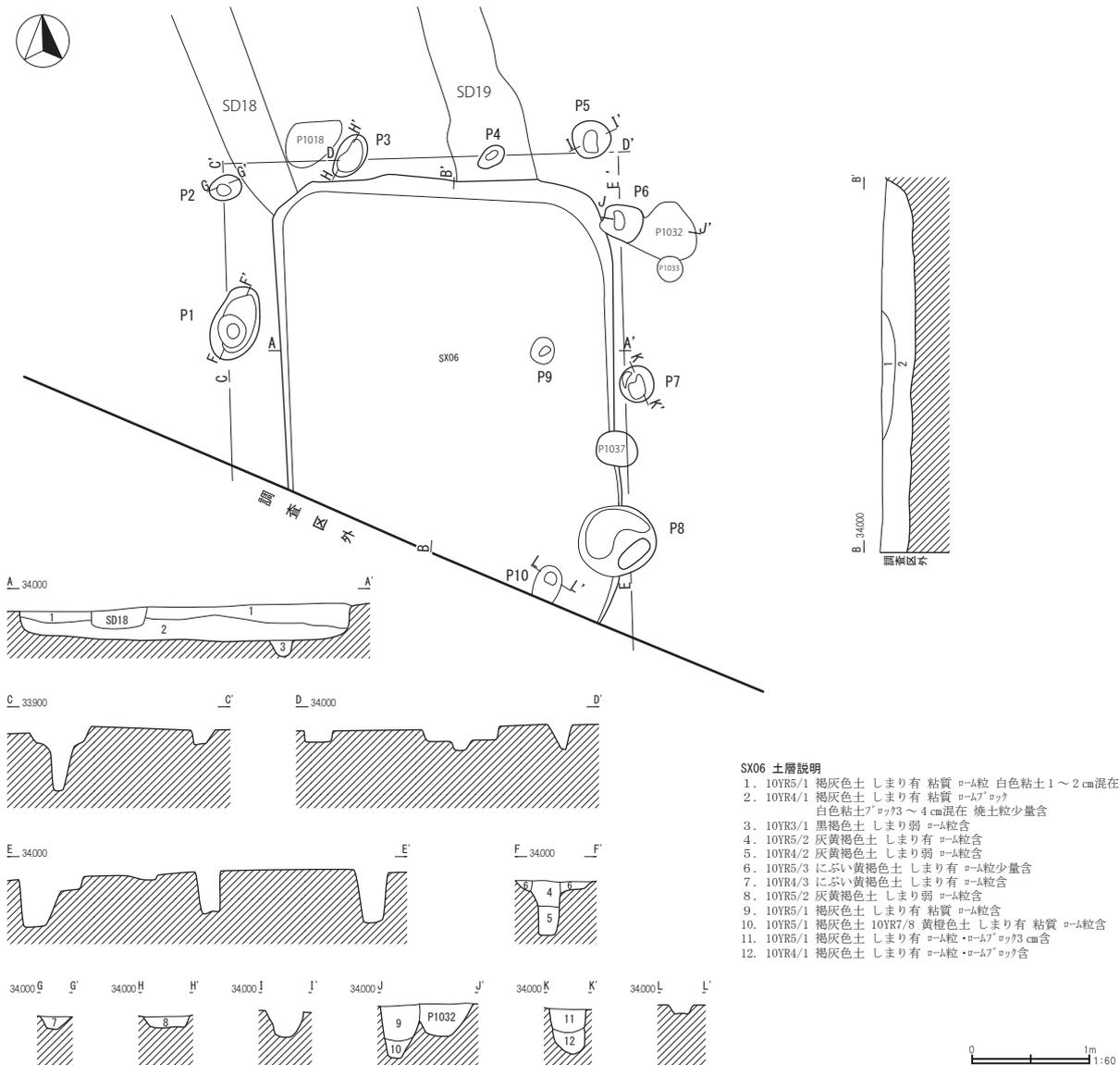
規模 検出範囲で長軸 3.70 m 短軸 2.85 m 確認面からの壁高は 0.27 m。主軸方向は N-2°-W。

概要 平面形は隅丸長方形を呈する竪穴状遺構である。覆土はレンズ状堆積であり、自然埋没と考えられる。内部施設としてピット 2 基を検出した。時期については土師器坏の体部の形状と須恵器坏の底部周辺ヘラケズリの特徴から 8 世紀中頃と判断した。

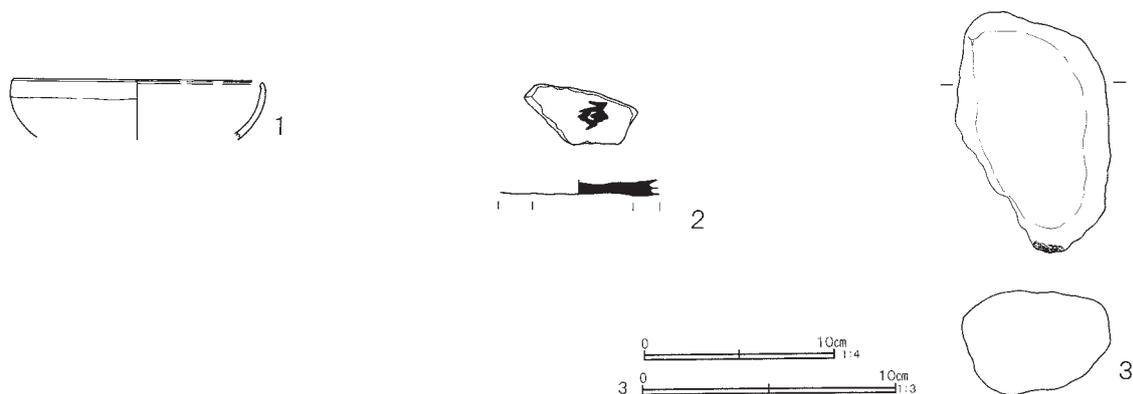
遺物 (第 136 図、第 56 表) 土師器坏、須恵器坏、叩石を検出した。1 北武蔵型のは土師器坏で、体部に腰を持たない。2 は酸化炭焼成の須恵器坏底部片で内面に墨書がみられる。摩耗により明確な字形は不明である (第 174 図㊸)。3 は石器ではない可能性もあるが、砂岩製の叩石として掲載した。

重複 SD 18、P 1032・P 1037 より古い。SD 19 より新しい。

時期 8 世紀中頃 (幡羅・下郷遺跡 IV 期、西別府官衙遺跡群 3・4 期)



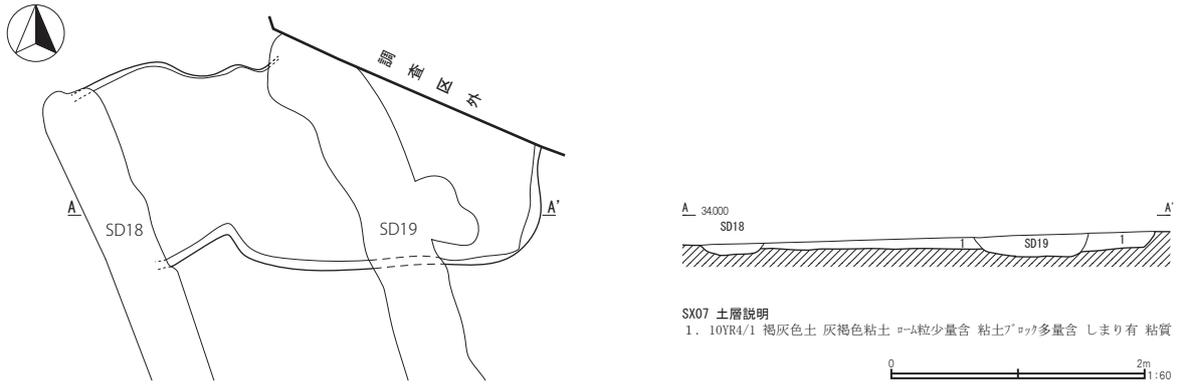
第135図 第6号性格不明遺構



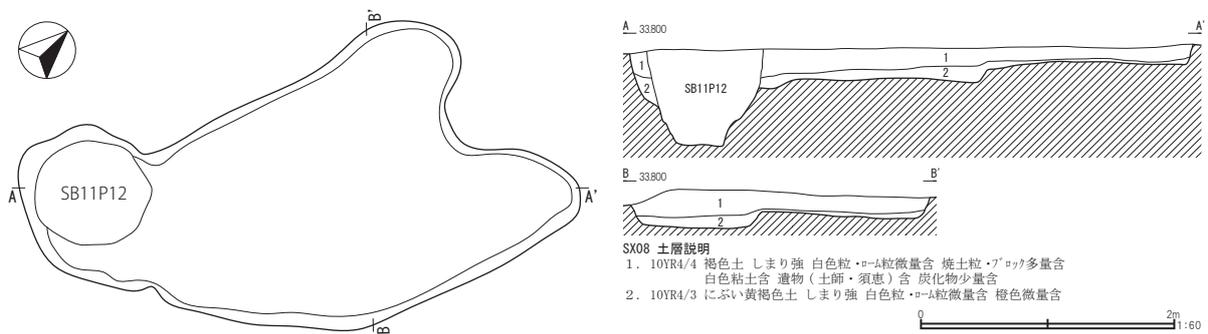
第136図 第6号性格不明遺構出土遺物

第56表 第6号性格不明遺構出土遺物観察表

No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	土師器环	(13.0)	(3.2)	-	ABHIJN	橙色	A	口縁~体部片	
2	須恵器环 (酸化炭焼成)	-	-	-	ABIJN	橙色	A	底部片	底部外面周辺回転ヘラケズリ 底部内面墨書「□」
3	叩石?	長: 9.4	幅: 6.0	厚: 4.0	-	灰白色	-	80%	砂岩製



第137図 第7号性格不明遺構



第138図 第8号性格不明遺構

第7号性格不明遺構（第137図）

位置 Z-11・12 グリッドに位置する。

規模 検出範囲で長軸 3.05 m 短軸 1.48 m 確認面からの壁高は 0.13 m。主軸方向は N-2°-W。

概要 平面形は不整形な長方形を呈する竪穴状遺構である。西側の立ち上がりは SD 18 に切られ不明。重複関係は、SD 19 にも切られている。覆土は単層であり、埋没状況は不明である。

遺物 遺物は検出されなかった。

重複 SD 18、SD 19 より古い。

時期 8世紀中頃（幡羅・下郷遺跡IV期、西別府官衙遺跡群3・4期）

第8号性格不明遺構（第138図）

位置 G-24・25 グリッドに位置する。

規模 検出範囲で長軸 3.5 m 短軸 2.05 m 確認面からの壁高は 0.35 m。主軸方向は N-16°-E。

概要 平面形は北側両端が円形に膨らむ不整形な長方形を呈する竪穴状遺構である。ピットが絡んでいる可能性も考えられる。南側は SB 11 に切られ不明。覆土はレンズ状堆積とみられ、自然埋没と考えられる。

遺物 遺物は検出されなかった。

重複 SB 11 より古い。

時期 8世紀後半以前（幡羅・下郷遺跡V期以前、西別府官衙遺跡群4期以前）

9 土坑（第139～143図、第56表、出土遺物 第144・145図、第57表）

本調査では、用途が想定されるものを除き、計57基の土坑を検出した。調査区の形状が複雑であり全容が不明なため、土坑として取り扱わざるを得なかったものも含めている。土坑の基本的な情報は第56表で示したので、必要と思われる事項のみ記述する。土坑は調査区全体に散在している。平面形状は円形・楕円形・不整楕円形・正方形・台形・長方形等バリエーションがある。時期をみると、不明なものが大半であるが、出土遺物や他の遺構との重複確認から8・9世紀に帰属するものが多い。絶対的な判断とはならないが、覆土が暗褐～黒褐色のものは奈良・平安時代、灰黄褐色のものは中世以降となる傾向が窺えた。SK 02・14・18・22・23・53は柱穴掘方の可能性がある。SK 05の土層下部は別遺構の可能性がある。SK 12・13・19は形状が円～隅丸方形を呈し、規模も比較的大きめで、土器廃棄遺構群の所在箇所位置する。検出遺物がなかったため土坑としたが、覆土の状況から、土器廃棄遺構に関連する遺構とも考えられる。SK 13は覆土に白色粘土及び焼土の混入が著しく、SJ 04と同様の様相である。SK 24は上部に楕円形の薄い掘り込みがあり、下部は方形に掘削されている。SK 27・28・31は形状が隅丸方形を呈し、覆土が暗褐～黒褐色であり、掘削深度も概ね共通する。SK 28はSD 11の直下に位置し、本遺構が切られている。骨片を検出しており、墓塚の可能性がある。本遺構の遺物はSD 11に混在している可能性がある。SK 30・33～36は楕円形状を呈し、覆土が灰黄褐色であり、掘削深度が確認面から10～20cmと特徴が共通し、L-9～M-12グリッドに集中している。SK 37は出土遺物から、竪穴建物跡の可能性がある。SK 44・45・48・49・51は隅丸方形形状を呈し、覆土が灰黄褐～褐灰色であり、規模が大きめで、掘削深度が確認面から10～30cmと特徴が共通し、調査区西南に集中している。以下は、遺物について記述する。

第1号土坑 1は須恵器坏で底部外面周辺ヘラケズリ調整。2は須恵器甕の口縁部片。

第2号土坑 1は厚手の土師器で内外面にミガキが施された暗文系無文皿とした。

第3号土坑 1・2は須恵器坏で底部回転糸切離しのもの。3は須恵器蓋で、外面に意味不明ながら墨書がみられる。4～6は須恵器長頸瓶で、4は体部下端にケズリ調整がみられる。7は土師器甕の底部片。8・9は土錘。10は摩耗・破損著しいが、銅銭である。

第5号土坑 1は南比企産の須恵器大甕の口縁部片。

第6号土坑 1は須恵器坏で底部外面周辺ヘラケズリ調整。

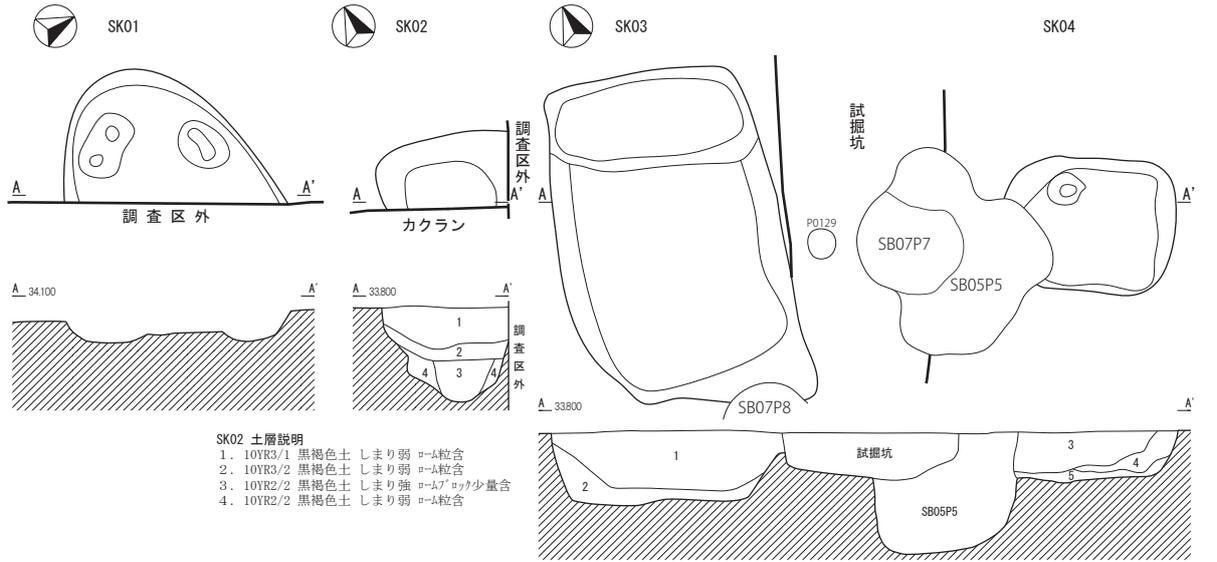
第7号土坑 1は須恵器坏の口縁部片。2は須恵器高台坏の底部片。3は陶器壺の胴部片で渥美焼である。流れ込みと考えられる。

第8号土坑 1は土師器甕の口縁部片でゆるやかに外反する形状である。

第10号土坑 1・2は須恵器坏で底部回転糸切離しのもの。3は須恵器皿の底部片。4は須恵器蓋でリング状のつまみ。5は須恵器甕の口縁部片。6は土師器台付甕の脚部片。7は陶器甕の胴部片で常滑焼である。8・9は土錘。10は弥生土器で、重四角文が施された甕の胴部片か。11は凝灰岩製の剥片である。

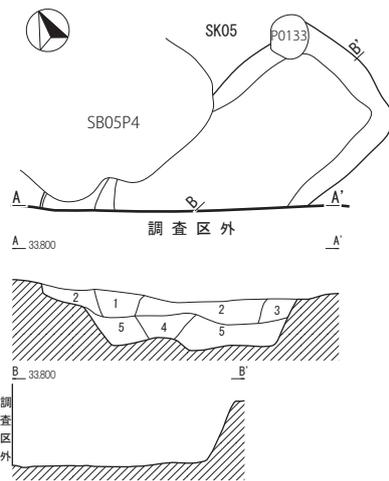
第13号土坑 1は鉄滓で椀形状を呈し、重なりが1つみられた。

第14号土坑 1は南比企産で須恵器坏の底部片。外面周辺ヘラケズリが施されている。

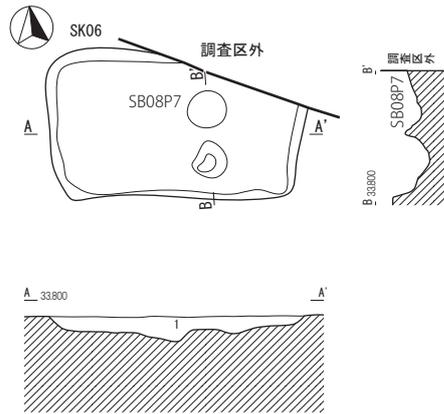


- SK02 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ローム粒含
 2. 10YR3/2 黒褐色土 しまり弱 ローム粒含
 3. 10YR2/2 黒褐色土 しまり強 ローム7'ロツク少量含
 4. 10YR2/2 黒褐色土 しまり弱 ローム粒含

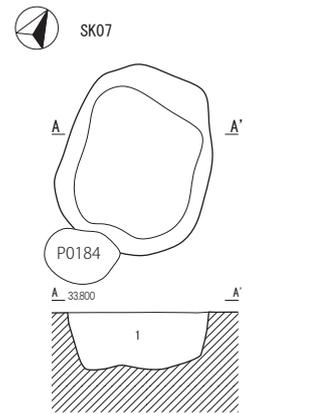
- SK03・04 土層説明**
1. 10YR5/1 褐灰色土 しまり有 粘質 ローム7'ロツク多量含
 2. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり弱 ローム7'ロツク少量含
 3. 10YR5/1 褐灰色土 粘質 しまり弱 ローム7'ロツク 焼土7'ロツク混在
 4. 10YR6/1 褐灰色土 粘質 しまり弱 ローム7'ロツク 焼土7'ロツク混在
 5. 10YR4/4 褐色土 しまり弱



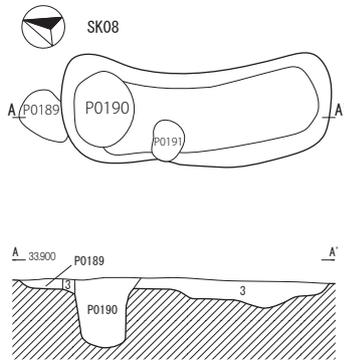
- SK05 土層説明**
1. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまりやや有 ローム7'ロツク多量含 粘土7'ロツク含
 2. 10YR4/1 褐灰色土 しまりやや有 ローム粒・7'ロツク多量含
 3. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまりやや有 ローム粒・7'ロツク多量含
 4. 10YR3/2 黒褐色土 しまり弱 ローム粒・7'ロツク含
 5. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 しまりやや有 ローム粒・7'ロツク少量含



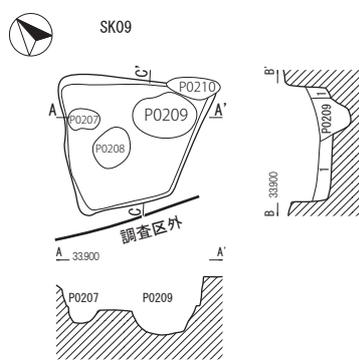
- SK06 土層説明**
1. 10YR5/1 褐灰色土 しまり強 ローム粒 焼土粒少量含



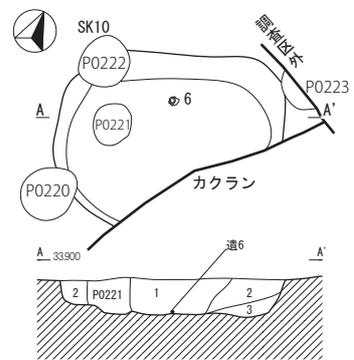
- SK07 土層説明**
1. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 しまり有 ローム粒・7'ロツク 白色粒・橙色片少量含



- SK08 土層説明**
3. 10YR3/1 黒褐色土 しまり有 ローム粒少量含

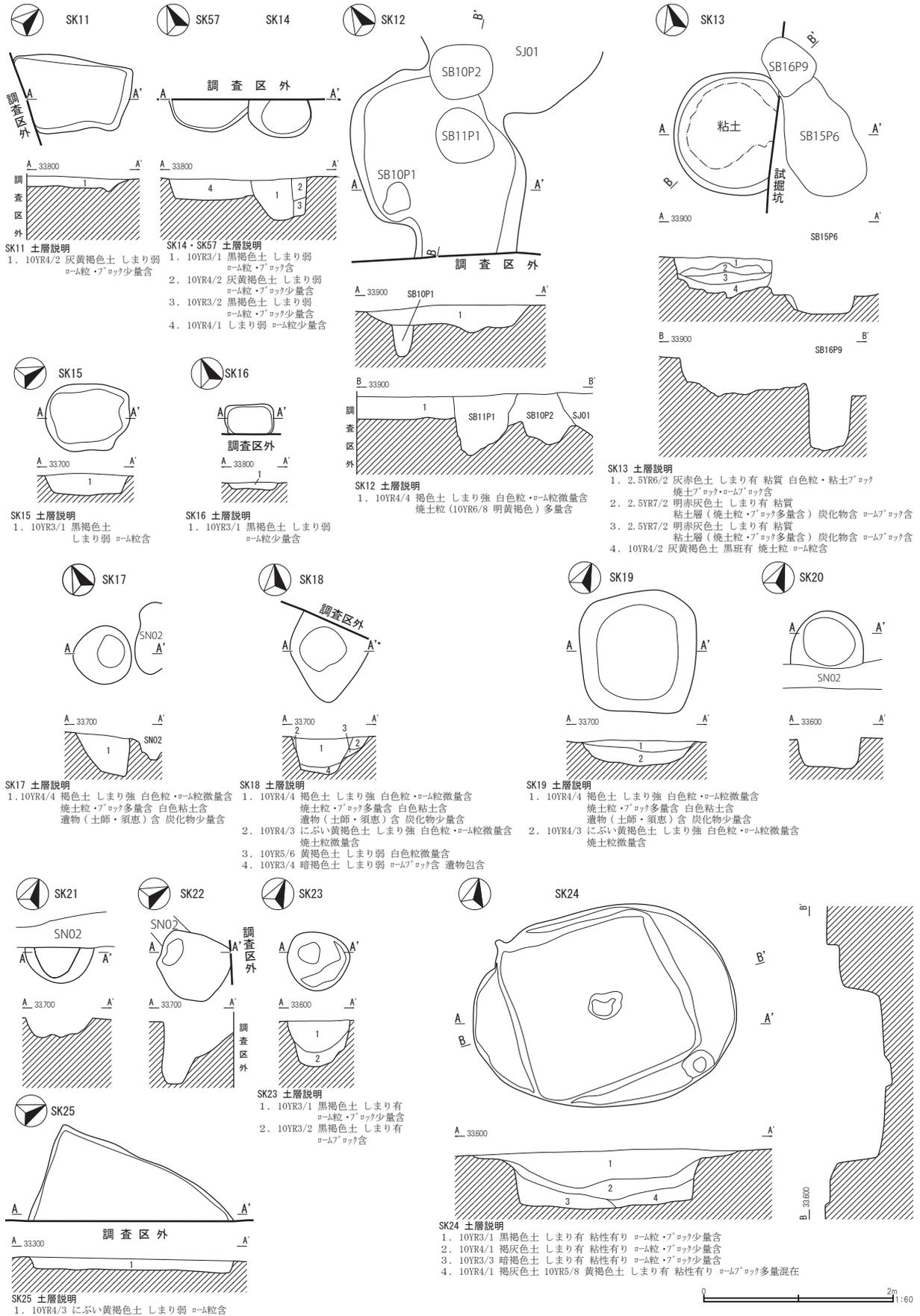


- SK09 土層説明**
1. 10YR5/2 灰黄褐色土 ローム粒・7'ロツク含 焼土7'ロツク含

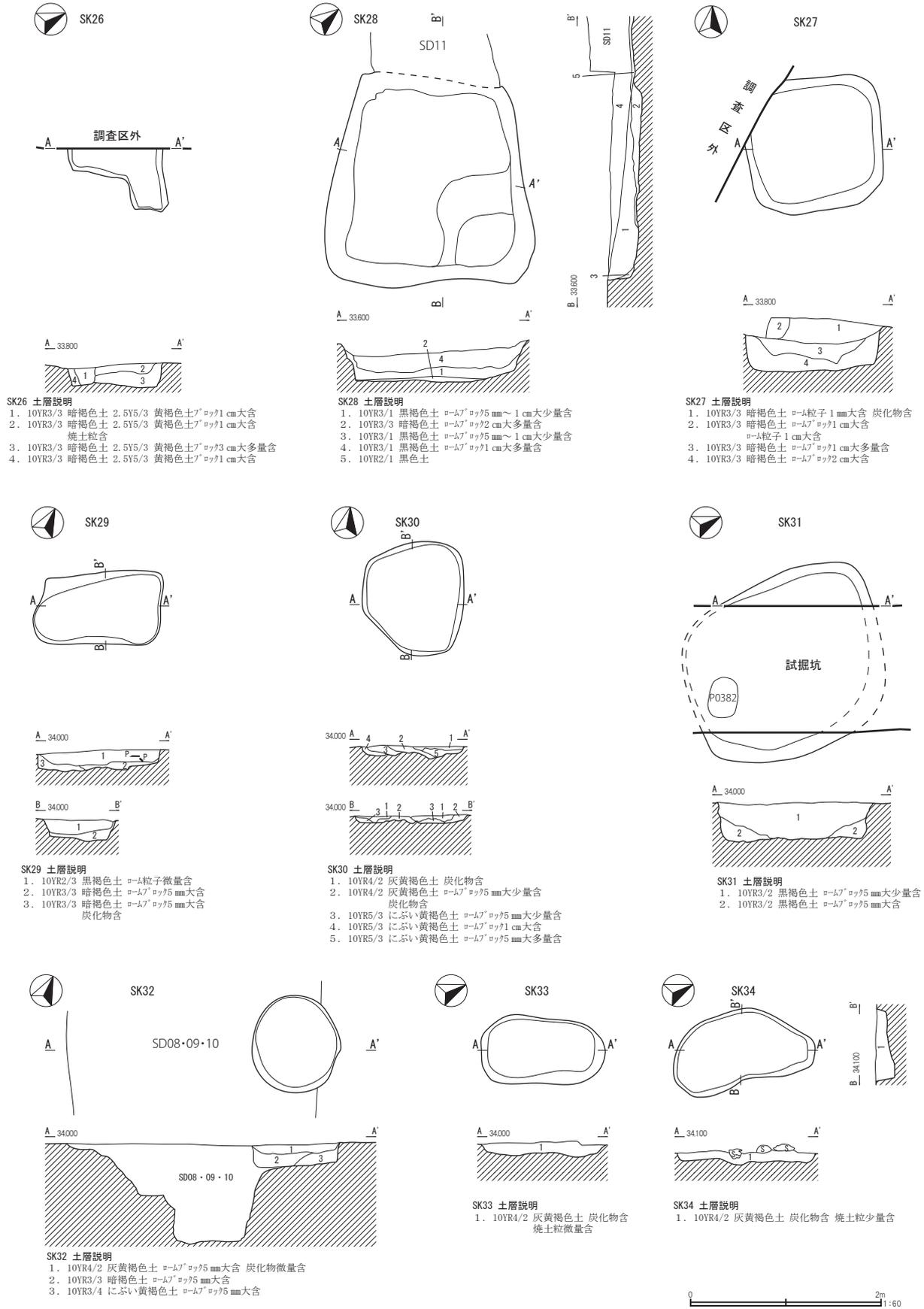


- SK10 土層説明**
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 ローム粒・7'ロツク 焼土粒 白色粘土7'ロツク含
 2. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 しまり有 ローム粒・7'ロツク 焼土粒 白色粘土7'ロツク少量含
 3. 10YR5/6 黄褐色土 しまり有 ローム7'ロツク多量含

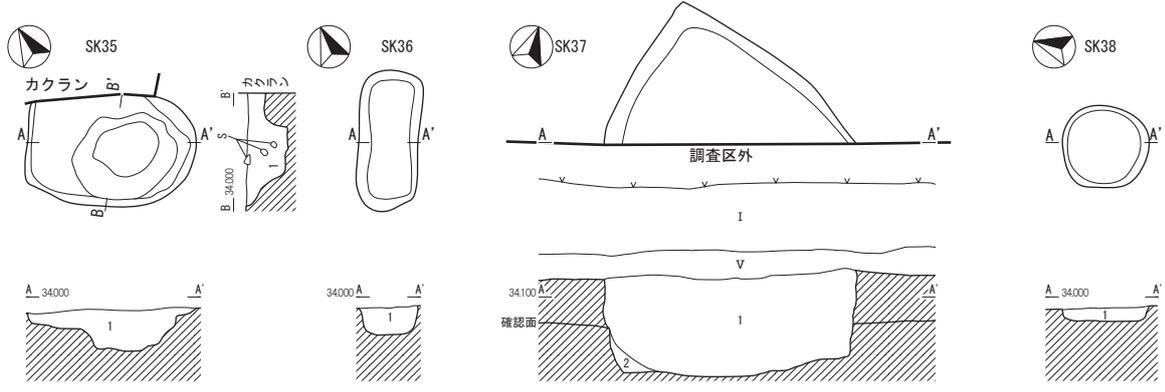
第 139 図 第 1～10 号土坑



第 140 図 第 11 ~ 25・57 号土坑



第 141 図 第 26 ~ 34 号土坑

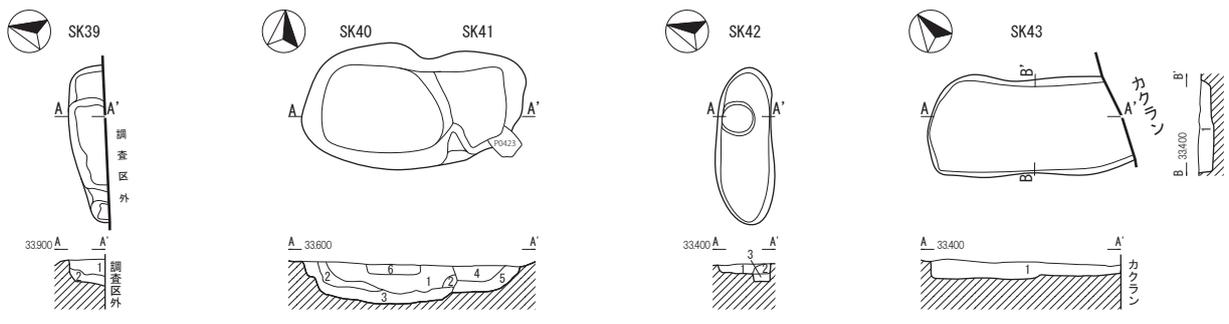


SK35 土層説明
 1. 10YR4/2 灰黄褐色土
 炭化物含焼土 ϕ 7mm大含

SK36 土層説明
 1. 10YR4/2 灰黄褐色土 炭化物含
 焼土粒微量含

SK37 土層説明
 1. 10YR3/3 暗褐色土 ϕ - ϕ 7mm(棒 ϕ - ϕ 含)1~5cm多量含
 炭化物少量含
 2. 10YR2/3 黒褐色土

SK38 土層説明
 1. 10YR5/2 灰黄褐色土 炭化物微量含
 ϕ - ϕ 7mm ϕ 75mm大少量含

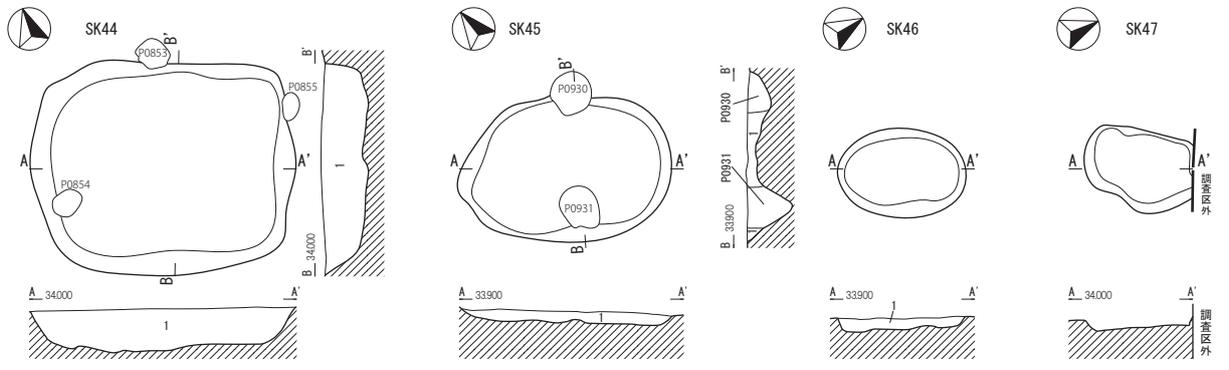


SK39 土層説明
 1. 10YR2/3 黒褐色土
 ϕ - ϕ 7mm大微量含
 2. 10YR2/3 黒褐色土
 ϕ - ϕ 7mm大多量含

SK40・41 土層説明
 1. 10YR2/2 黒褐色土 ϕ - ϕ 7mm大粒子少量含
 2. 10YR2/2 黒褐色土
 3. 10YR5/8 黄褐色土 10YR4/1 褐灰色土 ϕ 7mm大の混入有
 4. 10YR2/2 黒褐色土 ϕ - ϕ 7mm大少量含
 5. 10YR5/8 黄褐色土 10YR4/1 褐灰色土 ϕ 7mm大の混入有
 6. 2.5Y5/4 黄褐色土

SK42 土層説明
 1. 10YR3/3 暗褐色土
 2. 10YR4/3 にぶい黄褐色土
 3. 10YR3/2 暗褐色土

SK43 土層説明
 1. 10YR4/3 にぶい黄褐色土



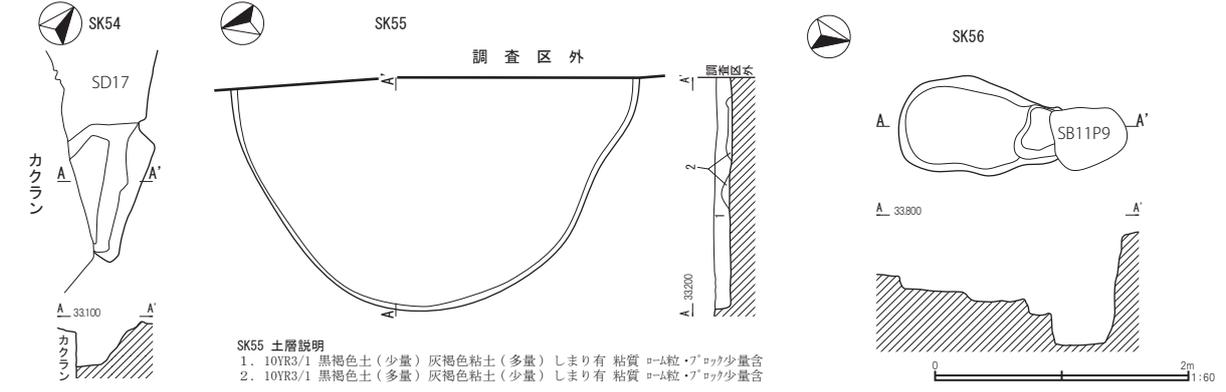
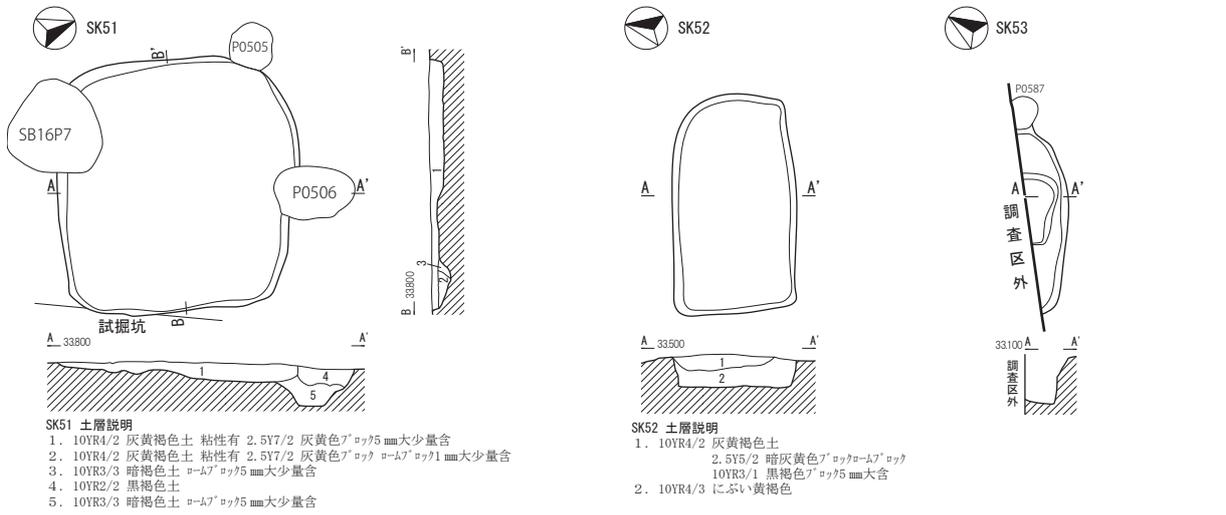
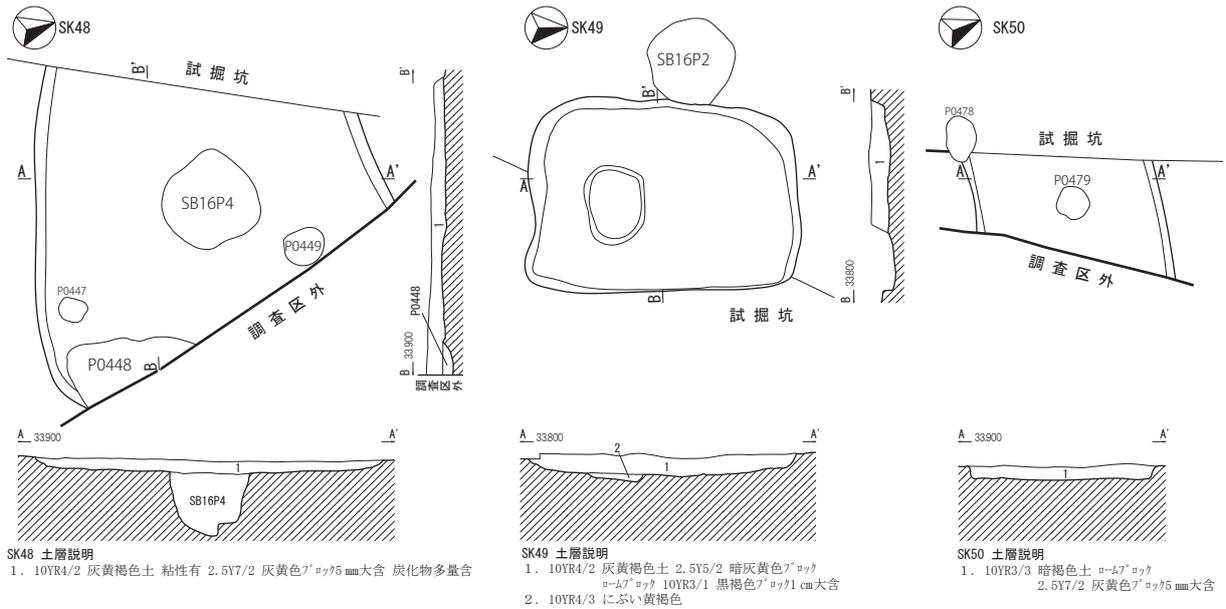
SK44 土層説明
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 ϕ - ϕ 7mm大
 粘土 ϕ 7mm大 炭化物含

SK45 土層説明
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質
 ϕ - ϕ 7mm大 粘土 ϕ 7mm大 炭化物含

SK46 土層説明
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有
 粘質 ϕ - ϕ 7mm大 粘土 ϕ 7mm大 炭化物含



第142図 第35～47号土坑



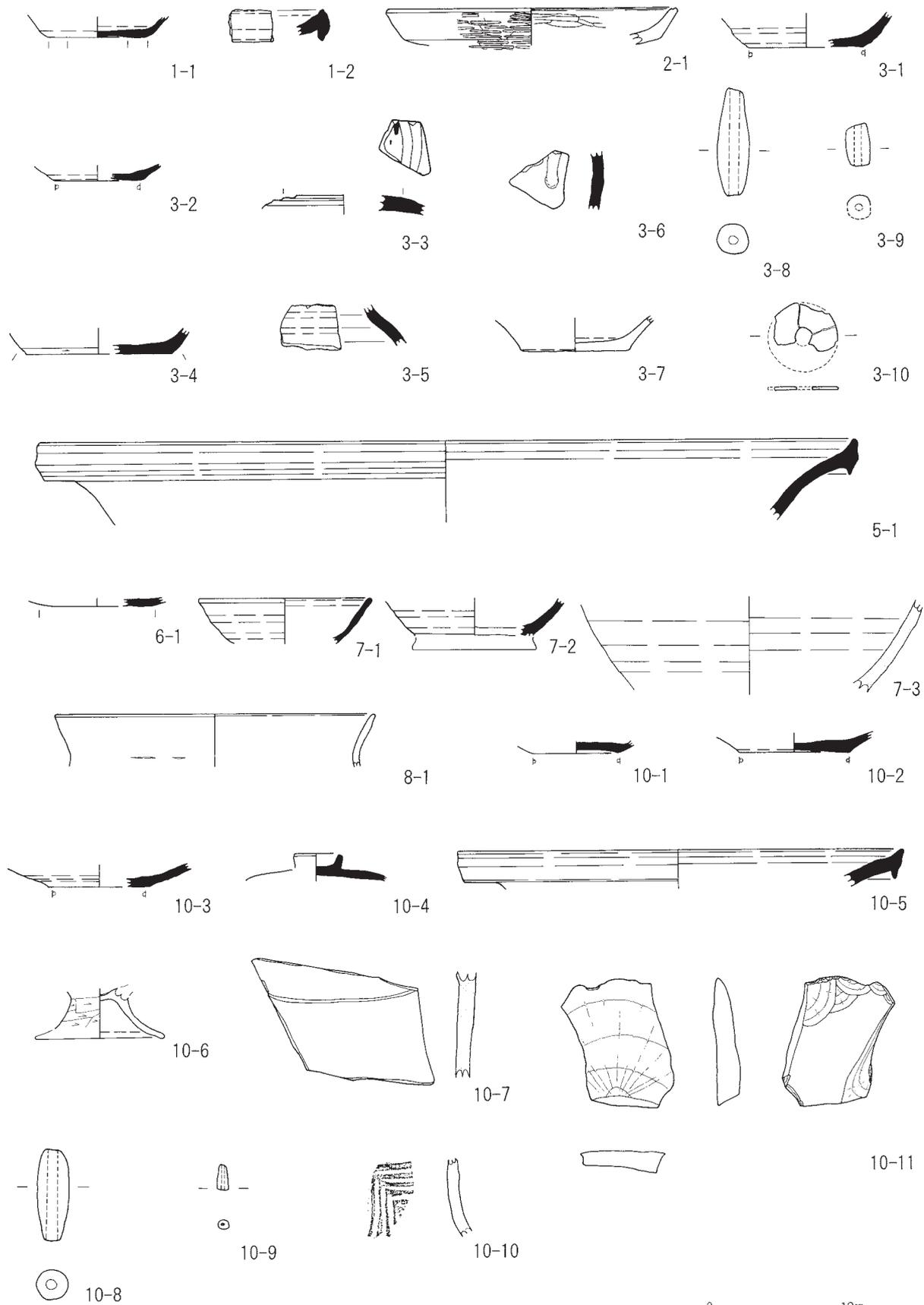
第 143 図 第 48 ~ 56 号土坑

第 17 号土坑 1 は南比企産の須恵器甕の口縁部片。
 第 25 号土坑 1 は須恵器碗の口縁部片。2 は須恵器杯の底部片で回転糸切離しのもの。ヘラ記号がみられる。3 は須恵器蓋。4 は須恵器長頸瓶の頸部片で湖西産である。5 は土師器塚で大型の深坑形態であり、底部は丸底である。6 は外面が黒色処理されており、土師器坏か。7 は鉢または壺の底部片である。

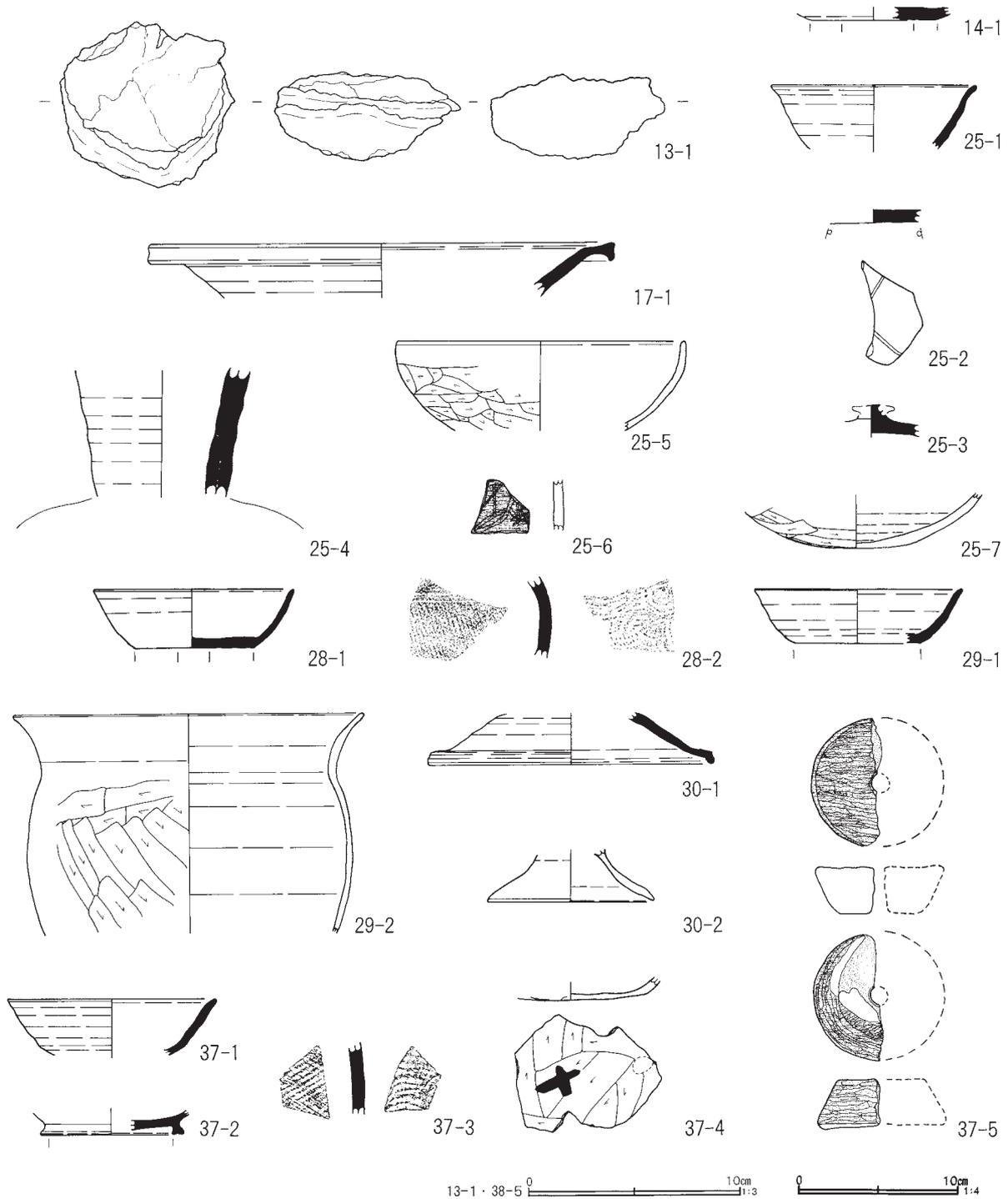
第 57 表 土坑計測表

No.	位置	平面形状	長軸 (cm)	短軸 (cm)	深さ (cm)	出土遺物	時期	重複関係 (新旧)	備考
1	H-10G	楕円形	(117)	146	22	須恵器坏、甕	8C 中～9C 前半		
2	D-12G	楕円形?	(106)	(62)	76	土師器皿	8～9C 代		柱穴の掘方の可能性あり
3	C-16・17G	長方形	270	170	58	須恵器坏、蓋、長頸瓶、土師器甕、土鏝、銅銭	9C 前半	SB07P8	
4	C-17、D-17G	隅丸長方形	135	106	41		8～9C 代	SB05P5 より古い	
5	D-16・17G	不整楕円形	(220)	120	46	須恵器大甕	8～9C 代	P0133、SB05P4	
6	D-19G	長方形	205	116	20	須恵器坏	8C 中～9C 前半	SB08P7	
7	D-20・E-20G	不整楕円形	149	116	44	須恵器坏、高台坏、陶器壺	9C 前半	P0184	渥美産壺は流れ込み
8	D-20、E-20G	不整楕円形	212	75	53	土師器甕	8C 後～9C 前半	P0191、P0189・P0190 より古い	
9	E-20、F-20G	台形	135	118	34		8～9C 代	P0207、P0208、P0210、P0209 より古い	柱穴の掘方の可能性あり
10	E-21G	隅丸方形	192	103	27	須恵器坏、皿、蓋、甕、土師器台付甕、陶器甕、土鏝、弥生土器甕、石器剥片	9C 後半	P0221 より古い、P0220、P0222、P0223	常滑産甕、弥生土器甕、石器剥片は流れ込み
11	F-22G	長方形	114	77	11		-		
12	F-22・23G、G-23G	不整楕円形	230	167	65		8～9C 代	SB11P1 より古い、SB10P2 と重複	
13	G-24G	円形	137	134	42	鉄滓	8～9C 代	SB16P9・SB15P6 と重複	
14	G-24G	楕円形	65	(41)	46	須恵器坏	8C 中～9C 前半	SK57 より新しい	柱穴の掘方の可能性あり
15	G-25、H-25G	不整楕円形	90	70	21		-		
16	H-25G	長方形	52	(30)	6		-		
17	H-25・26G	円形	62	62	39	須恵器甕	8～9C 代		
18	G-26G	台形?	(92)	87	41		-		柱穴の掘方の可能性あり
19	G-26G	隅丸方形?	127	124	26		-		
20	H-26G	円形	76	65	31		-	SN02 より古い	
21	G-25、H-25G	円形	73	(36)	21		-	SN02 より古い	
22	G-27G	不整円形	82	67	66		-	SN02 より古い	柱穴の掘方の可能性あり
23	H-27G	円形	72	61	49		-		柱穴の掘方の可能性あり
24	H-27・28G	楕円・方形	281	213	60		-		
25	H-30G	長方形?	200	69	12	須恵器坏、蓋、長頸瓶、土師器甕、鉢?	8C 前半		
26	U-3G	不整形	118	(36)	9		-		
27	S-4G	隅丸方形	148	142	21		-		
28	P-6・7G	正方形	(203)	198	43	須恵器坏、甕	8C 中～9C 前半	SD011 より古い	遺物は SD011 に混入している可能性あり
29	L-9G	不整楕円形	130	74	9	須恵器坏、甕	8C 中～後半		
30	L-9、M-9G	不整楕円形	122	108	4	須恵器蓋、土師器台付甕	8～9C 代		
31	M-9G	隅丸方形	150	194	15		-	P347 と重複	
32	M-10G	円形	104	94	53		-	SD08・09・10 より新しい	
33	M-10G	楕円形	132	70	7		-		
34	L-11、M-10、11G	不整楕円形	152	80	6		-		
35	L-10・11G	楕円形	136	(96)	16		-		
36	L-11、M-11G	楕円形	112	42	11		-		
37	M-11G	長方形?	(144)	(92)	84		-		
38	M-12G	円形	70	68	5	須恵器坏、高台坏、甕、土師器坏、土製紡錘車	8C 後半		
39	L-14G	長方形?	64	(28)	36		-		
40	K-22G	楕円形	(115)	98	33		-	SK41 より新しい	
41	K-22G	楕円形	80	(60)	24		-	SK40・P0423 より古い	
42	M-27G	楕円形	126	44	4		-		
43	M-27、N-27G	長方形?	154	74	6		-		
44	W-5G	隅丸長方形	209	169	34		-	P0853、P0854、P0855	
45	Y-9G	隅丸長方形	172	119	35		-	P0930・P0931 より古い	
46	Y-10G	楕円形	103	72	9		-		
47	Z-12G	楕円形	95	60	7		-		
48	X・Y-11G	隅丸方形?	289	(194)	9		-	P0447・P0448・P0449・SB16P4 より新しい	
49	X・Y-10・11G	隅丸長方形	213	161	22		-	SB16P2 より新しい	
50	X-11G	長方形?	147	(83)	10		-	P0478・P0479 より新しい	
51	W-11G	隅丸方形	203	(172)	13		-	P0505・P0506・SB16P7 より新しい	
52	U・V-12G	長方形	177	100	23		-		
53	T・U-13G	楕円形?	150	(33)	37		-	P0587	柱穴の掘方の可能性あり
54	R-23G	楕円形?	(89)	(61)	27		-	SD17	
55	Q-26・27G	円形	326	186	11		-		
56	G-24G	楕円形	(121)	73	20		-	SB11P9	
57	F-25G	円形	(85)	(35)	23		8C 中～9C 前半以前	SK14 より古い	

第 28 号土坑 1 は南比企産の須恵器坏で底部外面は周辺ヘラケズリ調整が施されている。内面は研磨されており、転用硯とみられる。2 は須恵器甕の胴部片で、内面に同心円状の当て具痕がみられる。湖西産か。



第 144 图 土坑出土遺物 1



第 145 図 土坑出土遺物 2

第 29 号土坑 1 は南比企産の須恵器坏。2 は土師器甕で口縁部がゆるやかに外反する形状。

第 30 号土坑 1 は南比企産の須恵器蓋。2 は土師器台付甕の脚部である。

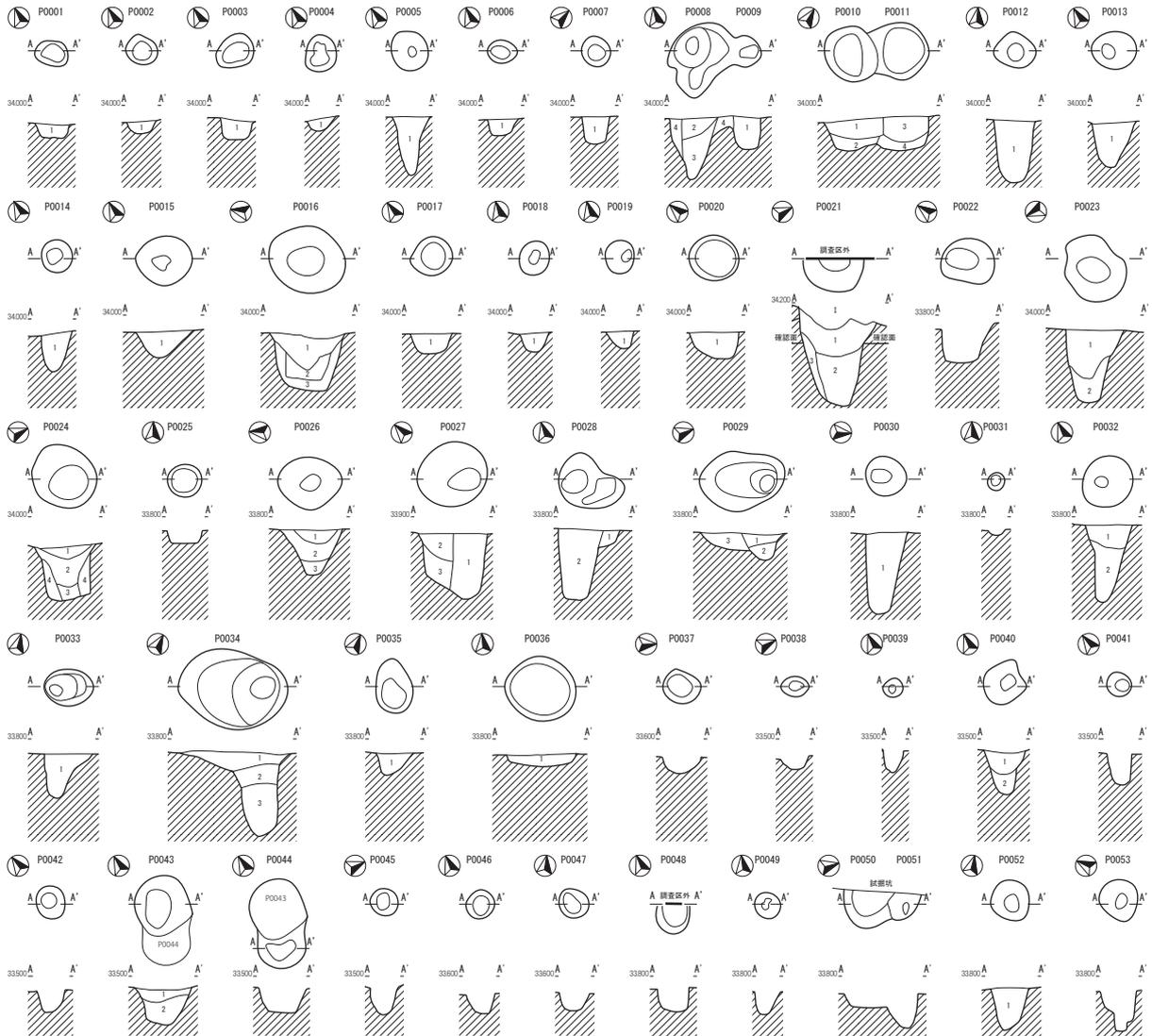
第 37 号土坑 1 ～ 3 は須恵器。1 は末野産の坏。2 は高台坏の底部片。3 は甕の胴部片。4 は土師器坏で、底部外面に「十」の墨書が太字で記されている。(第 174 図㉓)。5 は土製紡錘車で、全面に黒色処理がなされており、ミガキが施されている。

第 58 表 土坑出土遺物観察表

No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1-1	須恵器杯	-	(1.5)	(6.8)	ABN	黄灰色	B	体～底部 10%	底部外面周辺ヘラケズリ
1-2	須恵器甕	-	-	-	ABN	灰色	A	口縁部片	頸部外面波状文
2-1	土師器皿	(20.0)	(2.7)	-	ABHIJN	明赤褐色	A	口縁～底部片	体部～底部外面横位手持ちヘラケズリ(口辺部内面ヘラ) 内外面ミガキ 口縁部内面沈線 1 条 暗文系無文皿
3-1	須恵器杯	-	(2.4)	(8.0)	ABIJN	灰黄褐色	C	体～底部片	底部外面回転系切り
3-2	須恵器杯	-	(1.1)	(5.8)	ABFN	灰黄色	B	体～底部片	南比企産 底部回転系切り
3-3	須恵器蓋	-	(1.3)	-	ABN	灰白色	A	天井部片	天井部外面に墨痕
3-4	須恵器長頸瓶	-	(1.8)	(10.0)	ABFN	灰色	A	体～底部 30%	南比企産 体部外面下端～底部ヘラケズリ
3-5	須恵器長頸瓶	-	-	-	ABIN	黄灰色	B	胴部片	
3-6	須恵器長頸瓶	-	-	-	ABN	外・暗オリーブ色 内・灰白色	A	胴部片	外面自然釉
3-7	土師器甕	-	(2.4)	(7.4)	ABIJN	にぶい黄褐色	C	胴下～底部 70%	底部外面ヘラケズリ 軟質
3-8	土錘	長：5.5	幅：1.6	孔：0.5	ABN	橙色	A	80%	
3-9	土錘	長：(2.2)	幅：(1.2)	孔：(0.3)	ABN	にぶい橙色 褐灰色	A	50%	
3-10	銅銭	長：(1.3)	幅：2.3	厚：0.1					
5-1	須恵器大甕	(56.4)	(5.7)	-	ABN	灰色	A	口縁部 20%	南比企産
6-1	須恵器杯	-	(0.6)	(8.0)	ABN	灰白色	B	底部片	底部外面ヘラケズリ
7-1	須恵器杯	(11.8)	(3.1)	-	ABFN	灰色	A	口縁～体部 10%	南比企産
7-2	須恵器高台杯	-	(2.5)	-	ABIN	灰黄色	B	体部片	南比企産
7-3	陶器壺	-	-	-	ABN	灰色	A	胴部片	渥美産
8-1	土師器甕	(22.0)	(3.7)	-	ABIJN	橙色	A	口縁～頸部片	頸部輪積痕
10-1	須恵器杯	-	(0.8)	(6.0)	ABFIN	灰黄色	A	20%	南比企産 底部回転系切り
10-2	須恵器杯	-	(1.4)	(7.6)	ABIN	にぶい黄色	B	底部 30%	末野産 底部回転系切り
10-3	須恵器皿	-	(1.6)	(6.9)	ABHIN	灰黄色	B	体～底部片	底部外面回転系切り
10-4	須恵器蓋	-	(1.9)	鈕径 3.0	ABN	褐色	C	鈕～天井部片	末野産 環状鈕
10-5	須恵器甕	(30.8)	(2.6)	-	ABN	灰色	A	口縁部片	末野産
10-6	土師器台付甕	-	(3.5)	(脚径) (8.8)	ABIJN	外・灰黄褐色 内・にぶい褐色	A	胴下～脚部 60%	
10-7	陶器甕	-	-	-	ABIJN	灰褐色	A	胴部片	常滑産 外面自然釉
10-8	土錘	長：4.7	幅：1.6	孔：0.6	ABN	にぶい黄褐色	A	100%	
10-9	土錘	長：(1.3)	幅：(0.6)	孔：0.2	AB	にぶい黄褐色	A	20%	
10-10	弥生土器甕	-	-	-	ABIJN	暗灰黄色	B	胴部片	胴部外面重四角文
10-11	剥片	長：6.6	幅：4.4	厚：0.8	-	浅黄色	-	100%	凝灰岩
13-1	鉄滓	長：8.0	幅：7.2	厚：3.6					塊形滓 2 段の重なり 底面に弱めの磁気反応
14-1	須恵器杯	-	(0.8)	(8.0)	ABFIN	灰白色	B	底部 30%	南比企産
17-1	須恵器甕	(29.6)	(3.4)	-	ABIN	外・灰色 内・灰黄色	A	口縁部片	南比企産 内面に降灰
25-1	須恵器壺	(12.8)	(4.1)	-	ABIN	灰色	B	口縁部片	
25-2	須恵器杯	-	(0.7)	-	ABFIN	褐灰色	A	底部 40%	南比企産 底部外面「×」印ヘラ記号 回転系切り
25-3	須恵器蓋	-	(2.0)	-	ABFN	灰色	B	鈕～天井部片	南比企産
25-4	須恵器長頸瓶	-	(8.1)	-	ABEN	灰色	A	頸部 20%	湖西産 外面自然釉
25-5	土師器壺	(18.0)	(5.6)	-	ABIJN	明赤褐色	A	30%	体部～底部外面手持ちヘラケズリ
25-6	土師器杯	-	-	-	ABIJN	外・黒色 内・明赤褐色	A	胴部片	外面ヘラミガキ黒色処理
25-7	土師器鉢?	-	(3.4)	-	ABIJN	外・灰褐色 内・にぶい赤褐色	A	底部 100%	底部外面斜位・横位ヘラケズリ
28-1	須恵器杯	12.4	3.8	7.4	ABFN	褐灰色	A	80%	南比企産 底部外面周辺ヘラケズリ 内面研磨 転用硯
28-2	須恵器甕	-	-	-	AB	灰色	A	胴部片	外面沈線 平行タタキ 内面同心円状当て具痕 湖西産か?
29-1	須恵器杯	(13.0)	(3.4)	(8.0)	ABFN	灰色	A	10%	南比企産
29-2	土師器甕	(22.0)	(13.9)	-	ABIJN	黄褐色	B	口縁～胴部 20%	胴部外面上端横位ヘラケズリ 胴部外面中場斜位ヘラケズリ
30-1	須恵器蓋	(17.8)	(3.2)	-	ABFIJN	灰色	B	口縁部 40%	南比企産 笠型
30-2	土師器台付甕	-	脚高 (3.3)	脚径 10.5	ABIJN	灰黄褐色	B	脚部 100%	
37-1	須恵器杯	(13.0)	(3.6)	-	ABIN	灰色	B	口縁～体部 50%	末野産
37-2	須恵器高台杯	-	(1.7)	高台径 (9.0)	ABF	褐灰色	A	高台座 30%	南比企産
37-3	須恵器甕	-	-	-	ABN	暗青灰色	A	胴部片	外面平行タタキ 内面同心円状当て具痕
37-4	土師器杯	-	(1.4)	-	ABIJN	橙色	A	底部 60%	底部外面墨書「十」 底部外面手持ちヘラケズリ
37-5	土製紡錘車	長：(6.1)	幅：(2.8)	厚：(2.2)	ABI	オリーブ黒色	A	50%	全面黒色処理後ミガキ

10 ピット (第 146～167 図、第 59 表、出土遺物 第 168 図、第 60 表)

ピットは、掘立柱建物として組めなかったものを主体として、総数 1037 基確認された。また残念ながら、時期不明なものがその大半を占める。絶対的な判断とはならないが、覆土が暗褐～黒褐色のものは奈良・平安時代、灰黄褐色のものは中世以降となる傾向が窺えた。出土した遺物は、縄文土器片、土師器杯、甕、須恵器蓋、高台杯、灰釉陶器深皿、陶器鉢、土錘、砥石、磨石等である。時期的には縄文時代、奈良・平安時代、近世に帰属する遺物群である。特徴的な遺物を挙げると、P292-1・P435-1 は北武蔵型の土師器杯で、漆状塗膜が内外面に残る。P199-1 は内面に放射暗文が施される土師器杯で外面に「新」の墨書がみられる (第 174 図⑩)。1007-1 は灰釉陶器深皿で「て」字状を呈するものである。



P0001 土層説明
1. 10YR6/1 褐灰色土 しまり有

P0002 土層説明
1. 10YR6/1 褐灰色土 しまり有

P0003 土層説明
1. 10YR6/1 褐灰色土 しまり有

P0004 土層説明
1. 10YR6/1 褐灰色土 しまり有

P0005 土層説明
1. 10YR6/1 褐灰色土 しまり有

P0006 土層説明
1. 10YR6/1 褐灰色土 しまり有

P0007 土層説明
1. 10YR6/1 褐灰色土 しまり有

P0008・P0009 土層説明
1. 10YR6/6 明黄褐色土 しまり弱 α -M粒少量
2. 10YR5/6 黄褐色土 しまり弱 α -M粒少量
3. 10YR5/1 褐灰色土 しまり弱 α -M粒少量
4. 10YR6/8 明黄褐色土 しまり有

P0010・P0011 土層説明
1. 10YR4/4 褐色土 しまり弱 α -M粒少量含
2. 10YR6/6 明黄褐色土 しまり弱 α -M粒少量含
3. 10YR4/6 褐色土 しまり弱
4. 10YR6/6 明黄褐色土 しまり弱

P0012 土層説明
1. 10YR6/1 褐灰色土 しまり有

P0013 土層説明
1. 10YR6/1 褐灰色土 しまり有

P0014 土層説明
1. 10YR6/1 褐灰色土 しまり有

P0015 土層説明
1. 10YR6/1 褐灰色土 しまり有

P0016 土層説明
1. 10YR5/1 褐灰色土 しまり有 α -M⁷ロツク少量含
2. 10YR5/6 黄褐色土 しまり弱 α -M⁷ロツク多量含
3. 10YR5/8 黄褐色土 しまり弱 α -M⁷ロツク多量含

P0017 土層説明
1. 10YR6/1 褐灰色土 しまり有

P0018 土層説明
1. 10YR6/1 褐灰色土 しまり有

P0019 土層説明
1. 10YR6/1 褐灰色土 しまり有

P0020 土層説明
1. 10YR6/1 褐灰色土 しまり有

P0021 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 α -M⁷ロツク粒少量含
2. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり弱 α -M⁷ロツク粒含
3. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり弱 α -M⁷ロツク粒少量含

P0023 土層説明
1. 10YR6/2 灰黄褐色土 しまり有 砂質 α -M⁷ロツク少量
2. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり有 砂質 α -M⁷ロツク多量

P0024 土層説明
1. 10YR6/6 明黄褐色土 しまり弱 α -M⁷ロツク多量
2. 10YR5/1 褐灰色土 しまり有 α -M⁷ロツク少量
3. 10YR5/6 黄褐色土 しまり弱 α -M⁷ロツク多量
4. 10YR5/8 黄褐色土 しまり弱 α -M⁷ロツク多量

P0026 土層説明
1. 10YR5/1 褐灰色土 α -M⁷ロツク含
2. 10YR4/1 褐灰色土 α -M⁷ロツク含
3. 10YR3/1 黒褐色土 α -M⁷ロツク含

P0027 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 α -M⁷ロツク粒含

P0028 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 α -M⁷ロツク粒含

P0029 土層説明
1. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり有 α -M混在
2. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 α -M粒多量含
3. 10YR5/1 褐灰色土 しまり弱 α -M粒少量含 土師器片含

P0030 土層説明
1. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり弱 粘性的 α -M粒・ β -ロツク少量含

P0032 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり弱 α -M粒・白色粒含
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 しまり弱 α -M⁷ロツク含

P0033 土層説明
1. 10YR6/1 褐灰色土 しまり有

P0034 土層説明
1. 10YR5/1 褐灰色土 しまり有 粘質 α -M粒・白色粒・土師器片含
2. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 α -M粒含
3. 10YR3/1 黒褐色土 しまり有 粘質 α -M粒含

P0035 土層説明
1. 10YR6/1 褐灰色土 しまり有

P0036 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱・白色粒少量含

P0040 土層説明
1. 10YR5/1 褐灰色土 しまり弱 α -M粒・ β -ロツク含
2. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 α -M粒少量含

P0043 土層説明
1. 10YR4/1 しまり弱 α -M粒含
2. 10YR5/1 褐灰色土 しまり弱 α -M⁷ロツク含

P0052 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 α -M粒含

P0028 土層説明
1. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり弱 粘性的 α -M粒・ β -ロツク少量含
2. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 粘性的 α -M粒・ β -ロツク多量含

P0029 土層説明
1. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり有 α -M混在
2. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 α -M粒多量含
3. 10YR5/1 褐灰色土 しまり弱 α -M粒少量含 土師器片含

P0030 土層説明
1. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり弱 粘性的 α -M粒・ β -ロツク少量含

P0032 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり弱 α -M粒・白色粒含
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 しまり弱 α -M⁷ロツク含

P0033 土層説明
1. 10YR6/1 褐灰色土 しまり有

P0034 土層説明
1. 10YR5/1 褐灰色土 しまり有 粘質 α -M粒・白色粒・土師器片含
2. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 α -M粒含
3. 10YR3/1 黒褐色土 しまり有 粘質 α -M粒含

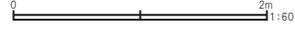
P0035 土層説明
1. 10YR6/1 褐灰色土 しまり有

P0036 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱・白色粒少量含

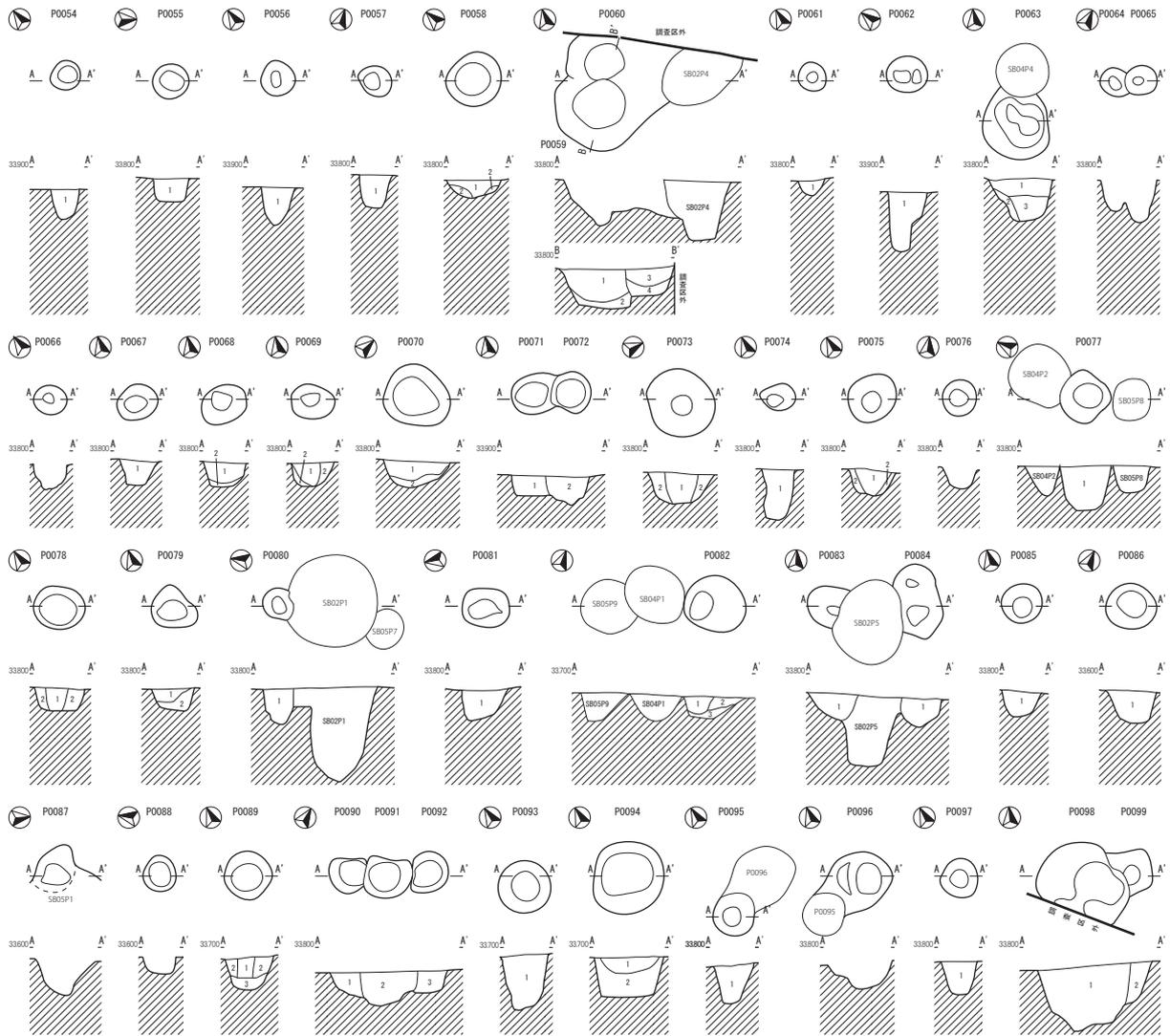
P0040 土層説明
1. 10YR5/1 褐灰色土 しまり弱 α -M粒・ β -ロツク含
2. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 α -M粒少量含

P0043 土層説明
1. 10YR4/1 しまり弱 α -M粒含
2. 10YR5/1 褐灰色土 しまり弱 α -M⁷ロツク含

P0052 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 α -M粒含



第146図 第1～53号ピット



P0054 土層説明
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 μ -M粒少量含

P0055 土層説明
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 μ -M粒含

P0056 土層説明
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 μ -M粒少量含

P0057 土層説明
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 μ -M粒含

P0058 土層説明
 1. 10YR6/6 明黄褐色土 しまり弱 白色粒少量含
 2. 10YR7/8 黄褐色土 しまり弱

P0059・P0060 土層説明
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 μ -M粒
 2. 10YR3/1 黒褐色土 しまり有 μ -M⁷ロツク
 3. 10YR5/1 褐灰色土 しまり有 μ -M粒
 4. 10YR3/2 黒褐色土 しまり有 μ -M⁷ロツク

P0061 土層説明
 1. 10YR5/4 にぶい黄褐色土 しまり有 白色粒・ μ -M粒少量含

P0062 土層説明
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 μ -M粒少量含

P0063 土層説明
 1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 μ -M粒少量含
 2. 10YR2/3 黒褐色土 しまり有 μ -M粒少量含
 3. 10YR3/2 黒褐色土 しまり有 μ -M粒少量含

P0067 土層説明
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 白色粒含

P0068 土層説明
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 μ -M粒含
 2. 10YR5/6 黄褐色土 しまり有 μ -M⁷ロツク含

P0069 土層説明
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 μ -M粒含
 2. 10YR5/6 黄褐色土 しまり有 μ -M⁷ロツク含

P0070 土層説明
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 μ -M粒含
 2. 10YR5/6 黄褐色土 しまり弱 μ -M粒含

P0071・P0072 土層説明
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 μ -M粒少量含
 2. 10YR5/1 褐灰色土 しまり有 粘質 μ -M粒少量含

P0073 土層説明
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 μ -M粒含
 2. 10YR5/6 黄褐色土 しまり弱 μ -M粒含

P0074 土層説明
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 μ -M粒含

P0075 土層説明
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 μ -M粒含
 2. 10YR5/6 黄褐色土 しまり弱 μ -M粒含

P0077 土層説明
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 μ -M粒少量含

P0078 土層説明
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 μ -M粒含
 2. 10YR5/6 黄褐色土 しまり弱 μ -M粒含

P0079 土層説明
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 μ -M粒含
 2. 10YR5/6 黄褐色土 しまり弱 μ -M粒含

P0080 土層説明
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 μ -M粒少量含

P0081 土層説明
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 μ -M粒含

P0082 土層説明
 1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり有 μ -M粒・ μ -M⁷ロツク含
 2. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 μ -M粒・ μ -M⁷ロツク含
 3. 10YR4/4 褐色土 しまり有 μ -M⁷ロツク含

P0083・P0084 土層説明
 1. 10YR6/1 褐灰色土 しまり有 白色粒 μ -M粒含

P0085 土層説明
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 μ -M粒含

P0086 土層説明
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 μ -M粒含

P0089 土層説明
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 μ -M粒 μ -M⁷ロツク
 2. 10YR5/1 褐灰色土 しまり有 μ -M粒 μ -M⁷ロツク
 3. 10YR6/1 褐灰色土 しまり有 μ -M粒 μ -M⁷ロツク

P0090・P0091・P0092 土層説明
 1. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 しまり有 μ -M粒含
 2. 10YR5/3 にぶい黄褐色土 しまり有 μ -M粒含
 3. 10YR5/4 にぶい黄褐色土 しまり有 μ -M粒含

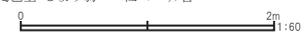
P0093 土層説明
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 μ -M粒 μ -M⁷ロツク

P0094 土層説明
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 μ -M粒含
 2. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 μ -M粒含

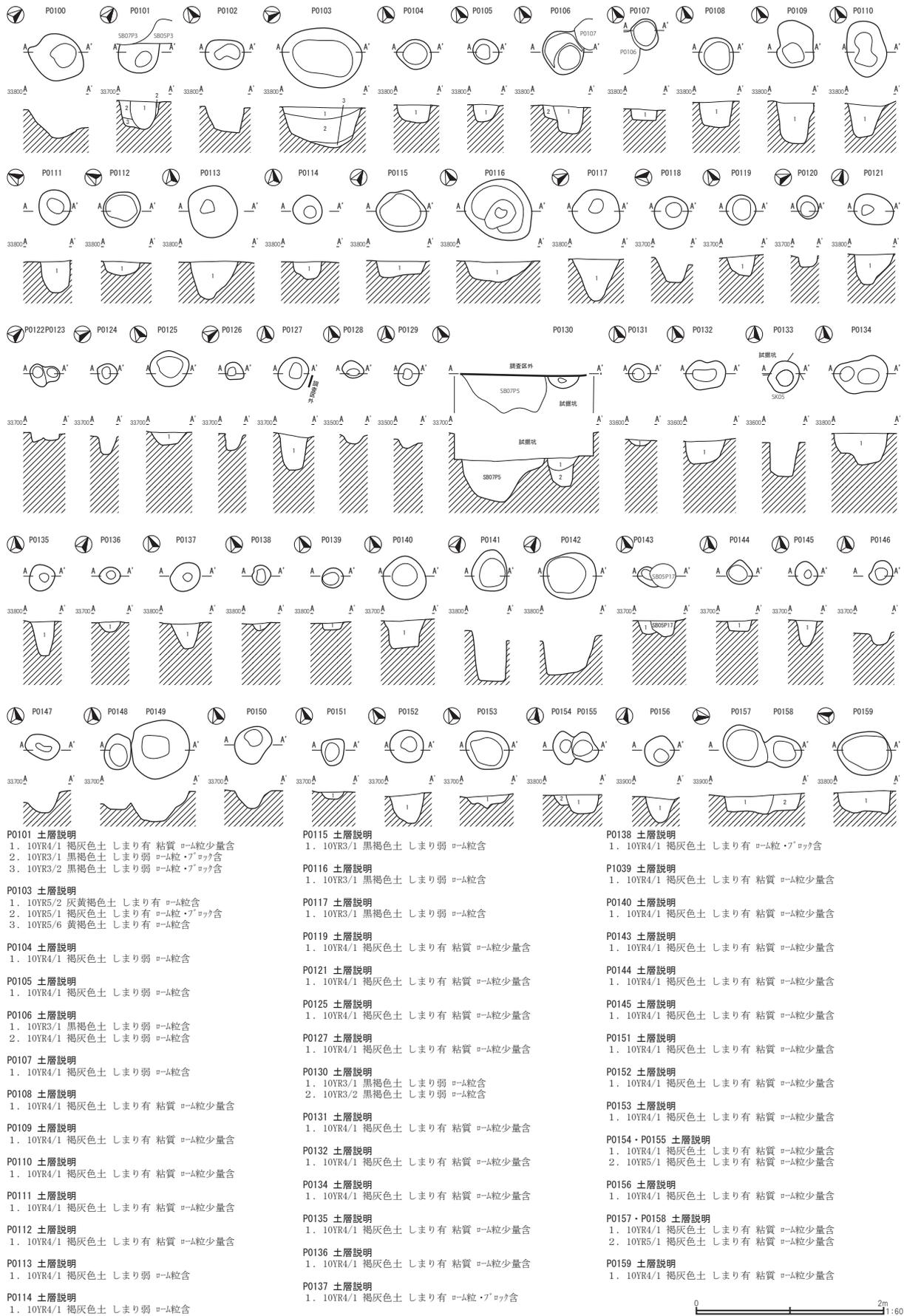
P0095 土層説明
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 μ -M粒含

P0097 土層説明
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 μ -M粒含

P0098・P0099 土層説明
 1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 μ -M粒・ μ -M⁷ロツク含
 2. 10YR3/2 黒褐色土 しまり弱 μ -M粒・ μ -M⁷ロツク含



第 147 図 第 54 ~ 99 号ピット

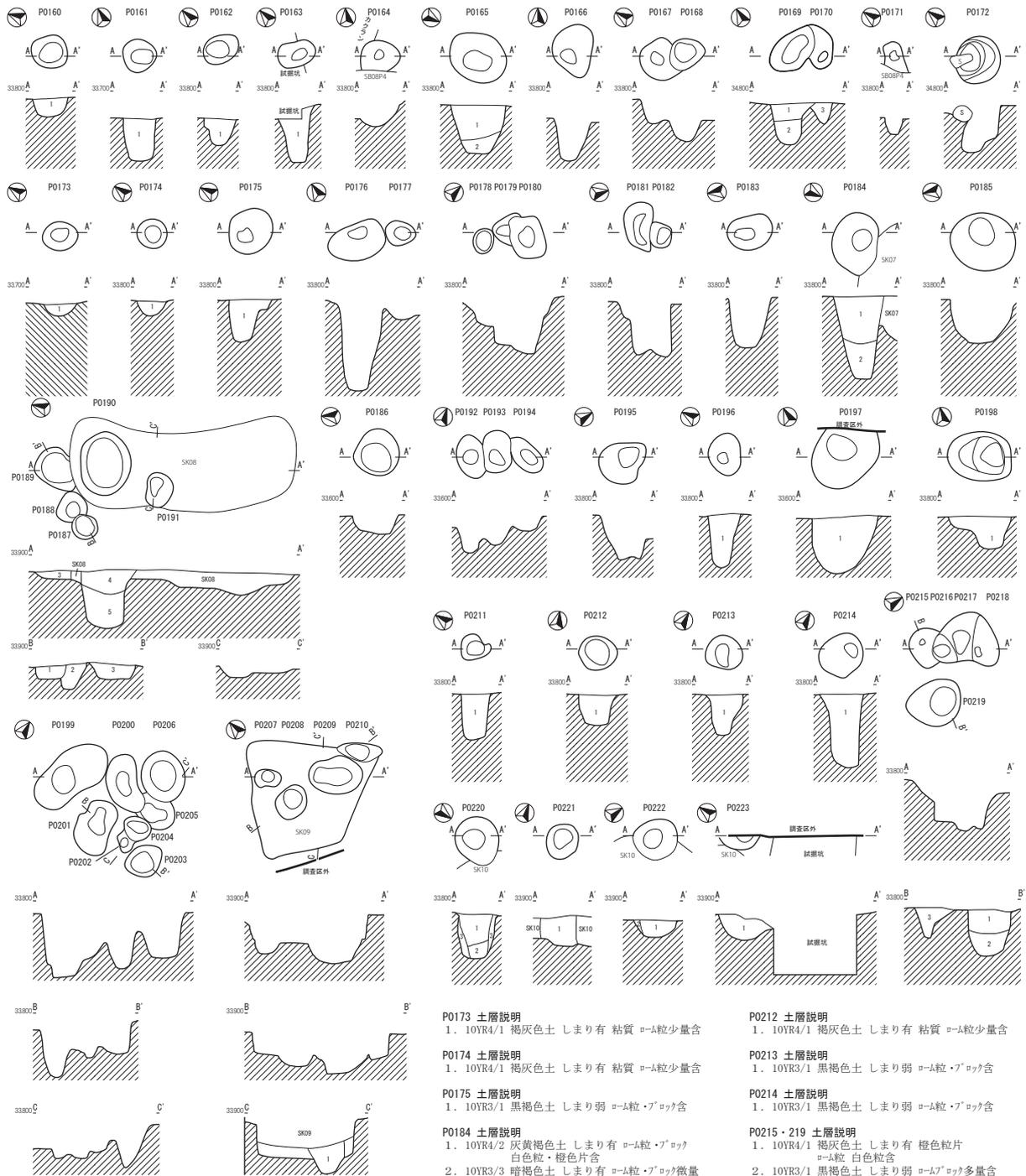


- P0101 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 μ -A粒少量含
 2. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 μ -A粒・ブロッケ含
 3. 10YR3/2 黒褐色土 しまり弱 μ -A粒・ブロッケ含
- P0103 土層説明**
 1. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり有 μ -A粒含
 2. 10YR5/1 褐灰色土 しまり有 μ -A粒・ブロッケ含
 3. 10YR5/6 黄褐色土 しまり有 μ -A粒含
- P0104 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 μ -A粒含
- P0105 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 μ -A粒含
- P0106 土層説明**
 1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 μ -A粒含
 2. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 μ -A粒含
- P0107 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 μ -A粒含
- P0108 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 μ -A粒少量含
- P0109 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 μ -A粒少量含
- P0110 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 μ -A粒少量含
- P0111 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 μ -A粒少量含
- P0112 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 μ -A粒少量含
- P0113 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 μ -A粒含
- P0114 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 μ -A粒含

- P0115 土層説明**
 1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 μ -A粒含
- P0116 土層説明**
 1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 μ -A粒含
- P0117 土層説明**
 1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 μ -A粒含
- P0119 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 μ -A粒少量含
- P0121 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 μ -A粒少量含
- P0125 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 μ -A粒少量含
- P0127 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 μ -A粒少量含
- P0130 土層説明**
 1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 μ -A粒含
 2. 10YR3/2 黒褐色土 しまり弱 μ -A粒含
- P0131 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 μ -A粒少量含
- P0132 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 μ -A粒少量含
- P0134 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 μ -A粒少量含
- P0135 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 μ -A粒少量含
- P0136 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 μ -A粒少量含
- P0137 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 μ -A粒・ブロッケ含

- P0138 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 μ -A粒・ブロッケ含
- P0139 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 μ -A粒少量含
- P0140 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 μ -A粒少量含
- P0143 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 μ -A粒少量含
- P0144 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 μ -A粒少量含
- P0145 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 μ -A粒少量含
- P0151 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 μ -A粒少量含
- P0152 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 μ -A粒少量含
- P0153 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 μ -A粒少量含
- P0154・P0155 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 μ -A粒少量含
 2. 10YR5/1 褐灰色土 しまり有 粘質 μ -A粒少量含
- P0156 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 μ -A粒少量含
- P0157・P0158 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 μ -A粒少量含
 2. 10YR5/1 褐灰色土 しまり有 粘質 μ -A粒少量含
- P0159 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 μ -A粒少量含

第 148 図 第 100 ~ 159 号ピット



P0160 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 ロ-Δ粒少量含

P0161 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ロ-Δ粒・ブ・珪ヶ含

P0162 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ロ-Δ粒・ブ・珪ヶ含

P0163 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ロ-Δ粒・ブ・珪ヶ含

P0165 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 ロ-Δ粒・ブ・珪ヶ 白色粒・橙色片含
2. 10YR3/3 暗褐色土 しまり有 ロ-Δ粒・ブ・珪ヶ微量

P0169・P0170 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 ロ-Δ粒少量含
2. 10YR3/2 黒褐色土 しまり弱 ロ-Δ粒少量含
3. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ロ-Δ粒・ブ・珪ヶ含

P0173 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 ロ-Δ粒少量含

P0174 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 ロ-Δ粒少量含

P0175 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ロ-Δ粒・ブ・珪ヶ含

P0184 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 ロ-Δ粒・ブ・珪ヶ 白色粒・橙色片含
2. 10YR3/3 暗褐色土 しまり有 ロ-Δ粒・ブ・珪ヶ微量

P0187・P0188・P0189・P0190 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 ロ-Δ粒少量含
2. 10YR5/1 褐灰色土 しまり有 粘質 ロ-Δ粒少量含
3. 10YR6/1 褐灰色土 しまり有 粘質 ロ-Δ粒少量含
4. 10YR5/1 褐灰色土 しまり弱 ロ-Δ粒・ブ・珪ヶ少量含
5. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 ロ-Δ粒・ブ・珪ヶ多量含

P0196 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ロ-Δ粒・ブ・珪ヶ含

P0197 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ロ-Δ粒・ブ・珪ヶ含

P0198 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 ロ-Δ粒少量含

P0209 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 ロ-Δ粒含

P0211 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ロ-Δ粒・ブ・珪ヶ含

P0212 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 ロ-Δ粒少量含

P0213 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ロ-Δ粒・ブ・珪ヶ含

P0214 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ロ-Δ粒・ブ・珪ヶ含

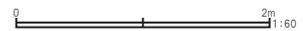
P0215・219 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 橙色粒片 ロ-Δ粒 白色粒含
2. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ロ-Δ粒・ブ・珪ヶ多量含
3. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 橙色粒片 ロ-Δ粒 白色粒含

P0220 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 ロ-Δ粒含 ロ-Δ粒 白色粒含
2. 10YR3/2 黒褐色土 しまり有 ロ-Δ粒含
3. 10YR3/2 黒褐色土 しまり有 ロ-Δ粒含

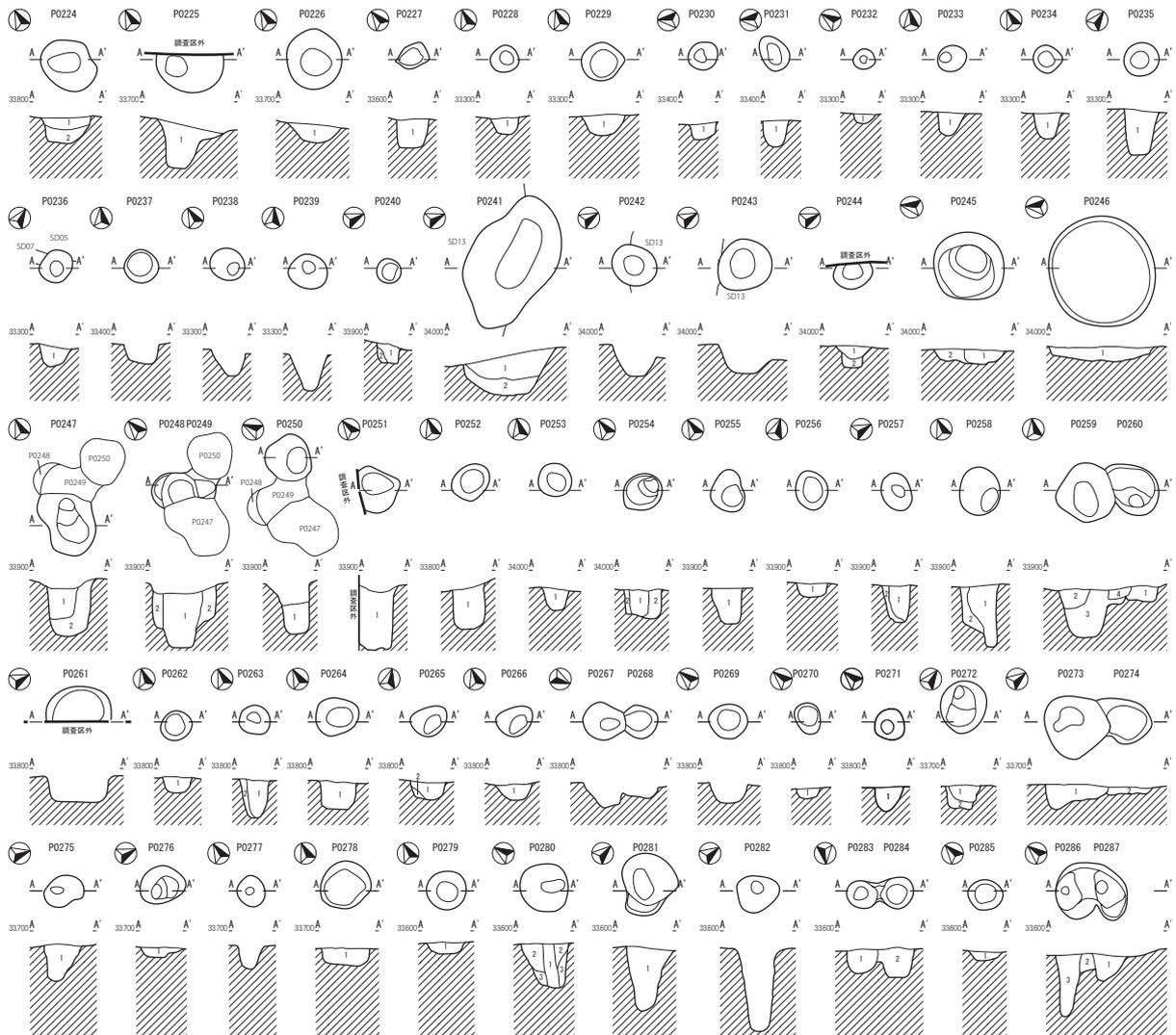
P0221 土層説明
1. 10YR4/1 しまり弱 ロ-Δ粒・ブ・珪ヶ多量含白色粒含

P0222 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ロ-Δ粒・ブ・珪ヶ少量含
2. 10YR3/2 黒褐色土 しまり弱 ロ-Δ粒・ブ・珪ヶ含

P0223 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 ロ-Δ粒少量含



第149図 第160～223号ピット



P0224 土層説明

1. 10YR3/2 黒褐色土 しまり弱 ρ -M粒少量含
2. 10YR3/3 暗褐色土 ρ -M粒・ ρ -7ロツク含

P0225 土層説明

1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 ρ -M粒含

P0226 土層説明

1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 ρ -M粒含

P0227 土層説明

1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 ρ -M粒含

P0228 土層説明

1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 ρ -M粒含

P0229 土層説明

1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 ρ -M粒含

P0230 土層説明

1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 ρ -M粒含

P0231 土層説明

1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 ρ -M粒含

P0232 土層説明

1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 ρ -M粒含

P0233 土層説明

1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 ρ -M粒含

P0234 土層説明

1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 ρ -M粒含

P0235 土層説明

1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 ρ -M粒含

P0236 土層説明

1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 ρ -M粒含

P0240 土層説明

1. 10YR3/2 黒褐色土
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色土

P0241 土層説明

1. 10YR3/3 暗褐色土
2. 10YR3/2 暗褐色土 ρ -M7'ロツク2 cm大含

P0244 土層説明

1. 10YR3/2 黒褐色土
2. 10YR3/3 暗褐色土 5 mm大 ρ -M7'ロツク少量含

P0245 土層説明

1. 10YR3/2 黒褐色土
2. 10YR3/3 暗褐色土

P0246 土層説明

1. 10YR3/3 暗褐色土 ρ -M7'ロツク5 mm大少量含

P0247 土層説明

1. 10YR3/2 黒褐色土 ρ -M7'ロツク1 cm大少量含
2. 10YR3/2 黒褐色土

P0248・P0249 土層説明

1. 10YR3/3 暗褐色土
2. 10YR3/2 黒褐色土 ρ -M粒子微量含

P0250 土層説明

1. 10YR3/3 暗褐色土 ρ -M7'ロツク5 mm大少量含

P0251 土層説明

1. 10YR3/3 暗褐色土

P0252 土層説明

1. 10YR4/2 灰黄褐色土 焼土粒微量含

P0253 土層説明

1. 10YR3/2 暗褐色土

P0254 土層説明

1. 10YR3/2 暗褐色土
2. 10YR3/3 暗褐色土 ρ -M7'ロツク2 mm大含

P0255 土層説明

1. 10YR3/3 暗褐色土 ρ -M7'ロツク1 cm大含

P0256 土層説明

1. 10YR4/2 にぶい黄褐色土 ρ -M7'ロツク1 cm大少量含
2. 10YR3/2 暗褐色土 ρ -M7'ロツク2 cm大含

P0257 土層説明

1. 10YR3/2 黒褐色土 ρ -M7'ロツク5 mm大含
2. 10YR3/3 暗褐色土 ρ -M7'ロツク3 cm大含

P0258 土層説明

1. 10YR3/3 暗褐色土
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色土

P0259・P0260 土層説明

1. 10YR3/2 黒褐色土 ρ -M粒子含
2. 10YR3/3 暗褐色土
3. 10YR3/3 暗褐色土 ρ -M7'ロツク3 cm大含
4. 10YR4/2 灰黄褐色土 ρ -M7'ロツク5 mm大含

P0262 土層説明

1. 10YR3/2 黒褐色土 ρ -M7'ロツク多量含

P0263 土層説明

1. 10YR3/3 暗褐色土 ρ -M7'ロツク1 cm大含
2. 10YR4/2 にぶい黄褐色土 ρ -M7'ロツク1 cm大少量含

P0264 土層説明

1. 10YR3/3 暗褐色土 ρ -M7'ロツク3 cm大含

P0265 土層説明

1. 10YR3/2 黒褐色土 ρ -M7'ロツク5 mm大少量含
2. 10YR4/2 にぶい黄褐色土

P0266 土層説明

1. 10YR3/2 黒褐色土 ρ -M7'ロツク1 cm大含

P0270 土層説明

1. 10YR3/3 暗褐色土

P0271 土層説明

1. 10YR3/3 暗褐色土

P0272 土層説明

1. 10YR2/2 黒褐色土 ρ -M7'ロツク5 mm大含
2. 10YR3/2 暗褐色土 ρ -M7'ロツク1 cm大少量含

P0273・P0274 土層説明

1. 10YR3/3 暗褐色土 ρ -M7'ロツク5 mm・2 cm大微量含
2. 10YR3/3 暗褐色土 ρ -M7'ロツク1 cm大少量含

P0275 土層説明

1. 10YR3/2 黒褐色土

P0276 土層説明

1. 10YR3/2 黒褐色土 ρ -M7'ロツク2 cm大含

P0278 土層説明

1. 10YR4/3 にぶい黄褐色土

P0279 土層説明

1. 10YR3/2 黒褐色土

P0280 土層説明

1. 10YR3/2 黒褐色土
2. 10YR3/3 暗褐色土
3. 10YR3/3 暗褐色土 ρ -M7'ロツク5 mm大含

P0281 土層説明

1. 10YR3/3 暗褐色土 ρ -M7'ロツク5 mm大焼土粒含

P0283・P0284 土層説明

1. 10YR3/2 黒褐色土 ρ -M7'ロツク2 cm大含

P0285 土層説明

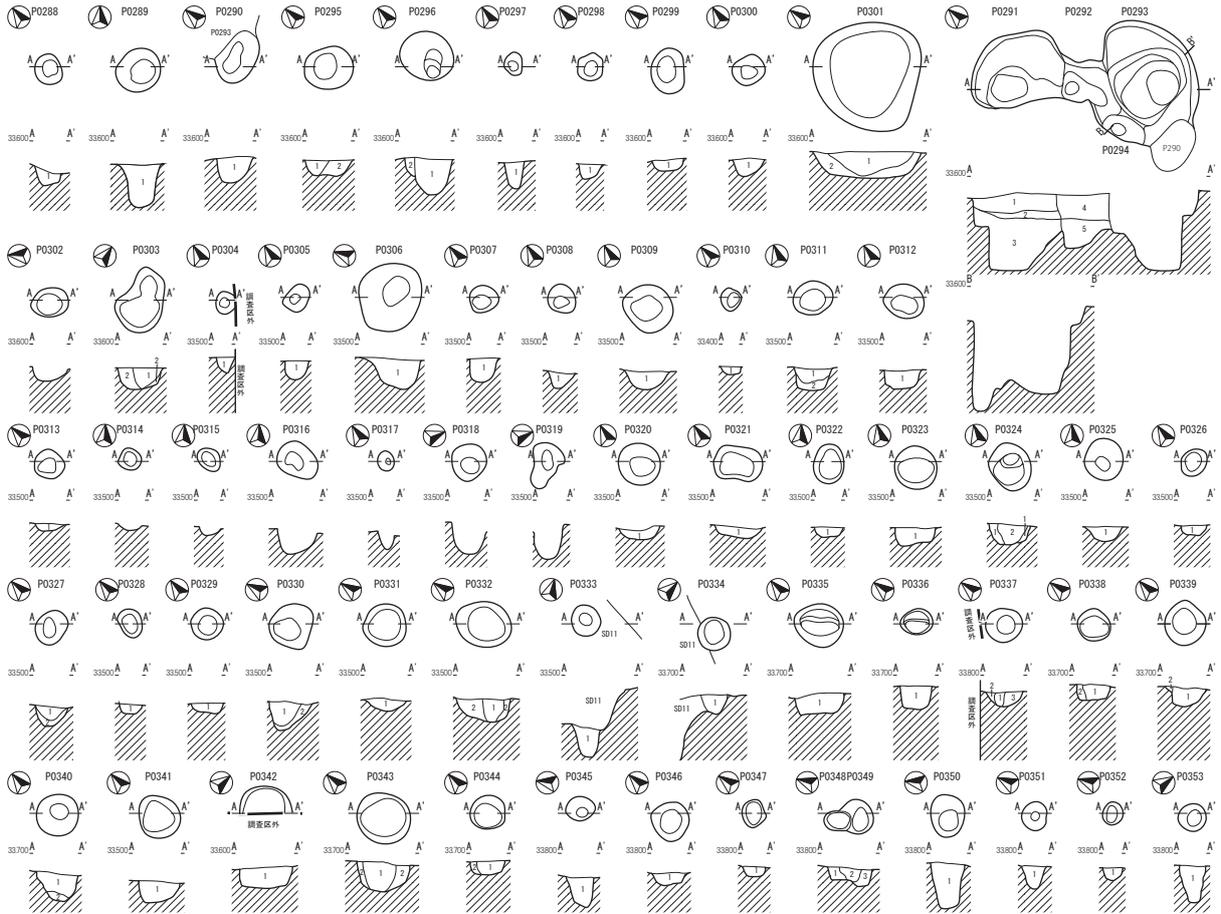
1. 10YR4/2 灰黄褐色土

P0286・P0287 土層説明

1. 10YR3/3 暗褐色土 ρ -M7'ロツク1 cm大含
2. 10YR3/3 暗褐色土 ρ -M7'ロツク5 mm大少量含
3. 10YR3/2 黒褐色土 ρ -M7'ロツク5 mm大少量含



第 150 図 第 224 ~ 287 号ピット

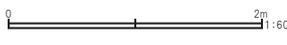


- P0288 土層説明**
1. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック5 mm 大含
焼土粒・炭化物微量含
- P0289 土層説明**
1. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック5 mm 大少量含
焼土粒微量含
- P0290 土層説明**
1. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック1 mm 大微量含
- P0291・P0292・P0293 土層説明**
1. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック5 mm 大少量含
2. 10YR3/2 黒褐色土 ロ-ム7' ロック5 mm 大少量含
3. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック1 cm 大少量含
4. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック1 cm 大含
5. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック1 cm 大少量含
- P0295 土層説明**
1. 10YR3/2 黒褐色土
2. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック5 mm 大少量含
- P0296 土層説明**
1. 10YR3/2 黒褐色土 ロ-ム7' ロック5 mm 大少量含
2. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック5 mm 大少量含
- P0297 土層説明**
1. 10YR3/2 黒褐色土 ロ-ム7' ロック2 cm 大少量含
- P0298 土層説明**
1. 10YR3/3 暗褐色土
10YR2/1 黒色土 ロック1 cm 大少量含
ロ-ム7' ロック1 cm 大少量含
- P0299 土層説明**
1. 10YR3/2 黒褐色土 ロ-ム7' ロック1 cm 大含
- P0300 土層説明**
1. 10YR3/2 黒褐色土
- P0301 土層説明**
1. 10YR3/2 黒褐色土
2. 10YR4/2 灰黄褐色土
- P0303 土層説明**
1. 10YR3/2 黒褐色土
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 ロ-ム土混入多い
- P0304 土層説明**
1. 10YR4/1 褐灰色土 ロ-ム7' ロック5 mm 大少量含
- P0305 土層説明**
1. 10YR3/2 黒褐色土 焼土粒微量含
ロ-ム7' ロック5 mm 大少量含

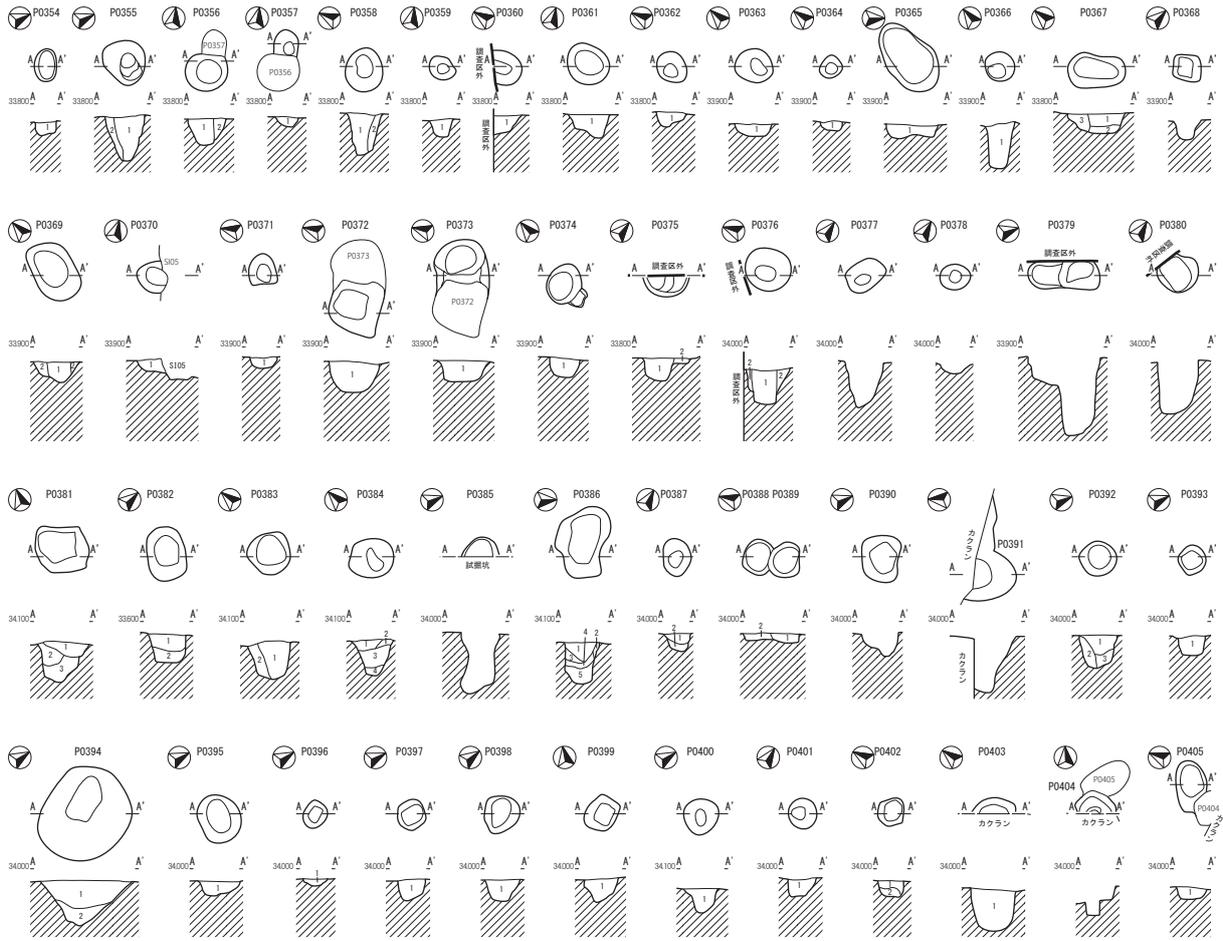
- P0306 土層説明**
1. 10YR3/2 暗褐色土
- P0307 土層説明**
1. 10YR3/2 暗褐色土
- P0308 土層説明**
1. 10YR3/3 暗褐色土
- P0309 土層説明**
1. 10YR3/3 暗褐色土
ロ-ム7' ロック2 cm 大少量含
- P0310 土層説明**
1. 10YR3/3 暗褐色土
ロ-ム7' ロック1 cm 大含
- P0311 土層説明**
1. 10YR3/3 暗褐色土
ロ-ム7' ロック5 mm 大少量含
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色土
- P0312 土層説明**
1. 10YR3/3 暗褐色土
ロ-ム7' ロック2 cm 大少量含
- P0313 土層説明**
1. 10YR3/2 黒褐色土
ロ-ム7' ロック5 mm 大少量含
- P0320 土層説明**
1. 10YR3/3 暗褐色土
ロ-ム7' ロック1 cm 大含
- P0321 土層説明**
1. 10YR3/3 暗褐色土
- P0322 土層説明**
1. 10YR3/3 暗褐色土
- P0323 土層説明**
1. 10YR3/3 暗褐色土
ロ-ム7' ロック1 cm 大含
- P0324 土層説明**
1. 10YR3/3 暗褐色土
2. 10YR3/2 黒褐色土
- P0325 土層説明**
1. 10YR3/2 暗褐色土
ロ-ム7' ロック1 cm 大少量含

- P0326 土層説明**
1. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム粒子含
- P0327 土層説明**
1. 10YR3/2 黒褐色土 ロ-ム7' ロック1 cm 大含
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色土
- P0328 土層説明**
1. 10YR3/3 暗褐色土
10YR2/1 黒色土 ロック1 cm 大含
ロ-ム7' ロック1 cm 大含
- P0329 土層説明**
1. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック1 cm 大含
- P0330 土層説明**
1. 10YR4/3 にぶい黄褐色土
10YR2/1 黒色土 ロック3 cm 大
ロ-ム7' ロック2 cm 大含
- P0331 土層説明**
1. 10YR3/3 暗褐色土
ロ-ム7' ロック3 cm 大含
炭化物微量含
- P0332 土層説明**
1. 10YR3/2 黒褐色土 ロ-ム7' ロック5 mm 大少量含
2. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック1 cm 大少量含
- P0333 土層説明**
1. 10YR3/2 黒褐色土
- P0334 土層説明**
1. 10YR2/2 黒褐色土 ロ-ム7' ロック5 mm 大少量含
- P0335 土層説明**
1. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック1 cm 大含
- P0336 土層説明**
1. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック1 cm 大含
- P0337 土層説明**
1. 10YR2/1 黒色土
2. 10YR3/2 黒褐色土 ロ-ム粒子含
3. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム粒子含
- P0338 土層説明**
1. 10YR3/2 黒褐色土 ロ-ム7' ロック1 cm 大少量含
2. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック1 cm 大少量含
- P0339 土層説明**
1. 10YR3/2 暗褐色土
2. ロ-ム7' ロック

- P0340 土層説明**
1. 10YR3/3 暗褐色土
10YR2/1 黒色土 ロック2 cm 大含
ロ-ム7' ロック1 cm 大含
2. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック1 mm 大少量含
- P0341 土層説明**
1. 10YR4/3 にぶい黄褐色土
- P0342 土層説明**
1. 10YR3/3 暗褐色土
- P0343 土層説明**
1. 10YR3/2 暗褐色土 ロ-ム7' ロック1 cm 大含
2. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック1 cm 大含
- P0344 土層説明**
1. 10YR3/2 暗褐色土 ロ-ム7' ロック1 cm 大含
2. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック1 cm 大含
- P0345 土層説明**
1. 10YR3/2 暗褐色土
- P0346 土層説明**
1. 10YR4/3 にぶい黄褐色土
- P0347 土層説明**
1. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック5 mm 大含
- P0348・P0349 土層説明**
1. 10YR4/3 にぶい黄褐色土
2. 10YR3/3 暗褐色土
3. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック1 mm 大少量含
- P0350 土層説明**
1. 10YR3/2 暗褐色土 ロ-ム7' ロック1 cm 大微量含
- P0351 土層説明**
1. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック5 mm 大少量含
- P0352 土層説明**
1. 10YR5/1 褐灰色土 ロ-ム7' ロック2 cm 大少量含
- P0353 土層説明**
1. 10YR3/2 暗褐色土 ロ-ム7' ロック1 cm 大含



第 151 図 第 288 ~ 353 号ピット



P0354 土層説明
1. 10YR5/1 褐灰色土 ロ-ム7' ロック1 cm 大多量含

P0355 土層説明
1. 10YR3/2 黒褐色土 ロ-ム7' ロック1 cm 少量含
2. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック2 cm 大含

P0356 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック1 mm 大含
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 ロ-ム7' ロック1 mm 大含

P0357 土層説明
1. 10YR3/2 黒褐色土 ロ-ム7' ロック5 mm 大含

P0358 土層説明
1. 10YR3/2 黒褐色土 ロ-ム7' ロック3 cm 大含
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色土

P0359 土層説明
1. 10YR3/2 黒褐色土 ロ-ム7' ロック1 cm 大含

P0360 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック1 cm 大多量含

P0361 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック1 cm 少量含

P0362 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック1 cm 大含

P0363 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック1 cm 少量含

P0364 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 ロ-ム7' ロック5 mm 大含

P0365 土層説明
1. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 ロ-ム7' ロック1 mm 大含

P0366 土層説明
1. 10YR3/2 黒褐色土 ロ-ム7' ロック5 mm 大微量含

P0367 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック5 mm 大微量含
2. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック1 cm 大含
3. 10YR3/2 黒褐色土 ロ-ム7' ロック5 mm 大微量含

P0369 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 炭化物微量含
2. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム粒子多量含

P0370 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土

P0371 土層説明
1. 10YR3/2 黒褐色土 ロ-ム7' ロック1 cm 少量含

P0372 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック1 cm 大含
10YR2/1 黒色7' ロック5 cm 大含

P0373 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック5 mm 大微量含

P0374 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック5 mm 大含

P0375 土層説明
1. 10YR3/2 黒褐色土 ロ-ム7' ロック5 mm 大微量含
2. 10YR3/2 黒褐色土 ロ-ム7' ロック1 cm 大含

P0376 土層説明
1. 10YR3/2 黒褐色土 ロ-ム7' ロック1 cm 少量含
2. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック1 cm 少量含

P0381 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック5 mm 少量含
2. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック5 cm 大含
3. 10YR2/2 黒褐色土 ロ-ム7' ロック2 cm 少量含

P0382 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック5 mm 少量含
2. 10YR3/3 暗褐色土 ハ-ト ロ-ム7' ロック3 cm 大含

P0383 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック5 mm 少量含
2. 10YR3/3 暗褐色土

P0384 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土
2. 10YR3/3 暗褐色土
3. 10YR2/2 黒褐色土 ロ-ム7' ロック5 cm 少量含
4. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-ム7' ロック5 cm 大多量含

P0386 土層説明
1. 10YR3/2 黒褐色土 ロ-ム粒子含
2. 10YR3/3 暗褐色土
3. 10YR3/3 暗褐色土 炭化物微量含
4. 10YR3/2 黒褐色土
5. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック5 mm 少量含

P0387 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土
2. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック5 mm 少量含

P0388・P0389 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック5 mm 少量含
2. 10YR3/2 黒褐色土 ロ-ム7' ロック5 mm 大微量含 炭化物微量含

P0392 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック5 mm 少量含
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色土
3. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 10YR2/2 黒褐色7' ロック2 cm 大含

P0393 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック5 mm 大含 10YR2/2 黒褐色7' ロック3 cm 大含

P0394 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック5 mm 少量含 炭化物少量含
2. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック1 cm 大多量含

P0395 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土

P0396 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土

P0397 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土

P0398 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土

P0399 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土

P0400 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 炭化物含

P0401 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色

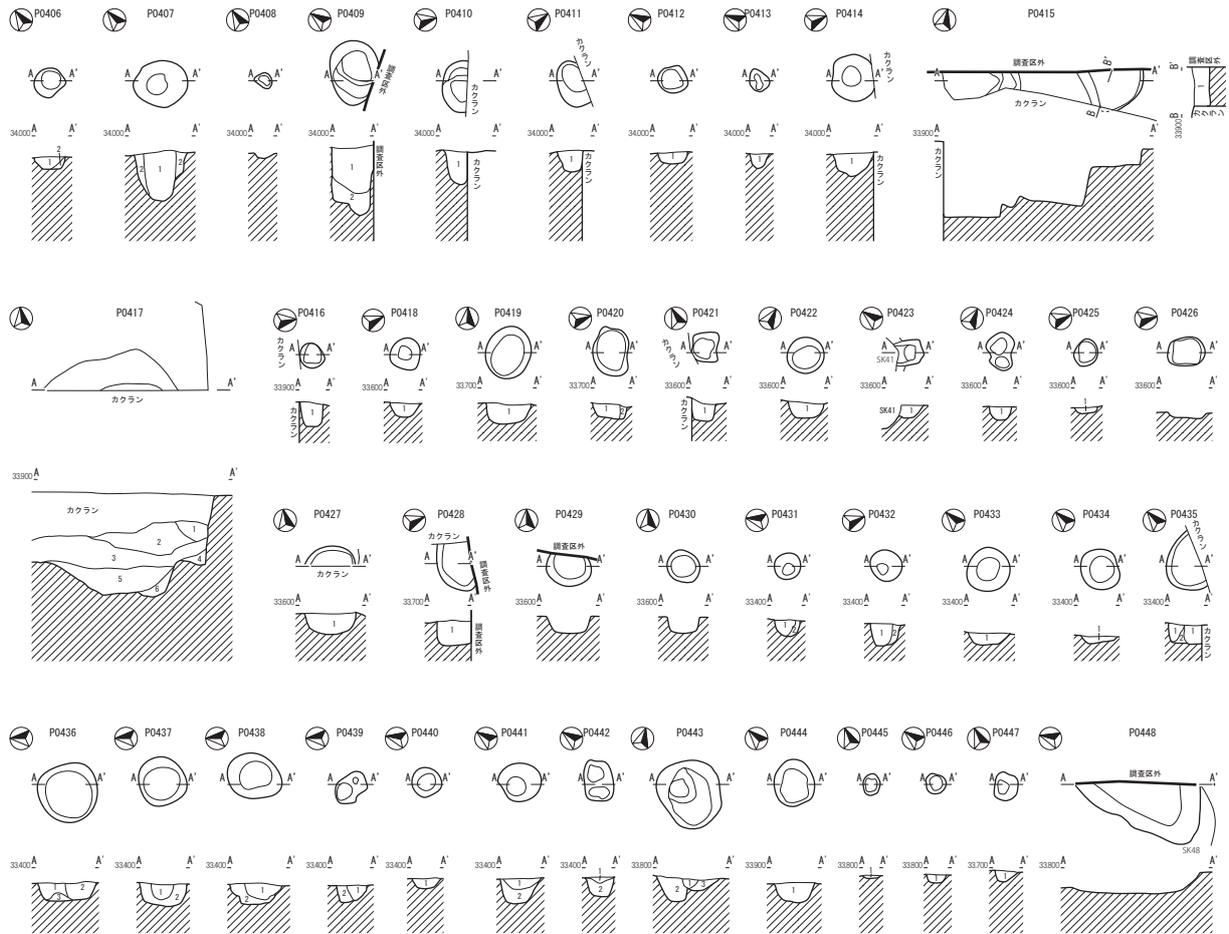
P0402 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土
2. 10YR5/4 にぶい黄褐色土

P0403 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土

P0405 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-ム7' ロック5 mm 大微量含



第 152 図 第 354 ~ 405 号ピット



P0406 土層説明
 1. 10YR3/2 黒褐色土 ロ-M7' ヲツ75 mm大含
 2. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 ロ-M7' ヲツ72 cm大含

P0407 土層説明
 1. 10YR3/2 黒褐色土 炭化物含
 2. 10YR3/2 黒褐色土 ロ-M7' ヲツ72 cm大含

P0409 土層説明
 1. 10YR3/2 黒褐色土 ロ-M7' ヲツ75 mm大少量含
 2. 10YR3/2 黒褐色土 ロ-M7' ヲツ71 cm大含

P0410 土層説明
 1. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-M7' ヲツ75 mm大微量含 炭化物微量含

P0411 土層説明
 1. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-M7' ヲツ75 mm大少量含

P0412 土層説明
 1. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-M7' ヲツ75 mm大少量含

P0413 土層説明
 1. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-M7' ヲツ75 mm大微量含

P0414 土層説明
 1. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-M7' ヲツ75 mm大微量含 炭化物微量含

P0415 土層説明
 1. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-M7' ヲツ75 mm大微量含 炭化物微量含

P0416 土層説明
 1. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-M7' ヲツ75 mm大微量含 3cm大微量含

P0417 土層説明
 1. 10YR3/2 黒褐色土 ロ-M7' ヲツ75 mm大少量含 焼土粒少量含
 2. 10YR3/2 黒褐色土 ロ-M7' ヲツ75 mm大少量含 焼土粒少量含 炭化物少量含
 3. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-M7' ヲツ75 mm大少量含 10YR2/1 黒色ヲ ヲツ75 mm~1cm大少量含
 4. 10YR3/3 暗褐色土 2.5Y6/4 にぶい黄色砂質ヲ ヲツ73cm大含
 5. 10YR2/2 黒褐色土 ロ-M7' ヲツ75mm大含
 6. 10YR2/2 黒褐色土 2.5Y6/4 にぶい黄色砂質ヲ ヲツ73 cm大少量含

P0418 土層説明
 1. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-M7' ヲツ75 mm大少量含

P0419 土層説明
 1. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-M7' ヲツ75 mm大含

P0420 土層説明
 1. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-M7' ヲツ75 mm大含
 2. 10YR にぶい黄褐色土

P0421 土層説明
 1. 10YR2/3 黒褐色土

P0422 土層説明
 1. 10YR4/3 にぶい黄褐色土

P0423 土層説明
 1. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-M7' ヲツ75 mm大少量含

P0424 土層説明
 1. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-M7' ヲツ75 mm大少量含

P0425 土層説明
 1. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-M7' ヲツ75 mm大少量含

P0427 土層説明
 1. 10YR2/3 黒褐色土

P0428 土層説明
 1. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-M7' ヲツ75 mm大含

P0431 土層説明
 1. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-M7' ヲツ71 cm大含
 2. 10YR4/3 にぶい黄褐色土

P0432 土層説明
 1. 10YR2/2 黒褐色土 ロ-M7' ヲツ75 mm大少量含
 2. 10YR2/2 黒褐色土 ロ-M7' ヲツ71 cm大含

P0433 土層説明
 1. 10YR3/3 暗褐色土

P0434 土層説明
 1. 10YR3/3 暗褐色土
 2. 10YR4/3 にぶい黄褐色土

P0443 土層説明
 1. 10YR3/3 暗褐色土

P0444 土層説明
 1. 10YR3/3 黒褐色土

P0445 土層説明
 1. 10YR4/2 灰黄褐色土 粘性あり ロ-M7' ヲツ75 mm大含

P0446 土層説明
 1. 2.5YR3/3 暗オリーブ褐色土 しまり弱

P0447 土層説明
 1. 10YR2/2 黒褐色土 ロ-M7' ヲツ71 cm大少量含

P0448 土層説明
 1. 10YR2/2 黒褐色土 ロ-M7' ヲツ71 cm大少量含

P0437 土層説明
 1. 10YR2/3 黒褐色土
 2. 10YR3/3 暗褐色土

P0438 土層説明
 1. 10YR2/2 黒褐色土
 2. 10YR3/3 暗褐色土

P0439 土層説明
 1. 10YR2/3 黒褐色土
 2. 10YR3/3 暗褐色土

P0440 土層説明
 1. 10YR4/1 褐灰色土

P0441 土層説明
 1. 10YR3/2 黒褐色土
 2. 10YR3/3 暗褐色土

P0442 土層説明
 1. 10YR2/2 黒褐色土
 2. 10YR3/3 暗褐色土

P0443 土層説明
 1. 10YR3/3 暗褐色土
 2. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-M7' ヲツ71 mm大含
 3. 10YR4/3 にぶい黄褐色土

P0444 土層説明
 1. 10YR3/3 黒褐色土

P0445 土層説明
 1. 10YR4/2 灰黄褐色土 粘性あり ロ-M7' ヲツ75 mm大含

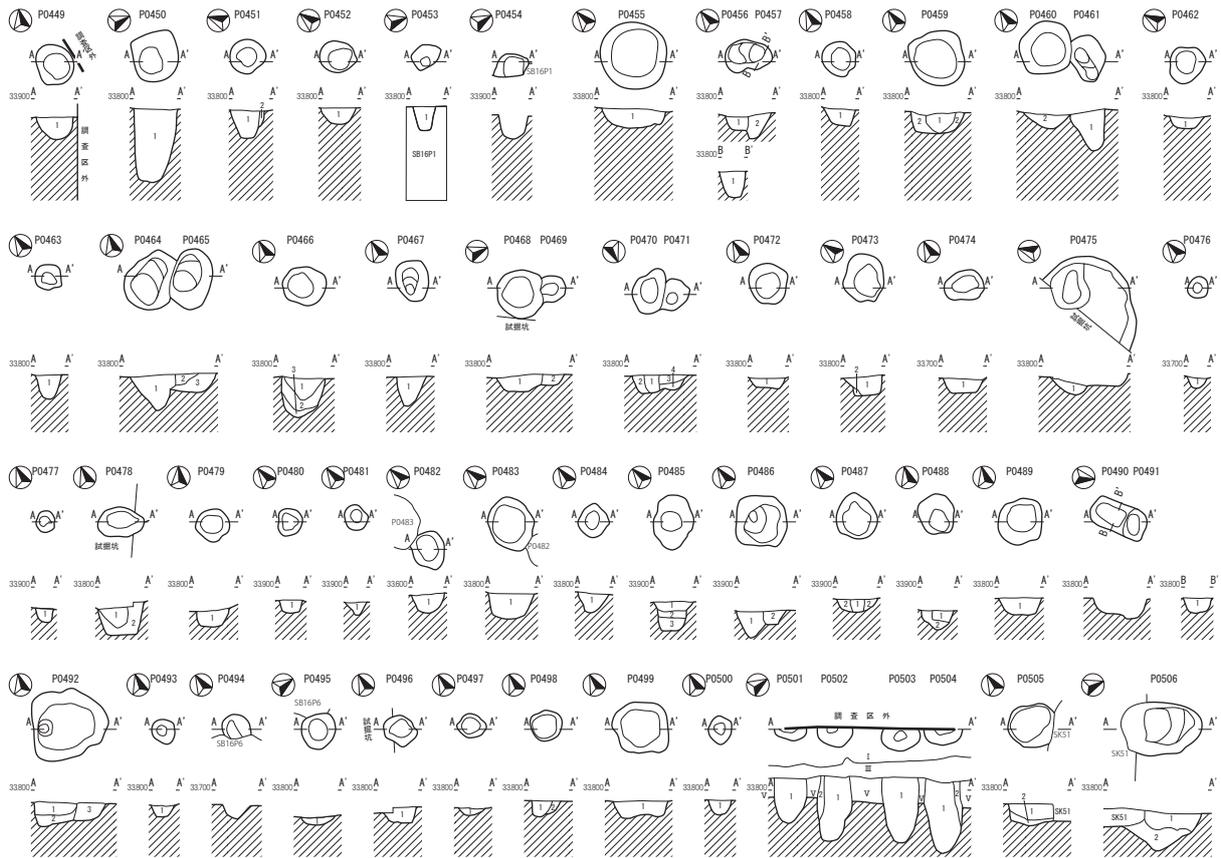
P0446 土層説明
 1. 2.5YR3/3 暗オリーブ褐色土 しまり弱

P0447 土層説明
 1. 10YR2/2 黒褐色土 ロ-M7' ヲツ71 cm大少量含

P0448 土層説明
 1. 10YR2/2 黒褐色土 ロ-M7' ヲツ71 cm大少量含



第 153 図 第 406 ~ 448 号ピット



P0449 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック75 mm大少量含

P0450 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 ロ-ム7' ロック
10YR6/1 褐灰色7' ロック1 cm大少量含

P0451 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土
2. 10YR3/3 暗褐色土

P0452 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土

P0453 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 粘性あり

P0455 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土

P0456・P0457 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-ム7' ロック75 mm大少量含
2. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-ム7' ロック75 mm大少量含

P0458 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-ム7' ロック1 cm大少量含

P0459 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土
2. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック75 mm大含

P0460・P461 土層説明
1. 10YR2/2 黒褐色土
2. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック75 mm少量含

P0462 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土

P0463 土層説明
1. 10YR2/2 黒褐色土 灰黄褐色土7' ロック75 mm少量含

P0464・P0465 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-ム7' ロック75 mm大少量含
2. 10YR2/3 黒褐色土
3. 10YR3/3 暗褐色土

P0466 土層説明
1. 10YR3/2 黒褐色土
2. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック75 mm大少量含
3. 10YR4/3 にぶい黄褐色土

P0467 土層説明
1. 10YR2/2 黒褐色土 しまり弱

P0468・P0469 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 若干暗め
2. 10YR3/3 暗褐色土

P0470・P0471 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土
2. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック1 cm大含
3. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-ム7' ロック75 mm大少量含
4. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック1 cm大含

P0472 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土

P0473 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-ム7' ロック75 mm大少量含
2. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック1 cm大含

P0474 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土

P0475 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-ム7' ロック2 cm大含

P0476 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック75 mm大少量含

P0477 土層説明
1. 10YR2/2 黒褐色土 ロ-ム7' ロック75 mm大少量含

P0478 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土
2. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック1 cm大含

P0479 土層説明
1. 10YR2/2 黒褐色土

P0480 土層説明
1. 10YR2/2 黒褐色土 ロ-ム7' ロック75 mm大少量含

P0481 土層説明
1. 10YR2/2 黒褐色土

P0482 土層説明
1. 10YR2/2 黒褐色土 ロ-ム7' ロック1 cm大含

P0483 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 5 mm大少量含

P0484 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-ム7' ロック1 cm大含

P0485 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 2. 5Y7/2 灰黄色7' ロック75 mm大含
2. 10YR2/3 黒褐色土
3. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック75 mm大少量含

P0486 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土
2. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-ム7' ロック75 mm大含

P0487 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-ム7' ロック75 mm大少量含
2. 10YR3/3 暗褐色土

P0488 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック75 mm大少量含
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 ロ-ム7' ロック1 cm大含

P0489 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-ム7' ロック75 mm大少量含

P0490 土層説明
1. 10YR3/2 黒褐色土 白色火山灰少量含

P0492 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 白色火山灰少量含
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 ロ-ム7' ロック75 mm大含
3. 10YR4/3 にぶい黄褐色土

P0493 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック75 mm大少量含

P0495 土層説明
1. 10YR5/1 褐灰色土 小礫5mm少量含

P0496 土層説明
1. 10YR2/2 黒褐色土 ロ-ム7' ロック75mm大少量含

P0497 土層説明
1. 10YR2/2 黒褐色土 ロ-ム7' ロック
10YR5/2 灰黄褐色7' ロック75 mm大少量含

P0498 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土
2. 10YR3/4 暗褐色土

P0499 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック75 cm大少量含

P0500 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック75 mm大少量含

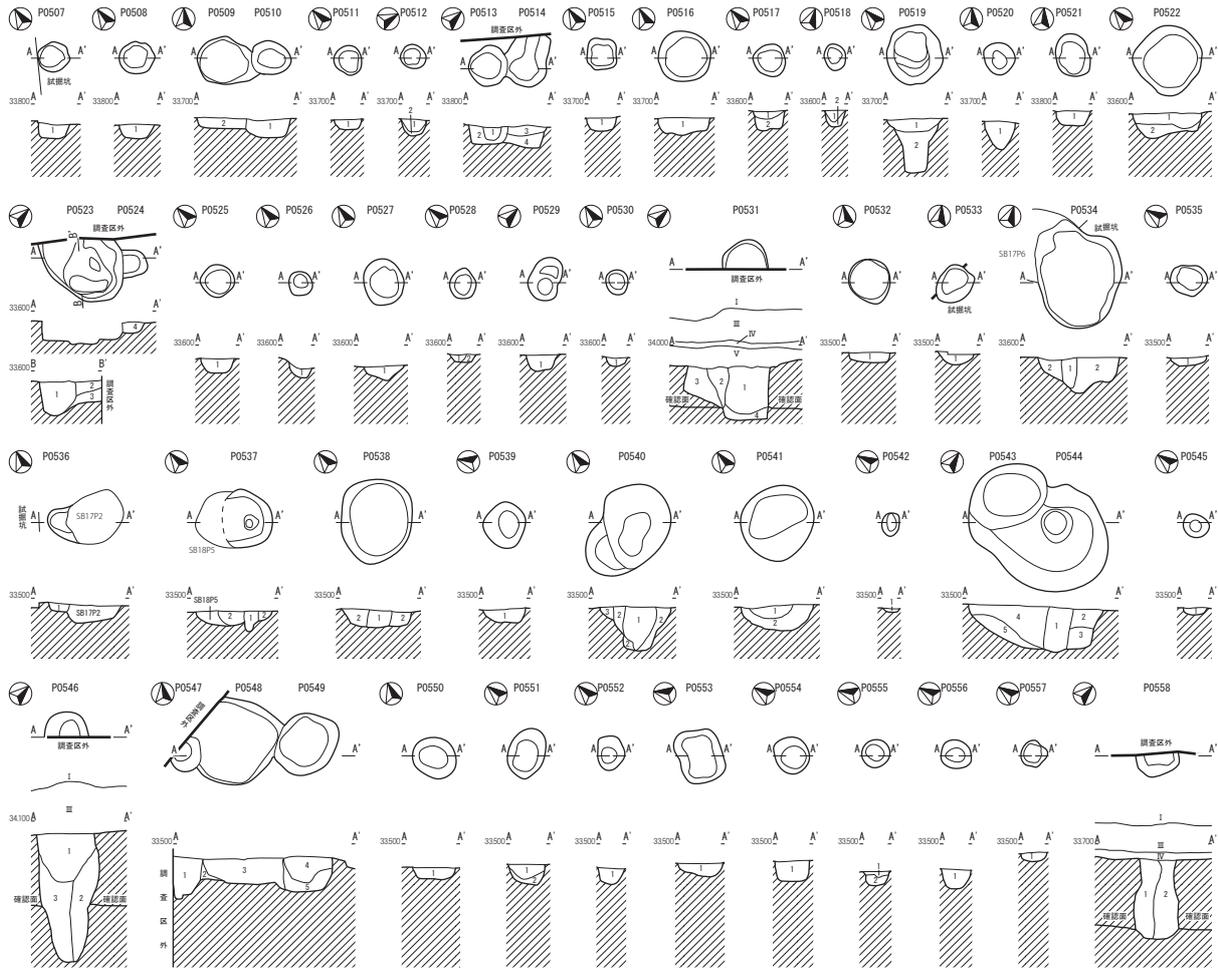
P0501・P0502・P0503・P0504 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 2. 5Y7/2 灰黄色土7' ロック75 mm大含
2. 10YR4/2 灰黄褐色土

P0505 土層説明
1. 10YR2/2 黒褐色土
2. 10YR2/2 黒褐色土 ロ-ム7' ロック75mm大含

P0506 土層説明
1. 10YR2/2 黒褐色土
2. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム7' ロック75 mm大少量含



第 154 図 第 449 ~ 506 号ピット



P0507 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 0-17' ロック75mm大含

P0508 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 0-17' ロック75mm大含

P0509・P0510 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土
2. 10YR3/3 暗褐色土

P0511 土層説明
1. 10YR2/3 暗褐色土 0-17' ロック75mm大少量含
2. 10YR3/3 暗褐色土

P0512 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土
焼土7' ロック1mm〜5mm大少量含
2. 10YR3/3 暗褐色土 0-17' ロック75mm大含

P0513・P0514 土層説明
1. 10YR2/2 黒褐色土 0-17' ロック75mm大微量含
2. 10YR3/3 暗褐色土 0-17' ロック75mm大含
3. 10YR4/2 灰黄褐色土
2. 5YR4/2 灰赤色土 7' ロック75mm大含
4. 10YR3/3 暗褐色土 0-17' ロック75mm大少量含

P0515 土層説明
1. 10YR3/2 黒褐色土 0-17' ロック71cm大含

P0516 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 0-17' ロック75mm大少量含

P0517 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土
0-17' ロック1mm〜5mm大少量含
2. 10YR4/4 褐色土

P0518 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土
焼土7' ロック1mm〜5mm少量含
2. 10YR3/3 暗褐色土 0-17' ロック75mm大含

P0519 土層説明
1. 10YR2/2 黒褐色土
2. 10YR2/3 黒褐色土

P0520 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 0-17' ロック75mm大含

P0521 土層説明
1. 10YR5/2 灰黄褐色土
2. 5Y7/2 灰黄色土7' ロック75mm大
0-17' ロック71cm大含

P0522 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 0-17' ロック71cm大少量含
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 5mm大少量含

P0523・P0524 土層説明
1. 10YR2/2 黒褐色土
2. 10YR2/3 黒褐色土
3. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 0-17' ロック75mm大含
4. 10YR2/3 黒褐色土 0-17' ロック75mm大微量含

P0525 土層説明
1. 10YR3/2 黒褐色土0-17' ロック75mm大少量含
炭化物焼土微量含

P0526 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土0-17' ロック75mm大含

P0527 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土0-17' ロック75mm大少量含

P0528 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土
2. 10YR3/3 暗褐色土 0-17' ロック75mm大少量含

P0529 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土
0-17' ロック1mm〜5mm大少量含

P0530 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 0-17' ロック75mm大少量含

P0531 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 焼土粒2mm大含
2. 10YR2/3 黒褐色土
焼土粒2mm大含 0-17' ロック75mm大微量含
3. 10YR2/3 黒褐色土 焼土粒5mm〜1cm大微量含
0-17' ロック75mm大少量含
4. 10YR2/2 黒褐色土 0-17' ロック72cm大含

P0532 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 0-17' ロック75mm大含

P0533 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土

P0534 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土0-17' ロック75mm大少量含
2. 10YR3/3 暗褐色土0-17' ロック75mm大少量含
黒褐色土7' ロック71cm大少量含

P0535 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土0-17' ロック75mm大含

P0536 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土0-17' ロック75mm大少量含

P0537 土層説明
1. 10YR2/2 黒褐色土 0-17' ロック75mm大少量含
2. 10YR2/3 黒褐色土 0-17' ロック71cm大含

P0538 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 0-17' ロック75mm大含
2. 10YR3/4 暗褐色土 0-17' ロック75mm大含

P0539 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 0-17' ロック75mm大少量含

P0540 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土
2. 10YR3/3 暗褐色土 0-17' ロック71cm大少量含
3. 10YR4/3 にぶい黄褐色土

P0541 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 0-17' ロック75mm大少量含
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色土
0-17' ロック75mm大少量含

P0542 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土

P0543・P0544 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土0-17' ロック75mm〜1cm大含
2. 10YR2/3 黒褐色土
3. 10YR3/3 暗褐色土 0-17' ロック71cm大含
4. 10YR2/3 黒褐色土 0-17' ロック75mm大少量含
5. 10YR4/3 にぶい黄褐色土
0-17' ロック71〜3cm大含

P0545 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 0-17' ロック75mm大含
10YR2/1 黒色土7' ロック75mm大含

P0546 土層説明
1. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 0-17' ロック71cm大含
2. 10YR3/3 暗褐色土 0-17' ロック75mm大少量含
3. 10YR3/3 暗褐色土 0-17' ロック71cm大含

P0547・P0548・P0549 土層説明
1. 10YR2/2 黒褐色土 0-17' ロック75mm大含
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 0-17' ロック75mm大含
3. 10YR3/3 暗褐色土 0-17' ロック75mm大少量含
4. 10YR2/3 暗褐色土
5. 10YR3/3 暗褐色土 0-17' ロック75mm大少量含

P0550 土層説明
1. 10YR2/2 黒褐色土 0-17' ロック71cm大少量含

P0551 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 0-17' ロック71mm大少量含
2. 10YR3/3 暗褐色土

P0552 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 0-17' ロック75mm大含
10YR2/1 黒褐色土7' ロック75mm大少量含

P0553 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 0-17' ロック
10YR2/1 黒褐色土7' ロック75mm大含

P0554 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 0-17' ロック
10YR2/1 黒褐色土7' ロック75mm大含

P0555 土層説明
1. 10YR2/2 黒褐色土 0-17' ロック1mm〜1cm大少量含
2. 10YR3/3 暗褐色土 0-17' ロック71cm大含

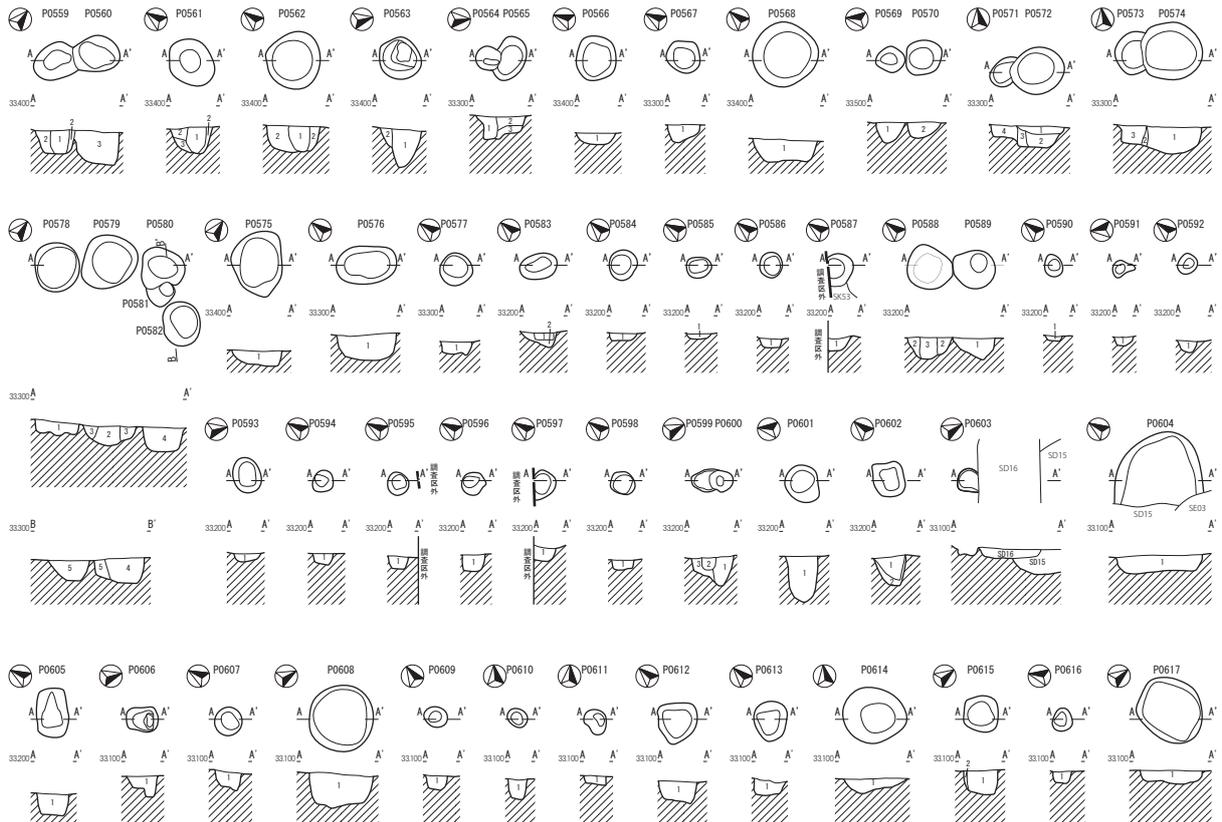
P0556 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 0-17' ロック71mm大少量含

P0557 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 0-17' ロック75mm大少量含

P0558 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 白色火山灰と焼土粒を微量含
2. 10YR2/3 黒褐色土 白色火山灰と焼土粒を微量含
0-17' ロック75mm大少量含



第 155 図 第 507 ~ 558 号ピット



P0559・P0560 土層説明
 1. 10YR2/2 黒褐色土 ロ-A7' 約75 mm大
 2. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-A7' 約71 mm大
 3. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-A7' 約75 mm少量

P0561 土層説明
 1. 10YR2/2 黒褐色土 ロ-A7' 約75 mm大
 2. 10YR2/2 黒褐色土
 3. 10YR2/2 黒褐色土 ロ-A7' 約71 cm大少量

P0562 土層説明
 1. 10YR2/2 黒褐色土 ロ-A7' 約71 cm大
 2. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-A7' 約75 mm大少量

P0563 土層説明
 1. 10YR3/4 暗褐色土 ロ-A7' 約71 ~ 5 mm少量
 2. 10YR4/4 暗褐色土 ロ-A7' 約71 ~ 5 mm少量

P0564・P0565 土層説明
 1. 10YR2/2 黒褐色土 ロ-A7' 約71 mm大
 2. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-A7' 約71 mm大
 3. 10YR4/3 にぶい黄褐色土

P0566 土層説明
 1. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-A7' 約71 cm大 白色火山灰微量

P0567 土層説明
 1. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-A7' 約71 cm大少量

P0568 土層説明
 1. 10YR3/3 暗褐色土

P0569・P0570 土層説明
 1. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-A7' 約71 cm大
 2. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-A7' 約71 cm大

P0571・P0572 土層説明
 1. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-A7' 約75 mm少量
 2. 10YR2/2 黒褐色土 ロ-A7' 約75 mm大少量
 3. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-A7' 約71 cm大少量
 4. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-A7' 約75 mm大少量

P0573・P0574 土層説明
 1. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-A7' 約71 mm少量
 2. 10YR3/3 暗褐色土
 3. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-A7' 約71 mm少量

P0575 土層説明
 1. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-A7' 約75 mm少量

P0576 土層説明
 1. 10YR3/3 暗褐色土

P0577 土層説明
 1. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-A7' 約75 mm少量

P0578・P0579・P0580・P0581・P0582 土層説明
 1. 10YR3/3 暗褐色土
 2. 10YR2/3 黒褐色土
 3. 10YR3/3 暗褐色土
 4. 10YR3/3 暗褐色土
 5. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-A7' 約71 cm大

P0583 土層説明
 1. 10YR2/3 黒褐色土 白色火山灰
 2. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-A7' 約71 cm大

P0584 土層説明
 1. 10YR2/3 黒褐色土

P0585 土層説明
 1. 10YR4/2 灰黄褐色土

P0586 土層説明
 1. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-A7' 約77.5 mm大少量

P0587 土層説明
 1. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-A7' 約75 mm少量

P0588・P0589 土層説明
 1. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-A7' 約71 cm大
 2. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-A7' 約71 cm大
 3. 10YR2/2 黒褐色土 ロ-A7' 約75 mm大少量

P0590 土層説明
 1. 10YR4/2 灰黄褐色土 炭化物

P0591 土層説明
 1. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-A7' 約75 mm少量

P0592 土層説明
 1. 10YR3/3 暗褐色土

P0593 土層説明
 1. 10YR2/3 黒褐色土 白色火山灰

P0594 土層説明
 1. 10YR2/3 黒褐色土 白色火山灰

P0595 土層説明
 1. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-A7' 約75 mm大 炭化物

P0596 土層説明
 1. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-A7' 約71 cm大

P0597 土層説明
 1. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-A7' 約75 mm少量

P0598 土層説明
 1. 10YR4/2 灰黄褐色土 2.5Y7/2 灰黄色7' 約75 mm大

P0599・P0600 土層説明
 1. 10YR2/3 黒褐色土 10YR2/1 黒色土7' 約71 cm大
 ロ-A7' 約75 mm大少量
 2. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-A7' 約75 mm大少量
 3. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-A7' 約75 mm大少量

P0601 土層説明
 1. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-A7' 約75 mm大少量
 白色火山灰少量

P0602 土層説明
 1. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-A7' 約75 mm大少量
 2. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 ロ-A7' 約71 cm大

P0604 土層説明
 1. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-A7' 約75 mm大少量

P0605 土層説明
 1. 10YR2/3 暗褐色土 ロ-A7' 約75 mm大少量 白色火山灰

P0606 土層説明
 1. 10YR2/2 黒褐色土 ロ-A7' 約75 mm大少量

P0607 土層説明
 1. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-A7' 約75 mm大少量

P0608 土層説明
 1. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-A7' 約710 cm大

P0609 土層説明
 1. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-A7' 約75 mm大少量

P0610 土層説明
 1. 10YR2/2 黒褐色土 ロ-A7' 約75 mm大少量 軽石微量

P0611 土層説明
 1. 10YR2/2 黒褐色土 ロ-A7' 約75 mm大少量

P0612 土層説明
 1. 10YR2/2 黒褐色土 ロ-A7' 約710 cm大

P0613 土層説明
 1. 10YR2/2 黒褐色土 ロ-A7' 約75 mm大少量

P0614 土層説明
 1. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-A7' 約75 mm大

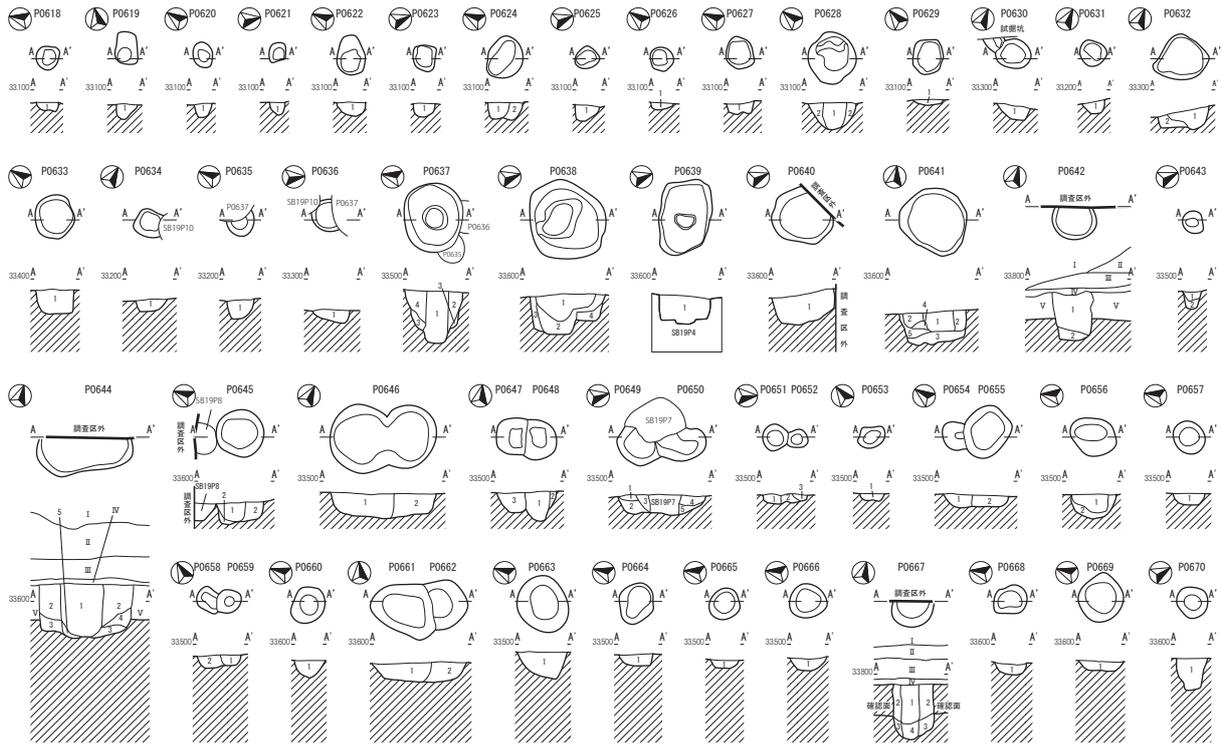
P0615 土層説明
 1. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-A7' 約75 mm大少量
 2. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-A7' 約71 cm大

P0616 土層説明
 1. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-A7' 約71 cm大

P0617 土層説明
 1. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-A7' 約710 cm大

0 2m 1:60

第156図 第559～617号ピット



P0618 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ75 mm大含

P0619 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ75 mm大微量含

P0620 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ75 mm微量含

P0621 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ75 mm大含 黒色土⁷ ヲツ71 cm大

P0622 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ71 cm大含

P0623 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土

P0624 土層説明
1. 10YR2/1 黒色土 ロ-ム⁷ ヲツ71 cm大含
2. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ75 mm大少量含

P0625 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ71 cm大含

P0626 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ72 cm大

P0627 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ75 mm大含

P0628 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ71 cm大少量含
2. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ71 cm大含

P0629 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 2.5Y7/2 灰黄色⁷ ヲツ71 cm大少量含

P0630 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ75 mm大少量含

P0631 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ75 mm大少量含
10YR2/2 黒褐色土⁷ ヲツ71 cm大微量含

P0632 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ71 cm大少量含
2. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ71 cm大少量含

P0633 土層説明
1. 10YR2/2 黒褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ71 cm大少量含 白色火山灰少量含

P0634 土層説明
1. 10YR2/2 黒褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ75 mm~5 cm大含

P0635 土層説明
1. 10YR2/2 黒褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ75 mm~5 cm大含

P0636 土層説明
1. 10YR2/2 黒褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ75 mm~5 cm大含

P0637 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ71 cm大含 焼土微量含
2. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ71 cm大含
3. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ75 mm大微量含
4. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ73 cm大含

P0638 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 2.5Y7/2 灰黄色⁷ ヲツ72 cm大微量含
2. 10YR4/2 灰黄褐色土 2.5Y7/2 灰黄色⁷ ヲツ72 cm大含
3. 10YR3/3 暗褐色土
4. 10YR3/3 暗褐色土 炭化物微量含

P0639 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 2.5Y7/2 灰黄色土⁷ ヲツ75 cm大含

P0640 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 2.5Y7/2 灰黄色土⁷ ヲツ75 cm大含 焼土炭化物少量含

P0641 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ75 mm大少量含 しまり有
2. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ75 mm大微量含
3. 10YR5/4 にぶい黄褐色土
4. 10YR2/3 黒褐色土
5. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ75 mm大少量含

P0642 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 白色火山灰含
2. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ71 mm大含

P0643 土層説明
1. 10YR2/1 黒色土 ロ-ム⁷ ヲツ75 mm大含
2. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ75 mm大含

P0644 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ71 mm大少量含
2.5Y3/2 灰黄色⁷ ヲツ75 mm大少量含
2. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ75 mm大少量含
白色火山灰微量含
3. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ710 cm大微量含
4. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ75 cm大含
10YR2/2 黒褐色土⁷ ヲツ710 cm大含
5. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ75 cm大含

P0645 土層説明
1. 10YR2/2 黒褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ75 mm~2 cm大少量含
2. 10YR3/3 暗褐色土 5 mm~5 cm大含

P0646 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ75 cm大含
2. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ72 cm大含

P0647・P0648 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ75 mm大微量含
2. 10YR3/3 暗褐色土
3. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ75 mm~1 cm大少量含

P0649・P0650 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ75 mm大
10YR2/2 黒褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ71~5 mm大含
2. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ72 cm大微量含
3. 10YR2/1 黒色土 ロ-ム⁷ ヲツ75 mm大含
4. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ71 cm大少量含
5. 10YR4/2 にぶい黄褐色土

P0651・P0652 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ71 mm大少量含
2. 10YR3/3 暗褐色土
3. 10YR2/1 黒色土 ロ-ム⁷ ヲツ71 mm大少量含

P0653 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ75 mm大含

P0654・P0655 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ75 mm大含
2. 10YR2/2 黒褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ75 mm大含

P0656 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ75 mm大
2.5Y7/2 灰黄色⁷ ヲツ71 cm大含
2. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ71 cm大含

P0657 土層説明
1. 10YR2/2 黒褐色土 2.5Y7/2 灰黄色⁷ ヲツ71 cm大含

P0658・P0659 土層説明
1. 10YR2/2 黒褐色土 炭化物微量含
2. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ71 cm大少量含

P0660 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ75 mm大少量含 炭化物微量含

P0661・P0662 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ71 cm大少量含
2. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ75 mm大少量含

P0663 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ75 mm大
2.5Y7/2 灰黄色⁷ ヲツ71 cm大含

P0664 土層説明
1. 10YR2/1 黒褐色土 しまり弱 ロ-ム⁷ ヲツ71 cm大少量含

P0665 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ75 mm大少量含

P0666 土層説明
1. 10YR2/2 黒褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ75 mm大少量含

P0667 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 白色火山灰微量含
2. 10YR3/3 暗褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ75 mm大少量含
3. 10YR4/3 にぶい黄褐色土
4. 10YR2/3 黒褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ75 mm大含

P0668 土層説明
1. 10YR2/2 黒褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ75 mm~1 cm大含

P0669 土層説明
1. 10YR2/2 黒褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ71 cm大少量含

P0670 土層説明
1. 10YR2/2 黒褐色土 ロ-ム⁷ ヲツ71 mm大含



第 157 図 第 618 ~ 670 号ピット



P0671 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 0-47' 0.775 mm 大含

P0672 土層説明
1. 10YR2/2 黒褐色土 0-47' 0.775 mm 大含
2. 10YR3/3 暗褐色土 0-47' 0.775 mm 大含

P0673 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 0-47' 0.775 mm 大含

P0674 土層説明
1. 10YR2/2 黒褐色土 0-47' 0.775 mm 大含
2. 10YR3/3 暗褐色土 0-47' 0.775 mm ~ 3 cm 大含
3. 10YR2/2 黒褐色土 0-47' 0.775 mm ~ 3 cm 大含

P0675 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 0-47' 0.775 mm 大含

P0676 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 0-47' 0.775 mm 大含
炭化物微量含

P0677 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 0-47' 0.775 mm ~ 5 mm 大含
白色火山灰微量含
2. 10YR3/3 暗褐色土 0-47' 0.775 mm 大含

P0678 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 0-47' 0.775 mm 大含
白色火山灰微量含

P0679 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 0-47' 0.775 mm 大含

P0680 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 0-47' 0.775 mm ~ 1 cm 大含
2. 10YR3/3 暗褐色土 0-47' 0.775 mm ~ 1 cm 大含
3. 10YR3/3 暗褐色土 0-47' 0.775 mm 大含
4. 10YR3/3 暗褐色土 0-47' 0.775 mm ~ 3 cm 大含

P0681 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 0-47' 0.775 mm 大含
10YR2/2 黒褐色土 0-47' 0.775 mm 大含
2. 10YR2/3 黒褐色土 0-47' 0.775 mm 大含

P0682 土層説明
1. 10YR2/2 黒褐色土 0-47' 0.775 mm ~ 5 cm 大含

P0683 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 0-47' 0.775 mm 大含
白色火山灰微量含
2. 10YR3/3 暗褐色土 0-47' 0.775 mm 大含

P0684 土層説明
1. 10YR4/3 灰黄褐色土 0-47' 0.775 mm 大含

P0685 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 0-47' 0.775 mm 大含
白色火山灰含

P0686 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 白色火山灰微量含

P0687 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 0-47' 0.775 mm 大含

P0688 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 0-47' 0.775 mm 大含
白色火山灰微量含

P0689 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 0-47' 0.775 mm ~ 3 cm 大含

P0690 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 0-47' 0.775 mm 大含
しまり有

P0691 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 0-47' 0.775 mm 大含
2. 10YR3/3 暗褐色土

P0692 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 0-47' 0.775 mm ~ 3 mm 大含
2. 10YR3/1 黒褐色土 0-47' 0.775 mm 大含
3. 10YR2/3 黒褐色土 0-47' 0.775 mm 大含
4. 10YR3/1 黒褐色土 0-47' 0.775 mm 大含
10YR2/2 黒褐色土 0-47' 0.775 mm 大含
5. 10YR3/3 暗褐色土

P0693 - P0694 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 0-47' 0.775 mm ~ 1 cm 大含
2. 10YR3/3 暗褐色土 0-47' 0.775 mm 大含

P0695 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 0-47' 0.775 mm 大含
2. 10YR3/3 暗褐色土 0-47' 0.775 mm ~ 1 cm 大含
3. 10YR3/3 暗褐色土 0-47' 0.775 mm 大含
4. 10YR3/3 暗褐色土 0-47' 0.775 mm ~ 5 cm 大含

P0696 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土
2. 10YR3/3 暗褐色土 0-47' 0.775 mm 大含

P0697 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 0-47' 0.775 mm 大含

P0698 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土
2. 5Y7/2 灰黄色土 0-47' 0.775 mm 大含

P0699 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土
10YR2/1 黒褐色土 0-47' 0.775 mm 大含
0-47' 0.775 mm 大含

P0700 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土

P0701 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 0-47' 0.775 mm 大含

P0702 - P0703 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 0-47' 0.775 mm ~ 1 cm 大含
2. 10YR3/3 暗褐色土 0-47' 0.775 mm ~ 1 cm 大含
3. 10YR4/3 にぶい黄褐色土

P0704 - P0705 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 0-47' 0.775 mm ~ 1 cm 大含
2. 10YR2/3 黒褐色土 0-47' 0.775 mm ~ 3 cm 大含
3. 10YR3/3 暗褐色土
4. 10YR4/3 にぶい黄褐色土

P0706 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 0-47' 0.775 mm 大含
2. 10YR3/3 暗褐色土 0-47' 0.775 mm ~ 1 cm 大含
3. 10YR4/3 にぶい黄褐色土
4. 10YR3/3 暗褐色土 0-47' 0.775 mm 大含
10YR2/1 黒褐色土 0-47' 0.775 mm 大含

P0707 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 0-47' 0.775 mm 大含

P0708 - P0709 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 0-47' 0.775 mm 大含
2. 10YR3/3 暗褐色土 0-47' 0.775 mm 大含
炭化物微量含
3. 10YR3/3 暗褐色土 0-47' 0.775 mm 大含
炭化物微量含
4. 10YR3/3 暗褐色土 0-47' 0.775 mm ~ 1 cm 大含

P0710 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 0-47' 0.775 mm 大含

P0711 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 0-47' 0.775 mm 大含
2. 10YR2/3 黒褐色土 0-47' 0.775 mm ~ 5 cm 大含

P0712 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土

P0713 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 0-47' 0.775 mm 大含
白色火山灰微量含

P0714 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 白色火山灰微量含

P0715 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 0-47' 0.775 mm 大含
2. 10YR2/3 黒褐色土 0-47' 0.775 mm 大含

P0716 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 0-47' 0.775 mm 大含

P0717 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 0-47' 0.775 mm ~ 1 cm 大含
2. 10YR2/3 黒褐色土 0-47' 0.775 mm 大含

P0718 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 0-47' 0.775 mm ~ 1 cm 大含
2. 10YR2/3 黒褐色土 0-47' 0.775 mm 大含

P0719 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 0-47' 0.775 mm 大含
10YR2/3 黒褐色土 0-47' 0.775 mm 大含

P0720 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土
2. 5Y7/2 灰黄色土 0-47' 0.775 mm 大含
2. 10YR3/3 暗褐色土
3. 10YR2/3 黒褐色土 0-47' 0.775 mm 大含
4. 10YR2/3 黒褐色土 0-47' 0.775 mm ~ 5 cm 大含
4. 10YR2/3 黒褐色土 0-47' 0.775 mm 大含

P0721 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 0-47' 0.775 mm 大含

P0722 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 0-47' 0.775 mm 大含
2. 10YR3/3 暗褐色土 0-47' 0.775 mm 大含

P0723 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 0-47' 0.775 mm 大含
炭化物微量含
2. 10YR3/3 暗褐色土 0-47' 0.775 mm 大含
炭化物微量含

P0724 - P0725 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 0-47' 0.775 mm 大含
2. 10YR3/3 暗褐色土 0-47' 0.775 mm ~ 1 cm 大含
3. 10YR2/3 黒褐色土 0-47' 0.775 mm 大含
4. 10YR4/3 にぶい黄褐色土

P0726 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 0-47' 0.775 mm 大含

P0727 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 0-47' 0.775 mm 大含
2. 10YR3/3 暗褐色土

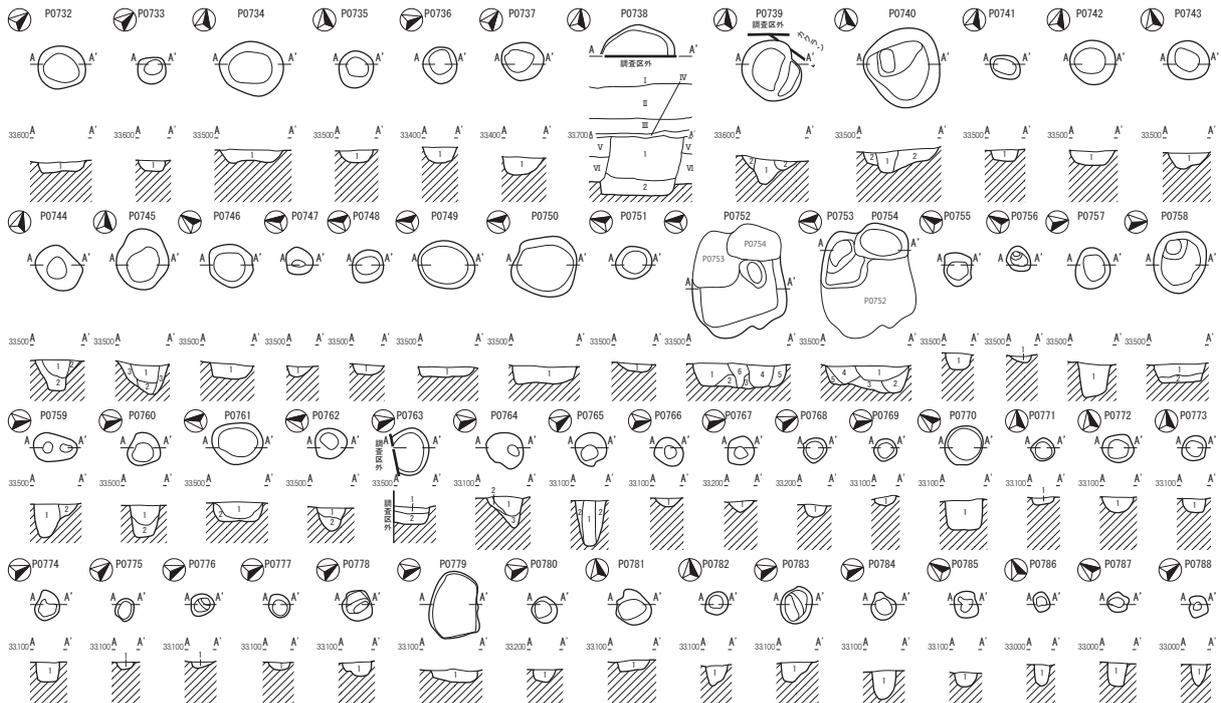
P0728 土層説明
1. 10YR2/2 黒褐色土
2. 10YR2/3 黒褐色土 0-47' 0.775 mm 大含

P0729 土層説明
1. 10YR2/2 黒褐色土
2. 10YR2/3 黒褐色土
3. 10YR2/3 黒褐色土 0-47' 0.775 mm 大含

P0730 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 0-47' 0.775 mm 大含
2. 10YR3/3 暗褐色土 0-47' 0.775 mm 大含

P0731 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 0-47' 0.775 mm 大含

第 158 図 第 671 ~ 731 号ピット



P0732 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 0-17' 0.71 cm 大少量含

P0733 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 0-17' 0.75 mm 大少量含

P0734 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 0-17' 0.71 cm 大少量含

P0735 土層説明
1. 10YR2/2 黒褐色土 0-17' 0.75 mm 大少量含

P0736 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 0-17' 0.71 mm ~ 3 mm 大含

P0737 土層説明
1. 10YR2/2 黒褐色土 0-17' 0.71 cm 大含

P0738 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 白色火山灰含
2. 10YR3/3 暗褐色土 0-17' 0.75 cm 大少量含

P0739 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 0-17' 0.71 cm 大少量含
2. 10YR3/3 暗褐色土 0-17' 0.71 cm 大少量含

P0740 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 0-17' 0.75 mm 大含
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色土

P0741 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 0-17' 0.75 mm 大少量含

P0742 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 0-17' 0.71 cm 大含

P0743 土層説明
1. 10YR3/2 黒褐色土 0-17' 0.75 mm 大少量含

P0744 土層説明
1. 10YR2/2 黒褐色土 0-17' 0.71 cm 大少量含
2. 10YR3/3 暗褐色土 0-17' 0.71 cm 大少量含

P0745 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 0-17' 0.71 ~ 5 cm 大少量含
2. 10YR3/1 黒褐色土 0-17' 0.73 mm 大少量含
3. 10YR3/3 暗褐色土 0-17' 0.71 cm 大含

P0746 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 0-17' 0.75 mm 大少量含
炭化物微量含

P0747 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 0-17' 0.75 mm 大含

P0748 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 0-17' 0.75 mm 大含

P0749 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 0-17' 0.75 mm 大少量含

P0750 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 0-17' 0.71 cm 大少量含

P0751 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 0-17' 0.75 mm 大少量含

P0752 土層説明
1. 10YR2/2 黒褐色土 0-17' 0.72 mm 大含
2. 10YR3/3 暗褐色土
3. 10YR2/3 黒褐色土 0-17' 0.71 cm 大含
4. 10YR2/2 黒褐色土 0-17' 0.71 cm 大少量含
5. 10YR3/3 暗褐色土 0-17' 0.71 cm 大少量含
6. 10YR2/2 黒褐色土 0-17' 0.71 cm 大少量含

P0753・P0754 土層説明
1. 10YR2/2 黒褐色土 0-17' 0.75 mm 大少量含
2. 10YR3/1 黒褐色土 0-17' 0.71 cm 大含
3. 10YR3/3 暗褐色土 0-17' 0.71 cm 大少量含
4. 10YR2/3 黒褐色土 0-17' 0.71 cm 大少量含
5. 10YR3/3 暗褐色土 0-17' 0.71 cm 大少量含

P0755 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 0-17' 0.75 mm 大微量含
10YR2/2 黒褐色土 0-17' 0.71 cm 大微量含

P0756 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 0-17' 0.75 mm 大少量含

P0757 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 0-17' 0.75 mm 大少量含

P0758 土層説明
1. 10YR2/2 黒褐色土 0-17' 0.75 mm 大少量含
2. 10YR3/3 暗褐色土 0-17' 0.73 mm 大含

P0759 土層説明
1. 10YR2/2 黒褐色土 0-17' 0.71 mm 大少量含
焼土微量含
2. 10YR3/3 暗褐色土 0-17' 0.73 mm 大含

P0760 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 0-17' 0.71 cm 大少量含
10YR2/2 黒褐色土 0-17' 0.73 cm 大少量含
2. 10YR3/3 暗褐色土

P0761 土層説明
1. 10YR2/2 黒褐色土 0-17' 0.73 cm 大少量含
2. 10YR3/3 暗褐色土 0-17' 0.71 cm 大少量含

P0762 土層説明
1. 10YR2/2 黒褐色土 0-17' 0.71 cm 大含
2. 10YR3/3 暗褐色土 0-17' 0.71 cm 大含

P0763 土層説明
1. 10YR2/2 黒褐色土 0-17' 0.71 cm 大含
2. 10YR3/3 暗褐色土 0-17' 0.71 cm 大含

P0764 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土
2. 10YR3/3 暗褐色土
3. 10YR3/3 暗褐色土 0-17' 0.75 mm 少量含
10YR2/2 黒褐色土 10 cm 大含

P0765 土層説明
1. 10YR2/2 黒褐色土 0-17' 0.75 mm 大少量含
2. 10YR2/2 黒褐色土 0-17' 0.71 cm 多量含

P0766 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 0-17' 0.75 mm 大含

P0767 土層説明
1. 10YR2/3 暗褐色土 0-17' 0.75 mm 少量含

P0768 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 0-17' 0.71 cm 大含

P0769 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 0-17' 0.75 mm 大含
10YR2/2 黒褐色土 0-17' 0.71 cm 大少量含

P0770 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 0-17' 0.75 mm 大含

P0771 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 0-17' 0.75 mm 大少量含

P0772 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 0-17' 0.75 mm 大含

P0773 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 0-17' 0.75 mm 大少量含

P0774 土層説明
1. 10YR2/2 黒褐色土 0-17' 0.71 cm 大含

P0775 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 10YR2/2 黒褐色土 5 mm 含

P0776 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 0-17' 0.75 mm 大少量含

P0777 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 0-17' 0.75 mm 大少量含

P0778 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 0-17' 0.75 mm 大少量含

P0779 土層説明
1. 10YR2/1 黒色土 0-17' 0.75 mm 大少量含

P0780 土層説明
1. 10YR3/3 暗褐色土 0-17' 0.71 cm 大含

P0781 土層説明
1. 10YR4/3 灰褐色土 0-17' 0.75 mm 大含
10YR2/2 黒褐色土 0-17' 0.71 cm 大含

P0782 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 0-17' 0.75 mm 大少量含

P0783 土層説明
1. 10YR2/3 黒褐色土 0-17' 0.71 cm 大含

P0784 土層説明
1. 10YR2/2 黒褐色土 0-17' 0.75 mm 大少量含

P0785 土層説明
1. 10YR2/1 黒色土 0-17' 0.75 mm 大微量含

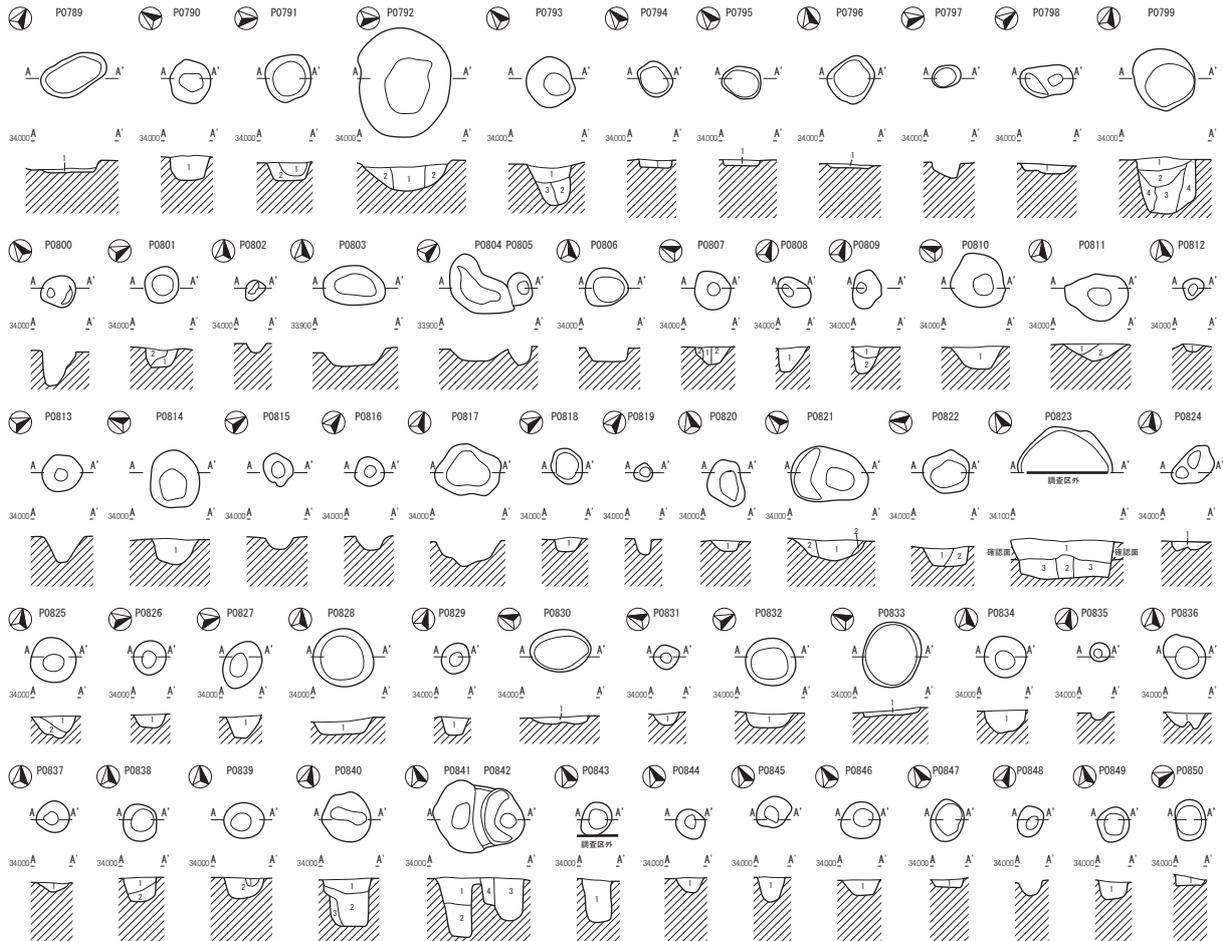
P0786 土層説明
1. 10YR2/2 黒褐色土 0-17' 0.71 cm 大含

P0787 土層説明
1. 10YR2/2 黒褐色土 0-17' 0.75 mm 大少量含
白色火山灰少量含

P0788 土層説明
1. 10YR2/2 黒褐色土 0-17' 0.75 mm 大微量含
白色火山灰少量含



第 159 図 第 732 ~ 788 号ピット



P0789 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 白色粒含

P0790 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり弱 ρ -A⁷ ロック少量含

P0791 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有
 ρ -A⁷ ロック2 ~ 3 cm 多量含
 ρ -A⁷ ロック1 mm 少量含
2. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 ρ -A混在土含

P0792 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり有
 ρ -A⁷ 粒1 ~ 2 mm⁷ ロック1 cm 少量含
2. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有
 ρ -A⁷ ロック2 ~ 3 cm 多量含
 ρ -A⁷ 粒1 mm 少量含

P0793 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 ρ -A⁷ 粒多量含
2. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ρ -A⁷ 粒含
3. 10YR5/6 黄褐色土 しまり有 ρ -A⁷ 粒・ ρ ロック含

P0794 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 ρ -A⁷ ロック多量含

P0795 土層説明
1. 10YR5/6 黄褐色土 しまり有 ρ -A混在土

P0796 土層説明
1. 10YR5/6 黄褐色土 しまり有 ρ -A粒含

P0798 土層説明
1. 10YR5/6 黄褐色土 しまり有 ρ -A粒含

P0799 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 ρ -A⁷ 粒少量含
2. 10YR3/2 黒褐色土 しまり有 ρ -A⁷ 粒少量含
3. 10YR4/3 ぶい黄褐色土 しまり有
 ρ -A⁷ 粒少量含
4. 10YR5/2 灰黄褐色土 10YR5/8
黄褐色土 しまり有
 ρ -A⁷ 粒少量含

P0801 土層説明
1. 10YR4/2 ぶい黄褐色土
2. 10YR3/3 暗褐色土 ρ -A⁷ ロック1 mm 大多量含

P0807 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 ρ -A⁷ 粒少量含
2. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり有
 ρ -A⁷ 粒 ρ ロック混在

P0808 土層説明
1. 10YR3/2 黒褐色土 しまり弱
 ρ -A⁷ 粒・白色粒含

P0809 土層説明
1. 10YR3/2 黒褐色土 しまり弱
 ρ -A⁷ 粒 白色粒含
2. 10YR3/1 黒褐色土
2. 5Y6/8 明黄褐色土 混在
しまり弱 ρ -A⁷ ロック少量

P0810 土層説明
1. 10YR6/1 褐灰色土 しまり有 ρ -A混在

P0811 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有
 ρ -A⁷ 粒微量含
2. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ρ -A粒含

P0812 土層説明
1. 10YR5/1 褐灰色土 しまり有
 ρ -A⁷ 粒・粘土粒少量含

P0814 土層説明
1. 10YR5/6 黄褐色土 しまり弱
 ρ -A⁷ 粒少量含

P0818 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有
粘質 ρ -A粒含

P0820 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土
10YR7/8 黄褐色土
しまり有 ρ -A粒含

P0821 土層説明
1. 10YR3/2 黒褐色土 しまり有
 ρ -A⁷ 粒少量含
2. 10YR5/6 黄褐色土 しまり有
 ρ -A⁷ 粒少量含

P0822 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり有
 ρ -A⁷ 粒少量含
2. 10YR6/6 明黄褐色土 しまり有
 ρ -A⁷ 粒少量含

P0823 土層説明
1. 10YR5/1 褐灰色土 しまり有
 ρ -A⁷ 粒少量含
2. 10YR3/2 黒褐色土 しまり有
 ρ -A⁷ 粒少量含
3. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有
 ρ -A⁷ 粒少量含

P0824 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ρ -A粒含

P0825 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 ρ -A⁷ 粒少量含
2. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり有
粘質 ρ -A⁷ 粒少量含

P0826 土層説明
1. 10YR5/1 褐灰色土 しまり有 ρ -A粒含

P0827 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱
 ρ -A⁷ 粒・白色粒含

P0828 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり有 ρ -A⁷ 粒少量含

P0829 土層説明
1. 10YR5/1 褐灰色土 しまり有
粘質 ρ -A⁷ 粒少量含

P0830 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有
粘質 ρ -A⁷ 粒少量含

P0831 土層説明
1. 10YR5/1 褐灰色土 しまり有 粘質

P0832 土層説明
1. 10YR5/6 黄褐色土 しまり有 ρ -A⁷ 粒少量含

P0833 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有
粘質 ρ -A⁷ 粒少量含

P0834 土層説明
1. 10YR5/1 褐灰色土 しまり有
粘質 白色粘土 ρ ロック多量含

P0836 土層説明
1. 10YR5/4 ぶい黄褐色土 しまり有
 ρ -A⁷ 粒少量含

P0837 土層説明
1. 10YR4/1 ぶい黄褐色土 しまり有
 ρ -A⁷ 粒少量含

P0838 土層説明
1. 10YR5/1 褐灰色土 しまり有
粘質 ρ -A⁷ 粒・ ρ ロック含
2. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有
粘質 ρ -A⁷ ロック少量含

P0839 土層説明
1. 10YR6/1 褐灰色土 しまり有
粘質 ρ -A⁷ ロック少量含
2. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有
粘質 ρ -A⁷ ロック少量含

P0840 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有
 ρ -A⁷ 粒少量含
2. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱
 ρ -A⁷ 粒・ ρ ロック少量含
3. 10YR6/8 明黄褐色土 しまり弱
 ρ -A⁷ ロック混在土

P0841・P0842 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱
 ρ -A⁷ 粒・ ρ ロック少量含
2. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱
 ρ -A⁷ 粒・ ρ ロック含
3. 10YR5/1 褐灰色土 しまり有
粘質 ρ -A⁷ 粒少量含
4. 10YR5/1 褐灰色土 しまり有
粘質 ρ -A⁷ 粒少量含

P0843 土層説明
1. 10YR5/1 褐灰色土 しまり有
粘質 ρ -A⁷ 粒・ ρ ロック多量含

P0844 土層説明
1. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり弱
 ρ -A粒含

P0845 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱
 ρ -A⁷ 粒・ ρ ロック含

P0846 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有
粘質 ρ -A粒含

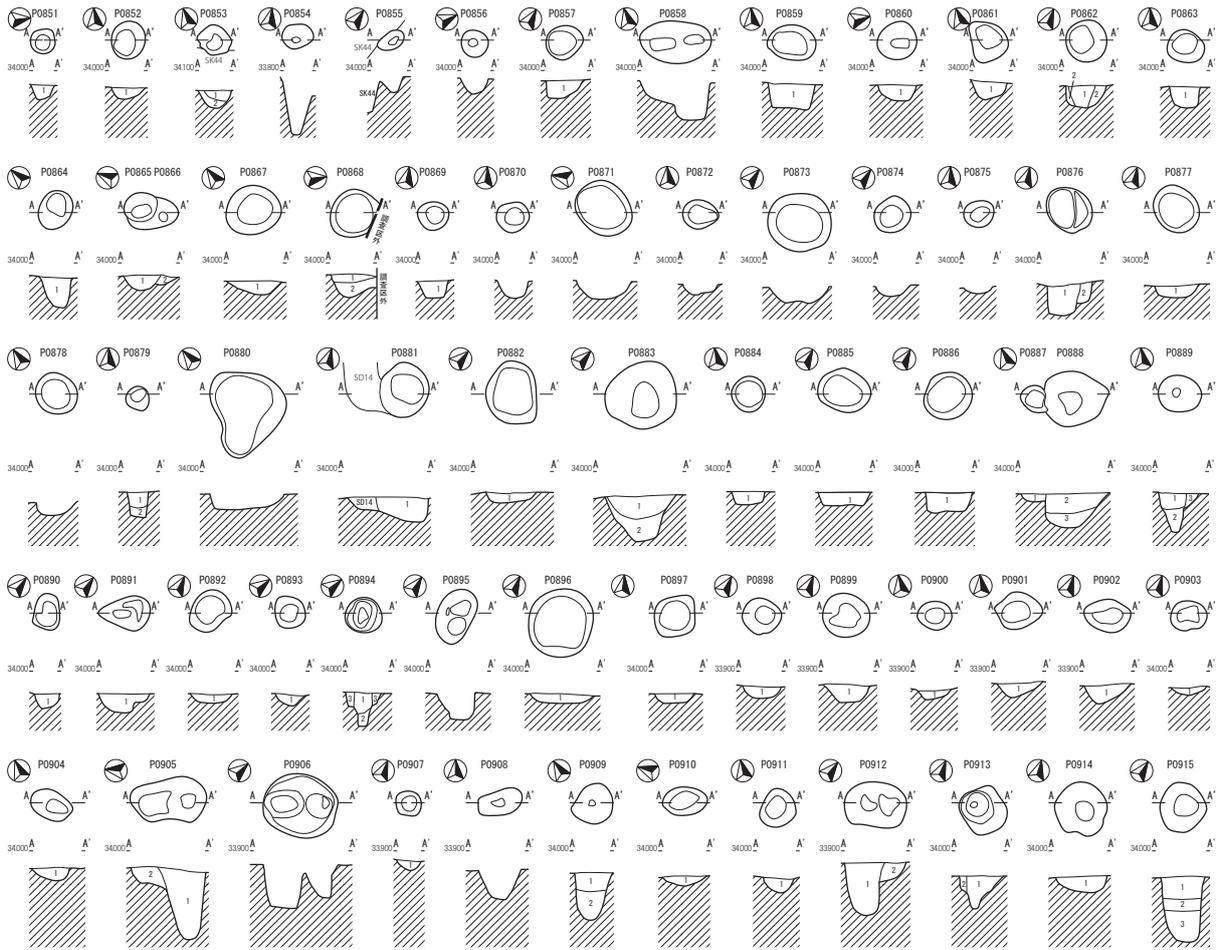
P0847 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有
粘質 ρ -A粒含

P0849 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり弱
 ρ -A粒含

P0850 土層説明
1. 10YR5/1 褐灰色土 しまり有
粘質 ρ -A⁷ 粒少量含



第160図 第789～850号ピット



P0851 土層説明
1. 10YR5/1 褐灰色土 しまり有 粘質 ロ-ム粒少量含

P0852 土層説明
1. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 しまり有 粘質 ロ-ム粒少量含

P0853 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 ロ-ム7°ロツク多量含
2. 10YR3/1 黒褐色土 しまり有 ロ-ム粒少量含

P0857 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 粘質 ロ-ム粒・ア°ロツク含

P0859 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 ロ-ム粒・ア°ロツク含

P0860 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 ロ-ム粒・ア°ロツク少量含

P0861 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 粘質 ロ-ム7°ロツク大含

P0862 土層説明
1. 10YR5/1 褐灰色土 しまり有 粘質 ロ-ム粒微量含 炭化物
2. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 ロ-ム粒・ア°ロツク少量含

P0863 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 ロ-ム粒含

P0864 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 ロ-ム粒含

P0865・P0866 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 ロ-ム粒・ア°ロツク含
2. 10YR5/2 灰黄褐色土 ロ-ム粒含

P0867 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 粘質 ロ-ム粒・ア°ロツク含

P0868 土層説明
1. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり有 粘質 ロ-ム粒含
2. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 粘質 ロ-ム7°ロツク含

P0869 土層説明
1. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 しまり弱 ロ-ム粒少量含

P0876 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり有 粘質 ロ-ム粒・ア°ロツク含
2. 10YR5/6 黄褐色土 しまり有 粘質 ロ-ム粒少量含

P0877 土層説明
1. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり有 粘質 ロ-ム粒含

P0879 土層説明
1. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり弱 ロ-ム粒含
2. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり弱 ロ-ム粒含

P0881 土層説明
1. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり有 ロ-ム粒含

P0882 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 ロ-ム粒・ア°ロツク少量含

P0883 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 ロ-ム粒含

P0885 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 ロ-ム粒・ア°ロツク少量含

P0886 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 ロ-ム粒・ア°ロツク少量含

P0887・P0888 土層説明
1. 10YR5/3 にぶい黄褐色土 しまり弱 ロ-ム粒含
2. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 しまり弱 ロ-ム粒含
3. 10YR3/3 暗褐色土 しまり弱 ロ-ム粒含 ア°ロツク含

P0889 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 粘質 ロ-ム粒含
2. 10YR4/4 褐色土 しまり弱 ロ-ム粒含
3. 10YR5/6 黄褐色土 しまり有 粘質 ロ-ム粒含

P0890 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 ロ-ム粒・ア°ロツク少量含

P0891 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 ロ-ム粒・ア°ロツク少量含

P0892 土層説明
1. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり有 ロ-ム粒含

P0893 土層説明
1. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり有 ロ-ム粒含

P0894 土層説明
1. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり有 ロ-ム粒含
2. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり弱 ロ-ム粒含
3. 10YR5/6 黄褐色土 しまり有 ロ-ム粒含

P0896 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 ロ-ム粒・ア°ロツク少量含

P0897 土層説明
1. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり有 ロ-ム粒含

P0898 土層説明
1. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 しまり有 ロ-ム粒含

P0899 土層説明
1. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり弱 ロ-ム粒・白色粒含

P0900 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 ロ-ム粒含

P0901 土層説明
1. 10YR5/6 黄褐色土 しまり有 ロ-ム粒含

P0902 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 ロ-ム7°ロツク多量含

P0903 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 ロ-ム粒含

P0904 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 ロ-ム粒含

P0905 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 ロ-ム粒・ア°ロツク含
2. 10YR5/1 褐灰色土 しまり有 粘質 ロ-ム粒・ア°ロツク含

P0907 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 ロ-ム粒含

P0909 土層説明
1. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり弱 ロ-ム7°ロツク少量含 ロ-ム粒含
2. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり弱 ロ-ム粒含

P0910 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 ロ-ム粒含

P0911 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 ロ-ム粒・ア°ロツク含

P0912 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり弱 ロ-ム粒含
2. 10YR5/6 黄褐色土 しまり弱 ロ-ム粒含

P0913 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり有 ロ-ム粒含
2. 10YR5/6 黄褐色土 しまり有 ロ-ム7°ロツク含

P0914 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 ロ-ム粒含

P0915 土層説明
1. 10YR5/6 黄褐色土 しまり弱 ロ-ム7°ロツク多量含
2. 10YR5/1 褐灰色土 しまり弱 ロ-ム粒多量含
3. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 ロ-ム7°ロツク多量含



第 161 図 第 851 ~ 915 号ピット



P0917 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 μ -M粒多量

P0918 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 μ -M粒含 ν -M粒多量含

P0919 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 μ -M粒含

P0920 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり弱 μ -M粒含

P0921 土層説明
1. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 しまり有

P0922 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり弱 μ -M粒含

P0923 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり弱 μ -M粒少量含

P0924 土層説明
1. 10YR5/1 褐灰色土 しまり有 μ -M粒含

P0925 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり弱 μ -M粒含

P0926 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり弱 μ -M⁷ロツク含 μ -M粒含

P0927 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり弱 μ -M⁷ロツク含 μ -M粒含

P0928・P0929 土層説明
1. 10YR5/4 にぶい黄褐色土 しまり有 μ -M粒少量含
2. 10YR4/4 褐色土 しまり有 μ -M粒少量

P0930・P0931 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 μ -M粒・ ν -M⁷ロツク含
2. 10YR5/1 褐灰色土 しまり有 μ -M粒・ ν -M⁷ロツク含

P0933 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり有 μ -M粒含 橙色粒含
2. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 μ -M⁷ロツク含 μ -M粒少量含

P0934 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり弱 μ -M粒少量含 ν -M⁷ロツク含
2. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり弱 μ -M粒少量含 ν -M⁷ロツク含

P0935 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 粘質 μ -M粒含

P0936 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり弱 μ -M粒少量含

P0937 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 粘質 μ -M粒含

P0938 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり有 μ -M粒含

P0939 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり有 μ -M粒含

P0940 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり有 μ -M粒含

P0941 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 粘質 μ -M粒含

P0942 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり有 μ -M粒含
2. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 μ -M粒含

P0943 土層説明
1. 10YR5/6 黄褐色土 しまり有 μ -M粒少量含

P0944 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり弱 μ -M粒・白色粒含

P0945 土層説明
1. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 しまり弱 ν -M⁷ロツク少量含

P0946 土層説明
1. 10YR3/2 黒褐色土 しまり弱 μ -M粒・ ν -M⁷ロツク含

P0947 土層説明
1. 10YR3/2 黒褐色土 しまり弱 μ -M粒・ ν -M⁷ロツク含

P0948 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり弱 μ -M粒・白色粒含

P0949 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 ν -M⁷ロツク含

P0950 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり弱 μ -M粒・白色粒含

P0951 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり弱 μ -M粒・白色粒含
2. 10YR5/6 黄褐色土 しまり有 μ -M粒含

P0952 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり弱 μ -M粒・白色粒含

P0953 土層説明
1. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり有 粘質 μ -M粒含
2. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 粘質 ν -M⁷ロツク含

P0954 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 μ -M粒含

P0955 土層説明
1. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 しまり弱 μ -M粒含

P0956 土層説明
1. 10YR3/2 黒褐色土 しまり弱 μ -M粒・白色粒含
2. 10YR5/6 黄褐色土 しまり弱 μ -M粒含

P0957 土層説明
1. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 しまり弱 ν -M⁷ロツク含

P0958 土層説明
1. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 しまり弱 μ -M粒含

P0959 土層説明
1. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 しまり弱 μ -M粒含

P0960 土層説明
1. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 しまり弱 μ -M粒含

P0961 土層説明
1. 10YR5/6 黄褐色土 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ν -M⁷ロツク多量含

P0962・P0963・P0964 土層説明
1. 10YR3/2 黒褐色土 しまり弱 μ -M粒含
2. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 μ -M粒含
3. 10YR2/2 黒褐色土 しまり弱 μ -M粒含

P0975 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 ν -M⁷ロツク含

P0976 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり弱 ν -M⁷ロツク含

P0980 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり弱 μ -M粒含

P0981 土層説明
1. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり弱 μ -M粒含

P0982 土層説明
1. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり弱 μ -M粒含

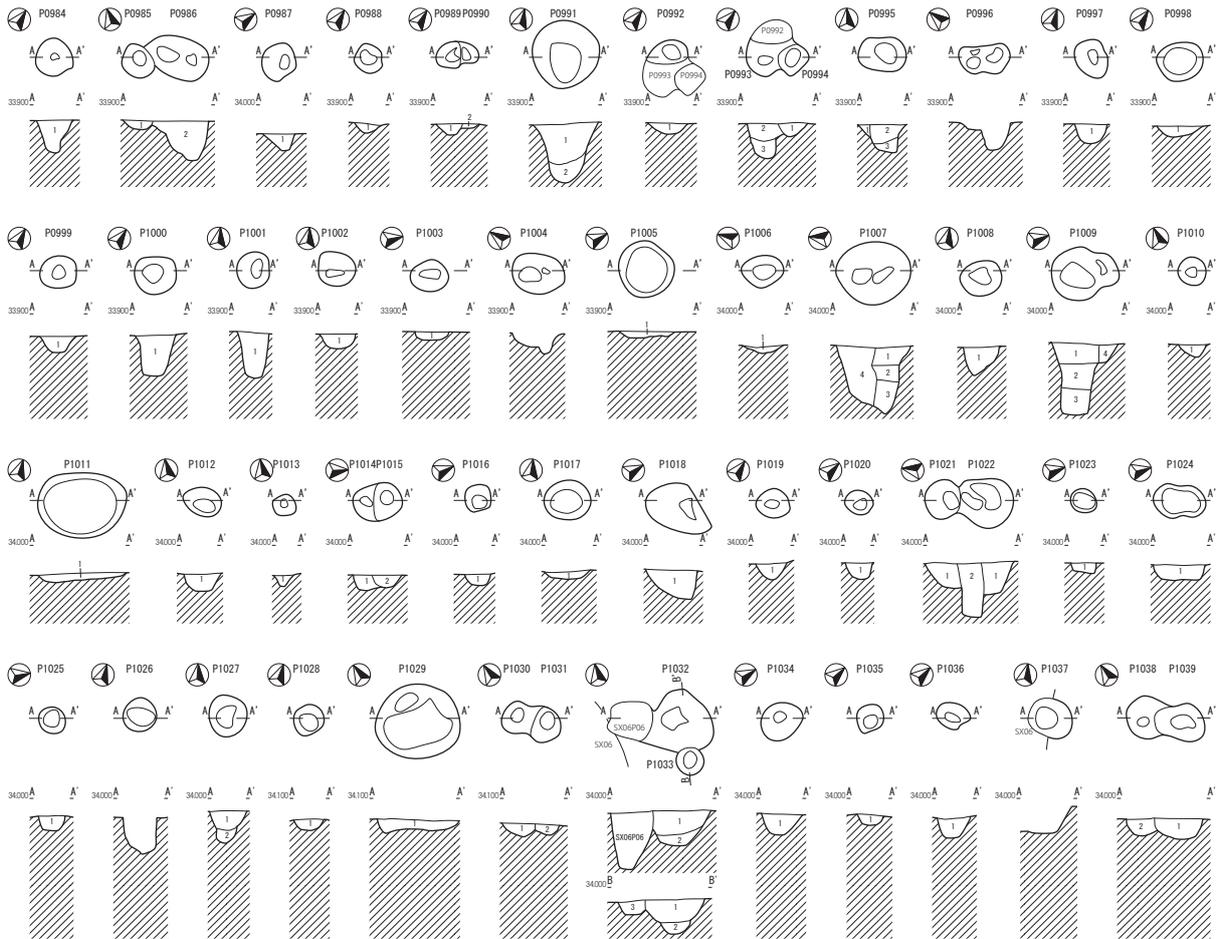
P0983 土層説明
1. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり弱 μ -M粒含

P0981 土層説明
1. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり弱 μ -M粒含

P0981 土層説明
1. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり弱 μ -M粒含

0 2m 1:60

第 162 図 第 916 ~ 983 号ピット



P0984 土層説明
1. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり弱 ロ-A粒含

P0985・P0986 土層説明
1. 10YR5/6 黄褐色土 しまり有 ロ-A粒含
2. 10YR3/1 黒褐色土 しまり有 ロ-A粒含

P0987 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 ロ-A粒含

P0988 土層説明
1. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり弱 ロ-A粒含

P0989・P0990 土層説明
1. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり弱 ロ-A粒少量含
2. 10YR5/1 褐灰色土 しまり弱 ロ-A粒少量含

P0991 土層説明
1. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり弱
ロ-A粒少量含 ロ-A7'ロ74 cm少量含
2. 10YR3/2 黒褐色土 しまり弱
ロ-A粒少量含 ロ-A7'ロ73 cm少量含

P0992 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 ロ-A粒含

P0993・P0994 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 ロ-A粒少量含
2. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 ロ-A粒少量含
3. 10YR3/2 黒褐色土 しまり弱 ロ-A粒少量含

P0995 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 ロ-A粒少量含
2. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 ロ-A粒少量含
3. 10YR3/2 黒褐色土 しまり弱 ロ-A粒少量含

P0997 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 ロ-A粒含

P0998 土層説明
1. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり弱 ロ-A粒含

P0999 土層説明
1. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり弱 ロ-A粒含

P1000 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱
ロ-A粒・白色粒少量含

P1001 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 ロ-A粒含

P1002 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 ロ-A粒含

P1003 土層説明
1. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり弱 ロ-A粒含

P1005 土層説明
1. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり弱 ロ-A粒含

P1006 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 ロ-A粒含

P1007 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 ロ-A粒少量含
2. 10YR4/1 褐灰色土黄褐色気味しまり弱 ロ-A粒少量含
3. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 ロ-A粒少量含
4. 10YR3/1 黒褐色土 ロ-A粒少量含

P1008 土層説明
1. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり弱 ロ-A粒含

P1009 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 ロ-A7'ロ72 cm含
2. 10YR4/1 褐灰色土 10YR6/6 明黄褐色土
しまり有 ロ-A7'ロ73 ~ 5 cm多量含
3. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ロ-A粒含
4. 10YR3/1 黒褐色土 しまり有 ロ-A粒含

P1010 土層説明
1. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり弱 ロ-A粒含

P1011 土層説明
1. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 しまり有 ロ-A粒含

P1012 土層説明
1. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 しまり有 ロ-A粒含

P1013 土層説明
1. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 しまり有 ロ-A粒含

P1014・P1015 土層説明
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり弱 ロ-A粒含
2. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ロ-A粒含

P1016 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 ロ-A粒含

P1017 土層説明
1. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり弱 ロ-A粒含

P1018 土層説明
1. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり弱 ロ-A粒含

P1019 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 ロ-A粒含

P1020 土層説明
1. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 しまり有 ロ-A粒含

P1021・P1022 土層説明
1. 10YR5/1 褐灰色土 しまり有 ロ-A粒含
2. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 ロ-A7'ロ74含

P1023 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 ロ-A粒含

P1024 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 ロ-A粒含

P1025 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 ロ-A粒含

P1027 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ロ-A粒含
2. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ロ-A粒少量含

P1028 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 粘質 ロ-A粒含

P1029 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ロ-A粒含

P1030・P1031 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ロ-A粒含
2. 10YR5/6 黄褐色土 しまり弱 ロ-A粒含

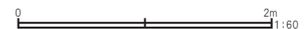
P1032・P1033 土層説明
1. 10YR5/1 褐灰色土 しまり有 粘質 ロ-A粒含
2. 10YR5/1 褐灰色土 10YR7/8 黄褐色土
しまり有 粘質 ロ-A粒含
3. 10YR5/1 褐灰色土 しまり有 粘質 ロ-A粒含

P1034 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 ロ-A粒含

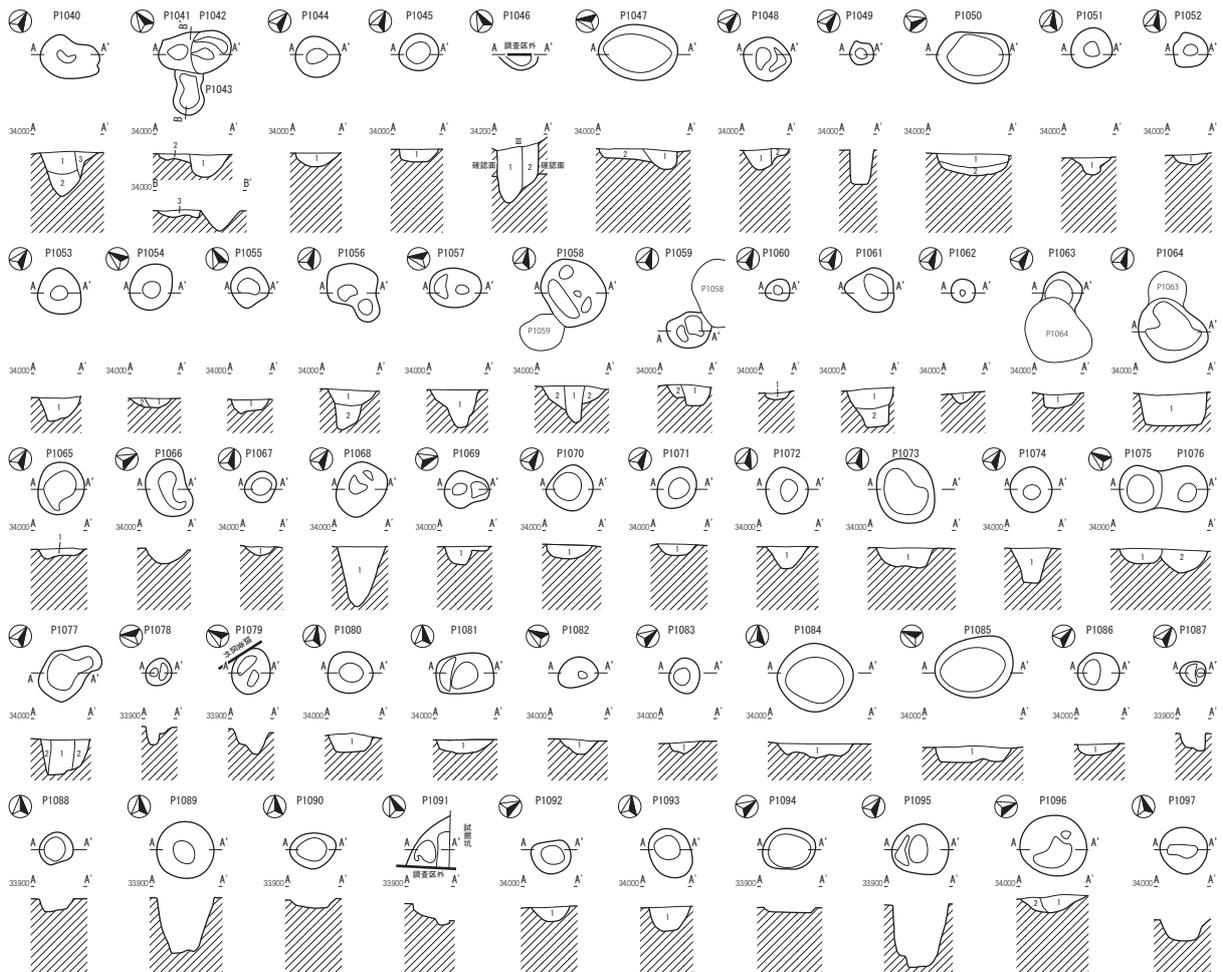
P1035 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 ロ-A粒含

P1036 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 ロ-A粒含

P1038・P1039 土層説明
1. 10YR6/4 にぶい黄橙 しまり弱 ロ-A粒含
2. 10YR5/4 にぶい黄褐色土 しまり弱 ロ-A粒含



第 163 図 第 984 ~ 1039 号ピット



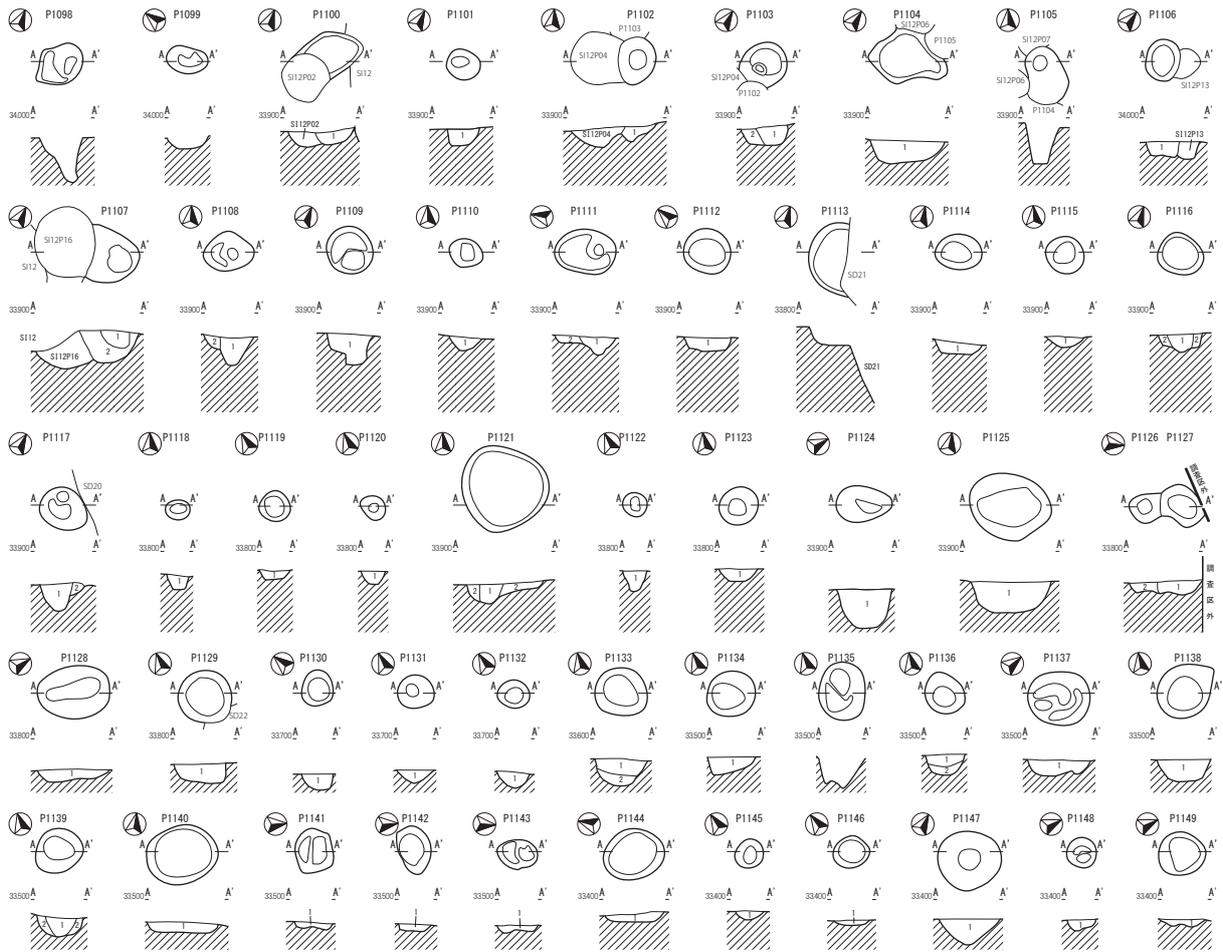
- P1040 土層説明**
 1. 10YR5/1 褐色土 しまり有 粘質 灰黄色粘土・ブロック
 2. 10YR4/1 褐色土 しまり有 中・大ブロック含
 3. 10YR4/1 褐色土 しまり有 中・大ブロック含
- P1041・P1042・P1043 土層説明**
 1. 10YR3/2 黒褐色土 しまり弱 中・大粒含
 2. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 中・大粒含
 3. 10YR3/2 黒褐色土 しまり弱 中・大粒含
- P1044 土層説明**
 1. 10YR5/1 褐色土 しまり弱 中・大粒含
- P1045 土層説明**
 1. 10YR5/1 褐色土 しまり弱 中・大粒含
- P1046 土層説明**
 1. 10YR5/1 褐色土 しまり弱 中・大粒含
 2. 10YR4/1 褐色土 しまり弱 中・大粒含
- P1047 土層説明**
 1. 10YR5/1 褐色土 しまり弱 中・大粒含
 2. 10YR4/1 褐色土 しまり弱 中・大粒含
- P1048 土層説明**
 1. 10YR5/1 褐色土 しまり弱 中・大粒含
 2. 10YR4/1 褐色土 しまり弱 中・大粒含
- P1050 土層説明**
 1. 10YR5/1 褐色土 しまり弱 中・大粒含
 2. 10YR4/1 褐色土 しまり弱 中・大粒含
- P1051 土層説明**
 1. 10YR3/2 黒褐色土 しまり弱 中・大粒含
- P1052 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐色土 しまり有 中・大粒含
- P1053 土層説明**
 1. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 しまり弱 中・大粒含
- P1054 土層説明**
 1. 10YR5/6 黄褐色土 しまり弱 中・大粒含
 2. 10YR5/8 黄褐色土 しまり弱 中・大粒含
- P1055 土層説明**
 1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり弱 中・大粒含

- P1056 土層説明**
 1. 10YR3/2 黒褐色土 しまり弱 中・大粒含
 2. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 中・大粒・ブロック2 cm含
- P1057 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐色土 しまり有 中・大粒含
- P1058 土層説明**
 1. 10YR3/2 黒褐色土 しまり有 中・大粒含
 2. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 中・大粒含
- P1059 土層説明**
 1. 10YR5/1 褐色土 しまり有 中・大粒含
 2. 10YR6/6 明黄褐色土 しまり有 中・大粒含
- P1060 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐色土 しまり有 中・大粒含
- P1061 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐色土 しまり弱 中・大粒含
 2. 10YR4/4 褐色土 しまり弱 中・大粒含
- P1062 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐色土 しまり弱 粘質 中・大粒含
- P1063 土層説明**
 1. 10YR4/3 にぶい黄褐色土 しまり有 中・大粒含
- P1064 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐色土 しまり有 粘質 中・大粒・ブロック含
- P1065 土層説明**
 1. 10YR4/4 褐色土 しまり弱 中・大粒含
- P1067 土層説明**
 1. 10YR4/4 褐色土 しまり弱 中・大粒含
- P1068 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐色土 しまり弱 粘質 中・大粒含
- P1069 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐色土 しまり弱 粘質 中・大粒含
- P1070 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐色土 しまり有 中・大粒含
- P1071 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐色土 しまり有 中・大粒含

- P1072 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐色土 しまり有 中・大粒含
- P1073 土層説明**
 1. 10YR5/4 にぶい黄褐色土 しまり有 中・大粒・白色粒含
- P1074 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐色土 しまり有 中・大粒少量含
- P1075・P1076 土層説明**
 1. 10YR5/1 褐色土 しまり有 中・大粒・ブロック・白色粒含
 2. 10YR4/1 褐色土 しまり有
- P1077 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐色土 しまり有 中・大粒含
 2. 10YR3/1 黒褐色土 しまり有 中・大粒含
- P1080 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐色土 しまり有 中・大粒含
- P1081 土層説明**
 1. 10YR5/6 黄褐色土 しまり有 中・大粒含
- P1082 土層説明**
 1. 10YR5/6 黄褐色土 しまり有 中・大粒含
- P1083 土層説明**
 1. 10YR5/6 黄褐色土 しまり有 中・大粒含
- P1084 土層説明**
 1. 10YR5/6 黄褐色土 しまり有 中・大粒含
- P1085 土層説明**
 1. 10YR5/6 黄褐色土 しまり有 中・大粒含
- P1086 土層説明**
 1. 10YR5/6 黄褐色土 しまり有 中・大粒含
- P1087 土層説明**
 1. 10YR5/6 黄褐色土 しまり有 中・大粒含
- P1088 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐色土 しまり有 中・大粒含
- P1089 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐色土 しまり有 中・大粒含
- P1090 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐色土 しまり有 中・大粒含
- P1091 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐色土 しまり有 粘質 中・大粒含
- P1092 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐色土 しまり有 中・大粒含
- P1093 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐色土 しまり有 中・大粒含
- P1094 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐色土 しまり有 中・大粒含
- P1095 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐色土 しまり有 中・大粒含
- P1096 土層説明**
 1. 10YR4/1 褐色土 しまり有 中・大粒・ブロック 灰褐色粘土 炭化物少量含
 2. 10YR4/1 褐色土 しまり有 1層より明るい含有物少量



第164図 第1040～1097号ピット



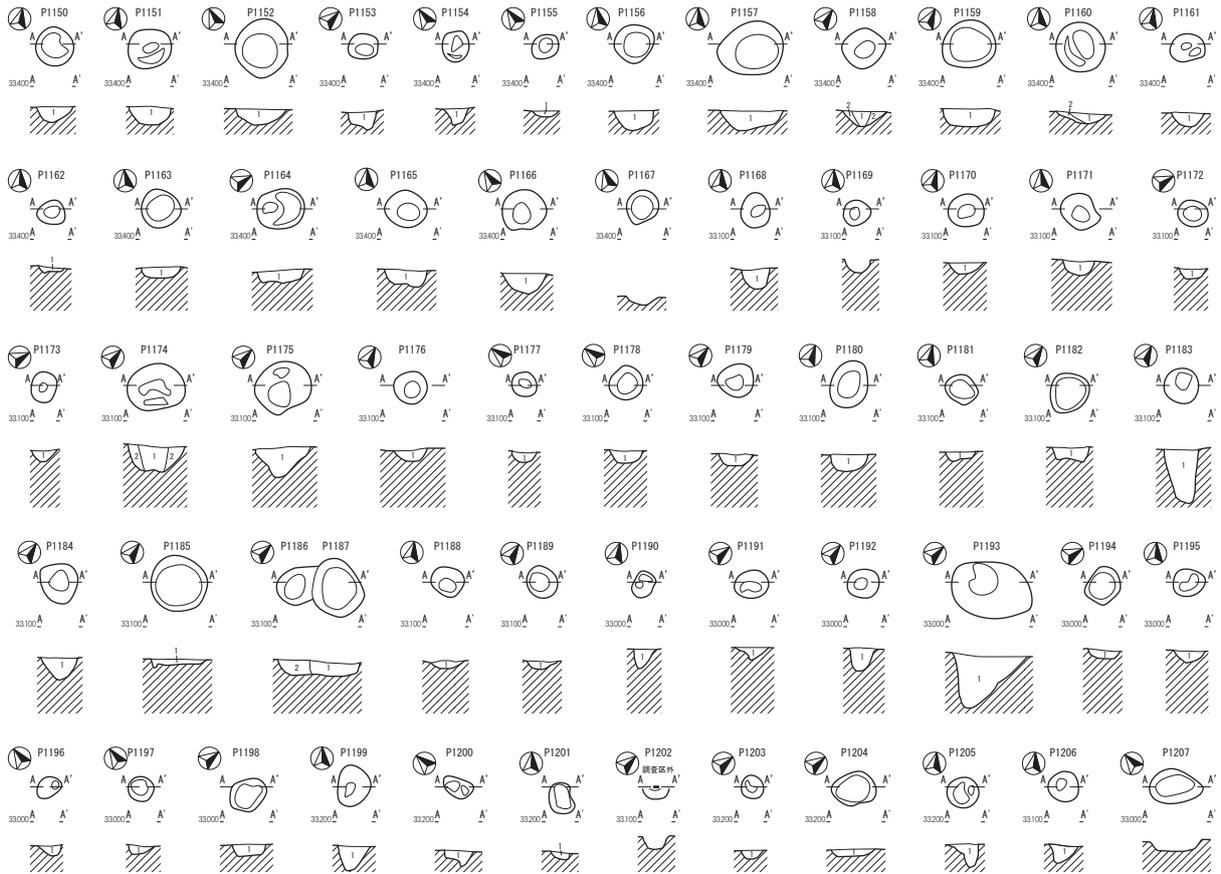
- P1100 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ロ-ム粒 少
- P1101 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ロ-ム粒 少
- P1102 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ロ-ム粒・ブ
- P1103 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ロ-ム粒・ブ
- P1104 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ロ-ム粒 橙
- P1106 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ロ-ム粒多
- P1107 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり有 ロ-ム粒
- P1108 土層説明**
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり弱 ロ-ム粒
- P1109 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 10YR5/6 黄褐色土
- P1110 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ロ-ム粒・ブ
- P1111 土層説明**
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 ロ-ム粒・ブ
- P1112 土層説明**
1. 10YR4/1 褐灰色土 10YR6/6 明黄褐色土
- P1114 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 10YR6/6 明黄褐色土
- P1115 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ロ-ム粒・ブ
- P1116 土層説明**
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり弱 ロ-ム粒

- P1117 土層説明**
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 ロ-ム粒・ブ
- P1118 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ロ-ム粒少
- P1119 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ロ-ム粒少
- P1120 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ロ-ム粒少
- P1121 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ロ-ム粒・ブ
- P1122 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ロ-ム粒・ブ
- P1123 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 ロ-ム粒 しまり弱
- P1124 土層説明**
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 ロ-ム粒
- P1125 土層説明**
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 ロ-ム粒
- P1126・P1127 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 灰褐色粘土 しまり弱
- P1128 土層説明**
1. 10YR4/1 褐灰色土 黒色粘土 しまり弱
- P1129 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ロ-ム粒・ブ
- P1130 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 ロ-ム粒 しまり弱
- P1131 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 ロ-ム粒 しまり弱
- P1132 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 ロ-ム粒 しまり弱
- P1133 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 ロ-ム粒 しまり弱
- P1134 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 ロ-ム粒 しまり弱
- P1135 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 灰褐色粘土 黒色粘土
- P1136 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 灰褐色粘土 黒色粘土
- P1137 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 灰褐色粘土 黒色粘土
- P1138 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ロ-ム粒
- P1139 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ロ-ム粒
- P1140 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 ロ-ム粒 しまり有
- P1141 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 ロ-ム粒 しまり弱
- P1142 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 ロ-ム粒 しまり弱
- P1143 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 灰褐色粘土 黒色粘土
- P1144 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 灰褐色粘土 黒色粘土
- P1145 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 灰褐色粘土 黒色粘土
- P1146 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 灰褐色粘土 黒色粘土
- P1147 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 灰褐色粘土 黒色粘土
- P1148 土層説明**
1. 10YR4/1 褐灰色土 ロ-ム しまり弱
- P1149 土層説明**
1. 10YR4/1 褐灰色土 ロ-ム しまり弱

- P1134 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 ロ-ム粒 しまり弱
- P1136 土層説明**
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 ロ-ム粒
- P1137 土層説明**
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 ロ-ム粒
- P1138 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ロ-ム粒
- P1139 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ロ-ム粒
- P1140 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 ロ-ム粒 しまり有
- P1141 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 ロ-ム粒 しまり弱
- P1142 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 ロ-ム粒 しまり弱
- P1143 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ロ-ム粒
- P1144 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ロ-ム粒
- P1145 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ロ-ム粒
- P1146 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ロ-ム粒
- P1147 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 ロ-ム しまり弱
- P1148 土層説明**
1. 10YR4/1 褐灰色土 ロ-ム しまり弱
- P1149 土層説明**
1. 10YR4/1 褐灰色土 ロ-ム しまり弱



第 165 図 第 1098 ~ 1149 号ピット



P1150 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 ㊦-㊦ しまり弱 粘土含

P1151 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 ㊦-㊦ しまり弱 粘土含

P1152 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 10YR5/6 黄褐色土 しまり弱 ㊦-㊦粒含

P1153 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 ㊦-㊦粒含

P1154 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ㊦-㊦粒含

P1155 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ㊦-㊦粒含

P1156 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 ㊦-㊦ しまり弱 ㊦-㊦粒含

P1157 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 ㊦-㊦ しまり弱 ㊦-㊦粒含

P1158 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ㊦-㊦粒 焼土粒 灰褐色粘土少量含
2. 10YR3/1 黒褐色土 ㊦-㊦ しまり弱 ㊦-㊦粒 焼土粒 灰褐色粘土少量含

P1159 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 黒色粒 ㊦-㊦粒 粘土粒含

P1160 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ㊦-㊦粒少量含
2. 10YR3/1 黒褐色土 ㊦-㊦ しまり弱 ㊦-㊦粒少量含

P1161 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 ㊦-㊦ しまり弱 ㊦-㊦粒含

P1162 土層説明
1. 10Y

P1163 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ㊦-㊦粒含

P1164 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ㊦-㊦粒含

P1165 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 ㊦-㊦ しまり弱 ㊦-㊦粒含

P1166 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ㊦-㊦粒含

P1168 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ㊦-㊦粒多量含

P1170 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ㊦-㊦粒含

P1171 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土少量 ㊦-㊦ しまり弱 ㊦-㊦粒含

P1172 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 ㊦-㊦ しまり弱

P1173 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 ㊦-㊦ しまり弱

P1174 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 ㊦-㊦粒含
2. 10YR4/1 褐灰色土 10YR5/6 黄褐色土 しまり弱 ㊦-㊦粒含

P1175 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ㊦-㊦粒多量含

P1176 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 ㊦-㊦ しまり弱 ㊦-㊦粒含

P1177 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ㊦-㊦粒含

P1178 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ㊦-㊦粒含

P1179 土層説明
1. 10YR5/6 黄褐色土 しまり弱 ㊦-㊦粒少量含

P1180 土層説明
1. 10YR5/6 黄褐色土 しまり弱 ㊦-㊦粒含

P1181 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ㊦-㊦粒含

P1182 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ㊦-㊦粒含

P1183 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 ㊦-㊦粒多量混在

P1184 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ㊦-㊦粒多量混在

P1185 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 ㊦-㊦粒少量含

P1186・P1187 土層説明
1. 10YR4/1 褐灰色土 ㊦-㊦ しまり弱 ㊦-㊦粒多量混在
2. 10YR5/6 黄褐色土 ㊦-㊦ しまり弱 ㊦-㊦粒多量混在

P1188 土層説明
1. 10YR5/6 黄褐色土 しまり弱 ㊦-㊦粒多量混在

P1189 土層説明
1. 10YR5/6 黄褐色土 しまり弱 ㊦-㊦粒多量混在

P1190 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ㊦-㊦粒・㊦-㊦粒少量含

P1191 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ㊦-㊦粒・㊦-㊦粒少量含

P1192 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ㊦-㊦粒・㊦-㊦粒少量含

P1193 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ㊦-㊦粒・㊦-㊦粒少量含

P1194 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ㊦-㊦粒・㊦-㊦粒少量含

P1195 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ㊦-㊦粒・㊦-㊦粒少量含

P1196 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ㊦-㊦粒・㊦-㊦粒少量含

P1197 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ㊦-㊦粒・㊦-㊦粒少量含

P1198 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ㊦-㊦粒・㊦-㊦粒少量含

P1199 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ㊦-㊦粒・㊦-㊦粒少量含

P1200 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ㊦-㊦粒・㊦-㊦粒少量含

P1201 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ㊦-㊦粒・㊦-㊦粒少量含

P1203 土層説明
1. 10YR5/3 にぶい黄褐色土 しまり弱 ㊦-㊦粒・㊦-㊦粒含

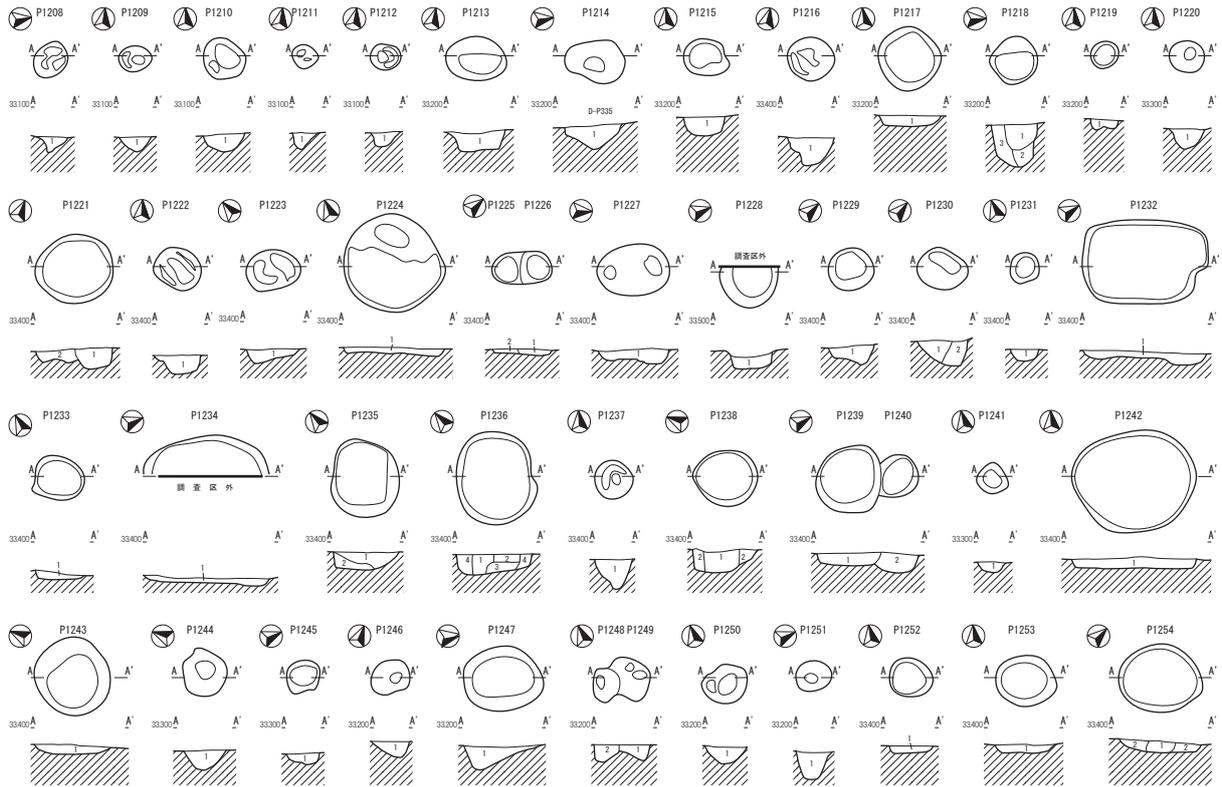
P1204 土層説明
1. 10YR5/3 にぶい黄褐色土 しまり弱 ㊦-㊦粒・㊦-㊦粒含

P1205 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ㊦-㊦粒含

P1206 土層説明
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ㊦-㊦粒含



第166図 第1150～1207号ピット



- P1208 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり有 ϕ -M粒含
- P1209 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり有 ϕ -M粒含
- P1210 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり有 ϕ -M粒含
- P1211 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり有 ϕ -M粒含
- P1212 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり有 ϕ -M粒含
- P1213 土層説明**
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 ϕ -M粒含
- P1214 土層説明**
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 ϕ -M粒・ブロック 黒色ブロック含
- P1215 土層説明**
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 ϕ -M粒・ブロック 黒色ブロック含
- P1216 土層説明**
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり弱 ϕ -M粒 白色粒 炭化物含
- P1217 土層説明**
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 ϕ -M粒・ブロック 黒色ブロック含
- P1218 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ϕ -M粒少量含
2. 10YR5/3 にぶい黄褐色土 しまり弱 ϕ -Mブロック含
3. 10YR5/4 にぶい黄褐色土 しまり弱 ϕ -Mブロック含
- P1219 土層説明**
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 ϕ -M粒・ブロック 黒色ブロック含
- P1220 土層説明**
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 ϕ -M粒・ブロック 黒色ブロック含
- P1221 土層説明**
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり弱 ϕ -M粒・ブロック 白色粒含
2. 10YR5/6 灰黄褐色土 しまり弱 ϕ -M粒・ブロック 白色粒含
- P1222 土層説明**
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり弱 ϕ -M粒 白色粒 炭化物含
- P1223 土層説明**
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり弱 ϕ -M粒 白色粒 炭化物含
- P1224 土層説明**
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり弱 ϕ -M粒 白色粒 炭化物含
- P1225・P1226 土層説明**
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり弱 ϕ -M粒 白色粒 炭化物含
2. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり弱 ϕ -M粒 白色粒 炭化物含
- P1227 土層説明**
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり弱 ϕ -M粒 白色粒 炭化物含
- P1228 土層説明**
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり弱 ϕ -M粒 白色粒 炭化物含
- P1229 土層説明**
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり弱 ϕ -M粒 白色粒 炭化物含
- P1230 土層説明**
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり弱 ϕ -M粒・ブロック少量含
10YR5/2 灰黄褐色土 粘土少量含
2. 10YR3/2 黒褐色土 しまり弱 ϕ -M粒・ブロック少量含
10YR5/2 灰黄褐色土 粘土少量含
- P1231 土層説明**
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり弱 ϕ -M粒・ブロック含 白色粒含
- P1232 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 10YR6/8 明黄褐色土 しまり弱 ϕ -M粒・ブロック含
- P1233 土層説明**
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり弱 ϕ -M粒・ブロック含 白色粒含
- P1234 土層説明**
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 ϕ -M粒含
- P1235 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ϕ -M粒
10YR5/1 褐灰色土 粘土ブロック散在
2. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱
- P1236 土層説明**
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり有 ϕ -M粒 白色粒含
2. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり有 ϕ -M粒含
3. 10YR5/2 灰黄褐色土 しまり有 ϕ -M粒・ブロック含
4. 10YR5/6 黄褐色土 しまり有 ϕ -Mブロック含
- P1237 土層説明**
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり弱 ϕ -M粒・ブロック 粘土少量含
- P1238 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり弱 ϕ -M粒 粘土 炭化物少量含
2. 10YR5/6 黄褐色土 しまり弱 ϕ -M粒少量含
- P1239・P1240 土層説明**
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり弱 ϕ -M粒・ブロック少量含
10YR5/2 灰黄褐色土 粘土少量含
2. 10YR3/2 黒褐色土 しまり弱 ϕ -M粒・ブロック少量含
10YR5/2 灰黄褐色土 粘土少量含
- P1241 土層説明**
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり弱 ϕ -M粒・ブロック含
- P1242 土層説明**
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 10YR5/6 黄褐色土 しまり弱 ϕ -M粒含
- P1243 土層説明**
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり有 白色粒 ϕ -M粒・ ϕ -M粒・ ϕ -M粒含
- P1244 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり有 白色粒
- P1245 土層説明**
1. 10YR3/1 黒褐色土 しまり有 白色粒
- P1246 土層説明**
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり弱 ϕ -M粒含
- P1247 土層説明**
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり弱
- P1248・P1249 土層説明**
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 ϕ -M粒含
2. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり弱 ϕ -M粒含
- P1250 土層説明**
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり弱 ϕ -M粒含
- P1251 土層説明**
1. 10YR4/2 灰黄褐色土 しまり弱 ϕ -M粒・ブロック 粘土少量含
- P1252 土層説明**
1. 10YR5/6 黄褐色土 しまり弱
10YR3/1 黒褐色土 ブロック ϕ -Mブロック含
- P1253 土層説明**
1. 10YR3/2 黒褐色土 しまり弱 ϕ -M粒・ブロック含
- P1254 土層説明**
1. 10YR4/1 褐灰色土 しまり弱 炭化物含 ϕ -M
2. 10YR5/6 黄褐色土 しまり弱 ϕ -M粒含



第 167 図 第 1208 ~ 1254 号ピット

第 59 表 ビット計測表 ※単位はcm

No.	グリッド	平面形	長軸	短軸	深さ	出土遺物	備考	No.	グリッド	平面形	長軸	短軸	深さ	出土遺物	備考
0001	H-10	楕円形	28.0	21.0	12.0	-		0066	B-14	楕円形	28.0	24.0	22.0	-	
0002	H-10	円形	28.0	24.0	10.0	-		0067	C-14	楕円形	35.0	29.0	21.0	-	
0003	H-10	楕円形	35.0	26.0	16.0	-		0068	C-14	楕円形	40.0	32.0	21.0	-	
0004	H-10	楕円形	31.0	30.0	10.0	-		0069	C-14	楕円形	37.0	28.0	20.0	-	
0005	H-10	円形	35.0	31.0	50.0	板碑台石?		0070	B-15	楕円形	57.0	51.0	22.0	-	
0006	H-10	楕円形	25.0	20.0	14.0	-		0071	B-15	楕円形	(32.0)	33.0	17.0	-	P0072 と重複
0007	H-11	円形	27.0	24.0	23.0	-		0072	B-15	不整形円形	35.0	33.0	24.0	-	P0071 と重複
0008	H-10	不整形楕円形	66.0	47.0	52.0	-	P0009 と重複	0073	B-15	楕円形	59.0	53.0	26.0	-	
0009	H-10	円形	27.0	23.0	27.0	-	P0008 と重複	0074	B-15	楕円形	30.0	22.0	43.0	-	
0010	H-10	円形	50.0	45.0	26.0	-	P0011 と重複	0075	B-15	円形	44.0	39.0	21.0	-	
0011	H-10	円形	51.0	47.0	29.0	-	P0010 と重複	0076	B-15	円形	31.0	29.0	17.0	炭化物	
0012	H-10	楕円形	35.0	31.0	53.0	土師器環		0077	B-15	円形	45.0	40.0	37.0	-	SB04P2 と重複
0013	H-10	楕円形	38.0	32.0	39.0	-		0078	B-15	楕円形	43.0	35.0	19.0	-	
0014	H-10	円形	28.0	26.0	33.0	-		0079	B-15	不整形楕円形	39.0	30.0	19.0	-	
0015	H-10	楕円形	48.0	42.0	22.0	-		0080	B-15	不整形円形	28.0	23.0	30.0	-	SB02P1 と重複
0016	H-10	円形	65.0	56.0	47.0	-		0081	C-15	楕円形	40.0	33.0	25.0	-	
0017	H-10	不整形円形	37.0	32.0	17.0	-		0082	B・C-15	円形	52.0	46.0	27.0	-	
0018	H-10	円形	30.0	26.0	16.0	-		0083	B-15	楕円形	37.0	30.0	22.0	-	SB02P5 と重複
0019	H-10	円形	28.0	25.0	15.0	-		0084	B-15	不整形楕円形	64.0	35.0	23.0	-	SB02P5 と重複
0020	H-10	円形	42.0	38.0	22.0	-		0085	B・C-15	円形	34.0	33.0	22.0	-	
0021	H-9	楕円形	51.0	(28.0)	54.0	-		0086	C-15	楕円形	41.0	38.0	26.0	-	
0022	H-10	不整形楕円形	45.0	37.0	31.0	-		0087	C-15	楕円形	(41.0)	(31.0)	31.0	-	SB05P1 と重複
0023	H-10	不整形楕円形	58.0	46.0	62.0	-		0088	B-16	不整形円形	30.0	27.0	14.0	陶器片	
0024	G-10	円形	57.0	51.0	45.0	-		0089	C-16	円形	41.0	40.0	27.0	-	
0025	E-11	円形	29.0	28.0	10.0	-		0090	C-16	楕円形	35.0	32.0	20.0	-	P0091 と重複
0026	D-11	楕円形	54.0	45.0	39.0	-		0091	C-15・16	不整形楕円形	45.0	40.0	22.0	-	P0090、P0092 と重複
0027	D-12	楕円形	60.0	54.0	56.0	須恵器環、土師器環		0092	C-15・16	不整形円形	38.0	33.0	18.0	-	P0091 と重複
								0093	C-16	円形	44.0	44.0	46.0	-	
0028	A-13	不整形楕円形	56.0	37.0	60.0	須恵器環、土師器環、土師器環(黒色処理)、須恵器蓋		0094	C-15	円形	60.0	58.0	33.0	-	
								0095	C-15・16	楕円形	35.0	30.0	32.0	-	P0096 と重複
								0096	C-16	円形	55.0	48.0	22.0	-	P0095 と重複
0029	A-13	楕円形	72.0	50.0	23.0	須恵器環、土師器環、土師器環		0097	C-16	円形	33.0	31.0	28.0	-	
								0098	C-15	不整形円形	76.0	(62.0)	54.0	-	P0099 と重複
								0099	C-15・16	不整形楕円形	(25.0)	40.0	34.0	-	P0098 と重複
0030	A-13	円形	35.0	34.0	68.0	-									
0031	B-13	円形	15.0	15.0	4.0	-		0100	B-16・C-16	不整形楕円形	62.0	50.0	18.0	-	
0032	B-13	円形	46.0	41.0	66.0	-									
0033	B-13	楕円形	41.0	32.0	38.0	-		0101	C-16	楕円形	43.0	(32.0)	30.0	-	SB05P3、SB07P3 と重複
0034	B-13	楕円形	93.0	67.0	71.0	須恵器環、土師器環		0102	C-16	楕円形	42.0	32.0	27.0	-	
0035	B-13・14	楕円形	47.0	31.0	19.0	-		0103	C-16	楕円形	85.0	65.0	43.0	-	
0036	A-13・14 B-13・14	楕円形	61.0	55.0	10.0	-		0104	C-16	不整形円形	38.0	32.0	19.0	-	
								0105	C-16	円形	29.0	25.0	18.0	-	
0037	B-14	楕円形	31.0	26.0	14.0	-		0106	C-16	楕円形	47.0	40.0	29.0	-	P0107 と重複
0038	B-14	楕円形	23.0	18.0	10.0	-		0107	C-16	楕円形	33.0	28.0	11.0	-	P0106 と重複
0039	B-14	円形	17.0	16.0	18.0	-		0108	B・C-16	楕円形	40.0	37.0	28.0	-	
0040	B-14	不整形円形	40.0	34.0	37.0	-		0109	C-16	不整形楕円形	51.0	35.0	44.0	-	
0041	B-13・14	円形	21.0	20.0	26.0	土師器環		0110	C-16	楕円形	60.0	42.0	35.0	-	
0042	B-14	楕円形	28.0	24.0	19.0	-		0111	C-16	楕円形	38.0	34.0	34.0	-	
0043	B-13・14	円形	52.0	48.0	32.0	-	P0044 と重複	0112	C-16	円形	40.0	39.0	15.0	-	
0044	B-13・14	楕円形	(25.0)	41.0	20.0	-	P0043 と重複	0113	C-16	不整形円形	56.0	53.0	41.0	-	
0045	B-13	円形	24.0	23.0	23.0	-		0114	C-16	円形	31.0	31.0	19.0	-	
0046	B-13	円形	25.0	23.0	16.0	-		0115	C-16	不整形円形	54.0	46.0	18.0	-	
0047	C-13	楕円形	27.0	24.0	15.0	-		0116	C-16	楕円形	74.0	61.0	21.0	-	
0048	A-14	楕円形	(25.0)	27.0	20.0	-		0117	C-16	不整形円形	52.0	47.0	45.0	-	
0049	B-14	円形	23.0	21.0	19.0	-		0118	C-16	円形	36.0	35.0	23.0	-	
0050	B-14	楕円形	(34.0)	(43.0)	12.0	-	P0051 と重複	0119	C-17	円形	33.0	32.0	22.0	-	
0051	B-14	不整形楕円形	(27.0)	22.0	29.0	緑釉陶器	P0050 と重複	0120	C-16	楕円形	26.0	22.0	11.0	-	
0052	B-14	円形	36.0	32.0	36.0	-		0121	C-16	楕円形	43.0	32.0	33.0	-	
0053	B-14	不整形楕円形	36.0	32.0	35.0	土師器環		0122	C-16	楕円形	26.0	16.0	10.0	-	P0123 と重複
0054	B-14	円形	26.0	24.0	26.0	-		0123	C-16・17	楕円形	(14.0)	16.0	7.0	-	P0122 と重複
0055	B-14	円形	29.0	29.0	19.0	-		0124	C-16	不整形円形	22.0	20.0	19.0	-	
0056	B-14	円形	30.0	28.0	31.0	-		0125	C-17	不整形楕円形	42.0	38.0	13.0	-	
0057	B-14	不整形円形	29.0	24.0	28.0	-		0126	C-17	不整形楕円形	23.0	19.0	17.0	-	
0058	B-14・15	円形	47.0	44.0	15.0	-		0127	C-17	円形	34.0	32.0	38.0	-	
0059	B-15	不整形楕円形	94.0	(63.0)	33.0	-	P0060、SB02P4 と重複	0128	C-17	楕円形	24.0	18.0	9.0	-	
0060	B-15	楕円形	66.0	(42.0)	24.0	-	P0059、SB02P4 と重複	0129	C-17	楕円形	24.0	22.0	8.0	-	
0061	B-15	円形	25.0	23.0	13.0	土錘		0130	C-17	円形	34.0	(13.0)	58.0	-	
0062	B-14	楕円形	34.0	30.0	50.0	-		0131	C-17	楕円形	23.0	20.0	6.0	-	
0063	B-14	不整形楕円形	(53.0)	50.0	35.0	須恵器環、土師器環	SB04P4 と重複	0132	C-17	円形	42.0	29.0	24.0	-	
								0133	D-17	楕円形	35.0	31.0	36.0	-	SK05 と重複
0064	B-14	楕円形	28.0	24.0	26.0	-	P0065 と重複	0134	C-17	不整形楕円形	58.0	35.0	34.0	-	
0065	B-14	不整形楕円形	26.0	24.0	35.0	-	P0064 と重複	0135	C-17	楕円形	29.0	25.0	37.0	-	

No.	グリッド	平面形	長軸	短軸	深さ	出土遺物	備考	No.	グリッド	平面形	長軸	短軸	深さ	出土遺物	備考
0136	C-17	楕円形	23.0	18.0	11.0	-		0204	E-20	楕円形	27.0	21.0	13.0	-	P0202、P0205と重複
0137	C-17	楕円形	34.0	28.0	26.0	-		0205	E-20	楕円形	(34.0)	30.0	9.0	-	P0200、P0204、P0206と重複
0138	C-17	不整楕円形	21.0	18.0	7.0	-		0206	E-20	円形	48.0	41.0	43.0	-	P0205と重複
0139	C-18	楕円形	24.0	21.0	7.0	-		0207	E-20	不整楕円形	25.0	15.0	29.0	-	SK09と重複
0140	C-17・18	円形	46.0	43.0	30.0	須恵器坏、土師器坏、土師器台付甕		0208	E-20	楕円形	35.0	27.0	32.0	-	SK09と重複
0141	C-17・18	円形	40.0	38.0	48.0	-		0209	E-20	不整楕円形	50.0	36.0	50.0	-	SK09と重複
0142	C-18	楕円形	58.0	53.0	38.0	-		0210	E-20	楕円形	37.0	20.0	25.0	-	SK09と重複
0143	C-17	楕円形	(14.0)	18.0	12.0	灰軸陶器高台坏	SB05P17と重複	0211	E-20	不整楕円形	28.0	24.0	43.0	須恵器坏、土師器坏、土師器甕	
0144	D-17	不整円形	27.0	26.0	11.0	-		0212	E-20・21	楕円形	37.0	33.0	29.0	-	
0145	D-17	楕円形	26.0	24.0	27.0	-		0213	E-20	楕円形	35.0	31.0	38.0	-	
0146	D-17	不整円形	27.0	25.0	13.0	-		0214	E-20	楕円形	43.0	38.0	70.0	須恵器坏、土師器坏	
0147	D-17	楕円形	36.0	25.0	16.0	-		0215	E-20・21	楕円形	38.0	(21.0)	28.0	-	P0216、P0217と重複
0148	D-17	楕円形	39.0	28.0	6.0	-		0216	E-21	楕円形	(31.0)	30.0	34.0	-	P0215、P0217と重複
0149	D-17	不整楕円形	66.0	63.0	26.0	-		0217	E-20・21	楕円形	45.0	26.0	41.0	-	P0215、P0216、P0218と重複
0150	D-17	不整楕円形	43.0	34.0	19.0	-		0218	E-21	楕円形	(17.0)	31.0	37.0	-	P0217と重複
0151	D-17	不整楕円形	30.0	24.0	8.0	須恵器坏、土師器坏、土師器甕		0219	E-21	楕円形	53.0	43.0	43.0	土師器坏、須恵器甕	
0152	C・D-19	円形	37.0	35.0	32.0	土師器甕		0220	E-21	楕円形	44.0	40.0	42.0	須恵器坏、土師器坏、土師器甕	SK10と重複
0153	D-18	不整楕円形	49.0	42.0	13.0	-		0221	E-21	不整楕円形	37.0	31.0	29.0	-	SK10と重複
0154	D-18	楕円形	36.0	(20.0)	11.0	-	P0155と重複	0222	E-21	円形	41.0	39.0	16.0	-	SK10と重複
0155	D-18	不整楕円形	32.0	28.0	21.0	-	P0154と重複	0223	E-21	楕円形	38.0	(13.0)	25.0	-	SK10と重複
0156	D-19	円形	33.0	32.0	27.0	-		0224	B-22	不整楕円形	48.0	40.0	22.0	-	
0157	D-19	不整楕円形	50.0	32.0	20.0	-	P0158と重複	0225	G-25	楕円形	56.0	(36.0)	37.0	-	
0158	D-19	不整楕円形	(36.0)	41.0	16.0	土師器坏	P0157と重複	0226	G-25・26	楕円形	51.0	45.0	15.0	-	
0159	E-19	楕円形	59.0	47.0	22.0	-		0227	H-27	不整楕円形	28.0	19.0	23.0	-	
0160	E-19	楕円形	34.0	31.0	18.0	-		0228	H-30	楕円形	24.0	23.0	13.0	-	
0161	D-19・20	不整円形	32.0	32.0	41.0	-		0229	H-30	円形	36.0	32.0	17.0	-	
0162	E-19	楕円形	37.0	27.0	26.0	-		0230	I-29・30	楕円形	23.0	20.0	13.0	-	
0163	E-19	楕円形	31.0	24.0	48.0	-		0231	I-29・30	楕円形	32.0	28.0	22.0	-	
0164	E-19	円形	(29.0)	34.0	21.0	-	SB08P4と重複	0232	I-29・30	円形	18.0	17.0	8.0	-	
0165	D-20	楕円形	56.0	47.0	46.0	-		0233	I-29	楕円形	25.0	21.0	19.0	-	
0166	E-20	不整楕円形	50.0	37.0	39.0	-		0234	I-29	円形	24.0	23.0	22.0	-	
0167	E-20	不整円形	40.0	(28.0)	19.0	-	P0168と重複	0235	I-29	円形	29.0	28.0	36.0	-	SD05、SD07と重複
0168	E-20	円形	34.0	28.0	20.0	-	P0167と重複	0236	J-29	楕円形	30.0	25.0	17.0	-	SD05、SD07と重複
0169	E-19・20	不整楕円形	59.0	30.0	39.0	-	P0170と重複	0237	J-29	円形	29.0	28.0	15.0	-	
0170	E-20	楕円形	38.0	(18.0)	20.0	-	P0169と重複	0238	M-29	楕円形	29.0	26.0	20.0	-	
0171	D-20	不整楕円形	(28.0)	19.0	15.0	-	SB08P4と重複	0239	M-29	楕円形	33.0	29.0	30.0	-	
0172	E-19・20	楕円形	47.0	43.0	41.0	灰軸陶器長頸瓶		0240	X-2	円形	22.0	21.0	15.0	-	SD13と重複
0173	E-20	円形	34.0	27.0	11.0	-		0241	X-2・3	楕円形	117.0	70.0	34.0	須恵器甕	SD13と重複
0174	E-20	円形	29.0	28.0	14.0	-		0242	X-2	円形	39.0	33.0	20.0	-	SD13と重複
0175	E-20	円形	45.0	41.0	41.0	-		0243	X-2	楕円形	48.0	39.0	18.0	-	SD13と重複
0176	E-20	楕円形	55.0	35.0	82.0	-		0244	X-1	楕円形	33.0	(20.0)	17.0	-	
0177	E-20	楕円形	30.0	23.0	8.0	-		0245	X-2	円形	62.0	58.0	11.0	-	
0178	E-20	楕円形	24.0	19.0	26.0	-		0246	W・X-2	円形	95.0	88.0	11.0	-	
0179	E-20	不整円形	27.0	(17.0)	44.0	-	P0180と重複	0247	W-2	楕円形	51.0	38.0	45.0	-	P0248、P0249と重複
0180	E-20	不整楕円形	40.0	33.0	54.0	-	P0179と重複	0248	W-2	不整形	50.0	(10.0)	48.0	-	P0247、P0249と重複
0181	E-20	不整楕円形	46.0	23.0	49.0	-	P0182と重複	0249	W-2	円形	54.0	34.0	32.0	-	P0247、P0248、P0250と重複
0182	E-20	不整楕円形	26.0	22.0	51.0	-	P0181と重複	0250	W-2	不整楕円形	49.0	36.0	37.0	-	P0249と重複
0183	E-20	楕円形	43.0	32.0	47.0	-		0251	W-2	不整楕円形	40.0	(34.0)	54.0	須恵器甕	
0184	E-20	楕円形	59.0	42.0	79.0	-	SK07と重複	0252	V・W-2	楕円形	34.0	27.0	35.0	-	
0185	E-20	円形	61.0	56.0	42.0	-		0253	W-3	円形	28.0	28.0	18.0	-	
0186	E-20	不整円形	45.0	44.0	18.0	須恵器蓋		0254	W-3	円形	34.0	30.0	23.0	-	
0187	D・E-20	楕円形	(20.0)	24.0	11.0	-	P0188と重複	0255	U-3	不整楕円形	37.0	26.0	30.0	-	
0188	D-20	楕円形	34.0	29.0	22.0	-	P0187と重複	0256	V-4	楕円形	33.0	26.0	11.0	-	
0189	D-20	楕円形	46.0	37.0	15.0	-	SK08と重複	0257	V-4	楕円形	32.0	24.0	30.0	-	
0190	D・E-20	楕円形	60.0	47.0	56.0	-	SK08と重複	0258	V-4	楕円形	40.0	33.0	51.0	-	
0191	E-20	楕円形	34.0	25.0	10.0	-	SK08と重複	0259	U-4	不整円形	51.0	49.0	40.0	-	P0260と重複
0192	E-20	楕円形	43.0	(26.0)	27.0	-	P0193と重複	0260	U-4	楕円形	52.0	37.0	14.0	-	P0259と重複
0193	E-20	不整楕円形	40.0	26.0	22.0	-	P0192、P0194と重複	0261	U-4	不整円形	54.0	(29.0)	21.0	-	
0194	E-20	楕円形	(39.0)	22.0	15.0	-	P0193と重複	0262	U-3	円形	27.0	25.0	13.0	-	
0195	E-20	不整楕円形	45.0	38.0	30.0	-		0263	U-3	円形	26.0	24.0	31.0	-	
0196	E-20	楕円形	40.0	30.0	50.0	須恵器蓋		0264	U-3	楕円形	38.0	32.0	22.0	-	
0197	D-21	楕円形	(59.0)	56.0	53.0	-		0265	U-3	楕円形	30.0	24.0	16.0	-	
0198	E-21	楕円形	62.0	48.0	31.0	-		0266	U-3	楕円形	32.0	29.0	14.0	-	
0199	E-20	楕円形	80.0	38.0	61.0	土師器坏		0267	U-4	不整楕円形	37.0	30.0	20.0	-	P0268と重複
0200	E-20	不整楕円形	58.0	28.0	53.0	-	P0205と重複	0268	U-4	楕円形	30.0	27.0	10.0	-	P0267と重複
0201	E-20	不整楕円形	54.0	33.0	47.0	-									
0202	E-20	不整楕円形	20.0	16.0	10.0	-	P0204と重複								
0203	E-20	楕円形	37.0	30.0	29.0	-									

No.	グリッド	平面形	長軸	短軸	深さ	出土遺物	備考	No.	グリッド	平面形	長軸	短軸	深さ	出土遺物	備考
0269	U-4	円形	32.0	29.0	16.0	-		0339	O-7	円形	36.0	33.0	15.0	-	
0270	T-3・4	楕円形	28.0	20.0	8.0	-		0340	O・P-7	円形	34.0	34.0	21.0	-	
0271	U-4	円形	26.0	25.0	20.0	-		0341	P-6	楕円形	38.0	33.0	17.0	-	
0272	T-4	楕円形	44.0	38.0	19.0	須恵器高台坏、短頸壺蓋		0342	P-7	円形	42.0 (22.0)	16.0	-	-	
0273	T-4	円形	52.0	50.0	21.0	-	P0274と重複	0343	O-7	楕円形	45.0	40.0	23.0	-	
0274	T-4	不整形円形	(39.0)	36.0	6.0	-	P0273と重複	0344	O-7	不整形円形	29.0	27.0	11.0	-	
0275	T-4	不整形楕円形	33.0	25.0	29.0	-		0345	O-8	楕円形	24.0	20.0	24.0	-	
0276	S・T-4	楕円形	38.0	30.0	8.0	土師器甕		0346	O-7	不整形楕円形	32.0	29.0	10.0	-	
0277	S・T-4	楕円形	26.0	23.0	19.0	-		0347	O-8	楕円形	23.0	20.0	7.0	-	
0278	S-4	不整形円形	43.0	42.0	9.0	-		0348	O-7・8	楕円形	29.0	16.0	9.0	-	P0349と重複
0279	S-4	円形	33.0	32.0	10.0	-		0349	O-7・8	円形	28.0 (15.0)	14.0	-	-	P0348と重複
0280	S-5	不整形円形	44.0	41.0	35.0	-		0350	O-7	楕円形	38.0	27.0	35.0	-	
0281	S-4	不整形楕円形	52.0	45.0	65.0	-		0351	O-7	楕円形	23.0	19.0	19.0	-	
0282	S-4	楕円形	36.0	29.0	68.0	-		0352	O-7	楕円形	19.0	16.0	10.0	-	
0283	S-4	楕円形	26.0	23.0	19.0	-	P0284と重複	0353	O-7	円形	23.0	22.0	30.0	-	
0284	S-4	円形	27.0	26.0	23.0	-	P0283と重複	0354	O-7	楕円形	28.0	18.0	10.0	-	
0285	S-4	楕円形	29.0	26.0	8.0	-		0355	O-7	不整形楕円形	41.0	34.0	36.0	須恵器甕	
0286	S-4	楕円形	49.0	29.0	50.0	-	P0287と重複	0356	O-7	円形	34.0	31.0	21.0	-	P0357と重複
0287	S-4	楕円形	45.0	29.0	12.0	-	P0286と重複	0357	O-7	楕円形	(20.0)	20.0	8.0	-	P0356と重複
0288	S-4	楕円形	25.0	21.0	13.0	-		0358	O-7	楕円形	36.0	30.0	34.0	-	
0289	S-4	円形	37.0	33.0	34.0	-		0359	O-7	楕円形	22.0	19.0	14.0	-	
0290	S-4・5	楕円形	43.0	28.0	20.0	-	P0293と重複	0360	O-7	楕円形	(23.0)	27.0	15.0	-	
0291	S-4・5	不整形円形	77.0	(57.0)	61.0	土師器坏、土師器甕、陶器鉢	P0292と重複	0361	O-7	楕円形	36.0	31.0	18.0	-	
0292	S-4・5	楕円形	(47.0)	(39.0)	42.0	土師器坏、土師器甕	P0291、P0293、P0294と重複	0362	O-7	楕円形	27.0	23.0	12.0	-	
0293	S-4・5	不整形	(93.0)	(69.0)	64.0	-	P0290、P0292、P0294と重複	0363	O-7	楕円形	31.0	27.0	9.0	-	
0294	S-4	不整形	35.0	(18.0)	71.0	-	P0292、P0293と重複	0364	O-7	円形	19.0	18.0	7.0	-	
0295	S-5	楕円形	40.0	32.0	13.0	-		0365	O-7	楕円形	63.0	37.0	11.0	-	
0296	S-5	楕円形	44.0	38.0	29.0	-		0366	O-7	円形	25.0	24.0	35.0	-	
0297	S-5	不整形楕円形	55.0	38.0	21.0	-		0367	O-7	楕円形	40.0	26.0	15.0	砥石	
0298	S-5	円形	22.0	22.0	11.0	-		0368	O-8	不整形円形	27.0	25.0	15.0	-	
0299	R-5	楕円形	37.0	26.0	9.0	須恵器蓋		0369	O-8	楕円形	52.0	34.0	16.0	-	
0300	R-4	円形	25.0	23.0	14.0	-		0370	O-8	楕円形	(20.0)	26.0	10.0	-	SI05と重複
0301	R-4	不整形円形	92.0	88.0	10.0	-		0371	N-8	楕円形	24.0	21.0	8.0	-	
0302	R-5	楕円形	30.0	23.0	10.0	-		0372	N-7・8	不整形楕円形	79.0	44.0	16.0	-	P0373と重複
0303	R-5	不整形楕円形	53.0	34.0	17.0	-		0373	N-8	楕円形	40.0	28.0	17.0	-	P0372と重複
0304	R-5	円形	18.0	(15.0)	13.0	-		0374	N-8	不整形円形	33.0	32.0	15.0	-	
0305	R-5	楕円形	22.0	17.0	15.0	-		0375	N-7	楕円形	38.0	(17.0)	18.0	-	
0306	R-5	不整形楕円形	56.0	51.0	24.0	-		0376	N-8	円形	36.0	34.0	28.0	-	
0307	R-5	円形	23.0	22.0	19.0	-		0377	N-8	楕円形	33.0	22.0	37.0	土師器坏	
0308	R-5	円形	24.0	21.0	13.0	-		0378	N-8	楕円形	24.0	21.0	7.0	-	
0309	R-5	楕円形	42.0	37.0	14.0	-		0379	M-8	不整形楕円形	58.0	(21.0)	62.0	-	
0310	R-6	楕円形	21.0	16.0	6.0	-		0380	M-8・9	不整形円形	32.0	(29.0)	42.0	-	
0311	R-5	楕円形	32.0	27.0	17.0	-		0381	M-9	不整形	50.0	42.0	30.0	-	
0312	R-5	楕円形	32.0	26.0	15.0	-		0382	M-9	楕円形	43.0	30.0	22.0	-	
0313	R-5	円形	24.0	23.0	5.0	-		0383	L-9	不整形円形	35.0	35.0	17.0	須恵器蓋	
0314	R-5	円形	19.0	19.0	4.0	-		0384	L-9	楕円形	37.0	32.0	28.0	-	
0315	R-5	楕円形	21.0	16.0	7.0	-		0385	L-9	楕円形	30.0	(16.0)	49.0	-	
0316	R-5	楕円形	35.0	26.0	20.0	-		0386	L-9	不整形楕円形	60.0	37.0	33.0	-	
0317	Q・R-5	楕円形	16.0	13.0	12.0	-		0387	L-9	楕円形	32.0	22.0	15.0	-	
0318	Q-5	円形	30.0	27.0	26.0	-		0388	L-9	楕円形	28.0	(20.0)	6.0	-	P0389と重複
0319	Q-5	不整形楕円形	37.0	18.0	28.0	-		0389	L-9	不整形円形	30.0	27.0	7.0	土師器坏	P0388と重複
0320	Q-5	円形	34.0	33.0	11.0	-		0390	L-10	不整形楕円形	39.0	38.0	18.0	-	
0321	Q-5	不整形楕円形	38.0	26.0	11.0	-		0391	L-10	不整形楕円形	45.0	(24.0)	43.0	-	
0322	Q-5	楕円形	31.0	24.0	8.0	-		0392	L-10	円形	30.0	28.0	27.0	-	
0323	Q-5	円形	34.0	33.0	15.0	-		0393	L-10	円形	24.0	22.0	14.0	-	
0324	Q-5	楕円形	39.0	32.0	12.0	-		0394	M-10	楕円形	76.0	71.0	36.0	-	
0325	Q-5	円形	34.0	31.0	12.0	-		0395	L・M-10	楕円形	40.0	33.0	12.0	-	
0326	Q-6	楕円形	26.0	20.0	8.0	-		0396	L-11	不整形楕円形	22.0	19.0	5.0	-	
0327	Q-6	楕円形	28.0	24.0	16.0	-		0397	L-10・11	楕円形	26.0	23.0	16.0	-	
0328	P・Q-6	楕円形	24.0	18.0	7.0	-		0398	L-11	不整形円形	30.0	29.0	17.0	-	
0329	P・Q-6	円形	25.0	25.0	8.0	-		0399	L-11	不整形楕円形	31.0	25.0	18.0	-	
0330	P-6	楕円形	39.0	34.0	22.0	-		0400	M-11	円形	28.0	28.0	19.0	-	
0331	P-6	円形	34.0	34.0	10.0	-		0401	M-11	円形	25.0	22.0	14.0	磨石、礫	
0332	P-6	楕円形	46.0	37.0	18.0	-		0402	M-12	楕円形	24.0	22.0	12.0	-	
0333	P-6	円形	26.0	24.0	23.0	-	SD11と重複	0403	L-12	楕円形	35.0	(12.0)	33.0	-	
0334	P-6	不整形円形	29.0	27.0	24.0	-	SD11と重複	0404	L-13	楕円形	41.0	24.0	9.0	-	P0405と重複
0335	O・P-6	楕円形	40.0	34.0	20.0	-		0405	L-13	楕円形	41.0	24.0	9.0	-	P0404と重複
0336	O-6・7	楕円形	26.0	20.0	18.0	-		0406	L-13	不整形円形	25.0	24.0	10.0	-	
0337	O-7	円形	29.0	28.0	11.0	-		0407	L-13・14	楕円形	43.0	37.0	38.0	-	
0338	O-7	円形	27.0	25.0	12.0	-		0408	L-14	不整形円形	15.0	11.0	3.0	-	
								0409	L-14	楕円形	52.0	(36.0)	56.0	土師器坏、土師器甕	
								0410	L-14	楕円形	42.0	(20.0)	26.0	-	

No.	グリッド	平面形	長軸	短軸	深さ	出土遺物	備考	No.	グリッド	平面形	長軸	短軸	深さ	出土遺物	備考
0411	L-14	楕円形	39.0	(20.0)	17.0	-		0482	X-10	不整楕円形	31.0	26.0	15.0	-	P0483と重複
0412	L-14	楕円形	25.0	25.0	9.0	-		0483	X-10	不整楕円形	44.0	36.0	20.0	-	P0482と重複
0413	L-14	不整楕円形	19.0	15.0	11.0	-		0484	X-11	不整形	27.0	24.0	15.0	-	
0414	L-14	不整形	39.0	(35.0)	18.0	-		0485	X-10	不整楕円形	45.0	32.0	23.0	-	
0415	K-14	不整形	53.0	(32.0)	12.0	-		0486	W・X-10	不整形	48.0	45.0	22.0	-	
0416	K-14	不整形	21.0	19.0	18.0	土師器坏、土師器甕、常滑甕		0487	W・X-10	楕円形	38.0	32.0	11.0	-	
							0488	X-10	不整楕円形	32.0	28.0	15.0	-		
							0489	X-10	不整形	40.0	38.0	14.0	-		
							0490	X-10・11	楕円形	(29.0)	23.0	12.0	-	P0491と重複	
0417	K-16	円形	(105.0)	(25.0)	40.0	-		0491	X-10・11	楕円形	23.0	17.0	16.0	-	P0490と重複
0418	J-21	円形	27.0	25.0	11.0	-		0492	X-11	不整形	68.0	57.0	20.0	-	
0419	J・K-21	楕円形	42.0	36.0	16.0	-		0493	X-11	円形	21.0	18.0	9.0	-	
0420	J-21	不整楕円形	41.0	30.0	10.0	-		0494	X-11	楕円形	6.0	20.0	34.0	-	SB16P6と重複
0421	K-22	不整楕円形	28.0	26.0	15.0	-		0495	X-11	楕円形	31.0	25.0	6.0	-	SB16P6と重複
0422	K-22	円形	30.0	29.0	12.0	-		0496	Y-11	不整楕円形	28.0	22.0	10.0	-	
0423	K-22	不整楕円形	33.0	20.0	10.0	-	SK41と重複	0497	W-11	不整形	23.0	19.0	6.0	-	
0424	K-22	不整楕円形	31.0	19.0	10.0	-		0498	W-11	円形	25.0	24.0	13.0	-	
0425	K-22	楕円形	22.0	19.0	4.0	-		0499	W-10	不整楕円形	48.0	46.0	13.0	-	
0426	K-22・23	楕円形	30.0	27.0	4.0	-		0500	W-10	楕円形	22.0	18.0	11.0	-	
0427	K-22	円形	(40.0)	(15.0)	9.0	-		0501	W-10	楕円形	25.0	(9.0)	36.0	-	
0428	K-23	楕円形	(45.0)	(32.0)	18.0	-		0502	W-10	円形	28.0	(16.0)	52.0	-	
0429	K-24	円形	35.0	(25.0)	7.0	-		0503	W-10	楕円形	31.0	(18.0)	52.0	-	
0430	K-24	円形	27.0	26.0	7.0	-		0504	W-10	楕円形	30.0	(8.0)	54.0	-	
0431	L・M-27	円形	22.0	21.0	13.0	-		0505	X-11	楕円形	(36.0)	32.0	17.0	-	SK51と重複
0432	M-27・28	円形	26.0	25.0	17.0	-		0506	X-11	楕円形	65.0	45.0	32.0	-	SK51と重複
0433	M-28	円形	36.0	34.0	10.0	-		0507	X-11	楕円形	26.0	24.0	12.0	-	
0434	M-28	楕円形	35.0	32.0	6.0	-		0508	X-11	不整楕円形	29.0	25.0	10.0	-	
0435	M-27	楕円形	42.0	(27.0)	15.0	土師器坏		0509	W-11・12	楕円形	(44.0)	38.0	8.0	-	P0510と重複
0436	M-27	円形	49.0	48.0	14.0	-		0510	W-12	楕円形	31.0	27.0	14.0	-	P0509と重複
0437	M-27	円形	41.0	39.0	18.0	-		0511	W-12	不整楕円形	24.0	22.0	8.0	-	
0438	M-27	楕円形	46.0	36.0	15.0	-		0512	W-12	円形	20.0	19.0	13.0	-	
0439	M-27	不整楕円形	30.0	18.0	13.0	-		0513	W-11	円形	33.0	30.0	14.0	-	P0514と重複
0440	M-27	円形	24.0	23.0	7.0	-		0514	W-11	楕円形	42.0	(29.0)	11.0	-	P0513と重複
0441	M-27	不整楕円形	35.0	31.0	20.0	-		0515	W-11	不整形	24.0	22.0	11.0	-	
0442	M-27	不整楕円形	35.0	24.0	15.0	-		0516	W-11	円形	43.0	42.0	14.0	-	
0443	X-9・10	楕円形	55.0	48.0	20.0	-		0517	W-11・12	円形	26.0	24.0	15.0	-	
0444	Y-10	楕円形	38.0	32.0	15.0	-		0518	W-12	楕円形	21.0	17.0	12.0	-	
0445	Y-10	楕円形	18.0	14.0	2.0	-		0519	W-11	楕円形	47.0	43.0	43.0	-	
0446	Y-10	円形	17.0	16.0	7.0	-		0520	V・W-11	円形	26.0	24.0	23.0	-	
0447	Y-11	楕円形	22.0	18.0	9.0	-	SK48と重複	0521	V・W-11	楕円形	35.0	25.0	11.0	-	
0448	Y-11	不整楕円形	98.0	(35.0)	12.0	-	SK48と重複	0522	V-11	不整形	59.0	56.0	20.0	-	
0449	Y-11	楕円形	34.0	29.0	18.0	-	SK48と重複	0523	V-11	楕円形	(51.0)	54.0	27.0	-	P0524と重複
0450	X-10	不整楕円形	45.0	41.0	59.0	-		0524	V-11	楕円形	(18.0)	18.0	8.0	-	P0523と重複
0451	X-10	不整形	28.0	26.0	22.0	-		0525	V-11	楕円形	28.0	26.0	11.0	-	
0452	X-10	楕円形	28.0	25.0	13.0	-		0526	V-11	円形	20.0	20.0	12.0	-	
0453	X-10	不整楕円形	26.0	23.0	10.0	-	SB16P1と重複	0527	V-12	円形	37.0	32.0	12.0	-	
0454	X-10	不整楕円形	35.0	26.0	17.0	-	SB16P1と重複	0528	V-12	円形	24.0	21.0	6.0	-	
0455	X-10	円形	56.0	54.0	15.0	-		0529	W-12	楕円形	35.0	24.0	13.0	-	
0456	Y-10	楕円形	26.0	18.0	11.0	-	P0457と重複	0530	W-12	円形	20.0	17.0	6.0	-	
0457	Y-10	楕円形	21.0	(18.0)	21.0	-	P0456と重複	0531	V-12	円形	36.0	(24.0)	43.0	-	
0458	X-10	円形	30.0	27.0	13.0	-		0532	V-11	円形	37.0	32.0	8.0	-	
0459	X-10	不整形	45.0	45.0	17.0	-		0533	V-12	不整楕円形	32.0	26.0	9.0	-	
0460	X-10	円形	46.0	42.0	11.0	-	P0461と重複	0534	V-11・12	楕円形	75.0	(47.0)	29.0	-	SB17P6と重複
0461	X-10	不整楕円形	38.0	28.0	46.0	-	P0460と重複	0535	V-12	不整楕円形	30.0	24.0	6.0	-	
0462	X-10	楕円形	32.0	27.0	9.0	-		0536	V-12	楕円形	24.0	20.0	15.0	-	SB17P2と重複
0463	X-10	円形	23.0	22.0	19.0	-		0537	V-12	不整楕円形	61.0	45.0	12.0	-	SB18P5と重複
0464	X-10	楕円形	50.0	39.0	15.0	-	P0465と重複	0538	V-12	楕円形	69.0	56.0	13.0	-	
0465	X-10	楕円形	48.0	30.0	28.0	-	P0464と重複	0539	V-12	楕円形	38.0	34.0	11.0	-	
0466	X-10	不整楕円形	35.0	33.0	32.0	-		0540	V-12	不整楕円形	81.0	54.0	34.0	-	
0467	X-10	円形	29.0	27.0	23.0	-		0541	V-12	不整形	60.0	50.0	20.0	-	
0468	X-10・11	円形	39.0	38.0	19.0	-	P0469と重複	0542	V-12	楕円形	18.0	15.0	3.0	-	
0469	X-11	円形	22.0	(19.0)	8.0	-	P0468と重複	0543	V-12	楕円形	66.0	(27.0)	34.0	-	P0544と重複
0470	X-10	不整楕円形	38.0	(20.0)	14.0	-	P0471と重複	0544	V-12	楕円形	90.0	89.0	33.0	-	P0543と重複
0471	X-10	楕円形	26.0	23.0	11.0	-	P0470と重複	0545	V-12	楕円形	21.0	18.0	6.0	-	
0472	X-10・11	不整形	34.0	32.0	9.0	-		0546	V-12	円形	34.0	(20.0)	62.0	-	
0473	X-11	不整楕円形	39.0	31.0	15.0	-		0547	U-12	楕円形	29.0	(20.0)	33.0	-	P0548と重複
0474	X-11	楕円形	31.0	23.0	11.0	-		0548	U-12	楕円形	70.0	(63.0)	20.0	-	P0547、P0549と重複
0475	X-11	不整形	91.0	(43.0)	9.0	-		0549	U-12	不整楕円形	56.0	46.0	26.0	-	P0548と重複
0476	X-11	楕円形	18.0	16.0	8.0	-		0550	U-12	楕円形	36.0	32.0	9.0	-	
0477	X-11	楕円形	18.0	14.0	11.0	-		0551	V-12	楕円形	41.0	29.0	16.0	-	
0478	X-11	楕円形	38.0	24.0	24.0	-	SK50と重複	0552	V-12	不整楕円形	28.0	24.0	13.0	-	
0479	X-11	不整形	27.0	27.0	13.0	-	SK50と重複	0553	V-12	不整楕円形	43.0	35.0	10.0	-	
0480	X-10	楕円形	23.0	20.0	15.0	-		0554	V-12	楕円形	31.0	29.0	16.0	-	
0481	X-10	楕円形	21.0	18.0	10.0	-									

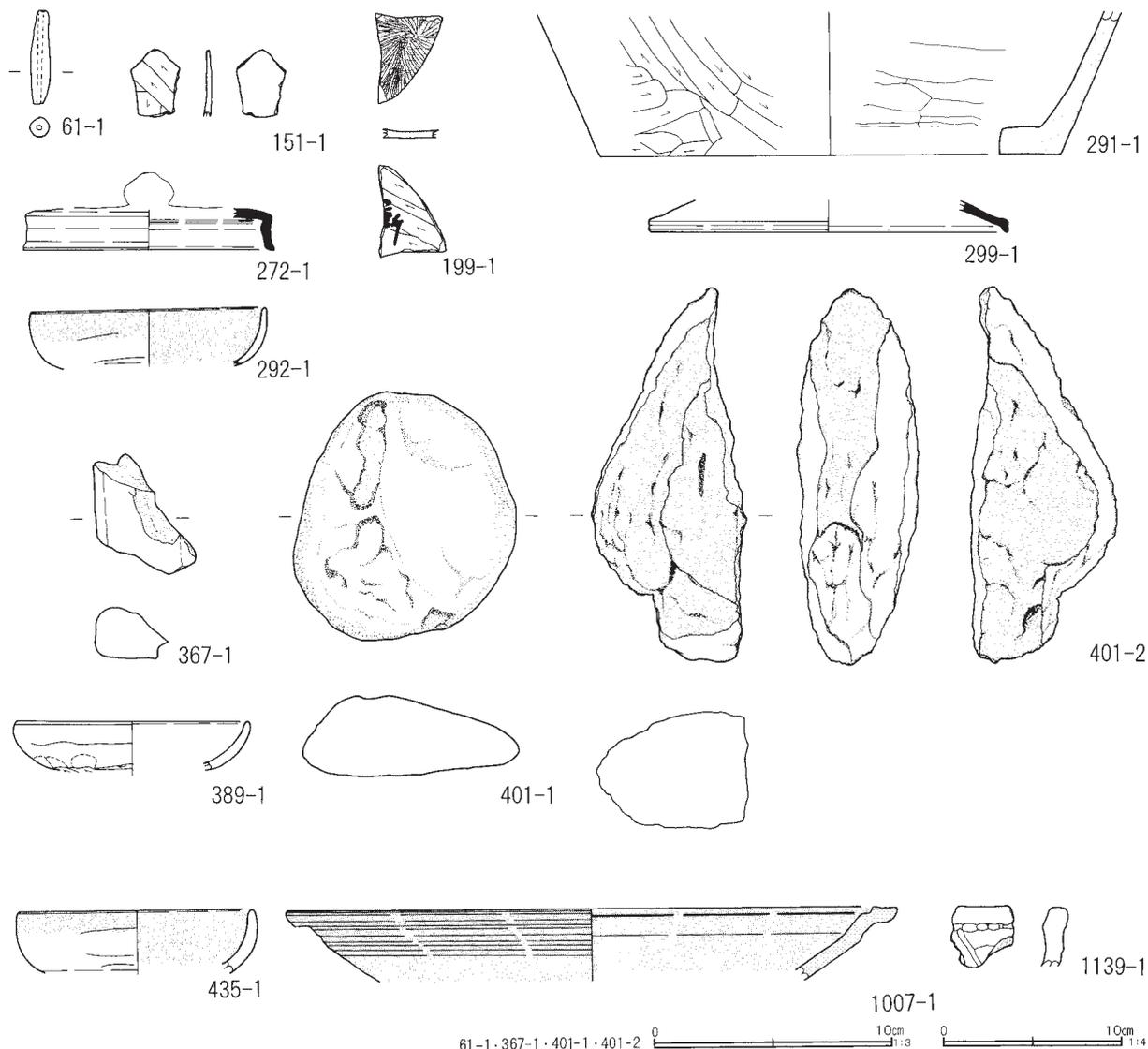
No.	グリッド	平面形	長軸	短軸	深さ	出土遺物	備考	No.	グリッド	平面形	長軸	短軸	深さ	出土遺物	備考
0555	U-13	円形	22.0	22.0	11.0	-		0628	T-15	不整楕円形	44.0	38.0	20.0	-	
0556	V-13	円形	25.0	23.0	15.0	-		0629	T-15	不整形	29.0	23.0	4.0	-	
0557	V-13	不整形	21.0	21.0	7.0	-		0630	S-15	楕円形	28.0	24.0	10.0	-	
0558	U-12	円形	34.0	(18.0)	31.0	-		0631	S-15	円形	21.0	20.0	9.0	-	
0559	U-12・13	楕円形	(31.0)	29.0	19.0	-	P0560と重複	0632	T-15	不整形	46.0	36.0	16.0	-	
0560	U-13	楕円形	38.0	29.0	26.0	-	P0559と重複	0633	T-15	不整形	36.0	33.0	18.0	-	
0561	U-13	楕円形	41.0	34.0	20.0	-		0634	T-15・16	不整形	24.0	22.0	9.0	-	SB19P10と重複
0562	U-13	円形	46.0	43.0	21.0	-		0635	S-16	楕円形	26.0	22.0	15.0	-	P0637と重複
0563	U-13	円形	36.0	32.0	30.0	-		0636	S-16	楕円形	31.0	26.0	10.0	-	P0637、SB19P10と重複
0564	V-13	円形	20.0	18.0	18.0	-	P0565と重複	0637	S-16	楕円形	56.0	46.0	41.0	-	P0635、P0636と重複
0565	V-13	楕円形	36.0	(21.0)	13.0	-	P0564と重複	0638	S-16	不整形	69.0	61.0	31.0	-	
0566	U-13	楕円形	36.0	32.0	9.0	-		0639	S-16	不整形	61.0	40.0	22.0	-	SB19P4と重複
0567	U-13	楕円形	28.0	26.0	14.0	-		0640	R-16	不整形	49.0	(42.0)	25.0	-	SI09と重複
0568	U-13	円形	51.0	49.0	18.0	-		0641	S-17	円形	56.0	50.0	26.0	-	
0569	U-13	楕円形	23.0	21.0	16.0	-		0642	R-17	円形	36.0	(26.0)	17.0	-	
0570	U-13	楕円形	32.0	28.0	12.0	-		0643	R-17	楕円形	19.0	16.0	14.0	-	
0571	U-13	楕円形	(17.0)	20.0	9.0	-	P0572と重複	0644	R-17	楕円形	76.0	(28.0)	13.0	-	
0572	U-13	楕円形	42.0	38.0	16.0	-	P0571と重複	0645	R-17	円形	38.0	37.0	17.0	-	
0573	U-13	楕円形	46.0	(40.0)	21.0	-	P0574と重複	0646	R-17	不整形	85.0	45.0	20.0	-	
0574	U-13	楕円形	35.0	27.0	15.0	-	P0573と重複	0647	R-17	楕円形	33.0	26.0	16.0	-	P0648と重複
0575	U-13	不整形	52.0	38.0	12.0	-		0648	R-17	楕円形	30.0	(20.0)	23.0	-	P0647と重複
0576	U-13	楕円形	48.0	30.0	20.0	-		0649	R-17	円形	36.0	34.0	9.0	-	P0650、SB19P7と重複
0577	U-13	円形	26.0	26.0	10.0	-		0650	R-17	楕円形	37.0	24.0	14.0	-	P0649、SB19P7と重複
0578	U-13	楕円形	40.0	37.0	10.0	-		0651	R-17	円形	22.0	20.0	7.0	-	P0652と重複
0579	U-13	不整形	48.0	42.0	15.0	-		0652	R-17	楕円形	(16.0)	15.0	5.0	-	P0651と重複
0580	U-13	楕円形	36.0	26.0	19.0	-	P0581と重複	0653	R-17	不整形	23.0	18.0	5.0	-	
0581	U-13	円形	24.0	(18.0)	13.0	-	P0580と重複	0654	R-17・18	楕円形	23.0	(18.0)	11.0	-	P0655と重複
0582	U-13	楕円形	36.0	29.0	16.0	-		0655	R-17・18	円形	43.0	36.0	9.0	-	P0654と重複
0583	U-13	楕円形	30.0	20.0	12.0	-		0656	R・S-18	不整形	39.0	30.0	19.0	-	
0584	U-13	楕円形	26.0	23.0	6.0	-		0657	S-18	楕円形	27.0	24.0	9.0	-	
0585	U-13	楕円形	20.0	16.0	4.0	-		0658	R-18	楕円形	22.0	14.0	9.0	-	P0659と重複
0586	U-13	楕円形	21.0	18.0	7.0	-		0659	R-18	楕円形	17.0	(15.0)	8.0	-	P0658と重複
0587	T-13	円形	(20.0)	26.0	10.0	-	SK53と重複	0660	R-18	楕円形	31.0	24.0	14.0	-	
0588	T-13	円形	33.0	31.0	17.0	-	P0589と重複	0661	R-18	不整形	59.0	40.0	15.0	-	P0662と重複
0589	T-13	楕円形	37.0	34.0	17.0	土師器坏	P0588と重複	0662	R-18	円形	45.0	(19.0)	15.0	-	P0661と重複
0590	U-13	楕円形	18.0	14.0	3.0	-		0663	R-18	楕円形	46.0	39.0	21.0	-	
0591	U-13	不整形	18.0	11.0	7.0	-		0664	R-18	楕円形	34.0	26.0	9.0	-	
0592	U-13・14	円形	16.0	15.0	9.0	-		0665	R-18	不整形	25.0	23.0	6.0	-	
0593	U-13・14	楕円形	28.0	22.0	6.0	-		0666	R-18	円形	29.0	28.0	10.0	-	
0594	U-14	円形	18.0	16.0	9.0	-		0667	R-18	楕円形	32.0	(21.0)	19.0	-	
0595	U-14	円形	18.0	17.0	10.0	-		0668	R-18	不整形	26.0	22.0	9.0	-	
0596	T-13	不整形	20.0	19.0	13.0	-		0669	R-18	不整形	36.0	35.0	6.0	-	
0597	T-13	楕円形	(18.0)	20.0	12.0	-		0670	R-18	円形	26.0	24.0	25.0	-	
0598	T-13	不整形	22.0	18.0	8.0	-		0671	R-18	円形	23.0	22.0	6.0	-	
0599	T-13	不整形	17.0	15.0	9.0	-	P0600と重複	0672	R-18	楕円形	24.0	19.0	14.0	-	
0600	T-13	楕円形	(16.0)	16.0	24.0	-	P0599と重複	0673	R-18	楕円形	21.0	17.0	10.0	-	
0601	T-13	楕円形	31.0	27.0	37.0	-		0674	R-18	楕円形	36.0	33.0	22.0	-	
0602	T-13	不整形	27.0	25.0	23.0	-		0675	R-18	不整形	28.0	26.0	3.0	-	
0603	U-14	楕円形	(17.0)	17.0	7.0	-	SD16と重複	0676	R-18	円形	39.0	36.0	4.0	-	
0604	T-14	楕円形	71.0	(57.0)	12.0	-	SD15、SE03と重複	0677	R-18	不整形	62.0	53.0	17.0	-	
0605	U-14	不整形	30.0	28.0	17.0	-		0678	R-18	楕円形	55.0	48.0	11.0	-	
0606	T-14	不整形	26.0	19.0	16.0	-		0679	R-18	楕円形	41.0	33.0	18.0	-	
0607	T-14	円形	23.0	22.0	15.0	-		0680	R-18	楕円形	46.0	42.0	39.0	-	
0608	T-14	円形	53.0	31.0	27.0	-		0681	R-19	円形	48.0	47.0	19.0	-	
0609	T-14	円形	19.0	16.0	11.0	-		0682	Q-18	楕円形	26.0	23.0	22.0	-	
0610	T-14	楕円形	16.0	13.0	16.0	-		0683	R-19	楕円形	50.0	33.0	13.0	-	
0611	T-14	不整形	21.0	16.0	16.0	-		0684	R-19	円形	23.0	31.0	5.0	-	
0612	T-14・15	不整形	33.0	30.0	17.0	-		0685	R-19	円形	31.0	27.0	7.0	-	
0613	T-14	楕円形	32.0	26.0	12.0	-		0686	Q-19	円形	32.0	(27.0)	6.0	-	SB22P2と重複
0614	T-15	楕円形	51.0	45.0	12.0	-		0687	R・Q-19	楕円形	40.0	33.0	9.0	-	
0615	S・T-14	不整形	32.0	30.0	19.0	-		0688	R-19	楕円形	42.0	39.0	9.0	-	
0616	T-14	楕円形	18.0	16.0	9.0	-		0689	R-19	楕円形	42.0	34.0	7.0	-	
0617	T-14	楕円形	58.0	48.0	10.0	-		0690	R-19	円形	32.0	32.0	35.0	-	
0618	T-15	円形	19.0	19.0	7.0	-		0691	R-19	円形	32.0	30.0	16.0	-	
0619	T-15	楕円形	26.0	16.0	12.0	-		0692	Q-19	楕円形	57.0	(42.0)	25.0	-	
0620	T-15	楕円形	21.0	16.0	11.0	-		0693	Q-19	不整形	(31.0)	26.0	15.0	-	P0694、SB22P3と重複
0621	S-14	楕円形	17.0	15.0	10.0	-		0694	Q-19	楕円形	31.0	25.0	15.0	-	P0693、SB22P3と重複
0622	T-15	円形	32.0	22.0	11.0	-		0695	R-19	不整形	25.0	23.0	6.0	-	
0623	T-15	不整形	20.0	18.0	11.0	-		0696	R-19	円形	29.0	28.0	9.0	-	
0624	T-15	楕円形	34.0	27.0	14.0	-		0697	R-19	円形	32.0	29.0	19.0	-	
0625	T-15	楕円形	20.0	17.0	13.0	-		0698	R-19	楕円形	30.0	27.0	7.0	-	
0626	T-15	円形	19.0	18.0	6.0	-		0699	R-19	円形	26.0	25.0	8.0	-	
0627	T-15	楕円形	26.0	22.0	9.0	-									

No.	グリッド	平面形	長軸	短軸	深さ	出土遺物	備考	No.	グリッド	平面形	長軸	短軸	深さ	出土遺物	備考
0700	R-19	楕円形	27.0	24.0	9.0	-		0772	Q-23・24	不整形円形	25.0	23.0	12.0	-	
0701	R-19	円形	28.0	26.0	8.0	-		0773	Q-24	不整形円形	22.0	19.0	11.0	-	
0702	R-19	楕円形	52.0	46.0	11.0	-	P0703と重複	0774	R-24	不整形楕円形	24.0	20.0	16.0	-	
0703	R-19	不整形楕円形	46.0	(32.0)	20.0	-	P0702と重複	0775	R-24	楕円形	18.0	15.0	6.0	-	
0704	R-19・20	不整形楕円形	49.0	38.0	19.0	-	P0705と重複	0776	Q-24	不整形円形	19.0	18.0	5.0	-	
0705	R-19・20	円形	39.0	33.0	13.0	-	P0704と重複	0777	Q-24	楕円形	20.0	16.0	6.0	-	
0706	R-19・20	楕円形	94.0	65.0	31.0	-		0778	Q-24	不整形円形	26.0	23.0	11.0	-	
0707	Q-20	楕円形	(36.0)	38.0	13.0	-		0779	R-24	不整形楕円形	55.0	38.0	19.0	-	
0708	Q-20	楕円形	62.0	50.0	13.0	-	P0709と重複	0780	Q-24	円形	22.0	20.0	10.0	-	
0709	Q-20	楕円形	60.0	51.0	10.0	-	P0708と重複	0781	Q-24	不整形楕円形	29.0	25.0	8.0	-	
0710	Q-20	楕円形	34.0	29.0	8.0	-		0782	R-24	円形	20.0	18.0	16.0	-	
0711	Q-20	不整形楕円形	46.0	33.0	16.0	-		0783	R-24	楕円形	30.0	24.0	16.0	-	
0712	Q-20	不整形円形	34.0	34.0	16.0	-		0784	R-24	不整形円形	23.0	20.0	23.0	-	
0713	R-20	楕円形	29.0	25.0	11.0	-		0785	R-24	不整形楕円形	21.0	18.0	11.0	-	
0714	R-20	円形	50.0	48.0	9.0	-		0786	R-24・25	楕円形	15.0	12.0	16.0	-	
0715	R-20	不整形楕円形	46.0	41.0	17.0	-		0787	R-24	不整形円形	17.0	16.0	19.0	-	
0716	R-20	楕円形	47.0	38.0	9.0	-		0788	R-25	不整形円形	17.0	15.0	17.0	-	
0717	R-20	楕円形	55.0	39.0	22.0	-		0789	V-4	楕円形	54.0	28.0	3.0	-	
0718	R-20	不整形楕円形	56.0	43.0	22.0	-		0790	V-4	不整形円形	34.0	32.0	19.0	-	
0719	R-20	楕円形	37.0	(28.0)	18.0	-		0791	V-4	不整形円形	40.0	39.0	15.0	-	
0720	R-20	円形	61.0	(39.0)	23.0	-		0792	V-4	不整形楕円形	88.0	72.0	19.0	-	
0721	Q・R-20	楕円形	37.0	31.0	13.0	-		0793	V-4	円形	40.0	39.0	33.0	-	
0722	R-20	円形	44.0	40.0	16.0	-		0794	V-4	不整形円形	29.0	27.0	6.0	土師器甕	
0723	R-20	円形	39.0	39.0	10.0	-		0795	V-4	不整形楕円形	32.0	26.0	4.0	-	
0724	R-20	楕円形	25.0	21.0	9.0	-		0796	V-4	不整形円形	38.0	38.0	2.0	-	
0725	R-20	楕円形	85.0	68.0	20.0	-		0797	V-4	楕円形	24.0	18.0	11.0	-	
0726	R-20	楕円形	25.0	20.0	9.0	-		0798	V-4	楕円形	42.0	24.0	7.0	-	
0727	R-20	楕円形	38.0	30.0	12.0	-		0799	V・W-3	不整形円形	51.0	46.0	44.0	-	
0728	R-20	円形	37.0	32.0	13.0	-		0800	W-4	円形	28.0	26.0	27.0	-	
0729	R-20	楕円形	41.0	36.0	19.0	-		0801	W-3	円形	30.0	27.0	14.0	-	
0730	R-20	不整形楕円形	56.0	45.0	20.0	-		0802	W-3	楕円形	17.0	13.0	7.0	-	
0731	R-20	楕円形	40.0	27.0	10.0	-		0803	W-3	楕円形	50.0	32.0	12.0	-	
0732	R-20	楕円形	38.0	35.0	9.0	-		0804	W-3	不整形楕円形	59.0	31.0	10.0	-	P0805と重複
0733	R-20	円形	23.0	23.0	8.0	-		0805	W-3	円形	25.0	(18.0)	14.0	-	P0804と重複
0734	R-20	円形	50.0	41.0	11.0	-		0806	W-3	円形	33.0	31.0	11.0	-	
0735	R-20	円形	29.0	27.0	10.0	-		0807	W-3	円形	33.0	28.0	14.0	-	
0736	R-20	円形	29.0	26.0	12.0	-		0808	W-3・4	楕円形	30.0	20.0	19.0	-	
0737	R-20	円形	33.0	30.0	15.0	-		0809	W-4	不整形楕円形	31.0	23.0	21.0	-	
0738	R-20	楕円形	59.0	(23.0)	32.0	-		0810	W-3・4	円形	46.0	41.0	18.0	-	
0739	Q-20	不整形円形	50.0	47.0	21.0	-		0811	W-3・4	不整形楕円形	50.0	36.0	14.0	-	
0740	Q-20	円形	62.0	56.0	16.0	-		0812	W-4	不整形円形	18.0	16.0	6.0	-	
0741	Q-20	楕円形	26.0	19.0	9.0	-		0813	W-4	円形	31.0	29.0	21.0	-	
0742	Q-20	円形	39.0	35.0	12.0	-		0814	W-4	楕円形	47.0	41.0	20.0	-	
0743	R-20	円形	34.0	31.0	12.0	-		0815	W-4	不整形円形	28.0	23.0	9.0	-	
0744	Q・R-20・21	楕円形	38.0	30.0	25.0	-		0816	W-4	円形	24.0	24.0	21.0	-	
0745	R-21	不整形円形	48.0	41.0	24.0	-		0817	V-4	不整形形	54.0	46.0	20.0	-	
0746	R-21	不整形楕円形	38.0	33.0	11.0	-		0818	V-4	不整形円形	30.0	25.0	10.0	-	
0747	R-21	円形	22.0	20.0	8.0	-		0819	V-4	不整形円形	15.0	14.0	12.0	-	
0748	R-21	円形	22.0	20.0	9.0	-		0820	V-4・5	不整形楕円形	38.0	28.0	9.0	-	
0749	R-20	円形	45.0	37.0	8.0	-		0821	W-4	楕円形	62.0	40.0	16.0	-	
0750	R-20	不整形楕円形	53.0	48.0	10.0	-		0822	W-4	不整形楕円形	37.0	35.0	14.0	-	
0751	R-21	楕円形	29.0	26.0	6.0	-		0823	W-4	不整形楕円形	75.0	36.0	15.0	-	
0752	R-21	不整形楕円形	75.0	50.0	19.0	-	P0753、P0754と重複	0824	V-5	不整形楕円形	38.0	24.0	8.0	-	
0753	R-21	楕円形	40.0	28.0	21.0	-	P0752、P0754と重複	0825	W-5	円形	37.0	36.0	18.0	-	
0754	R-21	楕円形	38.0	27.0	15.0	-	P0752、P0753と重複	0826	W-5	円形	27.0	25.0	11.0	-	
0755	R-21	不整形楕円形	27.0	22.0	13.0	-		0827	W-4・5	楕円形	40.0	28.0	17.0	-	
0756	R-21	楕円形	22.0	18.0	6.0	-		0828	W-4	円形	47.0	46.0	10.0	-	
0757	R-21	楕円形	33.0	28.0	27.0	-		0829	V・W-5	円形	25.0	21.0	15.0	-	
0758	R-21	楕円形	50.0	41.0	15.0	-		0830	W-5	楕円形	48.0	34.0	6.0	-	
0759	R-21	不整形楕円形	36.0	12.0	26.0	-		0831	W-5	円形	21.0	20.0	9.0	-	
0760	R-21	楕円形	41.0	34.0	25.0	-		0832	W-5	円形	40.0	38.0	11.0	-	
0761	R-21	不整形円形	26.0	26.0	15.0	-		0833	W-5	円形	52.0	48.0	4.0	-	
0762	R-21	不整形円形	27.0	25.0	18.0	-		0834	W-5	円形	34.0	33.0	18.0	-	
0763	R-21	楕円形	39.0	(28.0)	14.0	-		0835	W-5	円形	16.0	15.0	6.0	-	
0764	R-23	不整形円形	32.0	26.0	23.0	-		0836	W-5	楕円形	37.0	30.0	12.0	-	
0765	R-23	不整形円形	27.0	24.0	36.0	-		0837	W-5	円形	26.0	25.0	7.0	-	
0766	R-23	楕円形	24.0	20.0	6.0	-		0838	W-5	円形	30.0	28.0	19.0	-	
0767	R-23	円形	23.0	21.0	9.0	-		0839	W-5	円形	32.0	29.0	17.0	-	
0768	R-23	不整形円形	20.0	19.0	10.0	-		0840	W-5	不整形円形	44.0	44.0	38.0	土師器坏	
0769	R-23	円形	18.0	18.0	7.0	-		0841	W・X-5	円形	59.0	(30.0)	47.0	-	P0842と重複
0770	R-23	円形	33.0	30.0	23.0	-		0842	W・X-5	不整形形	45.0	40.0	33.0	土師器	P0841と重複
0771	Q-24	円形	19.0	19.0	6.0	-		0843	W・X-5	楕円形	27.0	24.0	34.0	-	
								0844	W-5	円形	25.0	22.0	12.0	-	

No.	グリッド	平面形	長軸	短軸	深さ	出土遺物	備考	No.	グリッド	平面形	長軸	短軸	深さ	出土遺物	備考
0845	W-5	不整楕円形	29.0	23.0	20.0	-		0913	Y-8	不整円形	40.0	39.0	26.0	-	
0846	W-5	円形	32.0	30.0	13.0	土師器坏、須恵器甕		0914	Y-8・9	不整円形	44.0	41.0	12.0	土師器坏、土師器甕	
0847	W-5	楕円形	33.0	26.0	7.0	-		0915	Y-9	円形	40.0	35.0	52.0	-	
0848	W-5	楕円形	25.0	19.0	11.0	-		0916	Y-9	不整楕円形	55.0	37.0	31.0	-	
0849	W-5	円形	28.0	25.0	14.0	-		0917	Y-9	円形	33.0	29.0	8.0	-	
0850	W-5	楕円形	33.0	24.0	9.0	-		0918	Y-9	不整円形	34.0	29.0	22.0	-	
0851	W-5	円形	21.0	20.0	11.0	-		0919	Y-9	楕円形	33.0	26.0	12.0	-	
0852	W-6	円形	30.0	26.0	9.0	-		0920	Y-9	楕円形	29.0	24.0	11.0	-	
0853	W-5	不整円形	27.0	24.0	14.0	-	SK44と重複	0921	Y-9	円形	36.0	33.0	7.0	-	
0854	W-5	楕円形	25.0	19.0	37.0	-	SK44と重複	0922	Y-9	不整楕円形	23.0	17.0	12.0	-	
0855	W-5	楕円形	23.0	13.0	11.0	-	SK44と重複	0923	Y-9	楕円形	59.0	49.0	5.0	-	
0856	X-5	円形	22.0	21.0	12.0	須恵器坏、土師器坏、土師質須恵器坏、土師器甕、須恵器長頸瓶		0924	Y-9	円形	25.0	24.0	25.0	-	
								0925	Y-9	楕円形	35.0	28.0	5.0	-	
								0926	Y-9	円形	21.0	19.0	10.0	-	
								0927	Y-9	円形	17.0	16.0	10.0	-	
0857	W-5	楕円形	30.0	26.0	15.0	-		0928	Y-9・10	楕円形	46.0	27.0	15.0	-	P0929と重複
0858	W-6	楕円形	57.0	34.0	30.0	-		0929	Y-9・10	楕円形	(43.0)	31.0	16.0	-	P0928と重複
0859	W-6	楕円形	38.0	28.0	20.0	-		0930	Y-9	不整円形	36.0	33.0	18.0	-	SK45と重複
0860	W-6	円形	32.0	29.0	12.0	土師器坏		0931	Y-9	不整円形	37.0	29.0	35.0	-	SK45と重複
0861	W-6	不整楕円形	47.0	40.0	15.0	-		0932	Y-9	不整円形	27.0	24.0	17.0	-	
0862	W-6	円形	34.0	33.0	18.0	土師器坏		0933	Y-9	不整楕円形	40.0	29.0	26.0	-	
0863	W-6	円形	28.0	27.0	17.0	-		0934	Y-9	楕円形	71.0	50.0	12.0	-	
0864	W-6	楕円形	32.0	26.0	23.0	-		0935	Y-9	不整楕円形	31.0	23.0	8.0	-	
0865	W・X-6	楕円形	28.0	23.0	12.0	土師器坏	P0866と重複	0936	Y-9	不整楕円形	70.0	54.0	8.0	-	
0866	W・X-6	楕円形	38.0	10.0	6.0	-	P0865と重複	0937	Y-9	楕円形	34.0	27.0	10.0	-	
0867	X-6	円形	44.0	39.0	11.0	-		0938	Y-9	円形	32.0	29.0	24.0	-	
0868	W-6	円形	38.0	(35.0)	19.0	-		0939	Y-9	不整円形	26.0	24.0	13.0	-	
0869	W-6	円形	25.0	23.0	14.0	須恵器坏、土師器坏		0940	Y-9	不整円形	23.0	21.0	14.0	-	
								0941	Y-9	円形	26.0	20.0	5.0	-	
0870	W・X-6	円形	26.0	24.0	14.0	土師器甕		0942	Y・Z-9	楕円形	62.0	(22.0)	50.0	-	
0871	X-6	円形	48.0	44.0	14.0	土師器坏		0943	Z-9	円形	19.0	18.0	4.0	-	
0872	X-6	楕円形	28.0	23.0	8.0	-		0944	Y-10	楕円形	42.0	39.0	18.0	-	
0873	X-6	円形	50.0	47.0	12.0	土師器甕		0945	Y-10	円形	26.0	25.0	6.0	-	
0874	X-6	円形	30.0	29.0	9.0	-		0946	Y-9・10	円形	40.0	28.0	14.0	-	
0875	X-6	円形	24.0	22.0	6.0	-		0947	Y-9・10	不整楕円形	30.0	27.0	12.0	-	
0876	W-7	円形	39.0	33.0	24.0	-		0948	Y-9	不整円形	25.0	23.0	7.0	-	
0877	W-6・7	円形	39.0	33.0	9.0	-		0949	Y-10	楕円形	39.0	32.0	15.0	-	
0878	X-6	円形	35.0	31.0	10.0	-		0950	Y-9	円形	31.0	28.0	11.0	-	
0879	X-7	円形	20.0	19.0	20.0	-		0951	Y・Z-9	円形	29.0	27.0	13.0	-	
0880	X-7	不整楕円形	70.0	55.0	10.0	-		0952	Z-9	円形	29.0	26.0	13.0	-	
0881	X-7	円形	44.0	38.0	19.0	-	SD14と重複	0953	Z-9	円形	27.0	(14.0)	18.0	-	
0882	X-7	楕円形	52.0	40.0	8.0	土師器坏		0954	Y-10	楕円形	22.0	16.0	8.0	-	
0883	X-7	円形	58.0	52.0	36.0	-		0955	Y-10	円形	39.0	37.0	11.0	-	
0884	X-7	円形	28.0	27.0	10.0	土師器甕		0956	Y-10	楕円形	53.0	36.0	15.0	-	
0885	X-7	楕円形	42.0	33.0	11.0	-		0957	Y-10	楕円形	62.0	44.0	5.0	-	
0886	X-7	不整円形	40.0	36.0	16.0	-		0958	Y-10	楕円形	28.0	23.0	10.0	-	
0887	X-7	不整円形	25.0	20.0	6.0	-	P0888と重複	0959	Y-10	不整円形	28.0	25.0	4.0	-	
0888	X-7	楕円形	(51.0)	44.0	27.0	-	P0887と重複	0960	Y-10	楕円形	30.0	26.0	12.0	-	
0889	X-7	楕円形	34.0	29.0	31.0	-		0961	Y・Z-10	楕円形	36.0	33.0	13.0	-	
0890	X-7	不整楕円形	31.0	27.0	11.0	-		0962	Y・Z-10	楕円形	30.0	(18.0)	4.0	-	P0963と重複
0891	X-7	円形	30.0	28.0	15.0	-		0963	Y・Z-10	楕円形	45.0	31.0	8.0	-	P0962、P0964と重複
0892	X-7	不整楕円形	35.0	27.0	6.0	-		0964	Y・Z-10	不整楕円形	35.0	32.0	4.0	-	P0963と重複
0893	X-7	楕円形	27.0	24.0	8.0	-		0965	Z-9	楕円形	23.0	16.0	19.0	-	
0894	X-7	円形	30.0	29.0	27.0	-		0966	Z-9	円形	25.0	22.0	22.0	-	P0967、P0969と重複
0895	X-7	楕円形	45.0	29.0	22.0	-									P0966、P0968、P0969と重複
0896	X-7	円形	57.0	53.0	7.0	-		0967	Z-9	不整楕円形	31.0	(20.0)	31.0	-	
0897	X-7	円形	39.0	34.0	8.0	-		0968	Z-9	円形	24.0	(17.0)	17.0	-	P0967と重複
0898	X-7	円形	31.0	29.0	9.0	-		0969	Z-9	不整円形	32.0	30.0	31.0	-	P0966、P0967と重複
0899	X-7	円形	37.0	35.0	15.0	-		0970	Z-10	楕円形	29.0	24.0	44.0	-	P0971と重複
0900	Y-7	円形	27.0	23.0	7.0	-		0971	Z-10	楕円形	45.0	(21.0)	66.0	-	P0970と重複
0901	Y-8	不整楕円形	39.0	30.0	11.0	-		0972	Z-10	不整楕円形	47.0	41.0	36.0	-	
0902	Y-8	楕円形	37.0	26.0	15.0	-		0973	Z-10	楕円形	29.0	20.0	35.0	-	P0974と重複
0903	Y-9	楕円形	29.0	24.0	8.0	-		0974	Z-10	不整楕円形	71.0	40.0	65.0	-	P0973と重複
0904	Y-9	楕円形	35.0	22.0	10.0	-		0975	Y-10・11	不整円形	36.0	35.0	17.0	-	
0905	Y-9	楕円形	60.0	32.0	56.0	-		0976	Y-10・11	不整円形	31.0	26.0	15.0	-	
0906	Y-9	円形	59.0	50.0	35.0	-		0977	Y-11	円形	46.0	39.0	22.0	-	P0978と重複
0907	Y-8	円形	23.0	21.0	7.0	-		0978	Y-11	円形	36.0	34.0	15.0	-	P0977と重複
0908	Y-8・9	楕円形	36.0	21.0	23.0	-		0979	Y-11	楕円形	26.0	17.0	13.0	-	
0909	Y-8・9	不整円形	34.0	32.0	38.0	-		0980	Y-11	円形	54.0	50.0	18.0	-	
0910	Y-9	楕円形	36.0	23.0	7.0	土師質須恵器坏、石器		0981	Y-11	不整円形	39.0	38.0	16.0	-	
								0982	Y-11	円形	24.0	22.0	15.0	-	
0911	Y-9	楕円形	31.0	27.0	11.0	-		0983	Y-11	円形	34.0	33.0	19.0	-	
0912	Y-8	不整楕円形	50.0	35.0	42.0	-		0984	Y-11	不整円形	31.0	29.0	26.0	-	

No.	グリッド	平面形	長軸	短軸	深さ	出土遺物	備考	No.	グリッド	平面形	長軸	短軸	深さ	出土遺物	備考
0985	Y-10	楕円形	29.0	20.0	7.0	-	P0986と重複								
0986	Y-10・11	楕円形	(49.0)	32.0	31.0	-	P0985と重複	1058	AA-12・13	楕円形	56.0	46.0	29.0	-	P1059と重複
0987	Z-11	不整形円形	31.0	27.0	13.0	-		1059	AA-12	楕円形	(32.0)	28.0	16.0	-	P1058と重複
0988	Z-10	円形	24.0	22.0	7.0	-		1060	AA-12	円形	20.0	19.0	5.0	-	
0989	Z-10	円形	22.0	20.0	9.0	-	P0990と重複	1061	AA-12	不整形円形	40.0	35.0	31.0	-	
0990	Z-10	楕円形	23.0	(13.0)	4.0	-	P0989と重複	1062	AA-12	円形	20.0	19.0	8.0	-	
0991	Z-10	円形	55.0	54.0	47.0	-		1063	Z・AA-13	円形	32.0	(24.0)	12.0	-	P1064と重複
0992	Z-10	楕円形	32.0	19.0	9.0	-	P0993と重複	1064	AA-13	楕円形	57.0	47.0	27.0	-	P1063と重複
0993	Z-10	楕円形	41.0	(16.0)	28.0	-	P0992、P0994と重複	1065	AA-13	円形	43.0	36.0	6.0	-	
0994	Z-10	楕円形	26.0	23.0	11.0	-	P0993と重複	1066	AA-13	楕円形	46.0	33.0	12.0	-	
0995	Z-10	楕円形	38.0	26.0	22.0	-		1067	AA-12	円形	25.0	23.0	7.0	-	
0996	Z-10	不整形楕円形	40.0	22.0	22.0	-		1068	AA-12	楕円形	44.0	38.0	48.0	-	
0997	Z-10	楕円形	32.0	25.0	16.0	-		1069	AA-12・13	不整形楕円形	36.0	27.0	14.0	-	
0998	Z-10	楕円形	37.0	31.0	9.0	-									
0999	Z-10	円形	30.0	29.0	13.0	-		1070	Z-13	円形	38.0	35.0	11.0	-	
1000	Z-10	円形	34.0	33.0	32.0	-		1071	AA-13	円形	36.0	29.0	9.0	-	
1001	Z-10・11	円形	30.0	28.0	36.0	-		1072	AA-13	円形	37.0	33.0	17.0	-	
1002	Z-11	楕円形	32.0	28.0	12.0	-		1073	AA-13	楕円形	54.0	45.0	15.0	-	
1003	Z-10・11	楕円形	31.0	25.0	7.0	-		1074	AA-13	円形	36.0	32.0	28.0	-	
1004	Z-11	楕円形	42.0	32.0	17.0	-		1075	AA-13	円形	38.0	36.0	12.0	-	P1076と重複
1005	Z-11	円形	45.0	44.0	5.0	-		1076	AA-13	円形	43.0	(38.0)	18.0	-	P1075と重複
1006	Z-11	楕円形	33.0	25.0	5.0	-		1077	AA-13	不整形楕円形	53.0	36.0	28.0	-	
1007	Z-11	楕円形	60.0	50.0	48.0	灰軸陶器深皿		1078	Z-13	円形	21.0	20.0	14.0	-	
1008	Z-11	楕円形	32.0	29.0	22.0	-		1079	Z・AA-14	円形	37.0	30.0	20.0	-	
1009	Z-11	不整形楕円形	53.0	40.0	57.0	-		1080	AA-13	円形	35.0	33.0	15.0	-	
1010	Z-11	円形	24.0	22.0	10.0	-		1081	AA-13・14	楕円形	50.0	35.0	11.0	-	
1011	Z-11	楕円形	72.0	53.0	6.0	-		1082	AA-13	楕円形	32.0	23.0	11.0	-	
1012	Z-11	楕円形	31.0	23.0	14.0	-		1083	AA-13	円形	28.0	24.0	9.0	-	
1013	Z-11	円形	19.0	18.0	9.0	-		1084	AA-13	楕円形	61.0	55.0	11.0	-	
1014	Z-11	円形	29.0	(17.0)	13.0	-	P1015と重複								
1015	Z-11	楕円形	30.0	22.0	10.0	-	P1014と重複	1085	AA・AB-13	楕円形	62.0	50.0	12.0	-	
1016	Z-11	楕円形	31.0	20.0	9.0	-		1086	AA-14	円形	33.0	28.0	9.0	-	
1017	Z-11	円形	37.0	31.0	6.0	-		1087	AB-15	円形	20.0	19.0	14.0	-	
1018	Z-11	不整形楕円形	56.0	35.0	21.0	-		1088	AB-15・16	不整形楕円形	27.0	24.0	10.0	-	
1019	Z-12	円形	28.0	23.0	13.0	-		1089	AB-15	円形	46.0	46.0	44.0	-	
1020	Z-12	円形	23.0	19.0	13.0	-		1090	AB-15	不整形楕円形	37.0	29.0	7.0	-	
1021	Z-12	円形	32.0	28.0	20.0	-	P1022と重複	1091	AB-15	円形	(42.0)	(35.0)	17.0	-	
1022	Z-12	楕円形	(43.0)	40.0	43.0	-	P1021と重複	1092	AA-16	楕円形	32.0	27.0	12.0	-	
1023	Z-12	円形	22.0	19.0	8.0	-		1093	AA-16	楕円形	41.0	34.0	19.0	-	
1024	Z-12	不整形楕円形	42.0	24.0	12.0	-		1094	AB-16	楕円形	41.0	33.0	4.0	-	
1025	Z-12	円形	23.0	21.0	12.0	-		1095	AB-16	楕円形	45.0	40.0	49.0	-	
1026	Z-12	円形	28.0	26.0	29.0	-		1096	AA-16	円形	52.0	48.0	12.0	-	
1027	Z-12	円形	33.0	32.0	25.0	-		1097	AA-16	円形	38.0	38.0	17.0	-	
1028	Z-12	円形	26.0	24.0	9.0	-		1098	AA-16	不整形楕円形	47.0	32.0	36.0	-	
1029	Z-12	円形	66.0	59.0	11.0	-		1099	AA-16	楕円形	38.0	21.0	9.0	-	
1030	Z-12	楕円形	(24.0)	24.0	10.0	-	P1031と重複	1100	AB-16	楕円形	(34.0)	34.0	12.0	-	SI12P02と重複
1031	Z-12	円形	27.0	24.0	9.0	-	P1030と重複	1101	AB-16	円形	27.0	25.0	14.0	-	
1032	Z-12	楕円形	53.0	50.0	27.0	-	P1033、SX06P06と重複	1102	AB-16	楕円形	39.0	29.0	12.0	-	P1103、SI12P04と重複
1033	Z-12	円形	22.0	21.0	11.0	-	P1032と重複								
1034	Z-12	楕円形	35.0	29.0	17.0	-		1103	AB-16	円形	(37.0)	34.0	15.0	-	P1102、SI12P04と重複
1035	Z-12	不整形円形	25.0	21.0	8.0	-									
1036	Z-12	楕円形	27.0	21.0	15.0	-		1104	AB-16・17	不整形	63.0	41.0	17.0	-	P1105、SI12P06と重複
1037	AA-12	円形	35.0	30.0	22.0	-	SX06と重複								
1038	Z・AA-12	円形	35.0	(20.0)	13.0	-	P1039と重複								
1039	Z・AA-12	楕円形	42.0	29.0	16.0	-	P1038と重複	1105	AA-16・17 AB-16・17	楕円形	47.0	30.0	32.0	-	P1104、SI12P06、SI12P07と重複
1040	Z-12	不整形楕円形	47.0	28.0	35.0	-		1106	AA-17	楕円形	34.0	27.0	11.0	-	SI12P13と重複
1041	Z-12	楕円形	(25.0)	27.0	5.0	-	P1042、P1043と重複	1107	AA-18	楕円形	(36.0)	41.0	26.0	-	SI12P16と重複
1042	Z-12	楕円形	37.0	30.0	18.0	-	P1041、1043と重複	1108	AA-18	楕円形	40.0	32.0	24.0	-	
1043	Z-12	不整形楕円形	(34.0)	22.0	5.0	-	P1041、P1042と重複	1109	AA-18	円形	39.0	36.0	23.0	-	
1044	Z-12	円形	35.0	32.0	11.0	-		1110	AA-18	楕円形	28.0	23.0	11.0	-	
1045	Z-12	円形	32.0	30.0	10.0	-									
1046	Z-12・13	楕円形	33.0	13.0	44.0	-		1111	AA-17・18	楕円形	49.0	37.0	15.0	-	
1047	Z-12・13	楕円形	63.0	45.0	15.0	-									
1048	Z-12	円形	38.0	34.0	16.0	-		1112	Z・AA-18	円形	38.0	36.0	11.0	-	
1049	AA-12	不整形円形	20.0	20.0	27.0	-		1113	Z・AA-18	円形	58.0	(30.0)	15.0	-	SD21と重複
1050	Z・AA-12	楕円形	59.0	41.0	17.0	-		1114	AA-18	楕円形	37.0	29.0	9.0	-	
1051	AA-12	円形	33.0	32.0	14.0	-		1115	AA-18	円形	31.0	29.0	9.0	-	
1052	AA-12	不整形円形	29.0	27.0	30.0	-		1116	AA-18	円形	37.0	33.0	14.0	-	
1053	AA-12	円形	37.0	34.0	18.0	-									
1054	AA-12	楕円形	39.0	32.0	7.0	-		1117	AA-18・19	円形	39.0	32.0	22.0	-	SD20と重複
1055	AA-12	円形	32.0	30.0	11.0	-		1118	AA-18	楕円形	19.0	16.0	13.0	-	
1056	Z・AA-13	不整形楕円形	52.0	37.0	32.0	-		1119	Z-18	円形	25.0	24.0	8.0	-	
1057	AA-12	楕円形	43.0	31.0	8.0	-		1120	Z-18	楕円形	22.0	18.0	11.0	-	

No.	グリッド	平面形	長軸	短軸	深さ	出土遺物	備考	No.	グリッド	平面形	長軸	短軸	深さ	出土遺物	備考
1121	Z-18	円形	70.0	69.0	16.0	-		1194	S-25	楕円形	31.0	27.0	8.0	-	
1122	Z-18	円形	20.0	19.0	17.0	-		1195	S-25	楕円形	26.0	22.0	9.0	-	
1123	Z-18	円形	32.0	30.0	10.0	-		1196	S-26	楕円形	21.0	15.0	8.0	-	
1124	Z-19	楕円形	46.0	29.0	31.0	-		1197	S-26	円形	20.0	20.0	7.0	-	
1125	Z-19	楕円形	67.0	52.0	25.0	-		1198	S-26	楕円形	32.0	25.0	9.0	-	
1126	Y-19・20	楕円形	(24.0)	23.0	8.0	-	P1127と重複	1199	R-25	楕円形	33.0	26.0	20.0	-	
1127	Y-19・20	楕円形	35.0	(26.0)	11.0	-	P1126と重複	1200	R-26	楕円形	25.0	15.0	13.0	-	
1128	Y-20	楕円形	57.0	44.0	10.0	-		1201	R-26	不整楕円形	25.0	20.0	5.0	-	
1129	Z-20	円形	42.0	41.0	15.0	-	SD22と重複	1202	Q-25	円形	22.0	(10.0)	10.0	-	
1130	Y-20	円形	29.0	26.0	13.0	-		1203	Q-25	円形	19.0	18.0	7.0	-	
1131	Y-21	円形	29.0	27.0	11.0	-		1204	Q-25	楕円形	35.0	27.0	5.0	-	
1132	Y-21	円形	26.0	23.0	13.0	-		1205	Q-26	円形	25.0	25.0	19.0	-	
1133	Y-21	円形	43.0	40.0	22.0	-		1206	Q-26	円形	25.0	24.0	14.0	-	
1134	X-21	円形	40.0	37.0	14.0	-		1207	Q-26	不整楕円形	43.0	27.0	9.0	-	
1135	X-21	楕円形	46.0	37.0	24.0	-		1208	Q-26・27	楕円形	31.0	26.0	12.0	-	
1136	Y-21	円形	35.0	30.0	16.0	-		1209	Q-26	楕円形	26.0	20.0	12.0	-	
1137	Y-22	楕円形	49.0	43.0	12.0	-		1210	Q-26	楕円形	36.0	30.0	14.0	-	
1138	Y-22	不整円形	51.0	41.0	18.0	-		1211	Q-26	円形	21.0	19.0	13.0	-	
1139	X-22	円形	40.0	35.0	16.0	縄文土器深鉢		1212	Q-26	楕円形	24.0	20.0	12.0	-	
1140	X-22	楕円形	58.0	48.0	7.0	-		1213	Q-26	楕円形	48.0	35.0	16.0	-	
1141	X-22	楕円形	37.0	30.0	5.0	土師器坏		1214	P・Q-26	楕円形	47.0	35.0	19.0	-	
1142	X-22	楕円形	39.0	25.0	5.0	-		1215	P-26	不整円形	38.0	30.0	15.0	-	
1143	X-22	不整楕円形	32.0	24.0	6.0	-		1216	P-26	円形	37.0	34.0	22.0	-	
1144	X-22・23	楕円形	49.0	41.0	7.0	-		1217	P-26	円形	52.0	50.0	9.0	-	
1145	Y-22・23	円形	24.0	22.0	6.0	-		1218	P-26	円形	38.0	38.0	34.0	-	
1146	X-23	円形	29.0	25.0	4.0	-		1219	P-26	円形	22.0	21.0	8.0	-	
1147	X-23	円形	52.0	48.0	21.0	-		1220	P-26	円形	28.0	25.0	16.0	-	
1148	X-23	円形	25.0	24.0	9.0	-		1221	P-26	円形	61.0	56.0	16.0	-	
1149	X-23	円形	38.0	35.0	6.0	-		1222	P-26・27	円形	37.0	32.0	15.0	-	
1150	X-23	円形	32.0	30.0	13.0	-		1223	P-26	楕円形	43.0	32.0	8.0	-	
1151	X-23	円形	35.0	32.0	15.0	-		1224	P-26	円形	80.0	77.0	6.0	-	
1152	X-23	円形	47.0	41.0	13.0	-		1225	P-26	円形	(22.0)	24.0	3.0	-	P1226と重複
1153	X-23	円形	25.0	21.0	14.0	-		1226	P-26	円形	25.0	25.0	5.0	-	P1225と重複
1154	X-23	円形	25.0	21.0	13.0	-		1227	P-26	楕円形	58.0	41.0	11.0	-	
1155	X-23	楕円形	23.0	19.0	5.0	-		1228	O-26	円形	45.0	(34.0)	54.0	-	
1156	X-23	円形	33.0	30.0	16.0	-		1229	O-26	円形	36.0	34.0	13.0	-	
1157	W-23	楕円形	52.0	41.0	15.0	-		1230	O-26	楕円形	40.0	34.0	20.0	-	
1158	W-23	円形	34.0	30.0	12.0	-		1231	O・P-27	円形	25.0	24.0	10.0	-	
1159	X-23	円形	42.0	39.0	14.0	-		1232	O-27	不整楕円形	101.0	75.0	10.0	-	
1160	W-23	円形	40.0	39.0	8.0	-		1233	O-27	不整円形	44.0	38.0	5.0	-	
1161	X-23	楕円形	28.0	22.0	11.0	-		1234	O-27	楕円形	100.0	33.0	4.0	-	
1162	W-23	円形	23.0	19.0	3.0	-		1235	O-26	楕円形	65.0	58.0	14.0	-	
1163	W-24	円形	31.0	31.0	8.0	-		1236	O-26	不整楕円形	74.0	62.0	15.0	-	
1164	W-24	楕円形	38.0	31.0	10.0	-		1237	O-27	円形	31.0	30.0	23.0	-	
1165	X-24	円形	34.0	29.0	13.0	-		1238	O-26	楕円形	52.0	45.0	19.0	-	
1166	W-24	不整円形	36.0	33.0	16.0	-		1239	O-26	円形	58.0	50.0	10.0	-	P1240と重複
1167	V-24	不整円形	28.0	25.0	7.0	-		1240	O-26	円形	36.0	(30.0)	16.0	-	P1239と重複
1168	U-25	楕円形	28.0	23.0	17.0	-		1241	O-27	円形	25.0	25.0	8.0	-	
1169	U-25	円形	23.0	21.0	11.0	-		1242	N-27	楕円形	99.0	82.0	7.0	-	
1170	U-25	円形	28.0	28.0	9.0	-		1243	N-27	円形	62.0	62.0	6.0	-	
1171	U-25	不整楕円形	33.0	29.0	12.0	-		1244	M・N-28	不整円形	39.0	36.0	16.0	-	
1172	U-26	円形	24.0	21.0	8.0	-		1245	O-28	不整円形	30.0	27.0	9.0	-	
1173	U-26	楕円形	25.0	22.0	9.0	-		1246	O-28	楕円形	32.0	29.0	12.0	-	
1174	U-26	楕円形	46.0	39.0	21.0	-		1247	O-28	楕円形	65.0	53.0	18.0	-	
1175	U-26	不整楕円形	45.0	38.0	23.0	-		1248	O-28	楕円形	27.0	22.0	14.0	-	P1249と重複
1176	U-26	円形	27.0	26.0	10.0	-		1249	O-28	楕円形	37.0	26.0	12.0	-	P1248と重複
1177	T-26	円形	20.0	19.0	8.0	-		1250	O-28	不整楕円形	37.0	30.0	13.0	-	
1178	T-26	円形	27.0	26.0	10.0	-		1251	O-28	円形	29.0	24.0	22.0	-	
1179	T-26	円形	29.0	27.0	9.0	-		1252	M・N-27	円形	35.0	31.0	6.0	-	
1180	T-26	楕円形	39.0	30.0	13.0	-		1253	N-27	楕円形	49.0	41.0	6.0	-	
1181	T-25	不整楕円形	27.0	24.0	7.0	-		1254	N-27	楕円形	67.0	55.0	9.0	-	
1182	T-25	楕円形	35.0	30.0	11.0	-									
1183	T-25	円形	28.0	28.0	44.0	-									
1184	S・T-26	円形	34.0	32.0	18.0	-									
1185	T-26	円形	46.0	44.0	4.0	-									
1186	S・T-26	楕円形	(30.0)	29.0	12.0	-	P1187と重複								
1187	S・T-26	円形	47.0	39.0	11.0	-	P1186と重複								
1188	S-26	円形	27.0	24.0	5.0	-									
1189	S-25・26	円形	26.0	23.0	7.0	-									
1190	S-25・26	楕円形	21.0	16.0	15.0	-									
1191	S-25	楕円形	27.0	22.0	10.0	-									
1192	S-25	円形	26.0	24.0	19.0	-									
1193	S-26	楕円形	67.0	47.0	44.0	-									



第 168 図 ピット出土遺物

第 60 表 ピット出土遺物観察表

No.	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
61-1	土錘	長：3.9	幅：0.8	孔：0.2	ABN	にぶい黄褐色	A	100%	
151-1	土師器甕	-	-	-	ABIJN	外・にぶい黄褐色 内・暗灰黄色	B	胴部片	外面ヘラケズリ
199-1	土師器坏	-	-	-	ABN	外・黄褐色 内・橙色	A	底部片	底部外面に墨書「新」 底部外面ヘラケズリ 底部内面放射暗文
272-1	須恵器 短頸壺蓋	(14.0)	(2.3)	-	ABN	褐灰色 外・灰白色	A	口縁部 10%	外面上部に降灰
291-1	陶器鉢	-	(8.0)	(25.8)	ABHIN	外・にぶい赤褐色 内・にぶい褐色	A	底部片	底部外面手持ちヘラケズリ 底面に穿孔
292-1	土師器坏	(13.0)	(3.2)	-	ABIJN	にぶい褐色	A	口縁～底部片	体部～底部外面手持ちヘラケズリ 内面・外面口縁部に漆状塗膜
299-1	須恵器蓋	(20.0)	(1.7)	-	ABIN	外・黄灰色、灰黄色 内・にぶい黄色	A	口縁部片	
367-1	砥石	長：(4.1)	幅：(3.0)	厚：(2.1)	-	浅黄色	-	20%	砂岩
389-1	土師器坏	(13.0)	(2.7)	-	ABIJN	橙色	A	口縁～底部片	体部外面指頭痕 底部外面手持ちヘラケズリ
401-1	磨石	長：10.2	幅：9.0	厚：3.3	-	灰色 灰オリブ色	-	100%	砂岩
401-2	礫	長：15.6	幅：4.7	厚：6.2	-	黄灰色 灰白色	-	50%	花崗岩 表・裏面に僅かに煤付着
435-1	土師器坏	(13.0)	(3.5)	-	ABIJN	にぶい橙色	A	口縁～底部片	体部～底部外面手持ちヘラケズリ 内面・外面口縁部に漆状塗膜
1007-1	灰釉陶器深皿	(34.0)	(4.0)	-	ABN	浅黄色	A	口縁～体部片	内外面灰釉「て」字状折口 破損面に継手の痕跡
1139-1	縄文土器深鉢	-	-	-	ABIJN	外・にぶい黄褐色 内・にぶい赤褐色	A	口縁部片	口縁部連続刺突列 以下斜位の沈線

11 遺構外出土遺物 (第169・170図、第61表)

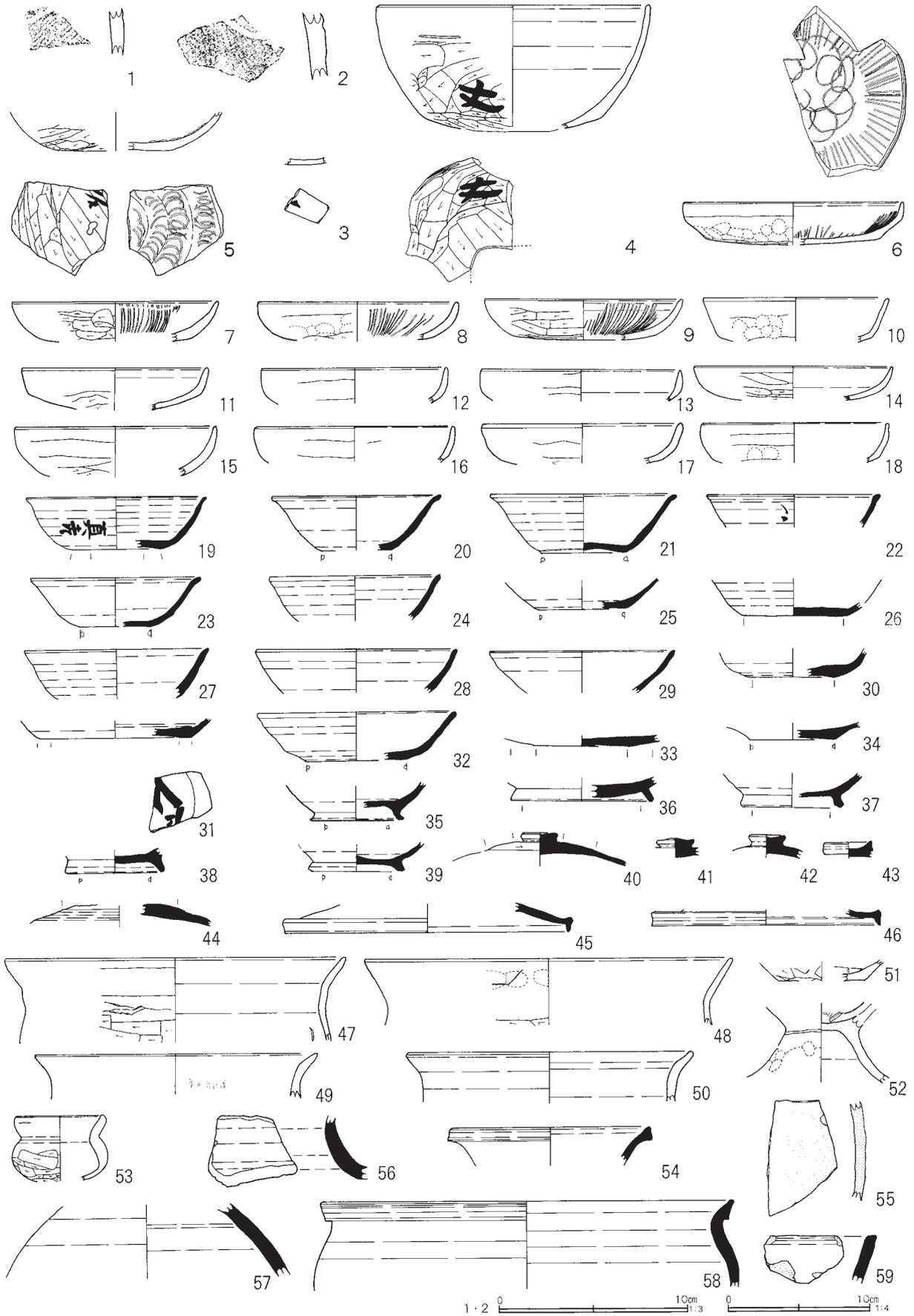
表土除去の際に出土した遺物および遺構外出土遺物を掲載する。縄文土器、土師器、須恵器、灰釉陶器、陶器、鉄製品、土製品、石製品が出土している。

1・2は縄文時代中期の土器片で、加曽利E式か。3は僅かに墨書がみられる土師器片。4・5は土師器で深碗形態である。4は底部に焼成後の穿孔がみられ、体部外面下位に正位で「丈」が墨書されている(第174図⑪)。5は内面に螺旋暗文が数段にわたって施され、底部外面に墨書がみられる(第174図⑳)。6～9は内面に放射暗文をもつ土師器坏で6のみ底部内面に螺旋暗文が施される。10～18は北武蔵型の土師器坏で、10は体部が直線的でゆるやかなS字屈曲をもつ9世紀前半のものであり、その他は概ね8世紀前半の所産と考えられる。19～32は須恵器坏で、8世紀後半から9世紀後半の所産である。19は口径と底部周辺ヘラ調整から8世紀後半であり、体部外面に横位で墨書される(第174図⑯)。22は外面に墨書がみられる(第174図㉑)。31は内面に墨書がみられるが、筆慣らしの痕跡か(第174図㉒)。33は須恵器碗。34は須恵器皿。35～39は須恵器高台坏であり、36のみ底部が肥厚するいわゆる出尻形状である。40～46は須恵器蓋。47～51は土師器甕で、47・49・50は「コ」字状、48は「く」。字状を呈する。52は土師器台付甕。53は小型の土師器で、口縁部が開き伸びるため広口壺とした。54～57は長頸瓶で54・55灰釉陶器、56・57は須恵器である。58・59は須恵器鉢で、59はすり鉢形態となる。60～69は須恵器甕で、61・66～68は外面平行タタキ、66～68は内面無文の当て具痕、69は内面同心円状当て具痕がみられる。70は在地産の瓦質土器鉢であり、中世所産のもの。71は陶器火鉢で底部に脚が付く形状。中世か。72・73は近世陶器であり、72は鉢で外面に条痕がみられ、73は火鉢の底部で底面に円形の突起が付く。74～77は土錘。78～82は鉄製品で78～80は鉄釘、81は用途不明、82は板状を呈する。83は扁平な円形状で粘板岩製。碁石か。84は砥石で安山岩製。85は粘板岩製の磨石であるが、温石の可能性も考えられる。86は片岩製で、欠口の形状から、板碑の台石の可能性がある。

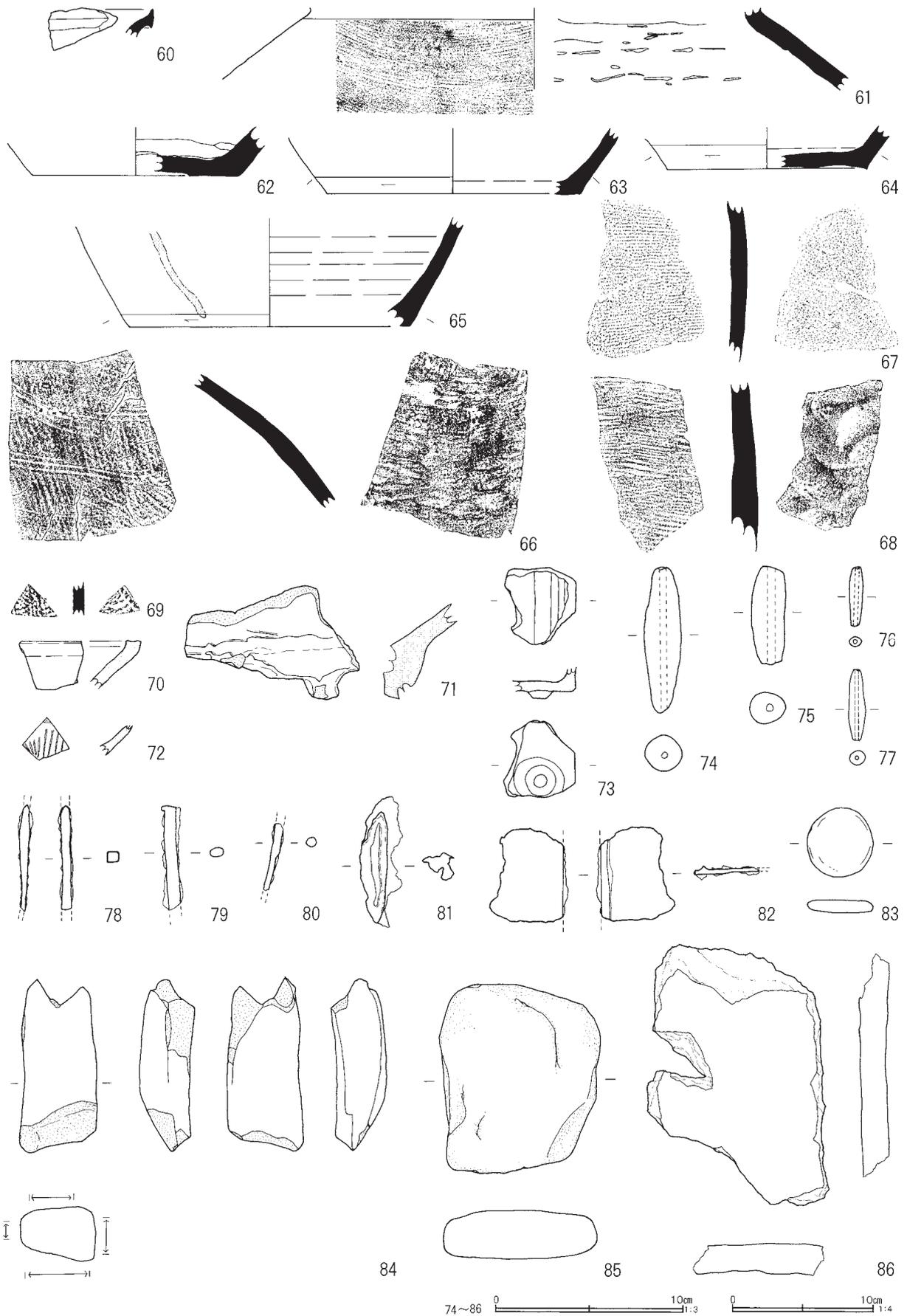
第61表 遺構外出土遺物観察表

No.	出土位置	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	一括	縄文土器片	-	-	-	ABN	外・にぶい黄橙色 内・灰色、灰黄色	B	胴部片	胴部外面横位の沈線 以下縄文施文
2	一括	縄文土器片	-	-	-	ABHN	外・にぶい黄橙色、橙色 内・暗灰黄	B	胴部片	胴部外面弧状の沈線
3	一括	土師器坏	-	-	-	ABJN	にぶい褐色	A	体部片	外面墨痕あり
4	一括	土師器碗	(19.0)	(8.7)	-	ABJN	にぶい黄橙色 外・オリーブ黒色	A	20%	底部～体部外面手持ちヘラケズリ 体部外面墨書「丈」 底部穿孔あり
5	E-19G	土師器碗	-	(2.7)	-	ABJN	橙色	A	体～底部 20%	体部内面螺旋状暗文 体部～底部外面手持ちヘラケズリ 体部外面墨書「コ」
6	C-14G	土師器坏	(15.5)	(3.0)	-	ABHJN	明赤褐色	A	40%	内面放射状暗文 内面螺旋状暗文 底部全面ヘラケズリ 体部外面指頭痕
7	E-19G	土師器坏	(14.5)	(2.8)	-	ABJN	明赤褐色	A	口縁～底部片	体部～底部外面手持ちヘラケズリ 体部内面放射状暗文 体部内面暗文施文後ヨコナデ
8	一括	土師器坏	(14.0)	(2.8)	-	ABJN	明赤褐色	A	口縁～底部片	底部外面手持ちヘラケズリ 体部外面指頭痕 内面放射状暗文
9	C-14G	土師器坏	(14.0)	(2.9)	-	ABN	橙色	A	口縁～体部片	体部外面手持ちヘラケズリ 内部放射状暗文
10	一括	土師器坏	(13.0)	(3.1)	-	ABHJN	褐色	A	口縁～底部片	体部外面指頭痕
11	一括	土師器坏	(13.0)	(3.0)	-	ABJN	にぶい褐色	A	口縁～底部片	底部外面手持ちヘラケズリ
12	一括	土師器坏	(13.0)	(2.5)	-	ABJN	褐色	A	口縁～体部片	底部外面手持ちヘラケズリ
13	一括	土師器坏	(14.0)	(2.2)	-	ABJN	にぶい褐色	A	口縁～体部片	
14	一括	土師器坏	(14.0)	(2.3)	-	ABJN	にぶい褐色	A	口縁～体部片	全面ヘラケズリ
15	一括	土師器坏	(14.0)	(3.5)	-	ABJN	にぶい褐色	A	20%	底部外面手持ちヘラケズリ
16	一括	土師器坏	(14.0)	(2.5)	-	ABJN	にぶい褐色	A	口縁～体部片	体部外面手持ちヘラケズリ
17	一括	土師器坏	(14.0)	(2.8)	-	ABJN	にぶい褐色	A	口縁～底部片	底部外面手持ちヘラケズリ
18	一括	土師器坏	(13.0)	(2.8)	-	ABJN	褐色	A	口縁～体部片	体部外面指頭痕
19	一括	須恵器坏	(12.7)	(3.7)	(6.9)	ABFN	浅黄色	A	20%	南比企産 底部外面周辺回転ヘラケズリ 体部外面墨書「真正」 正は則天文字
20	一括	須恵器坏	(11.9)	(3.9)	(5.0)	ABN	灰色	B	20%	底部外面糸切り
21	一括	須恵器坏	13.2	4.2	6.0	ABJN	浅黄色	B	100%	末野産 底部外面糸切り

	出土位置	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	残存率	備考
22	一括	須恵器坏	(12.0)	(2.3)	-	ABFN	灰色	A	口縁～体部片	南比企産 体部外面墨書「□」
23	B-11G	須恵器坏	(12.0)	(3.5)	(5.0)	ABN	灰色	B	10%	底部外面回転糸切り
24	一括	須恵器坏	(12.0)	(3.2)	-	ABN	灰色	A	口縁～体部片	末野産
25	一括	須恵器坏	-	(2.1)	(6.0)	ABHJN	灰黄色	A	体～底部 20%	底部外面回転糸切り
26	P-6G	須恵器坏	-	(2.6)	7.0	ABN	灰色	B	底部 100%	末野産 底部外面外周回転ヘラケズリ
27	一括	須恵器坏	(13.0)	(3.5)	-	ABFN	灰白色	B	口縁～体部 20%	南比企産
28	一括	須恵器坏	(14.0)	(3.1)	-	ABJN	灰黄色	C	口縁～体部片	末野産
29	一括	須恵器坏	(13.0)	(3.0)	-	ABHJN	にぶい黄橙色	B	口縁～体部 20%	
30	一括	須恵器坏	-	(2.1)	(5.8)	ABJN	灰白色	A	体～底部 30%	
31	一括	須恵器坏	-	(1.3)	(11.0)	ABFN	灰色	A	底部 20%	南比企産 底部外面周辺回転ヘラケズリ 底部外面墨書あり筆慣らし痕
32	E-20	須恵器坏	(14.0)	(3.4)	(7.0)	ABHIN	灰色	B	40%	末野産 底部外面回転糸切り
33	一括	須恵器塊	-	(0.8)	(10.0)	ABFN	灰白色	A	底部 30%	南比企産 底部外面周辺回転ヘラケズリ
34	一括	須恵器皿	-	(1.2)	(6.0)	ABIN	灰白色	A	体～底部 20%	底部回転糸切り
35	一括	須恵器高台坏	-	(2.7)	(高台径) (6.6)	ABJN	灰色	B	体～高台部 20%	末野産 底部外面回転糸切り
36	一括	須恵器高台坏	-	(1.7)	(高台径) (10.0)	ABEN	灰色	A	高台部 10%	南比企産 出戻り底部 底部外面回転ヘラケズリ
37	一括	須恵器高台坏	-	(2.5)	(高台径) (7.0)	ABJN	灰色	A	高台部 30%	底部外面回転ヘラケズリ
38	一括	須恵器高台坏	-	(1.7)	(高台径) 6.6	ABJN	灰黄色	B	高台部 10%	底部外面回転糸切り
39	一括	須恵器高台坏	-	(1.9)	(高台径) 6.4	ABIN	灰色	A	体～高台部 80%	末野産 底部外面回転糸切り ボタン状鈕
40	一括	須恵器塊蓋	-	(2.2)	(鈕径) 2.2	ABN	灰色	A	鈕～天井部 20%	南比企産 天井部周辺回転ヘラケズリ
41	一括	須恵器蓋	-	(1.4)	(鈕径) 2.6	ABFN	灰白色	B	鈕部 100%	南比企産 扁平な擬宝珠状鈕
42	一括	須恵器蓋	-	(1.6)	(鈕径) 2.4	ABEN	灰色	B	鈕部 80%	南比企産 釘頭状鈕
43	一括	須恵器蓋	-	(1.1)	(鈕径) 3.4	ABJN	灰黄色	B	鈕部 100%	内窪み状鈕
44	一括	須恵器蓋	-	(1.6)	-	ABFN	灰黄色	A	天井部 30%	南比企産 天井部回転ヘラケズリ
45	一括	須恵器蓋	(20.0)	(2.0)	-	ABFN	オリーブ灰色	A	口縁部 10%	南比企産
46	一括	須恵器蓋	(16.0)	(1.1)	-	ABN	灰色	A	口縁部 10%	末野産
47	一括	土師器甕	(24.0)	(6.0)	-	ABJN	橙色	A	口縁～胴上部 10%	胴部上端外面斜位ヘラケズリ 頸部外面輪積痕
48	一括	土師器甕	(20.0)	(4.9)	-	ABJN	灰黄褐色	B	口縁～頸部片	頸部外面指頭痕 輪積痕 胴部外面横位・斜位ヘラケズリ
49	一括	土師器甕	(20.0)	(3.1)	-	ABIN	橙色	A	口縁～頸部片	頸部ナデ痕
50	一括	土師器甕	(20.0)	(3.6)	-	ABJN	橙色	A	口縁～頸部片	
51	一括	土師器甕	-	(1.5)	6.0	ABIN	にぶい赤褐色	A	胴下～底部片	胴部下端斜位ヘラケズリ 内面当て具痕
52	一括	土師器台付甕	-	(5.7)	-	ABJN	外・にぶい橙色 内・灰黄色、青灰色	A	胴下～脚部片	脚部外面指頭痕
53	C-14G	土師器 小型広口壺	(6.0)	(4.6)	-	ABEJN	橙色	A	40%	底部～胴部外面横位ヘラケズリ
54	一括	灰釉陶器 長頸瓶	(14.0)	(2.7)	-	ABN	浅黄色	A	口縁部片	内外面灰釉
55	一括	灰釉陶器瓶	-	-	-	ABJ	灰白色	A	胴部片	内外面灰釉
56	一括	須恵器長頸瓶	-	-	-	ABFN	外・灰色 内・オリーブ灰色	A	頸部片	南比企産
57	一括	須恵器長頸瓶	-	(5.2)	-	ABN	灰色	A	胴部片	外面降灰
58	一括	須恵器鉢	(29.0)	(6.2)	-	ABEI	外・灰色 内・灰白色	A	口縁部片	
59	一括	須恵器鉢	-	-	-	ABIN	黄灰色	A	口縁部片	
60	一括	須恵器甕	-	-	-	ABJN	灰色	A	口縁部片	末野産
61	一括	須恵器甕	-	-	-	ABIN	灰色	A	胴上部片	外面平行タタキ 外面降灰
62	一括	須恵器甕	-	(3.5)	(14.8)	ABIN	黄灰色 外・灰色	A	胴下～底部片	
63	一括	須恵器甕	-	(4.7)	(18.0)	ABFJN	灰色	A	底部片	南比企産 胴部下端～底部外面ヘラケズリ
64	一括	須恵器甕	-	(2.9)	(14.0)	ABN	灰黄色	A	底部 25%	胴部下端～底部外面ヘラケズリ 内面降灰
65	一括	須恵器甕	-	(7.8)	(19.8)	ABFN	外・褐色 内・浅黄色	A	胴～底部片	南比企産 胴部下端～底部外面回転ヘラケズリ 内外面自然釉
66	一括	須恵器甕	-	-	-	ABM	灰色	A	胴部片	外面平行タタキ 1 帯 3 条沈線 内面無文当て具痕
67	一括	須恵器甕	-	-	-	ABN	灰色	A	胴部片	外面平行タタキ 内面無文当て具痕 外面降灰
68	一括	須恵器甕	-	-	-	ABJN	黄灰色	A	胴部片	外面平行タタキ 内面無文当て具痕
69	一括	須恵器甕	-	-	-	ABJN	黄灰色	A	胴部片	外面平行タタキ 内面同心円状当て具痕
70	一括	瓦質土器鉢	長：(3.5)	幅：(4.5)	-	ABJN	灰黄色	B	口縁部片	在地産
71	一括	陶器火鉢	-	-	-	ABN	にぶい橙色 黄灰色	B	口縁部片	
72	一括	陶器鉢？	長：(3.0)	幅：(3.2)	-	ABN	褐色 にぶい赤褐色	A	体部片	外面沈線
73	一括	陶器火鉢？	-	-	-	ABN	浅黄色 にぶい橙色	B	底部片	
74	一括	土鍾	長：7.7	幅：1.9	孔：0.3	ABJN	にぶい黄褐色 暗灰黄色	A	100%	
75	一括	土鍾	長：5.2	幅：1.7	孔：0.4	ABN	褐色	A	100%	
76	一括	土鍾	長：3.1	幅：0.6	孔：0.2	AB	暗灰黄色	A	90%	
77	E-20G	土鍾	長：3.8	幅：0.9	孔：0.2	ABN	黒褐色	A	100%	
78	A・B-14G	鉄釘	長：(5.5)	幅：0.5	厚：0.5					
79	一括	鉄釘	長：(5.6)	幅：0.7	厚：0.5					
80	一括	鉄釘	長：(3.7)	幅：0.5	厚：0.5					
81	E-18G	鉄製品	長：(7.0)	幅：(2.3)	厚：1.5					
82	E-19G	板状鉄製品	長：(5.0)	幅：(3.5)	厚：0.2～0.5					
83	一括	丸石	3.5	3.6	0.6	-	オリーブ黒色	-	100%	粘板岩 扁平 円形
84	一括	砥石	長：(9.1)	幅：4.0	厚：2.9	-	浅黄色	-	70%	安山岩
85	一括	磨石	長：(9.9)	幅：8.0	厚：2.5	-	褐色	-	80%	粘板岩 温石？
86	一括	板碑台石？	長：(13.8)	幅：(9.5)	厚：1.3～1.6	-	暗青灰色 灰白色	-	少片	片岩



第 169 図 遺構外出土遺物 (1)



第 170 图 遺構外出土遺物 (2)

V 調査のまとめ

1 はじめに

在家遺跡の調査報告は今回で2回目となるが、結果として、遺跡の評価を見直す必要に迫られる内容であったといえる。古代においては、8世紀前半から出現し、9世紀後半までの存続が確認された。主要な遺構として、1町に及ぶ区画施設があり、区画内外に大型の掘立柱建物跡群が検出された。また出土遺物は、酒坏・高盤・暗文坏・暗文碗等の饗宴に使用された供膳具類、円面硯・転用硯・墨壺(朱墨)・刀子等の政務に使われる文房具類が確認されるなど、官衙的要素が多分に含まれることが判明した。ここでは、遺跡の時期的変遷や文字資料の分析、調査成果として特筆すべき点について述べることにしたい。

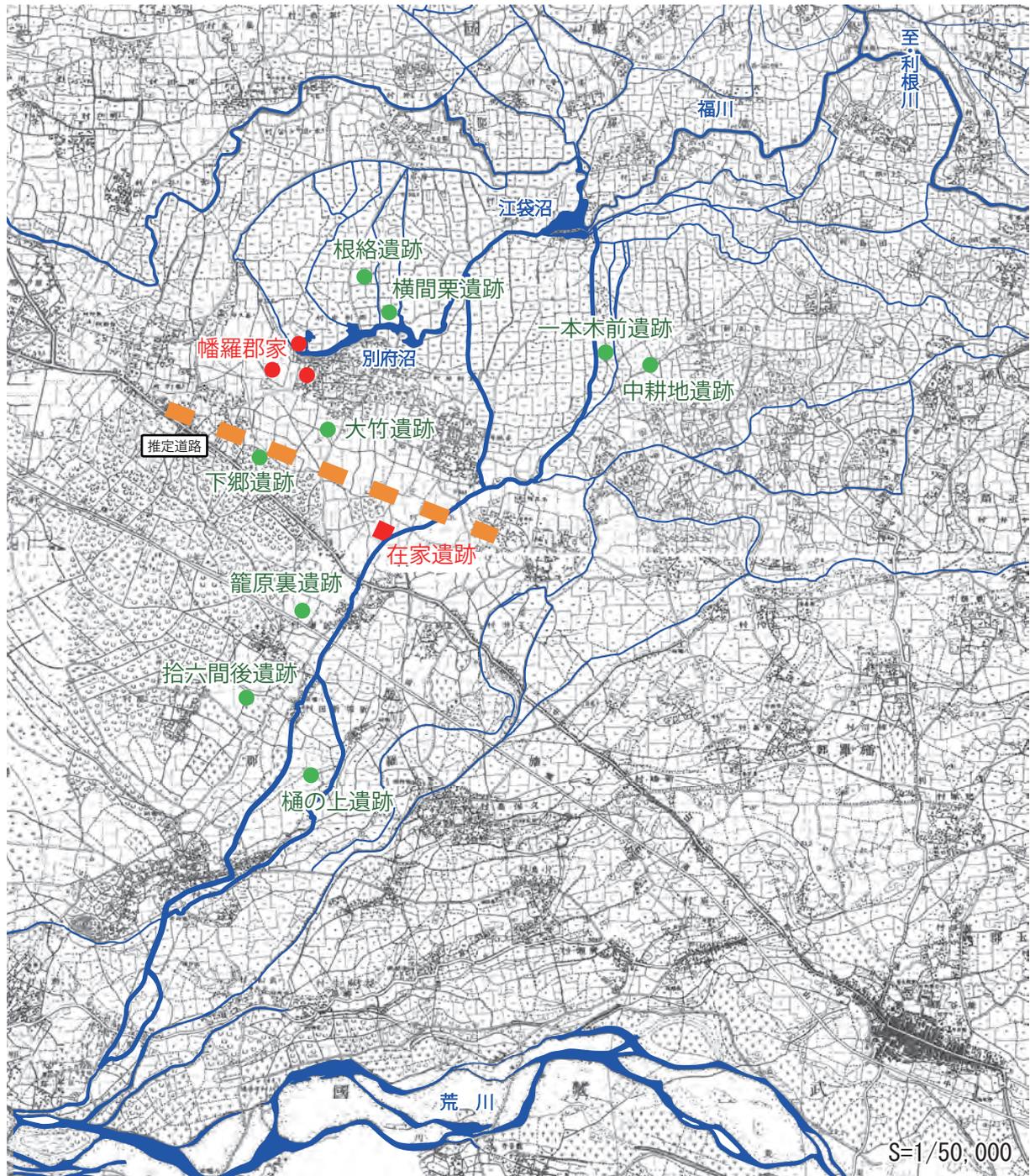
2 立地と景観について

第二章1で述べたとおり、調査地点は櫛引台地北東端にあたり、隣接して東側に新奈良堰用水が流れ、その東側は妻沼低地が広がる。台地と低地の境界よりやや台地内部に位置しており、用水路に沿って在家古墳群が近接し、台地縁の北～北東側は別府古墳群が確認されている。新奈良堰用水は、過去の調査(未報告)で旧河道とみられる大溝が確認されており、現・用水路以前からの存在が判明している。第172図は明治19年の迅速測図に主要な水路をトレースし、現在確認されている奈良・平安時代の遺跡を示したものである。無論、奈良・平安時代当時の水路を直接示すものではないが、過去の河道の痕跡が小流路や用水路等に転じている可能性があるため、これをもとに考察する。水路南が籠原裏遺跡、樋の上遺跡を通過して荒川につながり、北は一本木前遺跡を通過して江袋沼に入り福川に合流して芝川や利根川へと至る。なお、一本木前遺跡においても発掘調査により流路跡が検出されている。また北上する分岐水路をみれば別府沼(幡羅遺跡・西別府官衙遺跡群)にもつながることがわかる。このことは、荒川-幡羅郡家・幡羅郡所属の集落-利根川への水路(水上交通)が確保されている地点とみることが可能である。水上交通は陸上交通との接続によって成立するシステムとされるが、『幡羅遺跡総括報告書』では、熊谷市北島遺跡と深谷市熊野遺跡間の推定道路を古代の郡家間道路である可能性を取り上げている。この推定道路は本調査地点の北側に近接し、陸路においても幡羅郡家とつながる可能性を示唆している。

これらの状況をもとに景観を想定すると、遺跡北側には幡羅郡家へと至る東西道路があり、東側には南北水路がある。水路より東～北東方面の低



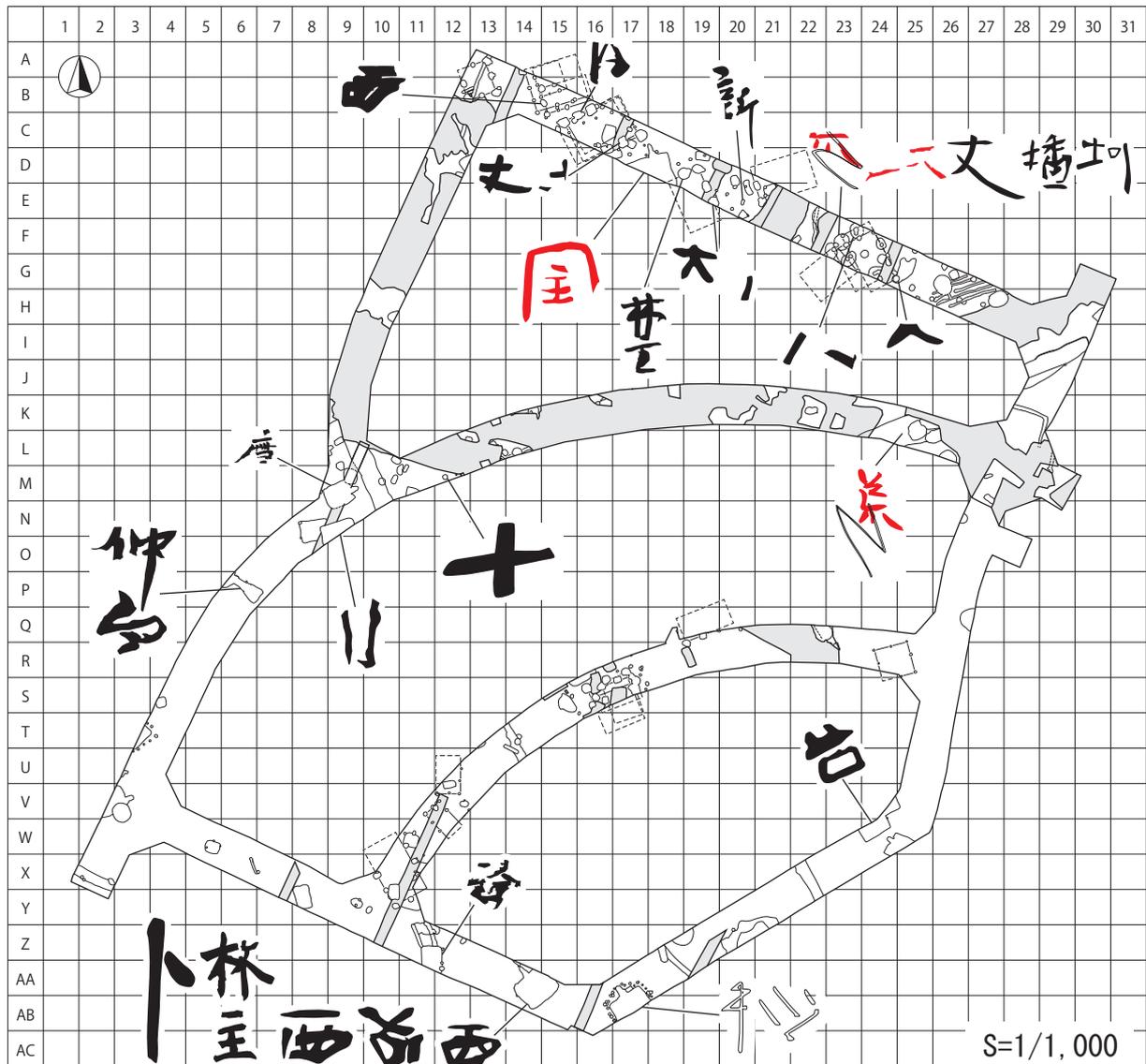
第171図 旧別府村小字図



第 172 図 在家遺跡とその周辺

地に田園（生産地）が広がり、遺跡周辺の台地上は集落となつてゐると考えられる。区画施設の占地は、道路・水路に近接する交通の要衝であり、既存の古墳群に影響の少ない地点を選んだのではないかと推測される。

このほか、想像をたくましくすれば、第 173 図⑤で示した「□（杣カ）」の刻書から、木材供給地である可能性がみいだせる。「杣」とは木材の伐採地の意味を有する。本調査地点は古墳群を除き古代以前の遺跡が確認されないことから、未開発の地点と考えられ、8 世紀初頭では森林資源が残っているエリアとみられる。また、S I 11・S B 05 より出土した「林主」の墨書も、林業に関わる可能性をみい



真売土の遺構

遺構外出土
第 173 図 墨書・刻書と出土位置

だせる。「林」は私的所有を示し、人為的な管理が行われた意味をもつ。(木村 1986) また、「林主」の墨書 2 点は時期差があり、書体も異なる。単なる人名とみるよりは、継続して用いられた屋号的意味をもつ文字と考えたい。林業に関わる人々がいた可能性のあることから、木材供給について、陸路・水路が確保され、郡家に近接し、森林資源がある地点を視野に入れた占地であったとも考えられる。なお、本調査地点の旧小字名は「林」である。由来は近世代に雑木林があったこととされ、古代とは直接関係ないが樹木が生育しやすい環境と推測できる。本調査地点は遺跡確認面（漸移～ローム層）まで黒褐～暗褐色土が深く堆積している。この堆積土は、わずかに河川氾濫による流入土はあるが、客土が主たる内容ではないこと明らかで、樹木からの落葉による腐食土が要因の堆積と推測され、豊かな森林資源があったとする推論の根拠の一因である。

3 墨書・刻書土器等について

第173図に墨書・刻書について、微細な墨痕のみの資料は除き、計33点を集成して示した。痕跡がわずかで、視認が困難なものが多く、赤外線による画像や補正等のデジタル処理により原資料を補いトレースを実施した。墨書土器は積読の違いが錯誤のもととなる。そのため、数々の有識者にご協力いただいたが、文字によっては異なる見解が出されるケースが多かった。ここでは資料に番号を付して呼称し、考察を加えることとした。①～④は朱書されたもの、⑤は刻書されたもの、⑥～⑩は墨書されたものである。①～⑩は土器に記され、⑩のみ小礫に記されている。

①・② 積読は「荒」である。いずれも南比企産須恵器坏の底部外面に朱墨で記されており、「N」状のヘラガキ（焼成前）が施されている。共通のヘラガキから、記載する土器を選別している可能性がみられた。②は字体の下部のみであるが、①と筆跡が同じと判断されるため、「荒」とした。同一人による記載と考えられる。「荒」一字の墨書は管見では確認できなかったが、近隣の熊谷市北島遺跡にて「荒男」の墨書土器が確認されており、共通性をもつものと推察される。

③ 積読は「風構えに主」、または「国構えに主」である。いわゆる独自に形成された文字といえる。須恵器坏の体部内・外面に横位で朱墨により記されている。「主」を強調する意図で、特殊な字形や朱書が用いられたと思われる。なお、本遺跡において「主」が含まれる墨書は、⑬・⑭の「林主」が該当する。西別府廃寺では「主」墨書が1点確認されている。また近い字形としては、西別府祭祀遺跡より「丸囲いに王」の刻書が確認されている。

④ 積読はできない。朱墨による筆慣らしの痕跡とみられる。文字とみるならば「丈」が該当するか。S J 01より検出されている資料は、細字のものが多く、文字である可能性を残す。須恵器蓋の外面に記されているが、内面は朱墨のパレットとして使用された痕跡が残る。

⑤ 積読は「口（杣カ）」である。刻書された資料で、土師器甕の胴部外面に記されている。文字としてみるならば、形状は偏と旁があり、偏は「木」、旁は「山」と読め、「杣」と積読が可能である。「杣」とは木材の伐採地として設置された山林や、そこで働く人を指す等の意味がある。旁は傾いており、文字を真似て記された記号的要素をもつものとみられる。

⑥～⑩ ⑥・⑧・⑨の積読は「西」である。⑦の積読は「口（西カ）」である。⑦は字形が崩れているため、別の文字の可能性もあり、⑤と共通する字形ともみられる。いずれも墨書され、須恵器坏の底部外面に記されている。「西」は当地域に多くみられる墨書で、近隣の遺跡を挙げれば、北島遺跡、籠原裏遺跡等より検出されている。籠原裏遺跡出土資料には西にひとやねの冠が付く独自に形成された文字がみられる。「西」には方位を示す意味や、西大寺のように固有名称に付される使用法が考えられる。しかし、墨書土器には集団の標識文字（記号）としての意味を持つものが多い。詳述は避けるが、一定地域の遺跡間にまたがって確認される文字であることから、集団の標識文字（記号）としてここでは理解しておきたい。

⑩～⑫ 積読は「丈」である。⑫のみ細字である。いずれも墨書され、⑩は土師器坏の底部外面、⑪は土師器坏の体部外面下部に正位、⑫は須恵器坏の底部外面に記されている。「丈」は丈部氏のウジ名を冠した集団の標識文字（記号）と理解される。丈部氏は軍事的部民名に基づく氏名であり、東国に多くみられる。武蔵国で見れば、8世紀中頃の人物として足立郡出身の丈部直不破麻呂の名が確認され、神

① 第 86 图 24
出土位置 SD5・6・7

② 第 108 图 94
出土位置 SJ01

③ 第 20 图 13
出土位置 SI01
外面

内面

④ 第 108 图 95
出土位置 SJ01

⑤ 第 40 图 26
出土位置 SI12



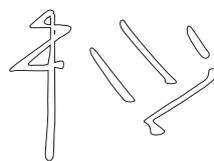
S=1/2



S=1/2



S=1/1



S=1/1

⑥ 第 37 图 12
出土位置 SI11

⑦ 第 37 图 10
出土位置 SI11

⑧ 第 37 图 9
出土位置 SI11

⑨ 第 49 图 1
出土位置 SB02

⑩ 第 56 图 16
出土位置 SB5・7

⑪ 第 168 图 4
出土位置 遺構外

⑫ 第 108 图 91
出土位置 SJ01



S=1/1

S=1/1

S=1/1

S=1/1

S=1/1

S=1/2

S=1/1

⑬ 第 58 图 1
出土位置 SB08

⑭ 第 37 图 11
出土位置 SI11

⑮ 第 92 图 1
出土位置 SD11

⑯ 第 168 图 19
出土位置 遺構外

⑰ 第 108 图 90
出土位置 SJ01

⑱ 第 108 图 92
出土位置 SJ01

⑲ 第 167 图 199-1
出土位置 P199



S=1/1

S=1/1

S=1/1

S=1/1

S=1/1

S=1/1

S=1/1

⑳ 第 56 图 2
出土位置 SB05

㉑ 第 37 图 3
出土位置 SI11

㉒ 第 58 图 12
出土位置 SB08

㉓ 第 145 图 38-4
出土位置 SK38

㉔ 第 25 图 5
出土位置 SI04

㉕ 第 135 图 2
出土位置 SX06

㉖ 第 63 图 1
出土位置 SB11



S=1/1

S=1/1

S=1/1

S=1/1

S=1/1

S=1/1

S=1/1

㉗ 第 168 图 5
出土位置 遺構外

㉘ 第 56 图 15
出土位置 SB5・7

㉙ 第 168 图 22
出土位置 遺構外

㉚ 第 29 图 7
出土位置 SI06

㉛ 第 168 图 31
出土位置 遺構外

㉜ 第 110 图 27
出土位置 SJ02

㉝ 第 43 图 32
出土位置 SI13



S=1/1

S=1/1

S=1/1

S=1/4

S=1/2

S=1/4

S=1/1

第 174 图 墨書・刻書一覽

護景雲元年（767）に武蔵宿禰を賜り、武蔵国造となっている。「じょう」と読みだけをみれば、四等官にあたる「掾」と共通する。

⑬・⑭ ⑬の釈読は「林□」、⑭の釈読は「林主」である。いずれも墨書され、須恵器坏の底部外面に記されており、⑬と⑭は別人による筆跡とみられる。⑬は草書風に筆跡が流れており「林マロ」または「林主」のいずれかとみられるが断定はできない。「林マロ」であれば人名、「林主」であれば人名または集団の標識文字（記号）の可能性がある。「林主」は村主（すぐり）等の人名に共通する要素をもつ。文字ごとに考察すれば、「林」は人為的に管理された「生やし」であり、私有の意味合いが強い文字である（木村 1986）。「主」は読みが「ぬし」、「あるじ」であるが、統治や代表といった意味合いをもつ。また、⑬が「林主」であれば、筆跡が異なる2点が検出されていることとなり、人名よりも集団の標識文字（記号）の可能性が高まる。本章2項で木材供給について、調達を視野に入れた占地の可能性について触れたが、このことにつながる可能性があるため述べておくこととした。

⑮ 釈読は「仲□」である。墨書は土師器暗文堦の体部外面下部に正位で記されている。推定としては、「仲マロ」、「仲家」、「仲印」等が挙げられる。「仲マロ」であれば人名、「仲家」であれば建物を配置箇所または名称を示す官衛的要素を持つ文字か人名が考えられる。「仲印」とした場合、意味は管見に触れないが、形状は二字目の崩しが下総国印旛郡でみられる「印」に近い。

⑯ 釈読は「真正」である。墨書は須恵器坏体部外面に横位で記されている。二字目は則天文字である。則天文字の使用の意図は不明であるが、平川南氏は、原因はよくわからないとしながら、日本の古代社会において漢字に一定の魔力または権威が付帯されているような状態であり、「則天文字のような特殊な文字はより一層効果的であり、その文字を記すことができるだけで一種の優越性の表徴であったともいえる。」と述べている（平川 2000）。

⑰ 釈読は「播□（羅カ）」である。墨書は須恵器坏体部外面に横位で記されている。二字目は傍の上部のみである。手偏は土偏かもしれないが、指し示す意味は幡羅郡または幡羅郷とみられ、幡の表意である「播」と推測する。幡羅遺跡からは幡羅を示す文字として「坡」「婆羅」等が出土している。

⑱ 釈読は「□（埼カ）」である。墨書は須恵器坏底部外面に細字にて記されている。字形から「埼」と推定した。隣郡である埼玉郡を示す文字であれば、郡同士の交流を示す資料とも考えられる。

⑲ 釈読は「新」である。墨書は土師器坏底部外面に記されている。「新」一字のもつ意味は幅広い。小破片のため推測のみだが、新大領等の文言に付される、文字通り新しいという意味と、利根川を挟んで隣郡である上野国新田郡を示す等が考えられる。新田郡を示す文字であるならば、国を超えた交流があり、本章2項で述べた水運（水上交通）に関係するか。

⑳ 釈読は「得」である。墨書は土師器坏底部外面に記されている。㉑は記号化した変形文字である「得」の字体を呈している。吉祥語としての文字とみられる。

㉑ 釈読は「ト」である。墨書は土師器坏底部外面に記されている。「ト」の配置から、左上にもう一字入る可能性があるが、黒色化した箇所であり、赤外線や補正画像で検出することができなかった。「ト」は占トとの文言があるように祭祀的要素の意味合いがある文字である。

㉒ 釈読は「大」または「丸囲いに大」である。墨書は須恵器坏底部外面に記されている。文字の解釈として、良好な状態を示す意味のほか、大領や大桑等の固有名詞に付随する文字と考えられるが不明で

あるといえる。なお、「大」は西別府祭祀遺跡で2点、幡羅遺跡で1点確認されている。

㉓ 積読は「十」である。墨書は土師器坏底部外面に記されている。「十」は全国的にも例の多い文字で、埼玉県内でも40件以上確認されている。市内でみると寺内遺跡、北島遺跡、諏訪木遺跡、下田町遺跡、飯塚北遺跡、鶴ノ森遺跡で検出されている。

㉔ 積読は「磨」または「廡」である。墨書は須恵器坏底部外面に記されている。「磨」と読むのが順当のように思われるが、県内では「磨」一文字の墨書土器は管見では確認できなかった。字形をみると、まだれの下部が冊になっており、「磨」の場合、木簡の文字例ではまだれの下部が林となる例が多い。字形が一致するものは、五體字類によると「廡」（ひさし）の中に見出せた。ただし、「廡」と読んだ場合も類例はみあたらない。そのため、㉔は「磨」または「廡」としておく。

㉕ 積読は「口」である。墨書は土師器坏底部外面に記されている。摩耗が著しく判断が付かなかったが、字形としては㉗に類似するか。

㉖ 積読は「口」である。墨書は土師器坏底部外面に記されている。文字の下半部分にあたるものと思われる。字形としては⑩・⑪の「丈」と、西別府祭祀遺跡から出土した「文」が挙げられる。

㉗ 積読は「口」である。墨書は土師器暗文埴底部外面に記されている。土のつくりの下に僅かながら横線がみられた。類似する字形としては、「寺」が挙げられるが、判断が付かない。

㉘ 積読は「口」である。墨書は土師器坏底部外面に記されている。字形は土の旁のようにみえるが、判断が付かない。

㉙ 積読は「口」である。墨書は須恵器体部外面に記されている。はねが入る文字としかいいようがなく判断が付かない。

㉚・㉛・㉜ 筆慣らしの痕跡とみられる。墨書は、㉚が須恵器皿の底部内面、㉛が須恵器埴の底部外面、㉜須恵器蓋は内面に記されている。

㉝ 積読は「口」である。墨書は円形の小礫に記されている。礫石経とみられるが、文字が不明なため判断がつかない。

4 区画施設について

第5～10号溝跡について、規模及び位置関係から、一体となる区画施設の可能性が考えられる。SD 05～07は南溝、SD 08～10は西溝にあたり、Q-12グリッド付近が溝の角となる。附編で示した地中レーダー探査の結果から、東溝と南溝のコーナーが確認され、区画の規模は約110mに及ぶ可能性が見出された。約1町という規格からは、相応の建物群の存在が推測され、検出した区画内遺構群はその一部にすぎない。切り合い関係からは、SD 05-08、SD 06-09、SD 07-10が対応し、少なくとも3時期が想定される。また、SD 06の土層からは、もう1条溝跡を想定することも可能であった。限られた情報から類推すると、I期のSD 05-08は掘削が深く、形状も規格性が強い。しかしIV期SD 07-10になると、掘削の深度はまちまちで浅めの傾向があり、形状にも乱れがみられる。出土遺物をみると第86図2の外面のケズリが口縁部下まで施される暗文深埴や、28・29の底部外面全面ヘラケズリが施される須恵器坏から8世紀前半が古く、41～43の灰釉陶器長頸瓶や第85図1の須恵器甕からは9世紀後半までが新しいといえる。この期間内では、区画施設は存続していたと考えられるが、

後述の時期的変遷においてⅢ期（9世紀前半）とした期間は存在の可能性はあるものの、区画施設の有無については明確にしえなかった。

5 第1号用途不明遺構について

本遺構の状況としては、区画内であること、遺構の方位軸が区画溝と概ね合うこと、砂礫層に達する深い遺構であること、人為的な埋没後、再使用している可能性があること、第1号溝跡と連結していた可能性があることが挙げられる。現在湧水はみられず、当時もまた不明である。ただし、地勢的には荒川扇状地の末端部であり、砂礫層からの湧水があった可能性は高い。遺構の方位軸が区画と同じであることは、官衙施設の一部に含まれると解釈できる。官衙施設には大型の井戸はつきものであり、本遺構は水場としての機能を担っていたと考えたい。また、第1号溝跡は水場に係る関連施設と想定しておきたい。

6 第1号土器廃棄遺構出土内黒高台坏について

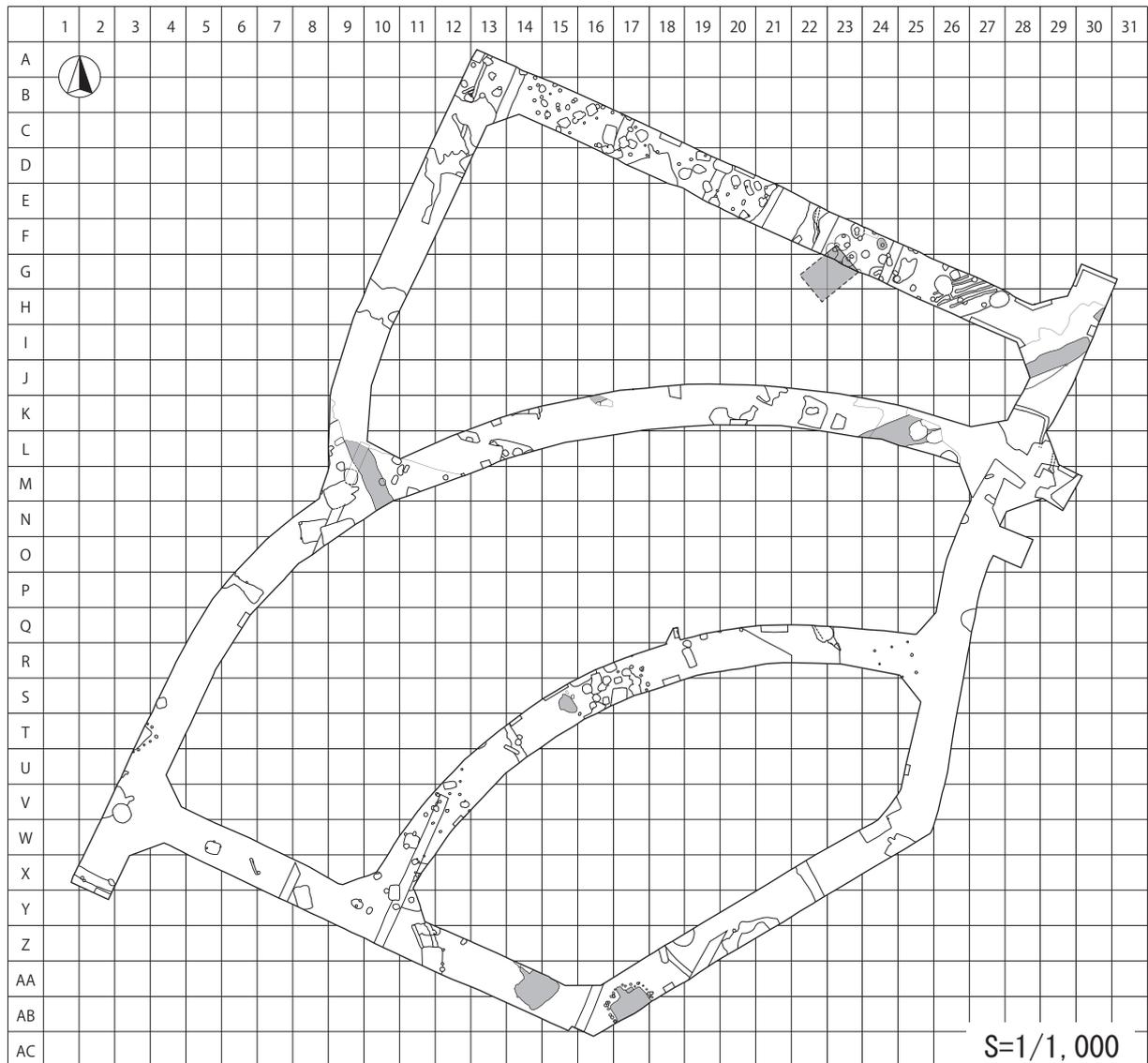
第108図99であるが、いわゆる箱型の高台坏である。内面が黒色処理され、底部は回転糸切り離して、胎土に雲母を多く含んでいる。底部が厚く、外面の高台との接合部のくびれが高台内部の底面と高さがずれる、貼付高台とみられる。形状・技法及び雲母を多量に含む胎土から常総方面の所産と考えられるが、新治窯のものではない。印旛沼周辺の土器編年（栗田2015）を確認すれば、箱型坏は8世紀第3四半期以降よりみられるようになる。本遺跡における常総方面の遺物は、本高台坏のみであり、本高台坏は共伴遺物から8世紀後半に比定され、年代観に矛盾はない。幡羅郡家において黒色処理される遺物は9世紀中葉から後半以降より散見されるが、本高台坏はそれ以前にもたらされたことになり特異性が見出せる。用途については津野仁氏により、「酒坏」と墨書された土器の検討がなされており、口径12cm前後、器高5～6cm前後の均質性がみられることを指摘され、本高台坏も同規格である（津野1988）。このことから、本高台坏は特別にもたらされた「酒坏」であったと考えられる。

7 遺跡の時期的変遷

遺構の変遷の概観を第175図～第178図に示した。調査区は大規模な攪乱を受けているうえ、遺物量は決して多くはなく、検出状況も良好とはいえない。正確な変遷とは言い難い部分もあるが可能な限り復原を試みた。判断がつかなかった遺構は除外している。また時期区分については、幡羅・下郷遺跡及び西別府官衙遺跡群で示されている時期区分を参考にして、8世紀前半をⅠ期、8世紀中～後半をⅡ期、9世紀前半をⅢ期、9世紀後半をⅣ期とした。

・Ⅰ期 8世紀前半（幡羅・下郷遺跡Ⅲ・Ⅳ期、西別府官衙遺跡群3期）

第11・12号竪穴建物跡、第10号掘立柱建物跡、第5・8号溝跡、第5号土器廃棄遺構、第2・4号性格不明遺構、第25号土坑が該当する。区画施設であるSD5・8が存在するほか、西にぶれる北カマドのSI11・12は方向軸が区画施設と概ね同じであり、意識して構築されているか。Ⅰ期は遺跡が発生する時期であるが、該当する遺構は少ない。おそらく周辺は立木が林立している状況であり、開発が進んでいない状況、または建築が後回しになっている状況を示すものと思われる。区画外南側はSI



第175図 遺構変遷図（8世紀前半）

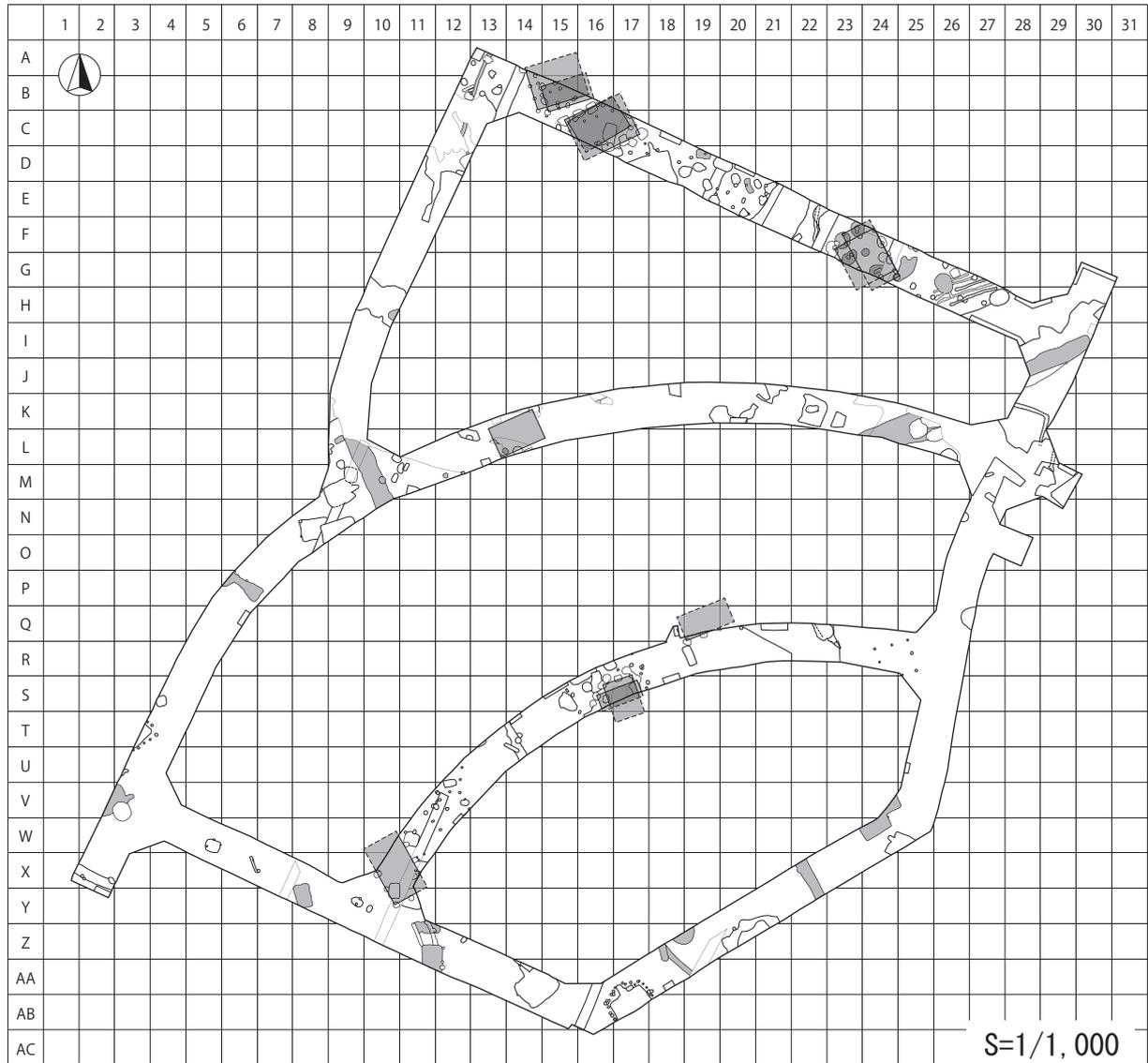
11・12が所在することから、集落域と考えられる。

・Ⅱ期 8世紀中～後半（幡羅・下郷遺跡Ⅳ・Ⅴ期、西別府官衙遺跡群4期）

第8・13・14号竪穴建物跡、第2・4・5・6・11・13・14・15・16・20・21・22号掘立柱建物跡、第1・6・8・9・11・20・21・23号溝跡、第1・2・3・4・6・7号土器廃棄遺構、第2・3・4・6号土取り遺構、第3・5・6・7・8号性格不明遺構、第01・06・08・14・28・29・38号土坑が該当する。遺構数が最も多い時期である。区画内に大形の掘立柱建物跡群が出現する。また土器廃棄遺構も殆どが当該期に帰属する。区画外でも南側に竪穴建物跡や竪穴状の性格不明遺構がみられ、本遺跡の最盛期といえる状況を呈する。

・Ⅲ期 9世紀前半（幡羅・下郷遺跡Ⅵ・Ⅶ期、西別府官衙遺跡群5期）

第9・15号竪穴建物跡、第15・19・22号掘立柱建物跡、第1号溝跡、第4号土器廃棄遺構、第6号土取り遺構、第01・03・06・07・08・14・28号土坑が該当する。前期に比べ遺構数が著しく減少する。弘仁年間の震災の影響を如実に示すものと考えられる。区画施設も存在するか不明な状況を呈する。竪



第176図 遺構変遷図（8世紀中～後半）

穴建物跡や掘立柱建物跡は区画外南側にみられる程度である。

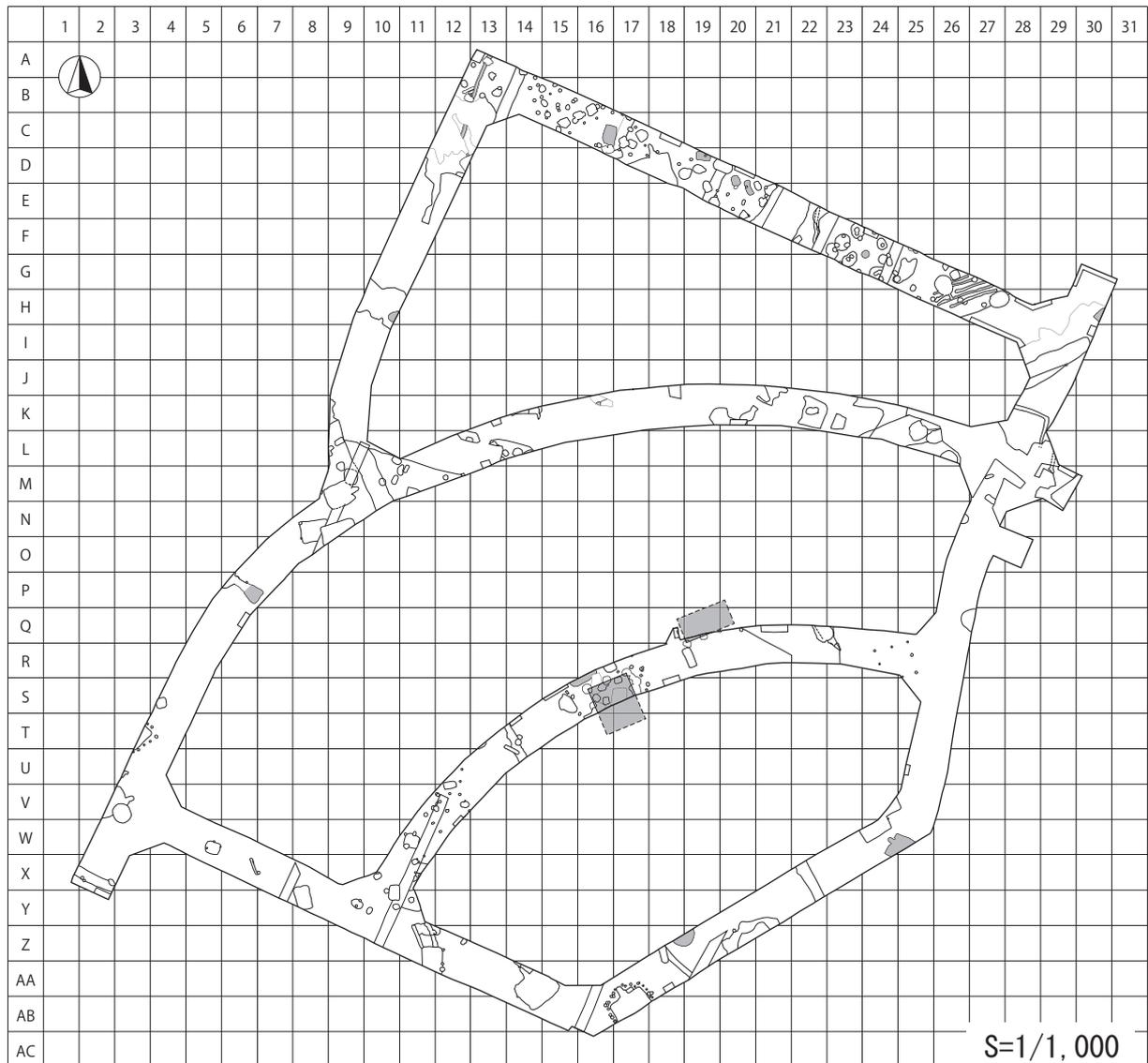
・IV期 9世紀後半（幡羅・下郷遺跡Ⅶ期、西別府官衙遺跡群6期）

第1・2・3・4・5・6・9号竪穴建物跡、第1・7・8・9・15・19・22号掘立柱建物跡、第1・7・10号溝跡、第10号土坑が該当する。前期に比べると遺構数が増加している。区画内に大形の掘立柱建物跡が建てられるが、大形の第1号竪穴建物跡が進出している。区画外西南に近接して竪穴建物跡がみられ、鉄釘や埴形滓などが検出されていることから、復興に係る工人の施設か。Ⅱ期にみられた区画外南側の集落の痕跡は消滅したままである。

8 まとめ

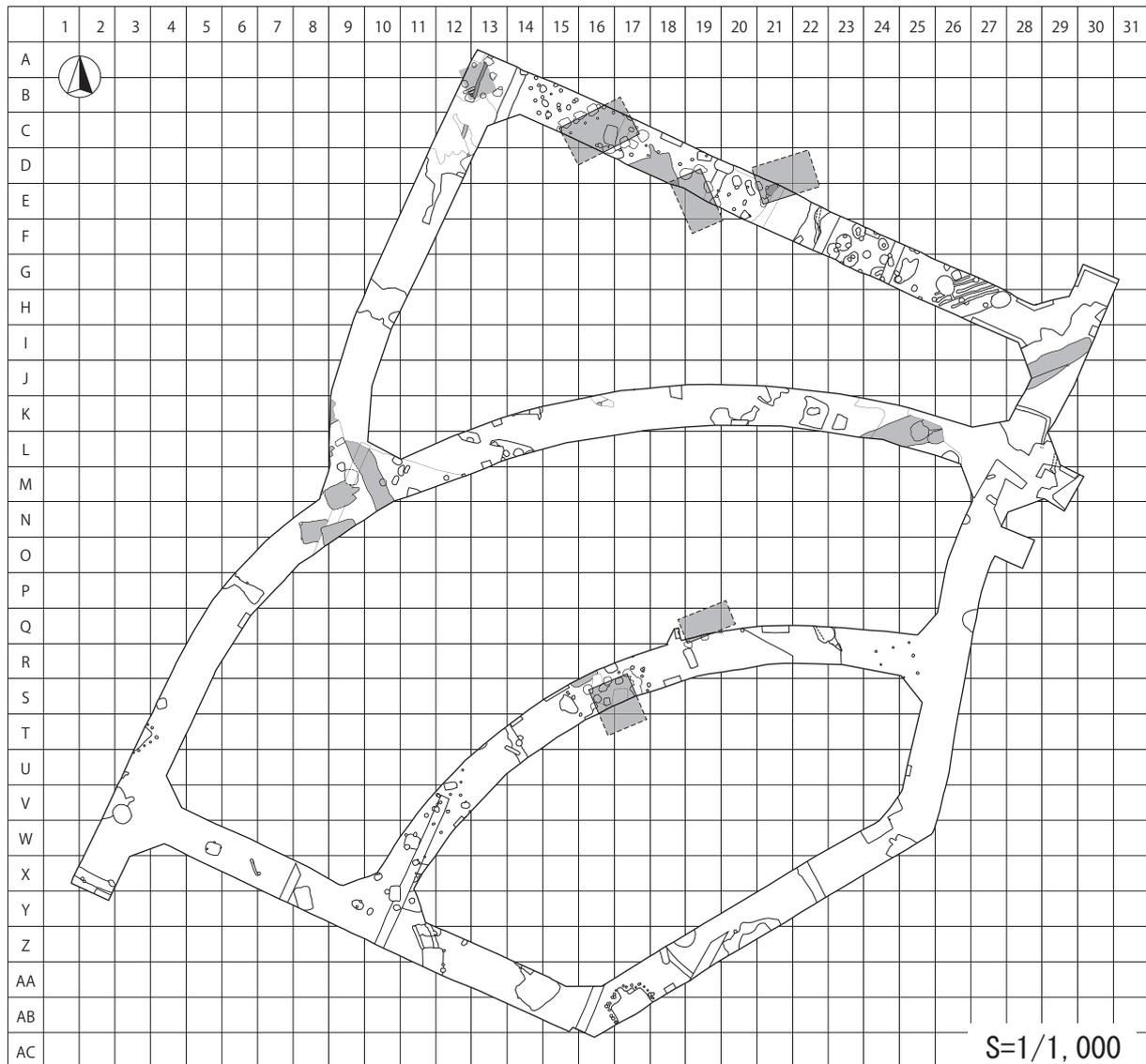
古代について

今回の調査地点は、8世紀から9世紀の間運営されていたことが判明した。その出現は、当時の郡家整備によるもので、物資の集積しやすい交通の要衝を占地した。郡家への木材供給は、「(杣カ)」の刻書、



第 177 図 遺構変遷図（9 世紀前半）

「林主」の墨書、在家遺跡出現前の未開発状況、搬出路（陸路・水運）の可能性、幡羅郡家との近接関係を示し推定の根拠とした。本調査地点の推移は、出現した 8 世紀前半は遺構数も少なく開発途上だが、中～後半には開発が進行する。また区画施設内には大規模な掘立柱建物が増え、遺物にも官衙的要素を持つ文房具類や供膳具類がみられる。また、高盤の検出から饗宴が行われた可能性が推測される。これらのことから、少なくとも官衙的要素を持つ施設群が存在したと位置づけられ、添削に用いられる朱の墨壺の検出からは、郡家に関わる出先機関と考えられるか。9 世紀前半は遺構数が減少する。これはマグニチュード 7.5 と推定される弘仁九年（818）の巨大地震によるものと推測する。本遺跡においても区画施設の存在が不明確かつ 8 世紀代に比べ 9 世紀では埋没して極端に浅くなること、当該期の掘立柱建物が壊滅状況にある等の影響があるとみられる。9 世紀後半は遺構数が増える。震災からの復興によるものであるが、10 世紀の遺構はみられず痕跡が途絶える状況となる。田中広明氏は、榛澤郡・幡羅郡の集落の推移から、人口は弘仁地震以降の 9 世紀第Ⅱ四半期から減少し続け、拠点集落に吸収されていると述べている（田中 2014）。本遺跡は拠点集落とみるよりは、幡羅・下郷・大竹遺跡の衛星的



第178図 遺構変遷図（9世紀後半）

集落とみられるため、田中氏の見解に合致する状況といえよう。今後の調査成果を待って結論を下すべきだが、このような世相の中で、在家遺跡は衰退したと考えられる。

中世について

本調査地点周辺には小字「友成」がみえる（第171図左下）。本調査地点の小字は「林」であるが近世代に発生した名称であり、「友成」を分断していることから、元々は「友成」であったと推定できる。文献から、正長二年（1429）の別符尾張守（幸忠）あて『足利持氏御判御教書』によると、「武蔵国波羅郡別符郷安枝名^{号友成}……」とあり、地名としての「友成」が確認される。また、「安枝名」は弘安十年（1287）の『宗智^{別府}幸忠讓状写』によると、「…むさしのくにはらのこほり古別符かうのうち、やすゑたの本名ならひに…」とある（熊谷市2013）。「安枝名」は古別符郷内と位置づけられ、東別符氏の古くからの本貫地と推測される。本調査においては、中世段階の遺物で古いものは龍泉窯産青磁12世紀後半のものに求められる。文献と考古資料に1世紀程度の時期差はあるが、青磁は伝世する可能性があり、本遺跡における中世に帰属する遺構・遺物は東別符氏に係るものと考えておきたい。

〈主な引用・参考文献〉

- 赤熊浩一・井上尚明ほか 1988 『将監塚・古井戸Ⅱ』 埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第 71 集
- 井上尚明 2013 「官衙と路と津」『東国の古代官衙』 高志書院
- 木村茂光 1986 「日本古代の「林」について」『古代国家の支配と構造』 東京堂出版
- 熊谷市 1963 『熊谷市史 前編』
- 熊谷市 2013 『熊谷市史 資料編 2 古代・中世 本編』
- 熊谷市立図書館 1993 『熊谷の地名と旧跡 市内の文化財をめぐる 9』
- 栗田則久 2015 「古代印旛郡船穂郷の開発」『連絡研究誌』 第 76 号（公財）千葉県教育振興財団
- 考古学から古代を考える会 2000 『古代仏教系遺物集成・関東一考古学の新たな開拓をめざして一』
- 坂本太郎・平野邦雄監修 1990 『日本古代氏族人名辞典』 吉川弘文館
- 寺社下 博 2003 『一本木前遺跡Ⅳ』 熊谷市教育委員会
- 寺社下 博 2004 『一本木前遺跡Ⅴ』 熊谷市教育委員会
- 高島 英之 2000 『古代出土文字資料の研究』 東京堂出版
- 高田竹山監修 1992 『改定新版五體字類』 西東書房
- 田中広明 2004 『北島遺跡Ⅸ』 埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第 293 集
- 田中広明 2012 「弘仁の大地震と地域社会」『研究紀要』 第 26 号
- 田中広明 2012 『皿沼西 / 戸森前』 埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第 391 集
- 田中広明 2014 「古代の開発と地域の編成」『古代の開発と地域の力』 高志書院
- 知久裕昭 2012 『幡羅遺跡Ⅷー総括報告書Ⅰー』 深谷市教育委員会
- 知久裕昭 2013 「武蔵国幡羅郡家」『東国の古代官衙』 高志書院
- 津野 仁 1988 「古代日本の土器器名考」『古代文化』 第 40 巻第 11 号（財）古代学協会
- 津野 仁 2011 『寂光沢窯跡』 栃木県埋蔵文化財調査報告第 341 集
- 富田和夫 2002 『熊野遺跡（A・C・D区）』 埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第 279 集
- 富田和夫 1998 『在家遺跡』 埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第 220 集
- 中世土器研究会編 1995 『概説 中世の土器・陶磁器』 真陽社
- 平川 南 2000 『墨書土器の研究』 吉川弘文館
- 前澤輝政 1986 『多功南原遺跡』 上三川町教育委員会
- 松田 哲 2004 『籠原裏遺跡』 熊谷市教育委員会
- 松田 哲 2005 『籠原裏古墳群』 熊谷市教育委員会
- 松本太郎 2013 『東国の土器と官衙遺跡』 六一書房
- 山中敏史 1994 『古代地方官衙遺跡の研究』 塙書房
- 山中敏史他 2003 『古代の官衙遺跡Ⅰ 遺構編』（独）奈良文化財研究所
- 山中敏史他 2004 『古代の官衙遺跡Ⅱ 遺物・遺跡編』（独）奈良文化財研究所
- 吉野 健 1992 『西別府廃寺』 熊谷市教育委員会
- 吉野 健 1994 『西別府廃寺（第二次）』 熊谷市教育委員会
- 吉野 健他 2000 『西別府祭祀遺跡』 熊谷市教育委員会
- 吉野 健 2013 『西別府祭祀遺跡、西別府廃寺、西別府遺跡 総括報告書Ⅰ』 熊谷市教育委員会

VI 附編

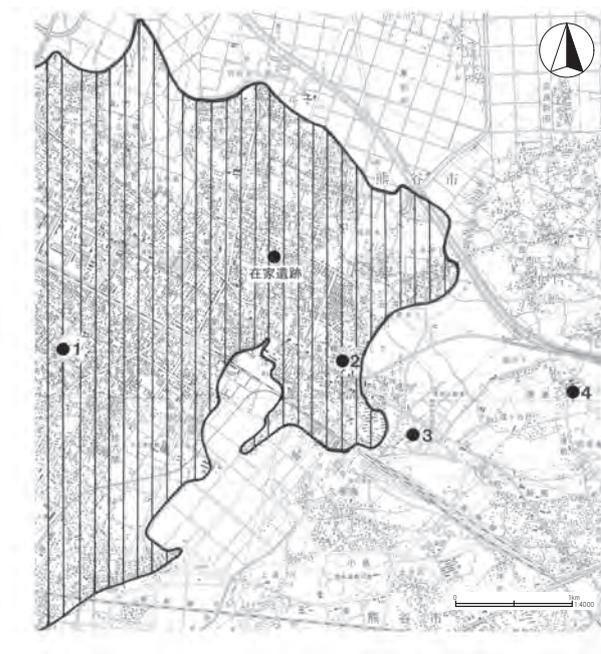
1 在家遺跡と周辺の地形・地質

清水康守・駒井 潔・小川政之・武藤博士・小勝幸夫・小林忠夫

1. はじめに

在家遺跡は熊谷市北西部に位置している遺跡である。遺跡は櫛引台地の北東端にあり、新期荒川扇状地はこの遺跡のすぐ東に広がっている。櫛引台地と新期荒川扇状地の地質については、詳細には明らかになっていなかった。そこで、この遺跡発掘に伴い、遺跡形成期の古環境の復元とともに、旧期荒川扇状地といえる櫛引台地と周辺の地形・地質を明らかにすることを目指した。

本研究は地形・地質の全般を清水康守・小勝幸夫・小林忠夫、鉦物分析を駒井 潔、礫種分析を小川政之、珪藻化石分析を武藤博士が中心で進め、著者全員で議論を深めた。なお、筆者らは日本第四紀学会会員として、関東地方を中心とした第四紀の地形・地質を研究しているものである。本研究の実施にあたり、熊谷市教育委員会の新井 端氏ならびに藏持俊輔氏にはいろいろ便宜を図っていただいた。ここに記して感謝したい。



第 179 図 遺跡の位置（縦線が櫛引台地）

（国土地理院発行の 1 / 2.5 万「三ヶ尻」「深谷」を使用）に示した。

櫛引台地は扇頂を寄居市街とする、更新世に形成された荒川の扇状地である。この台地の西端は籐治川に、南端は江南台地に限られる広大な台地である。台地面は北側の櫛引面と南側の寄居面に分けることができ、熊谷市域の台地は寄居面の一部である。櫛引面は武蔵野期に、寄居面は立川期に対比され、櫛引面の方が標高の高いものとなっている。

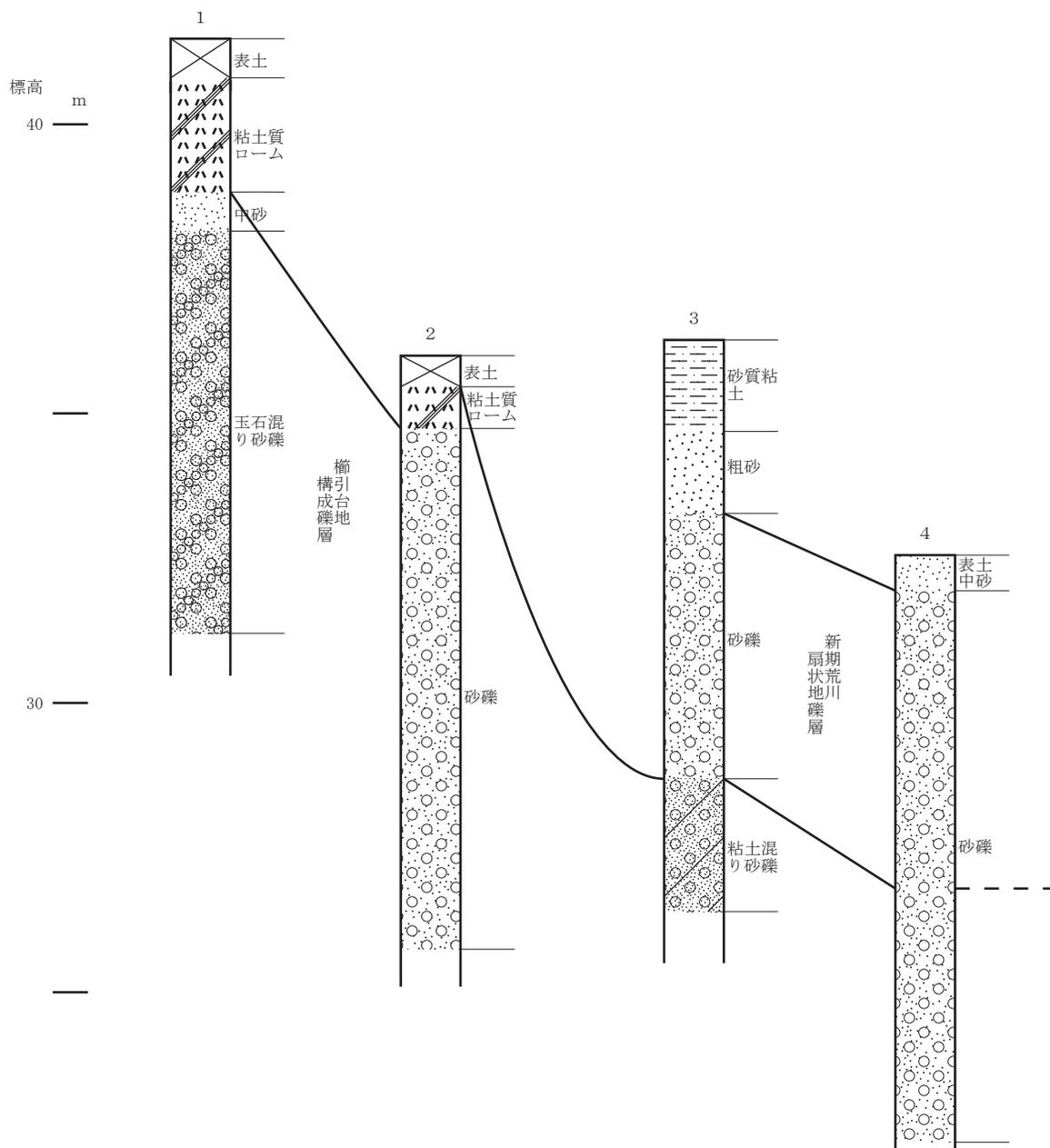
(2) 地質

遺跡周辺の地質を検討するために、埼玉県環境部で公表している地質柱状図を引用させていただいた（第 180 図）。第 179 図の第 1 地点は籠原小学校でボーリングの孔口標高（以下同じ）は 41.5 m、第 2

2. 遺跡周辺の地形・地質

(1) 地形

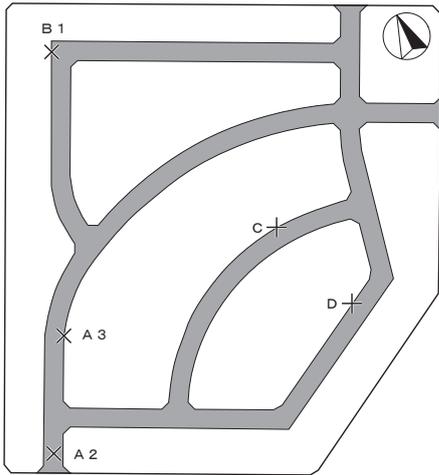
遺跡周辺の地形は、更新世（旧石器時代）に荒川によって形成された櫛引台地と、完新世（縄文時代以降）に形成された新期荒川扇状地の地形面に区分できる。一般に、更新世の形成になる地形面は台地と呼ばれ、標高が高く、完新世の形成による低地の地形とは段差がある。しかし、櫛引台地と新期荒川扇状地の標高は両者とも、遺跡周辺で、T P 36 m 前後となり、両地形面の段差等は認められない。両地形面は、扇状地成のものである。この地形区分図を第 179 図（国土地理院発行の 1 / 2.5 万「三ヶ尻」「深谷」を使用）に示した。



第 180 図 遺跡周辺の地質

地点は玉井小学校で 36.1 m である。両地点とも榎引台地の寄居面に位置している。両地点で関東ローム層に、1.95 m と 0.80 m と厚さに違いがみられる。これは、第 1 地点の籠原小学校では凹地状のところに、砂と火山灰質の砂質シルトが堆積したために、それらを含めた、粘土質ローム層が厚くなっているものと考えられる。このローム層の厚さからみて、大里ローム層の上部が堆積しているものと考えられる。

第 3 地点は県立農林総合研究センターで、標高は 36.5 m、第 4 地点は旧熊谷市立女子高校で、標高は 32.7 m である。両地点とも新期荒川扇状地に位置している。新期荒川扇状地の礫層は薄く 5 から 7 m のところがほとんどである（「熊谷市史・考古編」）。それで、第 180 図では、第 3 地点の県立農林総合研究センターの厚さで、第 4 地点は市立女子高校の層厚を推定した。新期荒川扇状地の礫層の上の砂



第 181 図 位置図（灰色部分が発掘区域）

層やシルト層は扇状地上の流路跡であったために第 3 地点で厚く堆積したものであろう。

3. 在家遺跡の地質

遺跡全体の壁面、および本遺跡の土層の基本層序を知るために作成した A-3 地点・A-2 地点、B-1 地点の深堀トレンチ断面の調査により、模式断面図（第 182 図）を作成した。また、各種の分析（鉍物分析、礫種・礫径分析、珪藻分析）を実施した各地点の位置を第 181 図に示した。

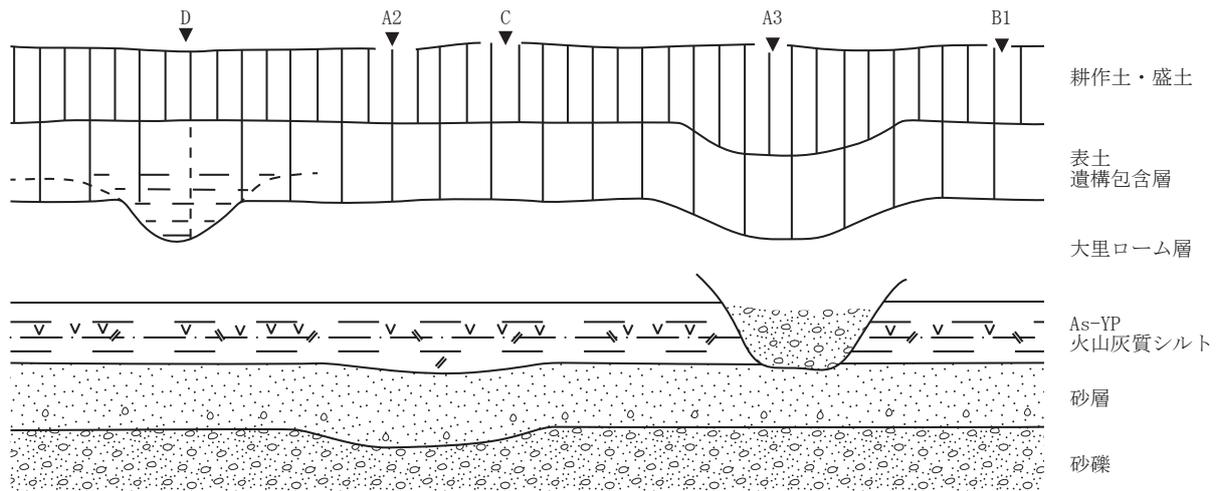
櫛引台地の扇状地礫層は A-2 地点と B-1 地点のトレンチの壁面で見ることができる。この砂礫層は多少の凹凸があるがほぼ平坦に連続していることが分かる（第 182 図）。この扇状地の砂礫層の上位には水成堆積である火山灰質砂層、火山灰質シルト層さらに、オレンジ色の軽石層（浅間板鼻黄色軽石層、As-YP）が見られる。さらにその上位には風成の関東ローム層（ハードローム・ソフトローム）が位置している。このローム層（ハードローム・ソフトローム）は、後述のように層位・層厚また鉍物分析などから大里ローム層（堀口 1986）上部であることが分かる。ここまでの時代的には更新世の地層である。その上には完新世の地層の黒色シルト層にはじまる遺物包含層が広がっている。この地層を一括して表土層と呼ぶことにする（基本土層のⅡ、Ⅲ層に当たる）。この中には、灰白色のシルト質の粘土層が含まれている。さらにその上位には盛土・攪乱など人工改変層がみられる。

本遺跡の地形・地質をみると、大きく 2 つの谷地形が存在していることが分かる。その一つは、更新世のもので、谷地形の中心の位置の地質柱状図が A-3 地点のものである。この地点の砂礫層は、A-2 地点と B-1 地点のトレンチの壁面の櫛引台地の扇状地礫層より、1 m ほど標高が高いところに位置している。また、この砂礫層の上には風成の関東ローム層が薄く、As-YP が砂礫層上にないことから As-YP 降灰以降の侵食による谷地形（流路）に堆積した砂礫である。もう一つの谷は、D 地点にみられる溝状の谷地形である。D 地点は、他の地点の表土層の高さより、25 cm ほど低くなっており、高さだけを見ても大きな谷とはいえないことが分かる。

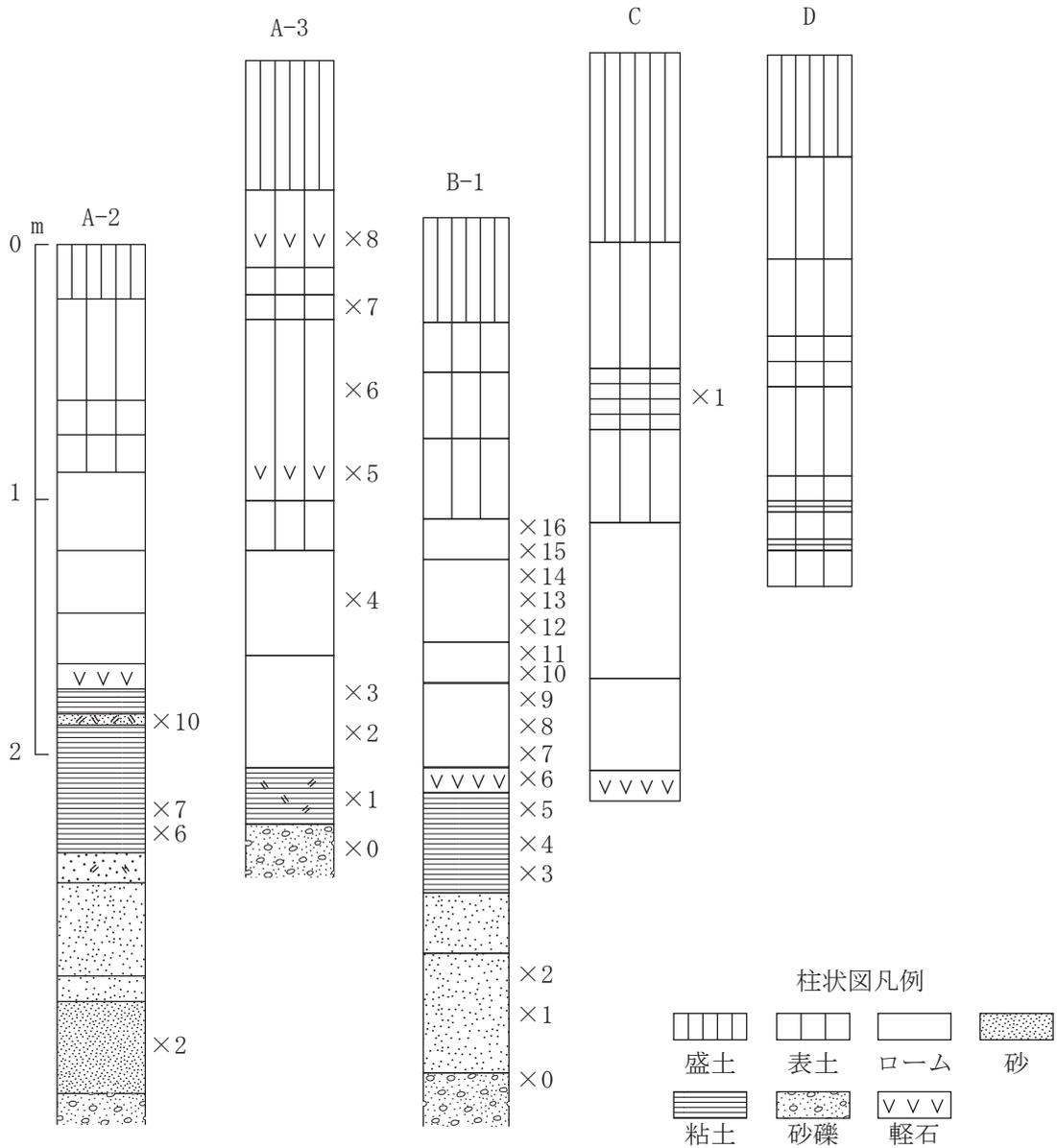
4. 鉍物分析

(1) 分析方法

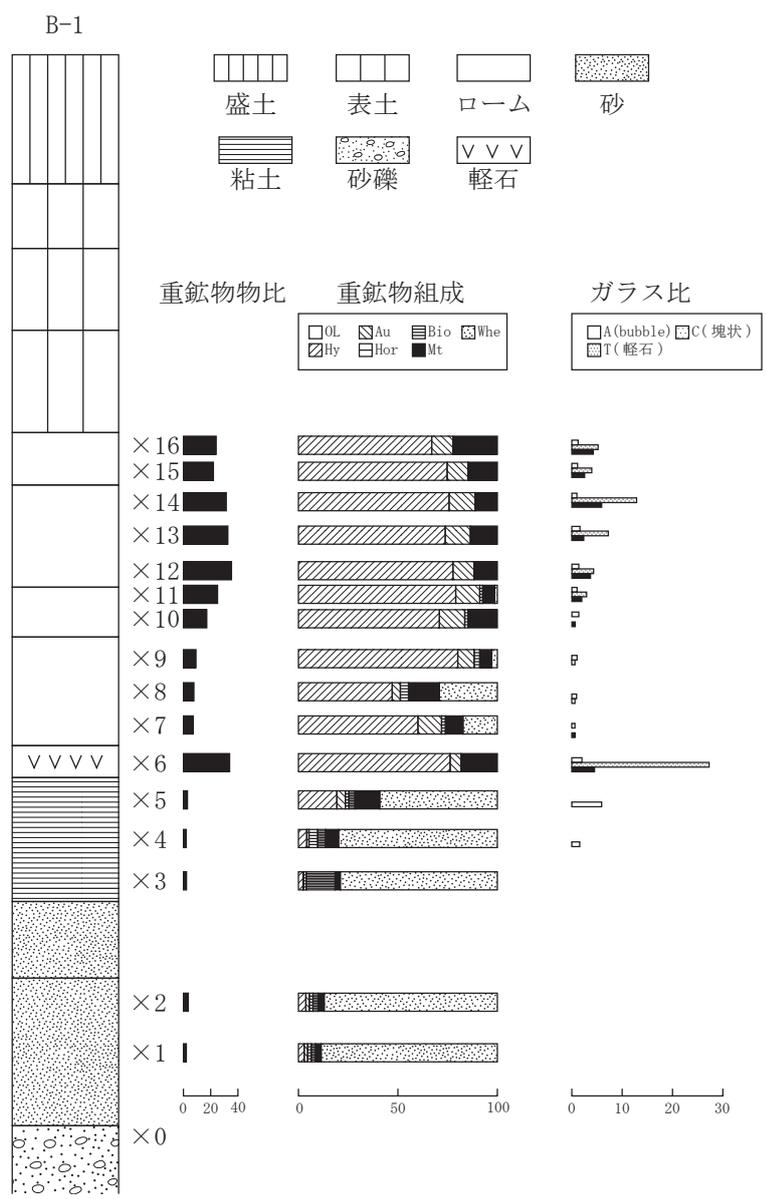
採取した試料について、超音波を補助的に用いて洗い出し、粘土成分と砂成分にわけた。砂成分以上のものについては水中で篩をもちいて、直径が 2 mm ~ 1/16 mm の砂粒子を 1 φ 毎に極粗粒砂から極細粒砂までの 5 階級に粒度区分し、乾燥、秤量した。さらに、鉍物組成を調べるため細粒砂（1/4 ~ 1/8 mm）サイズの試料を用いて、プレパラートを作成した。なお鉍物は重液（ブロムホルム、比重 2.8）分離し、比重 2.8 未満を軽鉍物、2.8 以上を重鉍物とした。それぞれについて重さを秤量して、プレパラートを作成し検鏡した。重鉍物比は秤量した重鉍物の割合を求めたものである。鉍物組成については、プレパ



第 182 図 遺跡の地質模式断面図



第 183 図 各調査地点の地質柱状図

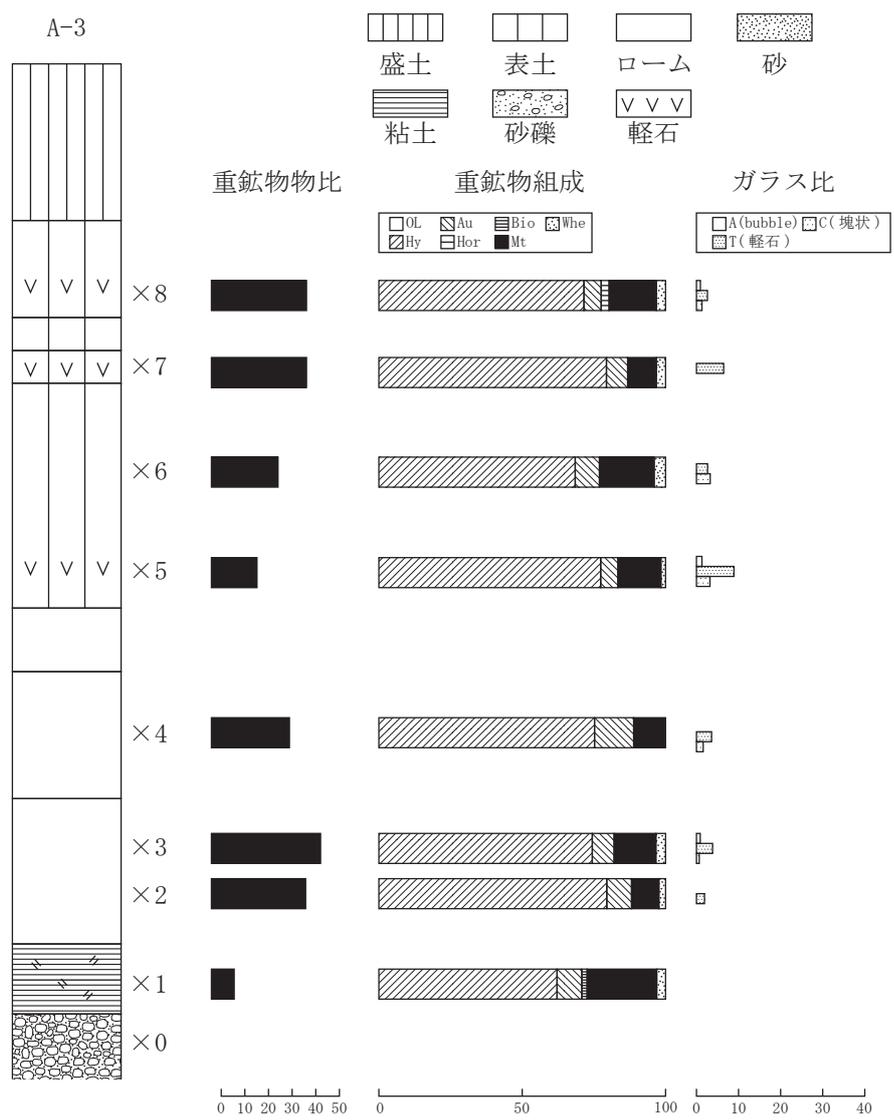


第 184 図 B-1 地点の鉱物分析

合計が 40%以下と少なく、風化粒 (Whe) が 80%以上と多くなっているものが多い。軽鉱物中のガラス比は 1.5 ~ 2.2%と小さい値となる。このガラスの形態をみると、sp. 4, 5 中に平板状の火山ガラス (bubble) を少量含んでいるという特徴がある。オレンジ色軽石層 (sp. 6) は重鉱物比が 34.8%と大きな値を示している。重鉱物組成は斜方輝石 (Hy) が 77.1%、単斜輝石 (Au) が 5.7%、角閃石 (Hor) が 0.7%、不透明鉱物 (Mt) が 16.0%となる。風化粒 (Whe) が 0.8%とごく少ない両輝石型の軽石層である。軽鉱物中の火山ガラスは軽石型 (T型) が 27.5%と最も多い。砂混じりローム層 (sp. 7, 8, 9) は重鉱物比が 7.91 ~ 9.2%とやや小さい値となる。重鉱物組成は両輝石型の組成を示す。風化粒 (Whe) が sp. 7, 8 で 17.0 と 28.4%とやや多くなり、sp. 9 で 1.9%と少くなっている。軽鉱物中の火山ガラスは 2%以下とごく少量だが含まれている。ハードローム層 (sp. 10, 11) は重鉱物比が 18.3%と 27.0%となる。重鉱物組成は斜方輝石 (Hy) が 70 から 80%、単斜輝石 (Au) が両試料とも 13.6%となり両

ラートの全面を 0.6mm から 1.0 mm の幅で走査して、この線上にのる鉱物粒の個数を数え、各割合を計算した。このときに、平均 200 ~ 300 個を鑑定した。また、軽鉱物については火山ガラスの特徴に着目して区分・計数した。火山ガラスの区分はバブルウオール型 (A型)、軽石型 (T型)、塊状型 (C型)、その他のものの4つである。軽鉱物中にある各火山ガラスの割合をガラス比として計算した。

(2) 各地点における分析結果と考察
 ・B-1 地点 分析結果を第 184 図に示す。火山灰質砂層 (sp. 1, 2) は重鉱物比が 1 ~ 2%と小さい値となる。重鉱物組成は斜方輝石 (Hy) ・単斜輝石 (Au) ・角閃石 (Hor) ・黒雲母 (Bio) ・不透明鉱物 (Mt) の合計が 20%以下と少なく、風化粒 (Whe) が 80%以上と多くなっている。軽鉱物中に火山ガラスは含まれていない。火山灰質シルト質粘土層 (sp. 3, 4, 5) は重鉱物比が 1 ~ 3%と小さい値となる。重鉱物組成は斜方輝石 (Hy) ・単斜輝石 (Au) ・角閃石 (Hor) ・黒雲母 (Bio) ・不透明鉱物 (Mt) の



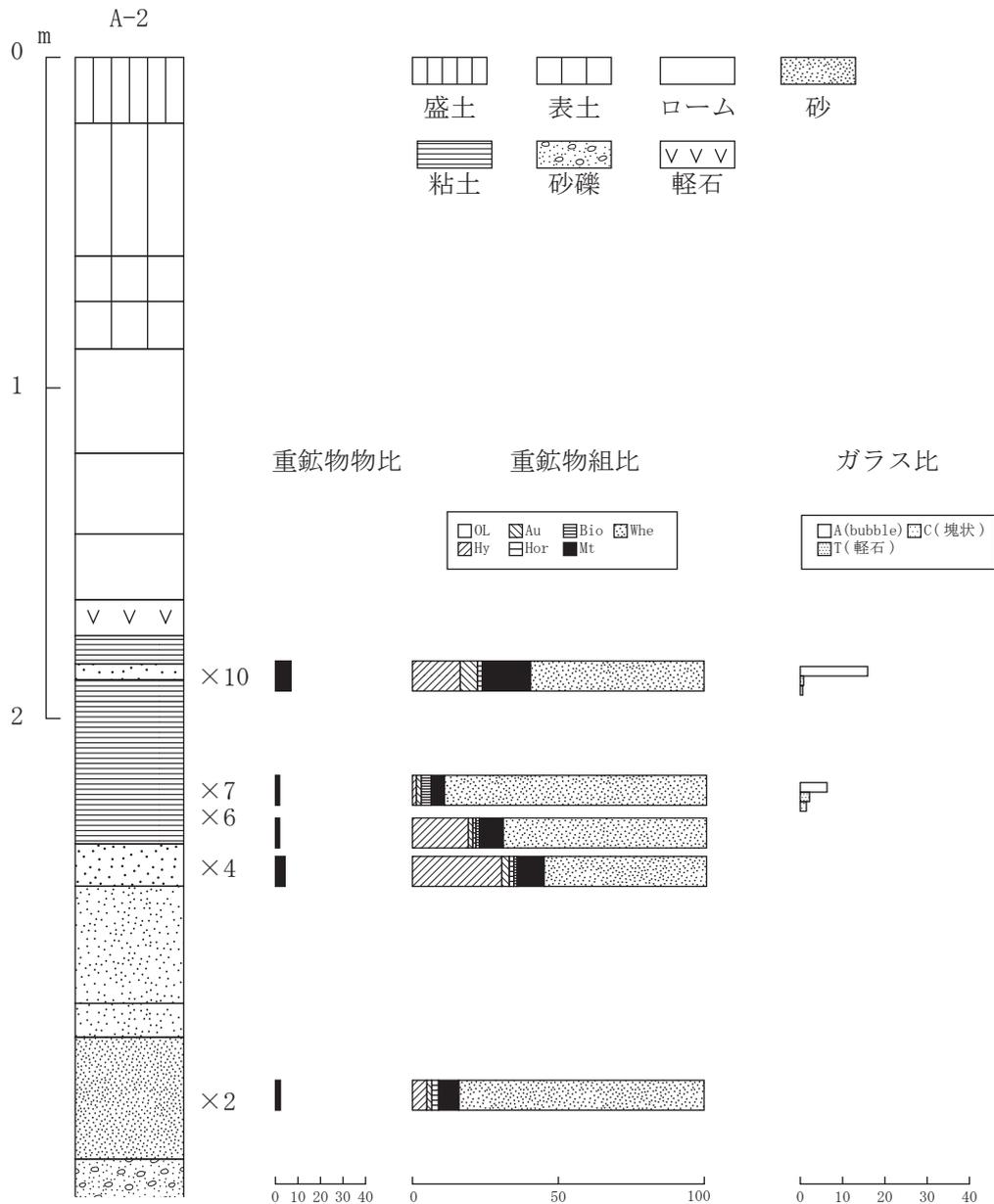
第 185 図 A-3 地点の鉍物分析

輝石型の特徴を示している。角閃石 (Hor)、黒雲母 (Bio) はごく少ない。風化粒 (Whe) もごく少なく 1% 前後である。軽鉍物中の火山ガラスは sp. 10 で 1.5%、sp. 11 で 6% と少ない。ソフトローム層 (sp. 12, 13, 14) は重鉍物比が 36.3 ~ 33.2% とやや大きな値となっている。重鉍物組成は斜方輝石 (Hy) が多く、単斜輝石 (Au) がそれに次ぐ値となり、両輝石型の組成を示していることが分かる。火山ガラス比は A 型、B 型、C 型とも含まれ、B 型が多いことが分かる。ローム層と表土層の漸位層 (sp. 15, 16) は重鉍物比・火山ガラス比下位のソフトローム層に似たものになるが、それよりもすこし小さい値となる。重鉍物組

成は斜方輝石 (Hy)、単斜輝石 (Au)、を主体とする両輝石型のものとなる。

・ A-3 地点 分析結果を第 185 図に示す。砂礫層上の粘土層 (sp. 1) は重鉍物比が 9.4% とやや小さい値となる。重鉍物組成は斜方輝石 (Hy) が 61.5%、単斜輝石 (Au) が 8.5%、単斜輝石が 8.5%、不透明鉍物 (Mt) が 23.7% となり、両輝石型の組成を示している。軽鉍物中に火山ガラスは含まれていない。この上の関東ローム層 (sp. 2, 3, 4) は重鉍物比が 32.7 ~ 46.0% と B-1 地点のローム層と似た値を示している。重鉍物組成は斜方輝石 (Hy) 75 ~ 80%、単斜輝石 (Au) が 8.3 ~ 14.1% となり、不透明鉍物 (Mt) が 9.5 ~ 12.9% となり B-1 地点のローム層と似た値を示している。風化粒 (Whe) が 0.7 ~ 2.9% となっている。軽鉍物中の火山ガラスは軽石型 (T 型) が 2.0 ~ 3.7% と少量含まれている。以上の特徴と層厚から、B-1 地点の大里ローム層の上半部に対比することができる。このことから、この地点の砂礫層は A-2 地点、B-1 地点の砂礫層よりも新しいことを示している。

・ A-2 地点 分析結果を第 186 図に示す。分析した試料は砂礫層と関東ローム層の間に位置する地層である。水成堆積層の火山灰質砂層 (sp. 2, 4) は重鉍物比が 1.9 ~ 3.4% と小さい値となる。重鉍物組



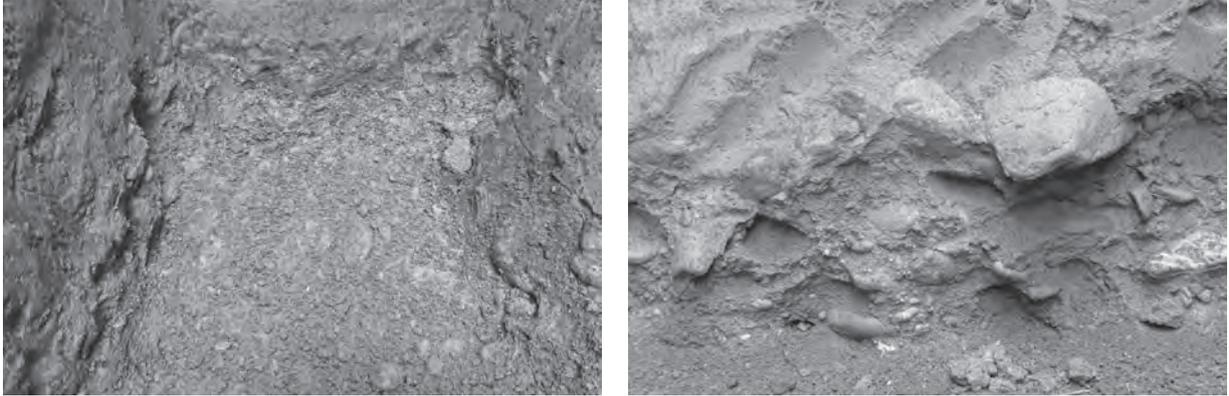
第 186 図 A-2 地点の鉱物分析

成は斜方輝石 (Hy)、単斜輝石 (Au)、角閃石 (Hor)、黒雲母 (Bio)、不透明鉱物 (Mt) が 20 ~ 45% となっている。軽鉱物中の火山ガラスは数%と少ない。火山灰質シルト質粘土層 (sp. 6, 7, 10) は重鉱物比は 1 ~ 7.3%と小さい値となる。重鉱物組成は斜方輝石 (Hy)、単斜輝石 (Au)、角閃石 (Hor)、黒雲母 (Bio)、不透明鉱物 (Mt) が 4 ~ 16%となりやや少ない。風化粒は 40 ~ 90%と全体に多い。軽鉱物中はガラス比が 1 ~ 2%と小さい値となる。軽鉱物中には sp. 10 中に平板状の火山ガラス (A型) を 16%ほど含んでいる。これが始良 T n (AT) 火山灰に対比できる可能性がある。

5. 礫種・礫径分析

(1) 分析試料と分析方法

分析試料は、第 181 図の B-1 地点と A-3 地点の 2 地点の第 183 図の地質柱状図に示す砂礫層か



第 187 図 A—3 地点の砂礫層（右図は最上部の拡大写真）



第 188 図 新期荒川扇状地礫及び現世荒川河川礫の採取地点

ら採取した。B—1 地点（試料番号 sp.0）および A—3 地点（試料番号 sp.0）の試料を採取した地層は、ともに長径 12～18 cm の大礫を含む円礫主体の砂礫層である。なお、A—3 地点の砂礫層の写真を第 187 図に示す。また、第 188 図（国土地理院 1/5 万地形図「熊谷」を使用）に示す植松橋下流およそ 850m 地点の荒川右岸に露出する新期荒川扇状地の砂礫層と現世河床礫についても礫を採取し、在家遺跡の礫の供給源を推定する上での試料として礫種・礫径分析を行った。なお、新期荒川扇状地の礫は 100 × 50 × 6 cm（縦×横×奥）、現世荒川河床礫は 100 × 30 × 6 cm の部分を採取した。

新期荒川扇状地の砂礫層は褐色で、長径 20～25 cm 大の大礫を含み、基質は砂で、淘汰の悪い、礫支持の円礫を主体とし、砂岩・石英閃緑岩は著しく風化してボロボロのものもある。

また、新期荒川扇状地の礫層の上に重なる現世河床礫は、灰色で、長径 15～35 cm 大の大礫・巨礫を含み、基質は砂で、円礫主体であるが著しい風化は受けていない。なお、新期荒川扇状地の礫層とその上に重なる現世河床礫の露頭写真を第 189 図に示す。分析方法として、まず試料を水で洗い出した後、全礫を順次、長径が 12.8 cm 以上、12.8～6.4 cm、6.4～3.2 cm、3.2～1.6 cm の礫をそれぞれ拾い上げ、3.2 cm 以上の礫について礫種組成分析を行った。なお、礫種の同定は主に拡大鏡を使用して肉眼で行い、表面が風化したものはハンマーで割り破断面を観察した。

（2）同定された礫種

・堆積岩類 堆積岩類は、「チャート」「砂岩」「礫岩」「シルト岩・泥岩」「凝灰岩」「黒色珪質泥岩」に区分した。砂岩は、灰色細粒のもの、中粒の白色粒子や黒色岩片を含むもの、粗粒の白色粒子や黒色岩



第 189 図 新期荒川扇状地の砂礫層 (A) と現世荒川河床礫 (B)

片を含むもの、数 mm ～ 1 cm 大の角礫状の黒色岩片を含むもの、特に白色粒子が目立つ凝灰質なもの、表面が黄橙色でざらざらの風化したものである。礫岩は、1 ～ 3 cm 大の黒色岩片を含む。また、他に A - 3 地点ではチャート岩片を含むものもあった。凝灰岩は、白色ないし緑灰色で細粒白色粒子を含むものや珪質緑灰色のものを一括した。黒色珪質泥岩は、硬く破断面が緻密で黒色ないし灰黒色である。

・火成岩類 火成岩類では、深成岩の「石英閃緑岩」が識別され、火山岩はなかった。石英閃緑岩は、ゴマ塩状で、表面がでこぼこのものや風化してぼろぼろに真砂化したものもある。

・変成岩類 変成岩類は、「ホルンフェルス」「緑色岩」「結晶片岩」に区分した。ホルンフェルスは、硬く破断面は泥質緻密で暗赤紫色である。緑色岩は、暗緑色で細粒である。結晶片岩は、石英岩脈にとりまなうものが多い。

(3) 礫種組成分析結果

長径 12.8 cm 以上、12.8 ～ 6.4 cm、6.4 ～ 3.2 cm 及び 3.2 cm 以上を一括した礫について、各試料の個数による礫種組成を第 62 表及び第 190 図に示す。

・B - 1 地点 長径 3.2 cm 以上の礫を一括してまとめてみると、砂岩 (57.0%)、チャート (21.3%) を主体とし、次に凝灰岩 (9.0%) がやや多く、また少量の礫岩 (3.6%)、シルト岩 (1.4%)、石英閃緑岩 (2.3%)、黒色珪質泥岩 (4.1%)、ホルンフェルス (0.9%)、結晶片岩 (0.5%) を含む。砂岩については、細粒・中粒のもの (81.7%) が主体とし、次に凝灰質のもの (10.3%) がやや多く、粗粒・含黒色岩片のもの・風化したものが少量である。また、6.4 ～ 3.2 cm の個数は 12.8 ～ 6.4 cm より多い。

・A - 3 地点 B - 1 地点と同様にまとめてみると、砂岩 (53.0%)、チャート (21.4%) を主体とし、次に凝灰岩 (10.2%) がやや多く、また少量の礫岩 (1.9%)、泥岩 (2.3%)、石英閃緑岩 (1.9%)、黒

第 62 表 礫種組成（個数）

B-1 地点

礫種（個数）	チャート	砂岩	礫岩	シルト岩	凝灰岩	石英閃緑岩	黒色珪質泥岩	ホルンフェルス	結晶片岩	合計
12.8 cm以上	1	4								5
12.8～6.4 cm	10	24	4	1	4	3	1	2	1	50
6.4～3.2 cm	36	98	4	2	16	2	8			166
3.2 cm以上	47	126	8	3	20	5	9	2	1	221

A-3 地点

礫種（個数）	チャート	砂岩	礫岩	泥岩	凝灰岩	石英閃緑岩	黒色珪質泥岩	ホルンフェルス	結晶片岩	合計
12.8 cm以上	2	4		0	0	0	0	1	0	7
12.8～6.4 cm	7	25			1	1	1	3		38
6.4～3.2 cm	37	85	4	5	21	3	5	5	5	170
3.2 cm以上	46	114	4	5	22	4	6	9	5	215

新期荒川扇状地

礫種（個数）	チャート	砂岩	礫岩	シルト岩	凝灰岩	石英閃緑岩	黒色珪質泥岩	結晶片岩	合計
12.8 cm以上	1	6					1		8
12.8～6.4 cm	5	26	1	7	4		3	4	52
6.4～3.2 cm	22	90	1	8	14		1	7	143
3.2 cm以上	28	122	2	15	18		5	11	203

現世荒川河床

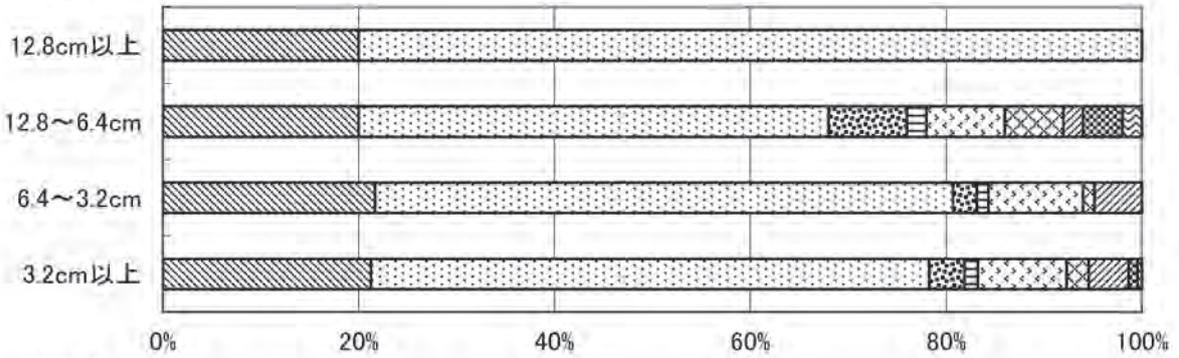
礫種（個数）	チャート	砂岩	礫岩	泥岩	凝灰岩	石英閃緑岩	黒色珪質泥岩	ホルンフェルス	緑色岩	結晶片岩	合計
12.8 cm以上		2				1		7			10
12.8～6.4 cm	10	29	1		3	3	4			3	53
6.4～3.2 cm	47	95	2	9	16		7	1	8	13	198
3.2 cm以上	57	126	3	9	19	4	11	8	8	16	261

色珪質泥岩（2.8%）、ホルンフェルス（4.2%）、結晶片岩（2.3%）を含む。砂岩については、B-1 地点と同様に、細粒・中粒のもの（74.4%）が主体とし、次に凝灰質（7.3%）のものがやや多く、粗粒・含黒色岩片のもの・風化したものが少量である。また、12.8～6.4 cmの個数は、6.4～3.2 cmより多い。

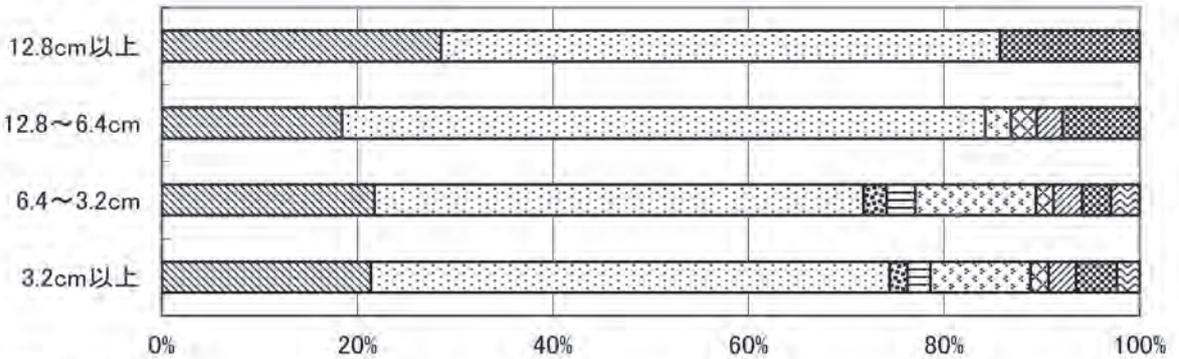
・新期荒川扇状地の礫層試料 B-1 地点と同様にまとめてみると、砂岩（60.1%）、チャート（13.8%）を主体とし、次に凝灰岩（8.9%）、シルト岩（7.4%）がやや多く、また少量の礫岩（1.0%）、ぼろぼろに風化した石英閃緑岩（2.5%）、黒色珪質泥岩（5.4%）、結晶片岩（1.0%）を含む。砂岩については、細粒・中粒のもの（68.0%）が主体とし、次に風化したもの（19.7%）が多く、凝灰質のもの（8.2%）がやや多く、粗粒・含黒色岩片のものが少量である。また、6.4～3.2 cmの個数は12.8～6.4 cmより多い。なお、12.8 cm以上の礫の長径は、15～25 cmである。

・現世荒川河床の礫試料 B-1 地点と同様にまとめてみると、砂岩（48.3%）、チャート（21.8%）を主体とし、次に凝灰岩（7.3%）、がやや多く、また少量の礫岩（1.1%）、泥岩（3.4%）、石英閃緑岩（1.5%）、黒色珪質泥岩（4.2%）、ホルンフェルス（3.1%）、緑色岩（3.1%）、結晶片岩（6.1%）を含む。砂岩については、細粒・中粒のもの（88.1%）が主体とし、次に風化したもの（8.7%）がやや多く、凝灰質のものが少量である。また、12.8～6.4 cmの個数は、6.4～3.2 cmより多い。なお、12.8 cm以上の礫の長径は、15～35 cmである。一般に礫種組成は、その調査地点の上流の基盤構成岩石を反映しているとされる。在家遺跡の更新世の礫層は、とも砂岩とチャートほかの堆積岩礫を主体とし、石英閃緑岩、結晶片岩を含み、安山岩などの火山岩類を含んでいない。この結果は現世荒川の河床礫と類似す

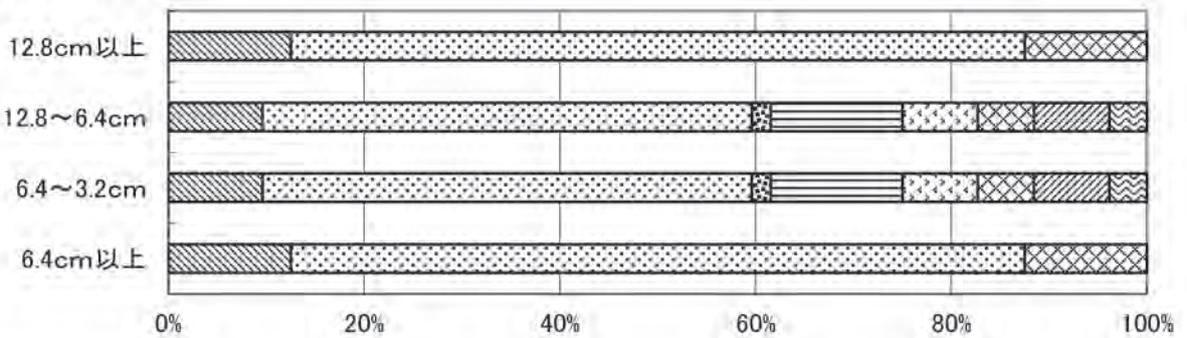
B-1 地点



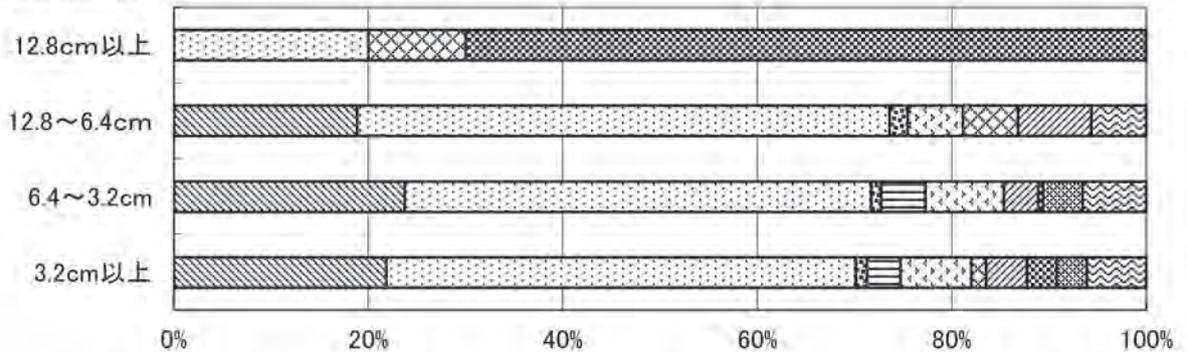
A-3 地点



新期荒川扇状地



現世荒川河床

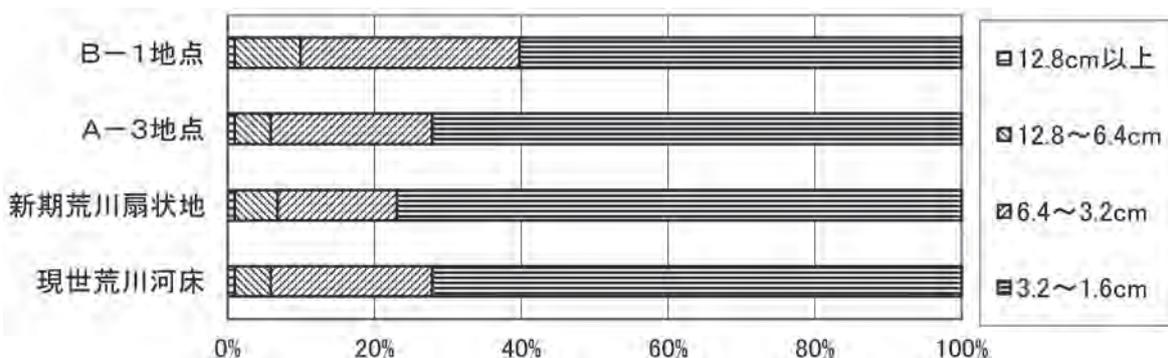


- ▣ チャート
- ▣ 砂岩
- ▣ 礫岩
- ▣ 泥岩
- ▣ 凝灰岩
- ▣ 石英閃緑岩
- ▣ 黒色珪質泥岩
- ▣ ホルンフェルス
- ▣ 緑色岩
- ▣ 結晶片岩

第 190 図 個数による礫種組成 (%)

第 63 表 礫径（長径）区分による個数分布（個）

礫径（長径）	12.8 cm以上	12.8 ～ 6.4 cm	6.4 ～ 3.2 cm	3.2 ～ 1.6 cm	合計
B-1 地点	5	50	166	335	556
A-3 地点	7	38	170	557	772
新期荒川扇状地	8	52	143	678	881
現世荒川河床	7	38	170	557	772



第 191 図 礫径（長径）区分による個数分布（%）

る。また、完新世の新期荒川扇状地の礫種組成も、同様に砂岩とチャートほかの堆積岩礫を主体とし、石英閃緑岩、結晶片岩を含み、安山岩などの火山岩類を含まず、現世荒川の河床礫と類似している。ただし、新期荒川扇状地の礫は、他の 3 試料と比べて砂岩、石英閃緑岩が著しく風化されていることが違う点であり、重要なことと考えている。以上の礫種組成から、在家遺跡の 2 層準及び新期荒川扇状地の礫は、ともに古荒川により運搬、堆積されたものと推定される。

（4）礫径（長径）区分による個数分布結果

礫の長径 1.6 cm 以上について、各試料の礫径区分による個数分布結果を第 63 表及び第 191 図に示す。全試料とも、長径 3.2 ～ 1.6 cm（最大 77.0%、最小 60.3%）の中礫を主体とし、次に 6.4 ～ 3.2 cm（最大 29.9、最小 16.2%）の中礫が多く、12.8 ～ 6.4 cm（最大 9.0%、最小 4.9%）の大礫は少なく、12.8 cm 以上の大礫は極少量である。なお、円磨度は、全試料とも全礫について円を主体とするものであった。礫の大きさについては、供給河川の水流の強さを反映しているものと考えられる。礫径組成結果から、B-1 地点では、6.4 ～ 3.2 cm 礫、12.8 ～ 6.4 cm 礫がやや多い傾向が見られる。そこで、これらの礫を運搬した水流の強さは、A-3 地点より大きかったと推定される。これは、砂礫層の形成年代がウルム氷期の寒冷期と考えられることから、海水準は低く、古荒川の水流が速くなっていたためであろう。

6. 珪藻分析

珪藻分析を実施した 1 つは、A-3 地点で、この地点は更新世の谷地形上に位置している。この地点の砂礫層上には、関東ローム層が分布し、それが谷状にたわんで堆積していた。これに沿うように、完新世の表土層も谷状に形成されていた。そこで、この地点の関東ローム層上の表土層の最下部が、どのような環境で堆積したのか知るために分析試料（sp. 6）とした。分析の結果は、珪藻遺骸の含有殻数が少なかった。同定できた珪藻遺骸は *Hantzschia amphioxys* 13 個、*Melosira gullauminii* 1、*Navicula byophyila* 6、*Navicula perpusilla* 6、*Navicula mutica* 7、*Nitzschia denticula* 2、*Pinnularia subcapitata*

12、*Stauroneis kriegeri* 1、*Fragilaria* var. *vaucheriae* 1、*Cymbella turgidula* 2、*Cocconeis placentula* 2、*Nitzschia hantzschiana* 3であった。全珪藻殻数が少なかったが、86%が陸生珪藻であった。珪藻という種類は淡水から海水の水域に生育する水生種が多く、一部が陸上の湿った土壌やコケなどに付着生育する陸生種もある。本地点の陸生種を詳細にみた割合は、濡れている環境が19%、湿っている環境が40%、やや乾いている環境が41%となる。以上のことから、いつも水があった環境とは考えられず、この谷には常時、水域はなかったといえる。また、共産する水生種は流水に多いものである。これは、土壌形成の際にこの上位の灰色粘土層が混入した可能性が高いが、近くに小水流があった可能性も否定できない。

珪藻分析をしたもう1つは、第181図のC地点灰色シルト質粘土層である。この試料も含有珪藻殻数が少なく、種の同定が不可能な破片が多く含まれていた。同定できた珪藻遺骸は *Cocconeis placentula* 1個、*Cymbella minuta* 1、*Cymbella turgidula* 4、*Gomphonema intricatum* var. *pumilum* 1、*Gomphonema minutum* 2、*Gomphonema paruvulum* 2、*Navicula pupula* 1、*Nitzschia hantzschiana* 3、*Synedra ulna* 21、*Pinnularia* spp. 10、*Eunotia* sp. 1、*Hantzschia ampyoxys* 4、*Navicula mutica* 3、*Pinnularia subcapitata* 1であった。このうち65%は淡水生種の河川中～下流域の流水生種である。そのほかのものは酸性湿地種が20%、陸生種が15%という組成であった。産出種の内 *Cymbella minuta*、*Gomphonema intricatum* var. *pumilum*、*Gomphonema minutum* は小河川の上流域に多い種類で注目される。本試料は流水性種が多いことから当時の河川の洪水によってもたらされた堆積物であると考えられる。随伴種として産出する酸性湿地種、陸生種の珪藻は、洪水後のこの水域に生育した種類とも考えられる。

7. まとめ

在家遺跡内の地質調査の結果、谷地形が認められた。その1つが、更新世のもので櫛引台地の（旧期荒川）扇状地礫層などの上に堆積している砂礫層である。その時期は、大里ローム層上部の後半になるものと考えられる。なお、この地点では、表土層も谷状にたわんで形成されている。この表土層基底付近の珪藻分析では、この谷には常時水がなかったと推定できる。もう1つの谷は、完新世（中世以降のもの）のものであり、谷の深さも30 cm前後と規模が小さなものである。この谷には遺跡全体を覆っている洪水堆積層も認められ、この層中からは流水性の珪藻が発見されている。

更新世の2時期の砂礫層は、いずれも荒川がその供給河川であることを示した。また、礫径分析から、古い扇状地礫層の方が、速い（強い）水流によって堆積したものであることを示し、この扇状地形成期がかなり寒冷であることを推定した。砂礫層上には火山灰質の砂層と泥層が順次堆積しており、その上部にのる軽石層をAs-YP（浅間板鼻黄色軽石層）とした。また、その上に、分布する関東ローム層は大里ローム層の上部であることを示した。

引用文献

堀口萬吉（1986）北武蔵台地の地質，日本の地質3「関東地方」，172-173．共立出版

2 在家遺跡における地中レーダー探査

(1) 探査の経緯

在家遺跡における地中レーダー探査は出土遺構の状況から、その重要性を鑑み熊谷市在家遺跡調査会の依頼により株式会社 中野技術が平成 25 年 9 月 2 日～平成 25 年 9 月 30 日の期間で実施した。今回の地中レーダー探査は、掘立柱建物遺構や区画溝遺構の規模や範囲を確認することを目的に行った。報告については、探査後に提出された報告書に加筆、修正を加えたものである。

(2) 地中レーダー探査について

マイクロ波をアンテナから地中へ送り込み、それが再び地上へ戻ってきたものを受信する方法。電波は、主として地面の乾湿の度合い即ち含水状態により到達深度と伝搬速度が異なる。また、地中での挙動である反射、屈折、回折、減衰などの状況も違う。遺跡探査では、そのような差異の生じることを利用して土壌を判別、遺構や遺物の存在や規模を限定しようとするものである。しかし、反射の強弱からだけでは遺構の性格を決められず、またその材質までの特定はされない。

地中レーダーの有効探査深度は、使用するアンテナによって異なる。周波数により特徴があり、発掘調査により把握した状況からアンテナを選定した。

測定は 50 cm 間隔に設定したメジャーに沿ってアンテナを走査し地層の擬似的な断面画像を得た。この得られた各測線における断面画像の中から、ある一定の深さにあるデータを取り出し平面に置く。断面は時間で記録されており、その中から特定の時間幅のデータを切り取る場所から、この方法は タイムスライス (TimeSlice) (以下 T S) と呼ばれ平面図として見ることができる。また、遺構の深さについては、断面画像を観察することが必要だが、実際の深さは、電波の土中における電搬速度が分からないと決められない。経験的におよそ 3 cm/ns という速度が多いので、ここでも便宜的にその値を用いて記述することにした。例えば、20ns の深さにあれば、 20×3 cm という掛算で約 0.6 m ということになる。

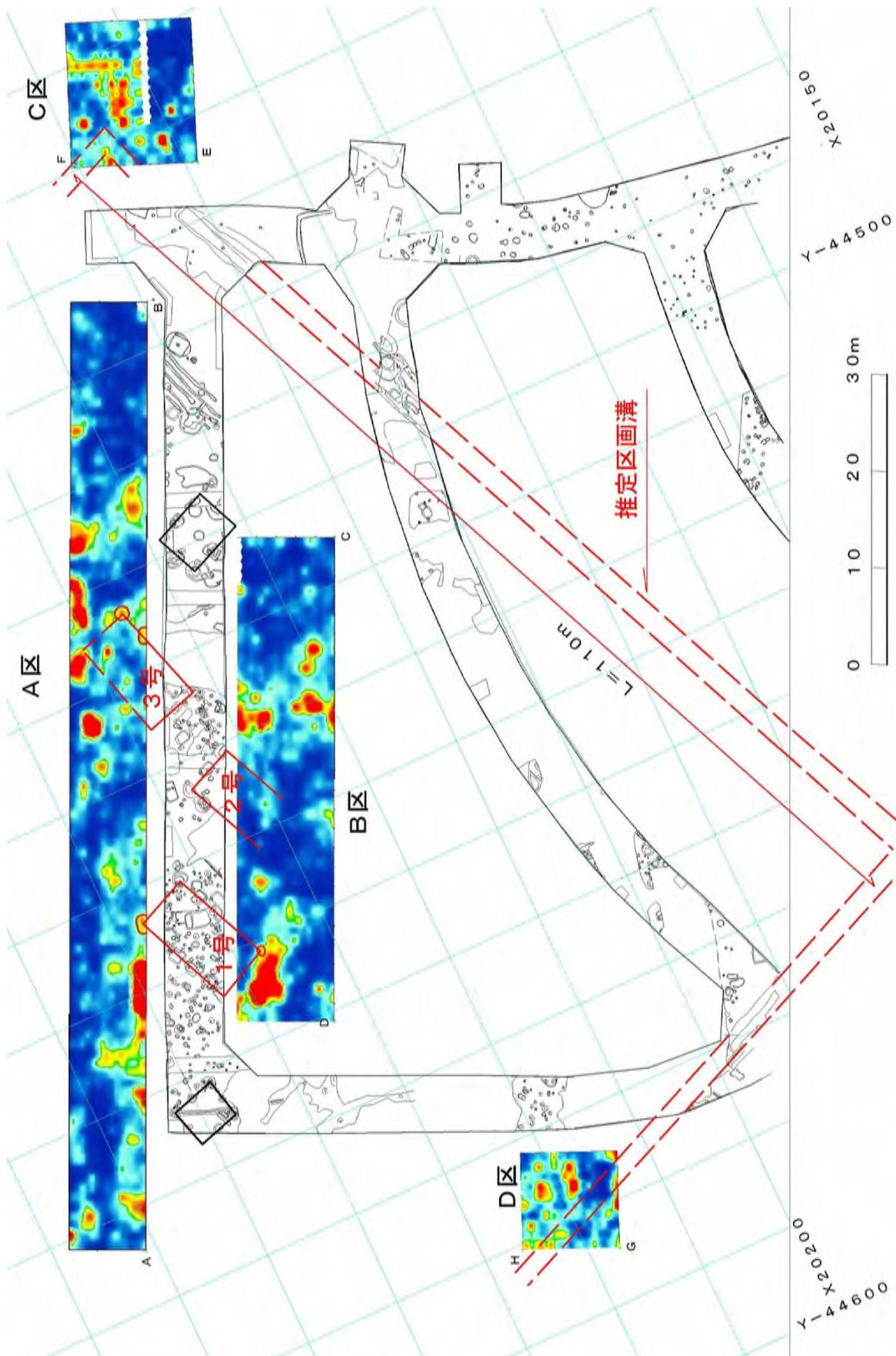
- 使用機器 コントロールユニット：SIR3000 (G. S. S. I. 社製)
- アンテナ：270MHz アンテナ (G. S. S. I. 社製)
- データ解析：GPR-SliceV7 (Dean Goodman 氏開発)

(3) 探査区域の設定と測線長

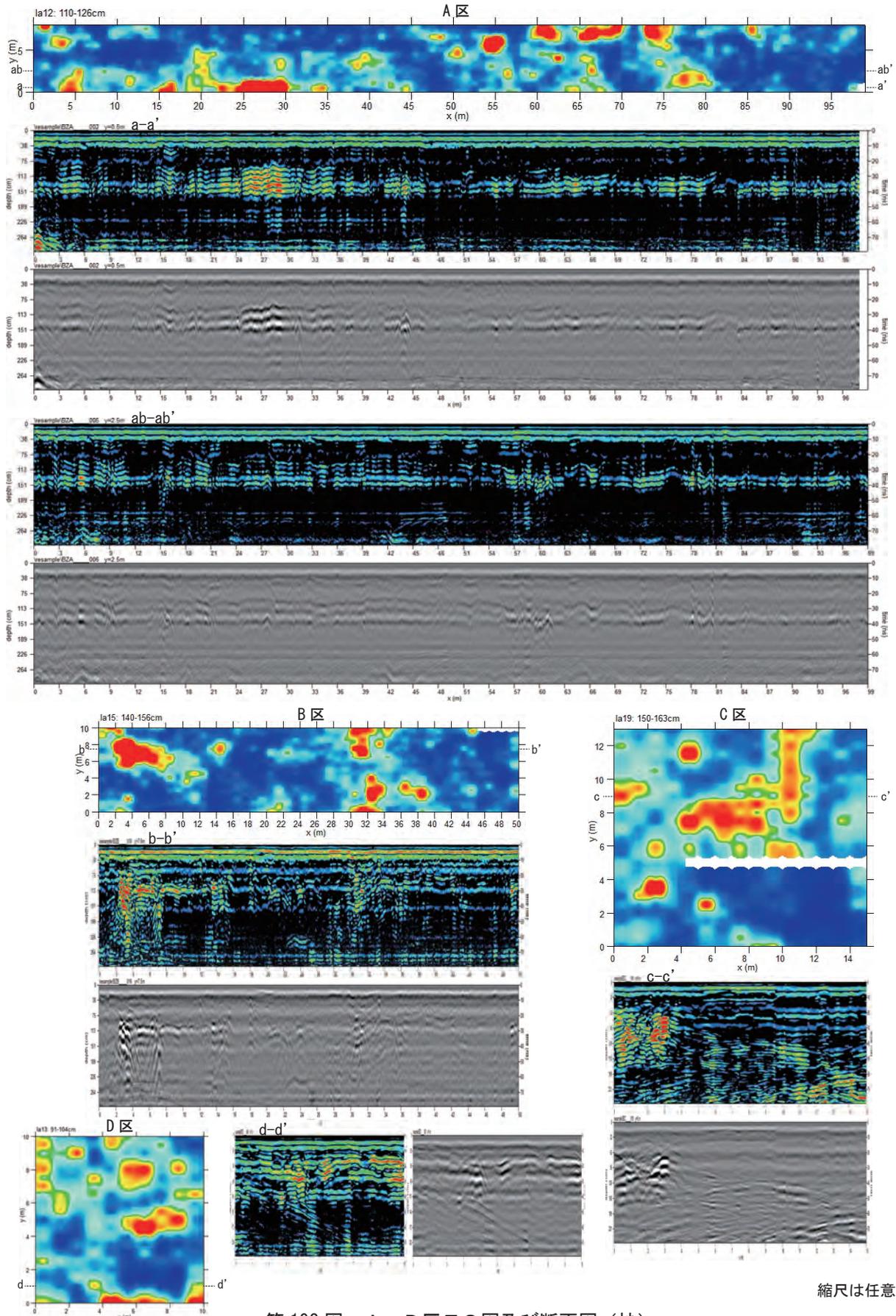
探査区域は、A 区、B 区は発掘調査区域に沿うように設定し、C 区、D 区は区画溝の想定される範囲に設定した。(探査位置図参照)

・各区の探査範囲及び測線長

A 区	東西	99 m	南北	8 m	総測線数	17 線	測線長	1680 m
B 区	東西	50 m	南北	10 m	総測線数	21 線	測線長	1040 m
C 区	東西	15 m	南北	13 m	総測線数	27 線	測線長	372 m
D 区	東西	10 m	南北	10 m	総測線数	21 線	測線長	210 m



第192図 地中レーダー探査遺構想定図



第 193 図 A~D区 TS 図及び断面図 (抄)

(4) 探査結果

① A区、B区

A区・B区は掘立柱建物遺構を中心に検討した。発掘調査の遺構測量図面とTS図を合わせ、発掘調査で検出された柱穴遺構と探査で得られた結果を基に建物の規模を想定し、その結果いくつか柱穴と思われる個所が見つかった。(第192図)

便宜的に、掘立柱建物に1号、2号、3号と番号をつけ推定規模を下記に記す。

規模確認に使用したTS図は、A区：1 a 12.110 - 126 cm、B区：1 a 15.140 - 156 cmを使用した。

- ・1号は東西11m、南北5.9mを測る
- ・2号は東西の規模については反射が認められず大きさは不明である。南北は発掘調査で確認されている柱穴間5.4mで良いと思われる。
- ・3号は東西10.9mを測る。

南北は反射が認められず不明である。この周辺は強い反射が認められないのでカクランの可能性があるのでないか。

② C区、D区

C区、D区は区画溝遺構の位置を検討してみた。C区は想定位置に弱い反射であるが認められる。D区は発掘調査で検出された区画溝の延長線上をTS図で検討してみたが、溝状遺構の反射は見いだせなかった。

発掘調査で検出された区画溝遺構とC区の反射地点図上で図示し、溝の中心間を測定した結果、L = 110mを測る。当時の一町が約108mを考慮すれば、C区の反射地点から北へ区画溝が曲がる可能性があると考えられる。

C区、D区で使用したTS図はそれぞれ1 a 19.150 - 163 cm、1 a 13.91 - 104 cmを使用した。

(5) 小結

本調査地点について、上層は全面にわたって攪乱され、確認面までその影響を受けている範囲が広く、探査の精度を落としていることは否めない。しかし、上記の検討結果により、特定ではないがA・B区の掘立柱建物跡の規模やC区の区画溝の屈曲箇所を検出など、遺構存在の可能性が示された。特定には実際の発掘調査が必要であることはいうまでもないが、今後の調査・保護の指標として成果があったものとする。

写 真 图 版



航空写真 (南より)

図版 2



前期調査遠景（南から）



後期調査遠景（北西から）



B-15 ~ F-20 グリッド付近空中写真 (上が北東)



I-30 ~ L-23 グリッド付近空中写真 (上が北西)



R-18 ~ T-15 グリッド付近空中写真 (上が北西)

図版 4



Z-17 ~ 19・AA-13 ~ 19・AB-13 ~ 18 グリッド付近空中写真 (上が北)



S-16 ~ Y-8 グリッド付近空中写真 (上が北)



K-13 ~ Q-5 グリッド付近空中写真 (上が北西)



第1号竖穴建物跡（東から）



第1号竖穴建物跡カマド



第1号竖穴建物跡遺物出土状況1（南東から）



第1号竖穴建物跡遺物出土状況2（東から）



第1号竖穴建物跡遺物出土状況3（南から）



第1号竖穴建物跡遺物出土状況4（南東から）



第2号竖穴建物跡（東から）



第3号竖穴建物跡（北から）

図版 6



第4号竖穴建物跡（西から）



第4号竖穴建物跡遺物出土状況1（東から）



第4号竖穴建物跡遺物出土状況2（北西から）



第4号竖穴建物跡遺物出土状況3（南から）



第5号竖穴建物跡（北から）



第5号竖穴建物跡遺物出土状況



第6号竖穴建物跡（北から）



第6号竖穴建物跡遺物出土状況（北から）



第7号竪穴建物跡（北から）



第8号竪穴建物跡（南から）



第8号竪穴建物跡カマド



第8号竪穴建物跡遺物出土状況1（西から）



第8号竪穴建物跡遺物出土状況2（西から）



第8号竪穴建物跡遺物出土状況3（西から）



第9号竪穴建物跡（北から）



第10号竪穴建物跡（南から）

図版 8



第 11 号 竪穴建物跡 (南東から)



第 11 号 竪穴建物跡カマド



第 11 号 竪穴建物跡遺物出土状況 1 (南東から)



第 11 号 竪穴建物跡遺物出土状況 2 (南東から)



第 12 号 竪穴建物跡 (南東から)



第 12 号 竪穴建物跡遺物出土状況 (南東から)



第 12 号 竪穴建物跡カマド 1 (南東から)



第 12 号 竪穴建物跡カマド 2 (上が南東)



第 13・14 号竪穴建物跡（南東から）



第 13 号竪穴建物跡遺物出土状況 1（南西から）



第 13 号竪穴建物跡遺物出土状況 2（南から）



第 13 号竪穴建物跡遺物出土状況 3（東から）



第 14 号竪穴建物跡遺物出土状況 1（南東から）



第 14 号竪穴建物跡遺物出土状況 2（南東から）



第 15 号竪穴建物跡（南東から）



第 15 号竪穴建物跡遺物出土状況（南東から）

図版 10



第1号掘立柱建物跡（南から）



第2号掘立柱建物跡（北西から）



第5・6・7号掘立柱建物跡1（北西から）



第5・6・7号掘立柱建物跡2（北西から）



第5・6・7号掘立柱建物跡3（南西から）



第3号掘立柱建物跡（北西から）



第8号掘立柱建物跡1（北東から）



第8号掘立柱建物跡2（北西から）



第 11 号掘立柱建物跡 1 (北西から)



第 11 号掘立柱建物跡 2 (南東から)



第 11 号掘立柱建物跡 P2 遺物出土状況(北西から)



第 11 号掘立柱建物跡 P12 遺物出土状況(北西から)



第 9 号掘立柱建物跡 (南東から)



第 12 号掘立柱建物跡 (北から)



第 13 号掘立柱建物跡 (北東から)



第 14 号掘立柱建物跡 (上が北西)

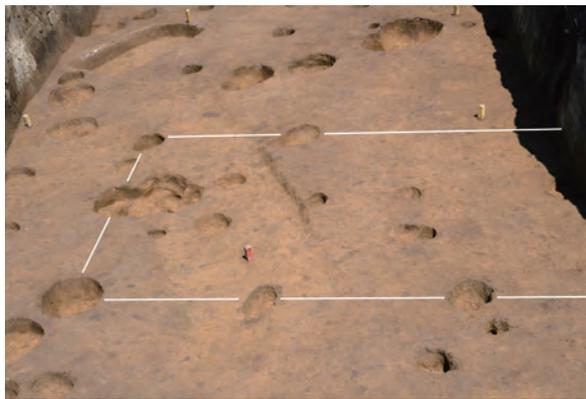
図版 12



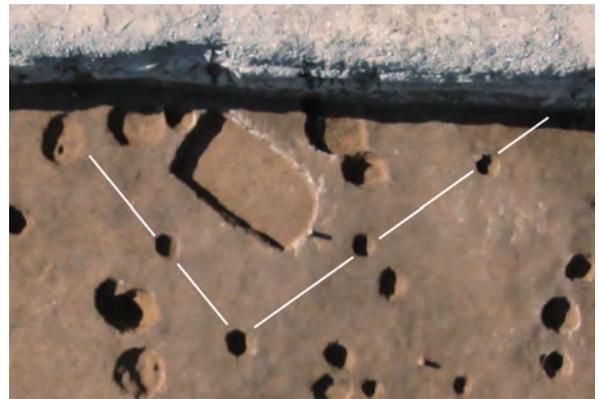
第 16 号掘立柱建物跡検出状況（南から）



第 16 号掘立柱建物跡（南から）



第 17 号掘立柱建物跡（南西から）



第 18 号掘立柱建物跡（上が北西）



第 19・20・21 号掘立柱建物跡検出状況（北西から）



第 19 号掘立柱建物跡 (南東から)



第 20 号掘立柱建物跡 (南東から)



第 21 号掘立柱建物跡 (南東から)



第 22 号掘立柱建物跡検出状況 (南西から)



第 22 号掘立柱建物跡 (上が北)



第 22 号掘立柱建物跡 P2 遺物出土状況 (北東から)



第 1 号溝跡・第 1 号畠跡 (南から)



第 2 号溝跡 (南から)

図版 14



第5・6・7号溝跡 I・J-28・29 グリッド付近 (南西から)



第5・6・7号溝跡 K・L-24・25 グリッド付近 (北東から)



第3号溝跡（西から）



第5・6・7号溝跡土層断面（南西から）



第5・6・7号溝跡遺物出土状況1（南から）



第5・6・7号溝跡遺物出土状況2（北から）



第5・6・7号溝跡遺物出土状況3（北東から）



第5・6・7号溝跡遺物出土状況4（北から）



第8・9・10号溝跡・第1号土取り遺構（北から）

図版 16



第 8・9・10 号溝跡遺物出土状況 1 (東から)



第 8・9・10 号溝跡遺物出土状況 2 (南から)



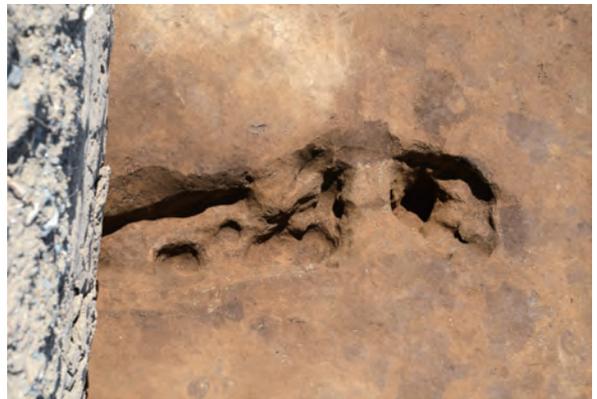
第 8・9・10 号溝跡遺物出土状況 3 (北から)



第 11 号溝跡・第 3 号性格不明遺構 (北東から)



第 11 号溝跡遺物出土状況 (南東から)



第 12 号溝跡 (北から)



第 13 号溝跡 (西から)



第 15 号溝跡 (北西から)



第 16 号溝跡 (北東から)



第 17 号溝跡・第 5 号土取り遺構・第 54 号土坑(西から)



第 18・19 号溝跡・第 7 号性格不明遺構 (北から)



第 20・21 号溝跡 (南から)



第 21 号溝跡 (南東から)



第 21 号溝跡遺物出土状況 (南から)



第 22 号溝跡 (北西から)



第 23 号溝跡 (北から)



第1号井戸跡（北から）



第2号井戸跡（東から）



第3号井戸跡（東から）



第4号井戸跡（東から）



第1号土器廃棄遺構上層遺物取上前（北西から）



第1号土器廃棄遺構上層遺物取上後（東から）



第2号土器廃棄遺構（南から）



第2号土器廃棄遺構遺物出土状況（西から）



第3号土器廃棄遺構（東から）



第3号土器廃棄遺構遺物出土状況（北から）



第4号土器廃棄遺構（南から）



第5号土器廃棄遺構（南東から）



第6号土器廃棄遺構（東から）



第6号土器廃棄遺構遺物出土状況1（西から）



第6号土器廃棄遺構遺物出土状況2（東から）



第7号土器廃棄遺構（南から）



第7号土器廃棄遺構（南西から）



第7号土器廃棄遺構遺物出土状況（北東から）



第1号土取り遺構（北から）



第2・4号土取り遺構（北から）



第3号土取り遺構（東から）



第5号土取り遺構（西から）



第6号土取り遺構（南東から）



第2号畠跡（西から）



第1号性格不明遺構（西から）



第2号性格不明遺構・第15号掘立柱建物跡(南東から)



第4号性格不明遺構（南西から）



第5号性格不明遺構（北から）



第5号性格不明遺構焼土・遺物検出状況（北から）



第6号性格不明遺構1（北から）



第6号性格不明遺構2（上が西）



第7号性格不明遺構（西から）



第8号性格不明遺構（東から）



第1号土坑（西から）



第3号土坑（北から）



第3・4号土坑（南から）



第4号土坑焼土ブロック



第5号土坑（南から）



第6号土坑（西から）



第7号土坑（北から）



第9号土坑（南西から）



第12号土坑（北から）



第13号土坑（東から）



第13号土坑粘土 1



第13号土坑粘土 2



第15号土坑（東から）



第16号土坑（北から）

図版 24



第 17 号土坑 (北から)



第 18 号土坑 (東から)



第 19 号土坑 (南から)



第 20・21 号土坑 (南から)



第 22 号土坑 (南から)



第 23 号土坑 (北から)



第 24 号土坑 (南から)



第 24 号土坑遺物出土状況



第 26 号土坑 (東から)



第 27 号土坑 (西から)



第 28 号土坑 (北東から)



第 29 号土坑 (北から)



第 29 号土坑遺物出土状況 (南から)



第 30 号土坑 (北から)



第 31 号土坑 (西から)



第 32 号土坑 (東から)



第 33 号土坑 (東から)



第 34・36 号土坑 (東から)



第 35 号土坑 (南から)



第 37 号土坑 (東から)



第 38 号土坑 (東から)



第 39 号土坑 (北から)



第 40・41 号土坑 (南から)



第 42 号土坑 (北から)



第 43 号土坑 (南西から)



第 44 号土坑 (北から)



第 48 号土坑 (東から)



第 48 号土坑検出状況



第 49 号土坑 (西から)



第 51 号土坑 (東から)



第 52 号土坑 (北から)



第 55 号土坑 (西から)

图版 28



第 20 图 1



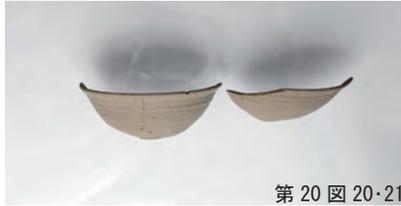
第 20 图 2



第 20 图 4



第 20 图 6



第 20 图 20-21



第 20 图 23



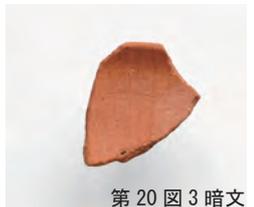
第 20 图 5-7-11-16、12-15-17-18、19-22-24-25-27-26



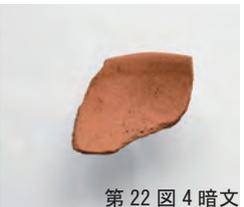
第 20 图 28-35、36-37-39-40、38-41-44、45-47-50



第 20 图 48



第 20 图 3 暗文



第 22 图 4 暗文



第 23 图 1-3



第 22 图 1-3、7-6-8、9-11



同下内面



第 23 图 2



第 22 图 5



第 25 图 2-4、6-9



第 25 图 1



第 25 图 5



第 27 图 1-2



第 29 图 5



第 29 图 7



第 29 图 8



第 29 图 1~4、6-9-10、11~13



第 31 图 1-2



同下暗文



第 33 图 1



第 33 图 2



第 33 图 3



第 33 图 11



第 33 图 12



第 33 图 14



第 33 图 4~8、9-10-13-15-16、17-18-20-21



第 33 图 22-27、19-23-30-28、29-31



第 33 图
24-25、26



第 37 图 1



第 37 图 2

图版 30



第 37 图 3



第 37 图 4



同下暗文



第 37 图 6·8 暗文



第 37 图 7



第 37 图 5



第 37 图 9



第 37 图 10



第 37 图 11



第 37 图 12



第 37 图 13



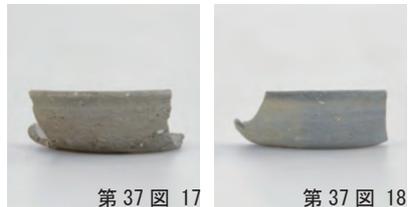
第 37 图 14



第 37 图 15



第 37 图 16

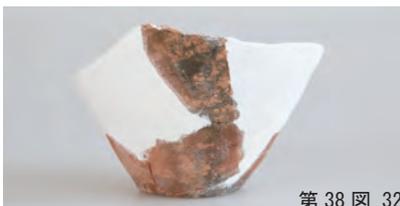


第 37 图 17

第 37 图 18



第 37 图 19



第 38 图 32



第 38 图 33



第 37 图 20 ~ 22、23 ~ 25、26 ~ 29



第 38 图 30·35、34·31



第38图 37、36·39·41、40·38



第40图 1、2·3 暗文



第40图 1



第40图 2



第40图 3



第40图 7



第40图 4



第40图 8



第40图 9



第40图 5·6·10·11、12~16、17~19



第40图 20·22、23·24



第41图 37·38、39



第40图 25·27·28·30~33、34~36·第41图 40~42、43~47

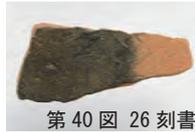
图版 32



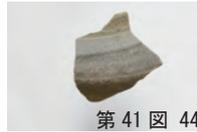
第 40 图 21



第 40 图 29



第 40 图 26 刻書



第 41 图 44



同下暗文



第 43 图 2 ~ 4 暗文



第 43 图 4



第 43 图 7



第 43 图 1



同上底面



第 43 图 2



第 43 图 3



第 43 图 5



第 43 图 6



第 43 图 8



第 43 图 9



第 43 图 11



第 43 图 18



第 43 图 19



第 43 图 20



第 43 图 29



第 43 图 30



第 43 图 32



第 43 图 10·12·13、14·15、16·17·21



第 43 图 23·24·26、27、25· 第 45 图 2· 第 43 图 28



第 44 图 1



第 45 图 1



第 44 图 1·3、5·4



同下内面



第 47 图 2



第 47 图 1



第 47 图 3



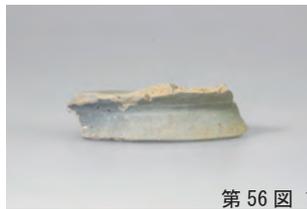
第 47 图 4·6·7、8、10·9·5



※第 49 图 1



第 48 图 1



第 56 图 1



第 56 图 3



第 56 图 6



第 56 图 8



第 56 图 9

图版 34



第56图 11



第56图 12



同下暗文



第56图 13



第56图 15



第56图 14



第56图 23



第56图 24



第56图 25



第56图 27



第56图 2·4·5·7·10·16、17~21、22、26·28·29、30·31·33



第58图 1·2·4·7、8·16~18、19~21



第58图 3



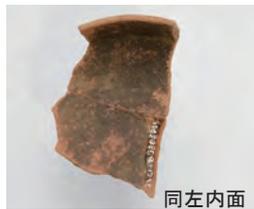
第58图 5



第58图 6



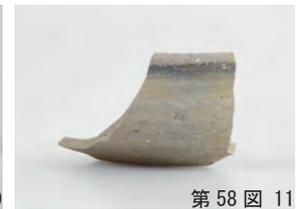
第58图 9



同左内面



第58图 10



第58图 11



第58图 12



第58图 13



第58图 14



第 58 图 15



第 58 图 22



第 60 图 1·2、3·5



第 60 图 4



第 60 图 6



同下暗文



同下暗文



第 63 图 3



第 63 图 1



第 63 图 2



第 63 图 4



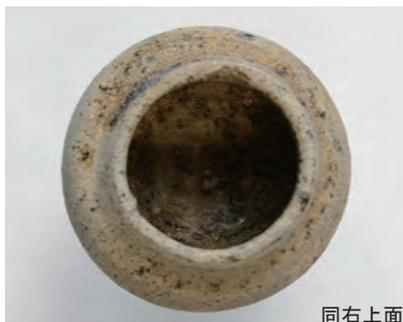
第 63 图 6·5



第 63 图 7



第 63 图 8



同右上面



第 63 图 9



同左底面



同右上内面 1



同左上内面 2

图版 36



第 64 图 1·2·第 65 图 1·第 67 图 1、
第 67 图 3·4、第 70 图 1·2·第 75 图 1·2



第 67 图 3



第 79 图 1



第 84 图 2·3、
4



第 83 图 1·2



第 84 图 1



第 85 图 1



第 85 图 2



第 85 图 3



第 86 图 1·2·11、3·4、5~7



第 86 图 1



第 86 图 2



第 86 图 3



第 86 图 4



第 86 图 5



第 86 图 6



第 86 图 8



第 86 图 9



第 86 图 10



第 86 图 11



第 86 图 12



第 86 图 13



第 86 图 15



同下内面



同下上面



第 86 图 16



第 86 图 17



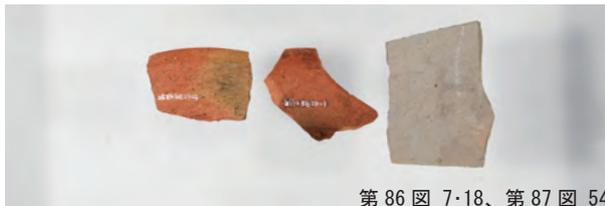
第 86 图 14



第 86 图 46



第 86 图 19



第 86 图 7·18、第 87 图 54



第 86 图 20 ~ 23·25、26 ~ 29、30 ~ 34



第 86 图 35 ~ 38·40、39·42 ~ 44·41·45、47 ~ 50



第 87 图 51 ~ 53·55、56 ~ 58

图版 38



同下内面



第 90 图 5



第 90 图 3-4、2



第 90 图 1



第 92 图 1



第 92 图 2



第 92 图 3



第 92 图 4



第 92 图 6



第 92 图 5



第 92 图 7



第 92 图 8



第 92 图 9



第 92 图 11



第 92 图 12



第 92 图 21



第 92 图 20



第 92 图 13 ~ 16、17 ~ 19、10



同下内面



第 95 图 3



第 95 图 1



第 95 图 4



第 95 图 5



第 95 图 7



第 95 图 9



第 95 图 2·6·8



第 97 图 1~4、5~7



第 99 图 1~3·6、4·5、7·8



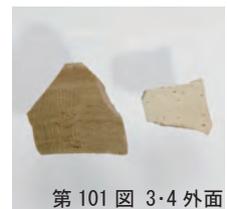
第 101 图 1



第 101 图 2



第 102 图 1·2



第 101 图 3·4 外面



第 101 图 3·4 内面



第 104 图 1



第 104 图 2



第 104 图 3



第 104 图 5



第 104 图 4~6、7·8、9·10



第 104 图 1·2、3 内面

图版 40





第 106 图 33



第 106 图 34



第 106 图 35



第 106 图 36



第 106 图 37



第 106 图 38



第 106 图 39



第 106 图 40



第 106 图 41



第 106 图 42



第 107 图 43-44-46-47、48 ~ 52、53 ~ 57、58-60-61-59 暗文



第 107 图 44



第 107 图 46



同下暗文



第 107 图 43



第 107 图 47



第 107 图 45



第 107 图 48



第 107 图 49



第 107 图 50



第 107 图 51



第 107 图 52



第 107 图 53



第 107 图 54



第 107 图 55



第 107 图 56



第 107 图 57

图版 42



第 107 图 59



第 107 图 60



第 107 图 61



第 107 图 62-63



第 108 图 76



第 108 图 77



第 108 图 78



第 108 图 79



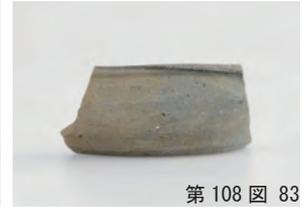
第 108 图 80



第 108 图 81



第 108 图 82



第 108 图 83



第 108 图 84



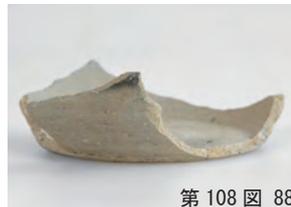
第 108 图 85



第 108 图 86



第 108 图 87



第 108 图 88



第 108 图 89



第 108 图 93



第 108 图 90



第 108 图 91



第 108 图 92



第 108 图 96



第 108 图 94



第 108 图 98-101、100



第 108 图 95



第 108 图 97



同下内面



第 107 图 65·66·64、67·68、73 ~ 75



第 108 图 99



第 110 图 1·2、4·3 暗文



同上底面



第 110 图 1



第 110 图 2



第 110 图 3



第 110 图 4



第 110 图 5



第 110 图 6



第 110 图 7



第 110 图 8



第 110 图 9



第 110 图 10



第 110 图 11



第 110 图 12

图版 44



第110图 13



第110图 14



第110图 15



第110图 16



第110图 17



第110图 18



第110图 19



第110图 20



第110图 21



第110图 22



第110图 23 ~ 26、27·30、28·29



第112图 1·2、3暗文



第112图 1



第112图 2



第112图 3



第112图 4



第112图 5



第112图 6



第112图 7



第112图 8



第112图 9



第 112 图 10·11、12



第 113 图 1



第 113 图 4



第 113 图 1~3、5



第 114 图 1·2



第 114 图 3



同下暗文



第 117 图 1



同下暗文



第 115 图 2



第 115 图 1



第 117 图 2



第 117 图 4



第 117 图 9



第 117 图 3·5·6、8·11·10·7

图版 46



第 120 图 1



第 120 图 2



第 122 图 1



第 127 图 1



同下内面



第 131 图 4



第 133 图 1



第 125 图 1·3·2·6·10、4·5、7~9



第 129 图 1



第 129 图 8



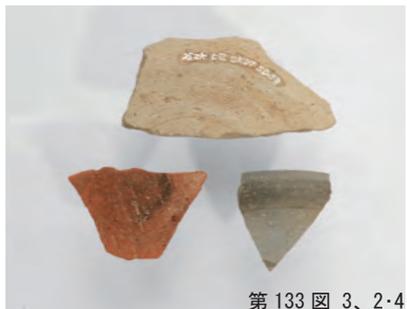
第 129 图 2~4、5~7



第 131 图 1~3



同左暗文



第 133 图 3、2·4



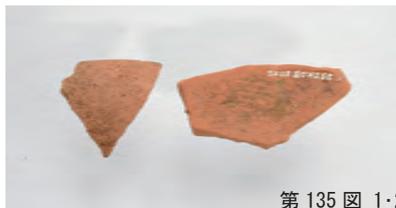
第 131 图 5



第 134 图 1



第 134 图 2



第 135 图 1·2



第 135 图 3



第 144 图 10-6



第 145 图 17-1



第 145 图 25-5



第 145 图 28-1



第 145 图 30-2



第 145 图 38-2·38-3、38-4·38-5



第 145 图 38-1



第 145 图 38-5



第 144 图 1-1·1-2·2-1·3-1·3-2·3-3·3-4·3-5、
3-6·3-7·3-8·3-9·6-1·7-1·7-2、7-3、8-1·5-1



第 144 图 10-1·10-2·10-3、10-4·10-5·10-7、
10-8·10-9·10-10·10-10-11· 第 145 图 14-1



第 145 图 25-1·25-2·25-4·28-2·29-1·30-1、
25-3·25-6·29-2、25-7



第 168 图 151-1·199-1·291-1·272-1、292-1·299-1·367-1、
389-1·435-1·1139-1·1007-1

图版 48



第 168 图 401-1·401-2



第 169 图 5·6、7~9 暗文



第 169 图 4



第 169 图 5



第 169 图 6



第 169 图 7



第 169 图 8



第 169 图 9



第 169 图 19



第 169 图 20



第 169 图 21



第 169 图 26



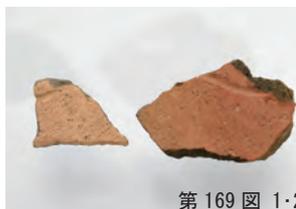
第 169 图 32



第 169 图 39



第 169 图 52



第 169 图 1·2



第 169 图 53



同左



第 169 图 3·10~13、14~18、22~25、27~29



第 169 图 30·31·33·34、35 ~ 38、40·43 ~ 45、42·41·46



第 169 图 47 ~ 50、51·54· 第 170 图 60· 第 169 图 56·55、57 ~ 59



第 170 图 61·62·64、63、65 ~ 68



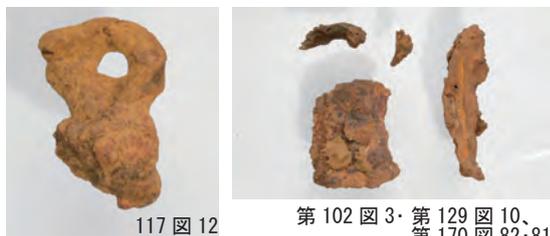
第 170 图 69·72·70·71、72·83、84 ~ 86



第 20 图 49· 第 22 图 12· 第 38 图 42 ~ 44· 第 170 图 74·75、76· 第 144 图 3·8·3·9· 第 144 图 10·8·10·9· 第 170 图 77· 第 74 图 1· 第 168 图 61-1



第 27 图 3· 第 38 图 45· 第 129 图 9· 第 169 图 78 ~ 80



117 图 12

第 102 图 3· 第 129 图 10、第 170 图 82·81



第 25 图 10· 第 41 图 48·49、第 45 图 3、第 43 图 31· 第 131 图 6· 第 56 图 32



第 145 图 13-1· 第 90 图 7·6、第 99 图 9· 第 101 图 5· 第 133 图 5· 第 77 图 1

図版 50

朱書・刻書・パレット



第 174 図① 補正前



同左 補正後



※第 174 図③外面 補正前



※同左 補正後



※第 174 図③内面 補正前



同左 補正後



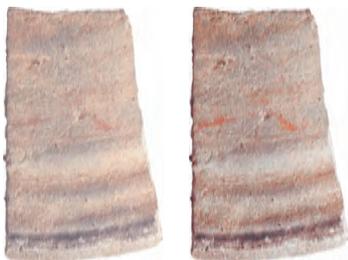
第 174 図② 補正前



同左 補正後



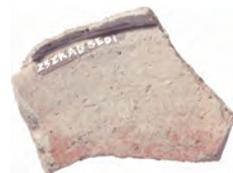
第 174 図⑤刻書



※第 174 図④外面 補正前



※同左 補正後 ※第 174 図④内面 補正前



※第 104 図 5

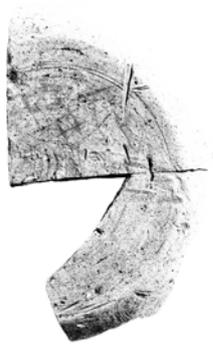


同左 補正後

墨書・墨痕



※第 174 図⑥ 補正前



※同左 補正後



第 174 図⑦ 補正前



同左 補正後



※第 174 図⑧ 補正前



同左 補正後



第 174 図⑨ 補正前



同左 補正後



第 174 図⑫ 補正前



同左 補正後



※第 174 図⑩



※同左 赤外線



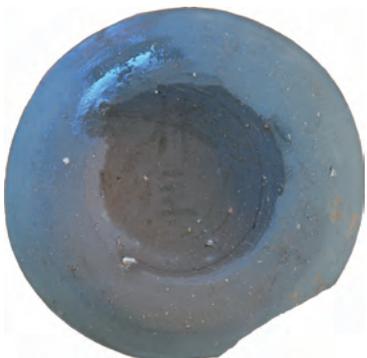
※第 174 図⑬



※同左 赤外線



※第 174 図⑪



第 174 図⑭ 補正前



同左 補正後



※同上 赤外線



※第 174 図⑮



※同左 赤外線



※第 174 図⑯ 補正前



※同左 補正後



第 174 図⑰ 補正前



同左 補正後



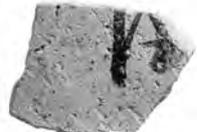
※第 174 図⑱



※同左 赤外線



※第 174 図⑳



※同左 赤外線



第 174 図⑱ 補正前



同左 補正後



第 174 図㉒ 補正前



※第 174 図㉑



※同左 赤外線



同上 補正後



※第 174 図㉓



第 174 図㉔ 補正前



同左 補正後



※同上 赤外線



※第 174 図②⑤



※同上 赤外線



※第 174 図⑥



※同左 赤外線



※第 174 図⑦



※同左 赤外線



※第 174 図⑧



※同左 赤外線



※第 174 図⑩



※同左 赤外線



※第 174 図⑫



※第 174 図⑲



※第 174 図⑳



※同左 赤外線



※同上 赤外線



※第 174 図㉓



※同左 赤外線



※第 38 図 34



※同左 赤外線



※第 144 図 3-4



※同左 赤外線

報 告 書 抄 録

ふりがな	ざいけいせき							
書名	在家遺跡							
副書名	—							
シリーズ名	埼玉県熊谷市在家遺跡調査会埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	—							
編集者名	藏持 俊輔、原野 真祐							
編集機関	埼玉県熊谷市在家遺跡調査会							
所在地	〒360-8601 熊谷市宮町2-47-1 TEL048-524-1111							
発行年月日	西暦2015(平成27)年3月31日							
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号	(° ' ")	(° ' ")		(㎡)	
ざいけいせき 在家遺跡	くまがやしべつぶ 熊谷市別府五丁目 185番地	11202	59-081	36° 10' 51.9"	139° 20' 17.7"	20130315 ～ 20130930	3,933.50	分譲地造成工事
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
在家遺跡	官衙跡 集落跡	奈良時代 平安時代 鎌倉時代	掘立柱建物跡 竪穴建物跡 溝による区画施設 溝跡 土器廃棄遺構 土取り遺構 土坑 性格不明遺構 ピット	土師器 須恵器 内黒土器 灰釉陶器 中世陶器 白磁 青磁 近世陶器 土錘 紡錘車 鉄釘 椀型滓		<ul style="list-style-type: none"> ・八世紀前半から九世紀代の官衙・集落跡である。一辺110mの区画溝と大型の掘立柱建物跡群が検出された。 ・遺物は朱書や墨書土器がみられ、円面硯や転用硯、高盤など官衙遺跡特有の遺物が確認された。 ・古代幡羅郡家と約1kmの近接した立地である。 		

埼玉県熊谷市在家遺跡調査会埋蔵文化財調査報告書

在家遺跡

平成 27 年 3 月 31 日発行

発行／埼玉県熊谷市在家遺跡調査会

印刷／朝日印刷工業株式会社